第6巻第2号1990年1月25日発行 1985年9月10日第三種郵便物認可

SPECIAL ISSUE

おもしろ元気ヤングミュージック・マガジン・パチパチ

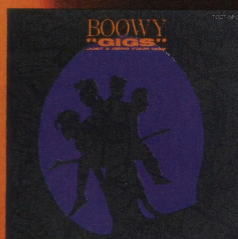
PATi PATi PRESENTS STYLE

YEAR BOOK 1989→1990 STYLE

PRICE=980YEN

TM NETWORK / KOME KOME CLUB
MISATO W. / JUN SKY WALKER(S)
UNICORN / PRINCESS PRINCESS
THE CHECKERS / BUCK-TICK
BARBEE BOYS / K. HIMURO

SENRI OE / THE BOOM / RED WARRIORS / C.C.B.
H. MATSUOKA / BAKUFU SLUMP / LÄ-PPISCH / COMPLEX
HOUND DOG / KATZE / UP-BEAT / BUHO-BUHO etc.

PATi PATi

ちくしょう俺は
上の奴らと連絡を
とりたいんだ。
UNIVERSAL
「やがて、甘美な夜になり、湿地は虹マスのような
不可解な腹をみせてだまりこんでしまった。
21st CENTURY Boy
奴らときたら
てんでばらばらの
眼鏡をかけて四方
八方に電波をとば
すんだから！
「クールエイド」と俺は相言葉を言うことにするぜ、奴らと連絡がついたら
奴らの非常に誘惑的な乗り物の前でそうやって……

エンジェル、
宇宙が身体の
中にあるって感じ
だよ、俺。

俺のVCRはヴィデオがつまってばかり。８月のある日、中国人が西瓜のことで言い争ってる映画を見ていたらエンジェルがオペラグラスを投げつけたので、中国人も西瓜もオペラグラスもふっとんじまった。

また別の夜俺たちはワイルドなクラブに
出かけて言葉をかたはしからフロアに書
きつけてやった。連中は「雨模様」あるいは
「下院議会」あるいは「ダイヤル通話料金」と。
それに対応して俺は「同調指定真空管」「ボブ
の飼育場」「緑のタンクローリー」と書いてやったよ。

蒸汽船が肩先をすり抜けたみたいに
湯気が上り、暖気流が眼球の表面をたっぷりと
通り過ぎていった。

ああ、ベイビー、それな
のに修理人がやってきて
ブラザーのTVを5台も
つぶしやがったんだ！

ラジオ通信社から運ばれて
くるのは、妙な装飾音と
とても古いメレンゲの歌。

ああ、
俺のくそいまいましい女たち、
愛して愛して愛してやったが、
100人とも気が狂ってしまった。

時々、
モロッコのことを
思い出すよ。

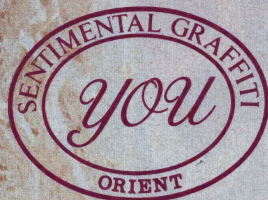
ねぇブラザー、
どうか幸せな
コミックストリップ みたいに
永遠に愛したり捜したり、
ギターを３弾いたり……

ばかでかい
月とはてしない海
岸線で俺たちが見た
奴らの乗り物のことさ、
エンジェル、

「そうしているうちに、
全く無感覚になった、連中が性懲りもなく、
ジミ・ヘンドリックスを
廻すのをバカみたいに眺めながら……」

あの時俺は
「ああそうともこういうところにこそ来たかったのだ！」
ってわめいたっけ。

もろびと、こぞりて、じーふぁいぶ。

KENWOOD

探していたのは、求めていたのは、みんな、この音だったのだ。高音質デジタルセッション、ロキシーG5。

■ドルビーHX PRO＆アモルファスヘッド搭載。CDを高音質で録るエクストラファインデッキ。■CDからテープへ高音質で編集ダビング。CCRSエディットプロ＆クロスフェード。■デジタルソースの鮮度そのままに再現する。8倍16ビットDAC搭載デジタルAVアンプ。■AVソフトが映画館に迫るリアリティで楽しめる。ドルビーサラウンド＆デジタルディレイ。■クラス最大27.5cmダイナマイトウーファー採用。デジタルの高音質をあますことなく再現する3ウェイ。

ROXY G5

NEW

This superior system boasts advanced digital audio technology, letting you listen to or record the purest digital sounds. Offering optical connection, powerful digital amplifier, computer controlled CD recording system, dynamite woofer and much more, this Kenwood audio system sets the standard for all others to follow.

本体標準価格¥183,000 税別 (CDプレヤー、デッキ、アンプ、チューナー、グライコ、スピーカー、リモコンの一体価格)

オプション ●フルオートプレヤーP-3J 標準価格¥15,000(税別) ●アクティブスーパーウーファーDGホーンSW-7 標準価格¥39,800(税別) ●サラウンドスピーカーCM-9 標準価格¥29,800(2個1組、税別)

●あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は著作権法上、権利者に無断で使用することができません。●ドルビーはドルビー研究所の商標です。●カタログを差し上げます。/郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢・性別・職業・ステレオの有無・希望製品名をご記入のうえ、〒150 東京都渋谷区渋谷2-17-5シオノギ渋谷ビル 株式会社ケンウッドC.D.部 P.スタイルR係へ。KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

都会が手に入れたものを数えてみると、
都会が失ったものの数に似てくる。
都会が失った音を数えてみると、
都会が生み出した音楽の数に似てくる。
もう、片時も音楽から離れられなくなった都会の耳たちに
ケンウッド・ヘッドホン・ステレオ。
きょうも天然の音楽をお聴かせしませう。

●充電機能つき電子コントロール・ヘッドホンステレオ

CP-D7 NEW ¥25,000(税別)

CP-D7(B) BLACK　CP-D7(GY) TITANIUM GRAY

●充電機能つきヘッドホンステレオ

CP-D5 NEW ¥19,800(税別)

CP-D5(B) BLACK　CP-D5(S) CHAMPAGNE SILVER　CP-D5(GY) TITANIUM GRAY

ドの音も、前方定位。FVエフェクター

●ボーカルが目の前にリアルに定位するFVエフェクターを搭載。●自然な装着感と迫力ある重低音を再現するポリウォッグ(オタマジャクシ)スタイルのヘッドホン。●迫力ある重低音を再現するバス・ブースト回路。●アルミを使用。なめらかな曲面のケンウッド・デザイン。●15分急速充電で2時間再生。乾電池との併用で12.5時間のロングプレイ(CP-D7)●15分急速充電で2時間再生。乾電池との併用で14時間のロングプレイ(CP-D5)●寸法および重量:74.2(W)×107.1(H)×23.1(D)mm/194g(CP-D7)、75.1(W)×109.0(H)×24.5(D)mm/195g(CP-D5)

●この広告に掲載されている全商品の価格には消費税は含まれておりません。●カタログを差し上げます。郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢・性別・職業をご記入のうえ、〒150 東京都渋谷区渋谷2-17-5 シオノギ渋谷ビル 株式会社ケンウッドC.D.部 スタイル-12G 係まで、お申し込みください。

KENWOOD CORPORATION

音楽は、都会の上に咲く花です。

KENWOOD

小室哲哉

最新アルバム記録的発売中!

DIGITALIAN IS EATING BREAKFAST

●CD:ESCB 1013●CA:ESTB 1013税込定価¥2,800(税抜価格¥2,718)

収録曲目:DIGITALIAN/SHOUT/OPERA NIGHT/I WANT YOU BACK/GRAVITY OF LOVE/HURRAY FOR WORKING LOVERS/NEVER CRY FOR ME/WINTER DANCE/RUNNING TO HORIZON/CRISTMAS CHORUS

'90年代に点火する。

たてつづけにシングル3枚をリリースしてデビューした小室哲哉。
'90年代の幕明けにふさわしい、
すごい新人の登場です。
今回はソロアーティスト小室哲哉を100%発揮した高純度アルバム。
TM NETWORKのサウンドを期待していたら、
火傷するかもしれない。
新たな次元へ始動をはじめた彼の、
今後の活動から目が離せそうにありません。

Tetsuya Komuro
Digitalian is eating breakfast

Tetsuya Komuro
Digitalian is eating breakfast

やってくる。

TM NETWORK PRESENTS

FANKS FILM COLLECTION

小室哲哉「TOUR'89～'90 Digitalian Is Eating Breakfast」LIVE FILM
木根尚人原案オリジナル・アニメーション「CAROL」
3月21日から全国52会場で2本立上映。
■前売/¥1,030(税込)■当日¥1,236(税込)■全席指定
TOTAL INFORMATION ホットスタッフプロモーション 03-857-9999

■CD SINGLE

RUNNING TO HORIZON
Tetsuya Komuro

1989 1st CD SINGLE
「RUNNING TO HORIZON」
●CD Single:ESDB3008
●CA Single:ESSB3008
税込定価各¥800(税抜価格各¥777)

GRAVITY OF LOVE
Tetsuya Komuro

1989 2nd CD SINGLE
「GRAVITY OF LOVE」
●CD Single:ESDB3009
●CA Single:ESSB3009
税込定価各¥800(税抜価格各¥777)

CHRISTMAS CHORUS
Tetsuya Komuro

1989 3rd CD SINGLE
「CHRISTMAS CHORUS」
●CD Single:ESDB3040
●CA Single:ESSB3040
税込定価各¥800(税抜価格各¥777)

Epic EPIC/SONY RECORDS

未来はいきなり

■ALBUM

1983 1st ALBUM
「WAKU WAKU」
●CD:32·8H-30
税込定価¥3,008(税抜価格¥2,920)
●CA:28·6H-77
●LP:28·3H-86
税込定価各¥2,637(税抜価格各¥2,560)

1984 2nd ALBUM
「PLEASURE」
●CD:32·8H-31
税込定価¥3,008(税抜価格¥2,920)
●CA:28·6H-99
●LP:28·3H-116
税込定価各¥2,637(税抜価格各¥2,560)

1985 3rd ALBUM
「未成年」
●CD:32·8H-29
税込価格¥3,008(税抜価格¥2,920)
●CA:28·6H-130
●LP:28·3H-157
税込定価各¥2,637(税抜価格各¥2,560)

1985 4th ALBUM
「乳房」
●CD:32·8H-50
税込定価¥3,008(税抜価格¥2,920)
●CA:28·6H-155
●LP:28·3H-190
税込定価各¥2,637(税抜価格各¥2,560)

1986 5th ALBUM
「AVEC」
●CD:32·8H-90
税込定価¥3,008(税抜価格¥2,920)
●CA:28·6H-200
●LP:28·3H-256
税込定価各¥2,637(税抜価格各¥2,560)

1987 6th ALBUM
「OLYMPIC」
●CD:32·8H-121
税込定価¥3,008(税抜価格¥2,920)
●CA:28·6H-238
●LP:28·3H-287
税込定価各¥2,637(税抜価格各¥2,560)

1988 7th ALBUM
「1234」
●CD:32·8H-5034
税込定価¥3,008(税抜価格¥2,920)
●CA:28·6H-5034
●LP:28·3H-5034
税込定価各¥2,637(税抜価格各¥2,560)

1989 8th ALBUM
「SLOPPY JOE」
●CD:32·8H-5072
税込定価¥3,008(税抜価格¥2,920)
●CA:28·6H-5072
●LP:32·3H-5072
税込定価各¥2,637(税抜価格各¥2,560)

■VIDEO

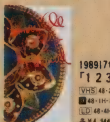
1984 1st VIDEO
「CONCISE LOVE」
VHS 38·2H-161
■38·1H-161
各¥3,667(税込)(各¥3,560(税抜))
LD 38·4H-161
¥3,698(税込)(¥3,590(税抜))

1985 2nd VIDEO
「NATURALLY」
VHS 38·2H-162
■38·1H-162
各¥3,667(税込)(各¥3,560(税抜))
LD 38·4H-162
¥3,698(税込)(¥3,590(税抜))

1987 3rd VIDEO
「CROQUIS」
VHS 35·2H-111
■35·1H-111
各3,378(税込)(各¥3,280(税抜))
LDS 30·4H-117
¥2,915(税込)(¥2,830(税抜))

1988 4th VIDEO
「TOLEDO "Soly Somba"」
VHS 38·2H-163
■38·1H-163
各¥3,667(税込)(各¥3,560(税抜))
LD 38·4H-163
各¥3,698(税込)(¥3,590(税抜))

1988 5th VIDEO
「OLYMPIC TORCH part I "SERENE" SIDE」
VHS 38·2H-125
■38·1H-125
各¥3,667(税込)(各¥3,560(税抜))
LD 43·4H-125
¥4,182(税込)(¥4,060(税抜))

1988 6th VIDEO
「OLYMPIC TORCH part II "EMOTIONAL" SIDE」
VHS 38·2H-126
■38·1H-126
各¥3,667(税込)(各¥3,560(税抜))
LD 43·4H-126
¥4,182(税込)¥4,060(税抜))

1989 7th VIDEO
「1 2 3 4 SPECIAL」
VHS 48·2H-169
■48·1H-169
LD 48·4H-169
各¥4,944(税込)(各¥4,800(税抜))

redmonkey yellowfish
SENRI OE

redmonkey yellowfish
SENRI OE

'90年代のチカラになる。

絶えず自分に挑戦することで、確実にパワーを増してきた大江千里。
他のアーティストに曲を提供したり、
俳優に挑戦したりと、
さまざまな分野へ活動の幅を拡げてきました。
最新アルバムでは、よりパワフルで
たくましくなった大江千里が実感できるはずです。
'90年代のミュージックシーンは、
大江千里がほとばしります。

大江千里

最新アルバム歴史的発売中!
Red Monkey Yellow Fish

●CD:ESCB1003●CA:ESTB1003 税込定価¥2,800(税抜価格¥2,718)

収録曲目:WE ARE TRAVELLIN' BAND/おねがい天国(red monkey cut)/魚になりたい/年上の彼氏によろしく/今日はこんな感じ/吹雪におくれ毛/文化祭/雪山へおいでよ/むこうみずな瞳/ラジオが呼んでいる/いつかきっと

SPECIAL▸ISSUE

PATi▸PATi PRESENTS STYLE

YEAR BOOK 1989-1990

PRICE=980YEN

ぜ〜んぶ大特集!!

CONTENTS CONTENTS

(目次) CONTENTS

おひさしぶり。１年間待ちどおしかったよ。年末恒例『パチ▶パチ・スタイル』も、はや４冊目。今年も大活躍だったレギュラー・アーティストを〝ぜ〜んぶ大特集!!〟で、お届けします。撮りおろしPHOTO、未公開PHOTOも満載、大増記事ページで〝う〜んと豪華〟がキャッチフレーズの『パチ▶パチ・スタイル』。では、じっくりとお楽しみください。

TM NETWORK

SPECIAL ISSUE PATi-PATi PRESENTS YEAR BOOK 1989→1990 STYLE 目次 CONTENTS

●'89年もパチ▸パチ・スタイルの巻頭はTM NETWORK。思いがけないアクシデントもあった年だけれど、それがまた小室哲哉のソロなどというとんでもないプレゼントをもたらしてくれたりして、あの3人らしい。

"CAROL"は小説へ、アニメへと広がっていくし、秋からは3人3様の活動が始まった。また違った才能に驚かされるのは楽しいけれど、3人の再会はいつなの？　なんていう不安もある。でも1991年の4月まで決まっているというから、FANKSは安心して待つべきかもね。

とても仲がいい彼らのことだし。

時代が追いつくようなそぶりを見せるとするりと先を行ってしまう彼ら。'90年に突入しても先頭を走ってくれそうだ。

〔F・C〕タイムマシンカフェ　〒153目黒区大橋1－9－20　マンションみつばさ103　㈱T-MUE-NEEDS内

DATA

小室哲哉
●'58年11月27日生。射手座。血液型O型。東京都出身。167cm、47kg。(key)

宇都宮隆
●'57年10月25日生。蝎座。血液型O型。東京都出身。179cm、59kg。(Vo)

木根尚登
●'57年9月26日生。天秤座。血液型B型。東京都出身。174cm、59kg。(g)

COVER

◀キーワードは『DRESS』全ページを切ってつなげば、あるナゾが解ける。そのためには2冊買わなくちゃ、と悪徳商法（笑）を展開していた頃。セット替えに時間がかかったためメンバーにはとても迷惑をかけてしまいました。

◀小室哲哉ソロの巻頭20ページ。どんな質問をしても、あざやかな答えが返ってくる。というのはこの1年の彼の連載で体験済みだし、音楽の才能も生活感のなさもスピード狂も昔から知ってた。でもやっぱり計り知れない人です。

◀あの『彼女』のキュートなリメイク版です。コンパクトで読みやすいサイズと、撮りおろし写真。実は雨の中Tシャツ姿になってもらったりして結構大変な撮影でした。ウツも「Bagに1冊は入れてください」とおすすめです。

SOHKATSU 252

THE BOOM

●THE BOOMの場合、今年のうち半分はアマチュアだったわけで。最近彼らを注目しはじめた人も多いハズ。だから、パーソナル・インタビュー、"'89年総括"。

〔F・C〕MOOBMENT CLUB　〒150渋谷区恵比寿3-26-6　☎03(473)3739

DATA

宮沢和史
●S41年1月18日生まれの山羊座。血液型O型。山梨県出身。身長170cm、体重53kg。ボーカル。

小林孝至
●S40年12月26日生まれ。山羊座。血液型A型。山梨県出身。身長173cm、体重56kg。ギター。

山川浩正
●S40年5月11日生まれの牡牛座。血液型A型。山梨県出身。身長173cm、体重60kg。ベース。

栃木孝夫
●S33年7月11日生まれの蟹座。血液型O型。千葉県出身。身長170cm、体重52kg。ドラムス。

SHOWA NO OTOKO 99

JUN SKY WALKER(S)

●1989年の出世頭っ!!　こいつが正真正銘のJUN SKY WALKER(S)だぜいっ!!　現在ジュンスカは"HEAVY DRINKER TOUR"の真っ最中。各地で大狂乱を巻き起こしてるぜ。アルバム『歩いていこう』の大ベスト・セラーのみならず、全世界を股にかけての大活躍。いやはや、彼らにはアタマが下がります、ホント。そんなワケで、'89年のジュンスカをド――ンッと振り返るだけじゃなく、彼ら個人個人の音楽的源泉を探る上でも、"フェイバリット・アルバム"を特集してみた。共感するもよし、レコード屋さんに走るもよし。シッカリ読んで、シッカリ理解してくれぇい。

〔F・C〕J(S)W F.C　〒160　新宿区新宿1-29-5 グランドメゾン新宿東507号　☎03(352)3779

DATA

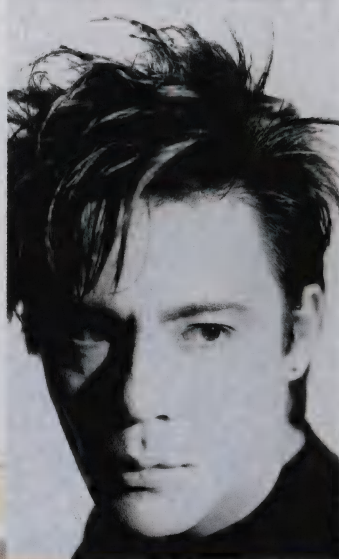
宮田和弥
●S41年2月1日生まれ、血液型B型。水瓶座。東京都出身。身長165cm、体重53kg。ボーカル。

寺岡呼人
●S43年2月7日生まれ、血液型A型。水瓶座。広島県出身。身長173cm、体重60kg。ベース。

森純太
●S40年3月10日生まれ、血液型A型。魚座。大分県出身。身長176cm、体重62kg。ギター。

小林雅之
●S40年5月13日生まれ、血液型B型。牡牛座。東京都出身。身長175cm、体重59kg。ドラムス。

SILHOUETTE & SHADOW WATCH THE 90'S 283

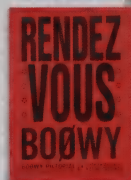
KYOSUKE HIMURO

●東京ドームで幕を開けたヒムロックの1989年。セカンド・アルバム『NEO FASCIO』と、1989年の出来事との驚くべき、符合。ロック・アーチスト、HIMUROは何を今、見ているだろう。

DATA

●S35年10月7日、群馬県高崎市に生まれる。天秤座で血液型はO型。

COVER

◀PATi▶PATi 3月号。東京ドームを終えた直後の巻頭特集。ソロとなってからのつまりAFTER BOØWYのヒムロックのケジメとも言える特集となっている。89年の流れを読むうえでも指針となるものだ。

◀PATi▶PATi 10月号。8月中旬の暑い日に行った取材だったけど、これっぽっちも暑苦しさなんてないでしょう。Coolでエキサイティングなヒムロックには、ヨーロッパ的なものを感じてしまう。アートしてるよね。

◀PATi▶PATi 5周年特別企画の新装『ランデブー』だ!! 軽装版にして、この迫力。オリジナルに加えて、未発表フォトと、BOØWYのオール・データ集までついたサービス満点の一冊だ。ファン必携だ!!

◀FLOWERS FOR ALGERNON—King of Rock Show—ツアードキュメント第2弾! 東京ドーム、香港ライブ、パワーステーションでのライブ等、刺激的なコンサートの空間が、この中には収められている。

SUPESHARU-DAI 355

BUHi♥BUHi

●MENU▶
「ゴトちゃんの"なに言ってんですか"フジモトさんスペシャル」
「小嶋人志のローディー・一直線スペシャル」
「イトウアキ走る!! スペシャル」
「ジントフスキーの業界用語口座」
「ちくっちゃえ」
「涙の読者スタッフ物語スペシャル」
「100問クイズ&解答用紙」
——いやぁ、パチ▶パチとパチ▶パチ・STYLEをいつも読んでる人々には、"おなじみ"のMENU。そうじゃない方には、じぇんじぇんおなじみじゃないMENU。そーゆー、"おいてきぼり"の人は、このBUHi♥BUHi・スペシャルがチャンスっ! STYLEで追いついたら、'90年、1月からは、明るい仲間。各コーナーまで、ブイブイお手紙くださいっ!
〔F・C〕BUHi♥BUHi各係 〒102 千代田区五番町6−2 CBS・ソニー出版 パチ▶パチ編集部内

1989 183

BUCK-TICK

●BUCK−TICKの1989年は、まさに波乱万丈な1年だった。アルバム・リリース、武道館2DAYS、ツアー・スタート…そして突然の休業。現在彼らは、完全復帰へ向けてのウォーム・アップに余念がない。群馬、東京ドームでの復活ライブに始まり、年明けにはドッヒャーンとリリース・ラッシュがやって来る。もう彼らからは目が離せないっ!!
〔F・C〕BUCK−TICK CLUB
〒150 渋谷区渋谷1-10-7 グローリア宮益坂III 1203号 ☎03(498)9041

COVER

◀今年3月7日、カリスマ桜井敦司の誕生日に発売された究極のアーティスト・ブックが、この『HYPER』である。空前の売上げ部数を記録した本書は、写真、内容共にブッチギリのパワーを誇っている。B−Tファン必携の書。

DATA

星野英彦
●S41年6月16日生まれ。双子座。A型。群馬県藤岡市出身。ギター、コーラス。

樋口豊
●S42年1月24日生まれ。水瓶座。A型。群馬県高崎市出身。ベース。

桜井敦司
●S41年3月7日生まれ。魚座。O型。群馬県藤岡市出身。ボーカル。

今井寿
●S40年10月21日生まれ。天秤座。O型。群馬県藤岡市出身。ギター、コーラス。

ヤガミトール
●S37年8月19日生まれ。獅子座。A型。群馬県高崎市出身。ドラムス。

BIG 10 NEWS OF '89 163

BARBEE BOYS

●パチ▶パチ創刊5周年と共に、デビュー5周年を迎えたBARBEE BOYS。今年初めには、そんな彼らの軌跡をダブラせたかのような快心のアルバム『√5』をリリース。まさにトップ・グループのポジションを意のままにしてみせてくれた。なにかと個人活動の活発だった'89年だったワケだけど、それゆえに恒例の"10大NEWS"も5人5様で仲々興味深い。現在彼らはニュー・アルバムの準備に突入。来年の春には、またまた僕らをアッと言わせてくれるハズだっ!!
〔F・C〕負けるもん会 〒153 目黒区大橋1-7-4 久保ビル4Fキティ・サークル内 ☎03(770)5033

COVER

◀ニュー・アルバム『√5』をテーマにした2月号。作品を奥底まで知る上でのバイブルとしてファンには評判の号でした。加えて、読み切りノベルズ「消えたイマサの謎」の"謎"が解明されるなど、何かと話題の巻頭特集でした。

DATA

近藤敦
●S35年7月25日生まれの獅子座。血液型はO型。東京都出身。サイズは不明とのこと(!?)(Vosax)

杏子
●S35年8月10日生まれの獅子座。血液型はA型。長野県松本市出身。身長157cm。ボーカル。

いまみちともたか
●S34年10月12日生まれの天秤座。血液型はAB型。東京都出身。身長175cm、56kg。ギター。

エンリケ
●S39年2月3日生まれの水瓶座。血液型はA型。コロンビア出身。身長180cm、体重62kg。ベース。

小沼俊明
●S37年7月17日生まれの蟹座。血液型はO型。東京都出身。身長170cm、体重60kg。ドラムス。

NOT THE C-C-B ㉖⑤

C - C - B

●10月9日で解散してしまったC-C-Bが、まさか、STYLEに登場するとは思ってなかったでしょ？ ㊙担当も思ってませんでした。でも、この半年間、みんなにはげまされたC-C-Bは読者アンケートでいっつも上位に入っていたの。感謝を込めて、4人の“その後”を届けます。

DATA

渡辺英樹
●S35年2月1日生まれ。血液型AB型。東京都出身。身長167cm、50kg。ボーカル＆ベース。

笠浩二
●S37年11月8日生まれ。血液型AB型。東京都出身。165cm、56kg。ボーカル＆ドラムス。

田口智治
●S35年10月27日生まれ。血液型B型。東京都出身。169cm、50kg。ボーカル＆キーボード。

米川英之
●S39年3月3日生まれの魚座。血液型B型。東京都出身。170cm、56kg。ボーカル＆ギター。

COVER

●PATi▶PATi 編集部がつくった、最初で最後のC-C-Bの本は『CLOSE』。製作に時間がかかってゴメンナサイ。12月16日、やっと発売になりました。ソメッチ超凝りまくりの表紙。実は、裏表紙に大事なメッセージがあるのです。

Welcome to my planet the CHECKERS ㉒⑦

THE CHECKERS

DATA

藤井郁弥
●S37年7月11日生まれ。蟹座。血液型A型。福岡県久留米市出身。163cm、53kg。ボーカル。

藤井尚之
●S39年12月27日生まれ。山羊座。血液型A型。福岡県久留米市出身。170cm、60kg。サックス。

武内享
●S37年7月21日生まれ。蟹座。血液型A型。福岡県田川市出身。166cm、54kg。ギター。

鶴久政治
●S39年3月31日生まれ。牡羊座。血液型A型。福岡県久留米市出身。172cm、56kg。ボーカル。

徳永善也
●S39年6月7日生まれ。双子座。血液型A型。福岡県久留米市出身。174cm、59kg。ドラムス。

高杢禎彦
●S37年9月9日生まれ。乙女座。血液型A型。福岡県久留米市出身。171cm、60kg。ボーカル。

大土井裕二
●S37年11月2日生まれ。蟹座。血液型B型。福岡県田川市出身。176cm、60kg。ベース。

●去年の目次にも書いてありましたがぁ、“この人達ほど、1年間の話題が豊富なバンドはいない。そして、この人達ほど、1年前の写真を知らぬ顔して載せようとしてもバレてしまうバンドはいない”（うー、トオル氏）。まさに、'89年も、この言葉があてはまる、リッパな1年でした。ただ、本格的なソロ活動を追わねばならず、“ONLY THE ～”シリーズを連発してしまい、㊁全員の言葉etcを毎月お届けできなかったという。このストレスが一気にSTYLEのパーソナルインタビューの原稿に集中してしまった。カ読を望む。更に、毎年恒例の“チェッカーズ解剖学。今年は、なさけ容赦ない、“ONLY THE 文字”攻撃。さ、何時間で読み切ることができるかね？

〔F・C〕CUTE BEAT CLUB
〒103 中央区日本橋浜町2-15-5 ビラ浜町8F ☎03(668)4000

COVER

●トトカルチョやったの。フミヤ氏がドラマで2時間位遅れたので、その間みんなで盛りあがっていたのでした。しかしトオルとマサハルは、ギャンブルに強いというのは本当。撮影用の花束に興味を持ったのは、藤井兄弟でした。

MISATO '89 On The Flowerbed ⑧②

MISATO WATANABE

●“愛と感動の超大作”と本人が銘打ったとおりの名作アルバム『Flowerbed』、嵐の西武球場、史上最大の学園祭。'89年の美里は思いっきり青春してた。

〔F・C〕DO! 〒150-91 渋谷郵便局私書箱76号 ☎03(402)8395

DATA

●S41年7月12日生まれ。蟹座。O型。京都府出身。'90年にはデビュー5周年を迎える。

COVER

◀巻頭特集40ページ！ 5周年特集号の“顔”は美里でした。アップの写真のみで16ページ。髪を切ったばかりの初々しい表情が大好評。久し振りのロング・インタビューには伝えたいことがいっぱいの気持ちがあふれていました。

DON'T LOOK BACK ㉝⓪

K A T Z E

●'80年代最後にして、やっと登場した本物のロック・バンド…それがKATZE。

DATA

中村敦
●S43年4月24日生まれ。牡牛座。血液型O型。山口県出身。ボーカル

尾上賢
●S42年8月1日生まれ。獅子座。血液型O型。山口県出身。ギター

高山克彬
●S38年10月31日生まれ。蠍座。血液型B型。山口県出身。ベース。

高山靖彬
●S42年1月20日生まれ。山羊座。血液型B型。山口県出身。ドラムス。

KOME KOME CLUB

DATA

J.小野田
●S33年11月8日生まれ。蟹座。血液型A型。神奈川県川崎市の出身。175cm、85kg、ボーカル。

C.S.石井
●S34年9月22日生まれ。乙女座。血液型B型。茨城県出身。身長㊅114cm、㊇5cm、体重2t。Vo。

ボン
●S35年3月5日生まれ。魚座。血液型はA型。神奈川県川崎市出身。181cm、69kg。ベース。

リョージ
●S34年4月25日生まれ。牡牛座。血液型A型。福岡県大牟田市出身。170cm、60kg。ドラムス。

J.得能
●S34年8月10日生まれ。獅子座。血液型O型。東京都出身。身長162cm、体重は?kg。ギター。

ミナコ
●S36年12月18日生まれ。射手座。血液型B型。茨城県出身。161cm、体重?kg。

F.金子
●S39年3月22日、牡牛座。血液型A型。千葉県出身。178cm、60kg。サックス。

マリ
●S41年11月20日生まれ。蠍座。血液型A型。茨城県出身。身長164cm、体重?kg。

COVER

◀すっすみません!! 写真の位置が間違って印刷されました。関係者並びにファンのみなさま、そして米米CLUBのみなさん、本当に申し訳ございませんでした。(せっかくシブくきめたのに……。あー夢に出て来そーだ……)。

●今や社会現象と化した、米米CLUB。キミの田舎のおかーさんも、「えーぶ ばーで ふうーじやま」くらいのことは言えるんではないでしょうか!! おかげで彼らはとっても忙しいんでしょうが、毎月接している私たちからすると、実は前とあんまり変わらない「米米CLUB」のみなさんなんです。あ、そりゃー例えばてっぺいちゃんの顔が"外人"ぽくなったり、金子さんが大人っぽくなったり、ボンのお髭が、ちょっとエッチっぽかったりはするんだけど、そういう見た目の事ではなくて、接する人間性の話ね。みんなすごく常識人で大人で、そして芸人を感じる所が、プロだなぁと思うんです。ステージやレコードは本当におもしろいじゃん。でもね、ナチュラルな雰囲気があるでしょ。ヘンだよねぇ。アルバムなんて「マウイミックス」、ハワイだもん。参っちゃうよね。
さあーて来年の作戦は?

NOT FOR SALE 294

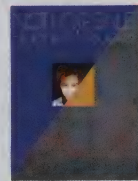
HIDEAKI MATSUOKA

●なんといっても話題の中心は、アルバム『Kiss Kiss』、という感じだった、まつほーの1989。秋には初の海外ライブも大成功して、氷川丸の中で練習していた小学生が、海を渡ってしまったのだよーん、すごいねー、嬉しいねー。初の単行本「NOT FOR SALE」も読んでね。

DATA

●S42年12月23日生まれ。山羊座。血液型はO型。神奈川県横浜市出身。170cm、45kg。

COVER

◀松岡2度めの巻頭特集号。さてさて、キミはページに隠されたメッセージに、気が付いていたかな? カラーのページを1つづつ見てみましょう。そこには……「K」「I」「S」「S」の4つの文字がひそんでいるのでした!! ね?

◀ついに出来ました。マツボーの初単行本『NOT FOR SALE』マシボーを追っかけて、ロンドン、バンコク、国内各地へ行きました。新たな書きおろしetcも加わり、ステキでかわいい本が出来ました。ぜひ、読んでください。

SPECIAL ISSUE PATi-PATi PRESENTS STYLE YEAR BOOK 1989→1990

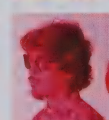
CONTENTS

WHAT A FOOL WE ARE!! 313

LÄ-PPISCH

●今年、レピッシュの活躍ぶりはイジョ——なものがありました。超過密スケジュールに加えて、あのハチャメチャぶり…。色々と苦労いたしましたです、ハイ。傑作「KARAKURI HOUSE」に象徴される通り、来年も大暴れしてくれるハズだぜ。〔F・C〕毒入り倶楽部 〒153 目黒区大橋1-7-4 久保ビル4Fキティ・サークル内 ☎03(770)9355

DATA

上田現
●S38年3月3日生まれ。魚座。血液型AB型。大阪府大阪市出身。キーボード。

MAGUMI
●S38年9月24日生まれ。魚座。血液型A型。熊本県熊本市出身。ボーカル。

DATA

TATSU
●S37年2月7日生まれ。水瓶座。血液型B型。東京都出身。ベース。

雪好
●S43年11月26日生まれ。射手座。血液型O型。東京都出身。ドラム。

狂市
●S38年3月20日生まれ。魚座。血液型O型。熊本県熊本市出身。ギター。

90'S RUNNER 305

BAKUFU SLUMP

●「RUNNER」のヒットで幕を開けた'89年。爆風スランプは'90年に向けて、走っていきます。'89年の流れと'90年へを。

DATA

サンプラザ中野
●S35年8月15日生まれ。獅子座。血液型B型。山梨県出身。ボーカル。

NEWファンキー末吉
●S34年7月13日生まれ。蟹座。血液型A型。香川県坂出市出身。ドラムス。

パッパラー河合
●S35年9月14日生まれ。乙女座。血液型B型。千葉県出身。ギター。

バーベQ和佐田
●S34年7月10日生まれ。蟹座。血液型B型。京都府出身。ベース。

DIAMONDS OF 1989 115

PRINCESS PRINCESS

DATA

奥居香
●S42年2月17日生まれ。東京都出身。血液型O型。ボーカル&ギター。

富田京子
●S40年6月2日生まれ。横浜出身。血液型B型。ドラムス。

渡辺敦子
●S39年10月26日生まれ。九州出身。血液型B型。ベース。

中山加奈子
●S39年11月2日生まれ。横浜出身。血液型B型。ギター&コーラス。

今野登茂子
●S40年7月18日生まれ。埼玉県生まれ。血液型O型。キーボード。

●「Diamonds」の大ヒット、「世界でいちばん熱い夏」の大ヒット、『LOVERS』の大ヒット。1月には武道館3DAYS、8月には7万5千人の前での西武球場。次々と、しかも気持ちいいスケールの大きさで"記録"を塗り変えてゆく5人。彼女たちの歌う、"女の子のホントの言葉"が、彼女たちの作ったメロディーにのってそれこそ街中どこからも聞こえてきた年だった。しかもすごくいいヤツらなんだ。〔F・C〕〒101 千代田区神田小川町2−1 シンコーミュージック「プリ²・パブリック」

TO THE '90S 336

HOUND DOG

●'89年は『GOLD』から始まって、'90年は『VOICE』から始まろうとしている。武道館15DAYSと、結成10年目である'90年を彼等は走り続けるぞ!!

DATA

大友康平
●S31年1月1日生まれ。山羊座。血液型A型。ボーカル。

八島順一
●S31年2月19日生まれ。魚座。血液型O型。ギター。

橋本章司
●S31年10月11日生まれ。天秤座。血液型A型。ドラムス。

蓑輪単志
●S34年12月17日生まれ。射手座。血液型O型。キーボード。

鮫島秀樹
●S30年4月19日生まれ。牡牛座。血液型B型。ベース。

西山毅
●S37年1月7日生まれ。山羊座。血液型A型。ギター。

UP-BEAT THE BEST 342

UP-BEAT

●思いついちゃったんだから、しょうがない。お待たせしました。パチ▶パチ読者が勝手に選んだ、"パチ▶パチ・オリジナル・UP-BEATベスト・アルバムに入れる10曲"の発表です。ライター酷氏まで引っぱり出して——いいのかなあ…。〔F・C〕Beat Screen Ltd.〒150-91 渋谷郵便局私書箱76号 ☎03(402)8395

DATA

広石武彦
●S40年1月24日生まれ。水瓶座。血液型はAorB型。福岡県出身。身長、175cm。ボーカル。

岩永凡
●S40年10月20日生まれ。天秤座。血液型は不明。福岡県出身。身長178cm。ギター。

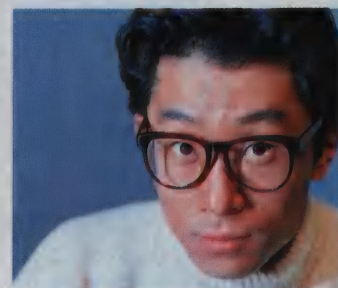
東川真二
●S39年7月24日生まれ。獅子座。血液型O型。福岡県出身。身長175cm。ギター。

水江慎一郎
●S40年7月2日生まれ。蟹座。血液型O型。福岡県出身。身長180cm。ベース。

嶋田祐一
●S39年11月17日生まれ。蝎座。血液型O型。福岡県出身。身長170cm。ドラムス。

red monkey yellow fish days 173

SENRI OE

●走っていた、笑っていた、動き回っていた、そしてたくさんのいいものを生み出していた。まさに革命的に躍動していたという印象の'89年の千里くん。"1 2 3 4"ツアー、ベストアルバム『Sloppy Joe』のレコーディング、そして『redmonkey yellowfish』のリリース。その間「お願い天国」と"納涼千里天国"を高得点で決めていた彼でもあった。さらに力強くなった"redmonkey yellowfish"ツアーも全国を回っている。また1度も欠席なしのその'89年を定番の企画で振り返ってみた。

COVER

◀『redmonkey yellowfish』を文字どおり、赤いお猿と黄色いおサカナと強引に解釈しきったビジュアル。全ページ赤と黄、髪を染め、顔にペインティングまでしてくれた千里くん。充実した内容は大好評。また見せてくれた彼の新しい一面でした。

DATA

●大江千里。S35年9月6日生まれ。乙女座、血液型はO型。大阪府出身。パチ▶パチ創刊号からずーっと皆勤賞。'83年5月21日デビュー。

SPECIAL・ISSUE
PATi・PATi PRESENTS STYLE
YEAR・BOOK 1989→1990

目次 CONTENTS

YEAR OF HATTORI ⑬1

UNICORN

●何てったって『服部』。あまりにも話題を巻き起こしたそのアルバムは、ついでに旋風まで巻き起こしてしまって、みんながそれに巻き込まれること巻き込まれること……。でかくなったのは、ホンモノだからだ。決してバンドブームなぞでは終わるハズもないドトーの音とライブに来年もついて行きたいSADOまでも……。というわけでカレンダーはUNICORNなのであったっ。〔F・C〕ユニコーンオフィシャルファンクラブ
☎03(585)1392

DATA

奥田民生
●S40年5月12日生まれ。牡牛座。広島県広島市出身。ボーカル&ギター。

手島いさむ
●S38年8月27日生まれ。乙女座。B型。広島県呉市出身。リードギター。

西川幸一
●S35年10月20日生まれ。天秤座。O型。広島県呉市出身。ドラムス。

堀内一史
●S40年10月2日生まれ。天秤座。B型。広島県広島市出身。ベース。

阿部義晴
●S41年7月30日生まれ。獅子座。A型。山形県出身。キーボード&ボーカル。

COVER

◀パチ▶パチでの初表紙。それは決して忘れもしない寒~~~い日であった。寒~い日にUNICORNは5人して海に入ったのだった。そのおかげで今年の冬はカゼをひかなかったそうだ。(嘘)特筆すべくは作文。それぞれの味が出た文章だった。

THE MEANING OF 1989 ㉓

COMPLEX

COVER

◀世紀のスーパー・デュオ・ユニットCOMPLEXが、ついにデビュー。そのデビューをいち早くフルボリュームで大特集した5月号。結成までの精神的経緯、アルバム徹底解剖などが、強烈なビジュアルとともに表現された。

●永遠のカリスマ吉川晃司と、伝説のギタリスト布袋寅泰の合体…。'89年は我々ロック・ファンに、こんなにも素敵な夢を見せてくれた。'80年代最後にしてこのスーパー・グループの出現は、いったいどのような意義をシーンに残してくれたのだろう? COMPLEXが日本のロック界に与えた影響は? そしてこの衝撃の余波は来年どのような形で広がっていくのか?

DATA

吉川晃司
●S40年8月18日生、獅子座。血液型はB型。広島県広島市出身。181cm、68kg。ボーカリスト。

布袋寅泰
●S37年2月1日生、水瓶座。血液型B型。群馬県高崎市出身。身長191cm。ギタリスト。(exBooWY)

THE MEMORY ㉙

RED WARRIORS

●俺達の解散はめでたい、などと言いつつ、解散したレッズ。彼等の89年を振り返ると共に、アルバムのディスコグラフィーを座談会で!! '89年の重大事件を刻みつけておこう。

DATA

田所豊
●S37年3月12日生まれ。魚座。血液型B型。埼玉県出身。通称、ユカイ。ボーカル。

木暮武彦
●S35年3月8日生まれ。魚座。血液型B型。埼玉県出身。通称、シャケ。ギター。

小川清史
●S39年4月25日生まれ。牡牛座。血液型O型。埼玉県出身。通称、キヨシ。ベース。

小沼達也
●S34年3月29日生まれ。牡羊座。血液型B型。埼玉県出身。通称、コンマ。ドラムス。

YATSUPARI BAND GA OMOSHIROI ⑲5

BAND 1990—NEXT SCENE

●'89~'90年にかけて、バンドブームはロックシーンにとどまらず、社会的現象になった感じさえあった。土曜深夜の「イカ天」は驚異的な視聴率を記録し、数々のバンドが私達の目を楽しませてくれた。日曜の原宿歩行者天国は、バンドに占領され、まさにストリート・ロックが花盛り。「イカ天」「ホコ天」の略称は世間に普及し、音楽誌のみならず、大人が読む一般誌にまで紹介された。ライブハウスは、大盛況。街ではギターケースを抱えた少年少女が増えたような気がした……。てなワケで、史上空前に、盛り上がりまくっているバンドブームの中で、幸運にも(いや、トーゼンかな!?)メジャー・デビューした、このイキのいいバンド・バンド・バンド。彼らを理解するための質問を、濃縮還元して一挙に公開。ナカナカ、らしさが出てたり、意外な面が出てきたり、じ~っくりと楽しめます。では、どうぞ!!

DATA

ドリームズ・カム・トゥルー
ウキウキ、ワクワク、ドキドキ、胸キュン……「しあわせ」バンド、ドリカムがトップバッター!

JITTERIN' JINN
ご存知「いか天」出身バンドは、そんなことを忘れさせてしまう程の快進撃中、エ~ブリデェ~♪

ザ・真心ブラザーズ
こちらもテレビで有名になったバンドだけど、その歌にはユーモアだけじゃない、深~いものがある。

KUSU KUSU
あのリズムとあのファッション。光の国の子供達は、無邪気なだけじゃありません。

東京少年
「いたいけまじめ」少女笹野みちる率いる彼ら。最近では、あの京都弁の方がピンとくるのかな?

THE MINKS
バカ正直な人柄とダイレクトなサウンド。音楽は理屈じゃないってことなんだろうな。

フリッパーズ・ギター
センスの良さは定評があり、マニアの間では盛り上がっている彼らに、普遍性はあるのか?

JUSTY NASTY
ネオ・グラム、バッド・ボーイズ、ニューロマ、そんな小さな枠にははまりきれない彼らです。

B'z
最小のユニットは、ボーカルとギターの可能性を最大限に追求して新たなサウンドを切り開く。

ソフト・バレエ
3人が織り成すサウンド、ライブで展開するパフォーマンスは、デジタル・ビートの新境地!

GEN
デビュー前なのに、もう登場。待ってた人も多いハズ。あの元気もンの"GEN"ちゃんです。

FUSE
ホコ天バンドの真打ち登場。もうすぐデビューのイキのイイ4人はこんなヤツらです。

"CAROL"という壮大なロックショウで、これまでは2次元の世界でしかなったファンタジーを、自分たちと同じ空間で、最高のサウンドを共に体験できた'89年。しかもアクシデントまで贈り物にすりかえてくれた3人だ。1人1人の今も目が離せない。それぞれが再び見せてくれるであろう予想もつかぬ世界のために。

撮影●小木曽威夫　スタイリング●岩瀬朱実　ヘアメイク●横原義雄

FANKS, CAROL, DIGITALIAN

TM WORLD '89

TM NETWORK

DAK

TM NETW

都内某所の某レコーディング・スタジオで、彼は、某アーティストに提供した曲のトラックダウンに取り組んでいた。彼は忙しい。彼の作業は秘密裏に進められ、ある日突然発表されるのである。

その傍らでは彼のソロ作品がチャートの1位を飾っているというニュースがささやかれていた。彼は忙しい。けれど淡々と、彼の中からメロディーは生まれ、聞く人の心を幸福に導く。'89年の小室哲哉は、実に多くの人々に目撃され、その記憶に残されたのである。

――'89年は〝CAROL TOUR〟から始まっていますね。その頃からもう、ソロ活動の構想はあったんですか？

「そうです。でも、計画してやってたわけじゃなくて、やっぱり3月のウツのアクシデントがあったから、ですね。いきなり休みになったから。そこでレコーディングの準備を始めたわけ。だからそれがなかったら、たぶん今年中には出せなかったと思うんですよ」

――でもそのいきなりの休みに、休もうとは思わなかったんですか？

「……思わなかったですね。遊んだりしなかった。全然。そこは、やっぱり気分的にそういう気になれなかったと思うんだけれども。すごくめずらしいタイミングなんです。誰も休みなさいって言わないし、だから言って決まった仕事もないし、すごく不思議な期間だった」

――今考えると、それも逆に良かったというふうに思いますか？

「8月の最後にやったクローズド・サーキットとかで盛り上がったことを思い出すと良かったなと思いますね。本当なら武道館がファイナルだったんだけど、そこで終わっちゃってたら、きっと物足りなかったよね。だから個人的にはあの武道館でツアーが終わってたら、またロンドンに帰る予定だったんで、そうしたら、たぶん今もロンドンにいたんでしょうね」

――〝CAROL TOUR〟を内容的に振り返ってみて、どうでしたか？

「何か、残ってくれてるものがあるといいなっていうような気持ちなんだけど。ただ自分のまわりだけが熱い関心を持ったというところで終わっていなければいいなと思いますね。何かひとつ、コンサートの在り方みたいなものをね、多少見直すっていうか、ただ盛り上がって終わってしまうんじゃなくて、それプラス、何かこう、技というか芸というか、（笑）芸術的な動きとかっていう、多少の引っ掛かりができればいいなと思いますね」

――ファン層も広がったと思うんですけど。

「ウン。今日ファンになってるコもいるかもしれないよね。なんか、底が見えない」

――あるデータで、生写真がいちばん売れるのは〝光GENJI〟と〝TM NETWORK〟だって出てましたけど。

「不思議……ですねぇ。下手するとTMなんてミーハーっぽくて照れちゃう、っていう人もいるかもしれないよね。だから、それだけもう収集つかなくなってることは確かですね（笑）」

――そうですね。

「ある限られた人達だけに何かを伝えてるっていうふうにはやっぱり思えないから、出先がわからないっていうか、ちょっと、どこにたどり着いてるのかわからないよね」

――そういう中で自分の主張を持ち続けるっていうことは、難しいですか？

「そういうバランスの計算はしない。あんまり考えないですね。具体的には言えないんだけど、〝こういう形で発展していきたくない〟とか〝こういう姿になっていたくない〟っていうのはあって、そこへ行かないための方法は考えてる。だから簡単に言えば、今まであった形じゃないもの、っていうことかな」

――今までも、そう言う他にはない形で進んできましたよね。でも、今度は具体的な話になるんですけど、ツアーが終わった後はどういう活動でしたか？

「レコ、まあ、実際は6月くらいから（レコーディングを）始めてるんで、6、7、8と3カ月くらいは3本立てか4本立てで平行してやってましたね」

――ツアーをやりつつ。

「そうですね。コンサートをやって、8月のスペシャルのための打ち込みもやって、で、ソロのレコーディングもやってた。宮沢りえちゃんとか入ってたときは5本くらい同時にやってた」

――『天と地と』もありましたよね。そういうときって、〝つらい〟っていう自覚症状はあるんですか？

「ありますね。確かに（笑）」

――もう限界っていう？

「空っぽになっちゃうんじゃないかなって思うけど、まぁ、今の時点でも3本くらいやってるから」

――見てると、いつも吐き出す作業をしているイメージがあるんですけど、蓄える作業はどこでしてるんですか？

「は、あまりないですね。今やっていることは、全部、中学や高校のときに覚えたことですね。TMのときからずっと、そうですよ。10代の頃に自分の中に入ってきたものばっかりですね」

――新たにインスパイアされるものってないんですか？

「すっごい少ない。ホント、1年に何回あるかな、これはすごいっ思うことって」

――例えば、映画とか……。

「あることはあるけど、でもやっぱりその頃に見たものっていうのが根強く残ってる。中学生くらいのとき、映画館にわざわざ出かけて行って見て感動する、その真剣さが今とは全然違うし。今ならビデオで見れるけど、時代も違うしね。そういうのがあって、今（音楽監督を）やってる『天と地と』は、小学5年か6年のときに見た『ベン・ハー』の影響があるんです。僕、6回ぐらい映画館に見に行ったんですよ。テープレコーダー持って。それで全部録音して、あれ4時間ぐらいあったかな。確か2時間テープ2本で録ってたから。（笑）だから今回のは、『ベン・ハー』のときに受けた影響で作ってるんです。基本的なところは。それって小学校のときだから、もう最近見た映画にはほとんど影響受けないから、この先は怖いけどっていう感じ（笑）」

――90年はどんなふうになりそうですか？ 気になるのは3人のTMとしての活動なんですけど。

「来年中には動きだせると思う……としか言えないんだけど。（笑）でも今まで、こうなりそうだって言ったことは本当にそうなってますよね？ いつもあんまり隠してないよね（笑）」

彼は80年代と90年代の壁を飛び越えるように、現在はソロ・コンサートを精力的に行なっている。彼のエネルギーは尽きない。まだまだやりたいことがいっぱいあると言う。90年もきっと、予言と実行を繰り返してくれるだろう。

TM'89

TM NETWORK

TETSUYA KOMURO

来年中には（TMも）動き出せる……としか言えない。（笑）

TETSU'S INSPIRATION

TM '89

光：類人猿

NETWORK

音：喧騒
花：団子
電話：6700（six seven oh oh）
春：キャンディーズ
空：カンツォーネ
女の子：後藤久美子
映画：天と地と
建物：能楽堂
旅：エルパック
ラジオ：オールナイトニッポンの水曜日
鉛筆：えんぴつをかじって
雷：ボルト
髪：京都の女性
ドラマ：キャプテンスカーレット
鏡：ラミパス　ラミパス　ルルルルル
コイン：宇都宮隆
犬：ユンカース&バス
ファンタジー：Sweet factony
機械：Wish you were hereの"Welcome to machine"
食事：Vegitable
美しい：サテライトステーションが空に見える時
森：動物の合唱団
女性：地球の宝
ロックンロール：E_7
目：ツタンカーメン
ダンス：バンプ
弦：上海
ドレス：ピンヒール
スピード：体感文化
波：many classic woments
アメリカ：トマス・モア
雨：Singing for rain
お茶：豊臣秀吉の大茶会
恐い：女の人のPowen
外国語：広東語
学校：百葉箱
夢：Pati²の読者が全員僕の事を好きになってくれる事
影：日時計
西暦2000年：2001年宇宙の旅
デジタル：DISK
ミルク：HOMO
数字：円周率
光：類人猿
帽子：マーク　ボラン
漫画：ハイティーン・ブギ
時計：Big Ben
恋：嵐山

TETSUYA KOMURO

LAST INTERVIEW OF '89

'89年のウツは波乱万丈。
年明けは絢爛豪華なステージで暴れまくり、途中起こったアクシデントを克服、ツアーを見事に復活させ、ファイナルを飾り、そして後半は俳優業に専念、という人生の縮図的浮き沈みを彼は体験したのだった。
その波間を通り抜けて今ここに立っている宇都宮隆は、果たして振り返ることなど望むだろうか。……カッコイー。
とにかく、彼が今までよりたくましい雰囲気になったことは確かである。自信に裏付けられた明るさを目一杯輝かせて、彼の'89年が幕を閉じようとしている。

――『LUCKY』は順調のようですが、自分で見てどうですか？

「やっぱり変ですね。なんか、自分が演技してるっていうのが（笑）」

――ところで、ドラマだけじゃなく、今年はいろんなことがあったと思いますけど。

「半分以上は〝CAROL〟。去年から始まってたし、それが夏まで続いてたからね。やっぱりそれがいちばん大きいですよね」

――そうですね。こんなに長いツアーは初めてですよね。ツアーの感想は？

「長いけど、いろいろあったから、そんなに長く感じなかったですね。ケガをする直前まではね、〝あー、長いなー〟って感じたときが一瞬あったんですけどね。それがケガして、1カ月ちょっとブランクがあったでしょ。やっぱり、すぐにでもステージに立ちたいっていう気分になったし、早く立たなきゃっていう気持ちも強かったし。だから、それから後はアッという間に終わっちゃったって感じ」

――でも、ツアーが再開されたときは、まだ完全に治ってなかったんですよね。

「うん。ギプスしたまんまだった。テーピングをしたりしてね」

――精神的なテンションを保つことに関してはどうだったんですか？

「大丈夫でしたね。けっこうケガしてからの方がテンション高かったんじゃないかな」

――それは今までの分を取り戻そうっていう気持ち？

「うん、そうだね。あと、みんなに心配かけちゃいけない、みたいなね」

――スタッフはもちろんだけど、ファンの人もかなり心配してましたもんね。

「今年1年、心配かけましたね」

――ステージを見た人は、安心できたと思うけど。

「実は今までのツアーも、必ずケガしてたんですよ（笑）」

――本当？

「どのくらいからケガが始まったんだっけ……。〝GET WILD〟のあたりから、ワン・ツアーで必ず1回はケガをするようになったんですよ。ケガの度合いが少しずつ大きくなってきてるんで、来年はどうなるのかって心配なんですけど（笑）」

――最初は？

「最初はここ、指のつけ根。裂けちゃって、4針縫ったんだ」

――あ、ホントだ。まだけっこう生々しいですね。どうして裂けちゃったんですか？

「これは……野球なんですけど（笑）」

――そのツアー中に、まぁ、一応リラックスの意味も含めて？

「ええ、そうです。で、その次の〝KISS JAPAN〟では大丈夫だったんだけど〝KISS JAPAN〟のアリーナ・ツアーの時、2日目、捻挫してすごい腫れちゃったんですよ、足首が。で、結局治らないまま、テーピングしたまま、全部ツアーをまわって」

――そして今回は……。

「靱帯でしょう。でもその分、テンションがすごい上がるみたい（笑）」

――（笑）そういうことがあると？

「ええ。返って燃えるんですね。逆境に強いタイプなのかもしれない（笑）」

――でも、気をつけないと。

「〝LUCKY〟の初めてのロケのときも乗ってたヘリコプターのドアが開いちゃったんですよ。（笑）ドアをまだロックしてないのに飛び立っちゃったんですよ。ドアを閉める音をきっかけに飛び立つっていう段取りだったから。で、ロックしようと思ったらかからない。こうやってるうちに飛び立っていって、上に上がってもまだ閉まらない。で、ずっとロックがかからなくてドアが開いちゃったっていう（笑）」

――気をつけないと……。

「はい。そうですね（笑）」

――例えば年頭に抱負とかよく訊かれると思うんですけど、'89年の幕開けに考えていた抱負は覚えていますか？

「あの、今年はほら、もうツアーに入ってたでしょ。だから〝今年はケガをしないぞ〟って思ったんだけど。とんでもなかったですね。来年は大丈夫です（笑）」

――そうじゃないと。

「やらないし」

――え？ ツアーやらないの？

「いやいや。そんなことはないか（笑）」

――早くステージで歌ってるところが見たいと思ってる人がいっぱいいますよ。

「来年は、映画がメインですね」

――またぁ、（笑）

「松田優作さんが亡くなってショックなので、頑張ろうかなぁ、なんて」

――うん。それもアリかもしれないけどですね。でも、初めて本格的なソロ活動をしてみてどうでしたか？ 淋しかったりとかはしません？

「ンー、やっぱり雑談が好きな3人だったから、そういうところではなんか物足りないときはありますね。淋しいと言えば淋しい。当分は会わないしね」

――逆に、ひとりになって独立心が強くなってきたみたいなところはありましたか？

「この（ドラマの）話が出たのってツアー中だから、その頃からすごくそういうのが強くなってきて、今まではわりと人任せなところがあったんだけど、ま、思い切ってソロになってみたら、責任感みたいなものは確かに重く感じますね。この1年は来年に向けての1年だけど、だから大きな意味があったんじゃないかなと思うし。それに、ひとつの大きな節目だったし」

――そうですね。小室さんもソロ・アルバムを出しましたけど、聞きました？

「ええ。応援してます（笑）」

――いや、小室さんが歌ってるのを聞いたら、自分も早く歌いたいという気持ちになるんじゃないかなと思って。

「ああ……、でも今は、音楽は小室さんにすべて任せてるから。（笑）けっこう頭の中はドラマの方にいっちゃってますね」

――いつになったら歌うことが恋しくなるんでしょうねぇ。

「……でしょうねぇ」

宇都宮隆の新しい世界は、今大きく広げられたばかり。彼の情熱がそこに惜しみなく注がれるのも当然のことだ。
彼の周囲を流れる時間のようにゆっくりと、自由な彼の動きを今は受けとめよう。
でもウツ、早く歌ってね。

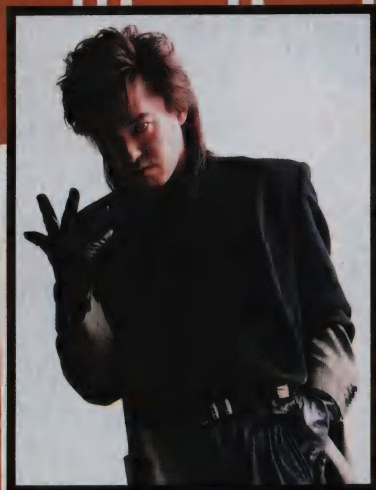
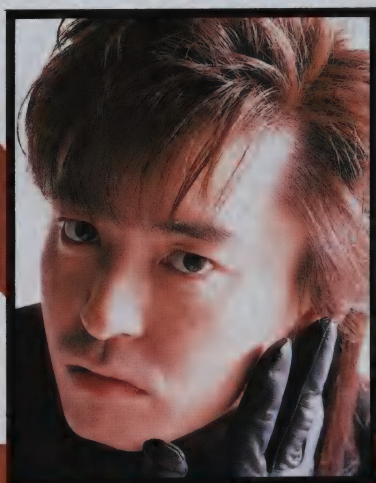
TAKASHI UTSUNOMIYA

この１年は大きな意味があったしひとつの節目だった

UTSU'S INSPIRATION

TM言'89

恋：CHEER ME UP

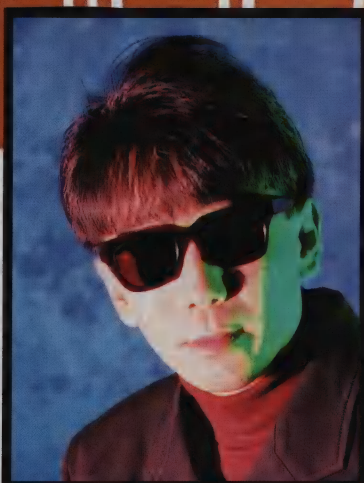
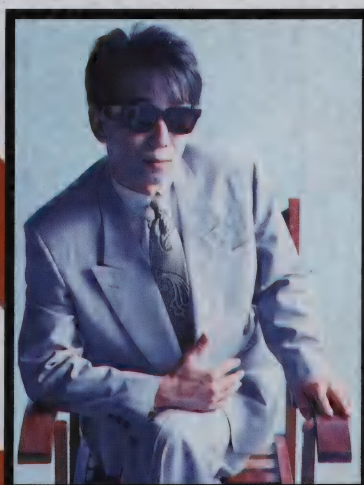
NETWORK

音：目覚まし
花：バラ
電話：コードレス
空：星
女の子：足首
映画：レンタル
建物：マンション
旅：KIOSK
スポーツ：一番ウッド
ラジオ：COME ON FANKS
鉛筆：えんぴつを削って
写真：ポラロイド
雷：ローソク
髪：てる
ドラマ：LUCKY
鏡：HAIR MAKE
コイン：速水浩司
犬：骨
ファンタジー：DISNEY
機械：ファミコン
食事：すからいらーく
美しい：女性の足
飛ぶ：へい
森：年輪
女性：涙
ロックンロール：スリーコード
目：GREENのコンタクト
ダンス：DISCO
弦：バイオリン
ドレス：5、12
スピード：トランプ
波：BIG WEDNESDAY
アメリカ：市民権
雨：TIME
お茶：静岡
恐い：女性
外国語：ベルリッツ
学校：森先生
夢：北海道のリゾートランド
影：赤影参上
西暦2000年：リニアカー
デジタル：Digitalian
数字：クアトロ
光：朝
帽子：エルトンジョンかな？
漫画：サザエさん
時計：立岡（マネージャー）
恋：Cheer me up

TAKASHI UTSUNOMIYA

KINE'S INSPIRATION

TM '89

目：世界

NETWORK

音：ピアノ
花：チューリップ
電話：涙
春：入学式
空：未来
女の子：アップリケ
映画：デート
建物：喧騒
旅：風景
スポーツ：汗
ラジオ：コミュニケーション
鉛筆：えんぴつを削って
写真：想い出
雷：おへそ
髪：主張
ドラマ：教訓
鏡：現実
コイン：自動販売機
犬：ユニカース・カム・ヒア
ファンタジー：CAROL STORY
機械：時代
食事：おみそ汁
美しい：ラバスルバス
飛ぶ：ピーターパン
森：神秘
女性：神秘
ロックンロール：リーゼント
目：世界
ダンス：リズム
弦：バイオリン
ドレス：Party
スピード：F1
波：ささやき
アメリカ：コンプレックス
雨：やさしさ
お茶：いこい
恐い：自分
外国語：苦手意識
学校：ルール
夢：目的
影：幼少
西暦2000年：危機
デジタル：現代
ミルク：赤ちゃん
数字：魔法
光：青春
帽子：ジャイアンツ
漫画：カリアゲくん
時計：約束
恋：男と女

NAOTO KINE

LAST INTERVIEW OF '89

TM NETWORK

――木根さんの'89年ということで、お話を伺いたいんですが、まずは1月から。

「キャロルの小説を書いてましたよ。ツアー中に書き上げるつもりでいたので、原稿用紙を持ってツアーしてた。しかも、原稿はツアー先のホテルで書くって決めてたからね。音楽も、ステージも、小説もまとめて……メディアをミックスしたものがキャロルだったでしょ。だから、その成果にひたっているときに書きたくて。でも、担当編集者のO君はヒヤヒヤしてたんじゃないかな(笑)」

――イライラしてたかもしれませんよ。

「時間があるなら、どこでも書いてくれって(笑)」

――2月は?

「1月まで半分近く書いたから、2月は残りを書いてた。アルバムを作った時点でラストシーンは見えてたんだけど、それを文章の流れにするのは苦労した」

――いつ書き上げたんですか。

「忘れもしない3月4日、大阪公演の夜。宇都宮が足を痛めた日」

――運命的ですよね。

「そう言うとカッコいいけどね」

――書き上げたときは、やっぱりホッとしましたか。

「悪いけど、あの喜びは誰にもわからないと思う。なんてったって初めての長編でしょ。あの喜びの大きさ、質、解放感は筆舌に尽くし難いよ。2作目以降は喜びや充実感の質も変わるだろうね。そうだなあ？ 例えるなら、四人が刑期を終えて、出所したようなもの。まあ、刑務所に入ったことないからわからないけど(笑)」

――ジワッとくる喜びじゃなかった?

「違うなあ。身体の中で、1年以上かけて膨ませてきた風船が割れてしまう感じ。パンッって感じ。で、スーッと力が抜けてく。とにかくしばらくは原稿用紙を見るのもイヤだったんだから(笑)。振り返らせてもらうなら、今年で一番の喜びと充実感。アレは忘れませんよ」

――宇都宮さんが入院したとき、木根さんは結構厳しかったと聞いてますが……。

「そんなことはないですよ。心配したよ。でも、僕じゃなくても心配してやれるからね。誰も心配しないのなら、僕が思い切り労わってやるけど、彼に何万通、何十万通と応援してくれる人たちからの手紙が届いてたわけだから。そのうちの一部を持っていって、叱■激励したんだ。でも、ちょうど事の重大さと責任の重さがのしかかり始めてる頃だったから、あまり多くは言わなかった。僕までアレコレ言うのは可哀相だもの。"これ、ほんの一部だけど……みんなが心配してくれてるぞ"って。それだけ言って、手紙を渡したの。他に何も言わなくても、1通1通が心をこめて応援してくれているんだもの、それを読んで奮い立たないようなヤツじゃない。それは知ってるからね」

――で、4月に小説が出版されるわけですよね。

「今度は、僕がみんなから手紙をもらうことになったんだよね。"キャロル"を読んでくれた人たちから感想文がたくさん届いた。今度はジワーッときた」

――パンッじゃなくて?

「ジワーッだった。TMがいて、小説を書いた僕がいて、それを読んでくれた人たちが感想という形でメッセージを返してくれて……。その感想文に感動した。書いてよかったと思えた。それにファンの人とすごく近づけた気がした。1通1通にジワーッときたよね」

――4月18日、武道館からツアー再開。

「そこから、8月30日のファイナルまで一気に走り切る」

――その間はツアーだけですか。

「何してたんだろうね(笑)。だけど、6月頃から、第2弾小説のアイディアは練り始めてたんだ。みんなからの感想文を読んで、よし、また書こう"って気になれたから。今だから言うけど、6月から書き始めるって予定はあったの」

――うそでしょ(笑)。

「本当に」

――今、何月でしたっけ?

「12月(笑)」

――そういうのって"捕らぬ狸のなんとやら"って言うんじゃないですか。

「予定は未定だからね」

――8月30日のファイナルが終わったときの気持ちは?

「長かったからね。僕個人の中にも、TMの中にも、ツアー・スタッフの中にも、幾つものドラマを残したツアーだったから、僕だけじゃなくて、みんながそれぞれに感慨をかみしめたと思う」

――最終日の本番前にシミジミと話し合ったなんてことは?

「ないです(笑)。全員がテレ屋だからさ。それぞれの胸の中には、そういう思いがあるのに、それを隠したがっちゃう。逆に、妙にはしゃいだりするハメになるの。でも、お互いに、そう思ってるんだって信頼があるから、笑っていられるんだと思うけど」

――9月は?

「小説を書き始めようと思ったけど、そのまま過ぎちゃった(笑)」

――担当編集者のOさん怒ってませんでしたか。

「会うたびに"いつから書くんですか"って気にしてたみたい。10月から、本格的に第2弾小説の"ユンカース・カム・ヒアー"を書き始めた」

――11月は?

「まだ書いてた。それと僕がパーソナリティをやっている"えんぴつを削って"というラジオ番組が1周年を迎えた。前にやっていた"SFロックステーション"は小室の後を受け継いだ形だったから、自分でスタートさせて1年間もやったのは、これが初めてだからね」

――12月は?

「90年の準備に入ってます」

――浅香唯、村井麻里子、金子美香、田中裕子……今年もいろいろな人に曲を提供しましたよね。その作曲家活動については?

「マイペースでやれてる。どんな人にどんな曲を書いたのかわからなくなる状況は怖いから、これぐらいがいいペースかな、とも思う。例えば"アルバムのここに木根さんのメロディが欲しいんです"なんて頼まれるようだと嬉しいよね。でも、作曲活動だけで1年間を過ごしたくはないって気持ちもある。もっといろいろなところで発想してみたい」

――では、'89年の総括を。

「大きい1年でした。僕にとっては、'88年から続いてたから、2年分の総決算。去年の2月には、キャロルという具体的な名前まであって、コンセプトを進めてたんだもの。本当に、一粒の種を撒いて、芽が出て、それを育てて、花が咲いたって気持ち。その花の種が風に運ばれて違う街へいって、また花を咲かせてくれるんだろうなあって思う。そのひとつがキャロルのアニメ化だよね。僕がプロデュースするので、その準備も進んでいるところ」

NAOTO KINE

書き上げた喜びの大きさ、質、解放感は筆舌に尽くし難い

SCAN DICTIONARY

小室哲哉徹底解剖シリーズ SCAN。小室さんはできるだけわかり易く彼の世界を語ってくれたけど、中には難しい単語もあったようで…… ここで一挙に単語解説。もういちど、この事典をもとに SCAN を読み返してみて下さい。"彼"のことがもっとわかるかもしれません。

文●今津甲　撮影●大川直人

AS A GUEST PLAYER

デュラン・デュラン

〝デュラン・デュラン〟とはその昔、ジェーン・フォンダが主演したフランスのSF映画〝バーバレラ〟の中のヒーローの名前。バンド名はその名前をもって'81年にデビュー、「リオ」「プリーズ・テル・ミー・ナウ」「リフレックス」…といったヒットを連発。TMがデビューする'84年にピークをむかえた。『DRESS』で登場したプロデューサー、ナイル・ロジャースが後期デュランの作品を手掛けていたり、次に紹介するウォーレン・ククレロが在籍してたり、また、'89年2月22日・ビックエッグで哲哉との共演があったり…と、遠からずの存在でもあった。

ウォーレン・ククレロ

パーソンズ、プリプリ、バクチク、そして哲哉—日本のアーティストの間でも今だに人気の高いアメリカのグループ、ミッシング・パーソンズ。そのギタリストだったのがウォーレンだ。デュランはアンディ・テイラーの後がまとして参加。TMのアルバムでは『humansysetem』に参加している。また、哲哉のソロ・ツアーのサポート・ギタリストとしても登場。実験精神豊かなテクニシャンだ。

ファンク

'60年代にジェイムス・ブラウンが演りはじめたといわれるブラック・ミュージック。その始まりからして強力なリズムの組み立て方を持っていて、そのことが後にダンス・ミュージックの必須アイテムになっていった。哲哉のアマチュア時代のお気に入り、クール&ザ・ギャング、コモドアーズ、アベレージ・ホワイト・バンド等は全てファンクの要素を持っている。

エスニック

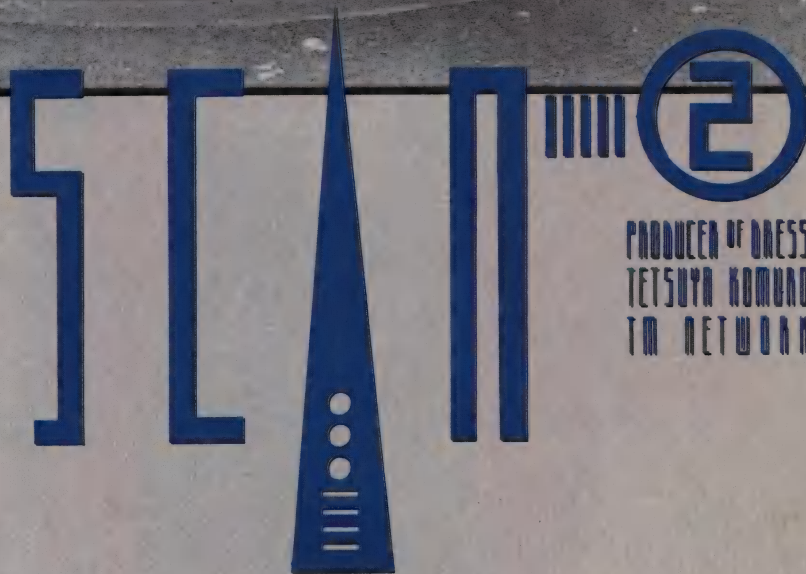
音楽の世界では民族音楽、ソレをベースにしたポップスなどを指す。現在製作中の〝天と地と〟のサントラも、西洋人からするとエスニックと呼ばれるかもしれない。

ショルダー・キーボード

シンセサイザーにトラップを付け、ギターやベースのように動きながらプレイできる様にしたもの。TMのステージではすでにおなじみの機材。

撮影●菅野秀夫

SCAN ②

PRODUCER OF DRESS
TETSUYA KOMURO
TM NETWORK

WALKING WITH THE DOG

西洋庭園の刈り込み

SCAN②では特に、フランスの庭園のことを指して言った。たとえば日本の庭園の木の刈り込み方っていうのは、理想的な枝ぶりになるよう自然さをベーシックに刈っていく。対してベルサイユ宮殿の庭で見られるようなカットの仕方は完ペキ人工的。円すい形に刈ってみたり、球形にしてみたり。これがイギリスとなると、もっとナチュラルな生かし方をしているようだ。

ユンカース

この号で一挙にメジャーになってしまった哲哉の愛犬、シュナウザー種のネーミング。で、ユンカースというのはメッサーシュミット、ハインケル、フォッケウルフと並んでヒットラー時代のドイツを代表した飛行機メーカーの名前。

ペット・ショップ・ボーイズ

現在も大活躍中のイギリスのグループ名。もともとアメリカの黒人音楽を意識していた彼等、ここのところはハウス・ミュージック仕立てのサウンドをバックに、ブルーアイド・ソウルな歌をのせている。最近ではグラミー賞女優／シンガーのライザ・ミネリのアルバムをプロデュースしたことで話題となった。

セントラル・パーク

ニューヨークはマンハッタン島のど真ん中に広がる公園。超高層ビルに囲まれながらもリスが生息していたりもする。ジョン・レノンが住んだダコダ・ハウスも同公園に面している。(彼が死んでからストロベリー・フィールズという一画も作られた)

ハイド・パーク

セントラル・パークがNYCを代表する公園だとしたらこちらはロンドン最大のパーク。セントラルでサイモン&ザ・ガーファンクルが一大コンサートを開いたことがあったように、かつてローリング・ストーンズが50万人を集めてコンサートをおこなったこともある。ロンドンにレコーディングをしに行った日本人アーティストが、かならずといってもいいほど足を運ぶ場所、足を運んで詞を考えたりする場所、でもある。

撮影●ハービー山口

SCAN 3

PRODUCER OF DRESS
TETSUYA KOMURO
TM NETWORK

PRODUCER OF DRESS

ユーロビート

バナナラマ、カイリー・ミノーグ、リック・アストレーから一時の荻野目洋子まで、'80年代後半のダンス・ミュージックのメイン・ストリームとなったのがユーロビート。その基本形はラテンと'70年代ディスコ物をミックス、コンピュータ・ミュージックとして再生したもので、そこにシンプルなメロディーがのっかっている。ブームの立役者はマイク・ストック、マット・エイトキン、ピート・ウォーターマンという3人のイギリス人、通称ストック／エイトキン／ウォーターマンだ。

プロデューサー

1つの作品を作り上げていくための人選、予算管理、対外的な交渉、コンセプト作り、など、トータルなまとめ役の立場にいる人のことをプロデューサーという。音楽の世界では——特に日本の音楽界では——直接的な音楽づくりのことだけにかかわるサウンド・プロデューサーが主流だ。

レゲエ

'50年代にアメリカのブルースやR&Bをジャマイカ流に解釈したスカ、その発展形のロックステディを経て、'60年代末に登場した音楽。'70年代中期、ボブ・マーレーによってワールド・ワイドなものになった。ちなみにジャマイカのミュージシャンのことをラスタ・マンというのは、彼等がラスタファリズムという奴を信仰しているから。それは世界初の黒人帝国だったエチオピアに帰ろうというもので、レゲエ・カラーの赤／黄／緑というのはエチオピアの国旗の色からきている。

リミックス

一度完成した曲の各パートのバランス、定位、エフェクト処理などを変更して、再度ミックスし直すこと。「DRAGON THE FESTIVAL」や「COME ON LET S' DANCE」のにインチが好例。

FANKS

言わずとしれたTM用語。FUNKYプラスPUNKプラスFANイコール、という奴。'86年から使われて、'89年に見事復活した。

撮影●三浦憲治

カルチャー・クラブ

'80年代頭のデビュー当時は「あのボーカリストは男、それとも女?」と騒がれもしたボーイ・ジョージ。彼がひきいたバンドがカルチャー・クラブだった。でもって初期のボーイのトレード・マークは織り込みビンビンのロング・ヘア。そのヘア・スタイルは、同時期に出たカジャ・グーグーと共に哲哉の目をひいた模様。

ジャン・ポール・ゴルチェ

近未来的なファッション観を盛り込んだデザインで注目されたフランスのデザイナー。最近ではシチズンと組んでオリジナル・ウォッチを出したり、低価格の〝ジュニア・ゴルチェ〟ブランドを作ったりもしている。また、'89年にはハウス・ミージックに取り組んだアルバム『AOW TOU DOU ZAT』もリリースした。

H・R・ギーガー

映画〝エイリアン〟〝エイリアン2〟のデザインで世界中に知れわたったスイス人の画家。一部の洋楽ファンにはELP'73年のアルバム『恐怖の頭脳改革』のアルバム・ジャケットを手掛けた人、として有名だった。内蔵感覚の画風が激しい。

M・C・エッシャー

低い所に向かって流れていた水が気がつくと高い所に向かっていた、みたいないわゆる〝だまし絵〟を描く大家。日本でもミュージシャンの間にファンが多い。

ドナ・サマー

'70年代の終り、ジョルジオ・モロダーと組んで「アイ・フィール・ラブ」を大ヒットさせたドイツ生まれの黒人シンガー。ユーロービートの基本を作った人ともいえる。

ピート・ハモンド

「GET WILD'89」でおなじみのエンジニア/プロデューサー。ユーロビートの仕掛け人の1人、ピート・ウォーターマンの会社、PWLに所属している。ストック/エイトキン/ウォーターマンが手掛けた作品の大半は、この人がミックスを担当した。

ON FRIDAY, IT IS DRIZZILING

PRODUCER OF DRESS
TETSUYA KOMURO
TM NETWORK

撮影●北岡一浩

リズム録り

今のレコーディングでは曲の各パートで別々に録音してソレを重ねていくという方法が主流。そうした場合、歌よりも何よりも、まず最初に録られるのがドラムス パート、そしてベース・パート。このリズム楽器を録音する部分のことをリズム録りという。

シュミレーション

たとえば自動車を設計する時、1／4スケールや実物大の模型を作って空気抵抗をチェックしたりする。飛行機のパイロットは実際に空を飛ぶ前に地上で、本物そっくりのシュミレーター（操縦室だけを独立させたもの）を使って訓練する。シュミレーションとはそういう擬似体験のこと。SCAN⑤の中で哲哉は、頭の中で想い描いたレコーディングの過程のことをシュミレーションと言っている。

プリ・プロダクション

プリとは〝前〟、プロダクションとは〝製作〟という意味。レコーディングという製作の前にやっておかなくちゃならないことをプリ・プロダクション、略してプリプロなどという。具体的にはデモ・テープ作りなんかがプリプロの範囲に含まれる。

ヘビメタ

ヘビィ・メタル。もともとは皮ジャンとデニムがピッタリのハードで攻撃的なロックなことを指していた。けれどボン・ジョビなんかがLAメタルとか呼ばれるようになって正体不明に。日本では最近、野沢直子なんかがネタにしている。

キカイーシンクラビア

SCAN⑤の時点では単に〝キカイ〟という言い方をされていたのがシンクラビア。哲哉をして「今後10年に対応した1台」というだけあって、ソレがカバーしている所はやたらと大きい。シンセサイザーでもあり、サンプリング・マシーンでもあり、テープレス・レコーダーでもある。おまけに出てくる音はCD以上のハイ・クオリティー。これはやっぱり〝ギカイ〟と呼ぶしかないかもネ。

IN THE STUDIO

撮影●小木曽威夫

吸血鬼(バンパイアー)ハンターD

和製アニメの王道、ゴーストバスターズ物。小室哲哉が初めて音楽を手掛けた映画でもある。その音は'85年11月1日リリースの12インチ・シングル「YOUR SONG」(同映画のテーマ曲)、同曲の別バージョンとサントラを組曲化したナンバーを収めたミニ・アルバム『TWINKLE NIGHT』(同年11月28日発売)、そして映画公開と同時に発表された『吸血鬼ハンターD』(12月21日発売)で聴ける。

フランシス・レイ

'60年代のフランス映画音楽の巨匠。当時の作品の多くは今やスタンダード・ナンバーと化している。ストリングスとピアノをからめた切なく明るいメロディーが特徴。

トムー・クルーズ

映画〝トップガン〟で一躍ビッグ・ネームにのしあがったアメリカの若手男優。マット・ディロンと並ぶ青春モノ、サクセス・物のスター。

タンジェリン・ドリーム

早くからコンピュータによるシンセサイザーの自動演奏を試みてきたドイツのグループ。このところサントラの仕事を多くこなしている。

マイク・オールドフィールド

デビュー・アルバム『チューブラー・ベルズ』が映画〝エクソシスト〟のサントラに起用されたことで大ヒットしたイギリスのマルチ・プレイヤー。'73年に発表されたその作品はあのヴァージン・レコードの第1回新譜でもあった。映画〝ギリング・フィールド〟のサントラ番も彼が手掛けている。

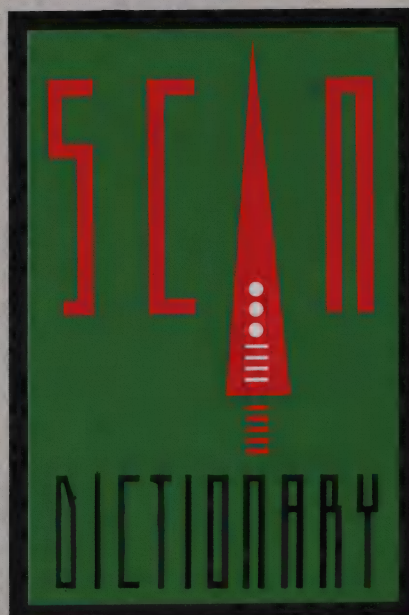
宮崎駿―久石譲

〝風の谷のナウシカ〟〝天空の城ラピュタ〟〝となりのトトロ〟、そして〝魔女の宅急便〟。宮崎駿監督、一連の大ヒット作の音楽をずっと手掛けてきているのが久石譲。今や同監督と一心同体といった存在の人だ。一方でNHK TVの〝人体〟やCM、自らのソロ・アルバムのリリースなどもしている。特に弦楽器を使った作品で泣かせるメロディーを生み出す人。

THE WORLD OF TETSUYA KOMURO

SCAN 6

PRODUCER OF DRESS
TETSUYA KOMURO
TM NETWORK

撮影●大村克己

TM NETWORK SCAN DICTIONARY TETSUYA KOMURO

10	9	9	8 8〜1

28 27〜23 21〜18 17 16 15 14 13〜12 10 9 8〜4 2〜25 23 22〜20 19〜18 15 14〜11 8〜7 6〜4 3〜1 31〜30 30〜7

- CAROLツアー全国を廻る
- CAROLツアーFINAL終了
- レコーディング
- 角川映画『天と地と』ロケ視察 in CANADA
- レコーディング in ロンドン
- フォトセッション in ロンドン
- トックダウン in N.Y.
- ARR TOKYO
- ヤマハEOS フォトセッションVTR収録
- フジテレビ「夜のヒットスタジオ」出演
- レコーディング
- ラジオ録り
- レコーディング
- レコーディング
- 銀座音楽祭
- レコーディング
- レコーディング
- ヤマハEVENT
- レコーディング
- F1前夜祭
- テレビ朝日「徹子の部屋」収録
- レコーディング
- レコーディング
- デモテープ制作

12	11

31 30 29 28〜27 25〜24 22〜21 19 17〜16 14〜11 10〜9 8 7〜26 25 23〜20 17〜13 11 10〜6 4 1〜30

- 取材
- ラジオ録り
- レコーディング
- 取材
- レコーディング
- ラジオ録り
- 『天と地と』レコーディング
- バチ▼バチ・スタイルインタビュー
- ツアー・リハーサル
- ツアー・ゲネプロ
- ツアー・リハーサル
- ヤマハEOSイベント
- ツアー
- ツアー
- ヤマハEOSイベント
- 横浜アリーナLIVE
- ツアー
- ファン・イベントNKホール
- TBS「レコード大賞」リハーサル
- TBS「レコード大賞」

TETSU'S SCHEDULE '89

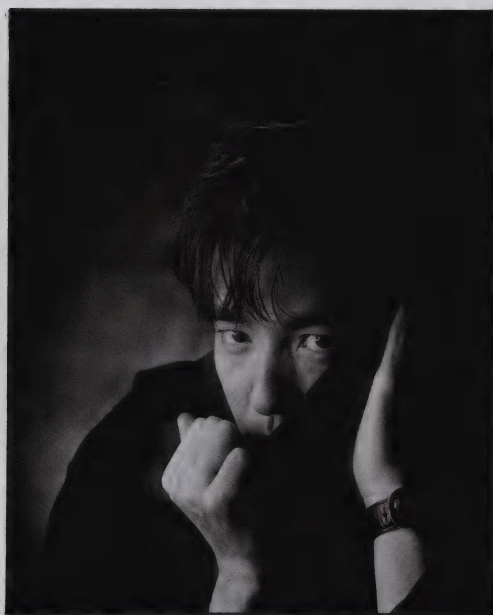
●スケジュールを見てもおわかりのとおり、多忙を極めた小室哲哉、「天と地と」のサウンドトラックソロアルバムのレコーディング、ソロツアーのリハーサル、そして曲を提供した人たちのレコーディング……。もちろん作曲もやっているわけで、才能は休ませてもらえない。そんな多忙の中しかしたった1本の取材にも誠実な彼である。

PHOTO●HIDEO CANNO (P.44) TAKEO OGISO (P.45)

UTSU'S SCHEDULE '89

12　11　10　9 8〜1

31 30 29 23〜10 3 〜 1 28 27 25 13 11 7 5 3 〜2 28〜26 22〜20 16 15 13 9 8 〜7 1 〜30 28〜27 23 15 1 30〜 7

CAROLツアー全国を廻る
〜
CAROLツアーFINAL終了
ラジオ録り
パチ▼パチ取材
ラジオ録り
フジテレビ・ドラマ「LUCKY
天使、都へ行く」リハーサル
「LUCKY……」北海道ロケ
ドラマリハーサル
ドラマ収録
銀座音楽祭
ドラマ収録
ドラマ収録
ラジオ録り
ドラマ収録
ドラマ収録　マザー牧場ロケ
ドラマ収録
ドラマ収録
取材
ドラマ収録
TVインタビュー
ドラマ収録
ドラマ収録
取材
「LUCKY……」北海道ロケ
in N.Y.
ファンイベントNKホール
TBS「レコード大賞リハーサル
TBS「レコード大賞」

●FANKSの目をステージに釘づけにさせ、フラフラになるくらい踊らせる役目を、アクシデントを乗り越えて全うした彼。秋からはテレビの前に釘づけにさせてくれた。新しい世界は彼にとっても新鮮だったにちがいない。

PHOTO●YOSHIAKI SUGIYAMA (P.47)　HIDEO CANNO (P.46)

9 8〜1 / 10 / 11 / 12

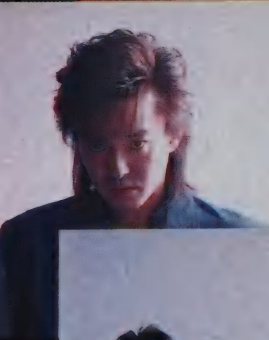
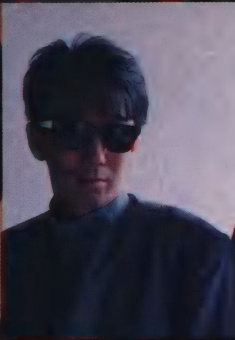
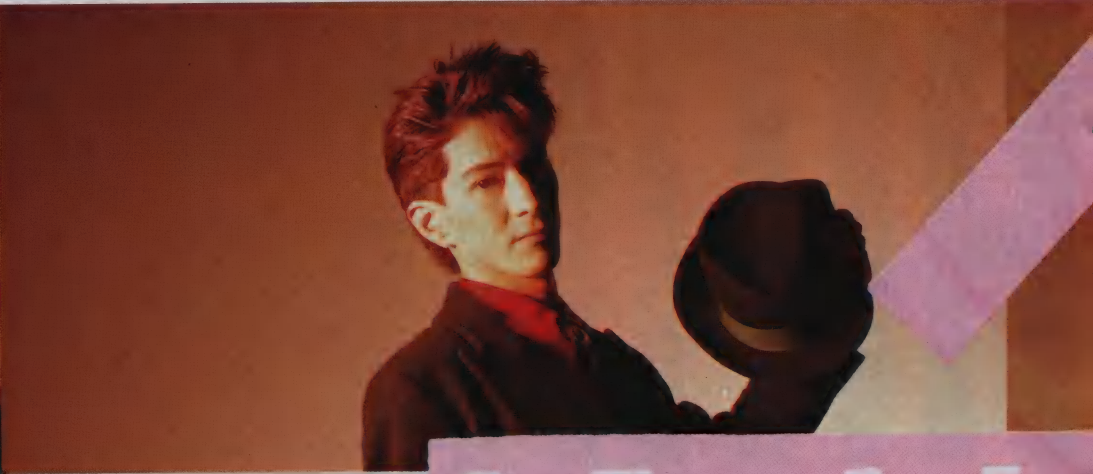
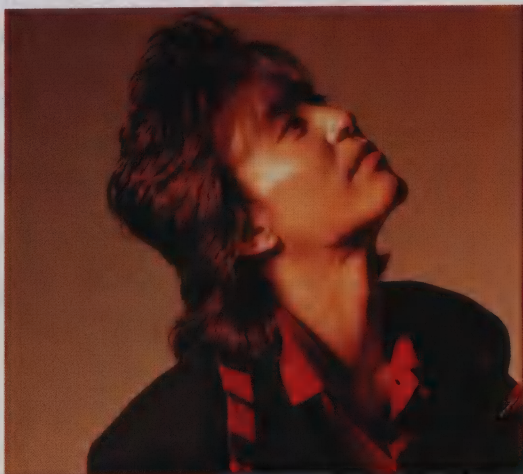
7〜30 1 4 15 16 20 22 23 27 5 9 14 17 29 30 31 2 4 14 24 30 6 11〜14 21〜22 29 30 31

CAROLツアー全国を廻る
CAROLツアーFINAL終了
ラジオ録り
ラジオ録り
バチ▼バチ取材
ラジオ録り
ラジオ特別番組収録
ラジオ録り
ラジオ録り
取材
ラジオ録り
銀座音楽祭
ヤマハEVENT
デモテープ制作
「フレッシュサウンズコンテスト」司会
デモテープ制作
取材
ラジオ録り
ラジオ録り
ラジオ録り
取材
ラジオ録り
TVインタビュー
ヤマハEOSイベント
ヤマハEOSイベント
ファンイベントNKホール
TBS「レコード大賞」リハーサル
TBS「レコード大賞」

KINE'S SCHEDULE '89

●ツアーの合い間に執筆活動。書き上げた長編第一作がベストセラーとなった作家。本根尚登は秋から第２作目に取り組み、アニメーション、「CAROL」のプロデュースも始めた。

PHOTO●HIDEO CANNO

TWORK

T M N E

AMA

KOME KOME CLUB

Oh‼ FUJIYAMA。1989年の米米CLUBの活躍ぶりは、この雄大な富士山の姿が象徴しているがごとく、でありました。美しく我等の富士山、I LOVE JAPAN。改めておがみましょうで。さてさて皆さんが参加してくれた「Ó顔NI NURU^{2}コンテスト」の発表ですよー。

PHOTO by KENJI TAGUCH, ATSUSIUEDA, YASUHIDE KUGE, GORO IWAOKA, NAOTO OHKAWA

FUNK FUJIY

応募総数5237通。決定！全日本Ó顔NI NURU²コンテスト。

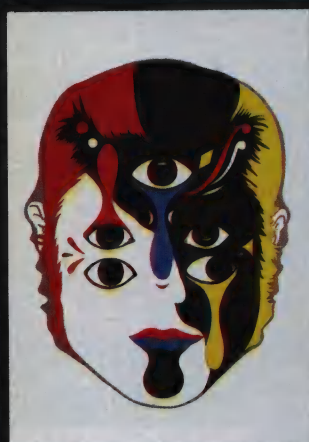
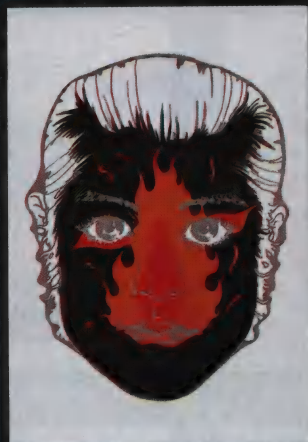
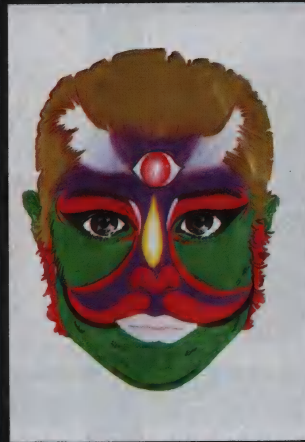
O顔NI NURU²コンテスト

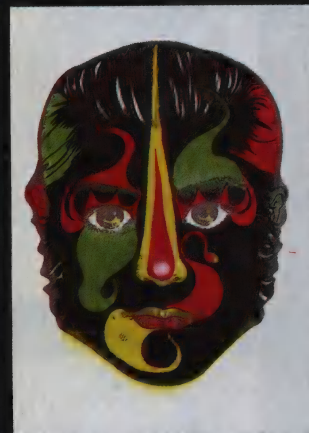
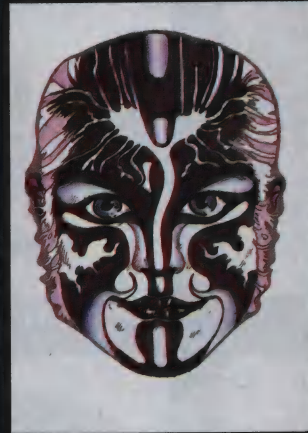
1980年代を締めくくったこの一大コンテストに、世界各国から多数の御応募があったことを、パチ▶パチ編集部をはじめ、米米CLUB、(株)シャリシャリズム、(株)CBS・ソニーレコード、関係者一同大変感謝しております。たくさんの御応募、誠にありがとうございました。続く1990年代も、皆様の益々のご活躍とご発展を、心よりお祈り申しあげます。敬具。1989年12月吉日

カールスモーキ石井賞

何より色彩がすばらしいと思いました。目の白と口びるの白をあわせているところなんか、大スキです。(カールスモーキ石井)　東京都　CHIBAさん

特　別　賞

1等賞！　やったぜベイビー　パンチがきいている！（BON）　誰が誰だかわからんぞ〜！（RYOJI）　ふざけるな！（F・金子）　兵庫県　松井愛さん

RYOJI賞　城戸香名子さん

BON賞　武藤泰子さん

J·T賞　徳永佐知子さん

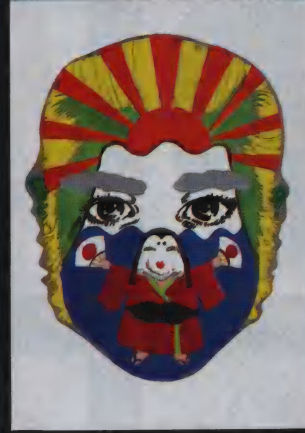
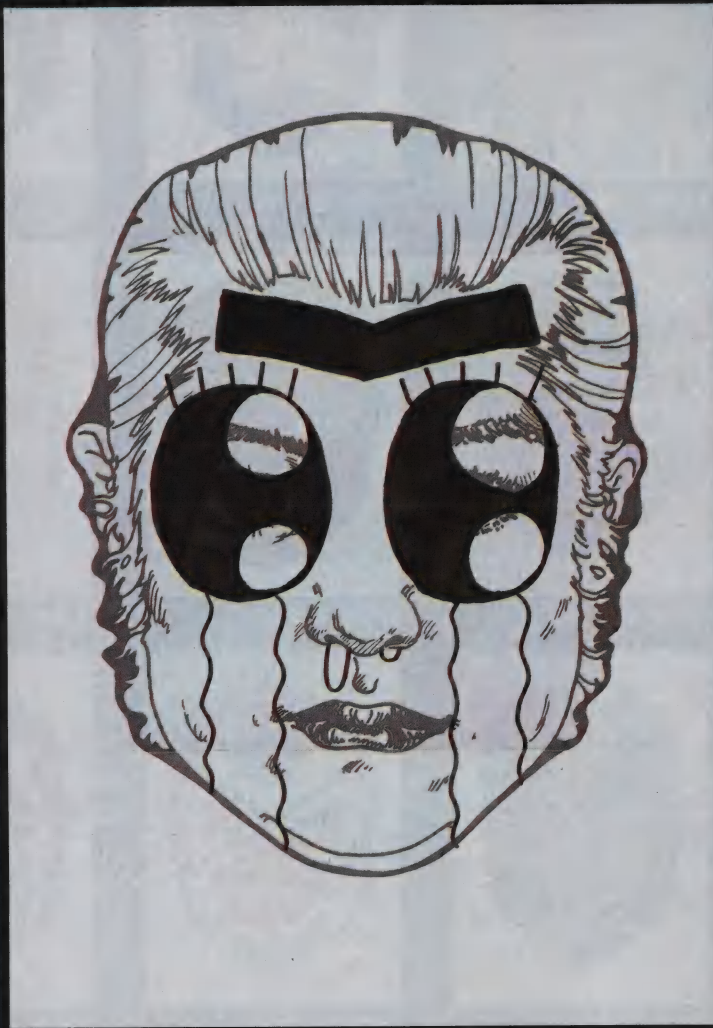
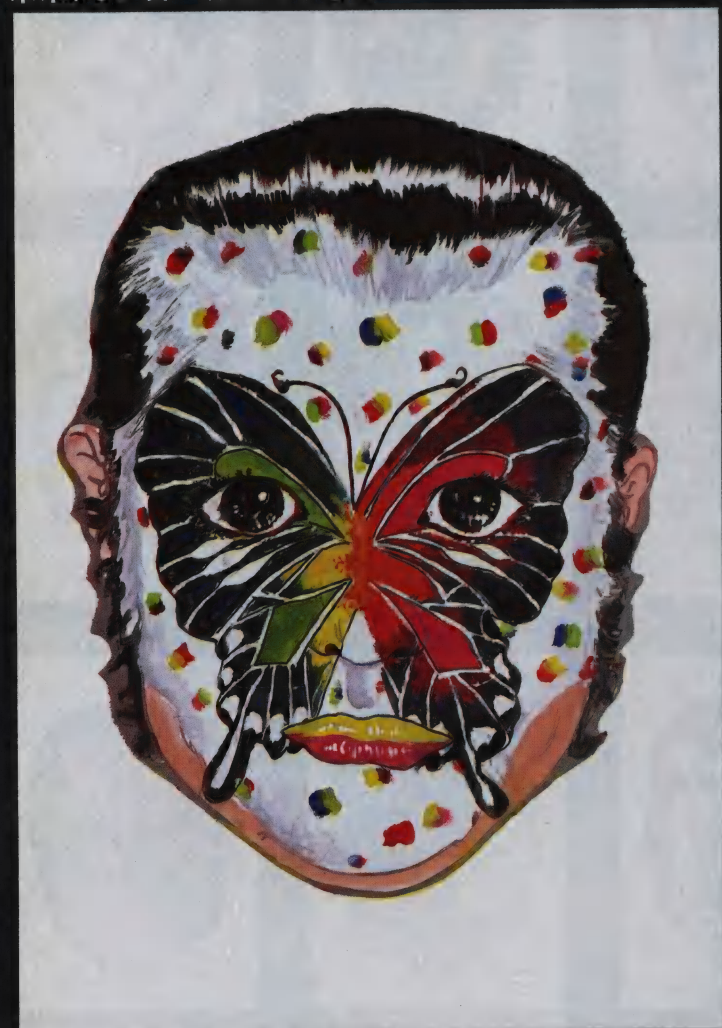
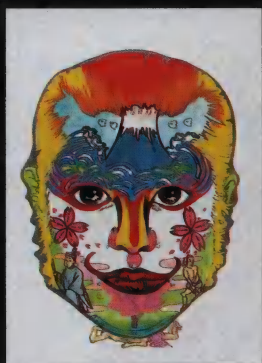
J·O賞　田中陽子さん

M・K賞　きくちりえさん

米米クラブ賞　藤原聡子さん

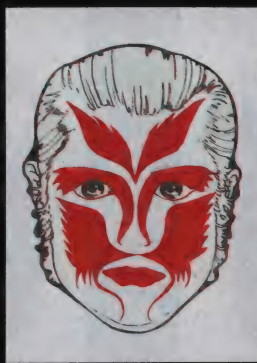
MINAKO賞　下村一さん

MARI賞　長谷川弥生さん

米米クラブ賞　加藤辰也さん

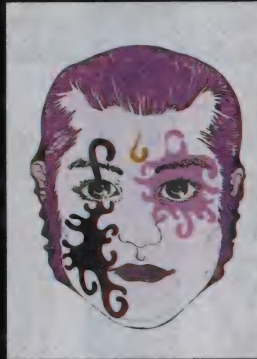
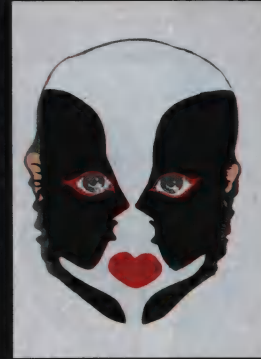
F·K賞　川瀬治美さん

パチパチ賞

秋田県　小林道子さん

千葉県　塚田貴子さん

愛媛県　三宅麻理さん

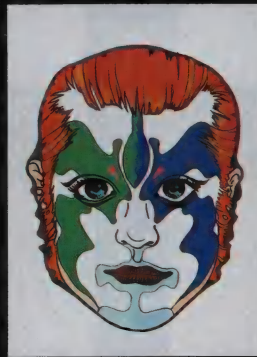
北海道　高崎由紀子さん

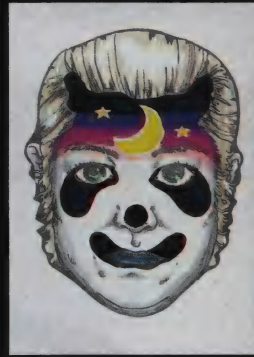
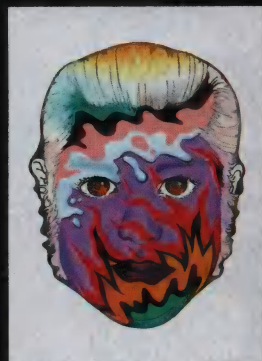
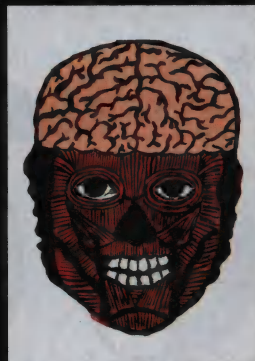
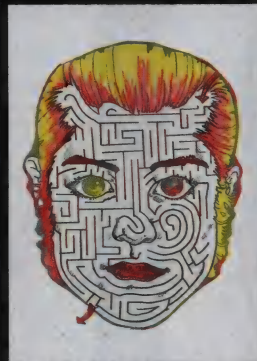
埼玉県　田窪幸枝さん

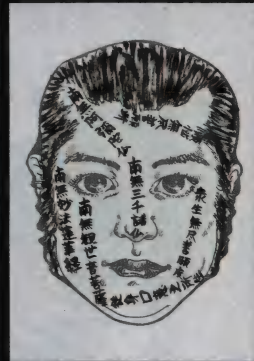
群馬県　福田有紀子さん

千葉県　平沢恵子さん

大阪府　稲見博子さん

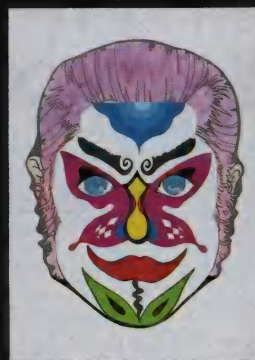
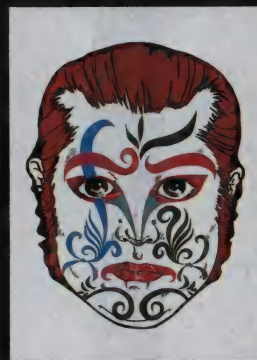
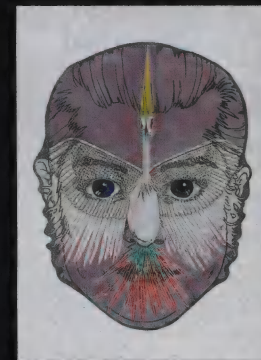
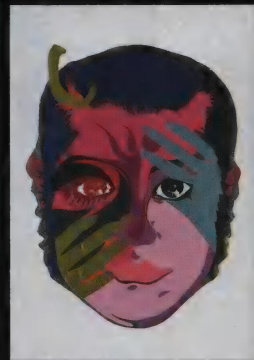
東京都　小原若菜さん

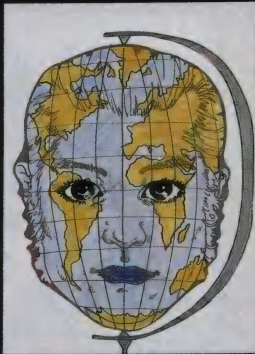
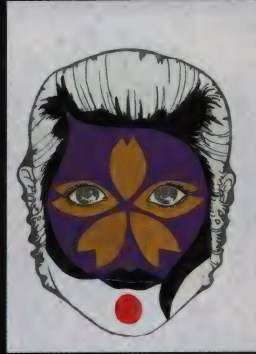
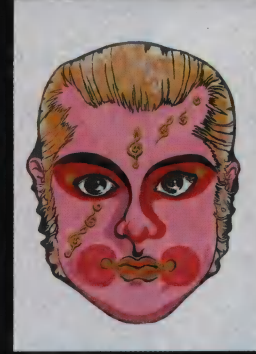
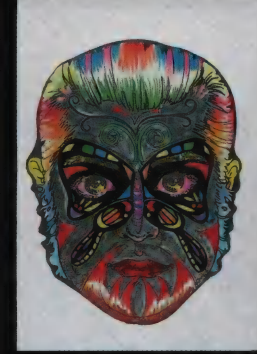
東京都　三浦薫さん

大阪府　長谷有槻子さん

岡山県　ＫＡＺさん

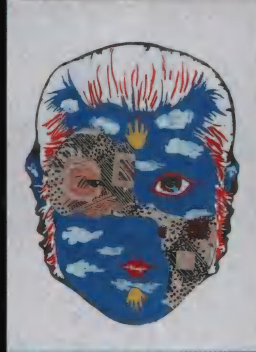
京都府　川村佳子さん

神奈川県　浜達也さん

北海道　小倉一雄さん

静岡県　高橋正樹さん

千葉県　大鐘由美さん

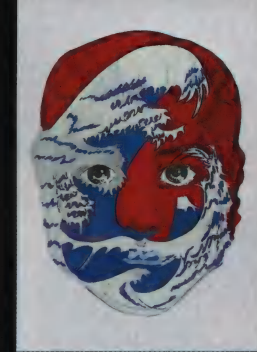
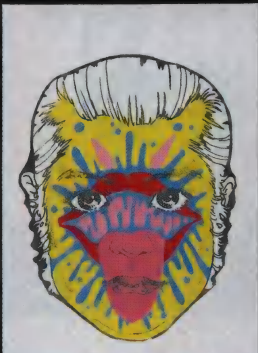
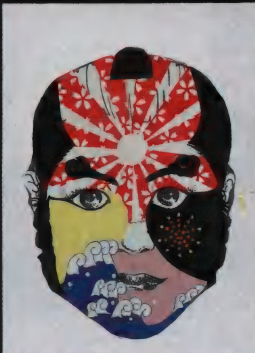
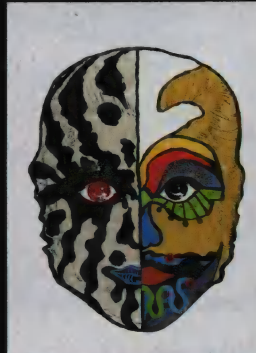
宮崎県　片平桂子さん

北海道　牧理子さん

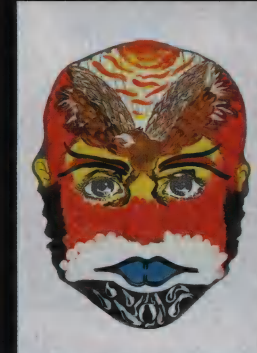
熊本県　村上廣美さん

栃木県　渡辺晴美さん

茨城県　辻紀子さん

千葉県　駒見ちはるさん

大分県　原田悦子さん

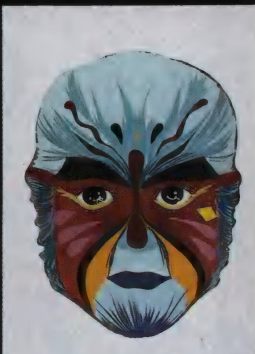
埼玉県　田中美香さん

石川県　山本恭子さん

京都府　安達薫さん

秋田県　大場しすえさん

神奈川県　古沢紀子さん

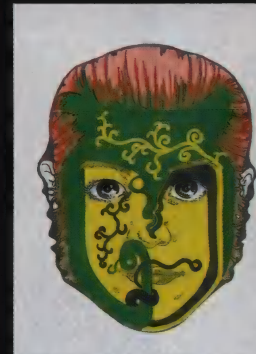
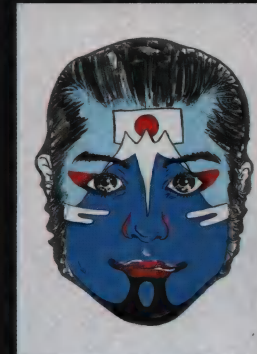
東京都　大久保晴美さん

愛知県　ちーちさん

兵庫県　尺田由紀子さん

愛知県　高木大介さん

京都府　真鍋靖子さん

岩手県　榊和也さん

北海道　八幡えりあさん

北海道　岡忍さん

富山県　田伏寛さん

千葉県　斎藤幸恵さん

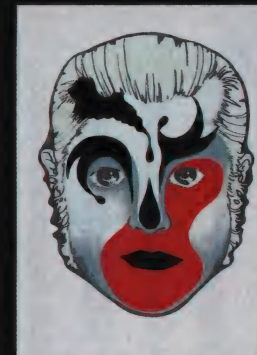
埼玉県　田中利江さん

岡山県　大倉香織さん

福岡県　三小田和代さん

京都府　吉岡真由美さん

静岡県　寺田吏恵子さん

東京都　平川佳世さん

東京都　松原英恵さん

青森県　漆舘洋子さん

茨城県　藤田直子さん

静岡県　岡本カグミさん

KOME KOME CLUB

1989

1989 KOME KOME CLUB

何か本当で何がウソか。どこまで本気でどれだけ遊びか。大袈裟な素振りの隠に、フトした細かい心使い。初なはずがないのに、まるで子供のように純粋な瞳。とても不思議だけれど、それは底なし沼のごとく、溢れ続けるパワー。そんな彼等から目が離せない。もて遊び、もて遊ばれる、微妙なつな引き。もう、どうにも止まらない。

2 2MUCH 21ST C CO-CONGA

LIVE KICK KNOCK

KOME KOME CLUB

CARL-SMOKY ISHII

KOME KOME CLUB

JAMES ONDA

KOME KOME CLUB

JOPLIN TOKUNO

KOME KOME CLUB

BON

KOME KOME CLUB

FLASH KANEKO

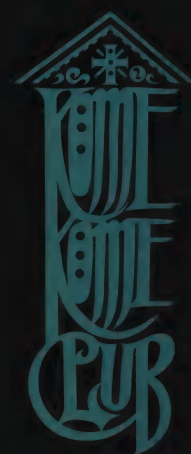
KOME KOME CLUB

RYO-J

KOME KOME CLUB

MARI

KOME KOME CLUB

MINAKO

PATi▶PATi PRESENTS

米米CLUBスペシャルラジオ［5½パーティー］

FIVE HALF PARTY RADIO

ムの本

DA HON

企　画

CBS・ソニーレコード　パチ▸パチ編集部　米米クラブ

監　修

御領博（CBS・ソニーレコード）

脚　本

萩原健太　カールスモーキー石井（米米クラブ）

制　作

赤坂[illegible]

記　録

山崎恵理子（パチ▸パチ編集部）

演　出

萩原健太

出　演

（米米CLUB）　ボン　ジェームス小野田　カールスモーキー石井

ジョプリン得能　リョウジ　フラッシュ金子　ミナコ　マリ

挿　入　歌

「KOME KOME WAR」　作詞・作曲・歌／米米CLUB

「OH！ ×GOD！」　作詞・作曲・歌／米米CLUB

「SEXY POWER」　作詞・作曲・歌／米米CLUB

「BEE BE BEAT」　作詞・作曲・歌／米米CLUB

「TIME STOP」　作詞・作曲・歌／米米CLUB

放　送

FM北海道　青森放送　山形放送　FM秋田　FM岩手　FM仙台

FM新潟　FM長野　TBSラジオ　FM静岡　FM三重　FM福井

FM富山　ラジオ関西　RKB　FM大阪　FM香川　FM愛媛

FM山陰　FM出口　広島FM放送　FM中九州　FM宮崎　長崎放送

南日本放送　大分放送　FM沖縄

著　作

CBS／SONY　RECORDS

KOME KOME CLUB

「♪米米クラブのファイブハーフパーティ、あいやぁ〜」

（ノックの音　2回）

（CS石井）「村田さん、村田さん」

母（ミナコ）「はい」

「あ、郵便ですよ」

母「あ、御苦労様」

「これ。……はい」

母「郵便、郵便」

「奥さん、地方出身ですね。じゃあっ」

母「うふ、やだ（笑）えーっと、これは誰かしら。あ、よしかずへの手紙だわ。よしかずぅ、よしかずぅ……」

村田（ボン）「なに、なにママ。なに？」

母「手紙が届いてるわよ」

村田「え？　手紙、手紙。なに、なに」

母「はい」

村田「僕に？……なんだ、村田よしかず様。誰からだぁ……ん？　センパイ。あっ、先輩からだ……そうだよな、一年前、シカ位の大きさのアレがいなくなってから、先輩どっか行っちゃったもんな……開けてみよ……何て書いてあんだろ……よしっ」

先輩の手紙「村田、元気か。先輩は元気です。あれから一年が経った。俺は今、山にこもって、アレを育てている。お前のシカくらいの大きさのものを見てからというもの、俺は発奮した。ブツブツと発奮したんだ。俺が育てているアレは、色ツヤもよくなり、今ではもう、ゾウぐらいだ。へへへッ……いいものだ。そろそろお前にも見せてやる。山に来い。お前に絶対、フルフルのモーメントを味あわせてやる。では、さようなら。P・S　奥さんは元気かい？　へへへッ……」

村田「　そっかぁ……フルフルかぁ、うーん、よぉし、先輩がこもっているという、山へ行ってみようっ」

▼「FUNK FUJIYAMA」にのせ、CS石井よびかけ。

「ハイ、ハイ、ハイ、エビバディ、ウエルカムトゥアウワショウ、ディスイズ米米クラブだ。マイネームイズ、ジョージシゲタだよ。怒涛のギャグと強力なミュージックの連発で、君をあなたを私を僕を笑いと快楽のパラダイスへとウィゴナインバチュウ。ドップシはまって、タップシ楽しんでくれぃ。米米クラブのファイブハーフパーティ！　まずは1曲目とシャレ込むぞぉ。米米クラブ、FUNK FUJIYAMAだい」

▼「FUNK FUJIYAMA」

娘（マリ）「お母さん、ごはんまだ？」

母（JO）「まだまだよ」

娘「お母さん、ごはん！」

母「まだまだ、終らないわよ」

娘「お母さん、ごはんっ」

▼「FUNK FUJIYAMA」流れる

CS石井「米米クラブのファイブハーフは、自信の14曲、5と½でごはん」

娘・母「ごはん、ごはん」

CS石井「米米クラブのファイブハーフ、ごはんで、ホームランだ。」

娘・母「ワーイ」

CS石井「米米クラブのニューアルバム、ファイブハーフ、絶賛発売中！」

ボン「これっうまいっ」

J得能「うまい、うまい、うまいっ」

J得能「　これっうまいっ」

F金子「こいつは、とてもじゃないけど」

CS石井「ファイブハーフだね」

ボン「これ、うまい」

CS石井「そうさ、ファイブハーフさ」

J得能「米米クラブ、マウイミックスダウンッ」

（全員）「ファイブハーフは、ごはんっだねっ」

CS石井「米米クラブのニューアルバム、ファイブハーフ、絶賛発売中！」

父・娘「♪ごはん、ごはん。ごはんごはん」

娘（ミナコ）「パパ、おいしいね」

父（JO）「うん、5枚目半の、ニクイやつさ」

娘「ハハハハハ。パパの、いくじなしっ」

父「よぉし、明日から、がんばるぞっ」

CS石井「充実のマウイミックス、米米クラブの5枚目半、ファイブハーフ。ごはんって呼んでね」

父「そゆこと」

娘「あら怖い、キャー」

CS石井「米米クラブのニューアルバム、ファイブハーフ、絶賛発売中！」

▼（音楽）

全員「米米クラブのっ」

JO「ファイブハーフパーティ」

▼（音楽）

ナレーター（CS石井）「西暦3001年、今、世界は滅亡の危機にさらされていた。海は荒れ、火山は怒り、空は闇につつまれ……全ては、悪の化身、闇の魔道師、ンポチの仕業だった。怒りと憎しみに満ちあふれたンポチは、恐るべき呪文、「オーマラン、コーマラン、クリクリッ、スーカデオイニーゴイス」を武器に、破壊に破壊を重ねた。世界は滅亡するのか。誰にもンポチを止められないのか。そんな時、すい星のごとく現われたのが、正義の魔術師、魔法使いマコちゃんだった。マコちゃんの武器は、愛の呪文「オーナメコナメ、チューチュースイツキプットデタ花火がキレイダナ」。マコちゃんは愛の呪文で地球を救えるのか。地球最後の戦いが、今、はじまる」

（爆発音と機械音）

ンポチ（JO）「滅してやる、行くぞっ。オーマラン、コーマラン、クリ　クリッ。スーカデオイニーゴイスッ」

マコちゃん（J得能）「なんの、反撃だっ。オーナメコナメ、チューチュースイツキ、ピュットデタ花火がキレイダナッ」

ンポチ「オーマラン、コーマラン、クリクリッ。スーカデオイニーゴイスッ」

マコちゃん「なになにっ。オーナメコナメチュウチュウスイツキ、ピュットデタ花火がキレイダナ」

ンポチ「オーマランコーマラン・クリクリッ。スーカデオイニーゴイス」

マコちゃん「オーナメコナメチュウチュウスイツキ…」

ンポチオーマランコーマランクリクリクリッ……」

ナレーター「二人の戦いは果てしなく続く」

▼（音楽）

村田「ハア。ずいぶん、すごい所まで来ちゃったなあ。薄暗くて気持ち悪い所だなぁ」

（カエルの鳴き声）

（フクロウの鳴き声）

村田「あーこわいよ。なんだよ、こんな所。なんなんだよぉ。…ワァッ。どうしよう…あっなんだ、あそこにポツンとある。あそこに行ってみよう。……ハァハア。ここの家かなぁずいぶん、汚い家だなぁ。あっ表札がある。カマボコの板に書いてある。宇都宮先輩。ここだ、間違いないや」

（ドアをたたく音）

村田「先輩っ」

（ドアをたたく音）

村田「先輩っ…いないんですか」「いませんよ」

村田「あれ？　なんか声が聞こえたぞっ……あ、ドア開いてるわ。よぉし、入ってみよう」

（ドアの開く音）

村田「うわっなんだこのクモの巣は。…薄汚なくて、気持ち悪い所だな。先輩っ。先輩っ」

先輩「ヒヒヒッ」

村田「えっ。何か声がきこえたような気がするけど。しょうがないなぁ、先輩っ。あぁ、もう早くあれが見たいよぉ。どうしよう。あ、そうだ。詩を書いてきたんだ。先輩っ。いるんだったら、聞いててくださいねっ。あれのために詩書いてきたんです。聞いてください。（セキバライ）読みますからね。…えっと…あれのココロ…あれのココロは俺の物。俺のココロはあれの物。どうせあれなら、杉の花粉の臭いで、あれはくしゃみをする。あれはたらす。オーマイラブ、ラブミーブラブラ、電気ブラのメバブルブル震るえだす。フルフルすれば、たらす。…こっから繰り返しです。オーマイラブ、ラブミーブラブラ、電気ブラ…」

KOME KOME CLUB SPEC

先輩　「村田っ」
村田　「先輩っ。いるんなら、早く出てきてほしかったんですよあうん、あうん…どうしたんですか先輩」
先輩　「興奮してるんだ」
村田　「興奮してるんですか」
先輩　「一先振りの人間だからな」
村田　「え。全然人に会ってないんですか」
先輩　「おい、村田」
村田　「なんですか」
「でかい声出すんじゃねぇよ」
村田　「だって。あれを見せてくれるんでしょ」
先輩　「見せてやるよ」
村田　「…あのゾウぐらいの大きさになった、手紙に書いてたやつ、ほ、本当なんですか」
先輩　「(笑)まぁな」
村田　「ええ。見たいな」
先輩　「ま、お前んちの、おふくろにも、見せてやりたいよな」
村田　「え? ママのことですか」
先輩　「ママなんて言うんじゃねぇ。奥さんだろ? 」
村田　「(笑)何言ってんですか、先輩」
先輩　「いたぶってやるか」
村田　「なに言ってるんですか」
先輩　「ヒヒヒッ。冗談だよ」
村田　「早くゾウぐらいのあれを見してくださいよ」
先輩　「どうしようかなあ」
村田　「どうしようかなって。わざわざこんな山に来たんですよ」
先輩　「よおしわかった。今日は帰れ」
村田　「なあんてこと言うんですか」
先輩　「いいな。今日は帰って、明日見にこい」
村田　「だってもう、こんな夜遅いし、やですよ」
先輩　「あれが怖がるんだよ」
村田　「夜だと怖がるんですか」
先輩　「それになあ、お前は声がでかいんだよ」
村田　「ちっちゃな声でいいですから」
先輩　「ちょっともうちょっと、静かなフルフルした声でいいなさい。へへヘッ」
村田　「ど…ど…こういう感じですか、フルフル、フルフル」
先輩　「おぉ、よし。ずっと言ってろ」
村田　「フルフル・フルフル・フルフル……」
先輩　「よおし、いいぞぉ。ヒヒヒッ…よぉしっ村田」
村田　「はい」
先輩　「実はなぁ」
村田　「え? 」
先輩　「この家の地下室にいるんだ」
村田　「…えぇっ」
先輩　「ゾウぐらいの大きさになってるんだぞう」
村田　「見たいっ早く行きましょうよ、先輩っ」
先輩　「おい、村田」
村田　「な、なんですか」
先輩　「俺が今、シャレ言ったのがわかんねぇのか」
村田　「え? 」
先輩　「ゾウぐらいの大きさになってるんだぞうって言ったんだ……笑えっ、笑えよっ」
村田　「へ・へ・へ…」
先輩　「ヒヒヒヒッ………明日見してやる」
村田　「なんですか先輩っ」

▼「ROLLY POP」イントロ

CS石井　「OKエビバディ。ほいじゃあ、今日の2曲目だ。シュークリームシュの自殺行為。あたたかく聞いてちょうだい。ロリポップ」
「よいしょ、よいしょ」
JO　「よいしょこらしょ」
CS石井　「さぁて、一曲聞いてやるか」

▼「FUNK FUJIYAMA」流れる。

F金子　「あれあれっ。ファイブハーフが、生えてきたぞ」
CS石井　「これこれ、そこの骨髄男。それそれ、それがファイブハーフ。」
「ハーフ・ハーフで、ファイブハーフ。♪チャラー」
CS石井　「米米クラブのニューアルバム、ファイブハーフ。絶賛発売中!」
J得能　「外人さん、外人さん、テクマクマラコン、テクマクマラコン外人さんに、なぁれ」
(効果音)
J得能　「おぉ、ファイブハーフ、ステキねぇ」
CS石井　「得能君御乱心、とっても素敵なファイブハーフ」
「オー、ファイブハーフ、ステキねぇ」
「オー」
CS石井　「米米クラブのニューアルバム・ファイブハーフ、絶賛発売中!」
娘(マリ)　「お母さん、ごはんまだぁ」

母（JO）「まだまだよ」
娘「お母さん、ごはん」
母「まだまだ終わらないわよ」
娘「お母さん、ごはんっ」
▼「FUNK FUJIYAMA」流れる。
CS石井「米米クラブのファイブハーフは自信の14曲。5と½でごはん。」
全員「ごはん、ごはん」
CS石井「米米クラブのファイブハーフ。ごはんでホームランだ」
全員「わーい」
CS石井「米米クラブのニューアルバム、ファイブハーフ、絶賛発売中！」
▼（音楽）
JO「ケードゥシート、ファイブハーフパーティ」
▼（音楽）
パパ（JO）「純子っ。純子」
純子（マリ）「はぁい」
パパ「パパと、お風呂入ろうか」
純子「やだぁ、パパ変なんだもん」
ママ（CS石井）「純子。そんなこと言っちゃいけませんよ。ママもあとから入りますからねぇ、パパ」
パパ「ん…ママは、あとにしなさい。」
▼（音楽）
パパ「純子ぉ。純子。」
純子「はぁい。」
パパ「パパと、お散歩しようか」
純子「やだあ、パパ変なんだもん」
ママ「純子。そんなこと言うもんじゃありませんよ…パパとはいつもこうして、ママは手を組んでお散歩してたのよ、ね、パパ」
パパ「い…痛い。ママ、はなしなさい」
ママ「ハッ」
▼（音楽）
パパ「純子ぉ、純子」
純子「はぁい」
パパ「パパと薬屋さんに行こうか」
純子「やだぁ。パパ変なもん買うんだもん」
ママ「純子。そんなこと言うもんじゃありませんよ。ママは、ママは、ママは…うふふ…うふふ、ね、パパ」
パパ「ママ…」
ママ「かわいい」
▼（音楽）
「おはようございまーす」
CS石井「おはようございます」
「え、今日はだれ、来てるんですか」
留吉（ボン）「今日はちょっと言いにくいんですけど」
「はぁ」
留吉「源蔵さん」
「(笑)海嵐」
留吉「お願いしますよ、今日、ひとつ…もう、朝から、ゆううつでゆううつで、もう、源蔵さんの顔見るだけでやだもん」
「今日、曲名とかもわかってるんですか」
留吉「(笑)笑っちゃうの、玄海灘気一本だって…もうそんな」
「あら、お見事ってかんじするねぇ」
留吉「そんな、今頃やったって、しょうがないと思わない？」
「ねぇねぇ知ってる？」
留吉「え？」
「あの、うみはらしって」
留吉「うん」
「昔、万引きでつかまったの」
留吉「うそっ」
「本当に」
留吉「そんなことあったの？」
「パンスト」
留吉「え？」
「パンストだって」
(ドアの開く音)
源蔵（CS石井）「あっ」
「あぁ…」
源蔵「おはよう」
留吉「おはようございます。」
源蔵「おはよう」
留吉「先生、どうも」
源蔵「あぁ、いや、失敬」
留吉「おはようございます」
源蔵「ここに座っていいか」
留吉「あぁ…どうぞどうぞどうぞ」
源蔵「あぁ、よろしくね。…あぁ、今日は、あれか」
留吉「はい」
源蔵「あの…ボタン動かしだれだ」
留吉「(笑)いや、あの…」
源蔵「ボタン動かし」
留吉「あの、私、留吉でございます。」
源蔵「あー」
留吉「よろしくお願いします」
源蔵「あ……新人け？　新人」
留吉「もう、もう、もう、でも」
源蔵「あぁそう」
留吉「もう、腕は確かですからね」
源蔵「いやぁ、今回はねぇ」
留吉「はい」
源蔵「いやぁ、僕もねぇ、あの…腕にヨリをかけてつくったから」
留吉「はっ」
源蔵「前回の博多慕情」
留吉「はい」
源蔵「これ、大ヒット」
留吉「あぁ…」
源蔵「東北地方3万枚」
留吉「あ、おめでとうございます」
源蔵「いやぁ」
留吉「先生足で売るから」
源蔵「大ヒットですよ、いやぁ、私はね」
「はい」
源蔵「苦労しないで売るというの今の若い連中はね、許せないから」
「なるほど」
留吉「ごもっともでございます」
源蔵「一県一県足を運んで売っていくね。これが」
留吉「営業の源蔵って言ったら、有名ですもんね」
源蔵「あぁ、もうね、うん。バカにしてないか、君。」
留吉「いや、そんなことないすよ」
源蔵「あのね」
留吉「そんなことないすよ」
源蔵「今回のね、玄海灘気一本」
「はい」
源蔵「これはね、サビの所がいい。♪玄海〜」
留吉「あ、先生、あの…あの」
源蔵「え？」
留吉「あっちのほうにもうすでにマイク御用意してございますんで、あの…」
源蔵「あ、ここで歌うのもなんだからな」
留吉「あの…ブースのほうに、是非あの…」
源蔵「そりゃそうだ」
留吉「そろそろ行きましょうか」
源蔵「あ、よっちゃん」
留吉「はい、なんでしょう。」
源蔵「あれねぇ、この間のねぇ」
留吉「はい」
源蔵「博多慕情のねぇ、あれ…ちょっとまずかったな」
留吉「そうですか」
源蔵「あぁ。あのね」
留吉「はい」
源蔵「ジャケットがよくない」
留吉「ジャケットが」
源蔵「ジャケットがよくない」
留吉「あら」
源蔵「あれ、もうちょっと考えてね」
留吉「いやぁもうちょっとデザイナーに言っとかないとだめですね」
源蔵「やー、じゃ、そこ開けてくれ」
留吉「あ、はいはい、どうぞ、はいっ」
「はい」
「よいしょ…」
(ドアを閉める音)
「いやぁー」
留吉「もう、やれやれだよ」
「ねぇ、ねぇ、お前いつからようちゃんて名前になったの」
留吉「そりゃもう、勝手に言ってんですよぉいもう、やんなっちゃうなぁ」
源蔵「おい、よっちゃん」
留吉「また言ってるよ」
「よっちゃん呼んでる」
源蔵「よっちゃん」
留吉「手振っとけよ、こういう時。安心すんだから」
源蔵「あー、どうもどうも。あぁ、どうも、どうも」
留吉「手振っとけよ」
「そんなもんだよ」
留吉「バカなんだ、ほんとに」
源蔵「あー、あのね、それじゃね、ちょっとあのー、声ならしするから」
留吉「え？」
源蔵「声ならし」
留吉「声ならし」
「(笑)声ならし」
源蔵「え、だからねぇ、え、ちょっと聞いてて。まぁ、あの、みんなは、あの…素人だからわかんないだろうけど。ちょっと歌ってみるからね」
留吉「はい、はい」
源蔵「♪玄海〜」
留吉「でたでた」
源蔵「♪灘のぉ〜〜〜」
「(笑)絶好調だね」
源蔵「♪〜」
留吉「笑っちゃう、笑っちゃう」
「やっぱりさ」
「え？」
留吉「抜いてきてるな」
源蔵「よっちゃん」
留吉「抜いてきてる」
「あ、言ったほうがいい、なんか一言」
留吉「はい、先生、なんでしょうか。」
源蔵「いやぁね。今日は声の調子いいわ」
留吉「もう、本当に色ツヤ…最高ですね」
源蔵「実はね、実は…」

留吉 「はい？」
源蔵 「きのうもてきたの」
留吉 「うわっ」
源蔵 「へへへッ」
留吉 「先生たら、もう、エッチなんだからぁ」
源蔵 「今日、行くか、一緒に、え」
留吉 「いや、そんなとんでもないですよ」
源蔵 「なに言ってんだ、バカ」
留吉 「本当に」
「せめてこっちのしゃべってるの聞こえないのだけが救いだよな」
留吉 「本当にそれだけ」
「ねぇ」
源蔵 「よっちゃん」
留吉 「また言ってるよ」
「手振ればいいの、まず手振るのね、こうやって。はい」
源蔵 「あさ、ボタン動かし。やってる、ちゃんと、仕事。頼むよ」
留吉 「はい、あの、ちゃんと。あの、動かさしていただいてます。」
源蔵 「はい、はい」
留吉 「どうも」
源蔵 「いやぁ、あのさ、新人だからってね、あの…ビクビクする必要はないんだから」
留吉 「何がボタンを動かしだの、よっちゃんだの」
源蔵 「あのね、俺の前で、あの、あがる必要ないんだよ」
留吉 「俺もう、15年やってんだよ」
源蔵 「バッチリやってくれ」
留吉 「本当にもう」
「わかってないんだよ」
源蔵 「さぁ、それじゃあよっちゃん、行こうか」
留吉 「よっちゃん行こう(笑)…行きましょうか、じゃあ。先生そろそろ。はい、いきますよ、先生、お願いしまーす」
源蔵 「♪玄海灘の…」
「もういい、もういい」
源蔵 「♪～」
留吉 「はい、OKです、ありがとうございました。」
源蔵 「これでいいの」
全員 「これ、うまい」
J得能 「うまい、うまい、うまい、うまい」
全員 「これ、うまい」
ボン 「こいつは、とてもじゃないけど」
全員 「ファイブハーフだね」
▼「FUNK FUJIYAMA」流れる
全員 「これ、うまい」
ボン 「そうさ、ファイブハーフさ」
全員 「これ、うまい」
J得能 「米米クラブ、マウイミックスダウン。」
全員 「ファイブハースはごはんだねっ」
CS石井 「米米クラブのニューアルバム、ファイブハーフ、絶賛発売中！」
全員 「♪ごはんごはん、ごはんごはん」
娘（ミナコ） 「パパ、おいしいね」
パパ（JO） 「うん、五枚目半のニクイやつさ」
娘 「ハハハハハ、パパのいくじなし。」
パパ 「よおし、明日から、がんばるです」
CS石井 「充実のマウイミックス、米米クラブの5枚目半。ファイブハース。ごはんって呼んでね」
「そういうこと」
「あら、こわい。キャー」
CS石井 「米米クラブのニューアルバム。ファイブハーフ、絶賛発売中！」
全員 「よいしょ、よいしょ」
JO 「よいしょこらしょ」
CS石井 「さぁて、一曲聞いてやるかあれあれ、ファイブハーフが生えてきたぞぉ。」
「これこれ、そこの骨髄男」
CS石井 「それそれ、それが、ファイブハーフ」
全員 「ハーフハーフで、ファイブハーフ、♪チャラー」
CS石井 「米米クラブのニューアルバム・ファイブハーフ、絶賛発売中！」
▼(音楽)
全員 「米米クラブの」
JO 「ファイブハーフパーティー」
「ハハハ……」
村田 「先輩、見せてくださいよ、早く」
先輩 「うるさいっ。明日だっていってるだろ」
村田 「だって、明日明日って、何日経ってんですか」
先輩 「へへッ。よし…」
母 「よしかずー」
渡辺 「村田ー」
村田 「ん？」
母 「よしかずぅ」
村田 「あ、渡辺と、ママだ。ママママッ」
先輩 「うるせぇ、呪文でもとなえ

てろ、えいっ」
村田　「あぁっ、うっ…フルフル」
渡辺　「おかしいなぁ、この辺なんですけどね、村田くんのお母さん」
母　「あら」
先輩　「くそぉ」
渡辺　「あれぇ、どこなんだろう。あっ家が見えますよ。あっ」
母　「あっ」
渡辺　「行ってみましょう」
先輩　「誰もいませんよ」
渡辺　「あ、表札に」
母　「あら」
渡辺　「宇都宮先輩って書いてある」
先輩　「誰もいませんよ」
渡辺　「ぱの字が逆になってますよこれ」
母　「まぁ」
渡辺　「汚ねぇ字だなぁ、まったくもう、トントン…トントン」
先輩　「ヒューヒュー、風ですよヒュー風です」
母　「宇都宮さん」
先輩　「誰もいませんよ」
母　「宇都宮さん」
渡辺　「村田くんの先輩っ」
母　「宇都宮さん」
渡辺　「村田くんの…」
先輩　「誰も…」
渡辺　「先輩っ」
母　「宇都宮さんっ」
先輩　「ガチャッ…なんだっ」
(ドアの開く音)
先輩　「奥さん、私が風だっていうの、何で信じないんだ。」
渡辺　「本当にもうっそんなこと言って」
母　「よしかずはどこなんですか」
先輩　「君は誰だ」
渡辺　「僕は村田くんの、お友達の渡辺だ」
先輩　「なぬぅ、知らないよ。奥さん、奥さん、あれだけ痛ぶられて、まだ来るんですか」
母　「なに」
先輩　「こりない女だ」
母　「よしかずはどこなんですか宇都宮さん」
先輩　「へヘッ」
渡辺　「また、そんなこと言って、もう、いつも、あの…かくしてばっかりだと警察に言いますよ」
先輩　「おっ、おい、お前今、何て言ったんだ」
渡辺　「警察をよびますよ」
先輩　「奥さん、村田くんはここにいます」
母　「あぁっ、よしかずっ」
渡辺　「村田っ」
母　「よしかずぅ」
渡辺　「元気だったか」
母　「しっかり」
(パチンッ)
先輩　「村田」
母　「何するの宇都宮さん」
村田　「先輩見せてください…あ、ママと…渡辺っ」
母　「よしかず」
渡辺　「おっ、村田」
村田　「どうしたんだろ、僕」
渡辺　「大丈夫だったか」
村田　「ちょっと寝てたのかな…」
先輩　「村田」
村田　「な、なんですか先輩」
先輩　「いい奥さん持ってんな」
村田　「奥さんじゃないんですよ、これ、ママですよ」
先輩　「おお、そうか。どっちでもいいや、いたぶってやるか」
村田　「何言ってんですか先輩」
先輩　「ヒヒヒッ」
村田　「それより、早く、ゾ、ゾウぐらいのあれを見して」
先輩　「地下室だ」
村田　「地下室ですか」
先輩　「おう、前田」
村田　「前田じゃないですよ」
渡辺　「渡辺です」
村田　「渡辺ですよ」
先輩　「おー、間違えちゃったよ。よし、鈴木、お前と…」
村田　「違いますよ…渡辺ですよ、先輩」
先輩　「あ、そうか。渡辺、お前と村田と、奥さんに、いいもの見せてあげようか」
村田　「えっ。とうとう、3人に見してくれるんですか」
先輩　「よし。村田。それじゃあ、石塚君を連れてきてくれたまえ。」
村田　「(笑)…先輩…」
先輩　「なんだ。」
村田　「なんでそんなに名前覚えてくんないんです。わ、渡辺ですよ。」
先輩　「わざとだよ。みなさん、さぁそれじゃあ地下室、行ってみるか。レッツゴー」
村田　「ひぇぇっ」

▼「Forever」前奏

「んーベイベー、んーベイベー、オーソースイート、ソーナイス、ソーセクシー。ジェームス小野田が通りすがりの女に熱い熱い愛のかたまりを捧げます。ザ、グレートソウルバラードオブ'89。この曲でちょっとのお別れね。フォーエバー…アハン、アハン…」

▼「Forever」

KOME KOME CLUB SPE

「♪米米クラブのファイブハーフパーティー、あいやぁ」

(水の流れる音)

先輩 「さぁみなさん、ここが、一番最後のドアですよ」

村田 「先輩、とうとう来たんですね」

先輩 「村田っ」

村田 「な、なんですかっ」

先輩 「これが最後のドアだ」

村田 「うわぁ」

先輩 「これを開けると…」

村田 「フルフルですね」

先輩 「ハハハッ……豊田」

村田 「豊田じゃないですよ」

先輩 「なんだ」

村田 「わ、渡辺と僕のママですよ」

先輩 「なんでもいい。…いいか、お前たちにすばらしいものを見してあげましょう」

村田 「フルフルですよね」

先輩 「ワタシノ、スバラシイモノヲミナサンニ見セテアゲマショウ」

村田 「先輩いつから外人になったんですか」

先輩 「いいんだ、見せる時には、必ず外人になるんだ」

村田 「あぁ、そうだったんだ…はやくっ」

先輩 「コノドアヲ開ケタラサキチヨト、サキチョがクッツクヨウナモノヲミセテヤル」

村田 「はやくしてください、先輩」

先輩 「ハハハッ、ハハハッ…」

村田 「サキチョって何なの、サキチョって」

先輩 「サキチョはサキチョだっ、吉田」

村田 「吉田じゃないですよ、渡辺ですよ」

先輩 「オゥ、イエィ…じゃあ、開けるぞ」

村田 「はい」

先輩 「村田」

村田 「なんですか」

先輩 「そっちのとってをつかんでくれ」

村田 「こ、これですね」

先輩 「おー、そこは違う、俺のだ」

村田 「ハハハッ…そうか」

先輩 「こっちだ」

村田 「こ、これですか」

先輩 「いくぞっと、村田、まげるんじゃない」

村田 「どうするんですか」

先輩 「俺のだよ、それは」

村田 「あ、あれ? 暗くてよく見えないんですよ」

先輩 「おい、それだ。固いからわかんねぇだろうな。いくぞ」

村田 「これですか」

先輩 「開けるぞ」

村田 「はい」

先輩 「せぇのっ」

村田 「せぇのっ」

(ドアの開く音)

「うわぁーっ」

(効果音)

先輩 「ヒヒヒッヒヒヒッ…サキチョ」

▼「Kung-Fu Lady」の前奏が流れる

CS石井 「ハァイ、ウエルカムアゲインエブリボディエブリバディディスイズカールスモーキてっぺいちゃん。フロム米米クラブだよぉ。怒涛のギャグと強力なミュージックをたっぷしつめ込んだ、米米クラブのファイバハーフパーティー、まずは一曲目のプレゼント、カンフーレディーだっ。アチョー」

▼「Kung-Fu Lady」

娘 「お母さんごはんまだぁ」

母 「まだまだよ」

娘 「お母さん、ごはんっ」

母 「まだまだ終わらないわよっ」

娘 「お母さん、ごはんっ」

▼「FUNK FUJIYAMA」流れる。

CS石井 「米米クラブのファイブハーフは、自信の14曲。5と½でごはん」

全員 「ごはん、ごはん」

CS石井 「米米クラブのファイブハーフ。ごはんでホームランだ」

全員 「ワーイ」

CS石井 「米米クラブのニューアルバム、ファイブハーフ、絶賛発売中!」

全員 「これ、うまい」

J得能 「うまい、うまい、うまい」

全員 「これ、うまい」

ボン 「こいつは、とてもじゃないけど」

全員 「ファイブハーフだね」

▼「FUNK FUJIYAMA」流れる。

CS石井　「これ、うまい」
ボン　「そうさ、ファイブハーフさ」
CS石井　「これ、うまい」
J得能　「米米クラブ、マウイミックスダウン」
全員　「ファイブハーフは、ごはんだね」
CS石井　「米米クラブのニューアルバム、ファイブハーフ、絶賛発売中！」
「♪ごはんごはん、ごはんごはん」
娘　「パパ、おいしいね」
パパ　「うん、5枚目半の憎いヤツさ」
娘　「ハハハハハッ。パパのいくじなしっ」
パパ　「よぉし、明日から、がんばるぞぉ」
CS石井　「充実のマウイミックス、米米クラブの5枚目半、ファイブハーフ、ごはんって呼んでね。」

「よいしょっと」
「あら、こわい、キャーッ」
CS石井　「米米クラブのニューアルバム、ファイブハーフ、絶賛発売中！」
▼(音楽)
全員　「米米クラブの」
JO　「ファイブハーフパーティー」
全員　「ハハハハッ…」
(雑踏の音)
男（F金子）　「お父さん捜しに？」
女（マリ）　「ええ、沢木しょうごという、日本人の画家なんです。15年前に…母と私を捨て、今、このメキシコのどこかに住んでるらしいんです。」
男　「……あぁ、うめぇ…」
男　「ちょっと、沢木しょうご」
女　「うん……」
男　「聞いたことあるなぁ」
女　「本当ですか」

「すいません、すいません。ちょっと静かにしてもらえますか」
男　「そうだっ何年か前に、一回だけ、この街で個展を開いた後、こつ然と姿を消した、幻の日本人画家だ」
女　「あの、見ていただきたい物があるんです」
(紙を広げる音)
女　「父が送ってきたものなんですけど」
A　「あの…」
女　「どこだかわかりますか」
A　「す、すいません」
B　「な、なんですか」
A　「この映画の、あれ…女の人は、恋人同志ですか」
B　「見てればわかるでしょう。恋人同志ですよ、そんなの…」
「はい」
男　「ユカタン半島か」
C　「静かにしてもらえる？」

A　「すいません」
B　「ほら、怒られちゃったじゃないか。静かにしてくださいよっ」
男　「ユカタン地方には、こんな風景の町や村は、いくらでもあるもんなぁ」
男　「…あ、あやさん、この写真借してもらえませんか。支局の仲間に見せて、調べてもらいます」
A　「フィッ」
B　「うっ…なに耳をっ。ちょっとあんた、耳元で息をかけないでくださいよ。」
A　「あの…」
B　「(笑)なに？」
A　「この話にでてくるお父さんはどこにいるんですか」
B　「どこにいるって、今、見てれば出てきますよ」
C　「あんた達、静かにしてくださいって言ってるでしょう」
B　「す、すいません」
C　「みんなの映画館なだからね、ここは。あんたらだけのもんじゃないんだからね」

B　「す、すいません、すいま…」
A　「この恋人同志の…」
B　「もうっ静かにっ」
A　「お父さんは、」
B　「ちょっとお」
A　「彼とは、どういう関係なんですか」
「関係もクソもないでしょ。見てれば…」
C　「あなたっ」
B　「はいっ」
C　「静かにしてください」
B　「はい、はい、すいません」
C　「いいですか」
B　「はい、はい、わかりました、すいません」
C　「みんな見てるんだから」
B　「そうです。…怒られちゃったじゃないですか、もう、静かにしてくださいよ、本当に」

(映画の音)

(お菓子の袋の音と食べる音)
A「あのぉ」
B「なんですか、もう」
A「恋人は、ここで…えへへッ」
B「うわぁっ」
A「なんかやるんですか、アハハッ」
B「ちょっと静かにっ」
C「お願いしますから、静かにしてください」
B「すいません」
D「何やってんですよ」
A「お、お父さんはどこ」
C「もう、やめてくださいよ」
D「困っちゃうなぁ」
A「どうしてるのかなぁ…ここは、なんとかで…」
C「わかんなくなっちゃうじゃないですか。あんたも友達だったらちゃんと、言い聞かせなさい」
B「友達、友達なんて、だって全然知らない人、この…怒られちゃったじゃないか、もう」
C「本当、だいなしだな、もう」
B「本当なんですよ。本当に」
(映画の音楽)
A「いやぁ、終った、終った」
B「帰ろ」
A「すいません」
B「なに?」
A「すいません」
B「すいませんじゃないよ。だって、あんたがそんなこと言ってるから、もう、映画全然つまんなかった。もう、帰るよ」
A「もういっかい聞きますけど」
B「なに?」
A「あの、この映画は、何ていう映画ですか」
(音楽)
「スーパーボイコットマン」
▼(音楽)

「フン」
「やってられませんよ」
「うわぁ…」
「スーパーボイコットマン」
(音楽)
「勝手にすれば」
「うわぁ」
「スーパーボイコットマン」
(音楽)
「つき合ってらんねぇよ」
「うわぁ」
「スーパーボイコットマン」
(音楽)
「あ? あ? あ? 俺、き聞いてねぇよ。何? 」
「うわぁ」
「スーパーボイコットマン」
(音楽)
「どこまで世話焼かすの」
「うわぁ」
「スーパーボイコットマン」
(音楽)
「お? もう、捨て身ですね」
「うわぁ」
「スーパーボイコットマン」
(音楽)
「おぉ。そりゃ、よかったですね」
「うわぁ」
「スーパーボイコットマン」
(音楽)
「どうだかっ」
「うわぁ」
「スーパーボイコットマン」

(音楽)
「まぁ、どうでもいいけどさ」
「うわぁ」
▼「マグニチュード」前奏
CS石井「我等が神、我等がゴッド、ファザーね。ジェームス小野田がおたけびをあげる、パワー爆発のナンバーだ。いってみよう。マグニチュード」
▼「マグニチュード」
全員「よいしょ、よいしょ、よいしょ」
JO「よいしょ、こらしょ」
「さぁて、一曲聞いてやるか」
▼「FUNK FUJIYA MA」流れる。
CS石井「あれあれ、ファイブハーフが生えてきたぞぉ」
F金子「これこれ、そこの骨髄男」
CS石井「それそれ、それが、ファイブハーフ」
全員「ハーフ、ハーフで、ファイブハーフ、♪チャラー」
CS石井「米米クラブのニューアルバム、ファイブハーフ、絶賛発売中!」
J得能「外人さん外人さん、テクマクマラコン、テクマクマラコン、外人さんに、なぁれ。」
(効果音)
▼「FUNK FUJIYA MA」流れる。
J得能「オー、ファイブハーフ、ステキネェ」
CS石井「得能君御乱心。とっても素敵なファイブハーフ」
J得能「オー、ファイブハーフ、ステキネェ」
「オー」
CS石井「米米クラブのニューアルバム、ファイブハーフ、絶賛発売中!」
娘「お母さん、ごはんまだ?」
母「まだまだよ」
娘「お母さん、ごはん」
母「まだまだ終わらないわよ」
娘「お母さん、ごはんっ」
▼「FUNK FUJIYA MA」流れる。
CS石井「米米クラブのファイブハーフは、自信の14曲。5と½で、ごはん。」
全員「ごはん、ごはん」
CS石井「米米クラブのファイブハーフ。ごはんでホームランだ。」
全員「ワーイ」
CS石井「米米クラブのニューアルバム、ファイブハーフ、絶賛発売中!」
▼音楽
JO「ケードゥシー。ファイブハーフパーティー」
(効果音)
「わぁー」
先輩「静かにしろ」
村田「すごいや」
先輩「静かにしなさいよ」
村田「先輩、すごすぎますよ、これ」
先輩「すごいだろ」
村田「先輩、すごすぎますよ」
先輩「見てみなよ。あの背中のブツブツ」
村田「うわぁ」
先輩「え? あの光がたまんないだろ」
村田「うわぁ、すごいや」
先輩「村田っ」
村田「な、なんですか先輩」
先輩「お前」

村田「え?」
先輩「足くさいぞ」
村田「なぁんてこと言うんですか」
先輩「へへへッ…まあ、いいじゃないか」
村田「先輩」
先輩「よし、それじゃあ、お前達に、感想文を述べさしてやる」
村田「感想文ですか」
先輩「そうだ、せっかくこんなものを見せたんだからなぁ。おいっ豊重」
渡辺「はい」
先輩「お前もちゃんとやんなきゃだめだぞ」
渡辺「はい」
先輩「よし」
村田「豊重じゃないですよ、渡辺ですよ」
渡辺「あ、あぁ…渡辺だった僕は」
先輩「お前、お前はなんで豊重になってしまっている」
渡辺「もう、緊張してしまって」
先輩「そうか」
渡辺「はい」
先輩「ようし、それじゃあな、一人一人、じゃあ、レディペーストで、お前からいけ」
村田「レディーファーストですよ」
先輩「なんでもいいよ…よし、奥さん、この、形容について、ちょっと説明を述べよ」
母「なにかしら、これ…」
(効果音)
母「トローっとしてて、糸をひくようだわ」
先輩「うん、いい形容だな。奥さん、地方出身ですね。あ、それから、お前だ。小島、ちょっとやってみろ」
村田「違いますって」
先輩「なんだ」
村田「渡辺ですよ」
先輩「お前はいちいち俺になぜ。…言ってみろ」
渡辺「なんか…ピカピカしてて、ちょっと自信がない感じですね、僕には」

先輩 「ゴホッ ゴホッ」
村田 「先輩、大丈夫ですか」
先輩 「ゴホッ」
村田 「先輩っ」
先輩 「ずっとこういう所にいるからな…胸をわずらってるんだ」
村田 「先輩、僕も言っていいんですか 感想」
先輩 「言ってみろ」
村田 「言いたいな。なんか見てるだけで、なんか。口の中が、すっぱくなってきて、これ、なんかよく見ると、種とかあるのかな。種とか。先輩どうなんですか、中身。種が」
先輩 「俺、まだ割ったことがねぇから、わかんねぇ」
村田 「割ってみたいな、これ」
先輩 「でも、見てみろよ、あの背中とハラ」
村田 「うわぁ」
先輩 「動いてるだろ」
村田 「なんか脈打ってますよ」
先輩 「エヘヘッ……これなぁ、こうやって、なでてやるとほうら、伸びる伸びる伸びる」
全員 「うわぁっ」
先輩 「ヒヒヒッヒーッ」
村田 「の、伸びてる」
(効果音)

▼音楽

豊文小三郎(石井) 「ここは戸越銀座。ネオンとポリエステルの桜に色どられた華やかな術。が、その華やかな表層の下には、おそるべき、悪、悪、悪が動めている。私の名は、豊文小三郎。42歳。今年厄年のチャーミングな警官だ。人呼んで、犯罪底引き網の小三郎。おや、今日も俺の前に、うようよと凶悪な犯罪者が群を成しているじゃないか。例えば、あの魚屋の親父。人の良さそうな赤ら顔の仮面の下に、おそるべき犯罪者の顔をかくしている。今こそ、その仮面をはぐ時がやってきた。」
魚屋のおやじ(リョウジ) 「へい、いらっしゃい いらっしゃい。今日はサバ、ブリ、タイが安いよぉ」
「ふーん」
「おいしそうねぇ」
豊文 「ブリ」
「今日サシミ何が安いの?」
豊文 「ブリ」
おやじ 「新鮮だよ、今着いたばっかり、安いよ」
豊文 「ブリ」
おやじ 「なんだいお前はそこで、ブリブリとうるせえなぁ」
豊文 「おじさん」
おやじ 「なんだい」
豊文 「おじさんは、日本人か」
おやじ 「日本人じゃないよ。安いよこれは。これは安いから買っていきな」
「これください」
「トビウオある?トビウオ」
おやじ 「トビウオは今日仕入れてないよ」
豊文 「トビウオ」
「アジ3枚ください」
「おいしそう」
おやじ 「さんま、さんまは250円」
豊文 「このトビウオがあやしい。このトビウオをちっと、ちっと切ってみる」
おやじ 「(トビウオ)じゃないよ、何やってんのあんた。営業妨害やめてくれる?」
豊文 「切ってみる」
おやじ 「はい、帰った帰った帰った」
豊文 「帰ったじゃない」
おやじ(F金子) 「はい安いよ、これは安いよ新鮮で」
豊文 「おやじっ」
「おさしみ」
おやじ 「大丈夫だよ、これは、さしみでも」
豊文 「おやじ」
「さしみでも食べれる」
おやじ 「たべれる。うまい」
豊文 「あなたのその、口調。それはイタリア人の血が流れてる証拠だ。」
おやじ 「イタリア…あんた何やってるの。ちょっと、むこう行きなさいっ。」
豊文 「はい。はい。よーしっ」
「タコある、タコ。」
おやじ 「タコ? タコはさしみ。さしみにして食うとうまい。今日は」
「うん、さしみ、さしみ。たたきにもいいな」
おやじ 「いいよ」
豊文 「よーし、この隣りの、このやおがしで」
おやじ(F金子) 「はい、いらっしゃーい。いらっしゃい、いらっしゃい いらっしゃい、いらっしゃい、いらっしゃあい」
「みかんください。みかん。もうでてるでしょ、みかん」
「いらっしゃい、いらっしゃい、いらっしゃい、ナス安いよぉ」
豊文 「ナス」
「お兄さん、ニンジンいくら」
豊文 「ナス」
「ニンジン250円、ちょっと高いけどね」

「何本入り」
「5本」
「5本で250円。安いじゃん」
「なかなか安いでしょ」
豊文 「おじさんっナス。ナス。」
「なんですかあなたは」
豊文 「びっくりしただろ」
「はい、いらっしゃい、いらっしゃい、キャベツ安いよ」
豊文 「え? 警官がきたから、びっくりしたんだろ、今。警官がきたから、今、びっくりしたんだ。ハハハッ・ハハハッ」
「なんですか、この警官は、もう。あっちいってなさいよ。あなた。」
豊文 「むこう行ってなさいよってね。あなたの顔には、犯罪者のにおいがする。」
(クンクン)
おやじ 「犯罪者?!」
(クンクン)
豊文 「くさいくさい、くさい」
おやじ 「うちのミカンが犯罪者のにおいがするわけないでしょ、あなた。」
豊文 「みかんじゃない。あなたが犯罪者だと言ってる」
おやじ 「愛媛直送ですよ、あなた。いらっしゃい、いらっしゃい。みなさん、あー、ハクサイ、ハクサイでるよ、ハクサイ、ハクサイ。」
豊文 「さあ、ここに、この、このねぇ…手錠で、あなたの手をカチャ。…人の話を聞きなさい、あなた。人の話を聞きなさい。」
「あなた、あっち行きなさい、あっち行きなさい。」
豊文 「はい。はい。」
「はい。あっち行ってください」
豊文 「よぉし、このようにみんなにシラを切られちゃしたかない。あすこに歩いてるあの女。天使のような顔をしながらも、その体に、かくし持ったアヘン。よぉし、あいつを、しょっぴいてやる。…おいっそこの女。2人、2人、2人、2人」
「なに?」
豊文 「おけつになにか、かくしてるだろ。え? おけつになにか、かくしてるだろ」
女(ミナコ) 「なに言ってんの」
豊文 「ちょっと調べさせてもらうよ。はいっ」
女 「いやあっ」
豊文 「いや?」
「お?」
豊文 「いやだ?」
女1 「頭おかしいんだよもう。」
女2 「やめてよ、何やってんの」
女1 「やめてよ、おじさん」
豊文 「男にさわられまくったシリを、俺にさわられたからって、ヤッていうこと、ないでしょう」
女1 「渋谷行かない、渋谷」
女2 「そうしようよ」
女1 「ね」
女2 「行こうよ」
女1 「行こう、行こう」
豊文 「よぉーしっ」
女 「もう、あっちいってよっ。行きましょ」
豊文 「はい。…よぉーしっここまで、犯罪者にシラを切られてはしかたがない。こうなったら、この街の全ての人間を、全ての悪を、私の手中におさめ、そして、私の手柄とするべきだ。あ、あそこにいる、あの、老人。あのおばあさんはあぶない。肉を買っているようで、実は、肉の中にかくし持ったアヘンを買っているに違いない。よぉし。おばあさん、これこれ、おばあさん。肉を買っていない、いるように見せかけて、実はその肉の中に、アヘンをかくしているんだろう」
おばあさん(J得能) 「あんた、自分の母親つかまえて、何てこと言うんだい」
豊文 「あ、かぁちゃん」
▼(音楽)
豊文 「凶悪な犯罪者の仮面をはいでゆく、俺の孤独な戦いは、明日も続く、次は、次は、次はお前の番かもしれないっ」
全員 「これ、うまい」
J得能 「うまい、うまい、うまい」
全員 「これ、うまい」
ボン 「こいつはとてもじゃないけど」
全員 「ファイブハーフだね」
▼「FUNK FUJIYAMA」流れる
「これ、うまい」
「そうさ、ファイブハーフさ」
「これ、うまい」
J得能 「米米クラブ、マウイミックスダウン」
全員 「ファイブハーフは、ごはんだね」
CS石井 「米米クラブのニューアルバム、ファイバーハーフ、絶賛発売中!」
全員 「ごはんごはん、ごはんごはん」
娘 「パパ、おいしいね」
パパ 「うん、5枚目半の憎いヤツさ」
娘 「ハハハハッ、パパの、いくじなしっ」
パパ 「よぉし、明日からがんばるぞ」
CS石井 「充実のマウイミックス、米米クラブの5枚目半。ファイブハーフ、ごはんって呼んでね。」
「そういうこと」
「あらこわい、キャー」
CS石井 「米米クラブのニューアルバム、ファイバーハーフ。絶賛発売中!」
全員 「よいしょ、よいしょ」
JO 「よいしょこらしょ」
「さぁて、一曲聞いてやるか」
▼「FUNK FUJIYAMA」流れる。
F金子 「あれあれ、ファイブハーフが生えてきたぞ」
JO 「これこれ、そこの骨髄男。」
CS石井 「それぞれ、それがファイブハーフ」
全員 「ハーフ、ハーフで、ファイブハーフ、チャラー」
CS石井 「米米クラブのニューアルバム、ファイブハーフ、絶賛発売中!」
▼「Beau t·i f u l」の前奏流れる
CS石井 「見せます。聞かせます。泣かせます。今世紀最大のこまし男、カールスモーキー石井が、心を込めて、あ・な・た・に届る、とっておきのバラード。この曲で、お別れですよ。さぁ行ってみよう、Beau t·i f u l」
▼「Beau t·i f u l」

MISATO

MISATO WATANABE '89

ON THE FLOWER BED

『Flower bed』を作った年で映画を撮った年で、史上最大の学園祭を演った年で……　たくさんのいいうたを、
今年も歌った美里が話した言葉たち。そしてまさに愛と感動の超青春ライブとなった史上最大の学園祭の記録です。

MIS

MISATO'S SAYING '89
LANGUAGE OF FLOWERS

こういう夜をヤルじゃんの夜っていうんだよ。—Mar.'89（中野サンプラザ）

ラッキーにも私は、すごくまだ若いしアンラッキーにも若いから。——June.'89（パチ▼パチ）

パ・イ・ナ・ッ・プ・ル!!——July.'89（嵐の西武球場で）

実際、音を出してみると感動の嵐になっちゃって……——July.'89（パチ▼パチ）

私はアングラ女優よって。（笑）恥ずかしいな。（笑）——July.'89（パチ▼パチ）

私が、誰かにあげる時は、ひまわりをあげることに、ずっと決めてたの。——July.'89（パチ▼パチ）

恋してるヒト、手をあげて！——Mar.'89（中野サンプラザ）

3度のゴハンよりもぜったいに~~歌うことの方~~歌うことの方が好き！——Aug.'89（月寒グリーンドーム）

変わり続けたいし、いどみ続けたいし、背のびは、つま先立ちぐらいは(笑)ずっと等身大でいたいっていうのは、ずっとテーマだし。
——July.'89(パチ▾パチ)

何ていうのかな、すごく青春してるかなって自分自身で、強く。
——June.'89(パチ▾パチ)

(嵐の西武球場ライブ直後)駅前でみんなして合唱してくれたみたいなんですけどね、(中略)でもなんとかこう、(虹を)架け橋にしたいなと思いまして……
——Nove.'89(夜のヒットスタジオ)

そんな感動の、この鳥肌のひとつひとつが、自分の身になっていくんだと思う。
——June.'89(パチ▾パチ)

仮うたの段階でも汗だくでやんなきゃ
——June.'89(パチ▾パチ)

もしチャンスがあれば、「パイナップルロマンス」っていう名前を(星に)是非つけたいなって思ってるんですけど。(中略)銀河のかなたに飛び出していくっていう意味あいを込めて。
——June.'89(ザ・ベストテン)

速報

SUPER FLOWER BED BALL '89秋

史上最大の学園祭

'89 11.30 TOKYO DOME

速報

SUPER FLOWER BED BALL '89秋

史上最大の学園祭

'89 11.30 TOKYO DOME

ステージの左右に設けられたスクリーンに美里が映っていた。
リアルタイムで進行しているステージを追っているものではない。画面が激しく揺れ、時おり白い幕のようなものでかすんでみえたりする。
雨だった。土砂降りの中で、美里がひたむきに歌おうとしているシーンが写しだされていた。いうまでもなく、8月の西武球場の2日目の模様だった。
コンサートは、ほぼ、終盤にさしかかっていた。18曲目、曲は「虹をみたかい」だった。
嵐の中で立ち往生し、泣いている美里と今、目の前のステージで全身で歌っている美里がオーバー・ラップしていく。そのことだけで、会場にいる5万人の学生たちは全ての意味がわかってしまったようだった。
〝もう一度だけ、やります〟
あの雨の中で口惜し涙に唇をかみしめ、たまみんなと交わした約束の日が、この日、思っていたよりはるかに大規模な形で実現した。そのことを喜こんでいたのは、美里自身であり、5万人の全ての学生だったはずだ。
「今回の学園祭には思い出があって…」
アンコールで登場した美里は、客席にそう語りかけた。
「さっきうつったと思うけど、大雨が降って途中でやめなければならなかった分も張切ってやっちゃいました……」
「これだけのデッカイ所で、同世代の人たちと、誰もやったことのないような学園祭をやりたかった。それを叶えてくれてどうもありがとう……。」
史上最大の学園祭――。
それらしいオープニングで始まった。
学生たちが登場した。
東大の応援部の援舞が、ドームの天井にこだまする。中央大学と青山学院大学の吹奏学部の演奏する「センチメンタル・カンガルー」「恋したっていいじゃない」にのって、学習院大学のチア・ガールが、しなやかに躍動する。客席を、あの、もうおなじみのピンクのカンガルー人形を、早稲田のラグビー同好会の学生たちがかついで練り歩いていく。
美里の3年ぶりの学園祭。
3年前は、慶応の●●祭や玉川学園をはじめ○校の学園祭に出演した。でも、それ以後は、出演依頼の数も、出演可能な回数とがあまりに折りあわず、実現していなかった。
美里が、〝どてつもない学園祭〟をやりたいと言い始めたのは、88年の夏頃だったそうだ。
学園祭の形は、一般的に言って、アーチストが、その大学の学園祭実行委員会が主催する場に出かけていく。でも、この〝史上最大の学園祭〟は、そうではない。美里が、各大学に出かけていくのではなく、美里のもとに各大学が結集するという形で実現していった。
主催・渡辺美里学園祭事務局――。
協力大学のリストには、こんな大学の名前がのっていた。
東京大学、早稲田大学、慶応大学、青山学院大学、法政大学、東京理科大、国学院大、中央大、電機大、水産大、千葉商大、学習院大、千葉大、東工大、明学大、都立大、和光大、桜美林大…… リスト・アップされていた大学だけで50大学の名前が紹介されていた。
レーザー光線がドームの天井で跳んでいた。ステージにスモークがたかれ、ホリゾントに出現していたニューヨークの摩天楼が、何色ものスポットに染めあげられていた。レーザー光線が、天井に、文字を描きだしていった。
〝大美里祭〟
〝Flower Bed BALL '89〟
〝WELCOME MISATO Dream――〟
美里はステージの正面から登場した。鮮やかなグリーンの羽根かざりのついた黄金のコートをはおっていた。大胆さと●やかさ。曲は「パイナップル・ロマンス」だ。一曲目からファンク調のビートが弾けるようにくりだされ、美里は左右に走っていく。レコードの中では〝パ・イ・ナ・ッ・プ・ル〟と入っている美里のセリフは、こうだった。
〝ガ・ク・エ・ン・サ・イ〟
「IT'S TOUGH」から「Lazy Crazy Pie」へ。そして「LONG NIGHT」へ。そのまま「BOYS CRIED」へ一気になだれ込んでいく。彼女の声量は東京ドームの音響の悪さを全く感じさせないくらいのパワーで、3階席につき刺さっていく。
アレンジも多彩だった。「冷たいミルク」や「跳べ模型ヒコーキ」は、マンハッタンの背景がブルーから、淡い光に変わり、オレンジの光が丸い光で点滅していく大人っぽい演出で、サックスがジャズの都会的なうれいを伝えたり、ミュートのかかったトランペットが、ひと味違う深みを全体に与えていた。22歳の学園祭は、どこか、これまでと違う表情のステージとなっていた。
美里はずい分とやせた感じがする。
22歳というのは、女性の一生のうちで、最も激しく表情が変わるといったひとがいる。それだけ感情の起伏が激しいに違いない。そして、何よりも、自分の精神状態が、そのまま表情に出ていく年齢なのだろう。
シャープにシェイプ・アップされたような美里の表情には、しなやかな意志と、鍛え抜かれたような精悍さと、澄み切った透明感が感じられた、そんな変化を、大人になる、というのだろう。大人になって、きれいになった、と。
「今まで行なわれてきた学園祭の中で、一番素晴らしい夜になるように……」
「自分がどこに●●くだろうってワクワクした気持です。みんなは、どう?」
「歌いたい歌が一杯、話したいことも一杯。どんなに大きい声を出しても大丈夫。歌いたくなったら思い切り歌って……」
世代意識。
この夜のステージと客席をつないでいたものは、これだったように思う。
「10years」の前に、彼女は、〝もし、私が四大行ってたら、卒業して半年……と、前置きして、自分の同世代の友人の話をした。高校時代、髪の毛を立ててパンクしていた友人が、今、パン屋をやっており、その時の友人と3人でロンドンに行く約束を、今でも果たしていること……。今度、そのパン屋さんの元パンクのことを歌にしようかと思っていること……。
世代で全てを語ることは乱暴であり、時として危険もつきまとう。でも、そんなふうに、同じ時代に同じ生活環境の中で成長していった者どうしであれば、わかりあえることが多いことも事実だ。この夜、客席からステージに向いていた共感はアイドルやカリスマとも全く違う質のものだった。熱狂というほどにファナティックではなく、興奮というほど、我を忘れてない。
ホリゾントの摩天楼が、まるでニューヨークの街の一角の空地のように区切られたようなセットで歌われた「悲しいね」摩天楼に黄金の月の光が輝やいていた。「ムーン・ライトダンス」そして、ホリゾントの塀が左右に開き、グリーン・クラブの学生が合唱団として登場した「White Days」「My Revolution」は自然に大合唱になる。「NEWS」は、ソウル・ミュージックのスピリットに揺れていた。
美里は何度かステージを走った。
両手を前後に真っ直ぐに振り、両脚を一杯に伸ばして走った。「GROW●● UP」では、PAの先端のゴンドラに乗り、「18才のライフ」や「19才の秘かな欲望」ではステージの両端まで全力疾走で走った。まるで陸上の選手がトラックを全力疾走するようなけれん味のない姿だった。
本篇の最後は「恋したっていいじゃない」だった。
「恋をしてる人、手をあげて?」
「愛されたい人、手を上げて?」
そんな呼びかけに、〝ヴォ〜〟という歓声が応えていく。
アンコールのステージに登場した美里は手にビデオカメラを持っていた。
「とってあげるね」と客席にカメラを向ける姿は、どこかの友人に話しかけているようだった。
アンコールの「やるじゃん女の子」と「すき」は、歌いながら泣き、泣きながら笑い、笑いながら泣くというくらいに喜怒哀楽の波の中にあった。
5万人の同世代の聞き手の前で、喜んだり笑ったり、泣いたりできること。スクリーンの中の美里は、涙を鼻ですすりあげていた。そんなふうに素直になれることが、こうしたイベントの最も大切なことなのかもしれない。そして、聞き手と、そんなふうに感情をわかちあえる人は、そうたくさんは、いない。
「すき」は、ステージの後方にグリー・クラブの学生が一杯に広がり、コーラスをつけていた。そんな風景は、学園祭ならではのものだった。
史上最大の学園祭。
そして美里にとっての初めてのドーム公演。
全力で歌い切った彼女の晴れやかな笑顔が、またひとつ成長したことを伝えていた。

速報

史上最大の学園祭

SUPER FLOWER BED BALL '89秋

'89 11.30 TOKYO DOME

流絵画教室出張所。

SOMETTI'S ART SCHOOL AGENCY

SOMETTI

MISATO SPECIAL

●久しぶりの似顔絵スペシャル。担当編集者は7月号のために募集したそうだが、発表が遅れてしまって申し訳ないとのことだ。みんながいかにMISATOを好きかということが再びよくわかった。全体的にはカワイイ派が多くて、技術派が少なかったようだ。これからもいろんな表現方法でMISATOをどんどん描いてほしいもんだねー。

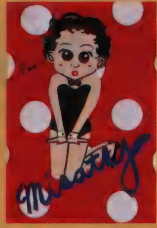
TAiSHOW

茨城県
飯田詔子さん

力作の4部作のうちの2つ。歌声がきこえてきそうな作品(上)もいいが空に浮かぶ不思議さもいーねー。

佳作たち。

というわけで誌上では全部を紹介できないことをMISATO本人もとても残念がっていたそうだ。せめてほんの１部でも、というSOMETTiの気持ちで佳作を選んだ。これをキッカケにアートに励んでくれたらとてもウレシイ。

▲竹下健一さん　▲小山田美雪さん　▲林美智子さん

▲杉本夏美さん　▲荻沢まゆみさん　▲秋山泰さん

▲ＩＹＯさん　▲家田美由紀さん　▲永井雅さん

▲今井紀子さん　▲窪川かずみさん　▲KIDS-KIDSさん

▲藤田晶子さん　▲西田玲子さん　▲時田麗さん

フラワーベッド賞

▲青森県　畑中美代子さん
とにかく丁寧なとこが好感もてる。

パジャマでラク賞

▲兵庫県　萩澤まゆみさん
色のバランスと表情で選んだ。

みんな以てるで賞

◀栃木県　橋本恵理子さん
美里イラストの常連だね、ハシモトは。また超リアル作品も送っておくれー。

▲埼玉県　池田健君
オトコ、15歳、頑張れ

▲年賀ですいません
色っぽい美里だね。

SOMETTi SHOW

大阪府
掘孝子さん

2000つぶずつ毎晩かいたという、その努力と根性をかってのSOMETTi賞だ。

MISATO

昭和の男

★今年のジュンスカの勢いときたら、それこそ泣く子も黙るスケール・アップ振りだったよなあ。しかも、そこで何よりも評価したい（個人的にだけどよお）のは、彼らって最近じゃ珍しいくらい〝まっしょーじき〟にROCKしてるバンドだっつーとこだよな。そんなジュンスカのひとりひとりに対して、敬意を込めて「昭和の男」なる称号を与えたい。で…なんの脈絡もないが、彼らに〝フェイバリット・アルバム〟っつーのを訊いてみた。そりゃチットは今年1年を振り返るけどよお、年末企画じゃねーぞコラ。

JUN SKY WALKER(S)

NG ／ TAKUZI OYAMA

今寒い季節なんで、スクイーズの前のヤツとか、いいと思うんですけど、でもアレはアルバム全体というよりは一曲好きな曲があるという感じですね。アルバム全体好きというと、小山卓治の『NG』ですね、何と言っても。日本のロックで本当に凄い、と思ったのはあれとRCぐらいがきっかけなんじゃないですか。

俺って歌詞はあんまり重視しない方だったんですけど、あ、自分で作ると話は別ですけどね、だから小山卓治も社会派とか言われてますけど、そういうことよりも、声とかにショックを受けたんですよ、最初は。

でも、「フイルム・ガール」とか「イルージョン」とかすごく情景が浮かんで来るみたいな。

それまでは洋楽ばっかり聴いてきて、歌詞云々よりは漠然とした音の印象で判断してきたみたいなところがあったんですけど、あれ聴いて歌詞がガーンと頭に飛び込んできて。その前にRCとか聴いてましたけど、あれとも違う。

聴いたきっかけは前のベースの伊藤（毅。現ストリート・ビーツ）がいい、いいって言ってて、それで聴いてみたら本当に良かったんですよ。大学1年の時だからもう6年ぐらい前です。ちょうどラママとか出始めて、自主制作のカセットなんか作って売り出した頃かな。その時聴いてたのがメン・アット・ワークの『カーゴ』とゲイリー・ニューマンの『プレジャー・プリンシパル』とか、あとユーミンかな。結構幅広く聴いてたんですけど。ハード・ロック漬けから抜け出た頃で。メロディアスなのが好きみたい。そうじゃないものも聴きますけど。

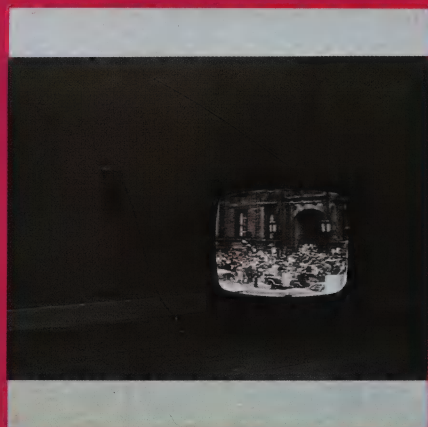
その後小山卓治は『ひまわり』ぐらいまでしかフォローしてないですけど、とにかく『NG』が大ショックで、その後自分で歌詞とか考え始めましたから。

その後日本の音楽でいいと思うのはGON-TITIかな。日本語の歌詞で言うと、やっぱりずっと一緒にやってきた連中が好きなんで、ビーズとかウエルズとかブルー・ハーツ、グレイト・リッチーズなんか、凄いと思いますね、歌詞が。グレイト・リッチーズなんか、ラヴ・ソングもあるし幅広いんだけど、バンドじゃ儲かんないからバイトやるんだけどそれも面倒臭い、彼女と会いたいけどバイトがあるから会えない、それも面倒臭い、みたいな視点がずっとあるんですよ。今は多少違うかも知れないけど、俺の印象ではそういうのが基調になってますね。そういうところが面白い。

洋楽は一杯聴いてましたね。小学校の頃のベイ・シティ・ローラーズとカーペンターズから始まって、キッス、レッド・ツェッペリン、ジューダス・プリースト、トラピーズ、UFO、ブラック・サバス、サクソン、モーターヘッド、アイアン・メイデン、エア・サプライ、イーグルズ、キング、クリムズン、アバ、ヴァン・ヘイレン、ジェフ・ベック、ボストン、ジャーニー、イエス、サバイバー・・・（笑）。何でも聴いてましたね。今だって特別印象深いのを挙げただけで。

とにかく俺は小学校のころから絶対洋楽派で、邦楽、歌謡曲なんか徹底的に馬鹿にしてましたから。

だから高一の時にコンサート見てショックを受けたRCサクセションと、大一の時に聴いた小山卓治で、日本語でロックやることに対してひとつの考えみたいなものが出来上がったみたいなところはあります。

（俺の詳細な音楽的変遷については、1月19日発売の『パチパチ読本』を参照されたし！）

昭和の男
JUN SKY WALKER(S)

昭和の男
JUN SKY WALKER(S)

WHOSE MUDDY SHOES/ ELMORE JAMES JOHN BRIM

高一の時に買ったんですけど、あまりそういう音楽に詳しくなかったんですよ、その頃は。名前は知ってて、欲しいなとは思ってたんですけど、そのＬＰがいいのか悪いのかは全然わからなくて、ジャケットが坂本竜馬みたいだなあ、とか思って買ったんですね。

ブルース聴きだしたきっかけというのは、ローリング・ストーンズがグループ名をマディ・ウォーターズの曲名からとったとか聞いて、どういうことやってるのかな、って興味を持ったことですね。このＬＰは最初に買ったブルースのレコードだったんですけど、それまでは憂歌団とか聞いてましてね。その何か月か前に憂歌団が広島に来たんですよ。それでレコードを買うと、マディ・ウォーターズとかエルモア・ジェイムズのカヴァーをやってる。ライナー・ノーツにも色々そういう人たちの名前が書いてあって。

最初に聴いたときにはそんなにピンとこなかったんですよ。スゴイ声だなあ、ぐらいは感じましたけど、これなら憂歌団の方がいいや、とか思って(笑)。「ストーミー・マンディ」って有名な曲やってるんですけどね、その時はそんなこと知らないし。でもその頃ってそんなに次から次へとレコード買えないでしょ。聴くレコード少ないから、受験勉強なんかしながら仕方なく何度も聴いているうちに、歌詞の一部とか分かりだしてきて、だんだんハマってきまして。思い出の１枚って感じですね。その頃の。

別にブルースとジュンスカの音楽が自分の中で結びついてるわけじゃないですけどね。趣味、とまでは割り切れないですけど。そんなに詳しくもないし、のめり込む自分も怖いな、みたいな(笑)。あまりひとつの方向にワーッと行っちゃうのは好きじゃない、というか自主規制しちゃうんですよ。あまりマニアックになるのは良くない、と思うし。大体ブルースにのめり込んでる人たちって怖いですからね(笑)。ヒゲなんかはやして。ああいう風にはなりたくない。

こないだのオフの時シカゴに行って、ブルース見てきたんですよ。去年レコーディングでニューヨーク行ったときにオーティス・ラッシュ見たんですけど、その時はバックが全員白人でね。多分即席のバンドだったと思うんですけど、全然良くなかったんですよ。でも、シカゴで見たらムチャクチャに良くて。多分自分のホーム・タウンで、いつも出てるライブ・ハウスだったんでリラックスしてたんでしょうねえ。客は白人が多かったですけど、別人と思うぐらいノッてて。日本来た時もリハーサルは最高に決めるんだけど、本番になるとアガッちゃってメロメロだったんですよ。あんだけのベテランがあがるというのはオカシイですけどね。でもその時はとにかく良くて、終わったら写真一緒に撮ってミーハーしました(笑)。すごく喜んでましたね。サイン貰いに来るようなの僕ぐらいしかいなくて。向こうの人が見るとドサ回りの演歌歌手なんかが歌ってる、ぐらいの感覚しかないのかも知れないですね。こっちから見るとオーティス・ラッシュすげえ、みたいな感覚ありますけど、現地にいるとそんなのは全然なくて。日常的なんですよね。

自分でブルースやりたい、っていうのはありますけど、まだ経験不足というか、それをやるだけの内容が伴ってないと駄目ですね。その点で憂歌団はすごいですよね。グループの存在そのものがブルースになってるというか、俺たちはここまでやってきたんだぜ、みたいな自信が満ち溢れてますからね。ただ表面的に真似してるわけじゃなくて。そういうスピリットが大切だと思うんですよね。

昭和の男 JUN SKY WALKER(S)

TEXT●DAI ONOJIMA　PHOTO●YUKIO FUKUZATO & MANY PHOTOGRAPHER(S)

小林雅之

1967-1970 ／ THE BEATLES

フェイバリット・アルバムですか・・・・・うーん・・・・・ビートルズの青いヤツか・・・ええっと、『1966-1969』っていう2枚組のベスト盤なんですけど・・・・・始めてちゃんと自分で買ったLPの『オールディーズ』かな・・・・・。やっぱりビートルズですね、あえて言うなら。

青盤は後期のベストなんですけど、なぜ後期かというと、たまたま家にあったんです(笑)。おにいちゃんが聴いてたんで、たまたま。

そのあとちゃんと自分で買おうと思って買ったのが、赤盤(『1962-1965』前期のベスト盤)じゃなくて、『オールディーズ』なんです。『オールディーズ』は初期のベストですけど。

ビートルズのどこに魅かれたかと言うと・・・・・簡単って言うか、覚えやすいって言うか、きれいって言うか・・・・・そういうところですね。

ビートルズも後期になると屈折したヘンなところが出てくるんですけど、青盤なんかはシングル集めたヤツなんで、そういう暗いのはあんまりなかったから、中学生にとってはちょうど良かったですね。

聴き始めた頃は「ロック・イン・ザ・USSR」が一番好きでしたね。あれもたまたまLPの一曲目だったんで、印象強かったんですけど。ジュンスカ組んで最初にやった曲があの曲なんです。学校の教室かなんかで朝から晩までずーっとあの曲ばかり練習して。

その後は「ア・デイ・イン・ザ・ライフ」とか、好きになりましたね。

ちょうど中一の終わりぐらいだったかな。このアルバムを聴いたのは。もちろん、その時はとっくにビートルズは解散してました。

その後ビートルズに狂って、メチャ聴き込んで、いっぺんイヤになって(笑)、しばらく聴かなかったんです。聴き過ぎて飽きちゃったんですね。それからアナーキーとか好きになって、そういうものばかり聴いてた時期がしばらく続いて、でもある日そういうのだけじゃ満たされない何かがあるってのに気付いて、そうだ、やっぱりビートルズだ、ってことになって、それからまたずっとビートルズですね。

パンクとか通過する前に聴いてたビートルズと、通過した後に聴いたビートルズは少し自分の中じゃ違うんですよ。さっき話に出たような、暗かったり、ヘンな世界に入っていくようなところは、前は聴けなかったですね。カッタるいって言うか、良くワケわかんなかったって言うか。

でも後の方になると、そういう所も聴けるようになってきて、好きな曲もできてきましたね。幅広い部分に目が向いてきたのかも知れない。

4人の中では・・・・・総合的に見たらやっぱりジョン・レノンが一番好きかな。もちろんそんな詳しいこと知ってるわけじゃないけど、自分で調べたり本読んだりすると、やっぱり、いいところあるなあ、と思いますね。ポール・マッカートニーはあまり好きじゃないけど、曲はホントにいい曲書くと思います。

だから、あえて好きなメンバーを挙げるなら、ジョン・レノンですね、やっぱり。

別にビートルズ聴いたからバンド組もうと思ったとか、そういう大層なものじゃなかったですけどね。一時期ちょこっと遊びっぽくやったとか、一人でやってた時にウォークマンで聴いてたとか、その程度でしたから。

だから、純粋に楽しみで聴いてたって感じですね。

昭和の男
JUN SKY WALKER(S)

昭和の男
JUN SKY WALKER(S)

LONDON CALLING／THE CLASH

3枚目のアルバムなんですけどね。初期の一発録りみたいなラフなのもすごく好きなんですけど、「ロンドン・コーリング」はやっぱり完成度高いし、色々なところにチャレンジしてるみたいなところがあるんですよ。リズムの刻み方とか。あと、ベースのポール・シムノンが歌う曲がA面の最後に入っていたり。2枚組なんですけど、全然ダレないし。すごく感じますね、俺も頑張ろう、って。こいつら本気だな、みたいな。とにかく「ロンドン・コーリング」が最高ですね。1枚目や2枚目も好きですけど、「ロンドン・コーリング」の方が倍ぐらい聴きましたね。俺にとってはクラッシュというか、パンクの価値観みたいなものが「ロンドン・コーリング」で出来上がったみたいな所がありますね。ビデオとかみると、初期のクラッシュみたいなものはありますけど、音楽的に見るとやっぱり「ロンドン・コーリング」の方がいいですね。あと、何しろジャケットがカッコいいですよね。プレスリーのファースト・アルバムのジャケットのパロディらしいですね。文字の配置とか同じなんですよ。だから昔からロック聴いてる人なんかは、おお、やってくれるじゃん、みたいなところがあるらしいですね。

あれが出たころは中学1年か2年ぐらいの時ですけど、聴いたのは高校1年のときなんです。5枚目の「コンバット・ロック」の方を先に聴いてまして。「ロック・ザ・カスバ」とか入ってるヤツ。で遡って聴いたんですけどね。でも実際にクラッシュの曲を最初に聴いたのはアナーキーのやってるヤツの方が早かったですね。クラッシュ聴いて、何だこいつらアナーキーの真似やってるみたいな(笑)。でもアナーキーをパンクと思って聴いてたわけじゃないんですよ。アナーキーに限らず、日本のロックをパンクだとは思わなかったですね。外国のものがパンクだと思ってましたから。ロック聴きだしたきっかけはビートルズなんですけど、自分の土壌に合ってるものというと、アナーキーとかクラッシュですね。

その後のクラッシュは、まあいいことはいいんですけど、俺は評価してないですねえ。ただクラッシュがやることだからいいんだって、言いたいんですけど。俺の中のクラッシュっていうのはやっぱり別格ですから。でもやっぱり評価はできないなあ……姿勢は共感できるけど、でもちょっとねえ……。

ジョー・ストラマーが好きなんですよ。声とかボーカルとか、あと姿勢も。セックス・ピストルズも好きでしたよ。大ショックを受けましたから。この間ジョン・ライドンとは会いましたけど、武道館で。やたら愛想が良くて。U2のことボロクソに言ったり、そういうところはまったく感じなかったですねえ。

ジョー・ストラマーって人はパンクのスタイルとか、ああいうものに凄くこだわりがあると思うんですよ。兄貴肌みたいなところがあるでしょ。ポーグスと一緒にやったり。だから、日本で言うとロフトからスタートしてロフトに戻ってまた演奏できるみたいな所があると思うんですよ。ジョン・ライドンはどんどん新しいことをやっていきますよね。新しいアルバムも好きなんですけど、武道館はちょっと……歌とか演奏じゃなくて、パフォーマンスみたいな所が一番受けてたのが寂しいし、残念でしたね。それは俺の勝手な思い込みなんですけどね。そういうところは見たくない。だからもしジョン・ライドンとジョー・ストラマーのどっちかになれ、って言われたらジョー・ストラマーになるかも知れない。

The Clash
LONDON CALLING

MERRY X'MAS

7月14日 沖なわで初ライブ。

「沖なわスクランブル」というディスコでライブ。なんてトレンディなのかしら。バッドミュージック社員旅行も兼ねて楽しいバケーションをすごしたそーな。

○絵と文・ジュンスカ担当 (illegible)

……

PIT三昧。

ざんまいっつー程でもないが単独ライブ、ジュンスカVSZIGGY、ましオなど結構思い出深いもんがある。来年もPITやるのかな?

㊙人気バンド現る。

The Wells・MAD GANGそして㊙バンド。どこが㊙だったんだという気がしないでもないが、「ごきげんRADIO」等のぶっちぎりのスタンディング・ライブだった。セッションは18番「電撃BOP」っ!!!

4月のVAPの稲葉サンの結婚パーティで

GO-BANGSの森若さんと司会をつとめたカズヤ。「いつも2人で」を演奏したジュンスカ。

呼人さん、似てないですか?

竹内さんごめんなさい 森若のつもりだったの…

渋公2DAYS。

2/20・21の2日間。11月のときよりかなり落ち着いたライブを見せてくれた。純太くんの「カメラ小僧」には大笑いっ!!

PIT

ハリ〜さん似てなくて悪い? 民生だけど。

ちんぽ君

スリスリ

ボヨヨンロックだ。

おーつきケンヂを教祖とするボヨヨンロックに何故か参加したジュンタ&カズヤ。まさにオロロ〜ン…とでも言うべきかしら。

P▶ROCKフェス。

あまりムーブメントに関係なかったけど?新保には出てから。

AUSTRALIA

それは、ライブまみれで始まった。

BANDSTAND NAGOYA

年末〜年始にかけて名古屋バンドスタンド▶新宿コマ▶渋谷LA MAMAと大忙しのライブまみれ。まるで今年のジュンスカを暗示するよーな出来事。

▶3rd ALBUM◀

ARUITEIKO 歩いていこう

6/21 ON SALE!

ゴーカなフロクの写真集。

FUCK OFF!

PISS

オ〜ストラリア珍道中(?)。

とは言え、撮映・さつえい…で殆ど観光するヒマなし!! どこに行っても偉かくお兄さん達だな。

伝説なるか、雨の野音。

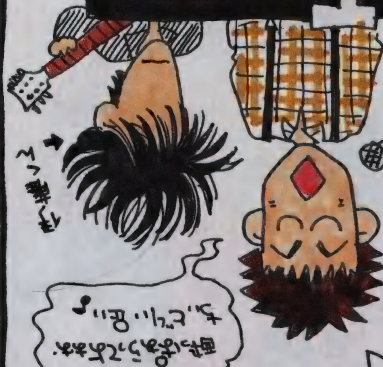
4/23の初の野音ワンマンは…雨だった。しかもずっと㊋。モッズみたく伝説化ありゃ〜それもそれでカッコイイけどさ。

ぺったんこ髪。

おこりんだ (illegible)

ジュンスカの1989年。

8/16・17
武道館
2DAYS

とりあえず
おめでとう。

呼人くんの
MANDALA.Ⅱで
ライブ。と言っても
2.3曲しか歌わな
かったけど、ちがう面が
見れたよ～な気がする。
この日に出た チャーリー佐藤さん
という人は サイコ～っ!!
また見たい。

バカタレ

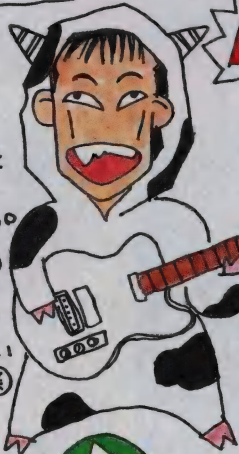
呼人くんの アメリカ旅行。

10月のOFFを利用して ROLLING STONES
追っかけ(?)旅行をしたらしい。
さすが リッチっ。なんでも ダフ屋さんから
チケットを買ったとか。シカゴで オーティス・ラッシュ
も見たそーだ。いい思い出になったかな?

あまりに印象
が強すぎる
牛な小林くん。
横を向きながら
しんけんに
ギターを弾く姿
はほほえましい
ものがあった㊦

乱入大好きっ。

9月・10月あたりの乱入は
すさまじいものがあった。
マドギャンのLA MAMA、パンチ
ミュージック倒産GIG、ロティカ
渋公……等。ライブハウスで
ジュンスカが見れるなんて
今となっては貴重よお。

がんばっていっ

相変わらず
ゴーカイな
森 純太さん →

「まさか ツアータイトルに
なるとわ……。」の
「ヘビードリンカー」。
今回のツアーは 新曲も
ひろうしてくれる。
かなり詞が日常的で
私はピースかと
思いました。

HEAVY DRINKER
TOUR '89～'90

全国津々浦々。

エルビス寺岡っ。

なぜか今年は UNICORNとの交流が多かった。
それも呼人くんが ぶっちぎり。
武道館の時なんて フジテレビから
衣装 借りちゃうくらいなんだもの♪

SF ROCK STATION ▶ 7月からスタート!!

宮田・寺岡組、森・小林組で
DJをつとめる。きいたことはないが
興味深い。しかもすごく。

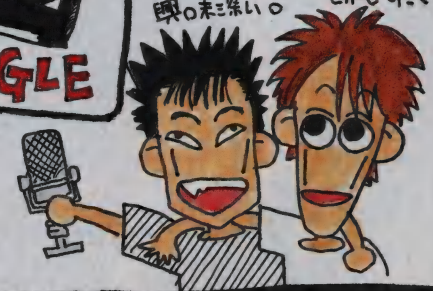
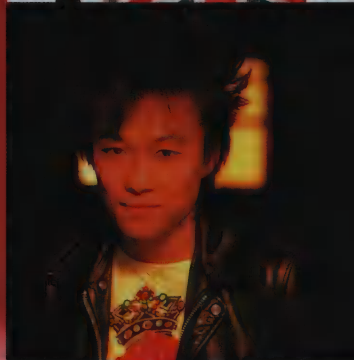
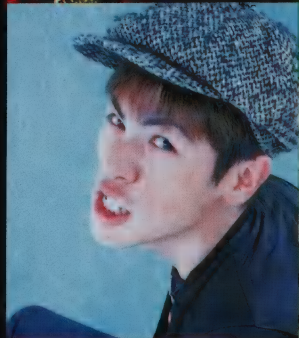
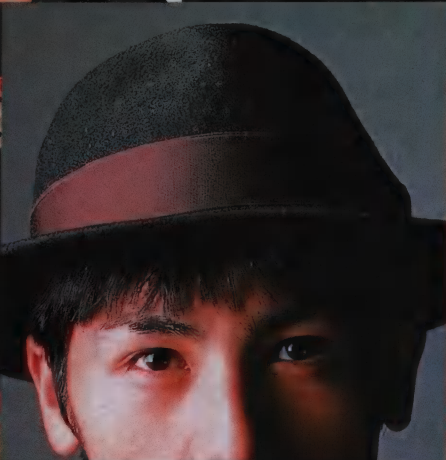
JUN SKY WALKER(S) LIVE

11/21 ON SALE!!
VIDEO & SINGLE

BOMB!

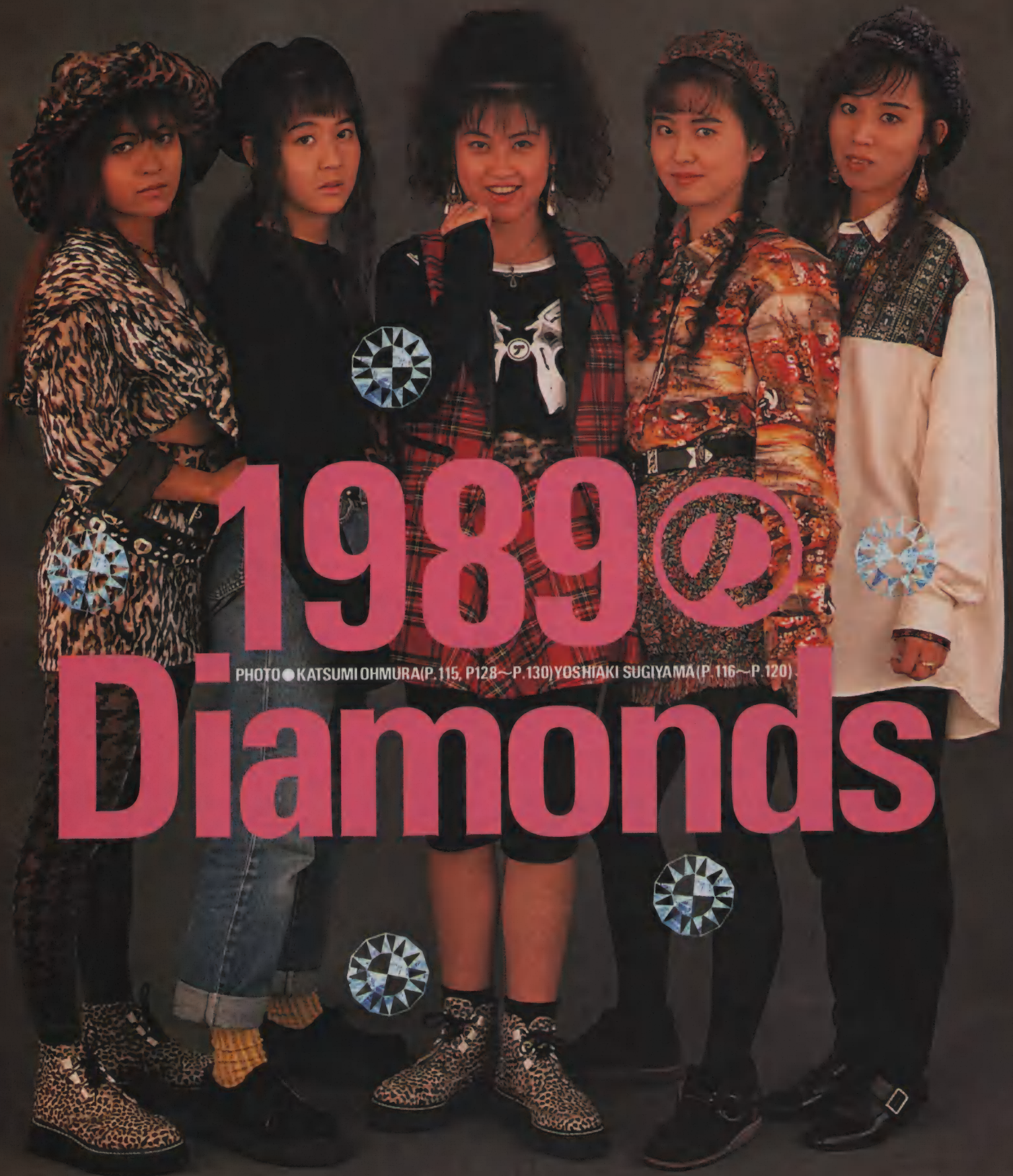
CM出演だぜっ。

「2度あることは3度ある。」まさに。
乾電池になったかと思ったら 今度はマンホールから
飛び出すんだもんなあ。笑かしてくれて ありがとう㊦

LANTERN

REVOLVING

JUN SKY WALKER(S)

1989-1990

昭和の男
JUN SKY WALKER(S)

PRINCESS PRINCESS

'89年のプリンセス'は、あまりにもまぶしかった。ライブも、作り上げたレコードも、そのままの5人も。大切なものが何であるかをよく知っている彼女たちの、1989年のDiamondsの記録です——

1989のDiamonds

PHOTO●KATSUMI OHMURA(P.115, P128～P.130) YOSHIAKI SUGIYAMA(P.116～P.120)

PRINCESS PRINCESS*PRINCESS PRINCESS PRINCESS*PRINCESS PRINCESS PRINCESS*PRINCESS PRINCESS PRINCESS

kaori

OKUI

PRINCESS PRINCESS PRINCESS＊PRINCESS PRINCESS＊PRINCESS PRINCESS＊PRINCESS PRINCESS

Kanako

NAKAYAMA

Kyoko

TOMITA

PRINCESS PRINCESS＊PRINCESS PRINCESS＊PRINCESS PRINCESS＊PRINCESS PRINCESS

PRINCESS PRINCESS*PRINCESS*PRINCESS PRINCESS PRINCESS*PRINCESS*PRINCESS PRINCESS

Atsuko
WATANABE

Tomoko
KONNO

PRINCESS PRINCESS PRINCESS*PRINCESS PRINCESS PRINCESS*PRINCESS PRINCESS PRINCESS*PRINCESS PRINCESS

10 Diamonds '89

KAORI

1. 武道館のコンサートで「19〜」をファンの子達が歌ってる顔を見た時
2. 「ダイヤモンド」ができた時
3. 1人暮らししてた夏
4. NYでの一週間
5. (加)と公園で花火をやった夏の日
6. レコーディングスタッフ達とうちあげでディズニーランドに行った日
7. 元旦
8. 誕生日のこと
9.
10.

KANAKO

1. 武道館の「19〜」で客電がついてみんなの顔が一人一人見えた瞬間
2. 晴れた日のLAのメルローズの景色
3. ダイヤモンドの歌詞がやっとできて歌入れの時メンバーがそれぞれコピーした歌詞を見て頷いてくれた時
4. 香と夜中住宅街の公園で花火した時
5. お母さんとおばあちゃんとおばちゃんと4人で一緒に温泉に入った時。血のつながりを感じた。
6. ローリングストーンズの新譜スティールホイールズを大切に持って帰ってプレイヤーに載せた時。(まさしく針がおりる瞬間)
7. 西武スタジアムの後ツアーを共にしたスタッフに花束をもらった時
8. 沖縄の海でビールを飲んで砂浜に寝っころがった時
9. "ギミもブリブリ"というイベントで自分たちのコピーバンドを見た時
10. 『LOVERS』が完成した朝、うちで香ときいて自分達で感動した時

KYOKO

1. 夏休み富士山に行った時車から降りて見た風景
2. 徹夜して土手で星を見ながら寝た時のコト
3. 新宿の公園で酔いをさますために明け方ドラムの練習をした時間
4. 海岸の駐車場に車をとめて過ごした時間
5. ジェフベックを見に行った日
6. 1月23日初めて武道館に立った日のこと
7. ロスでのシーワールドのシャチのショー
8. 野音でのこと
9. CASAで夕暮れどきごはんを食べたこと
10. お花をもらったこと

ATSUKO

1. 武道館でのコンサート
2. 西武スタジアムでのコンサート
3. ベストテン番組で一位になったこと
4. アルバム『LOVERS』のレコーディングと発売
5. ロスアンゼルスに行ったこと
6. 24歳になったこと（とし女だったのよ）
7. パチ▼パチにイラストを描かせてもらった
8. 部屋の大そうじをして今まで捨てられなくていた物を整理した。(勇気がいったんだぞ)
9. インコをヒナから育て卵をまたかえらせた
10. 家族で温泉に行った

TOMOKO

1. 武道館は女の子バンドとしても初めてだし、ステージの上はどこまでもお客さんが続いていて気持ち良かった
2. ひとつもコンサートをとばさず一本一本大切に楽しくやってこれた
3. 「ダイヤモンド」がすごくヒットしてそのあかしとして、本物のダイアモンドをいただいた
4. 「ダイアモンド」がザ・ベストテンでなんと1位になった
5. 「ダイアモンド」「世界でいちばん熱い夏」2曲ともベストテンに入った
6. ダイアモンドがロングセラーで1位に「世界いち…」が3位になった
7. ロサンゼルスに行けたこと、象の上にのれたこと
8. 仲縄でコンサートやって、基地にも行けたし海でも泳げたし楽しいOFFを過ごせた
9. 武道館を終えた後メンバー5人で感激して泣いたこと
10. 『LOVERS』がすごくいい作品になった

PRINCESS^2 GRAFFITI '89

◉“フツーは絶対にお目にかかることができないプリンセス^{2}の姿を教えてあげる”というメンバー全員のアイデアで5月号から始まった連載PINCESS^2 GRAFFITI。トモちゃんにしかかけない名イラストのおかげで知ることができたいろんな5人。でも、毎月このページに来る質問は数知れず。で、メンバーが一気に答えてくれた。

▲CMの撮影風景というのを書いてほしいです。(神奈川県　藤巻ありさ・)他

ILLUSTLATION●TOMOKO KONNO

1　OFFの日は何をしているのですか?(長野県　柳　健二)

(香)歯医者か、寝てるか、友達んちにいる。

(加)昼すぎまで寝て、夕方はぼーっとして、夜はTVをみてお酒を飲んでます。出歩くより家でゆっくりする方が好きです。

(京)たいていは人と会っています。

(教)部屋をかたづけたり、買い物したり、パズルをしたりする。

(登)ほとんど家で寝ていますが、気が向くと買い物に行ったり、ゴルフの打ちっぱなしなんかに行きます。

2　吸ってるタバコの種類を教えて下さい。(大阪府　松石知彦)

(香)バージニアスリムライト・メンソール。ツアー中(ツアー1か月前から)禁煙

(加)フィリップモリス・スーパーライト。無い時はなんでも吸う。でもショート・ホープだけはクラクラするのでダメ。

(京)吸ってないです。

(教)今は禁煙してるけど、キャスターを吸ってた。

3　プリンセス・プリンセスのコピーバンドが増えてるのはどう思いますか?(長崎県　伊藤　優)

(香)死ぬ程うれしい。昔、自分がコピーバンドとかやってた時の気持ちを、今度は逆に誰かにもたれてると思うとドキドキする。

(加)すごい嬉しいことです。ギターの子1人ひとりと会って話したり、ギター教えてあげたいくらい。1度でいいから私の服かしてあげて、髪を立てて化粧してあげたい。

(京)目標だったので大変うれしい。私がバンドを始めた頃の「雨あがりの夜空に」とか「トランジスタラジオ」のように「ダイヤモンド」や「19グローイングアップ」がなっているんだとしたら本当にうれしい。

(教)そりゃあ、うれしい限りですよ。

(登)とても嬉しいと思います。夢のようです。

4　今、一番欲しいものは何ですか(岐阜県　東松令恵)

(香)別にない。

(加)持ってるレコードを全部聞く時間と、誰にも気付かれずスペースマウンテンに乗れる自分。

(京)人の私生活を追いかけたり、干渉する人達がいないですごせる自由な時間。

(教)うーーん、別にオフが無いわけでもないけど、旅行したいからやっぱりオフかな。

(登)ディスクマン(明日買いに行こうと思っている)。ゴルフボール(すぐ池の中に消える)。

5　メンバーの間で今、流行っている遊びや言葉を教えて下さい。(神奈川県　山下順子)

(香)“ばずしてんな〜”ってはやってる。

(加)“なべちゃん”という言葉は、しばらく流行しそう。タイ料理も流行っている。

(京)ツアーが始まるとまたきっとUNO。“ばずしてんなぁ——”“なべちゃーん”。

(教)UNO、テトリス、ファミコン。“ばずしてんな”。

(登)ゼスチャーゲーム。

6　今までもらったプレゼントの中で、変わったものやびっくりしたものがあったら教えて!!(神奈川県　ひたCHAN)

(香)ダイヤモンドにはびっくりした。嬉しかったけどね。

(加)皮ジャケットは高価なのでびっくりした。女の子がくれた手編みの手袋はすげー嬉しかった。でも、ポストカードでもえんぴつでも何でも嬉しい。大切にしてる。

(京)「俺はきょんちゃんを愛している!!」と大きく刺繍のしてあるバスタオル。

(教)まず手紙で、読むだけでも1時間はかかってしまうほどの長文レターと、クリスタルガラスと手作りの、うまく説明できないけどピカピカ光るキレイな飾りもの。そしてびっくりしたのが、私は果物が

PRINCESS² GRAFFITI '89

▲コンサート・ツアーのリハーサル風景を知りたい。(山形県　黒田理加子・他)

好きなのだけど、あらゆるイチゴ製品を全部集めたプレゼント。
(登)牛肉、手製の靴、バケツいっぱい、(?)のバラ。

7　ツアーのドジ話があったら教えて下さい。(東京　いじけ顔のフォトグラフ)

(香)ありすぎて書けない。
(加)寝坊して、起きたら新幹線の出発時間だった。後から1人で自由席で行って、駅弁を食べた。
(京)パッと思い出せないということはたぶんたいしたコトはしてないです。
(教)きっと自分でも気づかない所でたくさん大ボケしてると思うけど、ステージで全曲終わって帰る時、1人で反対方向から帰ってしまったりした事。
(登)ツアー本番当日、新幹線の回送電車に乗って、1人で車庫まで行っちゃったこと。

8　疲れはどうやってとりますか?(東京都　いじけ顔のフォトグラフ)

(香)ためてます。
(加)とにかく寝ること。肩や首にはピップエレキバンかサロンパスを大量に貼りまくる。「ロッカーじゃねぇなあ〜〜」って思いながらも貼らないと痛くて死んでしまう。
(京)キューピーコーワゴールドを飲む。温泉の源を入れたお風呂に入る。お香もたいてお酒を少し飲んで寝る。寝る前に電話をしてうさをはらす。
(教)睡眠を十分にとる事と気分転換をする。
(登)ちゃんと食べて、お湯につかってよく寝る! キューピーゴールドを飲むとさらにGOOD!

9　どうやってそんなカッコイイジーンズ、手に入れるんですか?(宮崎県 NEWRYOKO)

(香)古着屋さんで色とかボロボロぐあいとか、理想のジーンズがあるまで探す。ボロボロぐあいが足りなかったら自分でボロボロにする。
(加)奥居クンに聞いてくれ。ちなみに私の黒すりむは、すそをつめたりもする。
(京)お店にちょくちょく行くようにする。
(教)やっぱりメーカーだけにはこだわらず、自分の体型に一番あう物を探すしかないよね。
(登)いろいろはいてみる。体型によってみためのカッコよさは全然ちがうもんだ。

10　今野登茂子さんはなぜ〝パン〟と呼ばれているのですか?(北海道　タム)

(香)ある日、パンの弟が学校で〝パン〟と呼ばれてると今野さんが笑って話してくれたので〝弟と顔が同じなんだから、あなたもパンじゃない〟と、その日からパンになった。
(加)パンに聞いて下さい。ちなみにキーボードの機材をつなぐ時の用語で、〝PAN〟というのがあります(こじつけ)。
(京)パンの弟はパンにそっくりの顔をしていて、その弟が学校で〝今野パン〟と呼ばれていたから、姉も〝今野パン〟になった。
(登)〝君〟〝さん〟のかわりに〝パン〟と言うのが流行った時期があったんだって。それを弟に聞いて、メンバーに話をしたら、よくわからないけどナゼか、〝パン〟と呼ばれるようになった……というとてもつまらないお話。

11　プリンセス・プリンセスのいつも着ている(好きな)服のブランドを教えて下さい。(大阪府　村上典子)

(香)それぞれちがうけど私はDEPTが多い。あとヒステリックのあまりキバツじゃないヤツとか。
(加)特になし。昔はヒステリックグラマーにこったけど、今ではシンコーのビルの地下にあるダブルデッカーの〝ブラック〟〝メタルキッズ〟や〝BOY〟のものが多い。とてもお世話になっている。他にない変わったものがいっぱいある。
(京)ベティズブルー、BA-TU、45RPM、その他適当。
(教)特にブランド物にはこだわってないけど、ハリウッドランチマーケットやルージュアンドキーウェストなどは好きだ。
(登)あまりブランドにこだわらないんだよね。

12　加奈ちゃんは何歳の時からギターを弾き始めたのですか?(長崎県　田平なみ)

(加)15歳の時。ハッキリ言ってキャリアだけは長い。でも真剣に練習し始めたのはこのバンドに入ってから。

13　中学(高校)時代にやったバイトのことを教えて下さい。(大阪府　石井美香)

(香)マクドナルドのスマイルおねえさん。
(加)ロッテリアやサンテ・オーレなどファーストフードは得意!〝チーズ・オーダー・ツゥ・プリーズ〟とか言ってた。他には主に喫茶店とコンビニエンス(サン・エブリー)。バイト歴は長いぜ。
(京)不二家さんのウェイトレスとかほとんど接客関係。
(教)高校時代に自転車を盗まれて、自転車を買う為に茶店でバイトをした。
(登)バイトはやったことがないの。

14　プリンセス・プリンセスのみなさんにとってのほめ言葉(ほめられる言葉、ほめる言葉)ってどーゆーのですか?(神奈川県　石倉太恵子)

(香)私、個性的とか言われるのスキだな。女の子に〝カワイイーッ〟とか言われると顔がニマニマしちゃう。
(加)「カッチョイイーじゃん」に限る!
(京)ポイントをついたほめ言葉。自分のコトは自分が一番よく知ってるつもりなので、おだてられてもすぐ「この人おだててるな」ってわかる。自分が苦労した部分を苦労をしたって事を知らない人に誉められるとすごく嬉しい。

PRINCESS² GRAFFITI '89

1989.8.8. AND 8.9
SEIBU STUDIAM の メンバー楽屋
来てくれたみんなが どんな顔して帰るのか心配で カーテンをのぞいてしまう。 と……
TOMOKO・KONNO by PRINCESS PRINCESS

▲楽屋のみんなの様子が知りたいです。(埼玉県　畑中淳美・他)

(敦)かわいい！　うまい！　かっこいい！　はおいといて、やっぱり何よりも"プリンセス・プリンセスっていいバンドだよね！"って言われたいな。

(登)いいじゃん、カッコイイね、かわいい〜〜。

15　服を買う時、選ぶ時の基準を教えて下さい。(北海道　平井恵子、京都府　寺田あや)

(香)気に入ったのは絶対買う。後から後悔すんのイヤだから。(昔、買いそびれたら夢にまで出てきた)

(加)(1)自分の世界のものか、そうでないか。YESの場合は買う。(2)それを着てる自分が動いている姿を想像する。○の場合すぐ買う。Xでもあまりに気に入れば買ってなんとかする。

(京)まずは一番自分が気に入ったか!?　自分はこれに似た服を持ってないだろうか!?　自分の価値感でみてこの服にこの値段はどうか!?

(敦)インスピーレションでこの服がいいと思ったら、あまり迷わず買ってしまう。ただし、自分自身の体の欠点をカバーしてくれる物が底辺にあってこそだけどね。全体の印象は逆三角形が理想。

(登)1回しか着ないようなものは買わない。(それでよく後悔した)自分のイメージに合っているか(似合っているか)。

16　女の子なのにどこからあんな度胸が出るんですか？　コンサートで「間違えたら……」ってことないですか？(愛知県　谷田麻衣子)

(香)私、心臓に毛がはえてるみたい。

(加)「間違えたら……」なんていつも思ってる。足がすくんで逃げそうになるけど「今日この時間、この場所で音を出せるのはこの5人しかいないんだ！」と思うと度胸もすわってくる。

(京)もちろんある。でも、女の方が度胸すわるとすごいと思う。多分。

(登)コンサートの前はいつでもものすごくドキドキするし、やってる最中でも、いろんな事考えて冷や汗を流しているよ。でもお客さんみんなのパワーとメンバーのパワーがひとつになって自然に体が動いてしまうんだ。

17　子供の頃、どんなアニメを見てましたか？(愛知県　加藤英貴)

(香)宇宙戦艦ヤマト

(加)アタックNo.1、巨人の星、マジンガーZ、ムーミン他カルピス系全部。ルパン3世、キューティ・ハニー、ド根性ガエル他、たぶん人より見ていた方だった。

(京)怪物くん、サリーちゃん、アッコちゃん、アタックNo.1、巨人の星、ラムジー、タイガーマスク、ムーミン、メルモちゃん、タイムボカン、みなしごハッチ。

(敦)サリーちゃん、ひみつのアッコちゃん、巨人の星、いなかっぺ大将、エースをねらえ、アタックNo.1、ルパン3世、ど根性ガエル、デビルマン。

(登)ひみつのアッコちゃん、魔法使いサリー、ケロッコデメタン、みなしごハッチ、みつばちマーヤ、アルプスの少女ハイジ、ムーミン、マンガ日本昔ばなし、デビルマン、魔女っこメグ、カリメロ。

18　もう1度見たい映画はありますか？(岡山県　石川和香奈)

香「フィールド・オブ・ドリームス」と「フォーエバー・フレンズ」。

(加)たいがいビデオで持ってるけど、一番みたいのは「異人たちとの夏」TVで偶然みて涙が止まらなかった。ビデオ録った人一生のお願いダビングして。

(京)ありすぎて困る。

(敦)「ラストエンペラー」

(登)「未知との遭遇」を映画館で観たい。

19　自分たちの歌で、一番好きな歌は何ですか？(奈良県　辻谷有紀)

(香)私、全部好きです。

(加)自分で作ったのも、他の4人が作ったのも平等に全部好きになってきた。自分たちの曲は本当に好き。愛してる♡

PRICESS² DATA

あまりにもどんどん増え続けるプリンセス²・ファンなものだから、PRINCESS² GRAFFITIには、けっこう、そぼくな質問も多かった。

そこで、初心者プリンセス²・ファンのため基本的・プリンセス²データーもお教えしてしまいましょう。

●ファンクラブの入会方法

62円切手を同封して、次の宛先まで送ると入会案内書が送られてきます。(申し込んでから発送まで2〜3週間かかるそうです。)

[宛先]〒101　東京都千代田区神田小川町2−1
(株)シンコーミュージック
「プリンセス・プリンセス・パブリック　入会案内書希望」係

▼会費は4000円(入会金1000円と年会費3000円)

▼特典　会員証、会報(年4回発行)入会記念品、チケット優先予約(地域、時期、イベントの性格により不可能な場合があります)バースデーカードプレゼント　他　など

▼以上のこと、ファンクラブに関する問い合わせ先
TEL03(291)2015

●チケットはどうやったら手に入りますか？　という問い合わせも多数ありましたが、ファンクラブに入会するというのもひとつの方法でしょう。

あとはコンサート・スケジュールや、ツアーの告知広告をマメにチェックして、自分が行きたいコンサートの問い合わせ先に問い合わせて、チケットの発売日を前もって知っておくこと。発売日に電話がつながるかどうかは運と努力と根性と工夫と

PRINCESS^2 GRAFFITI '89

（京）曲がやきもちをやくので×××

（敦）うーん一番となるとしぼりきれない。

（登）選べないよ。

20　誰のコンサートによく行きますか？（奈良県　辻市有紀）

（香）RC

（加）毎回ではないけど泉谷しげるさんとRCサクセションにはよく行く方。でも、そこで私を見つけても絶対に声をかけないでほしい。ただのファンで行ってるから。

（京）泉谷しげるとRCサクセションは必ず行きたい。他は友達のいるバンド。

（敦）特別決まってはいない。

（登）？　ひみつ。

21　加奈子さん、髪はどういうスプレーを使っていますか？　髪を立たせるテクニックを教えて下さい。（愛知県　白河和希）

（加）ダイエースプレーを使ってたけどフロンの問題があるので、どうしようかと思っている。方法は逆毛を立てるスプレーをいっぱいかけて、ドライヤーで一たばずつ乾かし後でほぐす。洗うのは大変！

22　大ボケで有名な渡辺大先生のあっこCHAN語録をやって欲しい！（神奈川県　ひたCHAN）

（加）〝ベーシストNo1を目指します！〟と書こうとして〝ベーシストNo1を目覚します！〟と書いてしまった。

（京）「松竹」に映画を観に行くを「シナチク」に映画を観に行くと言ったというのを昨日、ローディの子から聞いた。

（敦）フィル・コリンズ→ベルコモンズ、アルト笛→アダルト笛、光栄→栄光、インテリア→インテリ。

23　それぞれの楽器についての思い出話を教えて下さい。（神奈川県　加藤英一）

（香）私は「ローズ」を見て歌に対する考え方が変わりました。

（加）7年前、どうしてもコピーできない所があって朝まで苦しんでたら、始発電車の音がして、本当に悲しくなった時。なんか、ギターと2人で起きてがんばってるような気がした。

（京）20歳の誕生日に、付き合っていた子にシンバルをプレゼントしてもらった。その時からチャイナ系のシンバルをセットするようになった。今でも使ってる。

（敦）今、メインで使ってるスペクターはたくさんの数多い中のベースから選ばれた優等生ベースなのだ。さすがに私の希望がかなえられている。たまに使うグレコのフェンックスベースも調整しつつ、だんだん私の好きな音に近づいてくれている。

（登）高校2年生の頃、ブラバンの部屋になぜか突然ムーグがあって、さわれないほど貴重な存在でした。その頃ちょうどバンドに誘われていたんだけど「キーボード演るとか言ってんのに、普通興味もってさわったりとかするもんなんじゃないの？」と言われ、ムカついてバンドなんかやるのやめた、と思った。

24　奥居さん、高い声の切り替えがうまくいかず音をはずしてしまいます。どうしたら、うまく歌えるようになりますか？（神奈川県　西中恵）

（香）あんまりテクニック的なことは考えずに本能的に歌う事の方が大切です。〝ごーゆう風に歌いたい、歌いたい……〟って思いながら頑張っていれば、フッと気付いた時できてるよ。忘れた頃にね。頑張ってね、きっとできるから。

25　富田さんがドライブに行く時かけるBGMを教えて下さい。（北海道　トクメイ）

（京）別に決まってはいないけど、今日はブレッカー・ブラザースというバンドの「メタル・ビーバップ」を聞いてきた。

▲みなさんが曲を作っているところをぜひ、今野さんのイラストで知りたいのですが……（静岡県　MILK・他）

情報網次第というところでしょうか。ますますチケットが取りにくくなっているプリンセス^{2}のこと、がんばってくださいね。

▼メンバー基本中の基本データ

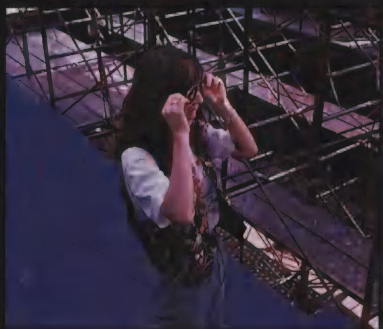
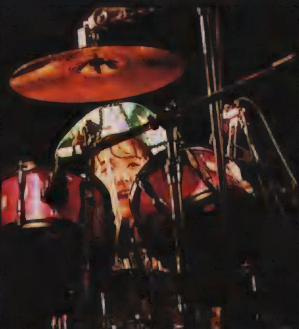
渡辺敦子（わたなべあつこ）
生年月日　'64年10月26日　さそり座
血液型　B型
身長　163cm
担当　ベース&コーラス
ニックネーム　アッコちゃん（最近は、ナベちゃんとも呼ばれてます）
出身地　九州

中山加奈子（なかやまかなこ）
生年月日　'64年11月2日　さそり座
血液型　B型
身長156cm
担当　ギター&コーラス
ニックネーム　カナちゃん
出身地　神奈川県横浜市

富田京子（とみたきょうこ）
年生月日　'65年6月2日　双子座
血液型　B型
身長156cm
担当　ドラムス
ニックネーム　きょんちゃん
出身地　神奈川県横浜市

今野登茂子（こんのともこ）
生年月日　'65年7月15日　かに座
血液型　O型
身長　164cm
担当　キーボード&コーラス
ニックネーム　トモちゃん、パン
出身地　埼玉県

奥居香（おくいかおり）
生年月日　'67年2月17日　水がめ座
血液型　O型
身長　157cm
担当　ボーカル&ギター
ニックネーム　カオリ、オリちゃん
出身地　東京都

基本的なところってやっぱり知りたいもんだよねん。

PRINCESS PRINCESS

Diamonds '89

PRINCESS

PRINCESS PRINCESS*PRINCESS PRINCESS*PRINCESS PRINCESS*PRINCESS PRINCESS

PRINCESS

1989のDiamonds

PRINCESS PRINCESS*PRINCESS PRINCESS PRINCESS PRINCESS*PRINCESS PRINCESS PRINCESS

PRINCESS PRINCESS 1989の Diamonds

YEAR OF THE HATTORI

UNICORN

◉まさにドトーの１年であった。古今東西から大反響を呼んだ『服部』のリリースを初め、さまざまなバンドに変化したり、ライブハウスで演ったり、ＯＦＦには海外へ行ったり……UNICORNに振り回されたいっ!!　という人のほうも異常に増加したようである。

撮影●小木曽威夫　スタイリング＆ヘアメイク●佐野美由紀

来年はゆっくりと。水前寺清子の精神でいきたいですね。

〝1年を振り返る〟というテーマのもとに話しを進めているのに「ファミコン最近やってないしなぁ。一般人が神の領域に近づいてきてマズイよ」なんて、アンタがどーして勝手に話しを変えるんだ!! って感じでしょーか。相変わらずのノリで、なんだかんだと一人マイペースの強味を見せている模様。（奥田民生は人の話しをちゃんと聞け！⇧宇都宮美穂のメッセージ）

「この一年間は……休みがなかったですね？（笑）やみくもに忙しい1年でした。いっぱいいろんなことしたんですけど、終ってみると短いっすね」

——今年は武道館もやったしね。

「やったやった。でもアレは面白かったけどね、すごい」

——緊張しなかったの？

「別にしないよ。逆に小っちゃいところの方が緊張すんじゃない？ 人が近いから」

——そういう性質の人なのかな。

「そうそうそう。そういう感じの緊張はあるんだけどねぇ、いっぱい人がいてワァーッとかって緊張すんのはあんまりないんだよね。だいたい後ろの方なんて見えないし、だから渋公なんかともう一緒」

——でもある種の達成感みたいなものはあるんじゃないの？

「達成感!? いや、最近の人は達成感ないでしょう。だって武道館なんてみんなやってるんだからね。もはや動員記録なんつーもんはなんでもないでしょ」

——じゃ例えば何をやれば達成感につながると思う？

「ンー、マジソン・スクエア・ガーデンでやったら人がいっぱい来た、とか」

——デカいね、いきなり。

「デカい。まぁ極端な話しですけど」

——シングル1位ってのはどう？

「あ、ダメねー」

——ダメ!?

「だってとっかえひっかえ誰かが1位になってんじゃん」

——ユニコーンはまだ1位になってないよ。

「なってないけど。（笑）それよりね、1位になったってすぐ落ちたらしょうがないでしょ？ だからそれだったら1千万枚売れたとかいう方が〝オーッ〟て感じがするよね」

——アレはどう？ 〝ROCKIN' ON JAPAN〟で、表紙&ロング・インタビュー。

「……受けてないじゃないですか」

——受けたらってことで。

「ダメっすねぇ」

——あ、そう。

「で、ねぇ。醒めてるわけじゃないんだけど、だからみんながもうやってることだから、昔に比べてそういう感動は少ないんじゃないですか？」

——そういう意味では最近の人は可哀想かもしんないね、感動が少ないから。

「それは言えるかもしれない。まぁ、武道館もできないよりできる方がいいけど」

——『服部』に関しては？

「アレは達成感あったよ、出来上ったときはさすがに。なんでもそれなりに、1個1個は手応えあるんだけど、例えばツアーが終った達成感よりは、レコードが出来上った達成感の方が強いよね」

——自分達のオリジナルが生まれるってところで？

「うん。もとが出来て、それを見せに行くのがツアーだから」

——『服部』は結構順調に作れた？

「うん。レコーディングも2か月ぐらいでね、短期間でピピッと」

——パパパッと。

「……苦労ないみたいじゃないですか、こういう話しの流れだと」

——だって言われないじゃない。

「えっ!? そう、あんまり言わないけど、だから音楽家なんて作るじゃない？ 自分で。それは苦労するとか……なんちゅうのかなぁ。努力したからいいものが出来るわけじゃないでしょ。スポーツ選手とかだと努力は必要だけど、音楽の価値は結局は作品で、苦労すりゃいいってもんじゃないんだよ」

——センスみたいな部分で身を費すとか？

「ていうか、センスじゃないですか、最初は。で、それを表現——上手くカタチにするのにみんな苦労するんですね。そこ以外ではあんまり苦労してないけど」

——世間の評価はすごく良かったよね。レコード評とか見てみても一様に。

「だねぇ……でもまぁ、当然悪いところもいっぱいあるんだけども」

——どこに？

「悪いっちゅうか、好みだからね。あえて言うと音質だとか、あと下手だっていうところもあるでしょ？ 例えばフランク・ザッパより下手だからね。同じ音楽家として。ということは、フランク・ザッパがやったら、もうちょっとリアリティーを持って出来たかもしれないと」

——同じ発想だったとしても。

「そう。反省つーんでもないけど、そういうのはあるわけよ。ただ、いわゆるアイデアとか、やろうとしたことが一応伝わってそれが他の人があんまやってなかったことなのかなぁという感じで、人によっては受け入れられたんじゃないかと思うけど」

——プライベートで何か出来事はないの？

「西川君が結婚した。このクソ忙しいのにあの男。ちゃんと愛を育くんでいたんですよ、彼は」

——恐ろしい人ですね。

「恐ろしい人ですよ。本当に。どこにヒマがあったんだろうね。ああいう」

——メンバーが結婚するって不思議な気分するでしょ。

「別に。だって30よ、あの人」

——……（意味不明の絶句）

「（笑）そうじゃなくて。だから、してもおかしくないつーこと。しなきゃいけないつーことじゃなくて。だって俺らだってしてもおかしくないもんね。いっぱいいるよ、友達でも」

——結婚式とか出るの？ そういう場合。

「出たんだよ、この間。仲間うちではそいつが初めてで、高校んときの友達とか、そういう奴らと一緒に。でね、〝MILK〟を歌わされてしまったという（笑）」

——奥田さん自身はとりたてて身辺に変化なし？

「ないない」

——あ、でもみんながオフのときに単身LAに行ってレコーディングしたよね？

「（笑）アレはでもオフだったよ、ちゃんとした。仕事のときには出来ないレコーディングだから、完全にオフ」

——私の余暇の過ごし方、という。

「そうそう。有意義なオフでした。（渡辺）満里奈ちゃんとメシ食ったしね」

——ちなみに来年はどんな感じで。

「来年はやっぱりどこかに隙間がないとね、そろそろ若いだけじゃ煮詰まりが生じてくるんじゃないかという気がするんでゆっくりと。水前寺清子の精神で行きたいですね」

TAMIO

UNICORN PERSONAL INTERVIEW 1989

インタビュー、文●宇都宮美穂

とにかく価値感の1年だった。音楽的にも人間的にも。

——89年を振り返って企画なんだけど。

「今年？　細かいことは忘れてます(笑)」

——1月に渋谷公会堂の2DAYSがあったりとか……。

「アレが10年ぐらい昔に思える、だから、一言でいえば、長い1年でしたね」

——いろんなこともあった？

「たくさんあった。『服部』のレコーディングも2、3年前の話のような気がする」

——でも、春先でしょ。

「そう。3月から4月にかけて」

——今思うと、どんなレコーディングでしたか。

「ノリ、勢い、テクニックの3本柱を明確に意識できたレコーディング。1枚目は、とりあえず、その時点で持っているものを出すしかなくて、2枚目で周囲の様子が若干見えて、テクニックも若干向上して、その後、笹路さん（サウンド・プロディーサー）とツアーできて、スタジオでは得られないようなものまで吸収できました。それからのレコーディングでしょ。ノリや勢いがやっと出せる状態まできてたと思う。でも、今聞くと、まだまだですね」

——今だから"まだまだ"と思うわけ？

「そう。だって、やってる最中は必死だから。アルバムを聞いて、"よく遊んでるね"と言ってくれる人もいたけど、やってる最中は超真剣」

——激マジ？

「うん。でないとシャレにならないもの」

——逆に、今だから、ジックリ聞けるところもありますか。

「現場では、ギタリストとして不本意だけど……完璧に弾けてないって点で不本意だったけど、みんなが"面白い""いいんじゃない"っていうので入れたものもある。ある意味では、ハプニングをレコーディングしたってこと。普通はないでしょ。だから、"本当にエエんかな？"と思ったけど、今はギャップなく聞けます。『服部』のギターソロもワン・テイクで録ったもの。それやる前に、バッキング・ギターのフレーズやキーボードの音決めでさんざん時間くったから、"まあ、やるだけやってみようか"って調子でした。だから、余計なことは何も考えませんでしたね。集中力とソウルで弾いたって感じ。そういうことをやるにも、ある程度のテクニックが必要だと思う」

——そういうことができるところまできた1年だった？

「そんな形のレコーディングは初めてだったから。初期衝動って言葉通りでした。ヤリタイと思ったとき、ポンとできる快感みたいなものはありましたね」

——やっぱり、ただ弾いてるだけのヤツはダメね。あとテクニックもないのに"ハートで弾く"とか言うのもタコ。

「俺、自分ができて初めて物が言えるって体育会系の教育を受けてきたから。(笑)できないヤツができるヤツのことをアレコレ言うなって気持ちがある。その気持ちで弾いてるし、しゃべってるつもり。下手より上手いほうがいいに決まってるし」

——好き嫌いがハッキリしてきた？

「好き嫌いのレベルじゃなくて、何が本物かってことがハッキリ見えてきた。例えば泉谷さんが上半身裸でジーンズのCMに出てるでしょ。アレはカッコいいと思う。ゴテゴテに着飾らなくてもカッコいい。裸でも存在感がある。きっと泉谷さんの内面から出ているものですよね。ああいうのが本物。今まではおぼろげだった価値感がハッキリした1年でした」

——ハッキリしたのは何が原因？

「たくさんの人に会ったからでしょうね。例えば、プロのバンドも、アマチュアも、歌謡曲のバックやってる人も関係なくてドラマーとベーシストばかりの集まりにいったり。俺たちと同じ年でプロを目指している人もいる。その人たちと話すでしょ。最終的にはヤル気に行きつく。結局、裸になって残るのはヤル気だもの。俺たちも、そこを忘れたら終わるなって思った。俺たちはその人たち以上にやらなきゃ。誰がどこまでやるかは、自主規制みたいなものだから。ガイドラインなんてないでしょ。だからこそ、自分の価値感をハッキリさせとかないと」

——コレ以上がプロですよって基準はないわけだもんね。

「プロと呼ばれてる中にも、音楽家としての価値感を疑いたくなるような人はいるからね。こんなの2800円で売ってエエんかってものもある。そんな連中も、能書きばっかりの人もいていいけど、俺は音楽家だから、そういう人たちと一緒にされたくないだけ。とにかく価値感の1年だったと思います。音楽的にも、人間的にもね」

——それはユニコーンが成功したことと関係ありますか。

「どうかな？　あまりないと思うけど。いわゆる"ビッグになった"なんて感覚がないですから。本当にない。街を歩いてたって、100人が100人、気づくほど有名なわけでもないですし。ただ、自分の中での音楽が増幅してきてるのは事実。野球やりの、バスケやりの、剣道やりのって中のひとつが音楽だったのに、どんどん増幅してきてる。プロである以上わって意識が強くなってます。そこには2人の自分がいる。ギターのプレイに入りこんでいる自分と、それをさめて聞いてる自分がいる。曲を聞いてる自分がいると、それを一歩離れてながめている自分がいたりする。よく90%のホットな自分と10%のクールな自分と表現するけど、俺はどうもそうじゃないみたい。100%の熱くなってる自分と100%冷静な自分がいるって考え方」

——"それを見ている自分がいる"ってことは、冷静に判断できる自分がいるってことで、それは客観的な視野を持つことだから、"自分の価値感がハッキリ見える"ことにもつながるんじゃない？

「そうですね。でも、無理矢理に2人の自分を形作ったわけでもなくて、レコーディングの中で自然と生まれてきたようなものですね」

——そういえば、NYにも行ったんでしょ。

「行きました。ストーンズのコンサートを見た。テクニックがどうだったって問題よりも、あの空間にいたことに意義がある。かけがえのない体験でした」

——で、NYでギターを買ったらしいね。

「スタインバーガーってギターを買った。いろいろな点で、あるレベル以上の音を提供してくれるギターだから。プロとしてはどんなときも最低限のレベルがあるわけ。そこを守るのがルール。そういう意味でも合格しているギターですよ」

——ギターに対する思いは変わった？

「ギターとの距離が縮まった1年でもあった。俺がギターを弾いてて、ギターは弾かれてるって立場が、お互いに近づいた気がする。ギターはあくまでも道具であって、大切なのは俺の指や気持ちだって、どこかで思ってはいるけど、今は一心同体になろうと近づいてるみたい。1度はベッタリ近づいてみないと、その先のことはわからないですから」

UNICORN

TESSY

UNICORN PERSONAL INTERVIEW 1989

インタビュー、文●藤井徹貫

僕個人っていうものを確立していきたいと思ってる。

1989年・ユニコーン・フリークは、この人に大いに喜ばせてもらったはずである。あるときはルパン III 世、またあるときはキング・エルビス、あるときは日本を代表する若手ロック・グループのキーボーディストとして、彼の活動は顕著であった。

そして、その変わり身の速さを誰よりもいちばん楽しんだのはアベB君、彼自身であったろうと、私は平成元年の師走にひとりコタツに入りながらぬくぬくと想像するわけである。

——1989年はどんな年でしたか?

「去年はライブとかで全然前に出なかったですからね。で、今年はいろいろやるようになったというところがまず大きな違いですね。でも('89年の)前半は、結構めちゃくちゃだったんですよ。ステージで前に出るにしても、ただもう前に出てる、みたいな。で、ハチャメチャやって終わる。でもやっぱり回数重ねていくとそれだけじゃしようがないですからね。だからそれを覚えた。ちょっと見せ方のようなものを覚えました。ライブに関してはそうですね」

——それは秘かに勉強したりとか。

「いや」

——誰かのを研究したとか。

「いや」

——自然に?

「ウン。やっていくうちに。まぁ、自分のビデオを見たりね」

——で、反省したり。

「いや、あんまりしないですけど。(笑)」

——あ、そうですか。

「でも、やっぱりカッコワルイと恥ずかしい。ウン」

——ユニコーンの正式なメンバーになったのは去年ですよね。

「去年の夏の終わり頃。その頃はまだ、要するに、溶け込むことが先決でしたからねぇ。ま、知らない間柄でもなかったし、それをより強いものにするっていうかね」

——メンバーとして、最初に、あ、僕はこのバンドの一員なんだって思ったのはいつでしたか?

「それは正式に決まったときですね。(笑)あとは、要するに、自分がいなけりゃバンドが成立しないんだっていう部分をどんどん作っていきたかったから。ウン、それを実行した年でしたね、今年は」

——ああ、なるほどね。

「強い使命ですよね、それは。(笑)」

——年が明けたときはツアー中でしたっけ

「いや、あのねぇ、レコーディングの合宿やってた。で、それからレコーディングに入って、それで"服部"ツアーに行ったの」

——夏は結構イベントにも出てましたよね。

「そうそうそう」

——で、また今回のツアー、その間に[illegible]か月間のお休みっていうのもありましたけど。

「ええ、だから、短期間にいろいろめまぐるしかったですよ」

——でも、充実はしてるでしょ。

「してるでしょうね。(笑)だから、今を例えば10年後に思い出したら、がむしゃらになったなぁ、とか思う時期なんだろうけども」

——(笑)でも、こうなることを、2〜3年前とかには想像していましたか?

「ウーン。形は違いますけどもね。してましたね」

——どんなふうに?

「いや、もっと漠然としたものだったけど。でも、絶対、なるとは思ってましたけどね」

——じゃあ、それが本当に実現した。

「なってますから」

——すごいことですよね。……何か、思い残すこととかはありますか? この1年間のことで。

「"あれをやっておけばよかったなぁ"っていうのは、特にないですね。思いついたらやってますから。(笑)」

——それは言えてる。(笑)じゃ、逆に、"あれはやらなければよかったなぁ"っていうのはないですか?

「それもね、ないですね。何でもいい方にとりますからね。(笑)」

——(笑)

「それがあるから、今があるわけでしょ」

——いちいち深く反省して奥に引っ込んでたら、次のアイデアは出てこないかもね。

「だから、何にせよ、気づく部分はあるから、それを良くすればいいやっていう考え方ですね」

——じゃ、今はまさにその良くしていこうとする過程という感じですね。

「ですねぇ。まだまだ。だから、今年は大事なひとつのステップだったんでしょうね。小さいながらね」

——今までにもありましたか、こういう手応えを感じたときっていうのは?

「ないですね。やっぱりこれは、ずっと前から、昔から思ってたことですからね。だからそれは今年があるからじゃなくて、ずっとその前があるからであってね、ウン、今年がすごいわけじゃなくて」

——やっぱり今まで積み重ねてきたものがあるから。

「それがたまたま、ユニコーンっていうバンドがいて、いろいろ媒体とかも絡んでくるバンドだった。それがうまくいって、それが要するに今年だった、と。ウン、第一歩ですね」

——今年、いちばん印象に残っている出来事は何ですか?

「今年?……オフはおもしろかったです。外国はほとんど初めてですからね。サイパンに行ったたとはあるんですけれども。サイパンはねぇ、しょうがないですもんねぇ、あれは、(笑)だから今回は、なんか学区内から出たときのような雰囲気がありましたね。小学校の頃、あったでしょ」

——ああ、なんか冒険のような。(笑)

「そうそうそう」

——お仕事の面では?

「そうですねぇ、やっぱり、6時間かけて行った新潟ですか。(笑)」

(解説▼夏のイベントのために、アベB君は奥田民生と一緒に、出演バンドがひしめくバスに乗り込み、6時間後に新潟に到着。話題になった"クサイモンとワキガーファンクル"のステージを10分間こなし、また6時間バスにゆられながら帰ってきた)

——普通、行かないよね、

「でも、おもしろいでしょ。(笑)要するに、僕っていうものを目立たせたいのかもしれないね。そういう願望がありつつ、まだまだなんですけどね。あれはだから、バンドで行ったわけじゃないじゃん」

——個人活動のようなものですよね。

「ウン」

——でも、ああいうことをしたり、エルビスとかシド&ナンシーとか……。

「あれもだからユニコーンじゃないでしょ。だから、僕でしょ。僕個人っていうものを確立していきたいと思ってるんだよね。それでバンドとしてやっていくことの両方を成功させたい」

——来年もいろんなことやってくれますか。

「やるなと言われてもやるでしょうね。(笑)」

ABE・B

UNICORN PERSONAL INTERVIEW 1989

インタビュー、文●松浦靖恵

自分たちの中での価値感をクリアできた『服部』は大きかった。

西川君の1989年のビッグイベントはといえば、やはりアレでしょう。ファンのアナタならコッソリ知ってるはずの、アレ。そう、西川君は、今年の3月までは川西君て名前だったんだよーん。なんちって。違います。やはり『服部』です。作品制作、これに尽きるわけです。

——今年はユニコーンにとってはすごくい1年でしたよね。急上昇で駆け昇ってくって感じで。

「そうですね。まぁなんとなく初めから波には乗ってるんですけど、とりあえず『服部』を出して、それからツアーをやって、実感としてワンステップ上がったって感じはしますけどね。多分、観客動員数だとか、レコードの売り上げ枚数だとかが、自分達の中でやっぱり影響してるとは思います」

——何か挫折めいたことはないですか？　アレはチョンボだった、みたいな。

「うーん……その都度その都度あったとは思うんですけどね。例えば雑誌の出方だとか、ライブの失敗だとか。ま、いろんなものがあったと思うんだけど、一応その時点で解決してますから、別に悩んでない、全然。結果的にいい方向に向いているから」

——好状況がかえって不安だったりは？

「は、ないですね」

——やったことがちゃんと評価されてるという。

「そう思うし、まだまだねぇ。不安になるだけの守るものはまったくないですからね、この程度だと。これが10年くらい経ってて常に50万枚くらいセールしてるってとこへ行ってたら、守んなきゃいけない部分もあるんでしょうけどね、やっぱもっともっと売れないとダメでしょ。現時点ではまだバンド自体始まったばかりって気がしますよ」

——じゃあなんでもまだ新鮮ですか。

「そうです。で、やっぱりね、忘れてることもたくさんあるし……ついこの間クアトロで“BOYS DAY”っていうのやりましたよね。アレにしても何がって言われるとわかんないけど、ライブで忘れてた何かを思い出したりするし、なんかね。例えば聴かせたい演奏のときにちゃんと聴いてるヤツがそこにいるんだってことで、気を抜いてると当然そいつらにモロにわかってしまうでしょ？　常に緊張したなかで、ボルテージを上げて演奏しないとダメだって改めて思わされたしね。ライブってもの自体が実は緊迫してるんだっていうことをどっかで忘れてたような気がしました」

——男の子は反応もすごく違う？

「全然違いますよね。女の子がたくさんいると、もう客入れして開演までの時間がすでにウルサイでしょ？　なんか前の人がちょっと“ヷッ”とか言うと後ろまで“ヷーッ”となったりする……そういうのもまったくなくて、むしろシーンとしてるんですよ。今日は客入ってないのかな!?　って思ってのぞいてみるといっぱい入ってて、これはどうなることやらって感じでステージに出たらみんな“ヴォーッ”て言って“こっちも“マジかぁ!?　今日は気合いを入れてやる”って気になりますね。ノリ方も全然違うんですよ。3人だけのユニットでやるチャーの曲だとかやってもちゃんと見ててどんなプレイするのかなって観察してる。で、アップテンポでノッてもらう曲は当然ノッてるし、そういメリハリってのがすごくありましたね。そこに民生がいるから聴いてるんじゃなくて、出音も何もかも含めてライブを楽しんでるっていう感じがしたんですよ」

——ということは、すべてのライブをそういうふうにしていきたい？

「そうです、そうです。ただね、それはもう時間的な問題だと思うんです。例えば俺なんかでも15やそこらのときにはそういう見方は絶対してなかったし、ライブ見てる回数だって少ないわけだから。徐々にね、初めのうちはもの珍しさだけでライブに行ってたのが何回も見てれば本物かどうかがわかるようになるだろうし。だからそういうお客さんも今からだんだん変わってくと思うから、ライブをやることは大切だってことを忘れずに行きたいですね」

——“BOYS DAY”ってまだ続けるつもりはありますか？

「うん。なんかマンネリ化してしまうと面白くないけど、とりあえずはやって行きたいですね。もしかしたら来年アルバムを出してすぐのツアーで、1年間はBOYSしか入れないよっていうのやって、ライブハウスから始めるとかね(笑)まぁ、そんなことはしないだろうけど、だけど東京だけじゃなくて地方でもやりたいですしね」

——今年いちばん大きなことっていったら、やっぱり『服部』ですか？

「ですね。常に次はどういうふうなアルバムにしようか、ちゃんとした納得できるものになるだろうかっていう不安はずうっとありますからね。とりあえずは自分達の中での価値感をクリアできたってところで、アレは大きかったです」

——周りの評価もちゃんとあったし。

「うん。それは単純に嬉しかったし。別に評価されようと、されまいと、そういうのは二次的なものでからね、関係ないんですけど、まず自分達が納得できて楽しめて、尚かつセールスや評論に現われたのは嬉しいですね、単純に。だからテストで百点とったのと同じですよ。百点とったら、別に誉めてもらっても、もらわなくても百点とったこと自体はその本人にとってはすごく価値のあることでしょ？　ひとつステップアップできたって感じですよね。だけどそれをまた誉めてもらえたら、それはそれで嬉しいなぁっていう、そういう感じです」

——何か来年の展望はありますか？

「とりあえずは次のレコードですよね。やっぱりレコードは大きいですから……まぁ、どういうふうにしていくかっていうのは、まだ何も考えてないですけど」

——レコーディングはいつから入る予定？

「えーと、3月くらいからですかね、予定としては。で、夏過ぎから秋にかけて、どっかで出るとは思うんですけど、多分」

——間もなく準備に入るという。

「そうです。まだ何もやってなくて……コレはちょっと頑張んなきゃイケナイなっていうぐらいで」

——個人的に来年コレをしてみたいなっていうのも、何かありませんか？

「そうですねぇ。まぁ多分、すごく忙しくなるとは思うんですけど、それとは別に、個人個人のソロ活動とか、そういうものもやっていきたいし。例えばユニコーンの中でもまた別のバンドでちゃんとレコード・デビューしたり、ライブやったりしてみたいですね」

——そういう変則的なこともユニコーンは可能なバンドなんですね。

「可能です。もう、いくらだってできますよ(笑)俺らって、もともと強制的にバンド一筋！　って縛り合ったりするの嫌いだし、ユニコーンてバンド自体に、なんかヘンなスタイルってないですからね。みんな勝手気ままに、自由にやることができてますよ」

NISHIKAWA

UNICORN PERSONAL INTERVIEW 1989

インタビュー、文●宇都宮美穂

来年はソロ・ボーカルをハンドマイクで歌いたい。

「1989年はEBIクンにとってどんな1年だった? たとえばアッという間に過ぎちゃったとか、やけに長く感じた365日だったとか…」というトートツな質問を彼に投げかけると、EBIクンはしばし考え込んだあと「いやあ、どうですかねぇ。ま、長かったようで、短かったようで」という非常に中途半端な(いや失礼!)、素直な答えが返ってきた。まぁ確かにある時は長くも感じるし、ある時は短くも感じるのが人生というものかもしれない。(笑)

——ちなみに年末とか年頭に1年の反省や新しい年の抱負をかかげてみたりする?

「しない。だって計画性ないもん、オレ。それにだいたいスケジュールって決まってるじゃない? レコーディングとかライブのアバウトな流れっていうのかな。それが決まってるからあらためて個人的な目標とか抱負って……ないんだよね」

——でも今年って、9月に約1か月のオフが用意してあるという馬の前にぶらさげられたニンジンがあったじゃない?

「そうそう。みんなそれを目標にそれまで働く!働く!!(笑)。でも、それもねぇ、今までデビューしてからそれまでの間で、やっと実現した約束というか。

——1か月のオフくらいとってもいいじゃないか、と。

「アハハ。当然、なんてね(笑)」

——で、今年1年を振り返ってみると?

「そうだなぁ。あんまりカッコつけなかった年かな。結構まわりを無視して自分勝手に、好き勝手にやってたと思う」

——まわり、というと?

「ファンの人達。ウケを狙ってなかったっていうか、カッコつけなかったんだよね」

——去年まではカッコつけてたんだ。

「ファンのニーズに答えてたと思ってたんだよね、今までは。でも本質的にはバンド=カッコつけなくちゃダメだっていうのがあるし、ベースのフレーズをキメたいと思ってるっていうか。UNICORNのメンバーの中では一番カッコつけやってたんじゃないかな」

——それがなんでまた今年はそうじゃなくなってきたの?

「まわりに流されたくないっていう思いが強くなったのかな。もっとこう……ハチャメチャでもいけるんじゃないかなとか、本能のおもむくままにというか。自分は自分なんだからもっともっと好き放題やっても大丈夫っていう、ある種の自信(笑)。

——なんで笑うワケ?

「自信なんて言うとちょっと照れる(笑)」

——そっかあっそれで?

「で、なんかこう、レコーディングにしてもライブにしても、まず自分がいて、本能のおもむくままにやってみたいって思うようになっていったら、オレだけじゃなかったみたいなのね、そう思ってたのが。でも、別にメンバー同志で確認し合ったワケじゃないのにあのような『服部』というアルバムが生まれてしまったという」

——まさしく本能のおもむくままに制作されたバラエティな作品!

「うん。バラエティなアルバムだよね」

——あのアルバムでメンバーのてんでバラバラな個性がより明確になって、しかもそれがUNICORNっていうバンドの個性につながったって感じがあったよね。

「ほほー。うまくまとめてますねぇ(笑)」

——いや、そういうつもりじゃ……。

「でもホントにそうだと思うよ。好き勝手に5人が作品を持ち寄って、スタジオで好き勝手に作ってポンと出したら、やっぱりそれがUNICORNなんだよね。まあ、オレ達らしいやり方っていうか……。そうじゃない気が済まないんだけど」

——ライブにしても、『服部』に影響された部分が大きいと思うんだけど。

「ハチャメチャさ加減がね。他のバンドじゃ絶対にできないよねぇ。(笑)あと、やっぱり少し余裕が出てきたかな。いいイミでお客さんに気を使わなくなったというか……。ただがむしゃらにやるだけじゃない一歩ひいたライブができるようになったみたい」

——リラックス?

「いやぁー、やっぱり長くやってるからじゃないですか? もう歳だもん、デビューしてから」

——今年はイベントも含めてライブの多い1年だったけど。

「普通ですよォ。昨々年が20本位で、去年が30~40本、今回が50本でしょ? どんどん増えてるけど、まだまだでしょ。年間100本位はやってもいいと思ってるんだけど」

——言ってくれますねぇ。(笑)

「やれる時にやらなきゃダメですよ。まだまだ体力的にも余裕あるし」

——西川さん、30歳ですけども……。

「大丈夫!大丈夫!! 100本位なら彼はやりますよ」

——でも2、3日に1回は必ずライブあるんだよ。

「うん!? そっかぁ……ちょっと……それはスゴイかもしれない。50本の2倍だもんなぁ(笑)」

——アハハハ。

「うん。やっぱ無理だ。でも、たとえば前回のツアーよりも少しでも本数が増えてると気合い入るよね」

——すでに新しいツアー中ですが。

「ハイ。気合い入ってますよォー」

——そうそう。今年はイキナリ2枚もシングルを出したんだよね。しかも「デイゲーム」は坂上二郎さんと組んでの異色作。

「おいしいでしょう? 二郎さんと逢った時にいろんな話をしたんだけど、あの人って元々は音楽をやりたかった人なんだってでも金がなくて食えなくて、すごく苦労したんだけど、そういう話をものすごく楽しそうに話してくれたのね。なんかね、その時に、こうでなくちゃいけないなあってオレ感動したの。最初、二郎さんとやろうって企画が出た時に、やっぱりちょっと悩んだワケ。でも自分への挑戦っていうか……。で、二郎さんが芸能生活を続けるためには絶対になにかひとつ飛び抜けてないとダメなんだ、輝く時を待ってないとダメだって言ったのね。で、その時だね、こういう自分への挑戦でもあるんじゃないかって思ったんだよね。でもさぁ、二郎さんっておかしいんだよ。『ディゲーム』のこと、ディスコ調だって言ったんだから(笑)」

——あの曲を!?

「うん。さすがうちのオヤジと同じぐらいの年代の人だよね(笑)」

——最後にですね、来年の抱負なり目標なりをここでキッパリとかかげてもらおうじゃないか、と。

「オフは1か月半!」

——それが抱負なのォ。

「じゃあねぇ……あ、そうそう。ソロ・ボーカルをハンドマイクでライブで歌いたい。ベースを誰かにまかせて」

——お、それいいねぇ、次の武道館で?

「それはないんじゃない? でもこれはやってみたいから、絶対にやるんじゃないかな、次のツアーくらいで」

UNICORN

E B I

UNICORN PERSONAL INTERVIEW 1989

寄東洋年鑑

★'89年度版

●パチ▼パチの独断で振り返ったUNICORNの'89年。それにしてもUNICORNの人たちは充実した1年を過ごしてらしたようだ、と改めてウラヤマしく思う次第である。ホントーによくもまあこれだけ次から次へと面白そうなことを考えついてなおかつ実行してしまうもんだ。ついてく方も大変だわ。

文●宇都宮"紫がまばゆい"美穂

新マネージャー ハラダさん来たる。

1989年のUNICORNの幕明けはやはりマネージャー・原田氏の登場にあったと申せましょう。ニュー・アルバム『服部』のレコーディング中、某CBSソニー・グループの新春恒例大騒動人事異動とやらがあったその後、やおら原田氏は現れた。メンバーの様子をとりあえずは探る、といったムキで登場したもののの、その派手なルックスでスタジオは騒然。しかもこのオッサンは、なんかオカシイ。

タミオ氏によれば「最初は冷静なの、原田さんはいっつも。でもオレ達が調子に乗ってワーワーやり出すと、今度は原田さんの方が勢いついちゃうんだよね。ヤレヤレ!!って。んで、オレ達の方が大丈夫なのー!? 原田さんもうちょっと冷静になった方がいいんじゃないの?って、逆になだめる」(笑)

「絶妙の関係」だそうで、職場におけるメンバーVS原田氏の会話を聞いていても、とてもマネージャーとの会話には思えない。なんせ同化しちまってるもんで。

出たがりで目立ちたがりで横暴で心優しいオッサン。これでデキるマネージャーとしてこの世界じゃ指折りの人。それにしても……派手だわ。

▲この人がもうファンの間ではすーっかり有名なハデおじさん原田さん。あのハムーの由来の人でもある。最近マチガイだらけの引越しをした。(笑)

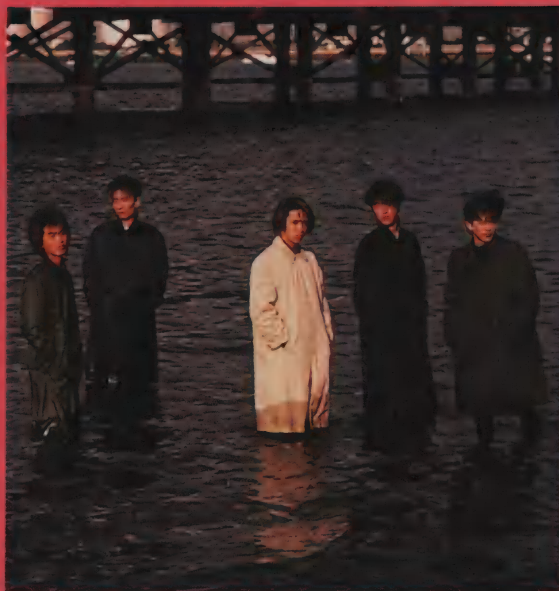
SAKUBUN 作文を書かれる。

2日はパチパチの表紙&巻頭を初めてUNICORNが飾るというので、寒いというのに海に入らされてたり、エラい目に合った。特に作文。

仮にもミュージシャン様に作文を書けなどとたわけた命令を下したのは誰だか知らないが、「エーッッ」と、思いきりブーたれるメンバーのために原田氏が一人一人にテーマを与えて下さった。ちなみにそのテーマは、タミオ→FAKE 西川君→BAND アベB→PINO EBI→DREAM テッシー→LANDSCAPE の以上で、各人がそれぞれにこのテーマに向かって筆を走らせたと。

恐らくはミョーな気分だったことでありましょう。行間に滲み出る苦悩感が読んでいてヒシヒシと……。

まぁ、その内容におかれましてはその人なりのその味が出てはいるもののの、やっぱバンドマンは音楽やってるときがいちばんその人らしいやね。無理はいけない。これから一生作文は書かんでよろしい。パチパチもこれからはUNICORNをラクにしてあげることを考えるように。吉田さんがメンバーにマッサージをしてあげるとか、取材をやめるとか。

(パチ▼パチ読本にも書いてくれたもんねっ。吉田)

▲冷たく凍る冬の海です。メンバーの作文は大好評であったが、字や文体にも特徴アリで面白かった。(PHOTO●YOSHIAKI SUGIYAMA)

初シングル大迷惑リリース

◀これが初シングルのジャケット。このころタミオくんは飛ぶことがハヤっていたようであちこちでこーゆーポーズを決めているのを見かけたもんであった。

なぜかシングルが1枚も出てなかったUNICORN。これも70年代ロックのアルバム偏重主義の影響を受けているせいでありましょーか。
「いい加減シングルを出せ！」「シングルを出さないとラジオにもTVにもプロモーションがかけられない」等々のレコード会社よりの非難を浴びまくり、ついに4月29日、「大迷惑」をリリースの運びに。
歌の内容は、左遷(させん)されて地方へ赴任した男の哀しさを訴えるもので、いったいどこからこんな詞を思いつくのか、初めて聞かせてもらったときはオカシくて笑っただけでした。

ヒットするなんて、思いもしませんでした。
が、ヒットした。
〃ベスト10〃だか、〃トップ10〃だかのTVに出たこともあった。メデタイ。考えてみればこの頃から、UNICORNの名前が世に知らしめられたのだから、やっぱりシングルの効果は大きいのかも。
レコード会社の人達はゴキゲンさんだったが、よけいに忙しくなってメンバーはフキゲンさんだった。
その仕返しが次のシングルに待っているとは!!

服部だっっ

▲『服部』のジャケット。初回限定盤にはかわいらしいキンチャク袋がかぶせられており、たちまちのうちに売り切れてしまった。

苦節2カ月。たったの2カ月間で『服部』は出来てしまった。カワイソーに、もっともったいぶって生まれてくれればよかったのに。あーだこーだと言ってたわりには、アッサリと世に登場。
「人間に人格があるように、アルバムにも人格を持たせよう」ということで、『服部』と名づけられたこのアルバムのジャケットには、ドーンと見知らぬオジさんのアップが写されていた。今ではすっかりUNICORNファンの間で有名人だが、この人は中村福太郎さん。事務所のおネエさんの近所でトビ職の組頭をやっていらっしゃったところをスカウトされたんだったね。メーワクなことにその後〃夜ヒット〃にまで引っぱり出されて気の毒でした。
さて、その『服部』はといえば、『キモノ・マイ・ハウス』等で知られるスパークスをほーふつとさせる、キッチュな作品に仕上ったのだった。溢れるアイデアとセンスに、改めてUNICORNが見直されるきっかけもなり、各音楽誌のレコード評でも絶賛の嵐。
問題はファンの皆さんで、噂によれば、1枚目、2枚目に比べて不人気と。どーいうことだ!?

BUDO-KAN 武道館も決める。

▲7月10日武道館。1階席、2階席が揺れまくり、アリーナ席までなだれ落ちそうであった。(PHOTO●MARIKO MIURA)

などと『服部』リリースで浮かれている間にも、すでにツアーは始まっており、ハッキリ言ってこの頃のUNICORNのスケジュールはメチャクチャ。このツアーでは、タミオ氏が金髪のカツラをかぶって登場するというのが話題のひとつだったが、武道館では金髪のカツラを脱いでも金髪っつーんでみんなをオドかした。
UNICORNにとっては、初の武道館だったものの、あまりメンバーに感慨はなかったらしく、タミオ氏に至っては「渋公と一緒」と暴言を吐く始末。お友達のJ(S)Wなど、その感動を「オレはジェフ・ベックか!?」という言葉にして現しているというのに、UNICORNはあまりに淡々とした風情。かわいくないですねー。
その武道館の内容はビデオ『WORLD・TOUR1989服部』に詳しいと書いて、ここではその日のメニューを記しておく。
①大迷惑②SugarBoy③ペケペケ④抱けるあの娘⑤アローントゥゲザー⑥サービス⑦デーゲーム⑧逆光⑨ペーター⑩君達は天使⑪パパは金持ち〜リンボー⑫シンデレラアカデミー…以下省略(ゴメン)

HAMU ハムへ全国を荒らすぞ

その日、詳しくは7月15日。小倉IN&OUTの入口には、「極（獄）道／クサイモン&ワキガーファンクル／BMB／ハムー　※ユニコーンは出ません」と書かれたポスターが貼ってあった。
極（獄）道とは、クサイモン&ワキガーファンクルとは、BMBとはそしてハムーとは何ぞや!? 謎に包まれたこの日のライブ、見れたアナタはラッキーね。というわけで、夏はUNICORNによる、UNICORNの、UNICORNのためのお楽しみで、ライブハウス〜〜〜イベントを荒しまくった。御存知のとおり、極（獄）道は、スタッフによるコピーバンドで、クサイモン&ワキガーファンクルはアベBとタミオ氏によるフォーク・デュオ。BMBは、西川君、テッシー、EBI君によるハード・ロック・バンドで、ハムーは、高校生と偽ってのUNICORNのコピーバンド。
これ全編笑いの嵐で、このままではUNICORNはお笑いバンドになるという周囲の心配を無視して、全国的に展開された。そろそろ止めたかと思う頃、今度はダフーというバンドが現れたりで、全然コリてない模様。

▲クサイモニ&ワキガーファンクル。この人々のライブ&トークセッションはノルとなかなか終わらなかった。(PHOTO●MARIKO MIURA)

TAMIO

▲ハッキリ言って来たんです。タワゴトをやめないで!!　というハガキが……。やはりこの人の喋りはケッサク。(PHOTO●GORO IWAOKA)

やーやーやー、全国百万人の愛人の皆様、久しぶりじゃないかい。元気かね。オレ様がヒマしてたときにもせっせと身体に磨きをかけて、色気をふりまいておったことだろう。頑張っていち早く「抱けるあの娘」になりたまい。君達がスンバラシー女性になったあかつきにはゼシ！
このオレ様に御一報を。何があっても必ず訪れよう。そして、その重要性にまだまだまだ気づいていない子供のファンの皆様には、オレに手を振るなら腰を振れ！　という大ヒントを与えてこの場を去ろうではないか。
なんちゃって。やっぱり気づいてましたか？　〝ダミオのたわごと〟、終っちゃいましたけど、アレは宇都宮美穂とかいう人が書いてたんです。タミオ氏がベラベラ喋って、あの人がまとめる。結構だまされてた人も多くて、タミオ直筆によるものと思い込んで読んでたらしいけど、そんなヒマじゃないってば。
ほれでもタミオ氏に「オレよりオレらしい」とまで言わしめた〝ダミオのたわごと〟ですから、プロセスはこの際カンケーないと。誰の手を通過しているに[illegible]らず、アレはやはりタミオ氏。信じる者は救われる!?

SADO へ 世の中 UNICORN

思い出しても佐渡はいいところだった。平成元年の夏の過ごし方として、高得点をあげたい。
〝世の中UNICORN〟が発足したのが88年8月。以後エンエンと2年と1ヶ月も続けながら、実は最初の数ヶ月で集まってしまった8800人の会員を引っぱりに引っぱって、ようやく'89年8月8[illegible]にこのイベントをブチ上げたのでしたね。
場所と日時を告げただけで、あとフォローはまったくナシ。来たいヤツだけ来りゃあいいじゃんけと言い残して佐渡へ行ってみれば、若い娘がウジャウジャしてて、佐渡の風景美はすっかり台無し。おまけに金髪のボーカリストがいるバンドのロックコンサートとあっては、佐渡の人達の心象まで汚してしまいました。スンマヘン、スンマヘン。
あの日はちょうど夏祭りをやっていて、屋台から盆踊りやらがあちこちで出ていて、ヒジョーに和んだ。西川君は、コンサートが終ったあとで一人で花火見物までしていた。よーく考えると何しに行ったんだかという気もするが、まあ楽しかったし、会員の皆さんもハシャいでたし、よかったよかった。みんなも今度はBFと一緒に行きたいですね。佐渡。

▲全員で記念撮影。〝アタシは写ってないぞ見えないゾ〟という人たち、ゴメンなさいっ。(PHOTO●TAKEO OGISO)

二郎さんと一緒いっしょ

「大迷惑」に続くセカンド・シングルは「デーゲーム」。これだけなら普通だが、なんとあの坂上二郎さんをフィーチャーしての「デーゲーム」だっつーから……。

ナーニ考えてんだか知らないけど、引き受けた二郎さんのコメントをここに紹介しよう。

「いやぁ、なかなかいい曲ですねぇ。満足しました。よく見ると実にいい歌詞ですよね、〝目と目の意識より〟とか〝今も過ぎた日の暖かい影に閉ざされて〟とか。僕なんかからすればシャレてますよね」

ホメられております。メンバーの印象については。

「おとなしいですね。まぁ初対面だったからでしょう（笑）。緊張してたみたいだし。打ちとけたら結構話しましたけどね。どの子もいい青年ですよ」

ナメられております。今後の共演の可能性については。

「僕はやろうと思ってますけどね。じゃなかったらやった意味がないでしょう」

さすが！ 芸の先輩坂上二郎さん！言う言う（笑）しかし1989年のUNICORNはオジサンまみれだったんだな、こうしてみると。

▶またしてもオジサマのアップです。いつもハイセンスで迫力あるUNICORNのジャケット。ビデオもよかったね。

海外ゴーカなVACATION?! OFF

さんざんブーたれてたんで、やっと長期オフがもらえたのが9月。夏のイベントの最多出場をレ・ビッシュとともに誇ったのち、ぐったり疲れてそれぞれお休みに。

当初は全員が各地へ散らばって最終的に韓国で集合、焼肉を食うという計画だったのが、ナシ崩し的にオジャン。結局は各々てんでバラバラにあちこちへと旅行した。

タミオ氏は、サンダークロスのレコーディングでLAへ。西川君はパリ〜〜ノルマンディへ。EBI君はパリへ。アベBはスペインへ。テッシーはNYへ、という具合。この期間、原田氏も、メンバー間も、一切連絡をとり合わず。よってその行動等は不明で、土産話しを信じるしかない。（詳しくは〝広形東洋日報〟VOL・1を見たまい）

さて、帰国後のUNICORNはといえば、下段に記されるツアーの真っ際中。暮れは例によってイベントに出演し、正月を明けてもまたツアー。その後はレコーディングの予定で、ああ、〜〜レコーディング合宿あの長期オフが夢のよう、てなメンバーの皆さんなわけである。最早1990年の訪れ。来年はもっともっとUNICORN！ てな感じかな。

◀エビ君撮影の8ミリビデオである。4人が8ミリビデオを持ち歩いたのだった。

89〜90 PANIC 服部プ 全国巡業中!!

YEAR OF THE HATTORI

UNICORN

CALENDAR 1990
UNICORN

UNICORN

DECEMBER

1 SAT · 2 SUN · 3 MON · 4 TUE · 5 WED · 6 THU · 7 FRI · 8 SAT · 9 SUN · 10 MON · 11 TUE · 12 WED · 13 THU · 14 FRI · 15 SAT · 16 SUN · 17 MON · 18 THU · 19 WED · 20 THU · 21 FRI · 22 SAT · 23 SUN · 24 MON · 25 TUE · 26 WED · 27 THU · 28 FRI · 29 SAT · 30 SUN · 31 MON

NOVEMBER

1 THU · 2 FRI · 3 SAT · 4 SUN · 5 MON · 6 TUE · 7 WED · 8 THU · 9 FRI · 10 SAT · 11 SUN · 12 MON · 13 TUE · 14 WED · 15 THU · 16 FRI · 17 SAT · 18 SUN · 19 MON · 20 THU · 21 WED · 22 THU · 23 FRI · 24 SAT · 25 SUN · 26 MON · 27 TUE · 28 WED · 29 TUE · 30 FRI

OCTOBER

1 THU · 2 FRI · 3 SAT · 4 SUN · 5 MON · 6 TUE · 7 WED · 8 THU · 9 FRI · 10 SAT · 11 SUN · 12 MON · 13 TUE · 14 WED · 15 THU · 16 FRI · 17 SAT · 18 SUN · 19 MON · 20 THU · 21 WED · 22 THU · 23 FRI · 24 SAT · 25 SUN · 26 MON · 27 TUE · 28 WED · 29 TUE · 30 FRI · 31 SAT

SEPTEMBER

1 SAT · 2 SUN · 3 MON · 4 TUE · 5 WED · 6 THU · 7 FRI · 8 SAT · 9 SUN · 10 MON · 11 TUE · 12 WED · 13 THU · 14 FRI · 15 SAT · 16 SUN · 17 MON · 18 THU · 19 WED · 20 THU · 21 FRI · 22 SAT · 23 SUN · 24 MON · 25 TUE · 26 WED · 27 THU · 28 FRI · 29 SAT · 30 SUN

AUGUST

1 WED · 2 THU · 3 FRI · 4 SAT · 5 SUN · 6 MON · 7 TUE · 8 WED · 9 THU · 10 FRI · 11 SAT · 12 SUN · 13 MON · 14 TUE · 15 WED · 16 THU · 17 FRI · 18 SAT · 19 SUN · 20 MON · 21 THU · 22 WED · 23 THU · 24 FRI · 25 SAT · 26 SUN · 27 MON · 28 TUE · 29 WED · 30 TUE · 31 FRI

JULY

1 SUN · 2 MON · 3 TUE · 4 WED · 5 THU · 6 FRI · 7 SAT · 8 SUN · 9 MON · 10 TUE · 11 WED · 12 THU · 13 FRI · 14 SAT · 15 SUN · 16 MON · 17 THU · 18 WED · 19 THU · 20 FRI · 21 SAT · 22 SUN · 23 MON · 24 TUE · 25 WED · 26 THU · 27 FRI · 28 SAT · 29 SUN · 30 MON · 31 TUE

CALENDAR 1990
UNICORN

JUNE

1	FRI
2	SAT
3	SUN
4	MON
5	TUE
6	WED
7	THU
8	FRI
9	SAT
10	SUN
11	MON
12	TUE
13	WED
14	THU
15	FRI
16	SAT
17	SUN
18	MON
19	THU
20	WED
21	THU
22	FRI
23	SAT
24	SUN
25	MON
26	TUE
27	WED
28	TUE
29	FRI
30	SAT

MAY

1	TUE
2	WED
3	THU
4	FRI
5	SAT
6	SUN
7	MON
8	TUE
9	WED
10	THU
11	FRI
12	SAT
13	SUN
14	MON
15	TUE
16	WED
17	THU
18	FRI
19	SAT
20	SUN
21	MON
22	THU
23	WED
24	THU
25	FRI
26	SAT
27	SUN
28	MON
29	TUE
30	WED
31	THU

APRIL

1	SUN
2	MON
3	TUE
4	WED
5	THU
6	FRI
7	SAT
8	SUN
9	MON
10	TUE
11	WED
12	THU
13	FRI
14	SAT
15	SUN
16	MON
17	THU
18	WED
19	THU
20	FRI
21	SAT
22	SUN
23	MON
24	TUE
25	WED
26	THU
27	FRI
28	SAT
29	SUN
30	MON

MARCH

1	THU
2	FRI
3	SAT
4	SUN
5	MON
6	TUE
7	WED
8	THU
9	FRI
10	SAT
11	SUN
12	MON
13	TUE
14	WED
15	THU
16	FRI
17	SAT
18	SUN
19	MON
20	THU
21	WED
22	THU
23	FRI
24	SAT
25	SUN
26	MON
27	TUE
28	WED
29	TUE
30	FRI
31	SAT

FEBRUARY

1	THU
2	FRI
3	SAT
4	SUN
5	MON
6	TUE
7	WED
8	THU
9	FRI
10	SAT
11	SUN
12	MON
13	TUE
14	WED
15	THU
16	FRI
17	SAT
18	SUN
19	MON
20	THU
21	WED
22	THU
23	FRI
24	SAT
25	SUN
26	MON
27	TUE
28	WED

JANUARY

1	MON
2	TUE
3	WED
4	THU
5	FRI
6	SAT
7	SUN
8	MON
9	TUE
10	WED
11	THU
12	FRI
13	SAT
14	SUN
15	MON
16	TUE
17	WED
18	THU
19	FRI
20	SAT
21	SUN
22	MON
23	THU
24	WED
25	THU
26	FRI
27	SAT
28	SUN
29	MON
30	TUE
31	WED

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

JANUARY 1990

1 THU 2 FRI 3 SAT
4 SUN 5 MON 6 TUE 7 WED 8 THU 9 FRI 10 SAT
11 SUN 12 MON 13 TUE 14 WED 15 THU 16 FRI 17 SAT
18 SUN 19 MON 20 TUE 21 WED 22 THU 23 FRI 24 SAT
25 SUN 26 MON 27 TUE 28 WED

FEBRUARY 1990

1 THU 2 FRI 3 SAT

4 SUN 5 MON 6 TUE 7 WED 8 THU 9 FRI 10 SAT

11 SUN 12 MON 13 TUE 14 WED 15 THU 16 FRI 17 SAT

18 SUN 19 MON 20 TUE 21 WED 22 THU 23 FRI 24 SAT

25 SUN 26 MON 27 TUE 28 WED 29 THU 30 FRI 31 SAT

MARCH 1990

APRIL 1990

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

MAY 1990

JULY 1990

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

			1 WED	2 THU	3 FRI	4 SAT
5 SUN	6 MON	7 TUE	8 WED	9 THU	10 FRI	11 SAT
12 SUN	13 MON	14 TUE	15 WED	16 THU	17 FRI	18 SAT
19 SUN	20 MON	21 TUE	22 WED	23 THU	24 FRI	25 SAT
26 SUN	27 MON	28 TUE	29 WED	30 THU	31 FRI	

AUGUST 1990

1 SAT

2 SUN 3 MON 4 TUE 5 WED 6 THU 7 FRI 8 SAT

9 SUN 10 MON 11 TUE 12 WED 13 THU 14 FRI 15 SAT

16 SUN 17 MON 18 TUE 19 WED 20 THU 21 FRI 22 SAT

23 SUN 24 MON 25 TUE 26 WED 27 THU 28 FRI 29 SAT

30 SUN

SEPTEMBER 1990

1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT
7 SUN 8 MON 9 TUE 10 WED 11 THU 12 FRI 13 SAT
14 SUN 15 MON 16 TUE 17 WED 18 THU 19 FRI 20 SAT
21 SUN 22 MON 23 TUE 24 WED 25 THU 26 FRI 27 SAT
28 SUN 29 MON 30 TUE 31 WED

OCTOBER 1990

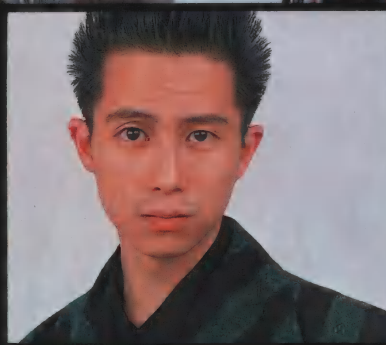
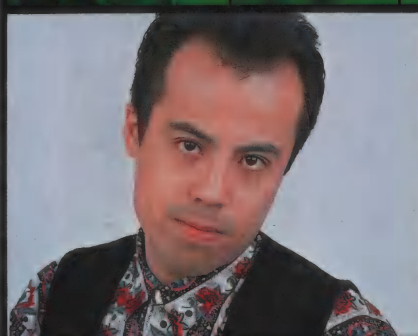
				1 THU	2 FRI	3 SAT
4 SUN	5 MON	6 TUE	7 WED	8 THU	9 FRI	10 SAT
11 SUN	12 MON	13 TUE	14 WED	15 THU	16 FRI	17 SAT
18 SUN	19 MON	20 TUE	21 WED	22 THU	23 FRI	24 SAT
25 SUN	26 MON	27 TUE	28 WED	29 THU	30 FRI	

NOVEMBER 1990

CALENDAR 1990
UNICORN

UNICORN

BARBEE BOYS

1*9*8*9

PATi▶PATi・STYLE

吉例 BIG 10 NEWS

BARBEE BOYS 1*9*8*9

PHOTOGRAPHED BY KAZUHIRO KITAOKA

①"正義の味方"A面のRecording
それにいたる経緯やその後の事とは全く離れて、スタジオ内では自分にとっていままでで一番自由で新鮮だった。クレジットされている全員に感謝している。

②横浜アリーナJT LIVE 8・19
それにいたる経緯やその後の事も含めて自分にとっての影響が非常に大きかった。仲間と協力者全員に感謝している。

③誰も面と向かって言えないまでも、確認のないままかけめぐったBARBEEの解散説及び分裂のうわさ
マスコミのありがたさと恐さ。業界のしくみ、自分の弱さなど、いろいろ学べるものはあったが……などと、いうのはもちろん皮肉で、ひとこと"ばーか"というコメントしか出てこないというのも皮肉だよ。

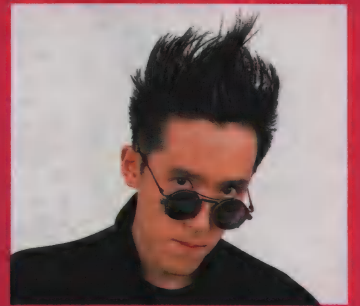
④√5発売
やはり記念すべきことだろう。

⑤オリジナルでは6枚目になるアルバムのレコーディング開始
俺は決してマゾではないが、やはりうれしいことだ。

⑥Pati² 編集担当H氏大遅刻事件
笑えた……。皮肉じゃないよ。

⑦明治のCMやら、杏子の単独TV出演やらコンタの映画やドラマetc……。
自分にとってはそれほど重大ではないが、10大Newsにはやはり入るだろう。

⑧ローディSのN.Y.行き
もともと特定のスタッフのことを、こおいう場で書くことはどうかなと思っている俺ではあるが、個人的にはやはり影響があまりにも大きすぎるので、ポリシーに反するが書いている。無関係各位の皆さん、ちんぷんかんぷんですまなんだあ。

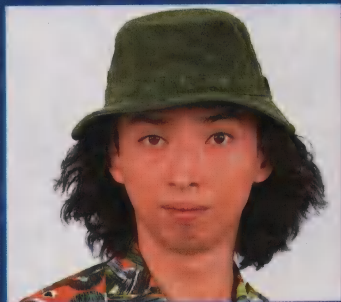
⑨新聞をにぎわす社会的な大事件が、世界中で今年は派手だったこと。政治、経済、人間すべてにおいて……

世紀末というのやはり何かの転機なのか、個人的にもエスパー清田のスプーン曲げを目前で見る機会があったりといった、ばかばかしいようで大笑いできない事というのは、結構あった1年だったと思う。個人的にはその日、その日では目立たないのだけど、何年かあとで考えるととっても派手な1年、といった感じ。

⑩PSY'Sのアルバム『アトラス』に参加したこと
他人のPRをわざわざ自分のページでやるつもりはないが、今までで一番きもちよくギターが弾けてしまったのだからしょうがない。それよりもっと気持ちよくギターを弾いているアルバムに、うちらの6枚目はなっているだろう。というところで、どうだドキドキするだろう？　じゃあね。

BARBEE BOYS 1・9・8・9

KOISO

①Band Stand
今年もまた、LIVEで年明け。
②引っ越し
BARBEE始めて4度目の引っ越し。忙しいレコーディングなのに、あのパワーはすごかった。
③√5発売
自分のなすべき事を教えてもらった。レコーディングして以来、このアルバムを一番数多く聞いた。
④FM大阪でエンリケと、やっていた番組が終わった
1年間やってたんですけど、ためになったとかならなかったとかじゃなくて楽しかったよ。
⑤「目を閉じておいでよ」がベスト10入りしてそのテのTVに出た
1度だけでいいから出たいと思っていた。
⑥BLACK&WHITE SHOW終わる
色々な事を見させてもらった。とにかく改めて認識できた。
⑦長期off
offといっても、それぞれ色々な活動をしていたのですけれど、offらしいoffをすごしていたのは俺だけだったみたい。ま、5年分のあかを落とさせてもらったという事で御かんべんを。
⑧夏のイベント
広島と博多、2本だけだったけど、久し振りに5人が集まって人前で演奏できたのが非常に嬉しかった。
⑨CLUB CITTA LIVE
会場のオープン1周年をイマサの30回目の記念すべき誕生日が偶然にも重なって、すごく盛り上ったライブだった。
⑩LPレコーディング突入
オリジナルで6枚目のアルバムな訳だけど、√5で得たものを更に追求して、よりよいアルバムを作りたいと思っているので、発売予定の春頃まで乞御期待！

①３月下旬のツアーは凄かった
沖縄から京都、富山、釧路とハードな行程、移動日は遊びまくったぜ。アツアツのブルブルでボロボロになるまで、よくやった!!

②１年間続けたＦＭ大阪の「負けるもんか」が３月31日の放送で終了
ＤＪってのもなかなかいいもんだ。機会があればまたやってみたい。大阪の皆さん、いい経験をさせてくれてどうもありがとう!!
③５月９日、10日と久しぶりの武道館。力が入りすぎて指がつったりもしたが、今年最高のライブができたような気がする。楽しかった。
④５月30日、ツアー終了
翌日はディズニーランドでガキに戻る。修学旅行生に追いまわされながらも、メインのアトラクションはほぼクリアーしてやった。何事も徹底的にいきたいもんだ。
⑤７月１日からの沖縄旅行は強力だった
沖縄に家を建てて仲間でワイワイ暮らすのが、今後の人生の最大目標であると認識した。沖縄じゃなかったらハワイかな？　やっぱ南の島がサイコーだぜ!
⑥７月の中旬から友達を集めてアマチュアバンドを結成
パーティーなどで飛び入りライブをしたり、デモ・テープを作ったり、のんびりやってる。パーティーの企画があったらいつでも呼んでくれ。酒さえあれば何処へでも行くぜ!!
⑦今年の夏、イベントはたったの２か所
もっとやらしてくれー。ライブこそ生きがいのオイラなのさ。そうそう、杏子バンドかっこよかった!!
⑧９月21日から樋口紗絵子ちゃんのレコーディング
俺とコイソで４曲参加した。
EYESという曲は、エンリケ君の作曲なんだぜ。１月には発売らしいので、よかったら聞いてみてくれたまえ。
⑨ローディの杉山が10月23日、N.Y.に旅立った
大きくなって帰ってこいよ。夢を追う奴はかっこいいもんだ。少し心配だけどね。
⑩そんでもって、バービーの６枚目のレコーディングで'89年は暮れていっちまったのよ。

E BOYS
8*9

BARBE
1*9*

BARBEE BOYS
1・9・8・9

KONTA

①1月
1日に出たバービーのシングルは昭和最後のシングルとなった。15日は新成人150万人が誕生を祝い、休日となったが俺達に休みはない。

②2月
1日に出たバービーのアルバム√5はヒットチャート1位を記録した。11日は神武天皇即位を記念して休日だったが、俺達は休めない。

③3月
ダイアリーに書き込みをする暇が無いほどバービーは忙しかった。21日は太陽が黄道の春分点を通ったため休日だったが、俺達は休めない。

④4月
コンサートツアー"the Black and White Show"もいよいよクライマックスに向けて加速を強めた。29日は新しい祝日ができたのを記念して休日だったが、俺達は休むという言葉を忘れていた。

⑤5月
長かったツアーがこの月最後の日に終了した。5日は食べられない鯉を見るために休日だったようだが、俺達の休みには無関係。

⑥6月
有名女優と30回ほどキスをした。(そのうちの1回は記録に残ってしまった) この月は休日が無かったので、当然俺達も休まなかった。

⑦7月
イマサらとHIROSHIMA'89テーマの"正義の味方"をレコーディング。俺の29回目の誕生日を記念しての休みはなかったが、かわりにP誌の編集H氏が遅刻してくれた。

⑧8月
いまみちともたか、一秀、おすぎ、松浦雅也（50音順、敬称略）のユニットでライブを行う。世間は夏休みで浮かれていたが、俺達はかき入れどきなので休めなかった。

⑨9月
人知れず秘かに、次のステップのための仕込み期間。であるからして、老人は敬まっているし、太陽は黄道の秋分点を通っているのに、俺達には休みは来なかった。

⑩10月
10月～12月。またまた有名人とキスできるかもしれないチャンスが巡ってきた。(だがしかし、3カ月たった現在もその兆しは無い)。6thアルバムのレコーディングも開始。ライブ、音楽番組もその合い間をぬって行う。もちろん休みは……欲しい。

①B.B.キングのライブに行ってカウンターパンチをくらわされ、間発を置かずにU2にクロスカウンターでのめされたです。
②2年間続けたTBSラジオの"スーパーギャング"が4月に終わる。
6月からFM横浜で"Sexy Beat Magic"をスタート。この流れに関してリスナーのみなさんに何かしらのわだかまりを感じさせてしまたっこと、ごめんね。
③友だちに小猫をもらう。(Chibiのビデオに映ってる子だよ)
"ねね"と命名し、今ではやたらと毛なみもよく立派!! やはり自分では飼えないので、両親のもとへ行っているのだが、彼女はそこで"女王"として君臨しているのであった。
④米米CLUBが、ライブでバービーをやって大ウケしているというウワサを聞きけつさっそくバービー代表として、横浜アリーナへ突撃!

てっぺいちゃん以外の米米のメンバーと内緒で打ち合わせをして、てっぺいちゃんをだましうち! 大満足!! 米米CLUBのみなさまそのセツは大変お世話になりました。
⑤この夏、和洋を問わず懐しの名曲をひっさげてのコピーバンド"おまつりBAND"で全国をかけめぐる。
Dr.チャッピー、B. しげちゃん、G. Tとうじき、Key.おのちゃんの強力メンバーとON STAGE, OFF STAGEどちらにもパワフルで楽しい夏でありました。ありがと!
⑥この歳にしてはじめて行ったひとり旅
そこでスキューバ・ダイビングのライセンスをとった。(これはおまけ)だがしかし、旅先で[illegible]年間ずっと大切にしていたものを壊してしまった。これはどこにも取り戻せないのだけれど、それにしばられずに自由でいるのが今はいいのかもしれない。
⑦神戸チキンジョージを上田正樹氏と、大阪バーボンハウスで有山淳一氏、内田貫太郎氏（憂歌団)、三宅信治（MOJO CLUB）とセッションをやった。
ステージ上は、ただただ緊張大会でありましたが、ソウルフルなライブに感激。
⑧THE BLACK&WHITE SHOWが終了……というよりは終わってしまった、という感じ。
"この次はもっとすごいツアーをやるぞ!"という言葉で自分をなぐさめてます。
⑨BARBEE BOYSをはじめて、秋から冬という季節のうつる時期にひとところにいたことなかった（ほとんどツアーなどで全国をかけめぐり、季節の早送り、巻戻しばかりだったから）のだけれど、今年は、街や空気が冷たくなってゆく様をじんわり感じることができて、それはとても幸せな気持ちだった。
⑩引っ越しをする(予定)。ところ変れば、こころ元気!

BARBEE BOYS 1*9*8*9

いやあ…ホントに失礼いたしました。確かあれは「三日月の憂鬱」をテーマにした取材日です。撮影小物を探して都内を駆け回り、あげくの果てに2時間の遅刻っ!! ご迷惑をおかけして深く反省いたしております。…てなワケで、恒例の10大NEWS、いかがでしたか？特に今年は個人活動が何かと活発で、僕たちファンとしても、"バービーのいろんな顔"がのぞけて、大変たのしい1年だったように思います。パチ▶パチも、年明け第1号を、バービーの表紙＆巻頭特集で飾れたワケで、5周年のパチ▶パチで5人が創った5枚目のアルバム『ルート5』をお伝えできたのが何よりの思い出です。'90年代に突入しても今まで同様、パチ▶パチが読者とバービーの架け橋になれるよう、ガッバッテいきたいと思います。ヨロシク。

RED MONKEY YELLOW FISH DAYS

●'89年の千里くんは、体も心も思いきり暴れ回っているように見えた。ベストアルバムのリリース、『redmonkey yellowfish』のリリース、本数が増えたツアー、その間をぬっての映画出演、テレビ出演、旅行……。ハードなスケジュールをタフにこなしながら、ハイテンションから生み出す曲やステージは力強くて繊細だ。そんな'89年の日々の記録です。

PHOTO●HISAKO OHKUBO　COPY●NOBUAKI ONUKI　STYLING●MAKI MIYAZAWA　HAIR & MAKE-UP●YUMIKO NAKAMURA

SENRI OE

FEB. '89

OOOH YEAH !

'89年の抱負——1か所でも多くライブを

●新年号で'89年の抱負を語るということで、洋服も少し改まった雰囲気。これからの1年に対する緊張感と集中が伝わってくるような取材でした。

そして、今振り返ってみるとこの時のほとんどすべての発言が実行されていることに気付きます。

例えば、「'89年は今までに廻りきれないような場所に行きたいです」〝redmonkey yellowfish〟ツアーは本数が大幅に増え、Travellia' Bandは初めての場所をたくさん訪れています。「夏に、'89年もスペシャルコンサートをやろうと思っています」超スペシャルな西武球場での〝納涼千里天国〟がありました。

有言実行の千里くん。それだけに彼の発言は価値があるし聞き逃せない。

DATE▶'88・11・25 PLACE▶六本木アートセンター
PHOTO▶大川直人 COPY▶宇都宮美穂

MAR. '89

FIVE YEAR'S TREAD 1234 TOUR

やり遂げることが革命！

●バチ▶バチでは恒例となった千里くんの〝追っかけ〟ライブ取材。この日はライブに関しても〝すべてを撮影してもらっていい〟という千里くん自らの許可があり、〝1 2 3 4〟ツアーのステージのいくつかのクライマックスシーンが誌上にも登場。その華やかさの裏側の静けさも伝えました。千里くんとはデビュー以来からのおつき合いの大川直人カメラマンが楽屋にも潜入して、普段はあまりお目にかかれない千里くんの姿もパシャパシャ「こーゆーのが追っかけには肝腎」と時計も写し込んでくれながら。(笑)

衣裳の早変わり、縄飛び、鉄棒……etc。ダイナミックな展開の中、緊張感が細部にまでゆきわたっていて、だからこそ最高に楽しい千里くんのステージ。

DATE▶'89・1・13 PLACE▶新潟県民会館
PHOTO▶大川直人 COPY▶宇都宮美穂

まさに80年代の申し子のような大江千里。彼にとって、80年代最後の年はどんな意味をもっていたのだろう？ 彼の今年の活動ぶりは、まさにスーパーマン的。空は飛ばなかったけど、地上のありとあらゆる所で自己主張した。さてそんな締め括りのインタビュー。ベルリンの壁から、お得用お餅パックの話まで、彼のこの一年がずりんと回顧されるのだった。

——まず、89年という年の印象から？

「グルグル〝うなっている〟年だったって気がしますね。ベルリンの壁が壊され、大女優のベティ・ディビスが死に」

——80年代をまとめる、みたいな気持ちは？

「僕にとっての80年代って、プロになりたかった時期で、レコードを出して今までやってきたっていう、そんな流れの中にあるんですよ。その80年代への郷愁もあるけど、20世紀最後の10年間が始まるっていう、たぶんこれからの10年間はとんでもないことが起こるんじゃないかって予感もある。だから一日一日神妙な気持ち」

——今年はグルグル〝うなってた〟年っていったけど、音楽活動への影響ってあった？

「僕はもちろんその空気を吸って生きてたわけですからね。でも、新聞の一面を飾るようなニュースより、むしろこまかい日常の事件がエキセントリックだったりして、気になった。厭世になってるってわけでもないけど、例えば恋愛でも、億劫になっちゃう人とより激しくなっていく人の距離がながくなっている。だからこれは願望も含めてなんだけど、もっと素直にストレートにさり気ない一言が言えるといいなって」

——去年の大晦日とか、今年の元旦とかの記憶ってハッキリしてますか？

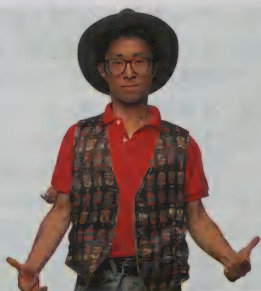
「去年は31日の昼間公演まで大阪であった。それが5時くらいに終わって、みんな出払った街で一人茫然と立ちつくしてた。(笑) それ

MAY. '89 OVER THE EQATOR

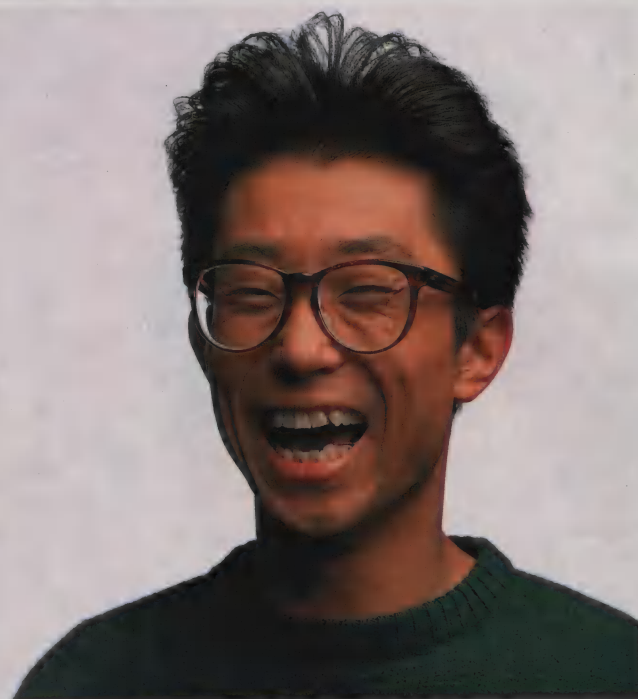
ツアーの合い間に赤道を越えて

●忙しいツアーのスケジュールを縫って、赤道を越えてきた千里くん、物事に対する感受性も、反応の早さも、吸収力も人の何倍もある彼。日焼けしたたくましい姿でさっそうとスタジオに表れた彼は、オーストラリアの光と空気をまるごと持ち帰ったかのようでした。

撮影は、飛行機の中でスチュワーデスさんに配られたコアラ君と一緒でした。帽子とベストと肌もメイドインオーストラリア。

そんな千里くんの言葉を通すと、オーストラリアの街も自然も動物も人も、驚くほどの鮮やかさでよみがえります。彼にとっての旅が、スケジュールを必死でやりくりしてまでも行う価値のあるものだということがわかる取材でした。

DATE▶'89・2・12 PLACE▶代官山スタジオ
PHOTO▶大川直人 COPY▶宇都宮美穂

APR. '89 SLOPPY JOE

ブランド・ニュー・ベストアルバム

●初の"ブランドニューベストアルバム"、『Sloppy Joe』のライナーノーツ。"Sloppy Joe"の意味のひとつに"着古したセーター"というのがある、ということで千里くんが長年着たよく肌に慣じんだセーターを着ての撮影。

インタビューでは、作家としての、ボーカリストとしての千里くんの詞への思い、曲への思い、音へのこだわりから、彼の歴史や、『Sloppy Joe』がそのタイトルどおりしっくりと耳に慣じむ理由などが浮かび上がって来ました。「大事に、聞きたい。半年に1度、1年に1度、または10年たっても。そして『Sloppy Joe』を相変わらず聞ける自分でいたい」という宇都宮さんの言葉はそのまま私たちの思いでしょう。

DATE▶'89・2・11 PLACE▶六本木アートセンター
PHOTO▶大川直人 COPY▶宇都宮美穂

RED MONKEY YELLOW FISH DAYS SENRI OE

からレンタカー屋さん行って、カローラかなんか借りて実家に帰った」

——正月は?

「新年会やりましたね。ミュージシャンの契り大会。(笑)その時から"今年は弾けるぞっ!"っていう気持ちはあったと思う」

——最近会うとウエスタン調の衣装着てるけど、それも今年の傾向のひとつ?

「別に着たいもの、好きなものを着てたらこうなったんですけどね。音楽もそうなんですよ。理屈抜きですから。でも、ウエスタン・ブーツを履いて頭を後ろで縛ったりしてるでしょ? 楽屋入りする時とか、ファンの人に気付かれなかったりしますよ。3年ぶりに衣装チームに復帰してくれた人とかもいるんですけど、その人とかからも"全然変わっちゃった"って言われたし。中身は変わってないんですけどね。あと今年は岡村君と"家電の充実"を誓いあった。(笑)家電は充実しましたよ」

——どんな?

「冷蔵庫買ったんですよ。大学時代からずーっと持ってたこんなちっちゃい(ここで大江千里、新聞紙を二つに折ったくらいの面積を示す)冷蔵庫は粗大ゴミに出して、でっかいのを買ったんです」

——でも、大きいのは中身を一杯にするの大変でしょ?

「それが小さいのに入ってたのを分散したらちょうどいい量だった。僕は楽屋で出してくれたウーロン茶とかポカリスエットとか全部

JUL. '89

夏からの風

レコーディング、快調!!

●浴衣を着て撮ろうと言ったのは……それは千里くんです。あんなにも快調に、かつ自由にロングインタビューに答えてくれたのは……ハイ、それももちろん千里くん自身です。

新しいアルバムを作り始めた彼に久々のロングインタビューをしたら、びっくりするぐらい快調な答えのオン・パレード。実に楽しそうでいかに千里くんが好調であるかが伝わってきました。それと共に西武球場での"納涼千里天国"や、やがてリリースされることとなったアルバム『redmonkey yellowfish』がすばらしい仕上がりになるだろうということが、強く予感されたのでした。

創刊号からこの号まで皆勤賞だった千里くんの54枚の写真も壮観でした。

DATE▶'89・5・5 PLACE▶アートプラザ1000
PHOTO▶大川直人 COPY▶小[illegible]信昭

JAN. '89

IN THE IMAGE

"映像"への考え方、取り組み方

●e－Zの撮影を、青梅の吊り橋に追いかけました。さすがの"晴れ男"千里くん。この日もきれいに晴れて、吊り橋の上で、手にした黒板に字を書いてゆく……というシーンが順調に撮影されました。

いつもながら千里くんの演技に対するカンの良さと、物を作っている時の、それを最高のものにしようという力の強さには驚かされます。

インタビューでは千里くんの"映像"というものに対する考え方をききました。

「良いものができるんであればOK」「たとえば"夜ヒット"に出ることはすごく健康的なこと」と話した千里くん。純粋に彼の音楽をより多くの人に届けようとする姿勢はそのまま、その後のブラウン管の中の彼に表れていました。

DATE▶'89・4・2 PLACE▶奥多摩
PHOTO▶川本満男 COPY▶宇都宮美[illegible]

持って帰るから、そういうの入れると丁度いい。あとミュージシャン仲間から貰ったウニだの金沢行ってきたときの蟹ミソだのって食べないのを配置するとね、丁度いいんですよ。僕はツアーとかあるし家に帰らないでしょ？そこに冷蔵庫が家に来るというのは文明開花の鐘が鳴る的なことなんです（笑）」

──他の家電は？

「乾燥機も買ったんですけど、まだ使い方がよくわかんなくて。止まんなかったらどうしよう、とか。（笑）でも、一年あっという間でしたよ（と、インタビューの軌道修正をする大江千里）」

──忙しかった、と。

「3月31日までコンサートやって、翌日の4月1日、エイプリル・フールの日に「魚になりたい」のプリ・プロダクションを始めて、それが実質的には「レッド・モンキー・イエロー・フィッシュ」のレコーディングの始まりだったし。で、あれよあれよで西武球場に突入しましたからね。

──納涼千里天国って、今年もやったけど毎年の行事にしていく予定なんですか？

「それはどうか分からないですね。今年の納涼千里天国は、持ち駒を全部出した感じだから。野外で思いつく限りのことを詰め込んだから。だから来年もやるとしたら、それを越えるようなものじゃないと」

──全体に振り返ってみて、無駄なく時間使ったんだぞ、みたいな。

「そう。だから来年は、もっと無駄を」

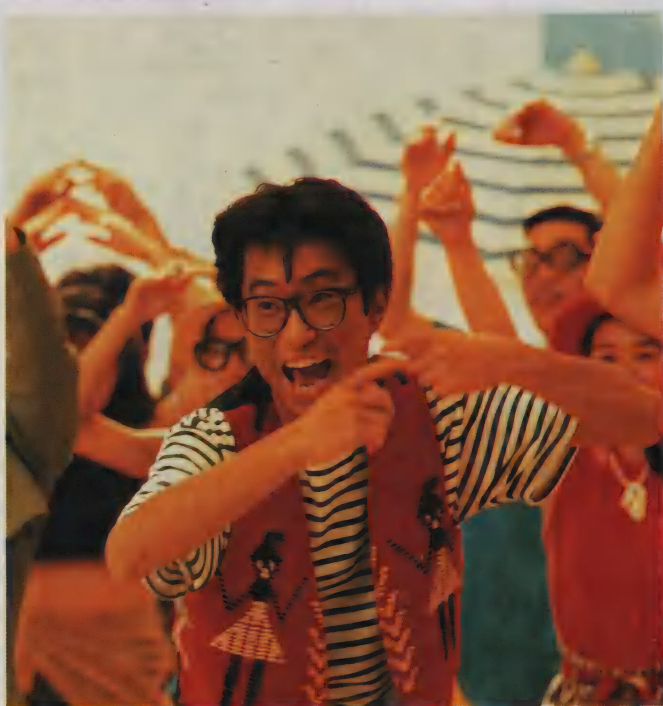
──何やってるのかわからない一年にしたいとか。（笑）

「プロレス見に行くとか、新橋演舞場に通うとか、整体の先生にかかりに名古屋まで行くとか。名古屋に好きな先生がいるんですよ。プロ野球選手出身なんだけど。その人、理屈じゃないの」

──前々から色々とやってたけど、今年はテレビにも沢山出たし映画も出たし、音楽ファ

SEP. '89

おねがい天国 IN THE FILM

こんなに楽しいビデオができる理由(わけ)

●'89年のベスト"誰が見ても文句なく楽しめる"ビデオ・オブ・ザ・イヤーに輝きそうなビデオ「おねがい天国」

楽曲の良さ、楽しさをほんとうにうまく表現しているこのビデオ撮りの様子を取材。ほとんどの人が演技にはシロウト、でも役者ぞろいというキャストを集めてストーリー性のある映像が展開していきました。たった数分間を撮るのに真夜中までかかって、でも誰一人として妥協しない。イイモノに対する千里くんの姿勢と、それに裏付けられたタフさと。映画「君は僕を好きになる」の制作が始まったり、「夜のヒットスタジオ」のマンスリーが始まったり、スケジュールは多忙を極めたこの頃だけれど、やはり常にタフな千里くんでした。

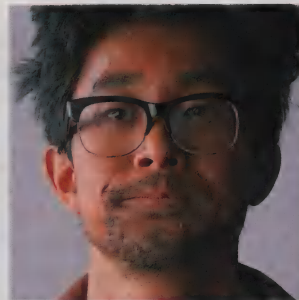
DATE▶'89・7・1 PLACE▶スタジオMAO
PHOTO▶塚越健治 COPY▶宇都宮美穂

AUG. '89

拝啓 梶原杢太郎氏

ナゾの作詞家杢太郎氏、出現

●梶原杢太郎さん、職業は作詞家と古着屋さん、そして何やら千里くんの古い知り合いでもあるらしい。

Be－Modernの「My girlfriend」という曲に詞を書いているということ以外はナゾにつつまれた存在だった彼を、撮影スタジオに招待。千里くんとの撮影後の対談では昔話に花が咲いて、口は悪いけれど、憎めないキャラクターの持ち主だと判明。でも、何だかケムに巻かれた気分になった読者も多いはず。杢太郎氏へ寄せられたファンレターは「千里さんにそっくり！」「でも対談はホンモノでしょ？」と困惑のウズ。「杢太郎氏と対談したい」と言ったのは実は千里くんでした。寿次郎丸というライターも実は千里くんでした。もうおわかりですか？

DATE▶'89・6・10 PLACE▶スタジオフォリオ
PHOTO▶井之上伸也 COPY▶寿次郎丸

ン以外にも積極的に自分をアピールしましたよね。忙し過ぎた、とかは？

「8月に映画の撮影が入ったけど、今やってるツアーのリハーサルと時期が重なったこともあったんですよ。でも、その両方が相乗効果になってテンション高かったですね。映画の場合、もう完全にたずなを渡しきってましたからね。もう、身を委ねきれる仕事でしたから」

――まあ、ツアーやるにしてもコンサートやるにしても、結局中心は自分。自分でプロデュースしていかないと駄目だけど、映画はそうじゃない、と。

「そうですそうです」

――映画やったりテレビ沢山でて、例えばコンサート会場の変化とかは？

「出るべき所に出るようっていうのは昔決めたことだし、それが上手い星の巡り合わせで今年は色々なことが出来ましたよね。それでコンサートにも色々な人が来てくれるようになった。音楽を聞くのに7年も2日もないしそういう状況がやってる方としては一番気を抜けない。一番面白い。あの、今年は照明の加減とかもあるんだろうけど、客席が異常によく見えるようになったんです。このツアーからすごく見えるようになったんです。このツアーからすごく見えるようになった。それで、音楽を忘れかけて何年も別のことに熱中してた人が赤ちゃんとか抱いてお揃いのトレーナーとか着てコンサートに来てくれるのをぽつぽつと見掛けたりするでしょ。なんか

RED MONKEY YELLOW FISH DAYS
SENRI OE

NOV. '89

REDMONKEY YELLOW FISH

ニューアルバムをまるごと伝えるために

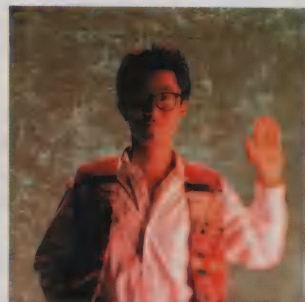
●そして『redmonkey yellow-fish』、記念すべき9枚めのアルバムのリリースと、表紙巻頭特集。'89年の絶好調の大江千里が作った、スケールの大きい、気持ちのいい1枚。
巻頭特集は、『redmonkey yellowfish』というタイトルに、完璧にもとづいて構成されたから、おサルさんやサンマや黄色い塗料や赤い塗料やらが飛びかって、この撮影の最中に生まれたエピソードは数知れず。でも苦労のかいあっておサルさんもサンマくんも赤黄に染め分けた髪もペインティングした顔も大好評。インタビュー、ライナーノーツ、座談会という構成で言葉からも相変わらずタフで好調で、安心して期待していて間違いない千里くんが伺えた。

DATE▶'89・9・2 PLACE▶六本木アートセンター
PHOTO▶岩岡吾郎 COPY▶小貫信昭 宇都宮美穂

OCT. '89

ラジオが呼んでいる

LAから持ち帰った空気とできたての曲

●シングル「ラジオが呼んでいる」のインタビューは、千里くんがLAで、NEWアルバムのトラックダウンを終えて帰った来たばかり、という時期に行われました。"アルバムのことはまだ聞けない""みんなに知らせたい、でも来月までこの話はおあずけ"という状態。けれども充分にLAの、そしてNEWアルバムの空気が伝わったのではないでしょうか。「ラジオが呼んでいる」は、誰もが大好きになってしまいそうな、懐かしくて暖かく、しかも「こういう曲があると日本人はますます洋楽から遠ざかってしまうんじゃないか」とある評論家に言わしめたほどのすぐれたメロディーの曲。スタジオで、できたてのテープを繰り返しかけながらの撮影でした。

DATE▶'89・8・15 PLACE▶代官山スタジオ
PHOTO岩岡吾郎 COPY▶宇都宮美穂

嬉しいですよ。また先が伸びたような気がしてね。常に音楽って"格好"で聞く人って何割かいるけど、だけどそうじゃないずっと残って聞いてくれる人もいる。僕が長くやっていけるのか。今がその要（の時期）なんじゃないかなって気がしてます」

——他にも活動は色々でしたよね。

「それと、今年は光ゲンジの曲とかも作りましたね」

——そうそう。でもああいうのって、面白いと感じる人と何で大江千里が光るゲンジやるんだろうって疑問に思う人もいたんじゃないかって思うんですよ。

「僕としてはね、衆人監視の土俵に出ていった感じでね。自分では試さなかったけど、ストレスが取れるようなもっと弾けたアイドルの曲を楽しんで作りたかった。それを勢いのある人達に歌ってもらいたかった。勢いが無かったらばかばかしいような、リミッターが掛かってしまうギリギリのところの表現を試したかった。別にシングルになるとかっていうことより、趣味みたいなね。（笑）でも、あれを作ってる時にね、光ゲンジのみんながね、こうグルグルとローラースケートで回って円陣を組んでるところを想像してサビとか作ったから、画面でパッとそれがシンクロして興奮してましたね」

——ラジオのDJの仕事とかは？

「『スズキ・ステーション・キッズ』って番組ですけど、あれは日課ですね。僕は日記とかつけないけど、その代わりっていうか。奥歯はいま義歯で、治療は12月までかかる、とかね。（笑）締切なんだ、とか。（笑）でも僕がラジオに思うのは、普通に存在出来るラジオになれるってことなんですよ。突出したいって気持ちとさり気なさとが共存してるもの。選曲も含めて、これが一番エネルギーいることなんですけどね」

——今年って、どっと落ち込んだ時期とかあったんですか？

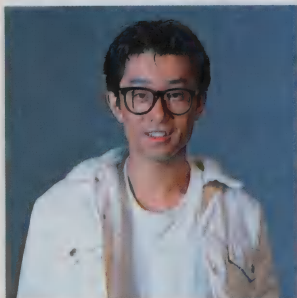
JUN. '90

WINTER SONG

千里くんの冬の曲から

●冬の曲。真冬にきく千里くんの冬の曲には、なぜかふるい立たされたり、懐しい気持を呼び起こされたりします。ただ浮かれるだけのクリスマス・ソングなど大江千里には決してありません。

千里くんの冬の曲の中から6曲を選んで、さまざまな冬のシーンを話してもらいました。彼の視覚と聴覚と嗅覚によって切り取られた冬の場面たちはその中にある人々の思いを浮き上がらせます。冬という寒くて厳しくて、それでいてロマンチックな季節が、彼を通してああいう曲たちになっていく、その過程がほんの少しだけわかったような気がするインタビューでした。

大人っぽいロマンチックな冬の夜を想定した写真からも想像が広がりました。

DATE▶'89・11・12 PLACE▶六本木スタジオ
PHOTO▶おおくぼひさこ COPY▶野口顕

DEC. '89

WE ARE TRAVELLIN' BAND

動き始めたTRAVELLIN' BAND

●千里くんのTRAVELLIN'BANDが全国を巡る旅を始めたころ、「WE ARE TRAVELLIN' BAND」がシングルとしてリリースされました。

始まったばかりの"redmonkey yellowfish"ツアーを追いかけて九州へ。いつも千里くんチームはのんびりと暖いメンバーがそろっていて今年も例年にもれず……なのですが、今年はその暖い空気にものすごく楽しいパワー＝清水信之さんが加わって、移動中のTRAVELLIN' BANDはとてもにぎやか。おかげで、撮影もなかなかはかどらなかったけれど、でも楽しかった。熊本から大分へ向かう道中の大自然で、ノビノビと、気持ちのいい写真撮影ができました。千里くんもお気に入りの写真です。

DATE▶'89・10・15 PLACE▶熊本大分
PHOTO▶岩岡吾郎 COPY▶野口顕

RED MONKEY YELLOW FISH DAYS SENRI OE

「そりゃ、山あれば谷あり」

——なるほど。(笑)

「押してても駄目なら引いてみなってこともありましたよ。でも、今年は高い山がいくつかあったんで、7月の事とか9月の事とか、もう一昨日くらいのことのように鮮明に覚えてるんですよ。いまやってるツアーの初日があいた10月2日のこと、とかね。アルバムが完成した時とか、映画が完成した時とか」

——いま後ろを振り返ってみると、そんな風に山の高い頂上がいくつか重なって間近に見えているんだ。全然関係ないけど、今年は仕事って何日までやってるの?

「24日までですね。その後はフケようと。旅をしよう、と」

——ゆっくりした正月になりそうだ、と。

「餅がいっぱい食べられそうですよ。お得擁2パックくらい。それで年が明けて幕が開くとウガンダくらい太ってたりして。でも、春までコンサートあるし」

——太ってる暇がない。

「暇がない。(笑)でも、この先この"レッド・モンキー・イエロー・フィッシュ"ツアーは驚くべき変貌を遂げるでしょう、とかって(笑)」

——赤の黄色が入れかわるぞ、とか。(笑)

「レッド・フィッシュ・イエロー・モンキーになる、とか」

——黄色い猿って、なんかどうも。

「なんか気持ち悪い(笑)」

SINGLE INTERVIEW

●今年、千里くんのすべてのシングルがCDシングル化されました。それを記念して(?!)シングル・インタビュー。これまでのすべてのシングルの話。そのまま千里くんの歴史にもなっているような貴重なインタビューになりました。

ワラビーぬぎすてて
'83•5•21

デビュー曲に関しては、わりとすんなり決まりましたね。デビュー・アルバムの中に入っている曲のうち、僕としては「海開き山開き」か「ワラビーぬぎすてて」か、このどっちかで鮮烈デビューしたいって思ってたんですよ。それでディレクターさんに言ったらね、「海開き山開き」とかはもうちょっと時間が経って〝海開き〟とかっていう言葉を訳す辞書が出来てからの方がいいって言われて(笑)、それで「ワラビーぬぎすてて」の方になったんです。でもこの頃って、ガンガン曲を作って東京持ってって、東京に来たら「これが東京タワーか!」とか「国会議事堂か!」とか、そんな感じでぐるぐる回ってたな。

ガールフレンド
'83•8•25

最初の頃って、ともかくウナギ食うみたいにがーっと曲を作ってたでしょ。ピアノ触れば曲が出来た。理屈しらないで本●で曲を作ってたんです。で、この時期に頭使って作ったっていうのは、この曲だけなんですよ。あ、あともうひとつ「天気図」もそうだけど。曲の構成を考えて、ここで大サビがくるとか、フックが来るとか、そういうのけっこう緻密に作ったのがこの曲でしたね。僕の身のまわりにあるのがブルースとかサザンロックとかだったから、洗練された世界への憧れとかもありました。だけど、関西人の血のたぎり、負けるもんかっていうのもあった。どっちかっていうとコッテリしてる感覚が。

ふたつの宿題
'83•12•1

イギリスが〝きてた〟時代でしたね。スパンダー・バレイとかオレンジ・ジュースとか、ちょっとモヤがかかってるというか霞がかかっているというか、そんなのが。そういう音数が少ない世界に憧れてた時期ですよね。それで「愛してるって言葉は」うんぬんみたいなバラードをね、往年のバラードじゃなくやってみようっていう作品ですよね。このころ東京と大阪で初めてホール・コンサートをやりましたね。もうこれは2枚目のアルバムに収録されてる曲ですね。2枚目の「プレジャー」が始まりつつあった時期のもの。でも、まだ2足のワラジ(ミュージシャンと学生)時代なんですよ。

BOYS&GIRLS
'84•3•5

もうこの頃までって、縦20センチ横40センチくらいのキーボードをいつも持ち歩いててね、ヘッドホンでそれ弾きながら移動中とかでもどんどん曲を作ってましたね。そうやって飛行機の中でも部分部分を作ってた。それでこの曲、僕はフィル・スペクターとかの壮大なホール・エコーがかかってる世界とか目指して作ってたんですけど、当時の(アレンジしてくれた)大村憲司さんの趣味がちょっと違ってて、「大江千里の言ってることは分かるけど」とか「いや僕がやりたいのはこういうのです」みたいにミックスで苦労しましたね。そこら辺のことを『スラッピー・ジョー』では自分の思ってる方に近づけたんです。

ロマンス
'84•7•21

初めて〝打ち込み〟で作った曲ですね。この曲の編曲は小室哲哉君です。まだ彼もね、今みたいなシステムネが整ってない時期だった。二人で夜中にスカイラークとか行ったりとか、泊まりこみでアイデア練って打ち込みをやってましたね。B面の「思いたったら吉日」なんて、シャッフルなんだけど、この時の打ち込むの技術だから〝跳ね〟なかった。打ち込みゆえの変わった跳ね方になってますよ。でも今考えるとね、「ロマンス」っていうのはよー出来た曲なんですよ。自分でいうのもなんだけど(笑)。いまのステージ構成に欠かせない曲ですからね。よくこれがあの狭い六畳一間の部屋で出来たなあって思いますよね。

十人十色
'84•11•1

別にシングルだから特別に作ったわけじゃなくて、その時期その時期にベストなものがシングルになってるんですよ。でもこの曲はスマッシュ・ヒットっていわれて、色々な人がカラオケで歌ってくれましたね。色々な人からそう言われた。僕の曲ってカラオケにはなんないみたいなんだけど、この曲はカラオケになっててね。(笑)でもいまライブやってるとね、この曲知らない人もけっこう多いなあって感じですよね。それでこの時期って、特に印象的っていったら、(アレンジャーの)清水信之と最初に接近した時期ということですね。その時はこれほど長い付き合いになるとは思ってなかったですね。

REAL
'85•3•6

このシングルのジャケットはね、当時ポール・サイモンを意識して撮影したんですよ。着てるジャケットも人から借りたもので、まだ返してない。(笑)この時期って曲を書くのに悩んだ時期なんですよ。調子のいいように見えててね。僕がスタジオをフケて焼き鳥屋かなんかにいたら、信さん(清水信之)も来てね、「今日、スタジオをフケられちゃったよぉ」とか。バッタリ会ってね、(笑)それで無視出来なくて飲み始めて、それで曲が出来たりもしましたよ。だからホラ、「リアル」には〝酒だけだじゃ生きていけないよ、だけど酒がなしじゃ悲しすぎるから〟って歌詞があるでしょ。(実際には酒ではなく愛である)

フレンド
'85•11•1

このCDのジャケットはいいなぁ。こういうジャケットはセンスあるなぁ。いい瞳をしてる。あはは。ここまで自分で言って。(笑)ゴダールの世界ですよね。ジャン・ポール・ベルモント。それでこれはベスト・ソングなんですよ。これの焼き直しをしないようにさらに精進しないといけないと思ってます。(笑)この曲にはラブ・ソングのお家芸が詰まってるんですよ。ラブ・ソングって斜に構えない方が来るしね、たまに移動中に車とかでこの曲を聞いてると、やっぱり〝ストレートなラブ・ソングを書きたいな〟って思いますよ。B面のコンチュルトはその反動で、揺らぎのオブラートですね。

コスモポリタン
'86・2・26

この時期、色々な喧嘩してたんだよなぁ。(笑)それがジャケットの顔に出てる。この時期は初めて会ったミュージシャンから〝「コスモポリタン」聞きましたよ〟って言われた。(エコーズの)辻君と会ったのもこの時期だから。こういう大きいテーマって、しばらく時間をおいてね、それでも失せてなかったら曲に書こうって思ってたけど、この曲は有無を言わせず自分の中から湧き上がってきて、それを曲にしたんですよ。詩のロケーションはフィリピンのマニラ市街で見たことを歌ってます。ただ、この曲はライブでやるのが非常に難しいですね。(曲の)性格が強すぎるからかなぁとも思うけど。

きみと生きたい
'86・10・22

この時期のことは思いだせない。思い出せないなあ。(笑)空白。

Bedtime Stories
'86・12・1

これは滝に打たれてた時期ですね。『AVEC』っていう、自分を分解してた時期の曲です。3食自分で作って、桜の花が写真に撮りたかったら道に寝ころんで撮ったりしてた時期。でもこの曲って、勢いあまって(10曲入りの『AVEC』からはみ出して)11曲目12曲目ってことで作ったんですよ。自己消化して、さらにスプリングがついて変貌した。アルバムの11曲目12曲目のはずなのに、出所の違う作品に仕上がったんです。今につながってますね、このシングルは。重要なシングルです。布石にして集約的です。このシングルには(今の自分の曲にある)跳ねる言葉をたたみこむ気配が出始めてますね。

YOU
'87・5・21

この曲の時はですね、筑波に言ってVTRを撮ったのを覚えてるなぁ。畑のまん中にピアノを置いて〝君を抱きしめていた〜い!〟ってクレーン使って撮影したんですよ。まわりで撮影中に近所のおばちゃん達がね、カメラに写らないようにはいつくばってた。(笑)撮影終わるとそのおばちゃん達が「もういいですかぁ?」みたいなね。(笑)あの時はそう、黄金色の稲穂の中で緑色のジャケット着て撮ってね、まだ黄金色になってない緑の稲穂の中では黄色いジャケット着て撮ったのっていうのを覚えてます。僕は昔からストーリー性のあるビデオを作ってきたんですけど、ビデオってやっぱり難しいですよね。

POWER
'87・12・2

十代の時に持ってた重量感のある引き出しを開け始めた頃ですね。ビリー・プレストンとか、そういう影響うけたものを包み隠さず出して作ってました。ビリー・プレストンて、ビートルズにもローリングストーンズにも関係してる唯一の人ですよね。ワイルド性もポップ性も持ってて不自然じゃなかった。しかも黒人。あと、タワー・オブ・パワーからの影響、とかね。だからブラスとか一杯入ってるんですよ。でも、ブラスがたくさん入ってるのに〝流れない〟感じ、とかね。音楽的には試す時期でした。日本語こそがリズムを持ってる言葉なんだって思って、だからわざと言葉が一杯。16(ビート)を縫うように。(笑)

GLORY DAYS
'88・6・22

難●でしたこれは。最初に作って何度もアレンジやりなおした。詩も悩んでね、最初は日本語タイトルで〝太陽に歩こう〟とかってやろうと思ってた。だからこの曲って、『1234』のアルバム・レコーディングの最後だったと思いますね。この曲って、なにものにも変えがたい手応えを感じてます。曲って自分の中では一瞬完結して手を離れるでしょ? でも、この曲とかは聞く人によって〝お前、これ作ったんだからちゃんと責任とれよ〟みたいに戻される。そして、また歌える、みたいな。でも、こういう曲は十年に一回ですね。毎日毎日こういう歌を書けっていわれても書けないですよ。

これから
'89・10・21

「グローリィ・ディズ」とか作ると、こういうのも作りたくなるものなんですよ。反動があるんです。それでこの曲はね、〝太いバラード〟を書こうと思って、それで作った曲ですね。ホワイト・スネークとかがコンサートの最後にやるバラードってあるでしょ? あの感じですね。もう、音の一個一個が太いっていう。それで西本明さんに電話して、アレンジを頼んだんですよ。もうこの時期になると、(自分の中の)肯定項が増えましたよね。あれもアリだ、これもアリだ、という。そういう意味ではプロになる前に近いかもしれないですね。あの頃は何でも節操なく興味あればやってたから。

おねがい天国
'89・7・14

今年の曲に関しては、近すぎてちょっとね。(笑)毎日歌ってる曲ですから。年の若い子供が一番可愛いんです。(笑)そこんとこ空きにして、読者の人に入れてもらうのはどうかな?

ラジオが呼んでいる
'89・9・21

上記に同じ。あなたの感想、及び思い出を書き込んで下さい。

WE ARE TRAVELLIN BAND
'89・10・25

ここもやっぱり上に同じです。

RED MONKEY YELLOW FISH DAYS

SENRI OE

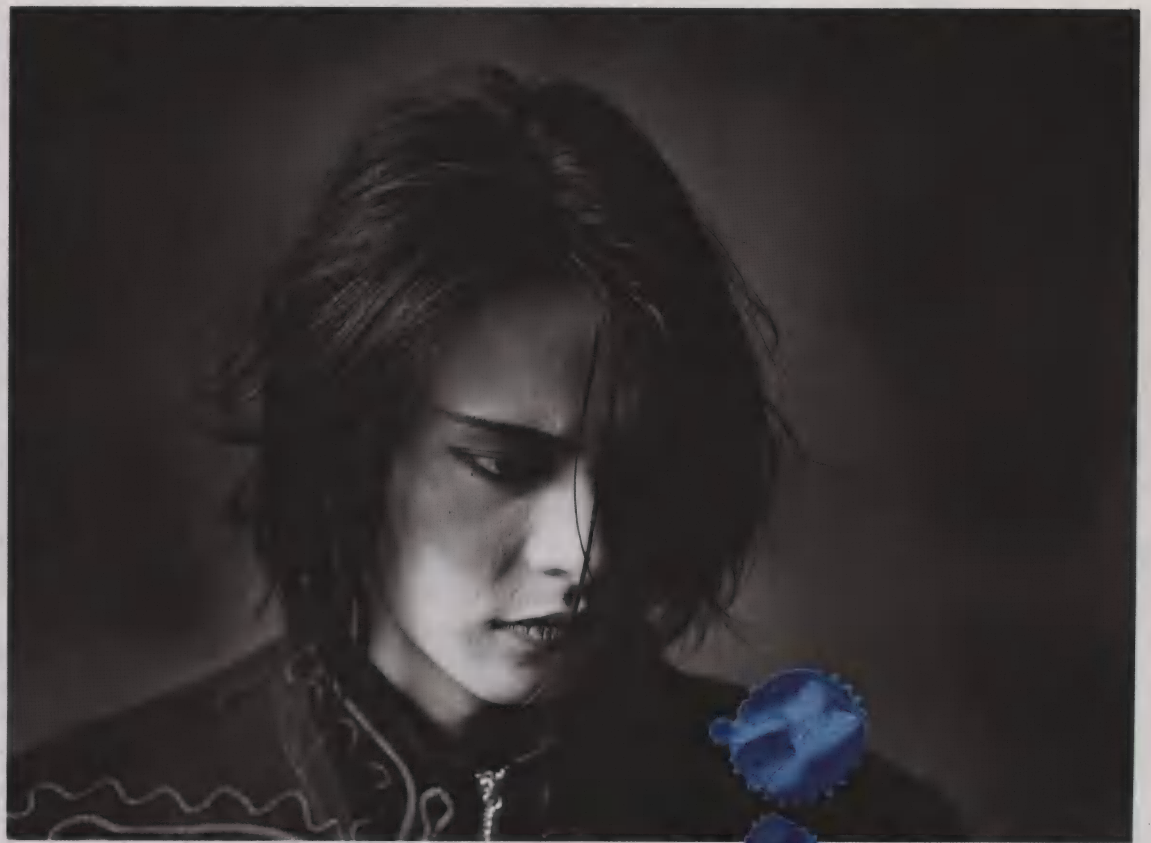
BUCK-TICK

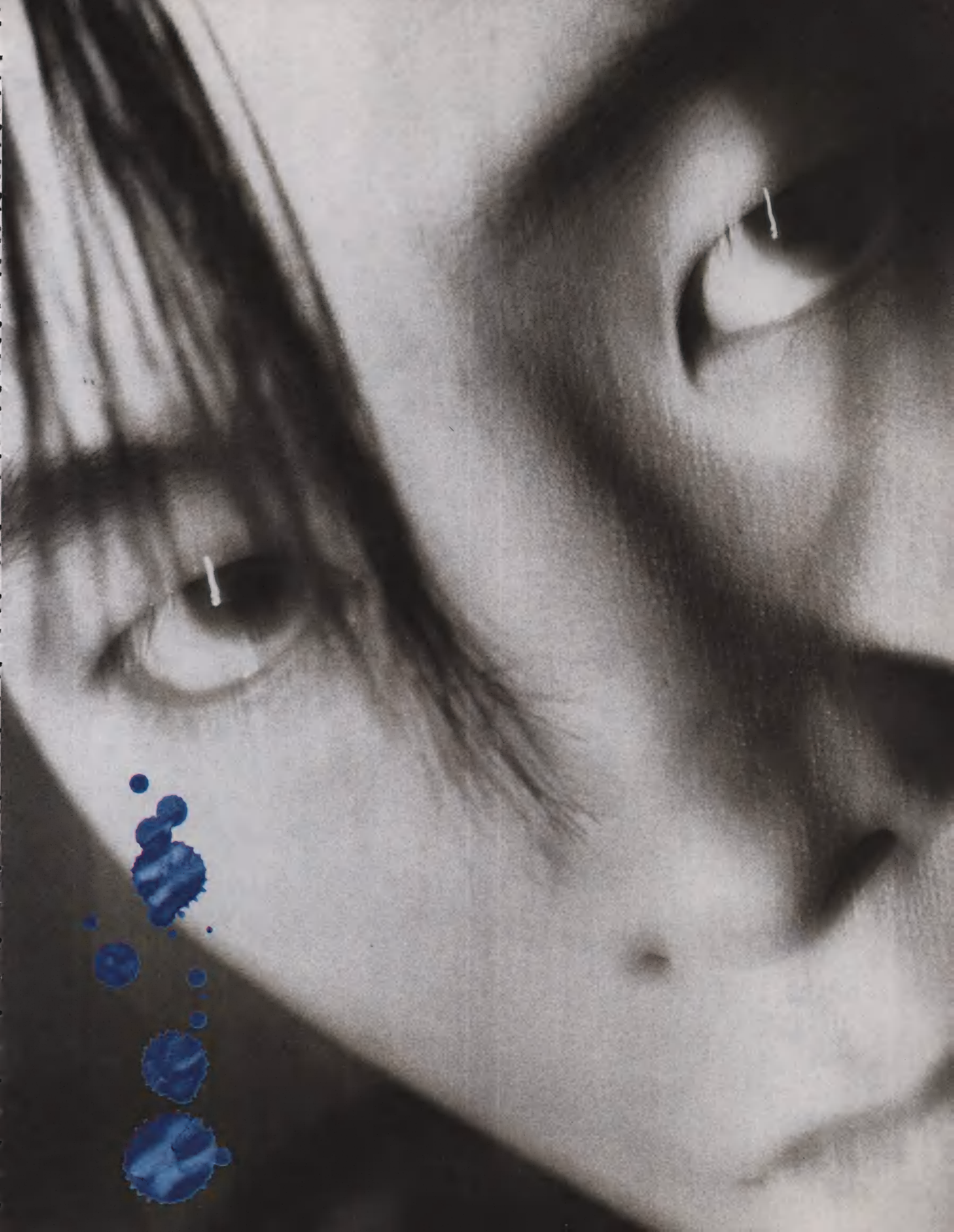
1989-1990

●1989年は、BUCK-TICKにとって間違いなく大きな転機となった1年たったであろう。チャート初登場1位アルバムの発売、日本武道館2DAYSライブ、ツアー・スタート、そして…。そんな彼らの1年間を、思いっ切り軽いノリで振り返ってみた。ファンの皆さん、ゴメンナサイ♡

PHOTO●KAZUHIRO KITAOKA TEXT●MISATO KONDA VS TAKASHI HAGA (PATi▸PATi)

BUCK-TICK

1989-1990

芳賀　このあいだKONちゃんが、BUCK-TICKの休業中、彼らに似たバンドが出てこなかった、って言ってたよね。
根田　うん。なんか顔とか化粧とかは似てる人はいるのよ。デランジェとかジャスティ・ナスティとかさ。でも、音っつーか雰囲気っつーか、BUCK-TICKにしか出せないクラサを持った人達って出てこなかったでしょ。
芳賀　そうそう、クラサ(笑)。あれは仲々出せない。あれってさ、なんだかんだ言って、ルーツとか指向が似てるようで実は似てないからだと思うんだよね。あっ、でも似てるのがひとりいた。てあとろんの店員さん。アッちゃんにソックリ。
根田　さすがハガちゃん。そこまで見わけるか。あたしなんか、ひとまとめでBUCK-TICKに似てる、だもん(笑)。
芳賀　けど、彼は氷室京介にも似ている。
根田　このままじゃ、そっくりさん大賞でも決めなきゃ話が終わらないってば。
芳賀　はい。ところでさっきのルーツの話なんだけど、BUCK-TICKって、単純にパンクやニュー・ウエーブがモロ出てくるバンドじゃないんだよね。ここ最近のバンドの中では非常に珍しい嗜好を持ってるんだよね。
根田　そうなんだよね、うむうむ。BUCK-TICKの人達って、奥深いもの。
芳賀　僕なんかが、音楽青春の話してても、時々ワケの分からないアーティストの名前が出てくるし、影響受けたものが、そのままストレートに表に出ないからね。
根田　だからクライのよ、なんつって。
芳賀　でも、『HURRY UP MODE』のアッちゃんはアカルイ。
根田　いや、それは、ただ声が高いだけ。
芳賀　確かに今聴くと、子供が真似してやってるみたいだもんね。本人もそんなようなこと言ってたじゃん。
根田　成長の後っつーんですか?短期間の中で、よくもまああれだけ表現力がついたなあ、と思います、ハイ。デビューした時は、人気の方が先走ってたけど、ちゃんと実力つけちゃったし。
芳賀　うん。ビジュアル先行とか言われてた。それって今年の初めまでまだ引きずってたもん。確か、『TABOO』のレビュー書いた時、BUCK-TICKをまだそんな風に思ってる人達に対して皮肉を入れたような憶えがある。そういやあ、あのアルバムも考えてみれば今年の作品なんだよね。
根田　だあねえ。今頃の時期って、「今年をズイブン前みたく感じるけど。
根田　だあねえ。今頃の時期って、「今年を振り返ってどうでした?」的な質問をよくするけど、そういう質問しながら、1年って早いよなあって思うもんね。で、特にBUCK-TICKに限っていうと、今年一年どころか、いろんなことが短いっつーかアッという間っつーか。とにかく、ハイ・スピードだよね、なんか。
芳賀　そう、BUCK-TICKがアマチュア時代に豊島公会堂でライブやったじゃん。あれからちょーど1年後の同じ日に、汐留PITでやってるんだよね。ヒデも言ってたけど、ライブインやって、次が青年館やって、次がPITだったって。そいで渋公のあとに武道館2日間でしょ?信じらんないわなあ。だって、気がついたら武道館の日だった、なんて言っちゃうんだもん。
根田　でさ、そういうことが似合っちゃうんだわ。カッコイイなあ。
芳賀　ジッタリン・ジンは似合わないの?
根田　うん。
芳賀　うん。
根田　……。しまった、シャレにならん…。
芳賀　でさあ。ここまできたんだから、BUCK-TICKの1989年を振り返ってみない?
根田　いやあ、長い前フリ。
芳賀　……今年はなんと言っても、年の初めに元号が変ったからねえ。それによって渋公が延期になっちゃった某バンドもいるし。
根田　ハハハ。でも、そのおかげで私はライブが見れたからラッキー♡まっ、それはさておき。『TABOO』の話からいきましょーか。
芳賀　あれは1月18日に出たんだよね。アッちゃんの眼のアップのヤツ。しかもドロドロ。とりあえず、聴いた時ってどう思った?
根田　わあー、バウハウスって思った。なんてことを書くとミもフタもないけど、イ

1989-1990

ギリスの退廃的なムードがね、こう、私の好みだったっつーか。それで、ハマっちゃったかなって感じで。『SEVENTH HEAVEN』のアカルサについていけなかったから、余計ハマっちゃったんだと思うけど。ハガちゃんは？
芳賀　僕はねえ、なんつっても「ICONOCLASM」っ!!　これでんがなこれ。聴いた瞬間、背筋が凍ってまばたきしたら目が開かなくなっちまった。あの曲の衝撃はとうとう今年1年間残ってたもん。そういやあ、あの曲の真似が編集部内でハヤッたよね。〝ダリ〜〜ラ・タリ〜〜ラ〟〝バリアッ…アイコニッ…〟って。
根田　アッちゃん以外の人がやると、ギャグにしかならないってやつでしょ、(笑)。そう考えると、1曲目からインパクトのあるアルバムだったよね。
芳賀　その通り。大ゲサな言い方すると、それまでの日本のロックとは、じぇーんじぇん違う世界があった。とりあえず、あのアルバムは、今年の僕のベストのひとつだな。出た当時、聴きまくってたもん。ホンキでコピー・バンド組もうかと思った。
根田　でた。ハガちゃん、カラオケ好きだから。もォ、マイク持ったら大変だから。あっ、カラオケで思い出したけど、「JUST ONE MORE KISS」って、カラオケで歌いにくいらしいね。今井君がポップに作ったっていっているのに、歌いにくいっていう。どーしてだろうって、今井君が不思議がってたな。
芳賀　ガハハッ!!　そうそう。僕もゆうべ歌ったけど、符割りがヨク分からん。つんのめったり、ひきずったり。あれは、アッちゃんの歌う曲全体を完コピするしかない。でも、レコード大賞新人賞獲ったし、CMでガンガン流れてた。ただ聴いただけで憶えてると、実際歌詞を目の前にしたときに戸惑う(笑)。ああ、こんな詞で歌ってるんだあ、って。
根田　うーん、あっちゃんはすごいボーカリストだなあってか。そーいえば、あれって、BUCK-TICK初のシングルだったんだよね。
芳賀　そうなんだよね。でも、あの曲がテレビから流れてくるようになって、BUCK-TICKも本当の意味での市民権を得たって感じだよね。今井君の言う通り、ポップな曲調だったし。それまでに比べると。
根田　うーむ…。あのさ、今井君の言う〝ポップ〟ってさ、すごく独特のものがあるよーな気がしない？なんか、それが、BUCK-TICKっぽさに通じると思うんだけど。
芳賀　うん。ポップはポップなんだけど、ヒネクレテル(笑)。話はそれちゃうけどさあ、来年出る『悪の華』の1曲目もスゴイよね。確かにポップなのに、ヒネクレまくってる。リズム隊が4拍子で、ギターとベースが4分の3拍子、そんでボーカルが、クリックを無視してその上に乗っかってる…みたいなことを言ってた。定かじゃないけど(笑)。この曲の話してたらユータが、〝やっぱ今井さんは転んでもタダじゃ起きない〟って言ってた(笑)。
根田　ユータ、うまいこというなあ。でもそんな今井君が憎めない(笑)。普通の感覚でいけば〝大衆性がある＝ポップ〟っていうかさ、ノーマルなものが良しとされてる部分が強いでしょ。BUCK-TICKって、よくよく考えると大衆性と随分かけはなれてるくせに、ポップ、だよね。
芳賀　それはやっぱり才能だな。アニィが昔、〝今井はトイレに入って出てくると、もう30曲作り終ってる〟って言ってた(笑)。そんな彼の曲を、あれだけポップに聴かせるんだから、他の4人の才能もスゴイ。やはり、成るべくして集ったら5人なのかもね。才能といやー、『TABOO』の中には、新しい才能も出てきてるよねえ。アニィの詞にヒデの曲。
根田　星野君は、これで勢いがついたのかおねーさんは嬉しい。あっ、しまった。つい、『悪の華』では、3曲も書いてます。星野君びいきのクセが(笑)。
芳賀　しまった、言うんじゃなかった。それにしてもイキナリ3曲だもんなあ。レコーダー買ってもらったのがそんなに嬉しかったのかなあ…。まあ、それはいいとして。
『TABOO』の特筆すべき点はいくつもあって、まずロンドン・レコーディング。それとビジュアルの変化。それに、おそらく初めてのコンセプト・ガチガチ・アルバムだったんじゃないかな。

BUCK-TICK

1989-1990

BUCK-TICK

根田　そうそうロンドン・ロンドン。もうこれでもかっつーぐらいにハマってたよ。BUCK-TICKとロンドンだもの、好きだなあ。でも、みんながいった時って霧のロンドンどころか、ピーカンだったらしく。そう、ピーカンだったのに、写真をみると立派にクライのよ（笑）。根っからの退廃クン（笑）。

芳賀　BUCK-TICKほどロンドンにマッチしたバンドはいないもんね。日照時間が必要ないって感じだよねBUCK-TICKって。あのマッタリとした退廃感はデビッド・シルビアンに匹敵すると思う。

根田　わあーっ。…いいなあ。やっぱり、そこでしょう。でも、もうちょっと時間的余裕があったら、もっとよかったなあと思ったりして。

芳賀　それは言えるかもしれない。でも、瞬間のテンションってものスゴイものがあったと思うな『TABOO』って。それからビジュアルの変化かな。特にアッちゃんの髪がおりたのって、今年に入ってから浸透してきたよね。

根田　ハッキリいって、アッちゃんは髪を降ろした方が絶対カッコイイ。キレイ。長髪ギライの根田ですが、アッちゃんだったら許す。

芳賀　そうだそうだ。僕も髪を降ろしたアッちゃんを見てると背筋が凍ってアクビをした口が閉じなくなってしまう。…じゃない、ウットリしてしまう。いやはや…だから新しい美形バンドが出てくると"いわゆる芳賀さんが好きそう"なんて言われるんだよな。そんなことはないのに。DOOMだって大好きなのに。

根田　ね、モロちゃん。

芳賀　話を戻して（笑）。それとアルバム・コンセプト・バリバリもんの内容がスンゴイ。とにかくテーマがあって、それからそれないようにそれないように作ったたって言ってたし。

根田　今井君の、例のテーマ、ですか（笑）。

芳賀　そうそう。『TABOO』が出る時に、あのアルバムを語るキーワードは何か？と尋ねたら今井君が、"バード、スリリング、ダンサブル、ダーク、不協和音、メロディアス、夜、廃墟の中の王子、花園にすむ狂乱の少年、ラブソング、涙、うた"って言ってた。ああ…スゴイ。いったいどういう意味なんだろう。あとでよくよく考えてみると、そうか…サイケな雰囲気ってのが大きくあるんだな、って思った。

根田　サイケってさ、ギターの音がひずんでるとか、ボーカルがウネウネしてるとかそういった表面的なもんじゃないと思うんだ。深層心理っつーか、すごく内面的なもんだと思う。そこを表現できるかどーかが凡人とアーティストの違いだとしたら、BUCK-TICKはアーティストだってことになるんじゃないかな。

芳賀　だからさっきから言ってるロンドンに大ハマリな感じは、間違ってないってことだあね。けどある意味じゃ、日本人から見た欧州感覚っていうかさ、例えばドイツ的なサウンドなんかも大きく導入されてたよね。しかも、それを日本人がやってるのに借り物っぽく聴こえない。そこが、やっぱBUCK-TICKの本領のひとつだよね。ブッチギリの美意識っつーかね。

根田　あっ、それはある。日本人がやるとビンボーくさくなっちゃうつーか、所詮まがいものっつーか。そういうとこ、彼らにはないもんねって、なんかすごくホメちぎって気持ち悪いな。アバタもエクボってか（笑）。いや、それはウソですが。

芳賀　とにかく、『SEVENTH HEAVEN』までの彼らの世界とは、ガラッと変わった、って気がしたなあ。間違いなくありゃケッサクですよケッサク。これはもうダザイオサムの域に達してる。

根田　ダザイくん（笑）。竹中直人のギャグ思い出しちゃった。…じゃなくて。もとい。で、アルバムのコンセプトに基づいたステージが展開されるわけですが。

芳賀　『TABOO』の発売翌日からの2日間、武道館公演になるわけだコレが。確か"SEVENTH HEAVEN TOUR FINAL"とか言ってたのに、演奏した曲は『TABOO』からのものって多かったよね。ステージング全体のコンセプトも、あのアルバムが柱になってたし。だって初日のMCで"SEVENTH HEAVENはもうおしまいだ。天国なんてあ

1989-1990

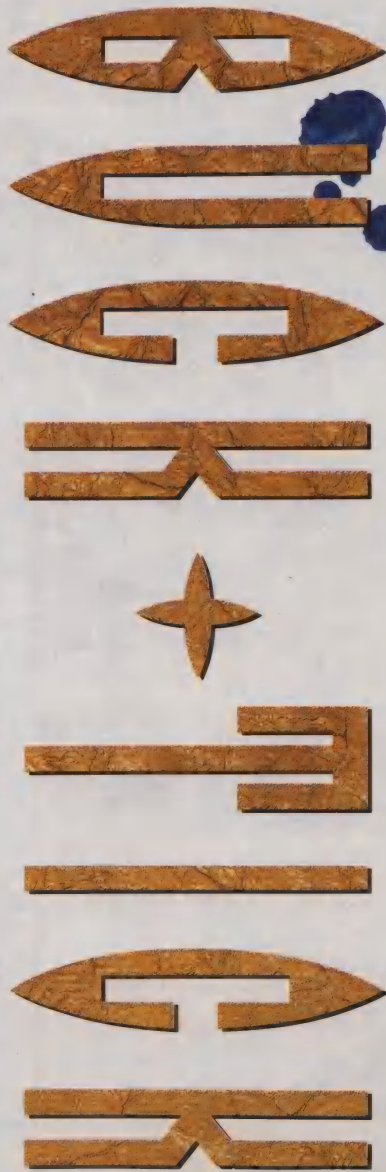
りゃしねえ〟ってアッちゃんが言ってた。
根田　タンカをきっちゃうとこがいいわあ♡アッちゃんの男気あふれる態度って、ホント、カッコイイ♡……こういう時だけ惚れちゃうな、私は。
芳賀　でも〝骨のズイまで愛して愛して〟とも言ってたよ（笑）。
根田　あっ、それマグミがすごく気にいってて、よくMCで使ってたな。
芳賀　そうだったそうだった。BUCK-TICKの武道館直後、渋公でレビッシュがやったとき、アッちゃんのMCの真似をしきりにやってた。それ見てアッちゃん2階で苦笑いしてた（笑）。とにかくアッちゃんのMCは、もはや伝説だからね。1度でもBUCK-TICKのライブに行った人なら、彼のMCがどれだけのインパクトを誇っているか分かると思う。
根田　バラが降ってくるのは腑に落ちるけど、あのMCだけは腑に落ちないっつーか。あっちゃんのMCは、もう芸術だよね。どんなお笑い芸人もかなわない。『夢で逢えたら』よりも笑える。
芳賀　そういやあ、ユータが〝バッハ・スタジオ〟に出たいと言ってた（笑）。
根田　無意識でやってるっつーのがコワイよね、アッちゃんの場合。ウケをねらってないところが逆にいいのかな。
芳賀　うん。だってその日のステージで何しゃべるか前もって考えないらしいからね。それと、彼のMCを文字にするとそんなに面白くないの。あの独特の口調でしゃべってもらわないとね。だからゼヒ、ライブ会場へ足を運んでもらいたい。特に今度の東京ドームじゃ、MAGUMIの進言したMCが採用されるかもしれないし（笑）。
根田　しかも、そのMCはすごくくだらない（笑）。超くだらない。でも、アッちゃんがあの声で言ったら、超笑える。そこだよね、すごくごくフツーのことを言ってても、アッちゃんの話術にかかるともうタイヘン。そこが、ハガちゃんいうところの「アッちゃん外タレ説」になるんではないかと。
芳賀　そうなのよ——っ!! 例えばフィル・コリンズが日本語で〝ヴッギィノキョクハァ〟なんて言うと大笑いしちゃうじゃん。こないだのU2のドームも、ボノが〝オスッ！トキオ〟とか叫んで5万人が大爆笑してたし。それに、こないだの取材でアッちゃんがブルーのコンタクトを入れてたんだけど、ぜーんぜん違和感ないの。こんなに日本人っぽくない人も珍しい。しかも、アメリカじゃなくってグレード・ブリテイン。「アッちゃん外タレ説」を力説するのも分かるでしょ?
根田　オイシイなあ、アッちゃんてば。他にもあるんじゃないの、実は。
芳賀　フフフ…その通り。実はもうひとつある。「今井君宇宙人説」。
根田　…それ、あまりにもマトをえすぎてて、笑いたくても笑えない。
芳賀　一説によると、今井君は宇宙人で、次元のトラブルに巻き込まれて地球に来たワケ。しかも1999年の日本。で、ドクと知り合ってバック・トゥ・ザ・フューチャーしちゃったのよ。だから〝今井君のセンスは10年先を行ってる〟って僕がバチ▼バチに書いたのは間違ってなかったってワケなのさ。ハッハッハッ。
根田　ヒューヒュー。今井君が宇宙人でアッちゃんが外人……ヘンなバンド（笑）。いや、それだけ偉大なバンドってことか。でも、そういう〝ヘンな〟人々が支持されるのっていいよね。
芳賀　うん。日本のロック・ファンも変わったとしか言えない。だって5年前だったら髪立てた外人と宇宙人と日本人がラジカセ持って空港歩けなかったと思うよ。それが今じゃ平気なんだもん。聴き手のキャパシティが広がったっつーか、BUCK-TICKのパワーがスゴイッつーか。
根田　そう、いうにことかいて「重低音がバクチクする」ですからね。くるとこまできちゃったなって感じよね。今思えば、彼らがCMに出たから、ジュンスカもレビッシュも、CDラジカセのCMに起用されたのかなっていうか。
芳賀　だってBUCK-TICKが宣伝してたCDラジカセって、ムチャクチャ売れたらしーよ。編集部にも〝BUCK-TICKがCMやってるから買った〟なんてハガキがたくさん来てたもん。けど、BUCK-TICKに限らず、ロック・バンドが出てるオーディオのCMって、なんかみんな〝ミョー〟

BUCK-TICK

1989-1990

なんだよね(笑)。借りてきたネコみたいな感じでさ。そこへきて重低音がバクチクした日にゃあ、コタツでみかん食べてるジイさんが失禁しちまうわなあ。
根田　ハガちゃん、トバしてきたね。で、次、なんの話にする?
芳賀　うーんとね…。うーんと……。あっ、思い出した。もうひとつ〝説〟があったんだ。サワキさん(太陽レコード社長)の占いによると、今井君(また今井君…)は世界一の強運男らしいんだよね。世界が滅亡しても今井君だけは生き残るらしい。以前、取材の時に今井君の髪の束(笑)をもらったんだけど、1年たった今でも、会社の机の上に貼ってる。それ以来順調順調。
根田　ぬかりないな、今井君。でもさあ、そんなことといったら、星野君なんかどうしちゃうのかなあ。雪山とかで、すぐ遭難しそうじゃん。
芳賀　ハッハッハッ!!　ヒデは大丈夫。世界が滅亡しても気がつかない(笑)。なんて書くとまた怒られるからなあ(笑)。

BUCK-TICK

根田　それは、星野君がボーーッとしてるから?
芳賀　そう。
根田　いや、でも、ここ最近の星野君は、男らしい(キッパリ)。
芳賀　それは言える。さっきのはジョーダンだよジョーダン。とにかく、ブッシュ大統領が今井君をキープして生きのびようとしてるらしい。
根田　マジかよォ。こいつはえらいことになったなあ。どーすんだよ、今井ィ。
芳賀　ちっとヒッパリすぎだなこの話題…。でえっ!!　武道館2DAYSのあと、初めての長期休暇をとってるね。(トートツ)
根田　そーか、忘れてた。インドいってた人とかいたよなあ。
芳賀　うん。帰国後初めて会った時にユータが、インドで犬が寝そべってるの見て感動した、とかワケの分かんないことを言ってた。まあ、言わんとしてることは分かるんだけど。とにかく、そういう感覚に陥いるんだってさ。今井君も行ってたんだよ確か。アッちゃんは香港。海外組はこの3人だったと思う。
根田　そして星野君は、……しつこいからやめよう。で、心身共にゆっくりしたところで、ツアー開始、か。
芳賀　3月の立川を皮切りに〝TABOO TOUR〟がスタートするんだよね。この初日は観たけど、いやあカッコイイカッコイイ。あの頃からかなあ…「アッちゃんアンドロイド説」が出たのは。
根田　もういいっつーの(笑)。
芳賀　で、ツアーの途中でとんでもないことになってしまったと。まあ、今さらあの事を論じても始まらないけどね。で、もっと長い休暇をへて、『HURRY UP MODE』のリミックス、ニュー・アルバムのレコーディングとなるワケだ。
根田　いきなり話がブッとんじゃったけどホント、そういう一年だったんだよね。ファンとしては、かなりヘビィな一年だったよーなところもあり。でもさ、正直いって〝休業〟っていう気がしないのよね、私。
芳賀　そうだね。浮き沈みの激しいこの世界(死語)にあって、これだけブランクがその後のばねになったバンドも珍しい。だって『悪の華』ってケッコースゴイよね。タイトルからして(笑)。
根田　ボードレールの詩集からとったそうですが、あの事件のことがあるから、そうつけたんじゃないかって言われるらしいんだ。最近、それに気付いたって言ってたけど。なんか、そこまで深読みするかよっていう感じだよね、うむ。
芳賀　でも、気にしてなかったっつーところが、ホントに彼らの余裕を感じさせるね。絶対の自信作だっていうし。やっぱ、BUCK-TICKに換わるバンドって、そうそう現れないんじゃないかな。ごく最近、増々カンロクついてきたし。
根田　カンロクついても高飛車じゃないところがいいですね、なっつって。それにしても、これからは彼らに今までの分も楽しませてもらいたいよね。ドカーンとハデなことをやらかしてほしいと思うなあ。
芳賀　東京ドームに1億人いれちゃうとかね。トシちゃんみたく、CD3枚組でベスト盤出すとか。
根田　クラーイままでトップの座にいてくれたら私は本望。めざせ、ラブ&ロケッツ。
芳賀　フォッフォッフォッ。ナルホド。

第一志望へ一気合格！一ランク上もねらってみよう！

試験直前、あふれるように思い出す。

キミのための必勝の記憶術

〈通信指導〉

社会人のための「一般コース」もあります。

●もっと早く知っていたら

愛知県 林 敏夫君

一浪して、第一志望の早稲田へ。いま思うと、もっと早く記憶術を知っていたらよかったと思う。何しろ記憶術のことを知ったのが一月、間に合うわけがない。しかし、おかげで一浪だけで済んだ。少なくとも一年早く知っていれば現役で合格していたものを。もちろん後輩にもすすめています。

●勉強嫌いだから大助かり

神奈川県 木村 敏英君

僕が記憶術をおぼえたのが二年の時。それまでは勉強嫌いだったから成績も下から数えて何番目だったのが、それからはどんどん上って上から10番目ぐらいになって先生もビックリ。もちろん相変らず勉強嫌いのところは同じだったんだけど。おかげで、思ってもみなかった高校に合格しちゃったんだから。

大学受験コース・高校受験コース、もちろん中間・期末もラクラクOK、一学期程度の遅れは一週間で追いつける。

キミのライバル達は、もうやっているかもしれない。今からでも遅くない、キミも今すぐ始めてみないか。

一日あれば歴史年表丸暗記 英単語なら一時間で最低50

キミ知ってる？ 受験必勝のための「記憶術」が、いま受験生の間でモテモテなのだ。

それは、歴史年表なら一日で丸ごと、英単語なら一時間で最低50は暗記できるからだ。

しかも、そうした丸暗記物はもちろん、どんな科目にもやさしく応用がきくうえに、効果もバッチリ。受験ばかりか、中間や期末にも絶大な威力を発揮する。

一夜づけおおいにけっこう いち度おぼえたら忘れない

記憶術のすごいところは、いち度おぼえたら、めったなことでは忘れないところだ。

だから一夜づけ、おおいにけっこう。

勉強というやつは、ネジリハチ巻で、毎日毎日ガンバラガッテやりゃあいいというものでもない。

それよりも、いかに効率よく効果的にやるかが問題なのだ。

だからこそ、記憶術なのだ。暗記物などすっかりゲーム気分、かる～い調子で憶えられる。

だから勉強だって楽しくなる。そうするとなおさら脳ミソだってサエてくるというものだ。

キミも、さっそく始めてみないか!? どうせタダなんだから気軽に資料を取り寄せてみよう。

そうすれば、記憶術のよさがもっと詳しくわかるはずだ。

⬅今なら左のハガキで記憶術がわかる

案内書無料プレゼント

この信じられないような暗記術が君のものになる!!

- ●英単語一、〇〇〇程度なら一週間で覚えられる！
- ●歴史年表の丸暗記なら、たったの一日！
- ●周期律表なんて試験直前の3分で覚えられる！
- ●一夜づけの勉強が何日分にもなる！…etc

東京カルチャーセンター
〈本校所在地〉
東京都杉並区高円寺南1の33の3
東京 03(317)2811
〈受付〉朝7時～夜9時・年中無休

●『STYLE』恒例のNEXT SCENE。今年は来たる'90年代直前ということもあって、例年より多めに選んでみました。バンド・ブームなんて世間では言ってるけど、それにしても気にかかるニュー・フェイスたちは、バンドがほとんど。"やっぱしバンドがオモシロイ！"というのは、ロックの原点だと思うのだ。では13組のバンドが登場です。

NEXT SCENE BAND 1990

TAPPASHI・BAND・GA・OMOSHIROI

やっぱしバンドがオモシロイ!

▶DREAMS COME TRUE

▶JITTERIN' JIN

▶ザ・真心ブラザーズ

▶KUSU KUSU

▶東京少年

▶THE MINKS

▶FLIPPER'S GUITAR

JUSTY NASTY◀

B'Z◀

SOFT BALLET◀

GEN◀

FUSE◀

GO-BANG'S◀

会議室より愛をこめて◀

NEXT SCENE BAND 1990

DREMS COME TRUE

ドリームズ・カム・トゥルー

●最高にハッピーな3人組のバンド「ドリカム」。彼らのライブの帰りには、スキップをしたい気分になるし、アルバムを聴けば、元気になったり、胸がキュンとしたり……。頼れる兄貴的な存在のリーダー、ベース中村正人。「チャーミング」って言葉はこの人のためにあるようなボーカル吉田美和。そしてミスターグッドルッキン。シャイなキーボード西川隆宏と。彼らが織り成す世界のキーワードは、もちろん「しあわせ」なのです！
●デビュー［アルバム］Dreams Come True（'89年3月21日）LOVE GOES ON（'89年11月22日）［シングル］あなたに会いたくて（'89年3月21日）APPROACH（'89年6月1日）うれしはずかし朝帰り（'89年9月1日）LAT.43N～forty three degrees north latitute（'89年11月27日）
●所属レコード会社＝エピック・ソニー
●所属事務所＝MS ARTISTS

YAPPASHI・BAND・GA・O・MO・SHIRO・I

やっぱしバンドがオモシロイ！

Q1 名前の由来は？
西川 西川隆宏（ニシカワタカヒロ）→よく解らない。
吉田 美しく和しい子になるようにと願いています。
中村 おやじが"正"だったので、それに"人"をつけて"正人"となりました。

Q2 バンド名の由来を教えて下さい。
西川 募集しあって中村氏が考えた！
吉田 みんなの気持ちを一番、端的に表す言葉だったのです。
中村 昔から人間が、それこそ何万回、いや何億回と胸の中で、あるいは声を大にして言ってきた言葉が"Dreams Come True"！

Q3 誕生日と生まれた所。
西川 5月26日(火)夕方。北海道。
吉田 5月6日。北海道帯広市谷藤産婦人科病院で生まれました。
中村 10月1日。

Q4 家族構成は？
西川 父、母、兄、弟、弟、妹。
吉田 かえるばば、あひるまま、でっかいおとうと、ちっこいおとうとです。
中村 妹と弟が1人づついます。弟はプロのベーシストです。

Q5 バンド内でなんと呼ばれてますか？
西川 Niehya（ニーヒャ）
吉田 よしだ、よしだみ、ちゃんみわ、みゃんちゃん、びゅう。とまあいろいろあります。
中村 中村っち（ナカムラッチ）

Q6 身長、体重、靴のサイズ、視力。
西川 175cm。58kg。25.5～26.0cm。ハッキリしないが0.5～1.0。
吉田 160cm。23.0cm(右)、23.5cm(左)。0.3～0.6の間をさまよっています。

Q7 趣味。
西川 散歩。
吉田 ないです。
中村 もう映画というものが大好きです。

Q8 特技。
西川 料理
吉田 暗算。
中村 つまらないギャグを連発して、吉田美和のヒンシュクをかうことです。

Q9 今、一番欲しい物。
西川 新しい機材。
吉田 ろくろ。
中村 いろいろありすぎてわかりません。

Q10 好きな食べ物。
西川 特にない。
吉田 あったかい野菜、お米、おみそ汁、りんご、すいか、なし、チェリー、SeedlessGrapes、ライチー。
中村 何でも好きですが、焼肉が特に良いです。そして私はベジタリアンになれない。

Q11 嫌いな食べ物。
西川 セロリ。
吉田 てんぷら、うなぎ、ボイルしたえび。
中村 ピーナッツ。"かきピー"に入ってるやつは本当に嫌いです。

Q12 血液型と自己分析。
西川 A型。人はよくAB型とまちがえる。
吉田 A型。自分ではよくわかりません。
中村 A型。いまだかつてA型と人から言われた事はありませんが、私ほどAな人はいないでしょう。

Q13 尊敬している人物。
西川 親。
吉田 かえるばば、あひるまま。
中村 偉大な音楽家たち全て

Q14 最初に買ったレコード（それはいつ頃？）
西川 EW&F"宇宙のファンタジ"（小学校5年生）。
吉田 小4の時に買ったオリビア・ニュートンジョンのやつです。
中村 中学1年生の時。マービン・ゲイの"What's Going On"

Q15 最初に見たライブ（それはいつ頃？）
西川 デビュー前の安全地帯（中学校2年）
吉田 小2の時にドリフターズと東京Я太さん。小3の時に百恵ちゃんさん。
中村 中学2年生の時。グラディスナイトでピップス。中野サンプラザで。

Q16 好きな異性のタイプ。
西川 他人に対して100%気使いできる人。
吉田 全体がシンプルで、自分が気持ちよく毎日を生きられるパワーのある人。
中村 明るくて前向きの女性が好きです。

Q17 来年の今頃どうしていると思う。
西川 まじめに仕事してます！
吉田 たぶん、3rdアルバムが発売された頃でせう。
中村 3枚目のアルバムをロンドンで録っているか、録り終わって日本でライ

ブの準備をしているか……!?

Q18 もしも、ミュージシャンになっていなかったなら。

西川 役者……かな！

吉田 考えたことがありません。

中村 それは考えられません。

Q19 愛読書。

西川 特にナシ。

吉田 童話からSFまで幅広く……。

中村 著者でいうとカール・セーガンが好きでよく読んでいます。

Q20 好きな映画。

西川 スピルバーグの映画。

吉田 〝パリで一緒に〟。

中村 うーん。これに応えるには、本を一冊出さなくてはならないでしょう。

Q21 言ってみたい所。

西川 エジプト、ニューヨーク。

吉田 パリ、エジプト、ナスカ、アメリカの田舎の方。

中村 エジプト、ナスカ高原、チベット、北極etc……。

Q22 会ってみたい人物（故人でも可）。

西川 世の中に3人居るといわれる自分と似た人。

吉田 Mrスチーブン・スピルバーグ。Mrジョージ・ルーカスと宮崎はやおさん。

中村 モーリス・ホワイト。

Q23 ペットはいますか？ また飼うとしたら何？

西川 ねこが居ます！

吉田 いません。さる、ぞう、きりん、犬、とり、ねこ、かめ、オラウータン。

中村 こーじというネコといっしょに住んでましたが、4年前死別しました。

Q24 あなたのフェィバリット・ミュージシャン

西川 居ません。

西田 アニタ・ベイカー。モールス・ホワイト。

中村 たくさんいます。モーリス・ホワイトはもちろん、ソウルミュージックの偉大なミュージシャン全てが好き。

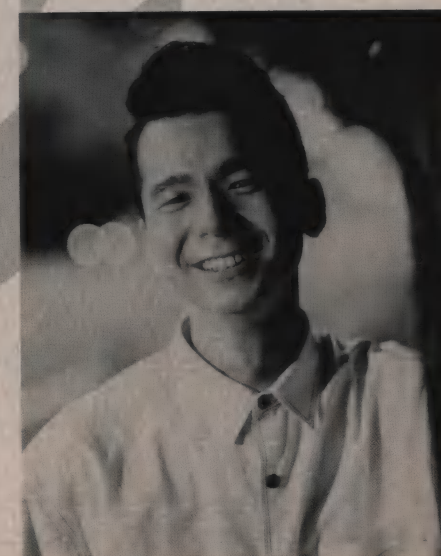
Q25 あなたのフェィバリットアルバム。

西川 たくさんある！

吉田 アニタ・ベイカーの「ラプチュア」

中村 EW&F「太陽神」ダニー・ハザウェイ「LIVE！」マービン・ゲイ「What's Going On」。

Q26 あなたのライバルは？

DREAMS COME TRUE

西川　自分自身。
吉田　いません。
中村　吉田美和と西川隆宏です。

Q27　メンバーと初めて会った時の印象は
西川　吉田…明るい女の子、中村さん…怖かった。
吉田　なかむらっちはへんな人。にはやは(西川のことです)へんな人。
中村　吉田も西川も、もの静かな子だなーと思いました。今とは逆です。

Q28　自分を動物に例えると?
西川　インパラ。
吉田　さる。あひる。(なかむらっちは私を"リス"と言い、ニーヒャは私を"モモンガ"と言う)。
中村　ネバーエンディングストーリーに出てくる大きなヘビ。

Q29　今日のウォークマンに入っているカセットは?
西川　ドリ・カム、セカンド"LOVE GOES ON"
吉田　ドリカムのド新曲。まだひみつです。
中村　テレンス・トレント・ダービー。これはひさびさにスゴイ！

Q30　好きなスポーツ。
西川　テニス、スキー、スケート。
吉田　スケート、バスケット、サッカー。
中村　うで立てふせ&ドッジボール。何となくシンプルで意味無しな所が気に入ってます。

Q31　45分テープでオリジナル・テープを作って下さい。(アーチスト名、曲名)
西川　ドリ・カム"シングルプラス1"「Hi、How're you doi'n?」「あなたに会いたくて」「Don't you say…」「APPROACH」「週に1度の恋人」(A面)。「うれしはずかし朝帰り」「うれしい楽しい大好き」「LAT43°N」「サンタと天使が笑う夜」「未来予想図II」(B面)。
中村　「Have you heard/Pat Metheny」「I Want you/MarvinGaye」「Spirit/EW&F」「Loves' about to Change/Donna Summer」「Fairy Taes my heart/NancyWilson」「I'll be acnght/Terence Trent D'arby」(A面)。「If you asked me to/PattiLaBelle」「You look good to me/Cherrelle」「Love Goes On/Dreams Come True」(B面)。

Q32　80年代は、あなたにとってどういう時代でしたか?
西川　色々な事がありすぎた！　子供から大人になりましたから。
吉田　しあわせでした。
中村　本当に色々勉強しました。まさに"Dreams Come True"準備の時代。

Q33　90年代は、どういう時代になると思いますか?
西川　やっぱり色んな事にTRYして、楽しく過していきたい！
吉田　もっとしあわせになります。
中村　まさに"Dreams Come True"本番の時代。

Q34　バンド内でのあなたの役割は?
西川　ある時は水、そしてまたある時は油でしょう！
吉田　トラブルメーカー。しかし最終決定権も握っている。
中村　バンドの父と呼ばれています。

Q35　将来の夢。
西川　ヒ・ミ・ツ……です！
吉田　エスキモーになってオーロラを見ること。カナダで広大なひまわり畑を作って毎日あぶら虫チェックをすること。えのきもね。
中村　とにかく吉田美和が、ティナー・ターナーより1年長く歌い続けたいと言っていますので、それを実現させる。

Q36　共演したいミュージシャンは?
吉田　Mアニタ・ベーカー。
中村　アニタ・ベーカー。

Q37　休みの日は何をしていますか?
西川　時間のある時は自然に囲まれた場所に行く！　例えば高尾山とか公園とか……。
吉田　ヘイウッド・フロイド号（ちゃりんこ）で街をかけ巡っている。
中村　ドリ・カムには"休日"という文字はない。うれしい！　たのしい！　仕事大好き！　とうちのマネージャーは言っています。

Q38　よく買う雑誌は?
西川　音楽誌がほとんど、もちろんパチパチも……。
吉田　マガジンハウス系のファッション誌。
中村　パチパチ！　おふくろに買ってあげます。私の写真があると喜ぶので。

Q39　生まれ変われるなら、何になりたい?（職業、人物、動物、物、何でも可）
西川　自分自身。
吉田　何年か後、めぐり会う自分のだんなさんになる人になりたい。結婚するってことはその人が大好きってことだから、その人になりたい。
中村　考えられません。

Q40　あなたにとって、音楽（ロック）とは?
西川　これから先、一生接していくもの！
吉田　私自身です。
中村　自分が表現できる最高のカタチ。それは愛のある世界。

Q41　恋して、泣いたことはありますか?
西川　ヒミツ
吉田　そりゃあありますよ。と言いたいところですが、秘密です。
中村　ないと言えばウソになる。あると言えばコッパズカシイ。

Q42　90年代、音楽（ロック）はどうなって行くと思いますか?
西川　ん、むずかしい質問ですね！
中村　歴史はくりかえす。テクノロジーが進歩すればするほど音楽そのものに帰ってゆくような気がします。

Q43　機嫌のいい時に口ずさむ曲は?
西川　"APPROACH"のサビの部分。

吉田　うれしい！　たのしい！　大好き！
中村　うれし　はずかし　朝帰り。最近、そういう人が周りにたくさんいます。

Q44　最近、嬉しかったことは?
西川　ドリ・カムの2ndアルバムができた！
吉田　2ndアルバムが初日にいっぱい売れたこと。
中村　ベルリンの壁がこわされたこと。

Q45　最近、悲しかったことは?
西川　大好きだった友だちが病気で亡くなりました。
吉田　風邪をこじらしちゃったこと。
中村　LPGだと思っていたら、フロンガスが入っていて使ってしまったこと。

Q46　最も感動したライブは?（自他どちらでも可）
西川　89年3月のドリ・カム・デビューライブ。
吉田　今年3月26日の自分達のデビューライブ。EW&Fのコンサート。
中村　EW&Fの10年前の武道館。失神しそうになったのは、あの時が最初で最後です。

Q47　最後に、何でも一言どうぞ！
西川　あまり書けなくて申し訳ない。こういうのって苦手なので……。
中村　2枚目から聞いて下さっている方も是非1stアルバムを聞いていただきたいと思っています。この2枚でドリ・カムのデビューアルバムとなっていますので、どちらか1枚しか知らない方は頑張ってもう1枚も買いましょう。さようなら。

Takahiro Nishikawa

Miwa Yoshida

NEXT SCENE BAND 1990

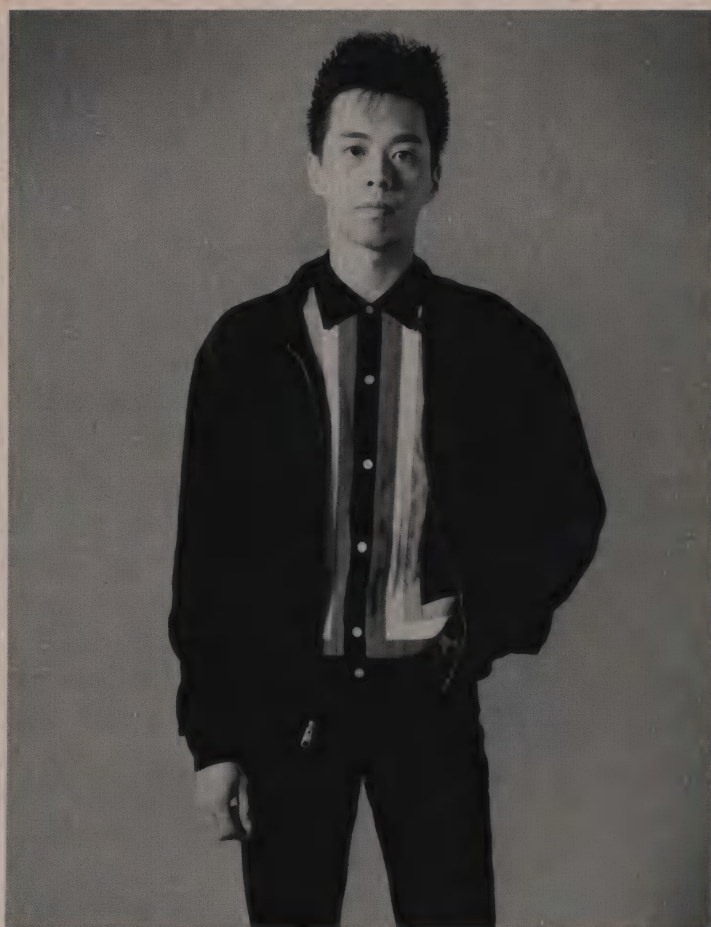
JITTERIN' JINN

ジッタリン・ジン

●結成は'87年初頭、大和郡山で。その頃からのオリジナル・メンバーは、破矢ジンタ(G, Vo.)、浦田松蔵(B.)、春川玲子(Vo.)で、'89年4月上京後に、入江美由紀(Dr.)が加入して現在に至る。目下、破竹の勢いのバンドだ。彼等の'89年をざっと振り返ると、4月にみんなの意志で上京。"イカ天"出演が5月20日で6代目"イカ天KING"に。その後もライブハウス活動を続け、10月10日には、デビュー・シングル「エブリディ」をコロムビア・レコードよりリリース。オリコン初登場9位に。11月3日には、6曲入りミニアルバム『ドキドキ』をリリースし、オリコン初登場5位に。11月22、23日の日本青年館2DAYSをSOLD OUT。'90年3月には武道館も決定している。
●所属レコード会社＝日本コロムビア
●所属事務所＝ファー・イースト・カンパニー
●ファンクラブ＝JINN PICCADILLY 〒101 千代田区神田神保町3-23-3メゾン千代田704号 ☎03-230-0233

Q1 バンド名の由来を教えて下さい。
春川 響きと字面(じづら)だけで別に深い意味はない。
破矢 単語を適当にひっつけた。
浦田 単語をいくつか集めて、その中から響きの良い物を選んだ。
入江 誰か書いててくれてるでしょう。
Q2 バンド内でどう呼ばれてますか?
春川 ハルカワ。
破矢 ジンタ。
浦田 マツゾー。
入江 イリエちゃん。
Q3 小さい頃のあだ名は?
春川 ハル。
破矢 なし。
浦田 マツゾー。
入江 イーちゃん。
Q4 趣味は?
春川 落書き。
破矢 ゴミ拾い。バンド。
浦田 ぼんさい。
入江 そうじ。
Q5 特技は?
春川 なし。
破矢 趣味で金をもうける。
浦田 いろいろあるけど教えません。
入江 坂道発進。早口言葉。
Q6 今、一番欲しい物は?
春川 どこかへ連れていってくれる人。
破矢 ポルシェ・スピードスター。
浦田 金と暇。
入江 神様。
Q7 今、一番お金をかけているものは?
春川 生活。
破矢 食事。
浦田 家賃。
入江 生活費。
Q8 好きな食べ物は?
春川 ドリトス。空豆。
破矢 うどん。豆腐。
浦田 正油と味噌と白湯のインスタントラーメンを混ぜたやつ。
入江 にく。とうふ。
Q9 嫌いな食べ物は?
春川 センマイ。
破矢 レンコン。
浦田 奈良漬け。
入江 スイカ。メロン。ワサビ。カラシ。
Q10 血液型と自己分析を?
春川 無回答。
破矢 B型。わがまま。
浦田 AB型。五重人格。
入江 B型そのもの。
Q11 癖は?
春川 においをかぐ。
破矢 ノーコメント。
浦田 つまらんギャグを言う事。
入江 ひとりごと。
Q12 尊敬している人物を?
春川 無回答。
破矢 秦の始皇帝。
浦田 母親。
入江 父、母。
Q13 目標とする人は?
春川 無回答。
破矢 父。
浦田 無回答。
入江 矢野顕子。
Q14 最初に買ったレコードは? (それはいつ頃?)
春川 RCの『ラプソディー』。小学生の時。
破矢 「スモーキン・ブギ」。(小6)。
浦田 「ダメおやじ」か「男どアホウ甲子園」。
入江 フィンガー5。(小学校低学年)。
Q15 最初に見たライブは? (それはいつ頃?)
春川 友達のライブ。高校生。
破矢 知りあいのバンド。(中1)。
浦田 おぼえてない。
入江 Ø－L(オイルとよむ。めちゃ、かっこよかった。)高校生の時。
Q16 好きな異性のタイプは?
春川 強くて、頭が良くて、やさしい人。
破矢 大和撫子(やまとなでしこ)。
浦田 ヤンキー風。
入江 島祐之タイプ。
Q17 来年の今頃どうしていると思う?
春川 行方をくらましている。
破矢 別に変わってない。
浦田 またパチ▼パチのアンケートを書いてるか、ライブ。
入江 たいこ、たたいてる。
Q18 もしも、ミュージシャンになっていなかったなら?
春川 映画の字幕スーパーを入れる人になりたかった。
破矢 飲食店手伝い。
浦田 ラーメン屋の主。
入江 なってないでしょう。やはり。
Q19 愛読書は?
春川 星の王子様。
破矢 銀花。
浦田 暴力もんの小説。
入江 ビッグコミック・スピリッツ。
Q20 よく見るTV番組は?
春川 "シネマ大好き"。
破矢 ニュース位しか見ない。
浦田 最近、TV見ない。
入江 見ない。
Q21 好きな映画は?
春川 竜馬暗殺。帰らざる河。ロッキー・ホラー・ショー。オズの魔法使い。泥の河。
破矢 汚れた血。

浦田　映画も見ない。
入江　ウォルト・ディズニーもの。高倉健さんもの。
Q22　行ってみたいところは?
春川　イリオモテ島。アメリカ。
破矢　吉永小百合の家。
浦田　無回答。
入江　ネパール。
Q23　会ってみたい人物は?（故人でも可）
春川　岡本太郎。マリリン・モンロー。四谷シモン。岩下志麻。石橋蓮司。小野ヨーコ。
破矢　聖徳太子。
浦田　無回答。
入江　キース・ムーン。
Q24　ペットはいますか?　また、飼うとしたら何?
春川　ネコ。
破矢　シーモンキー。
浦田　ネコ。
入江　いない。ネコ。
Q25　あなたのフェイバリット・ミュージシャンは?
春川　レイ・チャールズ。トム・ウェイツ。ベッシー・スミス。
破矢　ロバート・ジョンソン。ジョージ・サラグッド。
浦田　成川正男。
入江　テリィ・ボジィオ。
Q26　あなたのフェイバリット・アルバムは何?
春川　『シングルマン』『CLOSING TIME』
破矢　ロバート・ジョンソンの2枚のアルバム。
浦田　『インセイン・ザ・ルースターズ』
入江　『ごはんができたよ』（矢野顕子）
Q27　あなたのライバルは?
春川　なし。
破矢　なし。
浦田　左門豊作。
入江　ネコのチョコちゃん。
Q28　デビューしてから変わったことは?
春川　知らない人に声をかけられる。
破矢　友達が増えた。
浦田　生活。
入江　大阪を離れた事。
Q29　サインってもらったことありますか?（それは誰の?）
春川　オール阪神・巨人の巨人。
破矢　南海ホークスの選手。（野村とか……）
浦田　喜納昌吉。
入江　ホイットニー・ヒューストン。
Q30　メンバーと初めて会った時の印象を教えて下さい。
春川　ジンタ→にわとり。松ZO→やせこけている。入江→ピンク色の人。
破矢　春川はE・Tのようだった。
浦田　ジンタ→変なやつ。春川→めちゃくちゃおとなしい。入江→ちょっとヤンキー。
入江　ジンタ→病弱。春川→新人類。マツゾウ→芸人。
Q31　自分を動物に例えると?
春川　無回答。
破矢　ヘビ。
浦田　ウサギとネコのあいの子。笑ったら猿。
入江　クラミジア。
Q32　今日のウォークマンに入っているカセットは?
春川　持っていない。
破矢　ウォークマン持ってない。
浦田　そんなもん、持ちあるかん。
入江　なし。
Q33　好きなスポーツは?
春川　無回答。
破矢　野球。バスケットボール。
浦田　やきゅう。
入江　なし。
Q34　45分テープでオリジナル・テープを作って下さい。（アーティスト名・曲名）
春川　無回答。
破矢　じゃまくさい事はせえへん。
浦田　無回答。
入江　じゃまくさいので、そーゆー事はしないでしょう。
Q35　'80年代は、あなたにとってどういう時代でしたか?
春川　いろいろな事があった。
破矢　波乱なし。
浦田　10年分もまとめられへん。
入江　無回答。
Q36　'90年代は、どういう時代になると思いますか?
春川　いろいろな事があるだろう。
破矢　波乱なし。
浦田　10年先までまとめられへん。
入江　わからない。
Q37　バンド内でのあなたの役割は?
春川　コドモ。
破矢　父。
浦田　無回答。
入江　やさしいお姉さん。（自分ではそう思っているが……）
Q38　将来の夢は?
春川　嫌な事は一切しなくてよい暮らし。
破矢　のんびり暮らす。
浦田　無回答。
入江　幸せな家庭づくり。
Q39　共演したいミュージシャンは?
春川　ブライアン・セッツァー。
破矢　ジョージ・サラグッド。
浦田　いろんな人とやりたいが、もうちっと腕をみがかねば。
入江　ジミ・ヘンドリックス。
Q40　〝教え〟をこいたいミュージシャンは?
春川　無回答。
破矢　ジョージ・サラグッド。
浦田　奈良さん。
入江　矢野顕子さん。
Q41　休みの日は、何をしていますか?
春川　のんびりブラブラ。
破矢　寝てる。
浦田　寝てるか映画を見に行く。
入江　のんびり。
Q42　好きな漫画は?
春川　天才柳沢教授の生活。
破矢　つげ義春。
浦田　アメリカン・グラフィティー。
入江　相原コージ。
Q43　よく買う雑誌は?
春川　無回答。
破矢　銀花。
浦田　ヤンジャン。
入江　スピリッツ。
Q44　生まれ変わるなら、いつの時代がいい?（それは何故）
春川　1930年代。ハリウッドに行って女優になる。
破矢　なし。
浦田　無回答。
入江　'60年代~'70年代。
Q45　生まれ変われるなら、何になりたいですか?（職業、人物、動物、物、何でも可）
春川　熱帯魚。
破矢　自分でいい。
浦田　また、人間が良い。（男）
入江　ネコ。
Q46　あなたにとって、音楽（ロック）とは?
春川　遊び道具。
破矢　生活の一部。
浦田　おもろいからやってる職業。
入江　また、わかりません。
Q47　好きな数字とその理由。
春川　無回答。
破矢　3。誕生日に関係があると思う。
浦田　特になし。
入江　ない。
Q48　恋して泣いたことはありますか?
春川　ある。
破矢　ある。
浦田　無回答。
入江　ある。
Q49　'90年代、音楽（ロック）はどうなって行くと思いますか?
春川　学校の先生にほめられる様な音楽。
破矢　ポップスと区別がなくなる。
浦田　どうなるって、どういう事でっしゃろ。
入江　つまらなくなる。
Q50　自分のパート以外の楽器をやりたいと思いますか?（それは何?）
春川　人前では別になし。
破矢　思う。（ピアノ）
浦田　ドラム。（気持ちええやろな）
入江　思うけど、何やってもムリでした。
Q51　機嫌のいい時に、口ずさむ曲は?
春川　ペーパー・ムーン。
破矢　アーイアーイアイ、おさぁるさぁんだよー。（今、読みながら、うとたやろ）
浦田　無回答。
入江　その場で作ったメロディ。
Q52　最近、嬉しかったことは?
春川　仲直りしたこと。
破矢　CDが出た。
浦田　無回答。
入江　新しいドラムができたこと。
Q53　最近、悲しかったことは?
春川　けんかしたこと。
破矢　なし。
浦田　無回答。
入江　ピンクのたいことしばしお別れなこと。
Q54　最も感動したライブは?（自他どちらでも可）
春川　無回答。
破矢　ジョージ・サラグッド。
浦田　拾得ライブ。
入江　無回答。
Q55　世間に対して、自分（バンド）は、どういう存在でありたい?
春川　レンタルで済まさず、レコードを念の為、2枚買っておきたくなる様な存在。
破矢　音楽をきいてもらえればそれでいい。
浦田　無回答。
入江　べつに。
Q56　許せない奴って、どんな人間?
春川　人の言う事ばかり聞いてる奴。
破矢　街の中でサイン、ねだる奴。
浦田　そんな奴は人間とはいえない。（例えば実家の向かいのバット振りおやじ。おぼえとけー）
入江　いない。
Q57　パチ▼パチに対して一言。
春川　名前の由来は?
破矢　いつもお世話になってます。
浦田　最近、音楽誌がたくさん出てきたが、パチ▼パチは結構、昔からあるという感じ。
入江　質問攻めはカンベンして。
Q58　今年最大のニュースは?
春川　東京に引っ越しました。
破矢　デビューした。
浦田　無回答。
入江　ラディックのモニターになったこと。
Q59　結婚するとしたらいつ頃?
春川　今、すぐにでも。
破矢　ノーコメント。
浦田　30すぎてからやろな。
入江　相手しだい。
Q60　好きな言葉は?
春川　無回答。
破矢　〝おっとりしてるわぁ〟。
浦田　無回答。
入江　〝やさしく笑ってそこから始めよう〟。
Q61　最後に何でも一言どうぞ!
春川　インタビュー、載せる時、関東弁にしないでネ。
破矢　女の子といる時、じゃませんといて。
浦田　無回答。
入江　質問攻めは、今回限りにして下さい。
お疲れさまでした。

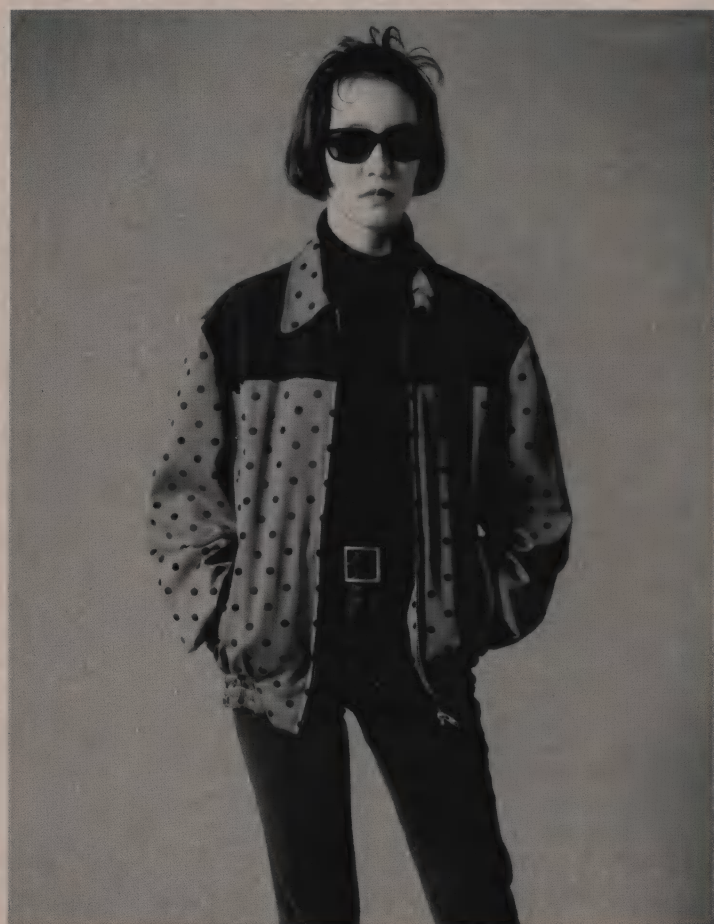
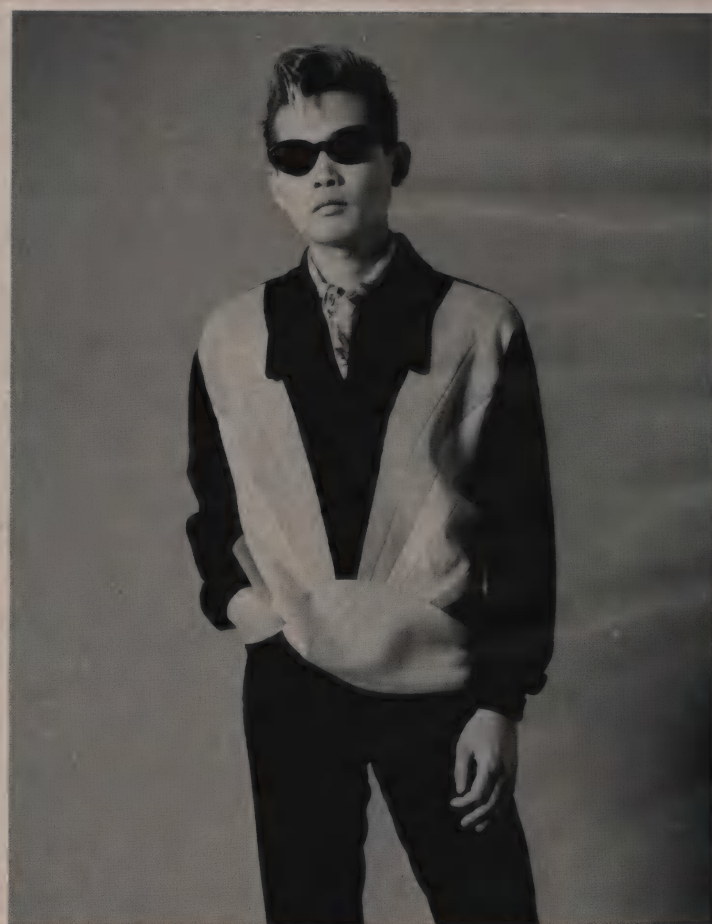
衣装協力●TOLL FREE(715-9278), SCREAMING MIMI'S(780-4415), HELLO(463-6805).

MATSUZO URATA

REIKO HARUKAWA

MIYUKI IRIE

JINTA HASHI

 PHOTO●MASANORI KATO HAIR & MAKE●YUKIKO KOH STYLING●NAOMI MIYAZAKI

next scene BAND 1990

ザ・真心ブラザーズ

ザ・真心ブラザーズ

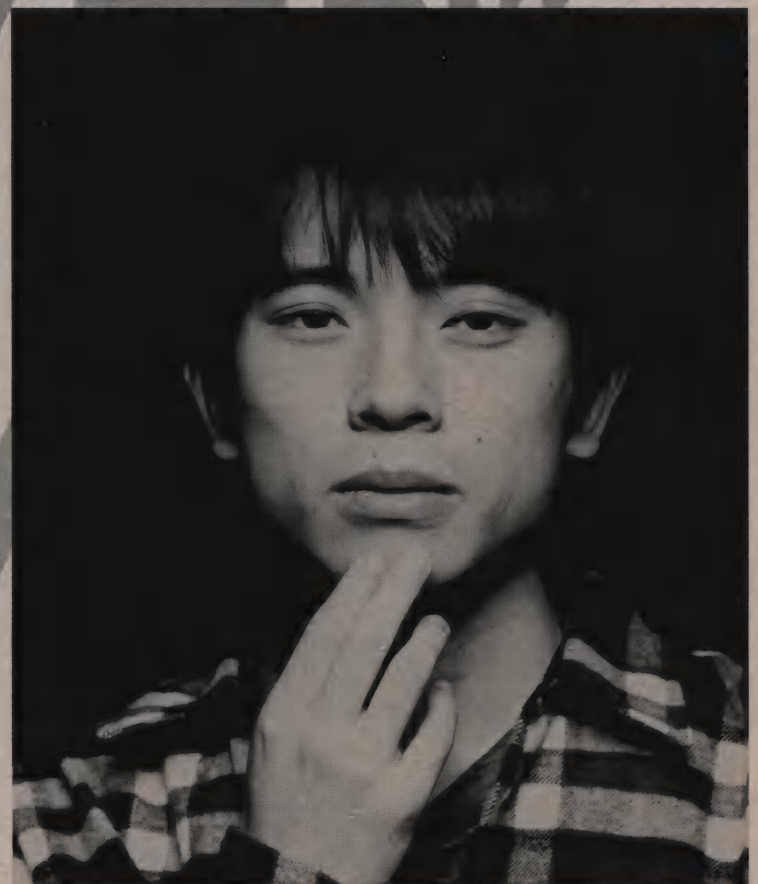
●フジテレビ系で放送の『パラダイスGOGO』の番組中の「勝ち抜きフォーク合戦」で堂々グランプリを獲得。それがキッカケで、レコード・デビュー。まったく新しいコンセプトのフォークデュオとして、'90年代の大注目グループであろう。その詞の時代を見るユニークさと視点、内なるロックンロール・スピリッツが光っている。がんばれ真心ブラザーズ。
●デビュー＝［シングル］うみ／恋する二人の浮き沈み－沈み楽章ハナゲ　浮き楽章　時計が急ぐけど－('89年9月1日)［シングル］うまくは言えないけど／芸能界のうらおもて－うら楽章　ミュージシャン　おもて楽章　テレビジョン－('89年12月1日発売)
'90年3月に初のアルバムをリリース予定。
●所属レコード会社＝EPIC/SONY RECORD
●問い合わせ＝〒107東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館8F EPIC/SONY RECORD「真心ブラザーズ」係☎03-475-2600

TAPPASHI・BAND・GA・OMOSHIROI

やっぱしバンドがオモシロイ!

撮影●加藤正憲

Q1　名前の由来を教えて下さい。
桜井　親父の名前が俊男といいまして、その"俊"の字をとって、アタマがよくなることを願って"秀"をつけて、"秀俊"だそうです。ちなみに弟は"邦俊"です。
Q2　バンド名の由来を教えて下さい。
倉持　真心が自己に欠けていたから、自戒として。
桜井　くらもち先生にきいて下さい。
Q3　誕生日と生まれた所。
倉持　'67年7月14日・東京。
桜井　昭和43年6月6日・広島市民病院。
Q4　家族構成は?
倉持　父、母、姉2人。
桜井　父、母、姉、弟、私の5人。
Q5　バンド内でなんと呼ばれていますか。
倉持　クラモチ大先生。
桜井　チームリーダー桜井。
Q6　小さい頃のあだ名は?
倉持　もっちゃん。
桜井　長十郎。
Q7　身長、体重、靴のサイズ、視力。
倉持　174cm、55kg、26cm、0・00?弱視。
桜井　173cm、50kg、24.5cm、0・03くらい。
Q8　趣味。
倉持　マンガ、散歩。
桜井　ない。
Q9　特技。
倉持　健康。
桜井　ない。
Q10　今、一番欲しい物。
倉持　金。
桜井　愛。
Q11　今、一番お金をかけているもの。
倉持　マンガ。
桜井　生活。
Q12　好きな食べ物。
倉持　ミソラーメン。
桜井　フルウツ。
Q13　嫌いな食べ物。
倉持　そうめん。
桜井　ない。
Q14　血液型と自己分析。
倉持　AB型、やさしい、偉人。
桜井　B型、打算家。
Q15　癖。
倉持　じっとしてない。
桜井　れろれろした動きをしてしまう。
Q16　尊敬している人物。
倉持　祖母。
桜井　別に人のことは全面的に尊敬しない。部分的に尊敬する人は腐る程いる。全部列挙できないし、誰かをPICK UPすると不公平なのでやめた。
Q17　目標とする人。
倉持　岡本太郎。
桜井　だからいねっつーの。でも、ジェフベックみたいなギターひけたら、いーな。
Q18　最初に買ったレコード（それはいつ頃?）
倉持　仮面ライダーアマゾン。小2ぐらい。
桜井　わすれた。
Q19　最初に見たライブ（それはいつ頃?）
倉持　たくろう（吉田拓郎）中2。
桜井　わすれた。
Q20　好きな異性のタイプ。
倉持　キュートな人。
桜井　美人。
Q21　来年の今頃どうしていると思う?
倉持　ホントにわからない。
桜井　バンドをやっているだろう。
Q22　もしも、ミュージシャンになっていなかったら。
倉持　サラリーマン。
桜井　?
Q23　愛読書。
倉持　小林恭二。
桜井　本はめんどくさいので読まない。
Q24　よく見るTV番組。
倉持　『パラダイスGOGO』。
桜井　TVを持っていない。
Q25　好きな映画。
倉持　チャップリン。
桜井　高いのでみない。でもスリルのあるやつはすきよ。
Q26　行ってみたい所。
倉持　エジプト。
桜井　大阪人の住む大阪。
Q27　会ってみたい人物（故人でも可）
倉持　ヒトラー。
桜井　ジミヘン（ジミ・ヘンドリックス）。
Q28　ペットはいますか?　また飼うとしたら何?
倉持　いない。
桜井　いない。飼うとしたら女。
Q29　あなたのフェイバリット・ミュージシャン。
倉持　ジョン・レノン。
桜井　スティング。
Q30　あなたのフェイバリット・アルバム。
倉持　『ホワイトアルバム』（ビートルズ）
桜井　『BRING ON THE NIGHT』
Q31　あなたのライバルは?
倉持　なし。
桜井　WINK。
Q32　デビューしてから、変わったこと?
倉持　なし。
桜井　知り合いにならなきゃいけない人が異常にふえた。
Q33　サインってもらったことあります?（それは誰?）
倉持　ヤクルトの大杉。
桜井　小学校3年の時、広島カープのきぬがさに貰った。
Q34　メンバーと初めて会った時の印象?
倉持　美男子。
桜井　そういう細かいことは、思い出せん。
Q35　自分を動物に例えると?
倉持　国会議事堂。
桜井　さる。黒人。
Q36　今日のウォークマンに入っているカセットは?
倉持　エルビス・コステロとライ・クーダー。
桜井　もっていない。（ウォークマンを）
Q37　好きなスポーツ。
倉持　野球、バスケット・ボール。
桜井　テニス、しかも大学生のやつ。
Q38　45分テープでオリジナル・テープを作るとしたら?
倉持　A面　エルビス・コステロ「アリスン」　RCサクセション「わかってもらえるさ」　さだまさし「オヤジの一番長い日」
B面　ローリング・ストーンズ「go home」　ビートルズ「レボルーション9」
桜井　1.「バンバンバン」かまやつひろし
2.「ロックンロール」レッド・ツェッペリン
3.「ジョニー・B・グッド」チャック・ベリー
4.「スモーキン・ブギ」ダウンタウン・ブギウギ・バンド
5.「一等賞」ザ・ピーズ
6.「ウォーキング・ザ・ドッグ」ルーファス・トーマス

HIDETOSHI SAKURAI

YOICHI KURAMOCHI

7.「ルート66」ローリング・ストーンズ
8.「キャント・バイ・ミー・ラブ」ビートルズ
9.「マザー」ポリス
10.「SHAKE」サム・クック
11.「SHE DOES IT RIGHT」ドクター・フィールグッド

Q39 '80年代はあなたにとってどういう時代でしたか？
倉持 楽しかった。
桜井 貴重な青春時代を過ごした。

Q40 '90年代は、どういう時代になると思いますか？
倉持 あんまりかわらない。
桜井 貴重な青春時代を過ごすであろう。

Q41 バンド内でのあなたの役割は？
倉持 使いぱしり。
桜井 ギターをひく。合いの手を入れる。

Q42 将来の夢。
倉持 寿命を全うして楽しむ。
桜井 キョンキョンとSEXする。

Q43 共演したいミュージシャンは？
倉持 永井龍雲。
桜井 ボブ・マーリィ、スティング、村上ポンタ秀一、スティーブえとう。

Q44 休みの日はなにをしていますか。
倉持 テレビ。
桜井 ボー。

Q45 好きな漫画は？
倉持 『あしたのジョー』

Q46 よく買う雑誌は？
倉持 『コミック・モーニング』

Q47 生まれ変われるなら、いつの時代がいい？（それはなぜ）
倉持 昭和30年代、活気がありそうだから。
桜井 昭和30年代。あつそうだから。

Q48 生まれ変われるなら、何になりたい？
倉持 小説家。
桜井 自分。

Q49 あなたにとって音楽(ロック)とは？
倉持 あそび。
桜井 しゅみ。

Q50 好きな数字とその理由。
倉持 1。書きやすい。
桜井 私には数字なんてどれも同じにみえる。

Q51 恋して、泣いたことはありますか？
倉持 ある。
桜井 ない。

Q52 '90年代、音楽（ロック）はどうなって行くと思いますか？
倉持 大繁栄。
桜井 オモロイぞ。

Q53 自分のパート以外の楽器をやりたいと思いますか？（それは何？）
倉持 ない。
桜井 パーカス。

Q54 機嫌のいい時に、口ずさむ曲は？
倉持 アップルパイ。
桜井 COCOの「EQUALロマンス」。

Q55 最近、嬉しかったことは？
倉持 ヒーズのテープをもらった。
桜井 渡辺満里奈が私のことを憶えてた。

Q56 最近、悲しかったことは？
倉持 チューナーを失くした。
桜井 別にない。

Q57 最も感動したライブは？（自他どちらでも可）
倉持 拓郎の2回目のつま恋。
桜井 山口富士男ユニット with チコヒゲ。

Q58 世間に対して、自分（とバンド）はどういう存在でありたい。
倉持 変。
桜井 誰にも嫌われない、かつ、無責任で楽な存在。

Q59 許せない奴って、どんな人間？
倉持 無礼なヤツ。
桜井 俺のこと嫌いな奴。

Q60 バチ▼バチに対してひと言。
倉持 紙がよい。
桜井 ミーハーなことはするな。

Q61 今年（'89年）最大のニュースは？
倉持 宮崎ツトム。
桜井 総理大臣がコロコロ変わること。

Q62 結婚するとしたらいつ頃？
倉持 40歳。
桜井 しらん。

Q63 好きな言葉。
倉持 金科玉条。
桜井 ない。

Q64 一番好きな歌は？
倉持 「うみ」。
桜井 いっぱいで甲乙つけがたい。

Q65 最後に、何でも一言どうぞ！
倉持 Lets' Bigin! Shal-l We?
桜井 恐らく大半の人がこう言うであろうが、「疲れた」。

ザ・真心ブラザーズいよいよ本格的始動。3月発売予定の初のアルバムに向けて、ただいまレコーディング中。「壮大な構想」というアルバムに大いに期待がかかる。まずはお楽しみといったところ。

そして、気になるライブも、年明けから、ライブ・ハウスを中心に、いよいよスタートする予定。スケジュールが決まり次第、本誌でお知らせするので、こちらもお楽しみに。

90年代の"予感"が、この真心ブラザーズにはあると、バチ▼バチは勝手に思いこんで、（もちろん、二人のキャラクター、音楽性を見込んで）90年代初頭、思い切りプッシュするつもりなんで、真心の二人も、読者のみなさんも迷惑がらずに、マア、軽い気持ちでつきあってみてくださいな。絶対、みなさまの損にはならないことだけは、保障します。

Q1　名前の由来は?
MU　たぶん両親が知ってます。
MAKOTO　本名です。
次郎　ひ・み・つ。
SAY　迷宮入りです。
Q2　バンド名の由来は?
MU　次郎が知ってます。
MAKOTO　さるの名前。
次郎　ひ・み・つ。
SAY　今さら次郎。
Q3　誕生日と生まれた所。
MU　昭和45年8月20日。美幌という所(光の国)。
MAKOTO　7月1日。光の国。
次郎　かなり前。光の国。
SAY　701年。光の国ゴリランド。
Q4　家族構成は?
MU　父親・母親・兄・弟・猫。
MAKOTO　みなしご。
次郎　たけちゃん・にーちゃん。
SAY　兄のレオ。
Q5　バンド内でなんと呼ばれていますか?
MU　MU。
MAKOTO　みなしごはっち。
次郎　ぢろォ。
SAY　せいきち。

NEXT SCENE BAND 1990

KUSU KUSU

クスクス

●ホントッ…1年前には想像もできませんでした、このKUSU KUSU人気‼ '87年春・Voの次郎、GのMUが北海道より相次いで上京。その後、東京でのメンバー探しを始め、'88年5月には現在のバンドに固まったワケです。そうです、たった1年半前のことです。結成と同時に合宿に入り、'88年6月2日、下北沢の屋根裏にて初のライブを敢行してます。その後、数々のライブを経て、'89年4月8日…そう、あの「イカ天」に出演。一般的にはあの番組への出演が、人気に火を付けたと言われていますが、それはタイミングがマッチしただけのこと。なにはともあれ、それからのKUSU KUSUの躍進ぶりは、イジョーなスピードを誇っています。
●デビュー＝〔アルバム〕光の国から贈り物（'88年10月26日）
●所属レコード会社＝ゴリランド・レコード
●所属事務所＝TUプランニング

Q6　小さい頃のあだ名は?
MU　MU。
MAKOTO　みつばちはっち。
次郎　ぢろォ。
SAY　?
Q7　身長・体重・靴のサイズ・視力。
MU　172cm、58kg、25.5cm、左1.5右0.8。
MAKOTO　170cmぐらい、50kgぐらい。25ぐらい、視力すごく悪い0.1以下。
次郎　17?cm、54kg、25.5cm、?。
SAY　177cm、61kg、26.5cm、右0.06左0.5。
Q8　趣味。
MU　おんがくかんしょう。
MAKOTO　女の子とあそぶこと。
次郎　えーが、どくしょ。
SAY　考えること。
Q9　特技。
MU　なし。
MAKOTO　ねること。
次郎　女。
SAY　バスケットボール。
Q10　今、一番欲しい物。
MU　スタインバーガー。
MAKOTO　ひま。
次郎　曲。いい詞。
SAY　車。
Q11　今、一番お金をかけているもの。
MU　CD、レコード。
MAKOTO　がっき、レコード、CD。
次郎　ひっこし。
SAY　タクシー。
Q12　好きな食べ物。
MU　最近はあんまり食べないけど「とりのからあげ」。
MAKOTO　あったかいごはん。
次郎　チョコレート、うめぼし、かに。
SAY　辛い物。
Q13　嫌いな食べ物。
MU　コンビーフ。
MAKOTO　つめたくてこちこちのごはん。
次郎　な・ま・こ。
SAY　漬物。
Q14　血液型と自己分析。
MU　O型。O型らしい人間だと思う。
MAKOTO　?
次郎　B型。ばか。
SAY　O型。自己主張が強い、はっきりしている。
Q15　癖。
MU　わからん。
MAKOTO　?
次郎　くさい
SAY　考えること。
Q16　尊敬している人物。
MU　JAGATARAのEBBYさん、Teiyuさん。
MAKOTO　中村ていゆう。
次郎　かーさん。
SAY　彼女。
Q17　目標とする人。
MU　いっぱい。
MAKOTO　王選手。
次郎　デビッド・リー・ロス。
SAY　自分の中にある、自分の理想像。
Q18　最初に買ったレコード（それはいつ頃?）。
MU　忘れました。
MAKOTO　仮面ライダーのレコード。3、4才のころ。
次郎　ポンキッキベスト（よーちえん）。
SAY　ドロロンえんまくん（幼稚園頃）。
Q19　最初に見たライブ（それはいつ頃?）
MU　たぶん地元のアマチュアバンド。中学生の時。
MAKOTO　中学の頃よくライブハウスに行った。
次郎　YMO（小学校5年）。
SAY　?
Q20　好きな異性のタイプ。
MU　まず、せいつけで、かわいくて、料理が作れて、太ってなく、やせすぎでもなく、浮気っぽくなく、わがままじゃない。
MAKOTO　頭のよさそうな人。
次郎　女らしい人。
SAY　彼女。
Q21　来年の今頃どうしていると思う?
MU　たぶん生きてると思う。

MAKOTO　ライブをいっぱいやってる。
次郎　前バリ。
Q22　もしも、ミュージシャンになっていなかったなら。
SAY　レコーディングかライブ(ツアー)。
MU　たぶん自衛官。
MAKOTO　野球の選手。
次郎　食堂のにーちゃん。
SAY　革命家。哲学者。
Q23　愛読書。
MU　特になし。内容というか、なんとなく読まなくても見た時これはっと思う本。
MAKOTO　PATI▼PATI。
次郎　よーせーものがたり。
SAY　なし。
Q24　よく見るTV番組。
MU　オールナイト・フジ。
MAKOTO　サザエさん。
次郎　ない。
SAY　なし。
Q25　好きな映画。
MU　SFならあるていど。特に好きな映画はなし。
MAKOTO　ブルースブラザース。
次郎　スターウォーズ。
SAY　遠い夜明け、カッコウの巣の上で。
Q26　行ってみたい所。
MU　宇宙のはて。
MAKOTO　ブラジル。
次郎　本物のディズニーランド。
SAY　オーストリア。
Q27　会ってみたい人物（故人でも可）。
MU　宇宙人、前世の人（人だったら）。
MAKOTO　宇宙人。
次郎　いもーと。
SAY　ヘーゲル、ラファエロ。
Q28　ペットはいますか？　また、飼うとしたら何？
MU　いまはいない。飼うとしたら猫。
MAKOTO　マイケル。
次郎　ねこ（飼うとしたら）。
SAY　犬。
Q29　あなたのフェイバリット・ミュージシャン。
MU　いっぱいいます。
MAKOTO　中村ていゆう。
次郎　あなべら。
SAY　いない。
Q30　あなたのフェイバリット・アルバム。

KUSU KUSU

MU　いまのところはないと思います。
MAKOTO　マシーンヘッド。
次郎　ジャングルでファンファン。
SAY　なし。
Q31　あなたのライバルは?
MU　いっぱいいる。この世のギタリストはみんなライバルです。
MAKOTO　イアン・ペース。
次郎　いない。
SAY　自分。
Q32　デビューしてから変わったこと?
MU　自分のレコードが置いてあるレコード屋に行くのがはずかしくなった。
MAKOTO　まだまだだけどデビューしたらおだる（意味不明）
次郎　ないです。
SAY　寝る時間。
Q33　サインってもらったことあります?（それは誰?）
MU　フィッシュボーン。
MAKOTO　あり。藤沢まりの。
次郎　あります。THEルースターズ。
SAY　ない。
Q34　メンバーと初めて会った時の印象は?
MU　次郎－楽しそうな人。まこと－おとなしそーな人。SAY－むずかしそーな人。
MAKOTO　こわい人。
Q35　自分を動物に例えると?
MAKOTO　なまけもの。
次郎　さる。
SAY　鹿。
Q36　今日のウォークマンに入っているカセットは?
MU　最近ウォークマンがこわれてしまった。
MAKOTO　TDK。
次郎　もってない。
SAY　聞かないので?
Q37　好きなスポーツ。
MU　サッカー。
MAKOTO　ライブ。
次郎　サッカー。
SAY　バスケットボール。
Q38　45分テープでオリジナル・テープを作って下さい。
MAKOTO　A面・ガラスをひっかく音。B面・おならの音。

Q39　'80年代は、あなたにとってどういう時代でしたか?
MU　小学校は途中からだけど、学生時代ですね。
MAKOTO　青春時代。
次郎　とてもいい。
SAY　明るい、充実した時代だった。
Q40　'90年代は、どういう時代になると思いますか?
MU　20歳になる年です。
MAKOTO　大人の時代。
次郎　とてもいい。
SAY　激しいやつ。
Q41　バンド内でのあなたの役割は?
MU　マップ君。
MAKOTO　他のメンバーのぶんもねること。
次郎　ない。うたう。
SAY　にくまれっ子世にはばかる役。ベースもやる。
Q42　将来の夢。
MU　世界に行きたい。行ったとしたら、死ぬまで音楽関係でいたい。
MAKOTO　宇宙人をおどらせること。
次郎　おしえない。
SAY　オペラをやりたい（作る方）。
Q43　共演したいミュージシャンは?
MU　たくさんいる。
MAKOTO　シルクビー。
次郎　レベッカ。
SAY　誰でもやりたい。
Q44　"教え"を乞いたいミュージシャンは?
MU　JAGATARAのみなさん。とくにDrのTe-i-yuさん。
MAKOTO　中村ていゆう。
次郎　のっこさん。
SAY　いない。
Q45　休みの日は、何をしていますか。
MU　家にいる。
MAKOTO　ねてます。
次郎　ぼー。
SAY　寝る。
Q46　好きな漫画は?
MU　特になし。
MAKOTO　ドラエもん。
次郎　ひょうりゅうきょうしつ。
SAY　ゴリラーマン。
Q47　よく買う雑誌は?

MU　少女まんがの読み切りのやつ。
MAKOTO　PATi▼PATi。
次郎　ない。
SAY　?
Q48　生まれ変わるなら、いつの時代がいい?（それは何故）
MU　いまで充分。
MAKOTO　今のままでいい。
次郎　今でいい。
SAY　日本なら戦国時代、外国ならルネッサンス頃。
Q49　生まれ変わるなら、何になりたい?（職業、人物、動物、物、何でも可）
MU　また、いまのような感じで。
MAKOTO　今のままでいい。
次郎　木。
SAY　仙人。
Q50　あなたにとって、音楽（ロック）とは?
MU　人生を音で表現したもの。
MAKOTO　一つの物語をそうぞうさせる音。
次郎　幸せ。えいえん。
SAY　自分を表現するもの。なくてはならないもの。
Q51　好きな数字とその理由。
MU　2番。思いつかないから。
MAKOTO　7。かっこいいから。
次郎　12。うんめいしょうだから。
SAY　数字は嫌い。
Q52　恋して泣いたことはありますか?
MU　ありますよそりゃ。
MAKOTO　ない。
次郎　あるある。
SAY　ある。
Q53　'90年代、音楽（ロック）はどうなって行くと思いますか?
MU　弱肉強食、あるいは産業的になる。
MAKOTO　いい物が残ると思う。
次郎　しらんです。
SAY　腐ってもタイ。
Q55　機嫌のいい時に、口ずさむ曲は?
MU　自分ではわからない。
MAKOTO　ハイサイおじさん。
次郎　さんはい。
SAY　勝手に作った歌。
Q54　自分のパート以外の楽器をやりたいと思いますか?（それは何?）
MU　なし。

MAKOTO　たまには一番前に出てドラムをたたきたい。
次郎　NO。
SAY　何でも。
Q56　最近、嬉しかったことは?
MU　エフェクターを買ったこと。（'89年11月）。
MAKOTO　北海道でライブできること。
次郎　いっぱいある。
SAY　アルバムがでたこと。
Q57　最近、悲しかったことは?
MU　エフェクターを買ったのはいいけど音決まらず。
MAKOTO　ない。
次郎　ない。
SAY　ない。
Q58　最も感動したライブは?（自他どちらでも可）
MU　東京に来て初めて見たJAGATARAのLIVE。
MAKOTO　カッサブ。
SAY　'89・7月14日福岡国際センターとパリでやったLIVE。
Q59　世間に対して、自分（とバンド）は、どんな存在でありたい?
MU　まず自分は、まあふつうの人でいいです。バンドは、好きなバンド3つ答えて下さいと聞かれたらかならず出てくるようなバンド。
MAKOTO　かっこいい存在。
次郎　ふつーの人。
SAY　世間からどうみられてもいいけど存在感のある人でいたい。
Q60　許せない奴って、どんな人間?
MU　ミーハーな女。ずるい人。冷たい人。
MAKOTO　口からうんこする奴。
次郎　てんぐな奴。
SAY　ない。
Q61　パチ▼パチに対して一言。
MU　これからもよろしくお願いします。
MAKOTO　いい雑誌だと思います。
次郎　パチ　パチ。
SAY　内容が（インタビューの）素晴しい。
Q62　今年（'89年）最大のニュースは?
MU　KUSU KUSUのファーストアルバム「光の国の子供達」発売。
MAKOTO　レコードを出せたこと。
次郎　レコードデビュー。

SAY　?
Q63　結婚するとしたらいつ頃?
MU　20歳～30歳の間。
MAKOTO　今のとこしたくない。
次郎　30ぐらい。
SAY　2年後。
Q64　好きな言葉。
MU　そのじょうきょうによってちがう。
MAKOTO　世界。
次郎　てんき。ごきげん。プー。
SAY　?
Q65　一番好きな歌（曲）は?
MU　特にないと思う。
MAKOTO　ヘイ・ジュード。
次郎　いっぱいある。
SAY　?
Q66　最後に、何でも一言どうぞ!
MU　けっこういっぱいありましたね。
MAKOTO　これからもよろしくお願いします。がんばります。
次郎　元気デナ。
SAY　自分らしくいたいと思う。これから今応援してくれている皆さんの予想を裏切った音になるかもしれないです。楽しみにして下さい。

★別に「イカ天」人気じゃないと思う。KUSU KUSUの醸し出すサウンドは、間違いなく子供から大人まで無条件に楽しめるものだもの。こんな風に皆んなの心をつかんだのも、本当の意味での音楽の楽しさを、KUSU KUSUはとっても素直に僕たちに教えてくれているからだと思う。
そんな彼らにとって、'90年代はどんな時代になるんだろう…。
2月から3月にかけて、KUSU KUSUはブラジルへ跳ぶっ!! ビデオ&スチール撮りをしてくるんだけど、こりゃまあ楽しみな気がするね。
そして4月には、なんとジャマイカのコンパス・ポイント・スタジオにてニュー・アルバムのレコーディングをスタートする。おーっとイキナリ凄いじゃないか。現地のサウンドに出会えることを、空気を肌で感じた、より深い彼らのサウンドに出会えることを、楽しみに待とうね♡

NEXT SCENE BAND 1990

東京少年

TOKYO SHONEN

●バンドとしての活躍が目覚ましかった'89年の東京少年。カテゴライズされやすい現在のロックシーンの中でその存在は異彩を放っている。フロントマン（ガール？）のボーカル・笹野みちるは、ブッチャケタ早口の京都弁を武器に、ラジオ・テレビのパーソナリティとしても大忙がし！ ギター：手代木・ベース：中村、キーボード：水上も、もちろんがんばってます、ハイ。
●デビュー＝［アルバム］東京少年（'88年11月21日）［シングル］ハイスクール・ディズ（'89年1月21日）［アルバム］原っぱの真ん中で（'89年6月7日）［シングル］針とバズル（'89年5月21日）
●所属レコード会社＝ビクター・インビテーション
●所属事務所＝Hip Land music Corporation
●ファンクラブ＝〒107東京都港区南青山5-15-9フラット青山303 ㈱Hip Land music Corporation F.C.products内 東京ants ☎03（499）7009

撮影●坂本正郁

Q1 バンド名の由来を教えて下さい。
笹野 文化屋雑貨店（確か）から首出てたキャラクター商品の名前で、かっちょいいなーと思ってたからいただいた。りんとした響きがあって好きだけどなぁ私は。
Q2 誕生日と生まれた所。
笹野 1967年10月30日。
手代木 昭和43年4月30日に阿佐ヶ谷の病院で生まれた。
中村 昭和39年8月19日。広島県。
水上 昭和41年5月26日。春日部市。
Q3 バンド内でなんと呼ばれていますか？
笹野 ササノ（水上クン） みちるちゃん（コメちゃん） ささのさん（テッシー・怯えてんのかな 私のこと）
手代木 テッシー。
中村 コメちゃん。
水上 水上クン。
Q4 小さい頃のあだ名は。
笹野 みい坊。
手代木 かっちゃんだった。あとカツオ。
中村 コメタロー。
水上 アックン。
Q5 身長・体重・靴のサイズ・視力。
笹野 156cm・41kg 23.5cm・1.5くらい。
手代木 低い、わりと軽いかも知れない。デカイのを小さくした。良好。
中村 171cm・54kg・25.5cm・0.1。
水上 174.5cm・57kg・25.5cm・右0.8・左1.0
Q6 趣味。
笹野 自分のキャラクターのギャグマンガを描くこと。スケッチ一般、マジメな本の読書。まじめな映画の鑑賞。
手代木 読書。
水上 散歩。レコード集め、酒。
Q7 特技。
笹野 卓球と書きたいとこだが、永井真理子さまとの卓球試合で負けてから自信をなくす(笑) まあ、大喰い早喰い。
手代木 鼻の骨を露出させる事。
水上 速く歩くこと。
Q8 今、一番欲しい物。
笹野 スクーターと原チャリの免許。
手代木 青春。
中村 大あたりのプレシジョン・ベース。
水上 お金とヒマ。
Q9 今、一番お金をかけているもの。
笹野 食費（エンゲル係数めっちゃ高い）。
手代木 生命保険。
水上 楽器（マジでたいへんです）。
Q10 好きな食べ物。
笹野 天下一品のコーン入りチャーシューめん。
手代木 肉と野菜。
中村 トマト。
水上 おいしい物なら全部。
Q11 血液型と自己分析。
笹野 A型。根は小心者なのに、「なんとかしなきゃ!!」という責任感と正義感だけで、場を気にして明るい人になろうとする、実にさびしい人。
手代木 B型。としても真面目。
中村 O型。機嫌が良い時と悪い時がわかりやすい人。
水上 O型。整理・整とんができない。あと漢字がにがて。
Q12 癖。
笹野 好きな人に会ったり、緊張すると、口から出まかせにどーでもいいことをベラベラ口走ってしまうこと。
手代木 すぐ休憩しちゃうこと。
中村 足の指を鳴らす。
水上 指先マッサージ。
Q13 尊敬している人物。
笹野 秋田明大（知らねーだろうなぁ）
手代木 いい人。
水上 アルテゥール・ベネベッティ・ミケランジェリ（ピアニスト）。
Q14 目標とする人。
笹野 私は私の花を咲かせればいい。
手代木 良い人。
水上 エグベルト・ギズモンティ（ブラジルのアーティスト）。
Q15 最初に買ったレコード。（いつ頃？）
笹野 ピンクレディの「ペッパー警部」小学校6年かな？
手代木 ロリーギャラガの「ライブ インヨーロッパ」幼稚園の時。
中村 ディープ・パープルの「ライブ イン ジャパン」か「イン ロック」だったと思う。中一ぐらいの時。
水上 ELPの「トリロジー」 小4の時。
Q16 最初に見たライブ（それはいつ頃？）
笹野 ランナウェイズ。
手代木 小学校の時、野口五郎。
中村 中1の時。兄の友達のバンド。
水上 兄キのバンド。小学5年。
Q17 好きな異性のタイプ。
笹野 社会的な視野を持って、ほとばしるように生きている人。オンナ好きじゃない人（そんなんいるかいな）。
手代木 ボインボインではあまりない人。
中村 自分の性格と反対な人で尊敬できる人。大人っぽくても、子供みたいなところがあって、かわいい人。
水上 髪の長くて、上品な人。
Q18 愛読書。
笹野 シェル・シルヴァスタイン「俺を探しに」「ビッグ・オーとの出会い」 中島敦「山月記」。
手代木 ガンバと13匹の仲間たち。
水上 川端康成の掌の小説。
Q19 よく見るTV番組。
笹野 テレビは嫌いだ。
手代木 とんねるずモノ。
中村 パペポTV。
水上 なみさんのおかげです。
Q20 好きな映画。
笹野 さよなら子供達 カッコーの巣の上で。
手代木 フラッシュダンス。
中村 風と共に去りぬ 未来世紀ブラジル。
水上 ヒッチコック、チャップリンもの。
Q21 行ってみたい所。
笹野 '69年頃の東大。
手代木 新島。
中村 ニューヨーク、ブラジル。
水上 パリかブラジル。
Q22 会ってみたい人（故人でも可）。
笹野 J.D.サリンジャー。
手代木 松田聖子。
中村 ジミヘン。ジャコ・パストリアス。
水上 ショパン。
Q23 フェイバリット・ミュージシャン。
笹野 U2のボノ。
手代木 身近なミュージシャン。
中村 あえて言えば、スターピープル（マイルス）のころのマーカス・ミラー。
水上 ジミ・ヘンドリックス。
Q24 フェイバリット・アルバム。
笹野 U2の「BOY」ビートルズ「ホワ

TOKYO SHONEN

イト・アルバム」
中村　グラハム・セントラル・ステーション「RADIO SURE SOUNDS GOOD TONE」
水上　レッド・ツェッペリンの「フィジカル・グラフティ」
Q25　あなたのライバルは？
笹野　この世にいる同世代のヤッツラ全部。
手代木　いない
水上　とくになし
Q26　デビューしてから、変わったこと？
笹野　やせた
手代木　休みが増えた。
水上　いそがしくなった。
Q27　メンバーと初めて会った時の印象は。
笹野　マジメでおとなしそうなヤツラだなぁと思った（でも全然違ってた）
手代木　ささのさんはテクノで、コメちゃんはラスタで、ミナカミくんはヘピメタだ。
中村　Vo笹野—少年のような女の子。Key水上—落ち着いてる人。G.テッシー—声の大きい人。
水上　みんなまじめだな〜。
Q28　自分を動物に例えると？
笹野　子リス（ウソ）アマガエルかなぁ。必死に棒に飛びつこうとしているアマガエルかもしれない。
手代木　猫。
水上　ネコ。
Q29　今、ウォークマンに入っているカセットは？
笹野　TIMBUCK3の「真実の誓い」。
手代木　レッド・ツェッペリン。
中村　XTCのビッグ・エクスプレス。
水上　XTC／BIG EXPRESS。
Q30　好きなスポーツ。
笹野　そんなものはない。（卓球と言いたい所だったが……）
手代木　サーフィン。
水上　サッカー。
Q31　80年代はあなたにとってどういう時代でしたか？
笹野　仕込みの時代。
手代木　忙しい時代。
中村　初めての経験をいろいろした時代。
水上　プロミュージシャンを目指し、そして色々なバンドをやった。苦労が多かった。
Q32　90年代はどういう時代になると思いますか？
笹野　個の確立と連帯の時代。きっと人々は真の寂しさに、原点に気付き出すと思う。
手代木　よくわからない。
中村　何が起こるかわからない時代。
水上　わからない。
Q33　バンド内でのあなたの役割は？
笹野　一輪の花でしょうそりゃ。（笑）
手代木　ギター、コーラス、踊り子。
水上　取材などでエラそうな事を言う。
Q34　共演したいミュージシャンは？
笹野　そ、それは……言えない。
手代木　バン・ヘーレンと今井美樹とビリー・シーハンとジョン・ボーナムと一緒にバンドを組む。
中村　プリンス。
水上　生きている人ではジェフ・ベック。他にボンゾとかヨギ・ホートンとかみんな死んでしまった。
Q35　〝教え〟を乞いたいミュージシャンは
笹野　ホッピー神山様。
手代木　ジェフ・ベック。
水上　ジャン・ミッシェル・ジャール。
Q36　休みの日は何をしていますか。
笹野　自分を整理している。
手代木　ボーッとしている。
水上　ショパンのピアノ曲を弾いている。
Q37　好きな漫画は？
笹野　つむぎたく「みんなで卒業を歌おう」弓月光「エリー競走曲」
手代木　山下和美が描いているのは全部好き。
中村　「クッキングパパ」「ブラックジャック」
水上　「ルパン3世」
Q38　生まれ変わるなら、いつの時代がいい？（それは何故？）
笹野　1960年代後半に10代後半をむかえたかった。全てを〝自分の問題〟として考える熱い時代だった（ような気がする）から。
手代木　いつでもいい。
中村　やっぱり現代がいい。こんな平和で好きなことができる時代はない。でも'60〜'70年代のスーパー・グループ（クリーム、ツェッペリン……）の全盛期のライブは生で見てみたい。
水上　100年ぐらい前のイギリスの上流階級。
Q39　あなたにとって、音楽（ロック）とは？
笹野　ロココのつまようじ
手代木　趣味と快楽の追求。
中村　時々、本気でおもしろいと思えるもの。
水上　なくてはならないもの。
Q40　90年代、音楽（ロック）はどうなって行くと思いますか？
笹野　もうちょっと人格が見えてくるものになると思う。
手代木　どうにもならないと思います。
中村　〝何じゃ、これ！〟みたいなものがもっと出てくると思う。
水上　80年代より良くなると思う。70年代よりよくなるかはわからない。
Q41　最も感動したライブは？（自他どちらでも可）
笹野　東京少年の11月5日明治大学、学祭ライブ。
手代木　自分のライブは気持ちいい。
中村　ジャック・ブルースを初めてみたライブ（鈴木賢司のライブ）。
水上　アート・アンサンブル・オブ・シカゴのライブ。
Q42　許せない奴ってどんな人間？
笹野　事がうまく運びさえすればばっということばっかり考えてるヤツ。
手代木　きらいな人。
中村　度をこしていいかげんなヤツ。
水上　音楽よくわかってないくせに、人のやっている音楽について文句をつけるやつ。
Q43　結婚するとしたらいつ頃？
笹野　忘れた頃。
手代木　いい人が見つかれば、明日にでも。
中村　30ぐらい。
水上　決めてない。
Q44　好きな言葉
笹野　ペンは剣よりも強し。
手代木　幸せ。
中村　バランス。
水上　犬も歩けば棒にあたる。
Q45　もしも、ミュージシャンになっていなかったら。
笹野　近頃、声優になれていたかも知れないと思う。
手代木　女のコにもてたかもしれない。
水上　犬のトリーマー。
Q46　将来の夢。
手代木　楽しい老後生活を楽しみたい。
水上　大きな家で、お金に困らず暮らす。
Q47　よく買う雑誌は？
手代木　プレイヤー。
中村　マンガ。
水上　無い。
Q48　最近、嬉しかったことは？
笹野　京都の下鴨神社を散歩していて、〝冬の気配〟を感じたこと。
手代木　7月にセッションしたら楽しかった。
水上　夜、散歩していたら流れ星を見た。
Q49　最近、悲しかったことは？
笹野　大学の試験とレコーディング期間がぴったり重なってしまうという事が制作ミーティングで発表された。
手代木　みんないなくなっちゃった事。
Q50　最後に、何でも一言どうぞ！
笹野　90年代は、今一層突きつめて、掘り下げて、ほとばしるように歌い放っていこうとたくらんでいます。
手代木　このアンケートは書くのにすごく時間がかかって大変です。
水上　早く春が来てほしい。
お疲れさまでした。

next scene BAND 1990

THE MINKS

ザ・ミンクス

●いい意味で古くさく、そして人間くさいバンドそれがTHE MINKSである。そして、その古くささが新鮮な魅力になっていることも確かである。そのサウンドはシンプル・イズベスト。はき出す言葉はまだまだ未熟ながらも、てらいのない真実味がある。昔の古き良きロックンロールバンドスタイスが、どこまで通用するのか、奮闘ぶりに期待大である。
●デビュー＝〔ビデオ〕THE MINKS（'89年5月21日）、〔シングル〕パッシュ（'89年7月21日）〔アルバム〕THE MINKS（'89年8月21日）、ROCK'N'ROLLDREAM（'89年11月21日）
●所属レコード会社＝ビクター・インビテーション
●所属事務所＝キティ・アーティスト
●ファンクラブ＝〒153東京都目黒区大橋1-7-4久保ビル4F Ⓜ（まるえむ）☎03（770）9355

Q1 名前の由来を教えて下さい。
伊藤 龍年のひとつ前の年に生まれたから。
岡田 ヨシ＋アキ＝ヨシアキ。
吉田 ひいじいさんの名前を変形させた。
Q2 バンド名の由来を教えて下さい。
伊藤 ヨシアキに聞いてくれ。
岡田 北海道は寒いんだぜぇ――！
松橋 北海道はさむいでしょ。だからミンクスなんだよ。どうだ、わからねーだろ。
吉田 北海道は寒いでしょ。
Q3 誕生日と生まれた場所。
伊藤 昭和38年11月5日。留■の病院。
岡田 昭和40年9月4日。札幌の白石中央病院。
松橋 昭和42年3月27日。札幌だ。
吉田 昭和39年1月31日。北海道あかん。
Q4 家族構成は？
伊藤 父、母、姉。
岡田 父、母、妹。
松橋 おやじ、カンちゃん、いもうと、あにき、そしておれだよ。
吉田 父、母、姉、弟。
Q5 バンド内でなんと呼ばれていますか。
伊藤 リュウ、リュウチャン。
岡田 ヨシアキ、アキちゃん。
松橋 マッチャン。
吉田 しんちゃん。
Q6 身長、体重、靴のサイズ、視力。
伊藤 173cm。57kg。26cm。右1.2左1.0。
岡田 178cm。62kg。26.5cm。1.5。
松橋 170cm。59kg。26.5cm。2.0。
吉田 180cm。63kg。27cm。わからん。
Q7 趣味。
伊藤 ビデオ・ゲーム。
岡田 酒、タバコ、ダンス（踊り）。
松橋 ウィンドサーフィン。
吉田 映画を見る。
Q8 特技。
伊藤 ボケルこと。
岡田 タバコの煙で「滝のぼり」ができる。
松橋 特にない。
吉田 わきかっぽん。
Q9 今、一番欲しい物。
伊藤 バイク。
岡田 バイク。
松橋 酒、タバコ、Tシャツ、靴下。
吉田 バイク。
Q10 今、一番お金をかけているもの。
伊藤 家賃。
岡田 酒か？ レコードか？ いやCDだ。
松橋 ファッションだね。
吉田 生活。
Q11 好きな食べ物。
伊藤 甘い物。
岡田 「オムライスにハンバーグのせ」っていうのが青山スタジオにある。
松橋 ステーキさっ。
吉田 カレーライス。バナナ。
Q12 嫌いな食べ物。
伊藤 固いチーズ。
岡田 フルーツポンチの中の豆（みつ豆）。
松橋 レンコン。
吉田 貝。
Q13 血液型と自己分析。
伊藤 O型。がさつ。
岡田 AかBかOか？ グッとくるがアマノジャクの時もある。
松橋 A。サイコーだよ。
吉田 AB。いいやつ。
Q14 癖。
伊藤 冷い目をする。
岡田 気の抜けた時の「ウェーイ」。
松橋 ないね。
吉田 指でバンバン、リズムをとる。
Q15 尊敬している人物。
伊藤 モリシゲヒサヤ。
岡田 長島茂雄。
松橋 自分。
吉田 おやじ。
Q16 目標とする人。
伊藤 右に同じ。
岡田 永遠のJOHNNY。
松橋 とくにいねーよ。
吉田 アントニオ猪木。
Q17 最初に買ったレコード（それはいつ頃？）
伊藤 ビューティフル・サンデー（小6？）
岡田 小学生の時「フィンガー5」のレコードだったと思う。
松橋 中学1年生の時に買ったビートルズのレコードかな。
吉田 左とん平のレコード。小学2年か3年。
Q18 最初に見たライブ（それはいつ頃？）
伊藤 ヒーロー（高1）。
岡田 アナーキーが釧路に来た時。
松橋 ？
吉田 クールス（中学3年）。
Q19 好きな異性のタイプ。
伊藤 やるときゃやる人。
岡田 タイミングの合う人。
松橋 セクシーなやつ。かわいいやつ。

吉田　やさしい子。頭の回転が速い子。
Q20　愛読書。
伊藤　読売新聞。
岡田　ジョン・レノンの生涯。
松橋　エッチ本。
吉田　1、2の三四郎。
Q21　よく見るTV番組。
伊藤　働くオジサン。
岡田　音楽もん。
松橋　エッチな番組。
吉田　夜中の番組。
Q22　好きな映画。
伊藤　オルゴール、ブラックレイン、ダイハード、フェリスはある朝突然、大災難、ブルース・ブラザース。
岡田　ア・ホーマンス、ダイ・ハードetc
松橋　映画は好きだ。
松橋　ポルノ映画。
吉田　ヒッチャー、ポリス・アカデミー、ア・ホーマンス、ターミネーター。
Q23　行ってみたい所。
伊藤　外国。
岡田　ウッドストック。
松橋　カンボジア。
吉田　ソープランド（熊本）。
Q24　会ってみたい人物。（故人でも可）
伊藤　スティング。
岡田　ジョン・レノン。
松橋　ミック・ジャカー。
吉田　アントニオ猪木。
Q25　あなたのフェイバリット・ミュージシャン。
伊藤　ポリス。
岡田　いっぱいいる。
松橋　ARB。
吉田　ダブ、ザ・ロックバンド、ARBなど。
Q26　あなたのフェイバリットアルバム。
伊藤　ポリス「OUTLANDOSDA-MOUR」。
岡田　ジョン・レノン「ジェイブド・フィッシュ」。
松橋　ARBの「ボーイズ&ガールズ」
吉田　アナーキーのアルバム全部。
Q27　あなたのライバルは？
伊藤　吉田戦車。
岡田　矢吹ジョウ。
松橋　特別そういうライバルって感じで見たことはない。
吉田　前田日明。
Q28　メンバーと初めて会った時の印象は？
伊藤　岡田→ロッカー、松→ボンズ、吉→テクノ。
岡田　運命だ。キャッチホンで会話中に、もう1本の電話が来る時のような音がした。
松橋　へんなやつだったよ、おれと同じで。
吉田　V→変なヤツ。B→一般人。D→ボンズ。
Q29　自分を動物に例えると？
伊藤　ナマケモノ。
岡田　ミンク。
松橋　動物じゃなくて虫だね。
吉田　ウマ。
Q30　今日のウォークマンに入っているカセットは？
伊藤　ARB「シンパシー」。
岡田　新曲。
松橋　そんなもんもってねーよ。
吉田　ウォークマン無し。
Q31　好きなスポーツ。
伊藤　野球。
岡田　野球、サッカー、ラグビー、ボクシング、闘いがいい。
松橋　サッカー。
吉田　バスケット、サッカー、（やる）。プロレス、野球、（見る）。
Q32　80年代は、あなたにとってどういう時代でしたか？
伊藤　雪がとけてった感じ。
岡田　モロボシ・ダニがウルトラ・アイをつけてブタみたいになった瞬間。
松橋　最高だったよ。
吉田　人生の節目。
Q33　90年代は、どういう時代になると思いますか？
伊藤　川になって流れていく感じ。
岡田　ウルトラマンがコブシを振り上げて、画面の中で大きくこっちに向かってくる。
松橋　さーね、わかんねーよそんなの。でもいい時代にしたいね。
吉田　いい男になるための一歩。
Q34　将来の夢。
伊藤　よいことをひとつくらいする。
岡田　俺の夢は始まったばかりだ、続いていくんだ。今を激しく！
松橋　今が楽しいよ、別に夢はないんだ。
吉田　強い男になる。
Q35　90年代、音楽（ロック）はどうなって行くと思いますか？
伊藤　全然わからない。
岡田　知らん。
松橋　知らねーよ、オレたちはブッ飛び続けていくだけだよ。
吉田　気がついていく。
Q36　最近、悲しかったことは？
伊藤　松田優作が死んだこと。
岡田　金を落としたこと。
松橋　金が10円も無かった時。
吉田　風邪をひいて死にそうになった時。
Q37　好きな言葉。
伊藤　バカヤロー。
岡田　ONE WAY TRIP!!
松橋　うちあげ。
吉田　激しい自分を忘れるな。
Q38　最後に、何でも一言どうぞ！
伊藤　ちょっと質問が多すぎだあ――。
岡田　これからもパンチを打ちまくるぜ！
松橋　いま九州のホテルで酒を飲んでいてスゴクきもちいいよ。今はAM2・00。まだまだ飲むぜ!!
吉田　今、電車の中なので酔いそうだし、字はメチャクチャだし、たのむよ。

next scene BAND 1990

FLIPPERS GUITAR

フリッパーズ・ギター

●イギリスのインディーズ・チャートにもランク・インされたこのバンド。彼らの言うところによると「日本の音楽状況から浮きまくったバンド」なのだそうだが、確かにアルバムの全曲が英語の詞、アコースティック・ギター中心のサウンドなど、一筋縄ではいけないバンドなのかもしれない。しかし、その明るく歯切れのいいサウンド・一度聴いただけで口ずさむことのできるキャッチーなメロディ・ライン・せつなくて胸がキュンとしてしまうけど、どこかヒネた詞――どれをとっても一級品なので、一度彼らの曲を聴けば、彼らは「気になる存在」になってしまうハズ。彼らが、飛躍することにより、90年代の新しいロックシーンを切り開いていく可能性と期待は大きい。

●デビュー＝［アルバム］three cheers for our side ～海へ行くつもりじゃなかった～('89年8月25日)［シングル］Friend Again('90年1月発売予定)

Q1 誕生日と生まれた所。
小山田 1969年1月27日。東京都世田谷区。
小沢 1968年4月14日。神奈川県川崎市
Q2 身長、体重、靴のサイズ、視力。
小山田 169cm、50kg、25.5cm、すごく悪い。
小沢 175cm、55kg、26.0cm、ド近眼。
Q3 好きなタバコ。
小山田 セブンスター、ハイライトマイルド、チェスター・フィールドキング。
小沢 タバコは吸わない。
Q4 今、一番欲しい物。
小山田 ギター(GRETCH RANCHER)。
小沢 ギター(タカミネのクラッシック)。
Q5 好きな食べ物。
小山田 豪徳寺〝オジカ〟の氷しることTのホーレン草サラダ、白龍のチャーメン。
小沢 おいしいスパゲティ、オムライス。
Q6 嫌いな食べ物。
小山田 セロリとしいたけ。
小沢 しょうが。
Q7 血液型と自己分析。
小山田 B。
小沢 O型。癖といいかげん。
Q8 癖。
小山田 びんぼうゆすり。
小沢 古本屋と中古レコード屋を見ると入ってしまい、お金がなくなる。
Q9 行ってみたい所。
小山田 スコットランドのグラスゴー。
小沢 南フランスの海岸あたり。
Q10 あなたのフェバリット・ミュージシャン。
小山田 TAKAO TAJIMA (ORIGINAL LOVE)。
小沢 タジマ・タカオ。
Q11 許せない奴って、どんな人間?
小山田 欽ちゃんの弟子、愛川欽也、劇団の人、山田邦子、生島ヒロシ、小倉淳、森末慎二。
小沢 この欄に名前たくさん書く奴。
Q12 生まれ変わるなら、何になりたい?
小山田 NASAの秘密を握る人。
小沢 イタリア人のコック。
Q13 機嫌のいい時に、口ずさむ曲は?
小山田 ヘンリー八世君/ハーマンズ・ハーミッツ。
小沢 メアジー・ドーツ/イノセンス。
Q14 最近、嬉しかったことは?
小山田 入院して、たくさんお見舞いの人が来てくれたこと。
小沢 〝ザ・トリップ〟のレコードを手に入れたこと。
Q15 最近、悲しかったことは?
小山田 入院したこと。
小沢 〝ザ・トリップ〟の内容が悲しかったこと。
Q16 尊敬している人物。
小山田 信藤三雄氏、クロマティ。
小沢 信藤三雄、チェビー・チェイス。
Q17 愛読書。
小山田 あっちの豚、こっちの豚(広瀬弦)
小沢 レイモンド・チャンドラーの書いた物全て。ミルク・ティー飲みながら読むアーサー・ランサム。酔っぱらって読むボリス・ヴィアン。最近だと「エンペラー・オブ・ジ・エア」(イーサン・ケイニン)など、柴田元幸氏の訳すたぐいのもの。「ニュークリア・エイジ」(ティム・オブライエン)が今年のベスト。日本人だと「狂風記」(石川淳)。どれも無茶苦茶笑える。
Q18 来年の今頃どうしてると思う?
小山田 わかんない。
小沢 今と一緒で普通の学生。
Q19 バンド内でのあなたの役割は?
小山田 絵かき。
小沢 コック。
Q20 共演したいミュージシャンは?
小山田 クレア・グローガン、ハーマンズハーミッツ。
小沢 つのだ★ひろ。
Q21 〝教え〟を乞いたいミュージシャンは
小山田 成毛滋。
小沢 つのだ★ひろ。
Q22 あなたにとって、音楽とは?
小山田 成毛滋その人。
小沢 つのだ★ひろその人。
Q23 恋して、泣いたことはありますか?
小山田 成毛滋はきっとある。
小沢 つのだ★ひろもきっとあるさ。
Q24 90年代、音楽はどうなって行くと思いますか?
小山田 成毛滋っぽく。
小沢 つのだ★ひろっぽく。
Q25 世間に対して、自分(とバンド)は、どういう存在でありたい?
小山田 ナルミッシュ。
小沢 ツノディッシュな存在。
Q26 パチパチに対して一言。
小山田 読んだことない。成毛滋特集を載せて欲しい。
小沢 この間の写真は、ストーン・ローゼズぽくて好きです。
Q27 サインってもらったことあります?(それは誰?)
小山田 RODY FRAMEとWINK
Q28 結婚するとしたらいつ頃?
小沢 30くらい。僕はアメリカン・エキスプレスなエリート・サラリーマンになっている。(考えうる最悪の結婚)
Q29 好きな言葉は?
小山田 成毛滋。
小沢 ひどい質問だ。
Q30 一番好きな歌(曲)は?
小山田 歌えバンドBY成毛滋。
小沢 ――。
Q31 最後に、何でも一言どうぞ!
小山田 レッツ・ナルミッシュ。
小沢 レッツ・ゴー・ツノデッシュ。

撮影協力●SWITCH

NEXT SCENE BAND 1990

JUSTY NASTY

ジャスティナスティ

●89年6月にメジャー・デビューして以来、快進撃中の彼ら。早くもセカンド・アルバムのリリース、('89年11月29日)、彼らの音楽的源泉を知る上でも、非常に興味深い作品に仕上がっている。
その派手でいながら、彼らの美意識が伺い知れる妖しげなルックスと、ハードでパンキッシュ、と同時にバラエティに富んだサウンドで（特にギター）、これからの動向が注目される。

●デビュー＝［アルバム］CRASH('89年6月25日)　⊕LOVE⊕('89年11月29日)［シングル］言い出せなくて('89年6月25日)

●所属レコード会社＝ポリスター

●所属事務所＝ディア・フレンズ

●ファンクラブ＝〒150東京都渋谷区渋谷4－3－27青山コーポラス303　ディア・フレンズ内　JUSTY NASTY F.C.　VELVET HOUSE
☎03-(5485)1385

Q1　名前の由来を教えて下さい
藤崎　ガキの頃、すごくロッド・スチュワートが好きで、友だちに「好きやねんなぁー」って言いまくってたら、自然と自分がロッドと呼ばれるようになった。
岸根　"ハデな……"の、美の意味。若くてナルシスト気味の時に自分でつけた。
大石　藤崎に聞いて下さい。
辻　親に聞いて下さい。

Q2　バンド名の由来を教えて下さい。
藤崎　ゴロも良かったし、それにJUSTY（正義）、NASTY（悪）という正反対な意味もあったし、カッコいいから。
岸根　JUSTY（正義）、NASTY（邪悪）の表裏両方を持っている。あるいは表裏両方を持っている。あるいはどちらも同じものと解釈している。
大石　藤崎に聞いて下さい！
辻　メンバーに聞いて下さい。

Q3　誕生日と生まれた場所。
藤崎　1967年1月25日。兵庫県伊丹市。
岸根　1967年10月17日。奈良県。
大石　1966年5月27日。大阪府出身。
辻　昭和43年9月6日。千葉県柏市。

Q4　身長、体重、靴のサイズ、視力
藤崎　170cm、52kg、25cm～25.5cm。
岸根　180cm、56kg、26・5cm、1.5。
大石　173cm、52kg、25cm、0.01。
辻　177cm、54kg、27・5cm、右0.2左なし。

Q5　バンド内でなんと呼ばれていますか。
藤崎　ROD。
岸根　SHOWY。
大石　おやじ。
辻　つじ、おい、おまえ、きさま。

Q6　今、一番欲しい物。
藤崎　B級なもの。
岸根　あまりない。
大石　辛いカレー。
辻　さぬきうどん。

Q7　嫌いな食べ物。
藤崎　れんこん、しいたけなどのキノコ関係etc……。
岸根　たくさんある。
大石　きゅうり、グリンピース、牛乳。
辻　肉。

Q8　好きな異性のタイプ。
藤崎　好きになった人がタイプやけど、まあしっかりしててやさしい人で気がきく子。
岸根　背が高くてやせてて髪が長くて気が強くて手に負えないひねくれ者。異様に嫌われそうな女、年上。（あくまでも理想、こんな女好きになった事が無い）
大石　わりとワガママな子が好き。
辻　大人っぽくてやせてる人。

Q9　もしも、ミュージシャンになっていなかったなら。
藤崎　考えられない。
岸根　遊び人か機会いじってたと思う。
大石　洋食屋のコックにでもなってたかな。
辻　サッカーの選手かもしれない。

Q10　メンバーと初めて会った時の印象は
藤崎　SHOWY―GOOD。RALF―髪伸びたなあコイツ。TAKESH―――えっ!?（笑）
岸根　その時はみんなカッコ良くみえた。
大石　なんだコイツら！
辻　へんな奴、サイケな奴。

Q11　共演したいミュージシャンは？
藤崎　色んな方々と共演したいので、誰でもいい。
岸根　JAPAN。
大石　チープトリックの前座でもいいから演りたい。
辻　本田たけし先生。U2。ウォーレン・ククルロ。

Q12　あなたにとって音楽（ロック）とは？
藤崎　愛する音楽及び精神、ポリシー。すごくポジティブな刺激。
岸根　カッコ良い物、自分にとって大切な物。
大石　酒みたいなものでしょう。
辻　それは切なくはかないもの……。

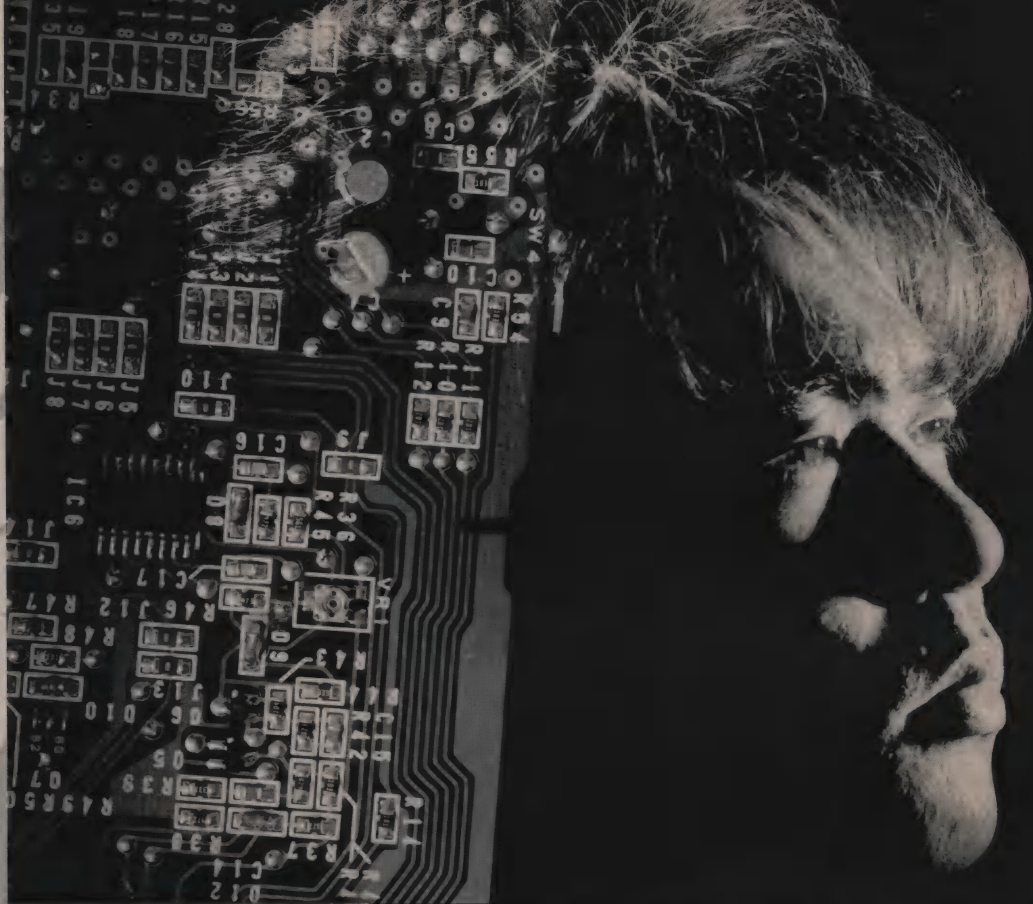
Q13　90年代、音楽はどうなって行くと思いますか？
藤崎　混乱している"ブーム"と呼ばれてるものは消え去り、音楽本来の姿に戻る。
岸根　予想はしたくない。
大石　クオリティがどんどん良くなって行くんじゃないかな？
辻　お金になる。

Q14　最も感動したライブは？（自他どちらでも可）
藤崎　いつも、ある種感動の中にいる。
岸根　1年ぐらい前にみたソフトバレエ。
大石　この間行ったU2がすごく良かった。
辻　U2、超感動。

Q15　バンド内でのあなたの役割は？
藤崎　スポークスマン、フロントマン。
岸根　一歩離れて全体をよく見ていたい。
大石　トラブルメーカー。
辻　お笑い、営業、ギター。

Q16　好きな言葉を。
藤崎　愛（DREAM）
岸根　愛してる。
大石　愛でしょう。
辻　愛。ロックンロールは通りを止める。

NEXT SCENE

BAND 1990

B'z

ビーズ

●88年秋デビュー時には、レコードアーティストとしてのイメージが強かったB'zだが、89年に本格的なライブ活動を開始。ギタリスト・松本孝弘とボーカリスト・稲葉浩志が織りなす、ダンサブルかつエモーショナルなライブにより、彼らの"STYLE"は明確なものとなってきた。松本がTMのバックミュージシャンだったという肩書きも、もはや煩しく感じるくらいの快進撃中！

●デビュー＝[アルバム] B'z('88年9月21日)、OFF THE LOCK（'89年5月21日）[ミニアルバム] BAD COMMUNICATION（'89年10月21日）[シングル] だからその手を離して（'88年9月21日）君の中で踊りたい（'89年5月21日）

●所属レコード会社＝BMGビクター

●所属事務所＝㈱シーズ

●ファンクラブ 〒106東京都港区六本木3－10－[illegible] カジワラビル4F B'zPARTY（ビーズ・パーティ） ☎03(479)4493

撮影●加藤正憲 ヘア＆メイク●野元まさなお

Q1 名前の由来を教えて下さい。
稲葉 稲葉浩志。
松本 父親と祖父の字を合わせて。

Q2 バンド名の未来を教えて下さい。
松本 語呂合わせ。

Q3 誕生日と生まれた所。
稲葉 S39年9月23日、岡山県。
松本 '61年3月27日。大阪府豊中市。

Q4 家族構成は？
稲葉 祖母・両親・兄。
松本 父・母・弟。

Q5 バンド内でなんと呼ばれていますか？
稲葉 イ・ナ・バ。
松本 松本サン。

Q6 小さい頃のあだ名は？
稲葉 いろいろ。
松本 まっちゃん。

Q7 身長・体重・靴のサイズ・視力。
稲葉 173cm・55kg・25.5cm・0.1。
松本 173cm・53kg・24.5cm・0.1くらいだと思う。

Q8 趣味。
稲葉 テニス。
松本 仕事。

Q9 特技は？
稲葉 テニス。
松本 特になし。

Q10 今、一番欲しい物。
稲葉 幸せ。
松本 休暇。

Q11 今、一番お金をかけているもの。
松本 洋服。

Q12 好きな食べ物。
稲葉 バナナ（青）。
松本 今はお好み焼。

Q13 嫌いな食べ物。
稲葉 納豆。
松本 かいわれ大根。

Q14 血液型と自己分析。
稲葉 AB。
松本 A型。わりと飽きっぽい。

Q15 癖。
稲葉 首の骨をならす。
松本 特になし。

Q16 尊敬している人物。
松本 自分の世界を確実にもっている人。

Q17 目標とする人。
松本 理想の自分自身。

Q18 最初に買ったレコード。（それはいつ頃？）
稲葉 フィンガー5『恋のダイヤル6700』小学校の時。
松本 ローリング・ストーンズ『Angie』小学校の頃。

Q19 最初に見たライブ。（それはいつ頃？）
稲葉 高校一年。ポリス。
松本 高校1年の時。ディープ・パープルの武道館。

Q20 好きな異性のタイプ。
稲葉 よい香りのする人。
松本 清潔感のある人。

Q21 来年の今頃どうしていると思う？
稲葉 歌っている。
松本 ギターを弾いてると思う。

Q22 もしも、ミュージシャンになってなかったら？
稲葉 他のことをやりながらも、歌ってると思います。
松本 考えたことないです。

Q23 愛読書。
松本 特になし。

Q24 よく見るTV番組。
稲葉 映画。
松本 お笑い番組。サスペンスドラマ。

Q25 好きな映画。
稲葉 バグダッド・カフェ。
松本 ホラー映画、スタローンとかのアクション映画。

Q26 行ってみたい所。
稲葉 世界の各地。
松本 NEW YORK

Q27 会ってみたい人。（故人でも可）
稲葉 ジョン・レノン。
松本 ジミ・ヘンドリックス、ジェフ・ベック。

Q28 ペットはいますか？ また、飼うとしたら何？
稲葉 ビーグル。
松本 いません。猫なら、アメリカンショート、犬なら、シベリアン・ハスキー。

Q29 あなたのフェバリット ミュージシャン。
稲葉 デヴィッド・カヴァーディール。T.T.D.、ジェフ・ベック。
松本 多過ぎて……

Q30 あなたのフェバリット・アルバム。
稲葉 T.T.D.の1st・2nd、「Ziggy Stardust」
松本 サイモン&ガーファンクル「GREATEST HITS」。

Q31 あなたのライバルは？
松本 自分自身。

Q32 デビューしてから、変わったこと。
稲葉 出逢う人がとても増えた。
松本 ギターを弾かない仕事が増えた。

Q33 サインってもらったことあります？（それは誰？）
稲葉 王貞治。
松本 野沢直子さん、コロッケさん。

Q34 メンバーと初めて会った時の印象は。
稲葉 いかした人だ。
松本 物静かな奴だなっと。

Q35 自分を動物に例えると？
稲葉 トラ。
松本 何でしょう？

Q36 今日のウォークマンに入っているカセットは？
松本 NFNF／T.T.D.。
松本 持ってないので…。

Q37 好きなスポーツ。
稲葉 野球、卓球、ボーリング、etc。
松本 テニス。

Q38 45分テープでオリジナル・テープ作って下さい。
松本 1.On the other Si

de〈kansas〉
2.Dream On〈AeroSmith〉
3.Life for taking〈Eddie Money〉
4.Fallin' Love With you〈GaryMoore〉
5.She's Mine〈Steve Deny〉
6.Alone Again〈Dokken〉
7.Nobody's fool〈Cinderella〉
8.Is this love〈WhiteSnake〉

稲葉 "Escape"〈Jeff Beck〉
"people Get Ready"〈Jeff Beck〉
"Drive"〈cars〉
"Dance Little Sister"〈T.T.D.〉
"Home tonight"〈Aerosmith〉
"Every Time You Go Away"〈Hall&Oates〉
"Starman"〈David Bowie〉
"Oh, Darlin'"〈The Beatles〉
"Stairway To Heaven"〈Led Zeppelin〉
"Need Your Love So Bad"〈Whitesnake〉

Q39 80年代はあなたにとって、どういう時代でしたか?
松本 良い意味で激動の時代だった。
稲葉 激動の時代。

Q40 90年代は、どういう時代になると思いますか?
松本 もっと良いことがたくさんあると良いですネ。
稲葉 さらに激動の時代。

Q41 バンド内でのあなたの役割は?
松本 Guitarist・Composer。
稲葉 Vocal-list。

Q42 将来の夢。
松本 音楽家として自他共に認められる一つのスタイルを確立したいですね。
稲葉 歌っていられること。

Q43 共演したいミュージシャンは?
松本 Rod Stewart

Q44 "教え"を乞いたいミュージシャンは?
松本 Jeff Beck。

Q45 休みの日は、何をしていますか?
松本 飲んでるか、寝てる。もしくはショッピング。
稲葉 街をブラブラ。

Q46 好きな漫画は?
松本 泉正之の"Groovin'"、"スキヤキ"
稲葉 豪華さんだ!!

Q47 よく買う雑誌は?
松本 特に決めてません。
稲葉 Days Japan。

Q48 生まれ変わるなら、いつの時代がいい?(それは何故)
松本 今が良い! だって幸せ過ぎるくらい良い時代じゃないですか。
稲葉 平成… ナウイから。

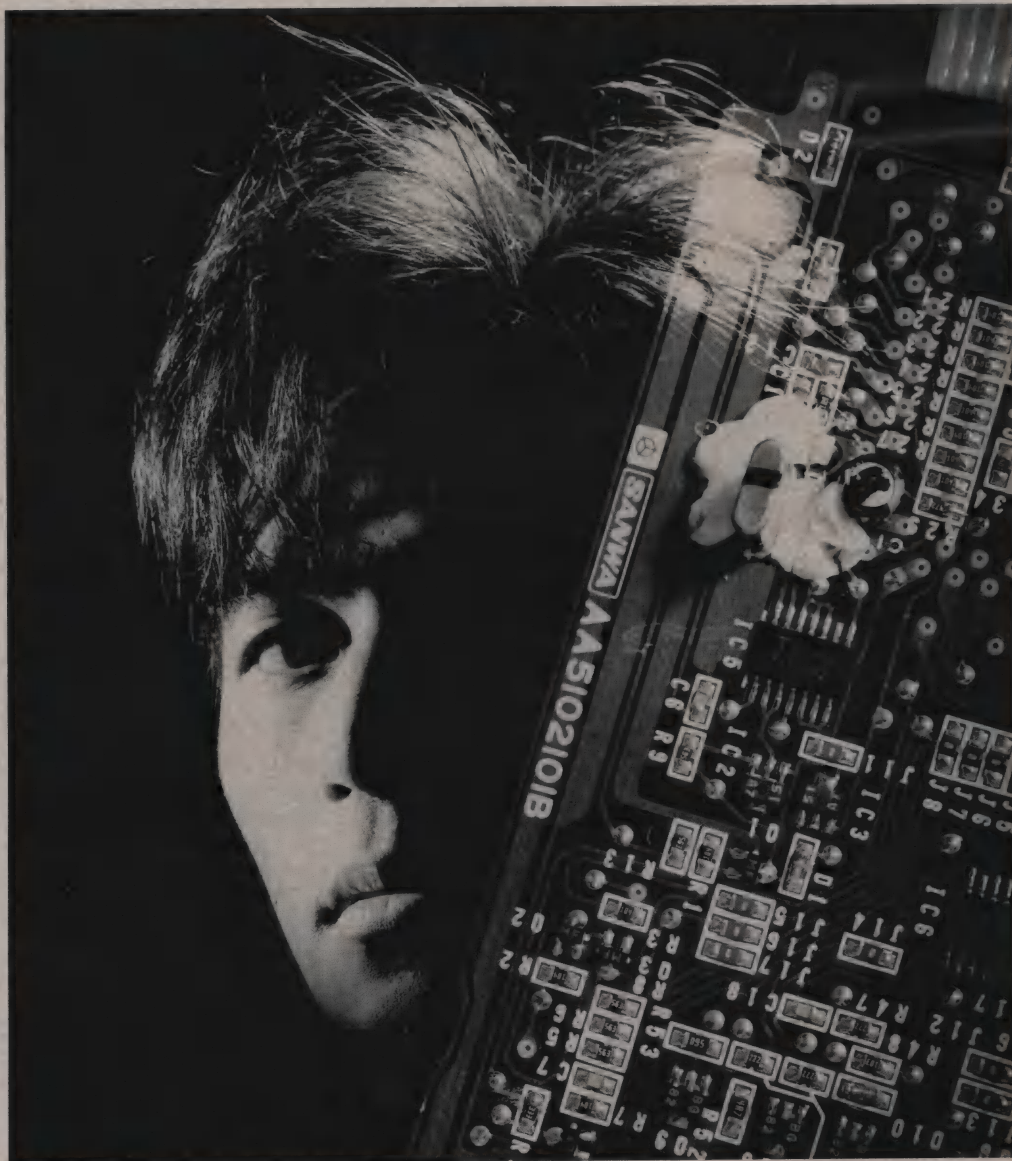
Q49 生まれ変わるなら、何になりたいですか?(職業、人物、動物、物、何でも可)
松本 松本孝弘。
稲葉 稲葉浩志。

Q50 あなたにとって、音楽(ロック)とは何ですか?
松本 仕事であり趣味。
稲葉 やすらぎ。

Q51 好きな数字とその理由。
松本 理由は無いけど"3"とか?

Q52 恋して、泣いたことはありますか?
松本 ある。
稲葉 ある。

Q53 90年代、音楽(ロック)はどうなっていくと思いますか?
松本 日本のロックって、今、歴史を創ってる途中だから、まだまだ進化していくと思うけど、時代は回ってるんじゃないですか?
稲葉 ソウルフル?

Q54 自分のパート以外の楽器をやりたいと思いますか?(それは何?)
松本 思わない。
稲葉 Guitar、Piano。

Q55 機嫌のいい時に、口ずさむ曲は?
松本 そんなの決めてる人いるんですか?
稲葉 しあわせの黄色いリボン。

Q56 最近、嬉しかったことは?
松本 今年、やっとB'zとしてのデビューコンサートができたこと。
稲葉 各地で『Live Gym』ができた事。

Q57 最近、悲しかったことは?
松本 松田優作さんが亡くなったこと。
稲葉 松田優作の死。

Q58 最も感動したライブは?(自他どちらでも可)
松本 モトリー・クルーを中野サンプラザで観た時と、ロンドンで観たミュージカル『オペラ座の怪人』
稲葉 LiveGym。

Q59 世間に対して、自分(とバンド)は、どういう存在でありたい?
松本 空気。
稲葉 心地よい刺激。

Q60 許せない奴って、どんな人間?
松本 勘違いしてる奴。
稲葉 睡眠を邪魔する人。

Q61 パチパチに対して一言。
松本 90年もよろしくお願いします。
稲葉 よろしくお願いします。

Q62 今年(89年)最大のニュースは?
松本 一つの時代が終って、新たな時代が始まったこと。
稲葉 OFF THE LOCK。

Q63 結婚するとしたらいつ頃?
松本 いつでも。
稲葉 今は考えられない。

Q64 好きな言葉。
松本 "束縛されないことが自由じゃない!"
稲葉 Oh yeah!

Q65 一番好きな歌(曲)は?
松本 多過ぎて…。
稲葉 Need your Love So Bad/Whitesnake(Slide it inのカセットにしか入ってないやつ)

Q66 最後に、何でも一言どうぞ!
松本 B'ye。
稲葉 つたない回答で、すみません…。

SOFT BALLET

ソフト・バレエ

●ソフト・バレエのサウンド……どんなタイプかと説明すると現在の日本のバンド・シーンにおいては無いタイプである。従来のテクノ系バンドの枠は完全に超越し、ビートはダンサブル。ソフト・バレエのビジュアル……ルックスは、ノンセクシャルで、どこか近未来的。ライブ・アクトにおいて、3人の不思議な動きは、見る者に強烈なインパクトを与える。常識の域を超越した森岡(Key、右)のファッションとアクション。対称的な静の藤井(Key、左)。そして、動静兼ねそなえた遠藤(Vo.)

●デビュー＝〔アルバム〕EARTH BORN〔シングル〕BODY TO BODY〔ビデオ〕JACK IN('90年1月25日発売予定)

●所属レコード会社＝アルファレコード

●所属事務所＝Bプロジェクト

Q1 バンド名の由来を教えて下さい。
藤井 遠藤に聞いて下さい。
遠藤 ドイツのバウハウスというデザイン学校がありまして、1910年代ですが、そこのバレエ顧問のオスカー・シュレンマーなる教授の作り出す世界が好きでありまして、その資料を残した本からインスパイアされて。
森岡 バウハウス(オスカー・シュレンマー)からインスパイアされて(リョウイチが)。イメージですね。

Q2 誕生日と生まれた所。
藤井 昭和40年8月17日。どこかの病院でした。
遠藤 1967年12月6日。東京。
森岡 昭和42年3月15日。東京。

Q3 バンド内でなんと呼ばれていますか。
藤井 フジイーマキ君。
遠藤 クール君。カリメロ。
森岡 ありすぎて憶えていない。

Q4 身長、体重、靴のサイズ、視力。
藤井 178cm。55kg。26.0cm。0.03～0.05とても悪いぞ。
遠藤 178cm。55kg。26.5cm。1.5と1.2。
森岡 170cm。54kg。左1.0、左1.0。

Q5 趣味。
藤井 釣りだったり写真だったり絵だったりオートバイだったりコンピューターだったり、極めて多趣味です。
遠藤 読書、映画、絵画。
森岡 映画、愛する人との時間。

Q6 特技。
藤井 岩登り。
遠藤 洋服が自分で作れる。
森岡 すべてが特技、すべてが苦手。

Q7 今、一番欲しい物。
藤井 ソファ。
遠藤 決められない。
森岡 第3の目。

Q8 好きな食べ物。
藤井 カニコロッケ。
遠藤 セロリ、アボガド。
森岡 インド料理。

Q9 嫌いな食べ物。
藤井 いちご、生魚。
遠藤 無い。

Q10 血液型と自己分析。
藤井 B。B型にしては多少Aっぽいかもしれない、と自分では思う。
遠藤 調べておりません。あまり外交的ではないようですが、弱そうに見えて実は強い。

Q11 最初に買ったレコード。(それはいつ頃?)
藤井 富田勲さんのやつ。(小学校5年か6年)
遠藤 トッカータとフーガ。(小学校の頃)
森岡 ビージーズ。(小学校6年)

Q12 好きな異性のタイプ。
藤井 猫っぽくふるまうアゴのとがった人。
遠藤 ついでに目が大きくないとやだ。(立場的に)年齢、男女関係なくフラットに付き合える人。自分を持っている人。互いに支え合える人。
森岡 パーフェクトな容姿、包容力がある、男性的。

Q13 もしも、ミュージシャンになっていなかったなら。
藤井 理系の人間になっていたでしょう。
遠藤 服飾関係。
森岡 この世に生まれていなかった。

Q14 好きな映画。
藤井 ブラウスキーの物は全て好き。「狂気の愛」「ポゼッション」etc……。
遠藤 「アラン・ドロンのサムライ」「サスペリア」「シャイニング」「エンゼルハート」「未来世紀ブラジル」「ベルリン天使の詩」「ミッドナイトエクスプレス」「ノスフェラトゥ」「注目すべき人々との出会い」。
森岡 「ブラジル」「ディーバ」。

Q15 行ってみたい所。
藤井 地底王国。
遠藤 チェコスロバキア。
森岡 宇宙。

Q16 会ってみたい人。(故人でも可)
藤井 かぐや姫。
遠藤 宇宙の人(自分もそうですが……)、グスタフ・クリムト。
森岡 過去の自分。

Q17 メンバーと初めて会った時の印象は
藤井 ちくしょー、美型だー、やろー、そのうちみてろー、寝てる間に毛そってやっかんなー。
遠藤 「変な奴だなー」と。
森岡 なんだコイツ?

Q18 今日のウォークマンに入っているカセットは?
藤井 ウォークマンってな奴は持っておりません。
遠藤 こわれてしまいました。
森岡 ウォークマン嫌いです。

Q19 好きなスポーツ。
藤井 剣道。
遠藤 SWIM。
森岡 スキー。

Q20 生まれ変わるなら、いつの時代がい い?(それは何故?)
藤井 江戸時代末期(幕末)。私が日本を変える。
遠藤 紀元前。ファンタジックだから。
森岡 今のままでいい。

Q21 生まれ変わるなら、何になりたい?
藤井 私は山になりたい。
遠藤 全ての真実が解る意識体。もしくはなるべく解る人物。
森岡 今のままでいい。

Q22 あなたにとって、音楽とは?

藤井　もう1人の自分。(こいつはダンボールに100枚単位でつめられて色んな所に送られる、イイナー)
遠藤　楽しい事。自己表現の一手段。
森岡　生きていく手段。
Q23　好きな数字とその理由。
藤井　2 or 4。デザイン的に見ても安定していて美しい。
遠藤　0 (ゼロ)。安定した数値。
森岡　0。無の状態。
Q24　機嫌のいい時に、口ずさむ曲は?
藤井　"グリン・グリン"
遠藤　特にない。(ソフトバレエではおそらく無い)
森岡　米米クラブ。
Q25　最も感動したライブは? (自他どちらでも可)
藤井　ジョイン・フォックスのやつ。(ケッコウ昔です)
遠藤　森岡選手と同じ。
森岡　プリンスの横浜スタジアム。S・Bの六本木インクスティック'88・9月。
Q26　許せない奴って、どんな人間?
藤井　押し付けがましい人。
遠藤　主義、主観の違いから人を傷つける者。私欲を満たす為、人を殺す奴。
森岡　押しつけがましい奴。
Q27　結婚するとしたらいつ頃?
藤井　私の計画では、すでに5歳の男の子がいるはずであった。
遠藤　わからない。
森岡　いつでもOK!
Q28　好きな言葉。
藤井　この悪魔!
遠藤　BORN。
森岡　LOVE&PEACE。
Q29　愛読書。
藤井　オートバイ。(A・Pマンディアルグ)
遠藤　安部公房、幻想文学類、カモメのジョナサン、リリス、アダムスキー、哲学書類。
森岡　クリシナムティ関係の本。
Q30　バンド内でのあなたの役割は?
藤井　あまり森岡が楽天的なサウンドに行かないように (別に行きたかったら行っていーよ) 私は私の道を行く。で、ガッチン、ガッチンなわけだよ。
遠藤　ボーカルの一言で……。
森岡　作曲家として、エンターティナーとして、色。
Q31　好きな漫画は?
藤井　パタリロ。
遠藤　手塚治虫。
森岡　藤子不二雄。
Q33　最近、嬉しかったことは?
藤井　特にないです。つまんないやつなんて思わないで下さいね。
遠藤　ツアー。ベルリンの壁。
森岡　少しづつ自由に、楽になれそうな気がする。
Q34　恋して、泣いたことはありますか?
藤井　そりゃー、こー見えても私は人間です。泣いたりもします。
遠藤　ある。
森岡　しょっちゅう、毎回。
Q35　あなたのフェイバリット・アルバム。
藤井　デコンポジション by SPK。
遠藤　特にないのですが、アート・オブ・ノイズの1stを33回転でエンドレスで聞いているのが非常に心地よい。
森岡　なし。
Q36　45分テープでオリジナル・テープを作って下さい。(アーチスト名・曲名)
藤井　1、SHAME (NITZER・EBB) 2、METAL DANCE (SPK) 3、COULD YOU? (HE SAID) 4、MOVE SEOUL (DESSAU) 5、SCHWINDEL (EINSTURZENDE NEUBAUTEN) 6、TESTURE (SKINNY PUPPY) 7、CRACK-DREAM-OVER-AGAIN
遠藤　アート・オブ・ノイズ1st。J・Sバッハ平均律。
森岡　「カーステディアフターヌーン」(ブライアン・イーノ)
Q37　80年代は、あなたにとってどういう時代になると思いますか?
藤井　苦難の時。
遠藤　良い経験でありました。
森岡　変動の時代。
Q38　90年代は、どういう時代になると思いますか?
藤井　人生、楽ばかり。
遠藤　物質からメンタルへの移行がふえると思われます。
森岡　開放の時代。
Q39　最後に、何でも一言どうぞ!
藤井　どうもありがとうございましたのでしたのたたた。うひょひょひょひょ。ひよこは屋台で売っている、いるかはどこで売ってんの?
遠藤　コンピューターが歩き出す。嗚呼、バラ色、バラ色……。
森岡　私を認めて! 人間として。

NEXT SCENE BAND 1990

GEN

ゲン

●まだ、デビュー前であるにもかかわらず、その知名度は異様に高いバンド"GEN"。でも、彼らの名前は知ってても、プロフィールについては知っている人はそう多くない。そこで"GEN"の現在に到るまでを、ザーッと紹介。16歳の時、ボーカルのげんは故郷の金沢を家出して、東京に来ました。新宿のツバキハウスというディスコで働きはじめました。夢は"歌うこと"、この夢だけを抱き、彼は4年間働きつづけ、曲を書きつづけました。そして、'88年に各ライブハウスのアマチュアバンドで活躍していた、中島、尾方、中村が、げんの呼びかけに答えて『GEN』を結成。本格的にバンド活動がスタート。そして、'89年2月25日、いか天（いかすバンド天国）に出演、2代目いか天KINGとなり、各関係者ロックKIDSの注目を一挙に集める存在となりました。その後、ライブ・ハウスを中心に活動、'90年にはメジャー・デビューも決定♪（'90年3月・ビクター・インビテーションから）

Q1 誕生日と生まれた所。
源 昭和42年6月18日 石川県金沢市。
中村 '68年8月8日 新潟。
尾方 昭和43年10月30日 大阪市。
中島 昭和41年9月20日 東京。

Q2 身長、体重、クツのサイズ、視力。
源 183cm、120kg、20cm、1.5。!?
中村 168cm、47kg、25cm、1.5。
尾方 166cm、50kg、25cm、2.0。
中島 170cm、60kg、24.5cm、左右0.2。

Q3 家族構成は？
源 父、母、姉、妹、ねこ1匹。
中村 父（司）、母（スエ）、祖母（ウメ）、妹（美加）、弟（基樹）、ネコその1（ミー）、ネコその2（マル）。
尾方 父、母、ばあちゃん。
中島 祖父、父、母、弟2人、犬。

Q4 趣味。
源 散歩。
中村 愛しあうこと。
尾方 釣り、街を歩く時女の子を鑑賞する事。消費税集め。
中島 くう、ねる、あそぶ。

Q5 好きな食べ物。
源 カレーライス、ハンバーグ、納豆、おでん、肉まんなどなど。
中村 白いごはんに納豆にみそ汁。
尾方 生野菜、肉……おなか一杯になる物。
中島 肉。

Q6 嫌いな食べ物。
源 グリーンピース、もち、おしるこ。
中村 なし。
尾方 日本菓子。
中島 パセリ、ブロッコリー、セロリ。

Q7 今、一番欲しい物。
源 自転車。
中村 新しいベース、ステレオ、ビデオ、ソファー、留守電、28インチのテレビ（重低音サラウンド）
尾方 楽器、マンション、彼女、オートバイ。
中島 バイク、ソナーのスネア。

Q8 血液型と自己分析。
源 A型だからへんぺい足。青竹ふみをふむと痛いです。
中村 B型。B型そのままで、ひとりの女性をこよなく愛す理想的男性像。Hです。
尾方 B型のさそり座。"がんこ"。
中島 A型。考えすぎ。

Q9 最初に買ったレコード。
源 ストレイキャッツ1st。中3の頃。
中村 エルビスコステロ「パンチ・ザ・クロック」中3の秋。
尾方 沢田研二。小2・3の頃。
中島 ゴダイゴ。小5か小6の頃？

Q10 好きな異性のタイプ。
源 かわいい人。瞳がきれいな人。
中村 髪が長くてきれいで、一見さわやかな服で、顔がいい人。しかし足が短いという、オチがある人。
尾方 あいきょうのある人。気をつかわなくても良い人。
中島 らしい人。

Q11 メンバーと初めて会った時の印象？
源 しげき「足が曲がってる」
中村「ベースがとてもヘタだなあ」
中島「ださい奴」だと思った。
中村 げん―彼は長髪だった。当時からガラガラ声で小さくて、しかし、おっかなかった。
のぶ―ただのよーきなメタルおやじ。
しげ―いかにも水商売風ウェイター。
尾方 源学―すごい声してるなと思った。
中村―こいつには負けたくない。
中島―大学を10年ぐらいいってる浪人生に見えた。
中島 げんちゃんはおとなしいやつと思った。中村は、おビートパンク。しげは、ひげがこいやつと思った。

Q12 あなたにとって音楽（ロック）とは？
源 はっきりいってかっこいいもの。
中村 ……。
尾方 音楽とはなんぞや。色んな事を一時的に忘れることができるもの。ロック→人の生き方じゃないでしょうか。
中島 人生。

Q13 世間に対してどういう存在でいたい。
源 みりょくのある人でありたい。
中村 定食のおしんこのような物でしょうか。
尾方 見ている側、見られている側、どちらの立場でもありたいです。
中島 個性。

Q14 最近嬉しかったことは？
源 電子ピアノを買ったんだけど、エーデルワイスを弾けるようになったこと。
中村 ツアーに出て、色々な所へ行けたこと。エクスタシーを感じた。
尾方 ドライヤーを買った事。
中島 北海道へ行けたこと。大阪のレコード屋さんがCDをくれた。

Q15 好きな言葉。
源 そぼく、素敵など。
中村 愛。
尾方 素直、愛。
中島 ありがとう。

Q16 行ってみたい所。
源 アンダルシア、シカゴ。
中村 スペイン。
尾方 アメリカ、イギリス、フランス、オーストラリアなど。
中島 リオ。

Q17 会ってみたい人物（故人でも可）
源 いい女。
中村 両親の若い頃。
尾方 家のなくなったおじいちゃん。
中島 マーク・ボラン。ピーター・クリス。

next scene BAND 1990

FUSE

フューズ

●「ホコ天」と言えば「FUSE」と答えが返ってくる、ホコ天バンドの代名詞的存在の彼ら。原宿歩行者天国での野外ライブでは、1500人と驚異的な動員を集め、レコード会社10数社によるメジャーデビューの争奪戦が行われた彼らも、いよいよ東芝EMIからのデビューが決定。スピード感のある8ビートを基調としながらも、日本語を自然体で乗せたポップなメロディ・ラインに等身大のメッセージを載せた楽曲。エンターテイメントに溢れるパフォーマンスは、見る人を思わず引付け、踊らせてしまう。ロックとアイドルの壁なんて軽〜くブチ壊してしまう'90年の台風の目。
●デビュー＝'90年2月デビュービデオ発売予定。
●所属レコード会社＝東芝EMI
●所属事務所＝セブンスエンタープライズ
●ファンクラブ＝〒150 東京都渋谷区神宮前2-11-6 ㈱セブンスエンタープライズ内『FUSE WORLD』☎03（403）9984

Q1 誕生日と生まれた所。
塩崎 '66年5月27日 愛媛県の病院。
門脇 '65年9月8日 岩手県盛岡市。
金原 '67年11月21日 長野県。
笹沼 '68年10月18日 埼玉県 蕨(わらび)市。

Q2 身長、体重、クツのサイズ、視力。
塩崎 177cm、51〜53kg、24cm、右0.04左0.3。
門脇 172cm、58kg、26cm、1.5〜2.0。
金原 172cm、61kg、25.5cm、左右1.5。
笹沼 186cm、62kg、27cm、1.5。

Q3 家族構成は？
塩崎 父、母、いもーと。
門脇 母、弟2人。みんなバラバラに住んでいる。
金原 父、母、妹、おばちゃん。
笹沼 おやじ、おふくろ、弟2人。

Q4 趣味。
塩崎 車をいじること！ ミニ・クーパーにのってるのよ！
門脇 読書。
金原 季節を体で楽しむこと。
笹沼 レコード集め。

Q5 今、一番欲しい物。
塩崎 ちいとめいせい！
門脇 車。
金原 おNEWの楽器。
笹沼 ショットのデッドストックの皮ジャン。

Q6 好きな食物、嫌いな食物。
塩崎 (好)—和食GO！GO！(嫌)—ならづけ。
門脇 (好)—なす(嫌)—なし。
金原 (好)—おいしい物(嫌)—特になし。
笹沼 (好)—チンジャオロース(嫌)—らっきょう。

Q7 血液型と自己分析。
塩崎 O型。わがままだと思います。
門脇 B型。いいかげんでこまかい。
金原 A型。世間一般のA型の性格。
笹沼 O型。スゲェずぼら、だらしない。

Q8 最初に買ったレコード。
塩崎 「燃えろいい女」(ツイスト)小学生。
門脇 アバのBEST。中1の時。
金原 KISSの『ALIVE』中2か中3？
笹沼 ベイシティ・ローラーズ、中1。

Q9 好きな異性のタイプ。
塩崎 西田ひかるにきまってる。
門脇 今つきあってる女。
金原 かわいいのが一番。
笹沼 やさしい子。

Q10 好きな映画。
塩崎 『さらば青春の光』が好きです。
門脇 『卒業』『カサブランカ』『風と共に去りぬ』『勝手にしやがれ』。
金原 映画見る時間がない。
笹沼 『ブレードランナー』『エイリアン』

Q11 自分を動物にたとえると？
塩崎 あひる。
門脇 すて犬。
金原 狼の皮をかぶった猫。
笹沼 ラ・ク・ダでしょ。

Q12 好きなスポーツ。
塩崎 野球。
門脇 卓球。
金原 スキー、テニス、野球、バスケ。
笹沼 スケボー、サッカー。

Q13 バンド内でのあなたの役割は？
塩崎 ボケ！
門脇 ガスパイプ。
金原 3塁コーチ。
笹沼 ……。

Q14 休みの日はなにをしていますか。
塩崎 そんなものはない！
門脇 さんぽ。
金原 お寝むり。
笹沼 買い物行ったり、ディズニー・ランド行ったり、寝てたり。

Q15 あなたにとって音楽(ロック)とは？
塩崎 たのしみ！
門脇 気持いいもの。
金原 快楽天国。ロックスタシー。
笹沼 なくてはならないもの。

Q16 恋して泣いたことはありますか？
塩崎 いつも泣いてる。
門脇 いっぱいある。
金原 あるある、がんがん。
笹沼 そりゃあります。

Q17 好きな言葉。
塩崎 "えっち"。
門脇 愛。
金原 気合！ やるじゃない。
笹沼 あたってくだけろ。

Q18 好きな数字とその理由。
塩崎 16。阪神の岡田がすきだから。
門脇 5。理由なし。
金原 1。1位、1番、君1人だけなんだよ。
笹沼 7。パチンコやりすぎて……ラッキー7。

Q19 会ってみたい人。(故人でも可)
塩崎 キース・ムーン(ザ・フー)。
門脇 ジョン・レノン。
金原 柴田英男。
笹沼 グレイス・ジョーンズ。

Q20 フェイバリット・ミュージシャン。
塩崎 ザ・フー、ジャム、ルースターズ。
門脇 ジミー・ペイジ。
金原 ジョン・ボーナム。
笹沼 マルコム・マクラーレン、ジョニー・ロットン、ビースティ・ボーイズ、ニューヨーク・ドールズ、パブリック・エナジー。

Q21 世間に対してどういう存在でいたい。
塩崎 舌を出していたい！
門脇 ランボルギーニ・カウンタック。

Q22 最後に、なんでも一言どうぞ。
塩崎 たのしーな。
門脇 ……。
金原 鳥になりたいよぉ〜。
笹沼 あたしは人生につかれた。

NEXT SCENE BAND 1990

GO-BANG'S

ゴーバンズ

●'85年、札幌より上京。カラフルでポップでキュートなステージは、男の子だけでなく、女の子も充分楽しめる。必見。
●デビュー＝［アルバム］ハッスルはお好き（CTのみ、'88年1月21日）、ゴーパッニックランド（'88年5月21日）、ピグミー・ピンキー（'88年11月21日）、SPECIAL"I LOVE YOU"（'89年5月5日）、SPECIAL EDITION THE TVショー）'89年9月21日）、［シングル］ざまぁカンカン娘（'88年4月21日）、かっこイイダーリン（'88年10月21日）、スペシャル"ボーイフレンド"（'89年5月21日）、［ビデオ］渋公スペシャル"SPECIAL I LOVE YOU"（'89年7月12日）

●所属レコード会社＝ポニーキャニオン

●所属事務所＝PCM

●ファンクラブ＝「CLUB GOBANIST」☎03（5389）4007（PCM内）

Q1 名前の由来を教えて下さい。
森若香織（以下森若） パパとママの趣味
谷島美砂（以下谷島） 特別に意味はないと思うけど、谷島という名字に美砂という名前があってるなぁと母と父が相談して決めた。
斉藤光子（以下斉藤） ――
Q2 バンド名の由来?
森若 映画「爆裂都市」のサントラから「バチラスボンブ」 LetS' the n Go-BANG バチラスボンブ!
Q3 誕生日と生まれた所。
森若 '63年12月11日。札幌・天使病院。
谷島 '63年7月26日。札幌市。
斉藤 '64年1月16日。札幌市。
Q4 バンド内でなんと呼ばれてますか?
森若 親方←うそ「香織」「ちゃっと」「あんた」
谷島 「ちょうさん」
斉藤 みってらん、おばちゃん
Q5 小さい頃のあだ名は?
森若 どらみ（高校生の時）
谷島 ・中学の頃は、お姉ちゃんとあまりに似ていたので『そっくりこちゃん』と言われていた。 ・高校生の時はなぜか『ぽんず』"ぽんずみさん"という歌まであった。いつか機会があったら、かおりに歌ってもらって下さい。今は『ちょうさん』です。
斉藤 みっちゃんみちみち。
Q6 身長、体重、靴のサイズ、視力。
森若 153cm 43kg 左23・右23・5
谷島 159cm あんまりない 23cm 2.0
斉藤 182cm 58kg 24・5 1・2
Q7 許せない奴って、どんな人間?
森若 うそつき、知ったかぶり人間 くら～い人
谷島 人をだますずる賢い人。
斉藤 うそつき。
Q8 今年の最大のニュースは?
森若 オリコン3位事件。
谷島 彼氏ができなかった。
斉藤 ゴーバンズが「笑っていいとも」に出たこと。へっへっ。
Q9 結婚するとしたらいつ頃?
森若 30代。
谷島 28才。
斉藤 32才くらい。
Q10 好きな言葉?
森若 「香織ちゃんが好き」「じゃあ、またね」
谷島 あそぼ!
斉藤 愛
Q11 一番好きな歌（曲）は?
森若 『O・K!』
谷島 バグダットカフェのテーマソング
斉藤 ん?
Q12 目標とする人。
森若 デボラ・ハリー。
Q13 最初に買ったレコード（それはいつ頃?）
森若 アグネス・チャン「草原の輝き」 小学生の時。
谷島 グレンミラー・オーケストラ（ライブじゃないか） 14才
Q14 好きな異性のタイプ。
森若 明るくて頭のいい人。音楽知識がたくさんある人。
Q15 もしも、ミュージシャンになっていなかったなら?
森若 やり手のOL。もしくはマンガ家。
谷島 歯科助手を続けていた。
Q16 愛読書。
森若 外来語辞典。
谷島 シートン動物記、日本むかし話、今読んでいるのはCWニコルのTree
Q17 好きな映画。
リトルショップ・オブ・ホラー ファントム・オブ・パラダイス ヘアスプレー バースト・シティ 男はつらいよ オズの魔法使い メリーポピンズ パリのアメリカ人 わたしは2才 etc
Q18 行ってみたい所。
森若 ケイト ブッシュの家。
Q19 あなたのフェバリット・ミュージシャンは?
森若 デボラ・ハリー ケイト・ブッシュ トレイシー・ウルマン
Q20 あなたのフェバリット・アルバム
森若 「ビジネスマンのための快適な睡眠のすすめ」のCD
Q21 デビューしてから、変わったこと?
森若 ショート・カットになった。朝まで起きているようになった。すきなバンドの人に会える♡
Q22 80年代は、あなたにとってどういう時代でしたか?
森若 ロックねいちゃん炸裂時代。
Q23 90年代は、どういう時代になると思いますか?
森若 ロックねいちゃん爆発時代。
Q24 バンド内でのあなたの役割は?
森若 司会進行 ネタづくりの素
Q25 あなたにとって、音楽（ロック）とは?
森若 自由、伝統をやぶるパワー、愛。かっこイイ。
Q26 バチ▼バチに対して一言。
森若 90年は、GO-BAGS'をたくさん載せて下さい。エヘへ。
谷島 もっと、ゴーバンズをのせるべき!
斉藤 ゴーバンズがあまり載ってない。
Q27 将来の夢。
森若 ①多くの人に愛される曲を作る。②デボラ・ハリーに会う。③高級マンションの10階に住んで、夜景を見ながらワインを飲む。（2年間）パリかロンドン。④外国に住む。
Q28 最後に一言!
森若 サンキュー・ベリアッドネス!

噂の4方山 会議室より愛をこめて スペシャル

NEXT SCENE BAND 1990

●1989年——。数多くのいろいろなバンドがデビューしました。オリコン・ヒットチャートをロックがにぎわせました。ブラウン管には、たくさんのバンドが映し出されました。本屋さんの店頭には音楽誌が所狭しと並びました。そんな1年がもうすぐ終わろうとしています。そして——1990年。世紀末にはいつもムーブメントがあったと、あるバンドのボーカリストは話してくれました。来年も、好きなことをリアルタイムで感じられたら…そんな願いをこめて。

1年が過ぎちゃった

イトウアキ(以下イ)今年も残すところあとわずか。何をしたか分からない。なぁんか"狂市♡"とか言って1年が過ぎてしまったような気がする。

えがちゃん(以下え)確かに。(笑)あんまり早すぎて、まだ気分は夏。

芳賀さん(以下芳)イトウアキ、取材行くぞ。

(イ)あ、はい。ほんじゃ、取材行ってくる。後で復活するから。ゴメンネ。

宮野シコ(以下シ)というわけで、イトウさんはいなくなり、2人だけになった。

(え)なーんか、ホラーみたいね。ま、いつも一緒の2人が今年を語るなんて、これも何かの縁かしら♡

(シ)イヤだ。(笑)ま、でもライブには結構一緒に行ったよね。1番最初に2人で行ったのってKUSU KUSUだっけ?

(え)そう、そう。2人でインクスティック芝浦も行った。でも、まだ本当の私を知らないな、君は。うふふ。

(シ)何言ってんのかしら、この人。大王バンドが好きなことぐらい知ってるわよ。あと大酒飲みだってことも。♬そうさ、俺はヘビードリンカー♬

(え)やめてー。(野沢直子化する)

(シ)やめない。でも歌詞知らないからやめる。

(え)なんだぁ。やってみろ、ほれっ。…どうだ、できないだろぉ。なんだか急に、意地悪になっちゃった(笑)いやいや、私がライブで切れちゃった時のことを知らないでしょってことだよ。

(シ)そんなのはお互い様でしょうが。(笑)悪いけど。自分のした事忘れるよ私は。

(え)同じく。でも、去年のスタイルのBUHi♡BUHiのイトウさんのコメントに、「暴れてるわけじゃありません」ってあるし。やっぱり暴れるんだろうか、イトウさんも。

(シ)うん。私はポコチンロックファイナルでレピッシュの時に、実態を見た(笑)

(え)やっぱり。イトウさんてば、レピッシュに行っても感想は、「狂市がねぇ…」だもん。ということは、狂市しかみてない。

(シ)あ、でもこの前は、マグミの踊りのことも言ってたよね。うー見たかったなぁ。

(え)イトウさんの話聞いてると、絶対に実物を見たくなっちゃうよね。…あ、これからライブに行くの。じゃあ、ごめんね。

(シ)げ♪ ほんとに私だけじゃないの。じゃ、みんなが戻ってくるまで、テープ起こしでもしようっと。気をつけて行ってきてね。

(え)ま、まずい。テープ起こし終ってない。それでも行くっ。

(シ)バイバイ。…よし集中してやろう。

——数時間後——

(イ)イヤァ、KUSU KUSUの4人は楽しいわ。若いし。いいよなぁ、若いって。アレ? 霜田、シコちゃんとえがちゃんは帰っちゃったかい?

霜田桂(以下桂)うん。

(イ)ほんじゃ2人で話の続きをやるべか。

(桂)え、え♪ 霜田は①月号のパチ▼パチ・ランドが……。

(イ)ど、どうしよう。誰かヒマな人…ヒマな人、ヒマな人。…あ、藤本さん……。

藤本さん(以下藤)イヤ、オレは忙しいし、ゴトちゃん(デスク)としか対談しないから。

(イ)ゲゲ。そうかぁ、この時期にヒマな人なんているわけないよなぁ。そして時間は過ぎていく。……ヒマな人…ヒマな人……イヤ、手のあいてる人、手のあいてる人…。ア、芳賀さんがいた。

(芳)オレはヒマじゃない。

(イ)でも、一緒に対談してよ。

(芳)でも、オレはヒマじゃない。

(イ)あたしだってヒマじゃないのに。だから一緒に対談して。芳賀さんじゃなきゃダメなの。

(芳)おとといKONちゃんと、朝までBUCK-TICKの対談やってて、精根尽き果ててるんだよ。じゃ、ローソンでカレーラーメン買って来てくれるならやってやる。あ、ついでにマイルドセブン・スーパーライトも。

(イ)やだ。他の条件出して。

(芳)……オツカレサマー——。

(イ)(焦る)。だって今、真夜中の2時よ。暗闇で襲われたらどうしてくれるのよ。キティの宣伝の中野屋さんみたいにゴリラの真似して危険をきりぬけることなんてできないもん。ねぇ、ねぇ。

脈絡のない展開に何人の読者がついてきてるんだろう・・

(芳)お前…自分の姿を鏡で見たことあるのか？ 真似なんてせんでもよい。今の総理大臣も知らないクセに。

(イ)いくらあたしが狂市のファンだからってゴリラよばわりせんでもええやないか。まったく…しようがないなぁ。私は大人だから行ってきちゃる。だから、真面目に対談して下さいよ。

(芳)ふーん…。リクルート前会長の名前もしらないのに〝大人〟ねえ…。じゃあ買ってきて。

(イ)ん。(←素直) 絶対だよ。

(芳)でもヘッド・バット行って来てから。(と言い残し立ち去る)

(イ)え…。じゃあ、帰ってくるまで根田さんに遊んでもらおう。

(イ)根田さん(以下(根))遊んでもらおうって、あたしが遊んでって言わなきゃ振り向いてもくれなかったくせに。

(根)それは根田さんがTHE BOOMのMIYAにあまりにも夢中だから。

(根)もちろん。

(イ)どこが好きなんですか。

(根)クライところ。

(イ)け…けなしてどうするんですか。

(根)いや、これでもほめてるつもり。つもりでも他の人にはわからないらしい。どーしてなんだろう。

(イ)なんででしょうね。

(根)MIYAくんはね、あのクラサを何の臆面もなく素直に表してるでしょう。フツーだったら、ミョーにひねくれてムリに明るくしちゃったりするのに、そういうことしてないから、うん、好きだなあーと思うわけだよ。でも、ステキなのはマグミくん♡

(イ)カッカッカッ(←マグミ風) なるほど。それがTHE BOOMっつうバンドの魅力でもあったりするんでしょうね。でも、私は右…あ♪ TAKASHIくんのギターの音色も好きなんですよ。でもやっぱり狂市さんだけど。(笑)

(根)そりゃあ狂市はいい男だけど、今はMIYAくん。なんつったって、さっき本人を見にいってきたばっかりだから。

(イ)ず、ずるい。〝釣りに行こう〟って言われたら、たとえ日本海の荒波の中でも行っちゃうでしょ。今なら。

(根)しかも、冬の玄界灘にでもいける。いけるが、そんなとこで釣りにいこうっていうバカはいない。(笑) ああ、でも、気球に乗るなら、釣りの方がいい。

(イ)しかもオレンヂ・ジュースを飲みながら。

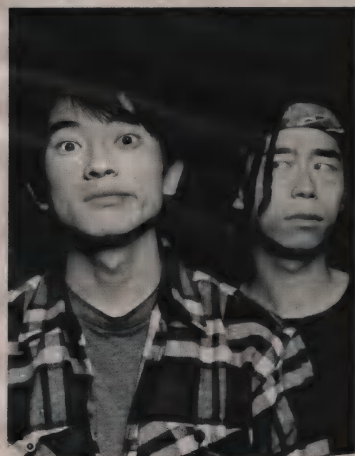
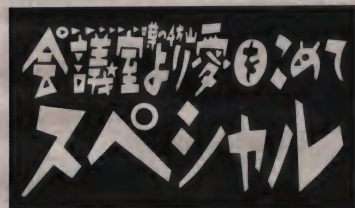
(根)で、他に心にグッとくる人はいますか。

(根)えっ、MIYAくんの他に!? (←しつこい) そうだなあ、真心ブラザース。ビーズ。そしてカステラ。'89年度の新人賞はこの人たち。(キッパリ)。

(イ)あ、すごく嬉しいそのフリ。んで、新人賞のキメテは？

(根)うたごころ。そして、ポップな芸風。そして、ルックス。

(イ)なるほどぉ。私はTHE MINKSかなぁ、やっぱり。あとデビューかどうかは分かんないけど、KUSU KUSUとか。

(根)うーん、まっ、そういう人達もいる。あっ、忘れてた。フリッパーズ・ギター。この人々はヨイ。

(イ)みんなイイっていうなぁ。

(根)イギリスもののポップスの好きな人は、ついついなごんでしまうでしょう。でも、今私の心をなごませてくれるのはMIYA。

(イ)もう、ぐるぐる回ってばっかりだったりして。(笑) ズバリ、今1番逢いたい人は？

(根)そりゃあーもー、MIYAくん。でも、逢えない時間が愛を育てるから…。

(イ)コ、コンダさんがとまらない。

(根)こんな自分がいやだ、とわかっていながら止まらないのは、今が午前4時だから。

(イ)そんな時、聴きたくなるアルバムはありますか。(←すごく強引)

(根)そこまで強引に持っていこうとするなら協力してあげよう。しかし、この、なんの脈絡のない展開に、はたして何人の読者がついてきてるのだろーか。ハッキリいって楽しいのはイトウアキと私だけじゃないか。

(イ)そ、そうかなぁ。そうですか？ しかしまだまだ先は長く険しい山のようです。山は神聖なものだから、読者のみなさんも頑張って征服してくれるはずです。だから大丈夫です。いくら頭がMIYAくんでも。

(根)オーケーオーケー。みんな、夜は長いぞ。

(イ)でも、気は短いかも。

(根)そういう人は読まんでもいい。

(イ)そうですね。じゃ話をすすめませう。眠れぬ夜のためのBGM。

(根)うーむ、そーか。眠れない夜は、夜は、うーん夜はねえ…『からくりハウス』をジックリきくっつーのがいいかも。「FANTASY」とか、夜、一人で部屋できくとね気持ちいい。…あっ、私って、クライ…。

(イ)じゃ、MIYAにピッタリじゃないですか。(←し、しまった。話をふってしまった。どーしよう)

(根)そんなに私にMIYAの話をさせたいわけ？

(イ)イヤ、夜長に聴くには「サイレンのおひさま」もいいかな、と。

(根)あのオープニング、いいよなあ、マッドネスのライブっぽくて。夜長には向かないけど。夜はフォークものですね、やはり。真心ブラザーズはって、そっちに話をもっていこうとしたけど、彼らはアルバムなかったんだ。シュン…。

(イ)そ、そんな根田さん元気を出して。〝うまくは言えないけど〟。

(根)……フォローがうまくなったわね。

(芳)ただいま…あれ、誰もいない。タケちゃん、みんなどこ行ったの？

(竹)ローソン行ったみたいですよ。

(芳)まだローソン行ってんの？

(根)あ、ハガちゃんがいる。

(芳)…んっ。

(根)ハガちゃんが書いてる。GO GO ハガちゃん。

(芳)話、どこまでススンでんの？

(イ)ススムもなにも…。別に系統だてて進行してるワケじゃないから。

(根)イトウアキがヘン。

(イ)じゃ、芳賀さん約束通りに始めましょうか。

(芳)飽きたからやめる。

(イ)んげげ。根田さん。もう少し遊んでくれますか。(嘆願)

(根)チェッカーズの原稿ができなくてもいいのなら。黒木、ゴメンネ。

(イ)ヒューン。今、朝の5時。もう12時間ぐらいしたら、えがちゃんもシコちゃんも来ると思いますんで。

(根)ハァー、ここんとこ毎日こんな生活。

(イ)そろそろ心も体も休めたい。

(根)やっぱり心を温めると言ったら愛でしょう。

(イ)ダ、ダメですよ、根田さん。またドウドウメグリになっちゃあ。

(根)メビウス筆談。

(イ)(爆笑の雨、アラレ)

(根)そんなに眠いか、イトウアキ。

(イ)はい。この山はなかなか登れなくて…思わず冬眠してしまいそうです。根田さん。

(根)ねちまえ、ねちまえ。

(イ)ぐっすり。

(根)んで、〝また来年ね〟って終わっちゃうの。

(イ)スペース余りまくり。

(根)計算用紙だ、計算用紙。

(イ)(大爆笑の渦)

(根)分かった。イトウアキなんでも好きなこと書いて。

(イ)もう、テーマは読者をどこまでおいてきぼりにするか、ですね。

(芳)はい。ふたたび登場。フッチーと渋谷で屋台のラーメン食べてきちゃった。

(イ)じゃ、芳賀さん今度こそ逃げないで筆談して下さいよ。そうじゃなくても、根田さんの原稿を遅らせている私なのに。

▶やることなすことが、まさに旋風的だった'89年のレピッシュ。来年も彼ららしい活躍に期待がもてる。

▶'89年デビューした THE BOOM。自分たちらしいしっかりしたベースは、来年も続きそうである。

▶美しいメロディーライン、軽快で時に切ないサウンド、だけど少々ひねたフリッパーズ・ギター。

会議室より夢をこめてスペシャル

▶ザ・真心ブラザーズ。久々のフォーク・デュオのデビュー。歴史は2度くり返されるのか？

テーマは…テーマは決まっているから大丈夫。（笑）

（根）そんなことはないの。私の頭の中はMIYAくんで一杯だから、MIYAくんのせいなの。

（イ）ア、またやばい、やばすぎる。これは、芳賀さんにふろう。隣でTYO読みつつ、森高千里と大江千里を勘違いしてたりするからいいだろう。芳賀さん…芳賀さん…芳賀さんって言えば、やはりBUCK-TICKだろう。12月29日BIG EGGにむけて。（笑）

（芳）う——む…。実はこの日、呼人くんと約束があるんだけど…でも結局ドームに行く。いや、ゼッタイ行く。オレの予想では、オープニングは御存知「ICONOCLASM」だとズバリ断言しようっ!! いやマテ、「EMPTY GIRL」かもしれない…。

（イ）そう言えば、今年1月の武道館ってめちゃくちゃカッコ良かったもんなぁ。セットもシンプルだけど大がかりだったし。

（芳）どっちなんだよっ!?（笑）

（イ）眠くてわけ分かんなぁ〜〜〜い。

（芳）（笑）、あれは大がかり。シンプルではない。でもまあ、んなこたあどーでもいい。

（イ）それよりもBUCK-TICKと言えばニューアルバム『悪の華』。あのサンプルテープ、芳賀さん貸して。

（芳）いや、ありゃ子供には毒だ。だって文字通り『悪の華』だもの。

（イ）甘い。芳賀さんが渋谷でツルツルッとラーメン食べてる間にもう既に探索しあてて聴いちゃったもん。

（芳）ふ——ん。

（イ）ねぇ、アッちゃんって歌うまいのかなぁ。1曲目って、どうしても音程とかが分からなかった。

（芳）ありゃ、バッキングとボーカルがほぼ無関係に進行しとるんよ。リズムも全く別々。まあ、アルバムの話はこのへんにしとこう。これから聴く人に最大限の楽しみを残しといた方がいいじゃん。

（イ）流石（さすが）、大人。それじゃあ、みなさん期待してて下さい。——これじゃ、終わっちゃうよ。

（芳）ああ。

（イ）じゃあ、レピュッシュのこと教えて。（自分が好きなもんだから強引）

（芳）れぴっしゅ…ってなあに？

（イ）あんたの担当でしょうが！（怒）どうして、またそうやって意地悪言うのよ。くすんくすん。

（芳）レピッシュの何が聞きたいワケ？

（イ）え〜 プライベートなことでもイイの？ ……ウッソー。あのね、やっぱりレピッシュって今年すごかったと思うんだ。今までに日本のバンドとしてはなかったような音楽とかをこんなにメジャーにしちゃったし。あ、あたしが知らないだけなのかもしれないけど。恋なんて盲目だから、他のことはあまり見えなくなるの。

（芳）そのとおり。恋は盲目だ。うむ…レピッシュに関してはあまり多くを語りたくないなぁ…。とにかく彼らを追いかけて旅ばっかりしてた気がする。それ以外のことはとりあえずノー・コメント。ダメ？

（イ）…くすん。うるうる。

（芳）泣いてもダメ。■

（イ）そうか。でも、去年の暮れから今年にかけてのレピッシュってやっぱり私の中では1番だなぁ。『KARAKURI HOUSE』も死ぬほど聴いても飽きなかったもんなぁ。あと、狂市さんの「胡蝶の夢」のアクションと「歌姫」のギターソロも頭にこびりついて離れなかった。だから、なんか少しだけ教えて欲しいなぁ。

（芳）オレよりイトウアキの方がレピッシュのことを語ってるじゃないか。まさに恋は盲目は内容だし。これ以上、何を聞こうというのだ？

（イ）でもさ、芳賀さん。芳賀さんってさっきから受け身ばっかし。私が話をふるのにどれだけの脳みそを使ってるかなんて、全然おかまいなしでしょ。

（芳）わかった。オレに何を望む？

（イ）私をいじめないで。

（芳）いじめてるつもりはないんだがなあ…。

（イ）芳賀さんがあんまり私をいじめるもんだから帰りたくなっちゃった。

（芳）よしっ!! 続きは明日だ。オレもまだ校了が残ってる。オヤスミ。

（イ）♪団地の公園昼下がり…♪ アァ。レピッシュの「おやすみ」を子守唄にして眠ろう。読者のみなさんは全然関係ないけど、とりあえず、また明日。ぐー。

——そして次の日——

（え）聞いて、聞いて。あ…まだ誰もいない。いい、でもしゃべりたい。きのうね、えへへ…ほーじんが、かっこよかったの。あ、黙ってると、顔がゆるんでしまう。エヘヘ。でも、ほーじんてば、ナゾの東洋人みたいなの。髪も短かかったし。あ、2月号「会議室〜」に載るから見てよん。

（シ）お早よう。もう夕方なのにお早よう。あ、何ひとりで笑ってんの？

（え）エヘヘ〜。（と、ほっとくと危険な状況におちいっている）

（シ）ほっとこ。…えがちゃん、えがちゃん、イトウさんまだ？

（え）うん。まだ。きのうKUSU KUSUの取材だったんだよね。どーだったんだろ。

（シ）KUSU KUSU KUSU…まだCD聴いてない。聴きたいなぁ。

（え）うん、うん。アッ、イトウさんだ。

（イ）ボーッ。ア、座談会の続きやってる。私もまぜて。

（シ）いいですけど…そのトレーナーなんですか？ 裏返しですよ。

（イ）ボケてるなぁ、相変わらず。いいんだ、これで。ほっといて。心も体もボロボロなんだから。加えて、昨日THE MINKSのTV見るの忘れちゃってガッカリしてんだから。（実は、あまりしてないかもしれない）

（え）きのう、コンスケのことで、イトウさんが電話くれた時、やってたのにぃ。♪レディステディ・レディステディ〜ってうたってたけど、どこがそんなに好きなの？

（イ）なんだか、私より強引だなぁ。そんなにまとめたいなら、まとめましょう。まず、LIVE。それから頭は良くないけど一生懸命やってるところ。最初は〝なあんだぁ〟とかコイツラ、くさいことやってんなぁ〟とか思ってたんだけど、それが本当にてらいのない自然な姿だったから。あたしなんて、ひねくれている人間の部類に入ると思うからさ。昔人間のバカ正直4人組には新鮮ささえ感じられたもの。あとね、やっぱりまっちゃんのギターがキャッチーで好き。

（シ）出た。イトウさんのギタリスト好き。私もMINKSは好きだなぁ…。

（え）ふーん。私ってば、TVでしか見たことないの。ブラウン管からじゃあ、やっぱり、伝わらないよね。うん。私は今年、とってもそれを強く感じた。（と、ちょっとマジメ）

（イ）ブラウン管と言えば、やはりレピッシュのCM。

（シ）それを言うなら、（チェ）のCMでしょう。例え誰が何と言おうと、（イトウさんがイライザと言おうと）私は尚之さんが好きなの。あ〜、ブドーカンか♡

（え）ほぉ。じゃ、あの原宿駅のカンバンは、どうしてくれるの？

（シ）くれるって言うなら、もらうわよ。ムリヤリ4畳半の部屋に入れてやるわよ。

（イ）でもKENWOODのCMはレピッシュの方が先。たとえ0・5秒足の裏でも。

（え）（大爆笑）この2人は、いつも泥沼化の傾向がある。しかも、誰にも止められない。

（シ）えがちゃんが止めらんないならこのコーナーはどうなるの？ ねぇイトウさん。

（イ）テーマは決まっているから大丈夫。（笑）

（え）ここまで何人がついてこれてるのかなぁ。

（イ）やめよう、考えるのは。そして話をススメよう。（すでにダンドリくん化している）

（シ）よし。私はこの間ジッタリン・ジンのライブを見て、入江ちゃんのドラムに鳥肌立

▶いい意味でも悪い意味でも話題にコト欠かなかったBUCK-TICK。ドームで華々しく復活。

▶たて続けにヒットをとばしたBAKUFU-SLUMP。来年もいい歌を歌っていってくれるだろう。

会議室より夢をこめてスペシャル

▶知らぬ間にデビューしていたTHE MINKS。思い込みの激しさは天下一品。来年に期待大、だ。

▶この人たちぬきでパチ▶パチは語れないチェッカーズ。そろそろアップテンポのシングルが聴きたい。

バンドが増えると自分の好きなものがはっきりしてくる

てた。すごく上手いんだもんなー。あ、中山加奈子化した竹内さんだ。竹内さん、プレゼンスはやっぱりおんちゃんですよね。
(竹)なーにいってんだよんよん。霜田は原稿書いているのに。そのギャグひとつで、眠い目もビックラゲーションよ。そんなことより、やっぱり長髪。ZIGGYでしょ(愛は四分割)SHADYでしょ、あとレジスタンスもいいよ〜ん。あとは、期待のバンド、GRAND SLAM(レジスタンスとGRAND SLAMが見たい人は、12/27売パチロクを見よ!)他にはねぇ(もう止まらない)やっぱ外タレだけど、この間見たし、A・GUNSは超良かったわ♡トレーシ〜♡てなわけで、キリがないので、そろそろ失敬(エースをねらえの藤堂さん風に…誰が知ってんだよ)といって、おちないまま帰る私……。
(え)あー、竹内さーん。あっ霜田だっ…あ、また行っちゃった…。♪君と僕はいつでももう出会っているのさぁ〜
(シ)はい、BGMは高野寛です。竹内さんっ。12月27日だとか、長髪だとか、尚之さんのことじゃないですかぁ。(寝てないので変)
(え)そっちにもってくかぁ。でも、高校の時は、ずーっと12月27日はブドーカンにいた気がする。でも、トオルのファンなの。
(シ)私はみんな好きよ。みんな人間味があってあったかくって…フフフ。
(え)シコちゃんが変だぁ、誰かぁ(さっきは自分のほうが変だったのに、もう忘れてる奴)人間味があって、あったかい? そりゃ河合さんに決まっとろーがぁ。今年、一番最初に話した男の人は、河合さんなの♡
(さりげなく鼻高々)
(シ)バキッ。鼻折ってやる。
(え)いたたっ。
(シ)私なんて会ったときも、話したこともないやい。あ、でも文字ツーショットには、なったよ。(誰にもわかるまい)
(え)なんだぁ、そりゃ。
(シ)そりゃー教えられん。
(え)教えてよー。…いいもん(立直り早いっ)あれっイトウさんてば、ゴトちゃんのフトモモ(こう言った、イトウさんは)を枕にねてる。まだまだ続くわよぉ、夜は。でも、もう帰んなきゃ、私。90分テープ聴いて帰ってもテープが先におわっちゃうの(笑)遠いの💧ああ、都内に住みたい。
(イ)お早う。ラーメン食べたい。
(ゴ)さ。あたしはソフトバレエ聴きながらギャラ伝やろう。
(シ)えがちゃん帰る? 私も帰る、イトウさんには、寝てた分いっぱい書いてもらおう。
(リ)何、お前寝てたのか? 人が筋少の5人相手に笑い転げてる間に寝てたのか。さぁ、今日も夜は長い。徹夜だ、徹夜だ。
(イ)だから、説明もなく乱入するのはやめてちょうだい。→はパチ▼ロクの大庭リバです。こいつは今、幸せだからこのままにしといて。ちゃんと話をススメよう。そろそろ夜も明けるから、私はマジメになるぞ。テーマは、BAND1990。
(シ)マジメになるぞって、イトウさん、今まで寝ててそれはないでしょう。忙しい時は布団で寝たら最後ですよね。私は昨日、久しぶりに寝れました。あぁ!これで学校がなかったら……。あれ? イトウさん、学校は…は?
(イ)ある。行ってきた。
(シ)それだけ? それじゃ、早くフッて下さいよ、バンド1990について。
(イ)今、気になるバンドはいますか。
(桂)木になるバンド? このォ木なんの木気になる気になる♬ 霜田も早く布団で寝たい。今日は倉庫で寝ましたからねぇ💧まともな生活がしたい。これじゃ恋もできない。テープおこし残ってるから、じゃ。あぁ、家に6時間くらいいてみたい…。
(イ)なんでみんなで脱線させんの。(泣)シコちゃん。今、気になるバンドはいますか。(こうなりゃ、何度でもフッてやる)
(シ)ここで私がボケたら殺される…。冗談の通じる時間じゃないもんなぁ(PM11時)。今、気になるバンド。そうだな、なんだろアンジーとか…PARISITEXSAXとか。あと、タイマーズでしょ、カステラでしょ、レピッシュ、ニューエストモデル、THE BOOM、FUSEetc……そして、チェッカーズ。
(リ)私のいち押しは、なにがなんでもピーズだな。
(シ)ピーズもいい。テープありがとねリバ。
(リ)でもね、CDの方がいいバンドなの。ギターの音が強くなってて、メスカリン同様CDオススメ、だけど、この2バンドともわがまま言ってアナログ出してんだよね。こだわりのあるバンドほど、いい物ができるって事だよね、シコちゃん。
(シ)じゃ、今度CD貸してね。…というわけで、こんなもんでどうでしょうイトウさん。
(い)イトウさんって誰? イトウアキの事? なんだか偉い人みた――い♡
(イ)この頃、コイツは可愛くない。(笑)仕事しろ、仕事。私もカステラを聴きながら対談するから。
(シ)あ、カステラ聴く、聴く。
(イ)この『世界の娯楽』はよく聴いたなぁ、今年。「安くなる」のホーンとかがすごく気に入ってさぁ。あと「アイマイ家族」も好き。パチ▼ロクの取材でフクダくん(Dr)にインタビューしたけど、なぁんか淡々としてておもしろかったなぁ。
(シ)「アイマイ家族」は私も好きだよー。ちょっと前に家の近くで、自転車に乗ったトモ君に会った時は、普通っぽくって嬉しかった。金髪だけど。
(イ)ゴトちゃんみたいに、ハルくんと区別つかなかったなんてことはないよね。(笑)
(シ)そんなことはない…と思う。いやぁ、でも今年はいろんなバンドを知ったなぁ。去年の今頃なんて、なーにも知らんかったもん。(ってマジメだわ)
(イ)んで、そのバンドって?
(シ)前記したバンドでしょ。あとは…ブライベイツとか筋少とか。ほら、去年ってパチロクでミーハーカップやってたでしょ、その集計で。今年もあるけど今年は去年よりは、ずっとラクだ💧
(イ)なるほどなぁ。もう黙ってても情報が入ってくるようになったもんね。TVのイカ天とか。一般誌なんかもどんどん特集組んだしね。
(シ)お金かからんしね、テレビとかって。私もイカ天は見てる。新しいバンド知る努力って、それぐらいしかしてない。でも最近はつまらん。どうしてあんなにつまらないんだ。"だま"は、好きだけど。
(イ)うーん。でもこれだけ増えると自分の中でバンドを選ぶっていう作業がでてくるじゃん。そうすると本当に自分の好きなものが分かる……とか最近思うなぁ。
(シ)そう。私も聴かなくなったバンドってい るもん。最初どんなに好きでも、曲がよくても、楽しくやってない(ように思える)バンドって聴かなくなっちゃった。
(イ)そうか、逆に嫌いだったけど好きになったのってある?
(シ)そうきた? 困るな…イトウさんは?
(イ)え💧 KATZE。1STアルバム聴いて"つまんねぇな"とか思ってたんだけど、ステージ見て考えが180度転換しちゃった。
(シ)あぁー。曲は聴いたことないけどKATZEの人達は好き。あと、最初は嫌いだったけど、話聞いてるうちにBUCK-TICKっていい人達なんだなって思った。
(イ)に…人情に走るなぁ。(笑)
(シ)うん。やっぱり人柄が大事。
(イ)いい人柄でいいバンドになる、と。
(シ)うん。私はそう思っとる。ライブ行きたいって思うのは、人柄が好きじゃないと。あ、なんだか…マジメでツライのはナゼ?
AM1時過ぎだから? ネェネェ。
(イ)甘い。こういう時には音楽を聴こう。私がこの頃良くきくのはMOJO CLUB。

▶ジッタリン・ジンにとって'89年は急展開の年だったに違いない。スタンスを固め来年頑張って欲しい。

会議室より愛をこめて スペシャル

▶メジャーデビューはまだにしてもすっかりお馴じみのKUSU KUSU。デビューはいつか?

▶アルバムを2枚同時発売したピーズ。今後も、マイペースな活動を続ける彼等には、要注目だろう。

▶心地良い歌声と、女の子の心をうたう歌詞でみんなの心をつかんだ DREAS COME TRUE。

ずうっと変わらないまま……来年もどうぞよろしく。

会議室より愛をこめてスペシャル

(シ)あ、私も「BOOGIE NIGHT」好き。ギターがかっこ良い。
(イ)それからKOME KOME。
(シ)CMにも出たし。
(イ)CMと言えば…レビッシュでしょう。
(シ)ハイハイ♪ 戻さないように。CMと言えばプリプリだよ。足が動いてるCM(笑)
(イ)黒木さんのチェックは厳しい。だけど、プリプリも今年売れたよね。
(シ)でも、私は聴いたことがない。好きだけどね。
(イ)すごい頑張ってる気がする。『LOVERS』はちょっとだけ物足りなかったけど。もうちょっとスピード感あったら最高だったんだけどな。
(シ)テープ貸して下さいね。
(イ)はいよ。でも忘れやすいから何度も言うように。あ、BGMのカステラが終わっちゃったよ。
(シ)イトウさん、あたし聴きたいのがある。ドリ・カム。
(イ)持ってる、持ってる。『LOVE GOES ON…』でいい?
(シ)うん、うん。
(イ)あたし吉田美和ちゃんの高音がすごく好き。聴いてて気持ちいい。
(シ)そして今日も、"うれしはずかし朝帰り"。
(イ)うまい。うますぎる。(笑)
(シ)だしょ? どうだ、この答え方。私をこれから浅野ゆう子と呼んでくれ
(イ)冗談じゃない。
(シ)…って誰の曲でしたっけ?
(イ)BARBEEBOYS。アァ、すごい展開。……ア、黒木さんだ。黒木さぁん。
(黒)えっ? まだやってたの? もぉ、アタシなんか、根ちゃんのチェッカーズの原稿を入稿して、初校まで出てきちゃったんだけど。ニュータッチ"どん汁"ラーメンがラザニアだけど。GENちゃんの"おしりふりふり"がカワイイからゆるす。
(イ)GENって来年デビューしますよね。
(黒)そうみたい♪ あんましくわしく知らないけど。申しわけない。でも、STYLE用に取材したんだから、デビューするよなぁ。(美藤さん、ゴメン)
(イ)来年2月22日には渋谷公会堂やるし。ちょっと注目しといた方がいいかも。
(シ)で、BARBEEは?
(イ)あ、はいはい。この間…と言ってもかなり前なんだけど、杏子さんとお話する機会があってさ。なんかすごい感動したなぁ。
(シ)かっこいいよねぇ、杏子さん。ずっと好きだったもん。
(イ)この頃は個人の活動が目立つけど、早く次のアルバムが聴きたい。シングルの「三ケ月の憂鬱」がすごく気に入っただけに、次のアルバムが楽しみなんだ。
(シ)あのシングル良かった。独特のバンドスタイルだけに頑張ってほしい。
(イ)うん、うん。(しみじみ)なぁんか、こうやって思い出そうとするといろいろ出てくるよなぁ。前半の行数減らし(笑)も、すごいけど。(自分が楽しいからイイ)
(シ)そうだよね。
(イ)そういえば、今年はバンドの解散が相次いだなぁ。
(シ)あぁ♪ プレゼンスの解散は悲しい。そしてレッズも。
(イ)BE MODERNとかね。
(シ)それにC-C-Bも。
(黒)C-C-Bといえばさぁ、来年すぐデビューするバンドでBY-SEXSIALっていう子たちがいるんだけど、その子たちも、髪の毛がカラフルなんだ。なんかアタシ、カラフル頭担当専門みたい。あっ、そいーや、イトウアキ、この前のホコ天では、よくもだましてくれたなっ。(怒)
(イ)すみません♪ 今度肉まんおごります。
(え)解散も悲しいけど、脱退も悲しいもんだ。ほーじんが爆風ぬけちゃった時は、涙ウルウルで、1か月は立ち直れなかったもーん。(いきなり復活してしまった、私)
(シ)そうだね。でもほれ、今はライナセロスとして頑張ってるじゃない。今年はそういう人達が結構いたような気がする。
(イ)復活した人々(笑)
(え)まず、COMPLEXでしょう。元BOØWYの人たちってば、個別(笑)でも、ちゃんとやってけるもんねぇ。そしてイトウさんは、昔、吉川晃司のファン。
(シ)私も好きでした。アカヌケてない彼が。
(イ)私はモミアゲがあっても好きだった。でも♪ビーマイベイベエッ アホッ♪って頑張ってるからさ。山崎さん(元・編集担当。美人。今年の秋バッサリ髪を切り一斉を風靡する)も"アァ♡ インクスティックのCOMPLEXはカッコ良かったわ"って言ってたし。なんか、外国のバンドみたいでスゴイんじゃない?
(え)最初一回きりのユニットかと思ってた、あたしってば。
(シ)背高いしねぇ(意味不明)
(え)そう、壁みたい(笑)ベルリンの壁(笑)ちがうかぁ。
(シ)うんうん。それとボ・ガンボスも。
(え)髪がえんどう豆みたいな色で、いいなぁ。パチロクでNOKKOと対談してたの、読んだ?
(シ)ゴメン。読んでないℓ
(え)いーんだ、あれってば。今日帰ったら読みなさい。あ、帰らないか(笑)
(シ)うん。今日も会社に居残り。ね、イトウさん。
(イ)うん。復活と言えば、私はこの間、偶然飲み屋でLOOKの人と逢った。
(え)えーっほんとに? あれ、名前が変わったんだよ。うーんと、LOOK LONE SOME LANE CLUBっていうの。略してL^3C(エルスリーシー)。
(イ)化学反応式みたいだなぁ。F・O・Dみたいなもんか?(笑)
(シ)フェンスオブディフェンスのことね。
(イ)あと、B'Zみたいなもの?
(え)ちがうって、K2Cみたいなもんだってばぁ。(いつまで言ってんのよっ)じゃあ、U-BとB-Sってわかる? Lこちゃん。
(シ)わかる。ユニットバスとバスストップのことでしょ♡
(え)(笑)ボケてくれてありがと。
(シ)どういたしまして。
(え)本当にわかってるのかなぁ(疑いの目)UP-BEATとBAKUFU-SLUMPのことだよ。
(シ)えぇ。…なんだか漫才コンビね。イトウさん、止めてくれよぉ。
(イ)漫才と言えば、今年はパチ▼パチからOWARAIの本が出たよね。
(シ)そう、そう。J(S)Wの和弥とポール牧の対談がすごいおもしろかった。
(イ)新曲「白いクリスマス」のプロモーションビデオが今までと違うパターンなんだよね。なんか、和弥がアクターみたいなの。
(シ)深めに帽子かぶって雨の中、♬白いクリスマス〜♬と歌ってるやつだよね。
(イ)そう、そう。
(え)今年のクリスマスはどうなるのかなぁ。
(シ)この本がみんなの手元に届く頃にはもうクリスマスかぁ…(しみじみ)
(イ)そう、そう。オリコン1位。
(桂)やっと仕事が一段落ついた。私も入れて。(…と最初から読み始める)……な、なによ、民生が出てないじゃなぁ〜い。(怒)
(イ)もう終わりだって。(笑)
(桂)ひどい…。民生、民生…。
(イ)あぁ、来年はどうなるのかなぁ。
(桂)そりゃあ、もう民生♡
(シ)私は尚之さん。
(え)なによぉ、みんなでぇ。じゃあ私は河合さんだわ。
(イ)みんなそうやって、心の鐘を鳴らし続けるわけだね。
(シ)何、まとめてるんですか。
(桂)ずうっと変わんないまま……。
全員 来年もどうぞよろしく。

▶マスコミ攻撃をするりするりとかわしつつ、デビューアルバムはオリコン3位のカステラの来年は?

▶ブルースハープと心にしみ入る歌で注目を集めた4人組GEN。来年はいよいよデビューという噂。

▶'89年は、'90年代のミュージック・シーンを背負ってくべき成長をとげたUNICORN。まだまだ…。

▶11月21日に発売されたシングル&ビデオが初登場1位の彼等。今年も彼等から目が離せなさそうだ。

WELCOME TO MY PLANET THE CHECKERS

PHOTO by HISAKO OHKUBO(240▶241),
KENJI TAGUCHI(232▶250),
and any more,

●たとえば今年、自分の大切にしていた人と別れたり、離れたりっちゅー哀しい出来事があったとしても、とりあえず、キミのチェッカーズは、今年もこうして、ずーっと目の前を歩いてくれたんだから"いいんじゃん"ってことにしませんか？　だいじょうぶ、㋠は'90年も、働くことをやめたりしませんっ！

NOTE OF 1989

●ささ、いきなり、今年のチェッカーズの仕事ぶりからご覧くださいませっ。もちろん、これ以外にも、ラジオのゲストやら雑誌の取材やらあるわけで、7人は、もっともっと動いていたのです。キミは、今年、何回チェッカーズと接触しましたか？

1月2日 TV
時間ですよスペシャル（TBS）
出演▼●「素直にI'm sorry」

1月13・20・27、2月10・17日、3月3・10日 TV
サウンドプラザ（NHK） 出演▼トオル

1月20日
鶴久政治ソロコンサート
〝LOVIN' SPOONFULL PARTY〟MZA有明

1月24日〜2月14日
藤井尚之ソロコンサート
〝BLOW SESSION〟
1月24日 名古屋レインボーホール
1月26日 大阪城ホール
1月30日 日本武道館
1月31日 日本武道館
2月6日 中野サンプラザホール
2月7日 中野サンプラザホール
2月8日 大阪フェスティバルH
2月9日 大阪フェスティバルH
2月13日 福岡サンパレス
2月14日 福岡サンパレス

1月 ビデオ発売（ファンクラブのみ）
「CORONA」藤井尚之

2月1日 TV
夜のヒットスタジオ（フジテレビ）
出演▼ナオユキ

2月4・11・18・25日、3月4・11・18・25日、4月1日 TV
明日はアタシの風が吹く（日本テレビ） 出演▼高杢禎彦

2月4日 TV
ねるとん紅鯨団（フジテレビ） 出演▼鶴久政治

2月5日 TV
スーパージョッキー（日本テレビ）
出演▼鶴久政治「貴方次第」

2月8日 シングル・アルバム発売
シングル「貴方次第」鶴久政治
アルバム「LOVIN' SPOONFUL」鶴久政治

2月16日 TV
とんねるずのみなさんのおかげです（フジテレビ） 出演▼チェッカーズ
歌▼藤井尚之「クロームメタリック」

2月18日〜 CM
KENWOOD ROXY DG－33 歌・出演▼チェッカーズ

2月24日〜 CM
宝酒造バービカン 出演▼藤井郁弥

2月25日 TV
円広志ほっとサタデー（テレビ大阪）
出演▼高杢禎彦

2月25日 TV
鶴ちゃんのプッツン5（日本テレビ）
出演▼高杢禎彦

2月27日 TV
歌のトップテン 出演▼鶴久政治「貴方次第」

3月9日 TV
とんねるずのみなさんのおかげです
出演▼チェッカーズ 歌▼鶴久政治
「貴方次第」

3月10日 TV
華麗にAh！ SO（テレビ朝日）
出演▼藤井尚之

3月13日 TV
少女雑貨 出演▼大土井裕二

3月15日 TV
夜のヒットスタジオ（フジテレビ）
出演▼チェッカーズ「Room」

3月17日 TV
ミュージックステーション（テレビ朝日） 出演▼チェッカーズ「Room」

3月20日 TV
だいじょうぶだ〜（フジテレビ） 出演▼チェッカーズ「Room」

3月20・23日 TV
ドラマ23「タズ！！」 出演▼高杢禎彦

3月21日 シングル発売
「Room」チェッカーズ

3月20日〜25日
「Room」キャンペーン
3月20日・21日 大阪▼全員
3月22日 札幌▼武内・鶴久・徳永・藤井（弟）
3月23日 福岡▼藤井（兄）・高杢・大土井
仙台▼武内・鶴久・徳永・藤井（弟）
広島▼藤井（兄）・高杢・大土井
3月24日・25日 名古屋▼全員

3月26日 TV
ミュージックフェア（フジテレビ）
出演▼チェッカーズ

3月29日 TV
意外とシングルガールスペシャル（TBS） 出演▼井郁弥

3月30日 TV
とんねるずのみなさんのおかげです（フジテレビ） 出演▼チェッカーズ「Room」

3月30日 記者会見
バカヤロー2記者会見（246CLUB）
藤井郁弥

3月31日 TV
ミュージックステーション特番（テレビ朝日） 出演▼チェッカーズ「Room」

4月1日 TV
今夜は最高（日本テレビ） 出演▼チェッカーズ

4月1日〜 CM
サントリーホワイト ナレーション▼高杢禎彦

4月3日 TV
歌のトップ10（日本テレビ） 出演▼チェッカーズ「Room」

4月3日〜レギュラー開始
スーパーFMマガジン高杢禎彦のNORU SORU（FM東京） パーソナリティー▼高杢禎彦

4月5日 TV
夜のヒットスタジオ（フジテレビ）
出演▼チェッカーズ「Room」

4月6日 TV
ザ・ベストテン（TBS） 出演▼チェッカーズ「Room」

4月10日 記者会見
オイシーのが好き記者会見 藤井郁弥

4月12日〜 レギュラー
オールナイトニッポン（水）（ニッポン放送）パーソナリティー▼藤井郁弥

4月13日 TV
ザ・ベストテン（TBS） 出演▼チェッカーズ

4月16日〜 レギュラー
高杢禎彦のスーパー電リクサンデーヒットパラダイス「これぞめっけもん」 パーソナリティー▼大土井裕二

4月17日 TV
歌のトップ10（日本テレビ） 出演▼チェッカーズ「Room」

4月20日 TV
ザ・ベストテン（TBS） 出演▼チェッカーズ「Room」

4月22日〜5月5日
鶴久政治ソロ・コンサート
〝LOVIN' SPOONFUL PARTY〟
4月22日 大阪フェスティバルH
4月23日 大阪フェスティバルH
4月29日 新宿厚生年金会館
4月30日 新宿厚生年金会館
5月3日 渋谷公会堂
5月4日 渋谷公会堂
5月5日 中野サンプラザ

4月23日 コメント
白熱ライブ・泉谷しげるの一週間（TBS） VTR出演▼藤井郁弥

4月24日 TV
歌のトップ10（日本テレビ） 出演▼チェッカーズ「Room」

4月26日 TV
夜のヒットスタジオ（フジテレビ）
出演▼チェッカーズ「Room」

4月27日 TV
ザ・ベストテン（TBS） 出演▼チェッカーズ

5月4日 TV
ザ・ベストテン（TBS） 出演▼チェッカーズ「Room」

5月5日 TV
華麗にAh！ SO（テレビ朝日）

5月6日 TV
ザッツ談（テレビ東京） 出演▼高杢禎彦

5月7日 TV
ハッスル帝国（フジテレビ） 出演▼藤井尚之

5月8日 TV
歌のトップ10（日本テレビ） 出演▼チェッカーズ「Room」

5月11日 TV
ザ・ベストテン（TBS） 出演▼チェッカーズ「Room」

5月12日 TV
ミュージックステーション（テレビ朝日） 出演▼チェッカーズ「Room」

5月15日 TV
歌のトップ10（日本テレビ） 出演▼チェッカーズ「Room」

5月17・24・31日、6月7・14・21・28日、7月5・12・19日 TV
オイシーのが好き（TBS） 出演▼藤井郁弥

5月18日 TV
ザ・ベストテン（TBS） 出演▼チェッカーズ「Room」

5月18日 TV
アルタでナイト（テレビ東京） 出演▼高杢禎彦

5月21日 ビデオ発売
「THE SESSION」藤井尚之

㊐レギュラー
●'88年4月10日より
高杢禎彦のスーパー電リクサンデーヒットパラダイス（ニッポン放送・毎週日曜7：00〜12：00）
●'88年11月3日より
ミッドナイトスペシャル・木曜日
武田享のGOGO BOYS！

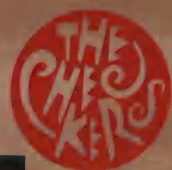
5月22日 TV
歌のトップ10（日本テレビ） 出演▼チェッカーズ「Room」
5月25日 TV
ザ・ベストテン（TBS） 出演▼チェッカーズ「Room」
5月29日 TV
歌のトップ10（日本テレビ） 出演▼チェッカーズ「Room」
6月 ビデオ発売（ファンクラブのみ）
「LOVIN' SPOONFUL PARTY」鶴久政治
6月2・9・16・23日
華麗にAh！ SO（テレビ朝日）
出演▼高杢禎彦
6月3日 TV
鶴ちゃんのプッツン5（日本テレビ）
出演▼藤井尚之
6月4日 TV
Ryu'S BAR気ままにいい夜（TBS） 出演▼藤井郁弥
6月4日 TV
スーパージョッキー（日本テレビ）
出演▼鶴久政治「暴れる女神」
6月5日 TV
歌のトップ10（日本テレビ） 出演▼チェッカーズ「Room」
6月7日 シングル発売
「暴れる女神～HURRICANE GIRL～」鶴久政治
6月7日 TV
歌うピックファイト（テレビ東京）
出演▼鶴久政治「暴れる女神」
6月8日 TV
とんねるずのみなさんのおかげです（フジテレビ） 出演▼チェッカーズ 歌▼鶴久政治「暴れる女神」
6月9日 トークショー
SUZUYA「ここだけの5日間」（ベルコモンズ7F） 出演▼高杢禎彦
6月10日 TV
鶴ちゃんのプッツン～（日本テレビ）
出演▼鶴久政治
6月12日 TV
歌のトップ10（日本テレビ） 出演▼チェッカーズ「Room」
6月13・14日
鶴久政治「暴れる女神」大阪キャンペーン
6月20日 TV
トレンディーポップス（TBS）
出演▼鶴久政治
6月21日 LD発売
「THE SESSION」藤井尚之
6月23日 TV
ミュージックステーション（テレビ朝日） 出演▼チェッカーズ「Cherie」
6月28日 TV
夜のヒットスタジオ（フジテレビ）
出演▼チェッカーズ「Cherie」
7月1日 TV
ねるとん紅鯨団（フジテレビ） 出演▼徳永善也
7月2日 TV
ハッスル帝国（フジテレビ） 出演▼鶴久政治
7月5日 シングル発売
「Cherie」チェッカーズ
7月6日 TV
とんねるずのみなさんのおかげです（フジテレビ） 出演▼チェッカーズ「Cherie」
7月8日 映画公開
松竹映画「バカヤロー2」"新しさについていけない" 出演▼藤井郁弥
7月9日 TV
スーパージョッキー（日本テレビ）
出演▼チェッカーズ「Cherie」
7月9日 TV
ミュートマJAPAN（TVK）
コメント▼藤井郁弥・武内享
7月12日 TV
夜のヒットスタジオ（フジテレビ）
出演▼チェッカーズ「Cherie」
7月19日 TV
笑っていいとも（フジテレビ）
出演▼藤井郁弥
7月18日 記者会見
時間ですよ平成元年（豊川稲荷）
藤井郁弥
7月19日 アルバム発売
『SEVEN HEAVEN』
チェッカーズ
7月20日 TV
ザ・ベストテン（TBS） 出演▼チェッカーズ「Cherie」
7月22日 TV
オールナイトフジ（フジテレビ）
出演▼チェッカーズ「Welcome to my planet earth」「Cherie」「Love Song」
7月24日 TV
歌のトップ10（日本テレビ） 出演▼チェッカーズ「Cherie」
7月26日～9月5日
"Seven Heaven" TOUR
7月26日 長野県民文化会館
7月28日 石川厚生年金会館
7月30日 宮城県民会館
8月1日 福島県文化センター
8月2日 郡山市民文化センター
8月3日 宮城県民会館
8月5日 山形県民会館
8月6日 秋田県民会館
8月8日 岩手県民会館
8月12日 大阪球場
8月13日 大阪球場
8月18日 日本武道館
8月19日 日本武道館
8月22日 日本武道館
8月23日 日本武道館
8月24日 日本武道館
8月26日 広島郵便貯金会館
8月27日 広島郵便貯金会館
8月28日 倉敷市民会館
8月30日 香川県県民ホール
8月31日 愛媛県民会館
9月3日 福岡サンパレス
9月4日 福岡サンパレス
9月5日 九州厚生年金会館
7月27日 TV
ザ・ベストテン（TBS） 出演▼チェッカーズ「Cherie」
7月30日 TV
CLUB神助（テレビ朝日） 出演▼高杢禎彦
7月31日 TV
歌のトップ10（日本テレビ） 出演▼チェッカーズ「Cherie」
8月3日 TV
ザ・ベストテン（TBS） 出演▼チェッカーズ「Cherie」
8月4日 TV
華麗にAh！ So（テレビ朝日）
出演▼チェッカーズ
8月10日 TV
ザ・ベストテン（TBS） 出演▼チェッカーズ「Cherie」
8月11日 TV
華麗にAh！ So（テレビ朝日）
出演▼チェッカーズ
8月11日 TV
ミュージックステーション（テレビ朝日） 出演▼チェッカーズ「Cherie」
8月16日 TV
夜のヒットスタジオ（フジテレビ）
出演▼チェッカーズ
8月14日 TV
歌のトップテン（日本テレビ） 出演▼チェッカーズ「Cherie」
8月17日 TV
ザ・ベストテン（TBS） 出演▼チェッカーズ「Cherie」
8月21日 TV
歌のトップ10（日本テレビ） 出演▼チェッカーズ「Cherie」
8月24日 TV
とんねるずのみなさんのおかげです
出演▼チェッカーズ
9月2・9・16・23・30日 TV
あの夏に抱かれたい（日本テレビ）
出演▼藤井尚之
9月9日 TV
ねるとん紅鯨団（フジテレビ） 出演▼高杢禎彦
9月14日 TV
笑っていいとも（フジテレビ） 出演▼高杢禎彦
9月15日 TV
ミュージックステーション（テレビ朝日） 出演▼チェッカーズ「Welcome to my Planet earth」
9月20日～26日
高杢禎彦「酒なんかいらねえ」キャンペーン
9月20日 福岡
9月21日 東京
9月22・23日 札幌
9月25日 名古屋
9月26日 大阪
9月21日 シングル発売
「酒なんかいらねえ」高杢禎彦
9月28日 ディナー・パーティー
高杢禎彦・MOKU DINNER PARTY（原宿 THE SPACE）
9月29日
JTライブトーク（スパイラルホール） 出演▼高杢禎彦
10月2日 TV
なるほどザ・秋の祭典（フジテレビ）
出演▼高杢禎彦
10月4日 シングル発売
「ANGEL EYES」鶴久政治
10月5日 TV
サヨナラ・ベストテン（TBS）
出演▼チェッカーズ
10月5日 TV
とんねるずのみなさんのおかげですスペシャル（フジテレビ） 出演▼チェッカーズ 歌▼鶴久政治「ANGEL EYES」
10月9日 TV
トップ10スペシャル（日本テレビ）
出演▼MOKU「酒なんかいらねえ」
10月10日～ 毎週火曜 TV
時間ですよ平成元年（TBS） 出演▼藤井郁弥
10月21日 アルバム発売
『弱虫』高杢禎彦（MOKU）
10月21日 TV
ねるとん紅鯨団（フジテレビ） 出演▼藤井郁弥
10月22日 TV
ヴィヴィアン（中京テレビ） 出演▼高杢禎彦
10月24日 TV
PRE STAGE（テレビ朝日）
出演▼高杢禎彦
11月2日 TV
とんねるずのみなさんのおかげです（フジテレビ） 出演▼藤井郁弥
11月4日 TV
U.S.A.ウエキスプレス（テレビ朝日）
出演▼武内享
11月4日 TV
オールナイトフジ（フジテレビ）
出演▼MOKU「酒なんかいらねえ」
11月14日 TV
ポップシティーX（テレビ東京）
出演▼鶴久政治
11月14日 TV
時間ですよ（TBS） 出演▼藤井郁弥、高杢禎彦
11月22日 TV
夜のヒットスタジオ（フジテレビ）
出演▼チェッカーズ「Friends and Dream」
11月23日 TV
とんねるずのみなさんのおかげです（フジテレビ） 出演▼チェッカーズ 歌▼MOKU「酒なんかいらねえ」
11月24日 TV
ミュージックステーション（テレビ朝日） 出演▼チェッカーズ「Friends and Dream」
11月24日 TV
華麗にAh！ So（テレビ朝日）
出演▼チェッカーズ
12月1日 TV
夢工場（フジテレビ） 出場▼高杢禎彦
12月3日 TV
ミュージックフェア（フジテレビ）
出演▼チェッカーズ「NANA」他
12月6日 シングル発売
「Friends and Dream」チェッカーズ
11月29日～12月29日
"Seven Heaven"
WINTER TOUR
11月29日 静岡県立総合草●体育館
12月2日 札幌月寒グリーンドーム
12月3日 札幌月寒グリーンドーム
12月9日 仙台市体育館
12月13日 福岡国際センター
12月17日 大阪城ホール
12月18日 大阪城ホール
12月19日 大阪城ホール
12月20日 大阪城ホール
12月23日 名古屋レインボーホール
12月24日 名古屋レインボーホール
12月26日 日本武道館
12月27日 日本武道館
12月28日 日本武道館
12月29日 日本武道館

プレゼンツ
●for主修
「恋するアルバイト少年」鶴久政治作曲
●for沢田研二
「僕は泣く」鶴久政治作曲
●forかまやつひろし
「キスの下手な男」藤井郁弥作詞

ELCOM TO MY LANET THE HECKERS

藤井郁弥

THE CHECKERS

これから下がるっていうのも……物凄いものがあるね、うち。

ヨカッタ。今年もチェッカーズは元気だった。いいコンサートをして、いいアルバムを作って、新しい顔も見せてくれた。おもしろかったなぁー。と思いながら終わる平成元年。幸せだよね。一体どのくらいの幸せをチェッカーズにもらっているやら。"ザーンキュー"と言いつつ、真面目に、郁弥君のインタビューは始まるのである。

—この1年を振り返ってみると、メンバーのソロ活動がけっこう目立っているように思うけど。

フミヤ「多かったねぇ。……でも、政治と高杢と俺ぐらいだったから」

—あと、尚ちゃんと。

フミヤ「あ、尚之も……」

—ドラマの方はどうですか？ 今までやってきたのと、やっぱり違いますか？

フミヤ「全然違うね。今までは若者の恋愛ものっていうか、ザ・トレンディーじゃない。(笑)今度は全然違うよね。畳に障子にふすまだもん」

—やっぱりやっていくうちに家族っぽくなっていくもの？

フミヤ「なるよ、うん。おもしろいよ。こういう家族があったらいいなと思うね。あんなに大家族だったらね、毎日楽しいだろうなって。(笑)」

—実際は超一流の俳優さん達。

フミヤ「うん。緊張感あるよね。仕切りも違うの。『時間ですよ』と今までのドラマでは。昔気質なんだよね。舞台やってる人達ばっかりじゃない。もう何十年も」

—郁弥君はその中じゃ新人ですね。そういう立場になることって最近はあんまりないでしょ。

フミヤ「中堅、だね。俺達、歌手の中じゃ古株だし」

—じゃ、新鮮でしょ。

フミヤ「うん。最初、話が来たときは『時間ですよ』かぁ、と思ったけど、ま、いいや、やっとこ、って感じだった」

—今年は役者さん業が盛り上がったね。

フミヤ「映画入れて4本。こなしたね。働いたもん、俺。(笑)なーんにも重く考えないから、楽しみながらできた」

—役作りはしたんですか？

フミヤ「チラッとね。……映画のときだけはちゃんとやった。キャラクターがあまりにも違うから。あとの役はけっこう自分に近いと思う」

—台詞覚えたりするのは得意？

フミヤ「覚えられるよ。よく台詞覚えるの大変でしょ、とか言われるけど、誰だって覚えられるよ」

—歌詞覚えるのとどっちが大変？

フミヤ「ウーン、歌詞覚える方が大変かもね。歌詞はね、でもちょっと違うんだよね。歌ってたら覚えてなくても出てくんの、どんどん。自然に。そういうふうにならなきゃダメなの。次はなんだっけって歌ってたら間違えちゃうんだな。(笑)」

—体で覚えるという。

フミヤ「でも、ドラマやると(ファンの)層が増えるよね。意外だよね、あれって。なんでドラマ見て好きになりましたって言うんだろうね。それまでは何だったんだって。(笑)あれは不思議だったね。今までも俺っていう存在を知ってるわけじゃない。でも急にドラマ見て好きになったりするからおかしいね」

—年齢層は少し上がった？

フミヤ「こっれが不思議なんだ。下がってんの。いや、上がってるんだけど、下がってるんだよ。だから両方。でもコンサートに来るのはやっぱパワーがあるヤツばっかじゃない。チケット取るためにさ。だから下がるの。これから下がるっていうのも……物凄いものがあるね、うち。(笑)」

—でも男の子のファンも増えたでしょう。

フミヤ「コンサートに来れるのは微々たるもんだけどね。でも、ファンはいるみたいよ。カラオケとかもけっこう多いみたいね、男の子」

—バンドの子も多いよね。チェッカーズはやっぱりすごいって。

フミヤ「だから、憧れてるバンドはこれだけど、チェッカーズはすごいと思うっていうパターン。(笑)やっぱ、認めざるを得ないでしょう。もう既に。(と、嬉しそうにふんぞり変える)」

—そうだよね。

フミヤ「っていうか、好き勝手だもんね、うちら。楽しそうに見えるんじゃない？ カッコつけないし、お笑いも出るし」

—あ、そうだ。それがあった。(笑)あれはすっかり定着しましたね。

フミヤ「超人気物。(笑)みんな、チェッカーズの回がいちばんおもしろいって言う」

—でも、最初は大変じゃなかった？

フミヤ「ウン、遊び。趣味だもん。ね、ものすごい時間から録りやったって平気で行くよ。10時からとかでも行くもん。普通はやんないじゃん。自分のレギュラーでもやりたくないよね。でもあれだけはなんか行っちゃうんだなぁ。(笑)」

—自分の中で、今年のいちばん大きい出来事って何ですか？

フミヤ「何だろうね……。ま、一応、役者やったこととかな」

—そういうの歌にも影響しますか？

フミヤ「ンー、……しない」

—まったく別のもの？

フミヤ「歌が役者に影響することはあるけど、逆はあんまりない。だって、歌ってるときの方がカッコイイと思う。自分では」

—ウン。(私もそう思う)

フミヤ「歌も演技みたいなもんだから」

—じゃ例えば、藤井郁弥を演じるときというのはありますか？

フミヤ「どこで？」

—いろんなとこで。

フミヤ「演じてんじゃん、今も」

—ウン。

フミヤ「家から一度外に出たら、演じなきゃダメ。(笑)」

—疲れない？

フミヤ「慣れた。……っていうかもう、これが普通になっちゃった。(笑)みんな多かれ少なかれそういうもんだと思うよ。でも俺はねぇ、人に会ってなんて言われるかというと、"思ってたとおり"とか"もっと怖いと思ってた"とか、どっちかだね。(笑)もっと怖い人だと思ってたっていうのはよく言われるんだよね」

—じゃ、郁弥君は怖くなかったっていうことですね。(笑)

フミヤ「うん、そういうことだろうね」

—音楽的には、今年、興味を持ったものってありましたか？

フミヤ「ハウスだね」

—あ、そう？ ハウスって飽きない？

フミヤ「飽きない。だって、レコードを何枚も使って回転数変えたりとかしてリミックスするんだもん。もうある素材をねぇ？ 3枚も4枚も重ねるわけだから、音を。ということは、ミュージシャン勝てないんだよね、既に。リミックスのDJには。原曲よりよくなっちゃうんだから」

—自分もやってみたいと思う？

フミヤ「思うけど、技術がものすごいよね、ハウスDJは。やっぱり時代が作った音楽だね。だから今までは音楽っていうのはミュージシャンが作るものだったんだけど、今度は、ミュージシャンが最高だこれがいちばんだって思って作ったレコードを、更に、勝手に使ってリミックスしてもっとかっこよくしちゃうんだからね。がっかりだよねぇ。(笑)」

—でも、まだまだ日本では全然……。

フミヤ「知られてないよね」

—日本の音楽界にフラストレーションはありますか？

フミヤ「あるよ、いっぱい。だから遊ばなきゃ。(笑)日本なんてもう、ちゃんちゃら笑っちゃうよね。っていうか、ロックに日本語が乗るのはやっぱ難しいんだよね」

—市場としての日本はどう？ 嫌だなって思うことはある？

フミヤ「思うよ。めっちゃくちゃかっこいい曲ができて、かっこいいアレンジになっても、これはわからないかな、って、あきらめることあるもん」

—それを改革していこうって思わない？

フミヤ「無理だね。結局ほら、ちっちゃーいリンゴ一個、みんなでひと口ずつかじって分け合ってるようなもんじゃない？ ……怖いものはあるけど」

—怖いよね。でも、もし改革できる人がいるとしたら、チェッカーズじゃないかなと思うときがあるんだけど。

フミヤ「そういうこともやっていかなきゃいけないな、とは思ってるけど。……ウン。やれるからね。やれる立場にいるじゃない？ 俺ら」

—そうそうそう。ぜひやってほしい。じゃ最後に、'90年の抱負を。

フミヤ「まだ何にも考えてないけど、何しようかなぁ……。うん。ちょっと音楽やろうかな。(笑)」

さて、郁弥君演じるところの"藤井郁弥"は以上のように沈着冷静でありましたが、本当の姿は誰も知らない、謎のベールに包まれたままである。それがスターのスターたる所以でしょうが、好きでも嫌いでも、誰の心の中にも彼はいる。誰の心にも彼の歌は届く。ときどき見知らぬ誰かに恋されながら、彼は'90年もいっぱい歌う。そんな中に、郁弥君の真実はあるのだと思う。

文●森田恭子

身内でやめた人間がいなかったから、すごくよかったなあと。

悪いけどキンチョーしたぞ、私は。
ただでさえ、天下のチェッカーズのメンバーなのに、今年はソロ・コンサートや初のドラマ出演などのハデな個人活動で注目を集めた藤井尚之が、ドドーンと目の前にいるのだから、おまけに初対面だし。こうなったら、キンチョーしたまま原稿書いてやる。で、以下の通り。

——よろしくお願いします。
ナオユキ「初めまして、ですよね。よろしくお願いします。（イスにドカッと足をあげて）俺、ゆうべずーっと飲んでて、酒がまだ抜けてないんですよねえ。だから、ラクな格好してもいいですか？」
——ハイ、どーぞ。それで、今日は今年を振り返って、というテーマなんですけど。
ナオユキ「はい。（そばを通りかかったスタッフの人）あ、灰皿くださーい」
——今年はソロ・コンサートから始まった年で。
ナオユキ「そうすっねっ……（足を見て）やっぱ、あまりにも態度悪いですね」
——あっ、いや、大丈夫です。慣れてますから、そういう人達。（思わず口をついて出た発言だが、フォローにもなんにもなってないことに今気付いた）
ナオユキ「いえいえいえ、やっぱり普通の態度で仕事したほうがいいですね。スイマセン（といってノーマルな体勢に戻る）で、今年は、…本当に波乱万丈な一年だったような気がします。だって、ソロ・コンやって、ドラマもやって。でも、やっぱり最初にソロ・コンやったら、あと何にも怖くなくなったっていうのはありますよね」
——それをキッカケに、逆にバンド以外の事に刺激を求めてみようっていう気持ちが起こったりとか。
ナオユキ「俺、刺激とかそういうもんじゃないと思うんですよ。刺激だったら、もっと別の事があると思うし。なんか、やれる状況だから、やった方がいいかなていう。
音楽だけを一途にやる人ってすごくステキだと思うけど、自分はそういうタイプじゃないっていうのがわかったんですよ。それで、いろいろやった方がいいのかなって。もとを辿ればアマチュア時代に、バンドをやりたいなって思った気持ちってあるじゃないですか。バンドに興味を持った時の気持ちっていうか。それが今、バンドが職業になったから……」
——日常の一部になったっていうか。
ナオユキ「そうそう。だから、それ以外で何ができるのかなって試してみたかった」
——役者っていうのは、そういう意味でバンドから遠いものだったんじゃないですか。
ナオユキ「いや、近いですよ。バンドでは曲作ったりとか自分で演奏したりとかやってますけど、結局ステージに立ってる以上は演技しているみたいなもんですから」
——カッコつけてみたり、とか。
ナオユキ「ですね。俺、音楽に関してはカッコつけたいし、カッコつけ続けるのは絶対疲れると思うから、カッコつけるとこはビシッとして。で、その分普段はボーッとしてるっていう。（笑）ライブやったりTV出たりする時はビシッとして、普段はチャラチャラしてたいですよ」
——チャラチャラですか。（笑）
ナオユキ「毎日、酒飲んでヘベレケになるとか。（笑）でも、それがキャラクターだからいいんですよ、俺は」
——トクしてますねえ。
ナオユキ「トクしてますよ。飲まなきゃ飲まないでどうしたんだ、とかっていわれるんで、辛い時もありますけど。（笑）」
——いいんだか悪いんだか。（笑）
ナオユキ「でも、仕事場でそういうことが許されちゃうでしょ、私って」
——確かにそうかも。
ナオユキ「でしょ。ラクだなぁ。いいキャラクターついたなぁ、俺。（笑）」
——オイシイなあ。
ナオユキ「オイシイですよ。ホント、自然のまんまですからね、ラクでいいや」
——ミュージシャンならではっていう気もしますけどね。
ナオユキ「うん。まあ、結局日本は厳しい国だから。この国で許されるドラッグってアルコールぐらいしかないからさ、ねえ。…あっ、俺、何の話してるんだろ。（笑）」
——いろんな話ってことで、ハイ。（笑）でまあ、またさっきの話に戻るんですけど、バンド以外のことをやってみて、やっぱりバンドが一番しっくりくるな、とか思ったりしました？
ナオユキ「うーん、だから、あれですよ。いろんなことをやってどれが自分に合うのか、っていうよりも、あれやってこれやってっていうふうに、いろいろあちこちかじったりしている自分が一番自分らしいというか。人生一芸を磨けばいいや、とも思いますけど、いろんなバリエーションがあった方が楽しいなっていう。やっぱね、飽きるっていうかね、ずーっとこういう仕事やってると義務づけられた雰囲気になってくるし。だからいろんなことをやった方が楽しそうな気がするんですよ。どうせ一度の人生さ、ですよ。…なんて。（笑）」
——今年は一人で仕事する時間が多かったわけですが、どういうところがバンドと大きく違いますか。
ナオユキ「個人の方がラク。ホント、なんかラクだった。この7人が一番気を使わないと思ってたんだけど、なんだかんだいって気を使ってるみたいで。例えば、今日二日酔だから仕事に行きたくねえって思うんだけど、みんながくるから絶対いかなくちゃ、とか。でも、他の連中は違うかもしれないですからね。これは自分がそう思ってるだけかもしれない」
——来年もソロ活動はやるんですか。またアルバム作ったりとか。
ナオユキ「アルバム作りはやらないでしょうね。コンサートもやる気がしないし。まぁ、またそのうち自分でやりたいなと思ったら、やるんじゃないですか？ でもそれは、ドラマなのかラジオなのか物書きなのか、わかりませんけどね」
——毎年毎年いろんなバンドがでてきますけど、特に今年はイカ天みたいな番組のおかげでますますバンド・ブームに拍車がかかったりして。
ナオユキ「ああ、なんかそうみたいですね」
——でも、チェッカーズってそういうブームと関係ないところにいるっていうか。興味とかありますか？ 他のバンドに対して。
ナオユキ「単純に、どれだけ生き残れるのかなっていう興味しかないですね。危機感とか全然ないし。かといって高ぶってるわけじゃあないんですけど…他のバンド以上に自分達のことが気になるんですよ。自分が一生懸命やんなきゃいけないっていう。だから、他のバンドのことまで気が向かない。ヘンな言い方かもしれませんけど、興味が持てないんですよ。それに、例えば〝イカ天〟とか見てたけど、ああいうブームって俺達実際味わったし。昔、田舎にいた頃って、ホントに石投げりゃあバンドばっかりだったから。それで、その中から自分達が出てきたわけだし。まあ今は、簡単にデビューできますからね、ラッキーはラッキーですよ。時代性かもしれないけど。ただ、どれだけ残れるかっていったら…。だって、俺達だって「涙のリクエスト」で手回してやってる時一、二曲で終わるバンドだろうって言われてきましたからね」
——で、今はこうですもんね。
ナオユキ「そう。だから、俺達がんばってるなって思いますよ。やっぱ。そりゃあ余裕っていうのは、ハッキリいってあります。でも、その余裕っていうのは経験でしょ。テレビ局に何度も何度も通ったりとか、いろんな人と取材で話したりとか…。そういった土壌を踏んできましたからね。…なんか年寄りくせえな。（笑）でも、今のこういう位置を続けたいから、努力してるんですよ。…努力…うーん、してんのかなあ、俺（笑）」
——してるでしょう、お酒を飲みつつ。（笑）
ナオユキ「いやあ、スイマセン。ホントに酒が抜けてないんっすよ。（笑）あっ、どっかに書いといて下さいよ。〝その日尚之は酔払っていた〟とか」
——ハイ。（もう充分に書いちゃった。ごめんなさい。シュン〜）最後に、今年をバッと振り替えると、いい年だったって感じですか。（すんごく強引なマトメぶり）
ナオユキ「なんか〝よかった〟っていうかね。今年はずっと仕事やってたでしょ。それで身内で――身内っていう言い方よくするんですけど――やめた人間がいなかったから、すごくよかったなあと。だって淋しいじゃないですか、やめちゃったり変わったりするのって。うちってデビューしてからずっとこの7人でメンバー変わってないでしょ。だから余計そういう意識が強いのかもしれないけど、いつも一緒だったりする人がいなくなったりすると、すごく淋しい。例えば、ライターの皆さんにして、誰かがいなくなると淋しいなっていう感じがするんですよ。わがままな言い方ですけど」

いくら酒くさくても、やはり尚之君はちゃんとした〝いいヤツ〟だった。ちなみに、彼の今年一番の衝撃は、〝ふくらはぎの後ろのホクロに気付いたこと〟だそうだ。「25年間生きてきて、初めて気がついた。意外だったなあ」——こちらとしてもあまりにも意外な答にびっくりしたけど。（笑）それにしても。彼がここまで饒舌だったのは、酒のせいなんだろーか。ちょっと気になる。

文●根田美聡

藤井尚之

THE CHECKERS

オレも猫2匹飼える余裕が出たんだろーか。それいいなァ。

なんかイイことあったんだな！ って顔に出ちゃってるトオル氏。今日はすーごく御機嫌だ。お子様ランチボックスの冷めたオレンジ色のスパゲッティをつるるって食べながら第一声が「イイでしょ！ ニヒヒヒッ」だもんね。うん、もらったお弁当って格別ウマイよね。ここはお昼時のリハーサル・スタジオ。通りがかったクロベエにはデカイ声で「今日は通しで2回やるぞ！」なんて宣言してる。「ウッ2回!? ウーッ」2回というのはライブの全曲目を通して2回って意味。ザッと計算してもブッ続け4時間以上はかかる。やたら元気ィ!!

でも次に通りがかったマサハル君で、御機嫌の理由その1が分かった。「コレやる」と通りがかりに差し出されたのは子猫カレンダー。たちまちニカーッ。そん時のトオル氏の顔ったら溶けてしまいそうなほど嬉しそうだったんだ。で、トオル氏ったら最近、猫と暮し始めたって言うじゃない！

ところで今年もこの時期がやって来ました、年末の。「あやー、こーら難しいよね」そう言いつつもトオル氏ったらカレンダー抱えて全然難しそうな顔しないんだから。こりゃ重症かも知れない。

トオル「今年いちばん印象に残った出来事？ うん。『SEVEN HEAVEN』。LPの制作がいちばん頭に残ってるな。しんどかったナとか力出し切ったナとか。凝ったじゃない？ 曲間とかまで。今までだったら曲出来たら曲順決めてハイお任せ、みたいだったけど、これはリキ入れたから」

――じゃ2番目に印象的だったのは？

トオル「ん？ 順番に挙げてくの!?」

――ほら、ツアーとか。(笑)

トオル「チェッカーズってあんま仕事やってないのよ、正直言うけど。(笑)でもま、そうやって言うと次はライブだよね、うん。より一層またショーアップして来て…」

――で次はキャンペーンかな？

トオル「えっキャンペーン行ったっけ？ 去年の暮れだったよ、それ…」

――でもここに3月って。(と年表を見せる)

トオル「……ゴメンネ、そ、オレがスキーやった時だ。(笑)ゴメンネ、くそリーダーだから。これは結構印象に残ってる。2期に分かれて行ったんだよ、うん」

――残ってなかったんじゃないですか。(笑)

トオル「いや違う。いつだったか忘れちゃったけど印象残ってますよ。南組はね辛かったんだって。オレ達北組はラクだったけどね。メシ喰ってワーイって酒飲んで、そんで笑いながら仕事やって、あげくの果て札幌でオレはスキーまで行ってきた！ 仕事が昼からだったんで午前中行ったのよ」

――やっぱ新鮮ですか、キャンペーン。

トオル「ファンの声とか、ほら公開番組とかやるとコンサートとは違って、ファンが近くにいるっていう雰囲気がなんか初心に帰るような感じでさ。あとヘンなオバサンとかが地方新聞の取材とかで来てね、素朴な質問するわけ初心者のさ。チェッカーズのこととか知らないじゃない？ だから〝チェッカーズのみなさんはどーゆーお友達ですか!?〟とか聞くのよ。そんでまあ〝昔しMCの…〟ってとこから初心に帰って答えるという。結構面白いよね」

――じゃあもう少しプライベートな部分での印象的な出来事は？

トオル「プライベート？ 猫を飼った」

――いつ？

トオル「最近。2匹飼ってんの、だからね、そっくりなのコレと、まったく」(と言って得意気にカレンダーのある一頁を見せる。白黒ブチの、チンチラとの雑種だそう)

――2匹共？

トオル「そ、兄弟だから。これが可愛いんだ。もう酒飲みに行かないもん最近、帰ってガチャってドアを開けると〝ニャーッ〟つつって2匹いるんだよね玄関に」

――どういうキッカケで？

トオル「っていうかウチの実家には物心ついた時からずっと猫がいたの。多い時で12匹とか。ずっと欲しかったけど余裕なくてさ」

――で、やっと猫の2匹も飼える余裕が出来たわけですね今年。(笑)

トオル「そう、考えるとおかしいね、猫2匹飼える余裕って。(笑)オレも猫2匹飼える余裕が出たんだろーか。それいいなァ」

――拾ったの？

トオル「いや、ペットショップで〝あげます〟っあったポラロイド見て、ハッと〝も、くださいッ〟って電話した。まだ生まれて1か月くらいだったよ。で、1匹じゃ可哀想だから2匹ください〟て」

――それから生活は一変して猫一色。

トオル「仕事終わったら即、スーパー寄って猫の分と自分の材料買って、帰って作る。今すげェ喰う時だからさあ」

――じゃあもう少しバンド絡みの精神的部分で今年を見ると？

トオル「や……他のメンバー見てるとホレボレするよね。いい意味でほんとライバルじゃないかと思う。だから〝これは負けてられんなぁ〟とか思うこともあって。作曲もそうだしステージングでもね。ウチって前からボーカルってか郁弥を立てるというシステムが出来てるんだけど、その中でもみんないぶし銀のような渋さを出してねカッコイイから、やっぱり〝オレもうかうかしてられない〟とか思うね。それとか今日もリハーサルだけど、こういう時って熱くなってみんなガンガン ケンカじゃないけど、言い合うのね。その辺がすごくオレはいいなって、ま、そーゆーオレらを黙って見守ってくれるスタッフもいいからなんだけど。ほんとオレらわがままだから。でも目的がほら、いいモノ作ろうってとこで同じだからみんな安心してくれるわけで」

――なのに〝今年はあんまり仕事してない〟ってのは刺激はあるけどある種、成熟してしまった次への模索段階ってことですか？

トオル「うん、転機に入ってる気がする」

――今年は転機だったって!?

トオル「でもそれはまだ、続くような気がする…それは来年花咲くのか、あと何年か先なのか……すごく抽象的だけど、何か変わって来てるとこなんだけどオレにはまだ、何が変わるのか見えてない」

――まだ次の局面が見えない……？

トオル「でも楽観主義じゃないけど、絶対いい方向に向かうとは思ってるよ。オレの中でのチェッカーズに対するモノ、自分に対するモノは確実にいい方向に変わってるという意識があるからね。たぶん、今年というより去年くらいからその兆候はあったんだけど…オレ達は次、何やればいいのかな？ とかいろんな意味を含めて…」

――今年はそのためにもリキ入れて『SEVEN HEAVEN』作ったわけで。

トオル「そう……でもまだちょっと霧がこもった。ただ、それ勘違いされちゃ困るけど、迷ってるといいモノが出来ないんじゃないの。例えば人間って、目標ないと寂しいでしょ？ オレ達も最初は目標が、例えば有名になるんだ、とか自分達でレコード作ろう、とかやって来たんだけど、今、ある意味で別な発展を見せなきゃいけない、ってのが目標なんだよね。それが何なのかを探してる……オレ達絶対出し惜しみしないから、やる時は精一杯、その時にいちばんイイって思うコトをやるわけだから、そのボルテージは絶対下がってないと思うんだ」

――その転機って気持ちは自分自身にも同じように言える？

トオル「まったく同じ。〝よーい、スタート！〟って走り出す前に〝んーっ〟て力ためたりするじゃない？ そういう感じに似てるよね。来年がダッシュの時かは分からないけど。だから今年は内側の充実ってか、そーゆー意味でソフト関係に惑わされない年だった。映画、レコード、CD、ビデオ。感動はするんだけど、それとは別に自分は自分なんだっていう自我が高められてたというか。なんとなく分かってもらえるかナ…」

――常に興味は外側じゃなく自分の内へと向けられてたってことでしょうか。

トオル「それで自分の作る曲に対しても第三者のような判断が出来ることになったよね。〝イイじゃん〟とか〝ボツ〟とか」

――今年は何曲くらい作りました？

トオル「いやあ、そんなに量的には作らない人間だから……30曲あるかナァ。でオレ、自分で言うけど、今年になって嬉しいのは結構ちゃんとした曲が作れるようになったのよ。昔に比べて自信を持って出せる。つまりみんなが〝イイね〟って言ってくれる確率が高くなった。量より質という」

――いい曲いっぱい産めそうだ。

トオル「もう、ポッコポコ産む産む。(笑)や、まいったなあ、そう言われちゃ」

最後ちょっぴりテレ笑いしてたけどトオル氏のこの御機嫌の理由は、実は余裕とか自信とか創造的な欲求とか、つまり彼の中から湧き出るエネルギーだったみたい。で、そういうノリって周囲にも伝染させる影響力を持ってるらしく、気付けばコッチまで背中に羽が生えたみたいに晴れやかな気分になってた帰り道。〝内面に興味がある〟と言う裏を返せばソレは他人に対しても、すっごく優しくなれる、ってことだと思う。すべてに飽和状態な時代、自分を見失う人が多くて、気持ちがどんどん殺風景になってる中で、彼のようなエネルギーこそ何より重要なんだと思う。

付け加えておくと御機嫌の理由その2は、「今日新しい車が来たんだ」。新車飛ばしてひたすら家路へ急ぐ？ や、ほのぼの。

文●三浦雅子

武内享

鶴久政治

THE CHECKERS

なんか1年中音楽漬けだったな。ホント音楽ばかりやってた。

ミュージシャン多しといえど政治君ほどカーディガンの似合う人はいない。年に何度か会見するたびに季節の移り替りを感じさせてくれる人でもある。

毎年恒例の年末パーソナル・インタビューは都内某所のリハーサル・スタジオで行われた。譜面台にテレコを置いてふと見上げればツアーの曲順が貼り出してある。自然と話題はツアーの話から始まった。

――オッ！「HE ME TWO」がメニューに入ってる。

マサハル「ええ。まっ、円型（ステージ）向けのバカな曲かなあ、と(笑) 全体にけっこう年末のデカイホール向きの選曲ですね。やっぱ、ヒット曲とかあるほうが一体感が出ますからね」

――年末のアリーナ・クラスを中心にしたツアーも定着した感がありますね。

マサハル「そうですね。チェッカーズの動きが大体決まってきましたね」

――今年を振り返ると、先ず鶴久政治のソロ・デビューが挙げられますね。

マサハル「1月にはもうMZAでソロ・コンサートやったんですよね。2月にレコードが出て、春にはまたコンサートやりましたし、なんか1年中音楽漬けだったな」

――ソロでの収穫はというと？

マサハル「だから、なんていうんですか。1人でやってみるとバンドの良さもわかるというか。チェッカーズのほうも新鮮な気持ちでのぞめるようになりましたね。ホント、音楽ばっかりやってた気がする」

――ちょっとウンザリしたとか？

マサハル「イエ、全然。ソロ・デビューするときは多少緊張感ありましたけどね。ソロでも定期的に3回シングル出したし、チェッカーズのほうもそうでしょ？ ウン。だから曲はちゃんと作らなくちゃいけないという責任感は前より出てきましたね。特にシングルはね」

――ソロのときとチェッカーズのときでは曲の作り方も違ってくる？

マサハル「ソロのほうが作曲家としての立場で書くんですよ。チェッカーズの場合は皆でいっぱい書きよってそんなかから1番良さそうなメロディを選ぶでしょ。いままで作った曲で陽の目を浴びずに埋もれてた曲が自分のほうで使えるわけだから、自ずと曲作りにハリが出るちゅうかね。反響は色々でしたね。レコード買って聴いて自分では気がつかないところに気づくんですよね。一番ヒットしたのは自分ではけっこう自信のあった曲がイマイチ反応なくて、違う曲のほうが評判良かったりして。「Winter Shadow」とか「Only Birthday」とかポップでわかりやすい曲のほうが好評でしたね。やっぱり、求められている曲はそういうもんなんだなあと」

――ガッカリしました？

マサハル「イエ、逆に自分にとってどんな曲が王道かということを確信できましたね。チェッカーズも自分も打ち込みとかマニアックな音楽でウケてきたわけじゃないですからね。一般大衆がこうジーンとくるような歌謡曲の良い部分があったから売れたんだと思うんですよ。だから、やっぱり、死ぬまでそれかな……。サウンドは変わってもメロディや詞はわかりやすいのが合ってるんでしょうね」

――今年のチェッカーズのシングル、「Room」「Cherie」「Friends and Dream」の3曲共政治君の作曲でしたよね。

マサハル「全部前からあったストックなんですけどね。『Room』なんか2、3年前の曲だし。あの3曲って全部自分のソロでも落ちたやつなんですよ。そういう運命だったんでしょうね。特徴としてはすごくメロディがわかりやすいことですかね。耳触りが良いっていうか」

――それは意図して？

マサハル「計算したわけじゃないんですけど、いまのバンド・ブームのなかじゃ逆に目立ったかもしれませんね。他のバンドと似たようなことやっても並べてみると勢いではかなわないでしょ？ 今年は自分達が本質的に持っているものが上手い具合に出せた年じゃないですかね」

――「Room」が予想以上のロング・セラー・ヒットになったのも大きい？

マサハル「うん。あれで確信できたかな。あの曲が選ばれたときは正直言ってピンと来なかったんですよ。〝大丈夫かな？〟って身内に聞いたりして。それが哀愁味帯びてて日本人好みだったみたいですね。チェッカーズの初期の曲を少し大人っぽくしたような感じで」

――その傾向は今後も続きそうですか？

マサハル「来年はまたアップテンポの踊れる曲とか超スローとか、色々試していきたいですけどね。それは自然に任せて。来年もさ来年も自分は曲作りだけでしょうね。そこさえシッカリしていれば、ね」

――チェッカーズの存在というのも今や独特のものがあるでしょ。

マサハル「そうですね。ずっとテレビとか出してもらってやってきてるバンドですからね。バラエティ番組なんかも出ますしね。多分、チェッカーズって音楽だけで評価されているというより、存在そのもの、全部ひっくるめたところで認められているんじゃないですか。その時々のバンドの活気ってあると思うけど、やっぱ一通りやってきて乗り越えた段階にくると、素直になりますね。良いものは良いと認められるし、曲だけとか勢いだけだと一発屋で終わっちゃいますもんね」

――バンド自体に魅力がないと長続きは難しいと？

マサハル「うん。詞や曲やアレンジがそこそこ水準行って当り前なのがプロの世界ですから。あとはやっぱり個性とか人間味かなあ。ライブなんか絶対出ちゃいますよね。演奏のウマイ、ヘタじゃなくて、その人の人間味みたいなのが。それって持って生まれたもんですかねぇ。チェッカーズはたまたまそのバランスが良かったみたいで。ただ、常に自分達のなかに活気がないとダメですね。攻めの姿勢がないと。安泰っていうのはありえない世界ですから。ヒット曲があるというのは財産ですけど、ライブで昔のヒット曲やらなくてもやっていけるわけですからね」

――ブーム以降のき歩み方が良かったんでしょうか？

マサハル「うん。ブームはいずれ終りますからね。そこで置いてけぼりにならなかったのは7人が頑張ったからでしょうね。立派だと思いました、今年は。でも来年ダメになったらまた立派じゃなくなるから」

――状況に甘んじられるほど甘くないと？

マサハル「皆、それぞれに頑張ってるなあと思いますもん。自分もフミヤ君の〝オールナイト・ニッポン〟を寝ながら聞いてて、〝オレも頑張らにゃいかん！〟と思って、曲を作り始めたりするときありますからね。メンバーの個人活動は刺激になりますね」

――メンバー見てて変わったなと思うところってあります？

マサハル「なんかプロっぽくなりましたね。キレイゴトじゃ済まないっていうのを味わいますからね。能書きばっかり垂れてても行動しなかったら話になんかなんないから。やっぱ、やった人勝ちですよね」

――チェッカーズってヘンに自分達に無理をしないでやってきたバンドなんじゃないですか？

マサハル「皆がチェッカーズに要求する部分と自分達のなかにある部分が一致しているんですよ。そうでなかったら不幸になってたと思う。運が良いんですよ、いくら売れ線狙っても本人達がムリしてたら幸せにはなれないでしょ。自然体でやってきたから10年も続いてるんじゃないですかね」

――バンドがメジャー体質なんでしょうね。

マサハル「うん。こだわりのあるメジャー体質。でも表にはあんまり出さないで、声が掛かればとんねるずの番組も出ちゃう。身軽なんですよ、そういうとこ。そのせいかどうか知らないけど、コンサートに来るお客さんの年令層がまた若くなった。それって活気が出た証拠だと思うんですよ」

――今年最後のシングル「Friends and Dream」ってチェッカーズらしい〝泣き〟が入った歌ですね。

マサハル「他の人がうたうとクサくなりそうな歌なんですけどね。歌詞が男っぽい分サウンドをさわやかにしないと〝太陽に吠えろ！〟の世界になりますから。(笑) これはもう引き締めの歌ですね。(笑) 一人一人しっかりしようじゃないか、と」

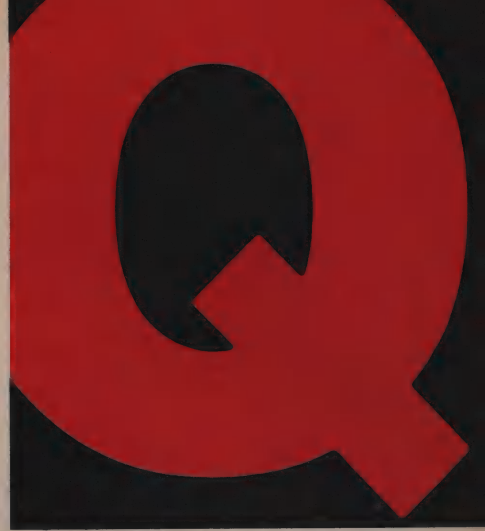
――『SCREW』に入っていた「Standing on the Rainbow」に近い気がした。

マサハル「うん、うん。あの世界、あの世界。プライベートな感じが出てますよね。あんまり気張ってないんだけどちょっと胸キュンでね。そろそろまた何かやってやろうという企みはあるみたいですよ、皆。藤井さんの本物のダンシングを教えちゃるみたいな曲がくるかもしれんし」

――政治君はどうするんですか？

マサハル「横でウロウロしてます。(笑) 性格がどうしてもバカをやらずにはいられないタチなもんで。カッコイイ郁弥氏、ダンディな高杢氏、パッパラパーなワタシ。見事なバランスでしょう？(笑) 楽しいバンドですよ、チェッカーズって」

文●佐野郷子

THE チェッカーズ 1989

Q 一日だけ有名人じゃなくなれたら何をする?
A ディズニーランドへ行く(F、T、Y)

Q 将来、自分の子供から「チェッカーズって何?」と聞かれたらどう説明しますか?(長崎県 シングルガール)
A フミヤ 家によく、お酒飲みに来るおじちゃんたちがいるだろう。あのおじちゃんたちと、唄を歌ってたんだよ。
ナオユキ おとうさんが今でもやってる・・・・・バンドだよ。
トオル 「お父さんの青春だった」という
マサハル うるさいだまってろ
クロベエ お父さんのいるバンドだ!
モク 「おとうさんがやってたバンドだよ」って答える
ユージ 日本一のバンドと説明する

Q 今までに着た衣装の中で、1番気に入っているものを教えて下さい。(世田谷区 小西真樹子)
A フミヤ 「ジュリアにハートブレイク」の時のやつと、「あの娘とスキャンダル」のスカートのやつ
ナオユキ GOの円形ステージのラスト武道館のアンコールに着た、ドイツ軍の軍服
トオル NHK紅白で着た、真っ白の服
マサハル ロンドンライブの時の衣裳
クロベエ チェッカーズチェックの衣裳
モク ロンドンライブの時のギャルソンかな?
ユージ キュートビートの時に着た、ギャングスーツ

Q もしイカ天に出るとしたら、どの曲をひっさげて出場しますか?(東久留米市 林田啓子)
A フミヤ NaNa
ナオユキ イカ天に出なくてもいっぱい出てるから出ない
トオル 「フレンズ&ドリーム」
マサハル ガロのロマンス
クロベエ ワンダラーかな?
モク 何でもいいけどネ、今だったら〝Friends and Dream〟
ユージ ギザギザハートの子守唄

Q 今日は仕事したくないと思う日があるのですか? そんな日はどうやってその気持ちを克服しているのですか?(岡山県 山口真朱美)
A フミヤ たとえ女にふられた次の日も、親が死んだ次の日も、私たちには仕事がある。自分で選んだ道ですから
ナオユキ もちろんある。他のメンバーのことを考える
トオル 「俺がやらなきゃ誰がやる」と思う
マサハル あります。なるようになるので、しょうがないと思う
クロベエ 〝一日は24時間しかない〟と思う
モク ある。現場に行くことで克服してる。
ユージ ある。シャワーを浴びる

Q みなさんは〝ア・カペラ〟で、どのパートを担当しているのですか?(岡山県 長門薫)
A フミヤ リードボーカル&ファルセット
ナオユキ 私の場合ほとんどファルセット
トオル 「ソ」
マサハル やっしゃんの三度上
クロベエ 曲によって、私はいろいろなパート
モク 私、バスボーカルを担当しております。五線よりずっと下の部分です
ユージ 上から2番目くらい

Q みなさんの思っている「強い女の子」ってどんな女の子ですか?(神奈川県 清水美紀)
A フミヤ 何が起こりえようと、一人の男を死ぬほど愛している女
ナオユキ ようするに優しい子
トオル 包容力がある娘
マサハル よくご飯を食べる人
クロベエ 泣いていても、すぐに笑える女の子
モク 〝子供の産める女の子〟
ユージ たえる女

Q コンサートの直前は、いつも何をしていますか?(神奈川県 小島真由美)
A フミヤ ラップの曲をかけて、踊っている(本当のことです)
ナオユキ タラタラしてる。タバコ吸ったりとか色々
トオル バカ話
マサハル 緊張してる
クロベエ トイレに行く、タバコを吸う
モク リハーサル
ユージ ヘアーメイク

Q 競馬で活躍中の武豊さんについて、どう思いますか?(千葉県 まじろ)
A クロベエ 馬からおちないように。
モク この人のおかげで、天皇賞がとれなかった。

Q 個性とは何だと思いますか?(福岡県 川崎亜弥)
A フミヤ 自然なこと
ナオユキ アプローチ
トオル 自分の素直な生き方
マサハル 個人個人の性質
クロベエ 人には無い物を持っていること
モク 自分
ユージ 自分自身をよく知ってる事

Q 今までの記憶の中で、1つの記憶以外すべて消されるならば、どの記憶を残しておきますか?(福岡県 池田加代美)
A トオル ギターがひける事
マサハル 服部良一さんを、ナマで見た時

Q もし、ねるとん紅鯨団に出たら、告白タイムでどういう告白をしますか?(岡山県 逸見寿恵)
A フミヤ もっともっともっとかわいくしたいです。お願いします
ナオユキ おねがいしますだけ
トオル 「いっしょに来い!!」
マサハル ちちばもましてくれ
クロベエ 好きです、つき合ってください
モク 「僕と一緒にいたら幸せになれますよ」あくまでもエラそうに強気で言う
ユージ ごめんなさい

Q 今年内輪で流行った言葉は何ですか?(広島県 小山千恵)
A フミヤ 係長ボクです
ナオユキ 大人じゃーん
トオル 「つらいんだよ」
マサハル 馬鹿
クロベエ ちぇ~す!
モク 「教えちゃる」
ユージ 大人じゃん

Q 最近は、ソロ活動の方もいろいろ忙しそうなみなさんですが、チェッカーズとして行動している時以外で、「自分はチェッカーズのメンバーなんだ」と1番感じるのは、どんな時ですか?(山形県 遠藤睦美)
A フミヤ いつもです
ナオユキ どんな時でも思ってる
トオル メンバーの自慢話をしている時
マサハル プライベートも仕事もすべて
クロベエ チェッカーズのことを、聞かれたとき
モク 扱いのよさ
ユージ 道を歩いていて、「チェッカルズだ」と言われた時

Q みなさんにとってHEAVENとは?(兵庫県 前田みき)
A フミヤ 善も悪もない所
ナオユキ 酒、Sex、ライブ
トオル ねている時
マサハル 食事・すいみん・風呂・OFF
クロベエ ゴルフ
モク 笑顔!
ユージ この世
OFF

Q 「サ・ヨ・ウ・ナ・ラ」の最終の方、(5分4秒位のとき)男性の声が聞こえますが、よく聴きとれません。誰の声で何と言っているんですか?(福岡県 けっこう仮面)

解剖学。

●もぉー、これだけ毎年、毎年"解剖学"をやってるのに、まだ、聞きたいことがあるのかっ、お前たちは、! フッ、カワイイ奴め。今年はとくに、全員への質問の、いちばん最後のヤツが重大な意味を持ってるのだGO!

A **マサハル** やっしゃんの声で、「久しぶりじぇ」と言っています
ユージ たぶん子供だと思う

Q どういう時になったら解散しちゃうのですか?（世田谷 藤志季美）
A **フミヤ** チェッカーズが嫌いになった時
ナオユキ メンバーの誰かが死んだ時
トオル ?
マサハル イヤになった時
クロベエ 今のメンバーが1人でもいなくなったらだと思う
モク 解散したくなったら
ユージ メンバーの誰か死んだら解散するでしょう。

Q 1度失ったら、取り戻すのが難しいもの（こと）って何ですか?（世田谷区 玉置真理子）
A **フミヤ** 信用
ナオユキ 父母兄友
トオル 信用
マサハル 命
クロベエ 命
モク 恋人
ユージ 髪の毛

Q 今の若手ロックバンドをどう思いますか? そして、その中で「こいつらイカしてんじゃーん」って思ったりするようなバンドを、教えて下さい。（兵庫県 水本めぐみ）
A **フミヤ** いいんじゃない? 東京スカパラダイス
ナオユキ この質問はやだなぁ。まず若手のロックバンドという表現が、俺達を年よりバンド扱いしてないかい。オジンだけど
トオル みんなガンバっていると思う
マサハル みんな似ていて個性がない（ハートがない）
クロベエ 怖いものがなさそうで、いいと思う! ビジュアルも音楽もいいと思うバンド
モク ながく続けたらいいなと思う。いねぇなぁ
ユージ たま

Q 今年の夏のツアーで、イカ太郎さんぐらいインパクトのあったファンの子は、いましたか? いたら教えて下さい。（兵庫県 大田陽子）
A **フミヤ** 水着、白ぬり、看護婦
ナオユキ みんなインパクトあったよ
トオル ハイレグの水着着てた女
マサハル いました。ユーちゃんの友達の黒人
クロベエ ハイレグの水着姿と、白衣の天使の姿
モク 武道館の水着と、看護婦。それと㋠のユニフォーム、アーミールック。ちなみに水着の時はわざわざ3人で見に行きました
ユージ 水着を着てた子

Q 好きな匂いは何ですか?（大阪府 まめちゃん）
A **フミヤ** せっけん、たこやき
ナオユキ 女の匂い、酒、たばこ
トオル 新品のスニーカーのゴムの匂ひ
マサハル さんまを焼いている時の匂い
クロベエ ガソリンの匂い
モク 好きな人の匂い
ユージ コンクリートの匂い

Q 今の自分からみて、前世と後世は何だと思いますか?（宮城県 菜央）
A **フミヤ** 前世は人間で今より人間として、20点ほどなさけない男。後世は願望だが、人間ではなく光になりたい。
ナオユキ お百姓さん、後世は蚊
トオル 前世は蛾。後世はネコ
マサハル 前世↓タンポポ。後世↓アブラナ
クロベエ 前世さる。後世さる
モク 人間（商売人）。後世も人間になりたい。男
ユージ 犬

Q 自分自身で「九州男児だな」と思うのはどういう時ですか?（福岡県 回転木馬）
A **フミヤ** 九州という島に生まれてみないとわからない不思議な性格がたしかにあるが、それは言葉にしにくい。かみさんをもらうとえばっているが、尻にしかれやすい
ナオユキ 東京の若者言葉を使った時
トオル いつも思う。特にあぐらをかいて、日本酒を飲んでいる時
マサハル 「なんばいいよっとか」と男らしく言う時
クロベエ 標準語がどうもしゃべれない!
モク あまりレディファーストじゃない
ユージ ラーメン食ってる時

Q 今まで何度かあったチェッカーズ解剖学で、嘘を言ったことがありますか?（山梨県 中村実央）
A **フミヤ** とーぜんだぜ Baby!!
ナオユキ あると思う。カッコつけてーのとこを5ぐらいにしたりとか
トオル ない
マサハル あります
クロベエ ないつもり? ファンのみんなが知っていると思う
モク ない。嘘になってしまった事はあるかもしれないが、嘘を言ったことはない。
ユージ 嘘はないけど、その時によって言ってる事が変る事はある

Q 郁弥さんの心の中の銃って何ですか?（福島県 山崎由愛）
A 人を思いやる心

Q バービカンのCMの曲は、シングルにはならないんですか?（栃木県 山口晴美）
A リリースのタイミングをはずしてた

Q オールナイトニッポンで酔った尚之さんは、寝てしまったようですが、そのあとどうなったのですか?（兵庫県 永井千恵子）
A JETS'のメンバーが、車まではこんでくれた

Q お母様は、尚ちゃんの髪について何かおっしゃいました?（福岡県 菊川三千代）
A 早よきれ

Q O型からA型、そしてまたO型となった気持ち?（神奈川県 安久智子）
A 今でもたまに、自分の血液型がわからなくなる時がある。

Q 私は政治さんが、前髪を上げた髪 or してですか?（兵庫県 大田陽子） ← see note

Q 私は政治さんが、前髪を上げた髪 or 下ろした髪を見たことがないのですが、どうしてですか?（兵庫県 大田陽子）
A ハゲてるから

Q クロベエさん、20代の半分が終わってしまいましたが、今考えてみて、やり残したことはありますか?（埼玉県 水野智恵）
A ない!

Q モクさんの"のるそる"や、藤井（兄）の"オールナイト"に出てくる「ジェッツ」って一体何者ですか?（神奈川県 NON）
A "仲間"です。"何者"っていう言いかたはとても失礼なのでやめて下さい。

Q "高杢流リーゼント"のテクと整髪料をぜひ教えて下さい。（神奈川県 斎藤広生）
A まずディップで形をととのえて、それを後からポマード塗って、次に前からポマード塗って、で、またセットしなおして、最後に固めたいとこだけチックを塗る。（ディップ→ギアのグレーに赤ライン・ポマード→やなぎや・チック→ブラバス）

Q 去年、裕ちゃんの飼っていたシーモンキーどうしました?（神奈川県 安久智子）
A 生きてます。

Q ゆでたまごのカタさはどのくらいが好き?
A それは、やっぱり、プルンプルンプルン（クロベエ）

徳永善也

THE CHECKERS

えっ、だって俺が歌うんでしょ？ ぜったいないって！

「チェッカーズの年間スケジュール」なるものを担当編集者から手渡された。コピー用紙にギッシリとワープロ打ちされた文字を目で追っていくと、ナント"ソロ活動"の多い1年だったことか！　しかし。しかし、だ。そのソロ活動に今回ワタシが担当するクロベエの名前はない。って事は㋠の活動の中で話を聞き出すしかないワケだ。いや、待てよ。他のメンバーがソロやってる期間中にクロベエは何をしてたのか、はたまた実は次なるソロを狙って着々と準備を進めた1年だったのか…。ワタシの脳裏にはグルグルと「クロベエの㊙計画」が渦巻いていったのだった。

クロベエ「オレ？　オレはチェッカーズの活動以外に何もやってないよ。ハハハッ。これじゃあ、この企画終りになっちゃうか。（笑）マズイよねぇ、やっぱり。どうしようか、ソロやってなくてどうもスミマセンなんてあやまってもしょうがないか」

——いやー、ホントにあやまられても困っちゃうんだけど。（笑）基本的に他のメンバーがソロ活動中はオフなんでしょ。

クロベエ「うん。基本的にというか、㋠の活動がないからオレは何もしてない」

——気になる？

クロベエ「やっぱり気になるよ。つらい思いをしているんじゃないだろうかとか、大変なんじゃないだろうかって（笑）」

——マジ？

クロベエ「マジだってば。自分はソロなんて全く考えられないから余計にそう思うのかもしれないけど。なんか…。ソロってすごく大変そうに見える」

——クロベエはソロに興味ないの？

クロベエ「興味がないっていうか、自分はできないと思ってるみたい。ヴォーカルできないでしょ？　曲は書かないでしょ？　俳優さんもダメだし。何をやっていいのか。何もできないもん、オレ」

——俳優さんもダメ？

クロベエ「ダメ！　ダメ！　セリフ覚えられないし役になりきれないよ。ナオユキとか見てて、よくこんな長いセリフ言えるなぁってテレビの前で感心してるんだから」

——ちゃんとメンバーが出てるドラマはチェックしてるんだ。

クロベエ「毎週じゃないけど見れる時は見てる。SAXがヘタな役をやるのも大変だろうなとか思いながらね（笑）」

——ハラハラ、ドキドキしない？

クロベエ「するよ。でもね、たぶんテレビを見てる時は、視聴者の人たちと同じ感覚に近いかもしれない。チェッカーズの時とはみんな違うからね。特にドラマでは違う人物になってるわけでしょ。一緒にいるメンバーは別人だから。たまにキレイな女優さんと一緒でいいなとは思うけど（笑）」

——ハハハ。俳優っていろんな人間になれておもしろいんじゃないかな。

クロベエ「オレのキャラクターからすると、まずカッコつけの役は無理だと思う。もしもやるんなら、このまんまでいいっていう役だったら挑戦してもいいけど、でもセリフは絶対に少なくしてほしい。覚えきらんもんねぇ。それだけで精一杯になって、まわりの進行具合なんてわからんようになってしまうの目に見えてる」

——じゃあ、音楽活動としてのソロだったら、まだ自分のいつものスタンスでできるんじゃない？

クロベエ「ドラムで？」

——歌手としてソロ・デビュー!!

クロベエ「ない！ない!!」

——そこまで言い切れる。

クロベエ「言い切るよぉ。オレが歌うんでしょ？　そんなの今まで一度も考えたことないんだから」

——他のメンバーがやってるから触発されるんじゃないかと思って。

クロベエ「ある意味でチェッカーズ以外のソロは、そのソロをやってるメンバーがそういう才能を持ってて、それをチェッカーズ以外で個人的に広げていってることだと思ってるんですよ。で、オレの場合はなんていうか…。他のソロをやってるメンバーを見守ってるというか（笑）、オーッやってるなんて思いながら酒を飲んで酔っぱらってる、と。（笑）ソロやってても、どこか安心してる部分もあるよなぁって自分でも思っててね。たとえばチェッカーズじゃないけどソロとして外でガンバッてきたメンバーが、やっぱり戻ってくるのはここしかないし、そこで得たものがチェッカーズに必ず影響してくるはずでしょ？　それがいちばんの楽しみなのかもしれない」

——さっき、ドラマに出てるメンバーを画面の前で見てるって言ってたけど、その他の自由時間は何をしてたの？

クロベエ「ハデに遊べないんですよ。やっぱり。なんか心のどこかで申し訳ないって思ってるのか。（笑）時間はあるんだけど、チェッカーズのオフの時のように遠出したり、田舎に帰ったりできなくて。地味に家で酒を飲んでるんですよね。これが」

——さて、今年1年はホントにソロ活動が多かったチェッカーズなんだけど、やっぱりチェッカーズとしての活動もしっかりと行なっている1年だったよね。シングルやアルバムのリリースしかり、ツアーしかり。

クロベエ「いくらソロって言っても基本はチェッカーズですからね。当然！当然！」

——シングル「ROOM」のリリースが3月21日発売で…。

クロベエ「このシングルの反応がおもしろかったんですよ、実は。男っぽいというか、しっとりとしたムード漂う曲だったでしょ。で、中年のオジさんたち、しかも、カラオケで唄える歌として人気が上昇してたという。今までのファンから一気に中年の男性にウケてしまったというね。新しい展開でした。そうそう、オジサンにね、あの曲を「平成の神田川」って言われたのにはインパクト受けまくりでしたねぇ（笑）」

——平成の神田川!!

クロベエ「どの時代にも甘ずっぱくて苦い男と女の関係は存在するって事ですか？」

——ガハハハッ。で、今年はデビュー7年目、メンバーは7人、ラッキー・セブンってことで、なんか縁起が良さそうな年だったじゃない？

クロベエ「でも、奇数とか良くないっていう説もあるらしいですよ。あらためて"7"を意識してなかったけど、『SEVEN HEAVEN』というアルバムも作ったし、やっぱりチェッカーズの今年のラッキー・ナンバーとでも言っておきましょうか（笑）」

——そうそう、今年はキャンペーンが1人ずつ各地に行くパターンじゃなかったね。

クロベエ「3人パターンと4人パターンと全員パターンの3パターン」

——クロベエは札幌と仙台に行って…。

クロベエ「酒と食いもんがバッチリでした」

——それに尽きる、と。

クロベエ「オイシイキャンペーンと呼んで」

——まさしく！

クロベエ「キャンペーンっていつもドキドキするんですよ。公開番組に行ったりすると目の前にファンの人たちがいて目がどうしても合っちゃうでしょ。照れくさいっちゅうか…ニコニコ手を振ったりしてるんだけど、顔が赤くなってるんだよね。いやー、どうもぉ、みたいになってうまくしゃべれんし（笑）何回キャンペーンをやっても馴れないよね。鼻がピクピクする（笑）」

——さて、ライブ・ツアーの方ですが。

クロベエ「やっぱりチェッカーズっていいなぁですかね」

——ハッ!?

クロベエ「ツアーが始まると、いつも思うんですよ。たとえば今年みたいにソロ活動が多くてもチェッカーズがやっぱりみんな好きだし、チェッカーズがあるからソロができるし、ソロから帰ってきて"おかえり"じゃないけど、（笑）このメンバーが集まったらチェッカーズだなぁっていう…。当り前なんだけどそこが嬉しいっちゅうか。戻ってくるのはここしかないでしょ」

——なんか…、クロベエの発言を聞いていると、ホントにチェッカーズのこと、メンバーのことが好きなんだなぁって…。

クロベエ「うん。チェッカーズのこと好きだよ、ホント。オレがソロやらないのって才能のなさとか照れとかそういう部分もあるけど、たぶん…、チェッカーズが好きだからじゃないかな。ナオちゃんやフミヤやモクやマサハルがソロをやり始めて活動を続けてても、それはあるイミでオレの中ではチェッカーズの一部なのね。ちょっとメンバーのことを離れて見てても、ガンバッてるなぁって声援送ってるオレがいて…。で、オレもチェッカーズでガンバッてドラムたたかんといけん！って思ってて。なんだかんだ言っててもオレにとってチェッカーズがいちばんの遊び場だし、仕事場なんだろうなぁ。だからね、チェッカーズ以外でこっちの方が絶対におもしろい！って思ったら、ソロだろうが俳優だろうがとっくに始めてると思うんだよね。でも、チェッカーズよりおもしろいものなんてオレには出てきそうにないだろうけど」

メンバーのソロ活動をあたたかく見守っているクロベエ。テレビの画面の前で、コンサート会場で、（時には朝帰りのタクシーの中でメンバーのラジオを聞いてしまったこともあったようだが㊥）クロベエはドキドキハラハラしながら、メンバーのことをいつも気にしてた。自分のソロについては「絶対にない！」って言い切ってたけど、そんな優しい彼の歌をいつか聴いてみたいな。

文●松浦靖恵

今は、〃俺が言ったんだから、これもオレなんだよ〃って。(笑)

モクはいい意味でとてもワガママな人だ。うーん、ゼイタクといってもいいかも知れない。自分にとって、一番のレベルのものをいつも発散したいと思っているから、そこに必要な環境も最高のレベルのものがほしいと願う。彼自身にとっても、回りに対しても常にパワフルに何かを求める。

そんな彼がソロ・アルバムを作った。最初にそのアルバムを聴いた時は、正直に言えば〃?〃という感じだった。いわゆるロック(的なもの?)とも、むろんチェッカーズとも違う世界のそれは、唐突にどこかからやってきた音楽のように思えた。どこかで勝手に〃ソロでやるのだから彼の指向やルーツ的なものが出る〃と思いこんでいたから。けれど、彼はもっと違う事を考えていたのだ。自分が素材となり、曲は納得のできる最高のスタッフを選び、まかせる。そして彼はいかにその世界に自分をうまく置き、また世界を描きだせるかに徹した。アルバムに目を凝らすとそんなモクの作り出した様々な世界が見える。たぶん自分とのつきあい方がうまくできる人でなければこんな事はできないだろうな、と思う。自分をためしながら新しく何かを引出してしまった。ドラマやトークや歌…そうやってモクは次々に自分に関するいろいろな何かを手にいれていく。彼はやっぱりゼイタクな人だ。

◆

——今年はやっぱりモクにとってソロを出したっていうのは大きい事だったと思うんだけど、個人的に築きあげたものって?

モク「やっぱ歌…が好きやなと思った」

——ボーカリストとして。

モク「だからね、それが一番伸びた部分でもある。自分で伸びたっていうのはおかしいけど、恥ずかしいけど、取材だからいわなきゃ。(笑)歌、だと思う、コーラスとかじゃなく。リード・ボーカル、それが俺は一番勉強させてもらったなと思ってるから。って事は自信になっちゃって、自信になったって事はたぶん伸びたんだろうなと。自分の中で何ていうの、歌が好きだと思ったね、それがやっぱり一番の成長じゃない? 歌が嫌いだったとかじゃなくて、歌いたい歌いたい、なの今。何しろ自分の声を出す事がすっごい好きなんだよね」

——内容的には? 正直いってもっとモクの趣味が前面に出るものになるかと思ったらそうでもない…。

モク「話がきて、じゃ、モクはどうするんだ、どういうの出したいんだってなった時に、〃全部まかせる、ただ俺がボーカルだっていう事だけ〃って。こんな曲歌いたいというのも言わないで、うん。やっぱ要するに俺は日本の茶の間を騒がせたいから、俺だよっていう事。だからたぶん詞の方でみんなすごく気を使ったと思うよ。俺が何を言ったかって言えば…。スタッフのみなさんへ、あなたたちが各パートパート、プロになりきってくださいって。そしてできたら俺が歌うし、もう…売りますし営業の仕事もします。(笑)って。なんか業界の、本当の作業をやらしてもらったっていう。そういうの、いっぺん今のクルーでやってみたいなっていうのがあったから」

——スタッフ達も最高の作品をまず用意して、それを仕上げるのがモク、と。

モク「そう。まず9月に出すシングルのレコーディングしてる時に気持ちよかった、俺が歌って。〃酒なんかいらねぇ〃だから(笑)状況…情景が無理しなくても出てくるってあったし。それからアルバムの方もうれしかったよね、毎日毎日違う曲歌えるんだから。こう…藤井郁弥気取り。(笑)」

——歌う時に意識したって事ある?

モク「服装、ね。服装と気分。曲と詞をもらって帰ると次の日のレコーディングはそれに合せて。それってねぇ、絶対必要な事なの。チェッカーズにとっては特にステージ立った時には。ま、チェッカーズじゃなくてもアーティストにとってステージ衣装っていうのは。特にボーカリストは楽器がないんだからなんで自分を盛上げるかっていったら衣装でしかないわけで。で自分が思ってるその時その時の一番カッコイイものにしないと、ダメなの、全部を出せない。レコーディングだって同じでね、こういう曲の時はこうダラシなく…これはビシッと、とかこれは単車の雰囲気とか」

——その時々の自分を演出していくんだ。それは声でもあるの?

モク「自然にその歌に合ったものっていうのがあるよね。俺はチェッカーズではベース部分が多いし、メンバーは俺が高い声出るの知ってるけど、回りの人はめったに聴いた事なかったから新鮮だったんじゃない? もう、そういう意味ではアルバムはソロのボーカリストとしての集大成だよね」

——そうやって曲ごとに世界を作っていく事って、役者さんに挑戦した事がいい土台になってたりしない?

モク「そう、本当、〃わぁオレこういう事もできるんだ〃って、思ったのはこれ、役者だね。今年は〃明日はワタシの風が吹く〃と〃グズ〃〃時間ですよ〃や隠し芸大会とかね」

——そういう事がうまくつながっていってる気がするね。

モク「うん、俺は一番…ま、メンバーからいったら順を追ってるね、ソロ活動としては。まずおしゃべりから入っていって、次は芝居やって。芝居やるとね、ラジオの台本読みとかでも違う。原稿読む時気合い入ってる。歌といっしょよ、それ。状況を…うん、聴いてる人に想像させるっていう…。だからこう勉強して勉強してやっとそうなった、順番通りにオレは段階ふんでる」

——去年ソロ出してるのと今年では表現力も違ってきた?

モク「全然違うと思うよ。うん、なんかこう今年はプロの役者さんをやっちゃったからね、俺。去年なんてまだまだ要するに素人さんだったけど、うん、そうだな、やっと芝居っていうものの面白さがわかってきたような、人のを見てわかるっていうかね。誰を演じるにしてもその相手のリアクションって違うから。わざとらしいのが好きな人、自然なのが好きな人、役者にしても演出家にしてもいろいろな人がいるわけだからそういうのは…どれだけの人を見てるか、どれだけの人と会ってるか、だよね。どれだけの人を想像するかとか、どれだけの喜怒哀楽を知っているかになってくる」

——逆にそうやっていろんな経験を積んできて、やりたい役とか欲って出てきた?

モク「今はまだ選ぶって段階じゃないんだけど。役者だとかお喋りに関してスタートラインに立たせてもらったって感じだから。ただね、俺が役者として初めてヒゲを剃る時はこれから本当にやりたい役に出会った時になるんじゃないかな、と。本当は…ずっと今までチェッカーズ解散するまでヒゲは剃らないとかいってたんだけど、俺来年なんか自分でやりたい映画とか台本があったら剃っちゃうかも知れない。それくらいしてもいいと思ったら。けどその時はメンバーにことわるけどね、いい?って。一人でも止める奴がいたらやめるけどね、チェッカーズが動いてない時だったらいいけど、連ドラとかやってたら重なるし」

——でもモクの決意みたいなものが伝われば本気で止める人はいないんじゃない?

モク「と思うけどね。まぁそれだけの役が来年くるかどうかだけど。でもそれはただカッコイイとかじゃなく、気分でこれだって思えるもんっていう事だけどね。またひとつでもそれで裸になるわけじゃん、俺が…ちょっとずつ本当の自分を見せていく…。それでも出れるって自信、だよね。最初の頃かけてたサングラスをはずすようになって、リーゼントもたまにはやんないでそのままテレビとか出るようになって、次っていったらやっぱヒゲかなって」

——そういう素のままの自分でも思った通りの世界をつくれるって、自分をコントロールする力、みたいなものなのかな。

モク「うーん、コントロールっていうよりその都度挑戦って感じだね。やってみて失敗する事もある。ただ最近は失敗とかしてもズルイんだけどね、オレ。(笑)前だったら、あー、しまった、こんなので出なきゃよかった、こんな事いわなきゃよかったって思ってたんだけど、今は〃俺が言ったんだからこれもオレなんだよ〃って(笑)」

——それもゆとりと言えば言える。(笑)

モク「言えるようになったって事ではね」

——ところで来年っていうのは前にも言ったけど、チェッカーズとしても個人的にもこのままの状態を保っていきたいって…。

モク「うん、だからそれは思い方の違いなんだけど、俺の場合今のままを来年に持っていくってすごいキツイ事だと思ってるから。今の俺が最高だとしたら来年も最高と思えなきゃいけないんだから、攻めていかなきゃダメなんだよね、守りに入ったら…本当に今と同じ事やってたら絶対に俺は飽きてる。下ってるとしか思えないわけ、自分の気持ちの中で。自分が最高だって思わなきゃ世間から見たって嘘になるからね。だから俺は挑戦していきたいの。それはチェッカーズの一員としてね。その中の高杢のソロ活動としてだね、あくまでも」

モクの頭の中には来たものに果敢に挑戦していくビジョンがある。そしてチェッカーズとしても今までの自分達のルーツとなってきた音楽のカバーに真剣に取組んでみれたら、と言う。「飛躍の年だった」という今年はそのまま、来年に続いていくのだろう。

文●野中ともそ

高杢禎彦

THE CHECKERS

11 FEBRUARY HITOKUCHIZAKA STUDIO

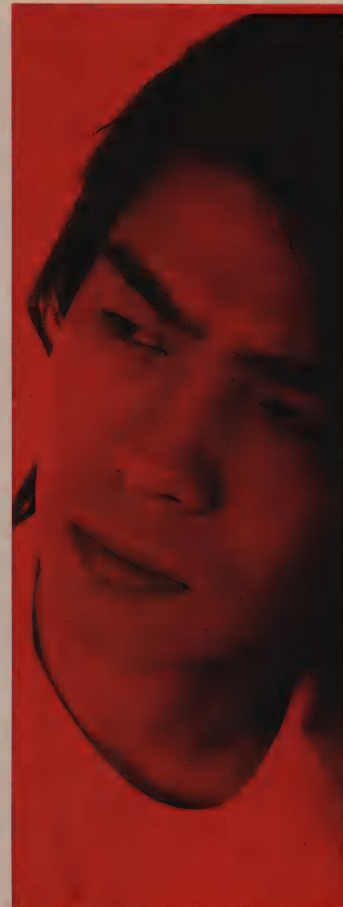
24 MARCHI NAGOYA

1 JULY REHFARSAL STUDIO

24 MARCH NAGOYA

6 FEBRUARY SUNPLAZA-NAKANO

1 JULY REHERSAL STUDIO

20 JANUARY MZA-ARIAKE

8 AUGUST IWATE

11 FEBRUARY HITOKUCHIZAKA STUDIO

22 MARCH SAPPORO

2 MAY DAIKANYAMA STUDIO

25 APRIL HITOKUCHIZAKA

21 MARCH OHSAKA

1 JULY REHERSAL STUDIO

8 AUGUST IWATE

1989 JUVENILE

大土井裕二

THE CHECKERS

来年は、フットワークを軽くするっていうのが目標かな。

—それでは、年末恒例のゆく年来る年インタビューということで。

ユージ「問題ない一年でした。(笑)」

—いきなり結論が出たので、終わります。と、いうわけにはいかないので、(笑)今年はマサハルのMZA有明からスタートして、その後ナオちゃんのコンサートツアーが始まりましたね。

ユージ「うん、覚えてます。その前のナオユキの時は、ソロは初めてだったから結構みんなドキドキしながら見てたけど、マサハルの時は落ち着いて見れたし、すごくマサハルらしいステージだったんで良かったんではないかと思う。ナオユキの場合はね、昨年もやってて、ま、前に比べると堂々と落ち着いてひと回り大きくなったというか、安心して見れたような気がする」

—今年、個人的に面白かった仕事というのは?

ユージ「そうだな、なんだろうな(と、言いながら、チェッカーズの89年度スケジュールをめくる)。あ、キャンペーンをやったんだよ、今年はな。あ、それは毎年やっているか」

—うん。(笑)

ユージ「だけど今年はね、メンバーが半分、半分に分かれて行ったんだよ、北と南に」

—団体さんだったんだよ。

ユージ「そうそう。ハードだったんだよ、すごく」

—え、どんなふうに?

ユージ「大変だったんだ。座っている時間もないくらいで。スケジュールもびっちりつまっていたし」

—でも、南班の人は全員がハードだったわけでしょう。福岡と広島だね。北班は、札幌と仙台ね。で、大阪と名古屋はメンバー全員が終結してと。これは、どうやって半分ずつに分かれたの、アミダ?(笑)

ユージ「なんだったっけな、なんとなくだよ」

—南方系の顔立ちの人が、南を担当したとか。んなわけ、ないですね。

ユージ「んなバカな。(笑)ま、キャンペーンの内容的には、ラジオのゲスト出演とか新聞社のインタビューとか、そういうのがワーッて一度に押し寄せるという」

—でも、いつもの年だったら一人で対応してたんだから、それが他にもいるからラクっていうことはなかったの?

ユージ「一緒、一緒」

—あ、そうか。結局、仕事する時は公人、オオヤケの人だもんね。

ユージ「そうです」

—自分ひとりじゃないから、おいしい物を食べに行く勢いもつくとか。

ユージ「とんでも。忙し過ぎてメシを喰う余裕もなかったくらいだよ」

—この全国キャンペーンは、来年もやる方針なの?

ユージ「やるという気はするね。だってなんか、なんかおもしろいもの。(笑)だってさ、地方に行ってメンバーがバラバラになってやるのってさ、やっぱりいつもと違うシチュエーションだから面白いんだよね。ま、来年はまた、南と北に分かれるか、一人ずつになるかはわからないけど」

—そういう形での仕事っていうのは、他にはないの。メンバーが一人ずつ、チェッカーズの使命をになって宣伝活動に努めるとかっていうのは。

ユージ「まあ、だってあとはコンサートにしたって何にしたって、みんな一緒に動くから。チェッカーズとしてそういうことをやるのは、やっぱり年に一度のこのキャンペーンだけだね」

—そうか。じゃ、次の質問を。今年はモクもドラマにラジオに歌に頑張ったけど、それに対しての感想は?

ユージ「どれもやってみたい仕事ばかり。(笑)いや、モクに対して特にっていうんじゃなくて、マサハルやナオユキのコンサートについても」

—ユーちゃんは、他のミュージシャンとのギグとかってやらないんですか?

ユージ「そういえば今年の年頭に、個人活動もやろうか、とか言ってたけど」

—言ってた、言ってた。

ユージ「結局、終わってみるとあまりやってないという。(笑)」

—私は、最近のユーちゃんのステージを見て本当に思っているのだが、R&Bやレゲエや、そういうセンスを持っているミュージシャンと一緒にセッションしたら、ユーちゃんのベースはすごく生きると思うな。チェッカーズとは違う意味で。

ユージ「出たい気はするんだけど、なかなかね。実際やるとなると、メンツの問題とかもあるし。曲をどうするかとかね、いろんなことが具体的に決まらないと出来ないんだよね。もし、そうなっても俺は歌えないしな、とかね」

—あれだけちゃんとベースが歌っているんだから、問題ない。

ユージ「インストバンドでもやろうか。(笑)」

—うん、全曲にボーカルが入ってなくてもいいと思うし。

ユージ「ま、こうやって考えると、来年はフットワークを軽くするっていうのが、目標かな」

—私はただ「もったいない」とだけ、一言申し上げておきましょう。

ユージ「いや、そのうちやるでしょう。そのうちね」

マネージャー「大土井は、今年はゴルフがめきめき上達したんですよ」

ユージ「マジメにゴルフ始めたのは、今年だよね」

—わあ、ヤン・エグ。

ユージ「何それ?」

—え、ヤング・エグゼクティブのこと。

ユージ「そういうふうに言うんだ。(笑)そうです、遊びとしてはやっぱり健康的なのがいいですね」

—どんなキッカケから始めたの?

ユージ「キッカケはチェッカーズ・コンペじゃなかったかな、やっぱり。毎年、チェッカーズ・コンペには参加してたんだけど、それだと一年に一回じゃない。だからずっと年に一回しかやってなかったんだけど、今年あたりから、トオルとかナオユキが行くぞっていう時に、一緒に行ってやるようになった。雨の日も、風の日も。(笑)」

—ハマってるね。

ユージ「けっこうハマってるよ」

—ハンディは?

ユージ「ハンディはめちゃくちゃ、ある(笑)。なかなかね、難しいやね」

—メンバーの中では誰と競ってますか?

ユージ「そうですね、行く時によって違うけど順番的にいうと、高杢とマサハルは前からやってて、マサハルが一番うまくて、その次に高杢がいて、今はその高杢と同じぐらいかな。で、そのほんのちょっと下にトオルがいて、そのもっと下にナオユキがいる。でも結構、みんな近い線に並んでいるんだけどね」

—だったら、短期間にすごく上手くなったっていうことでしょう?

ユージ「(笑)うん、今年やり始めた奴はみんなメキメキ上達したね」

—練習にもよく行くの?

ユージ「いや、行かないね。たまーに、そういうゴルフ・コースに出るぞ、という前にちょっと行くぐらいで。普段からやってはいないね。いち時期ちょっと、やり初めの頃は暇を見つけて行ってたけど。もう、寒いし。(笑)」

—それよりは、コタツとミカンと、そして黒い数の子(※注・黒い数の子とは、1月某日に発売される『パチ▼パチ読本』のユーちゃんの部を参照のこと)。これが冬には大事ですね。

ユージ「そ。数の子は辛くて濃い味。(笑)」

—ところで、今年の年末のツアーは体育館ツアーというか、大きい場所ばかりだけど。

ユージ「〝セブン・ヘブン・ウィンター・ツアー〟っていっても、アルバム『セブン・ヘブン』からの曲があまりない。夏のツアーでもアルバムからやっていない曲があって、今回はやろうっていうのがあったんだけど、構成を考えていくうちにどんどんはずれて。結局『セブン・ヘブン』からは夏にやったような曲しかやってないんじゃないかっていう噂もあったりして。(笑)でも、それはそれでいいかもしれないとは思うけど」

—コンサートっていうのは、やっぱりそういう流れや曲のつながりでやるっていう部分があるし。

ユージ「そうだね。ま、冬は毎回、体育館形式の所でやるから、見た目の華やかさとか大事だし。今回もステージは円形だしね。でっかい所で真ん中にドンッてステージ置いて、くるくる回ったりとか。(笑)でも、いつものように昔の曲をアレンジし直したバージョンとかいろいろあって、結構面白いんじゃないかな。それに、スピーカーが円形のステージの下に組み込んであって、これは凄いよ」

—もしかして、ボディ・ソニック・ステージ?

ユージ「(笑)みんなどういう聞こえ方をしているのかが、イマイチ気になるところだけどね」

—そうやって今年も終わってしまうわけだけど、一番良い年っていうことかな?

ユージ「そう」

—では、来年は?

ユージ「問題ありにしようかなあ。(笑)」

文●高山真由美

BOOM

総括 THE

●昨年の今ごろ、THE BOOMのことを知ってる人は、ちょっぴりだったけど、現在、全国に散らばるBOOMERの数は、想像がつきません。最近、BOOMが気になりはじめた人は、ココを読めばとりあえずOK。今回は、インタビュアーも彼らとは初対面の、名付けて〝ミニミニ・オールライターズ・Jr〟。某日、CBS・ソニー出版の会議室は、キッカリ50分、2ショット×4のフリータイム状態っ。

全撮影●加藤昌人　ヘア&メイク&スタイリング●佐野美由紀　文●根田美聡（MIYA）・伊藤亜季（TAKASHI）・田中弥寿代（TOCHIGI）・霜田桂（YAMA）＝オールライターズ・イン・ブーム

THE BOOM

TAkashi

「オレンジ・ジュース」という曲のギターの音色が、キューンキューンと頭の中を駆け廻る。アァ、なんだかスーッと耳に入ってきていいなぁーなどと思ってしまう。

歌を大事にしている——そんな気のするギター。

TAKASHIくんは飽きやすいそうだ。

加えて、わがままなそうだ。

本人がそう言ってるんだから多分そうなんだろうが、私にとってのTAKASHIくんの第一印象は実に自然な雰囲気だった。

「オレって、よくボーッとするんですよ。電車の中とか。インタビューの時とかもある」なもんだから、実に気持ち良くインタビューできてしまった。

「ここ1年で変わったことって言ったら…やっぱりギターの音色じゃないかなとか思う。人に言われたりもするしね。……少し音が太くなったかなっていうのもあるし、バンドにとけこんできたかなとも思うし…」

——それはバンドってものがより自分の中でこなれてきたからとか。

「そう…かもしんない。…やっぱり今年の頭ぐらいにレコーディング始めた頃から、バンドに専念できるようになったから…」

——昭和から平成にかけて、大きな変換が自分の中にもあった、と。

「そうですね。(笑)…だから曲によっていろんな楽器を弾いたりもした。例えば、バンジョーとかマンドリンとかね」

——そういう欲がでてきた。

「そうかもしれないですね。それはまぁ…レコーディングのせいもあるんでしょうね。レコーディングが好きだから、最初のリズム録りからミックスまでずっといて納得するタイプなんですよ」

——レコーディングが楽しかった。

「そう…ですね。やっぱり…自分の音が形になって半永久的に残るわけだから、そういった意味でひとつの記録みたいな感じがするし、〝やったぞ〟っていう実感がわいてくるっていうのもある…。LIVEとかってね…結構、良かった部分とか…悪かった部分だけが思い出に残ったりするんだけど、レコードとかってちゃんと形に残るし、ちゃんと振り返ることとかできますからね」

——自分を振り返ることってありますか。

「うん…ある時フッとね。……どういう時かは分からないんだけど、いきなりこの間のLIVEはどうだったとかね。うん……。それを次に生かせるかどうか……っていうのはちょっと分かんないけど。(笑)」

——渋公とかどんなもんでした?

「渋公は気持ちよかった…。広いっていうのもあったし、観客の人のパワーが感じられたしね。……そういう観客のパワーって結構刺激になったりしますから」

——たくさん入ってるし。

「うん。……たくさんの人が見に来てくれると単純に嬉しくなってきちゃうんだよね。地方に行ってもたくさん来てくれたりすると驚きますからね」

日曜日。久し振りにホコ天に行った。原宿駅を出て、ホコ天の人いきれの中を歩いていたら、なんだかイライラしてきた。

空はどこまでいっても澄んでいたのに、ホコ天の中を歩けば歩くほど、どんどん気分が悪くなった。

すると、急にフッと景色が見えた。

そこにはTHE BOOMがいた。

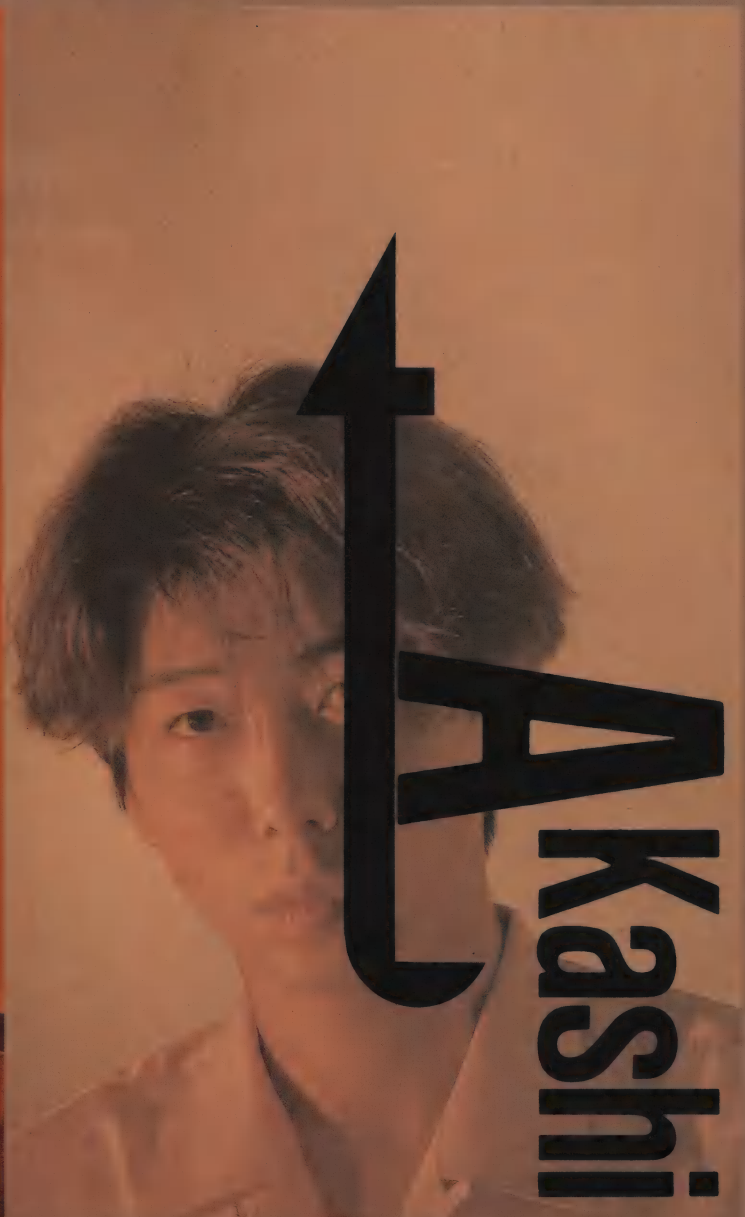
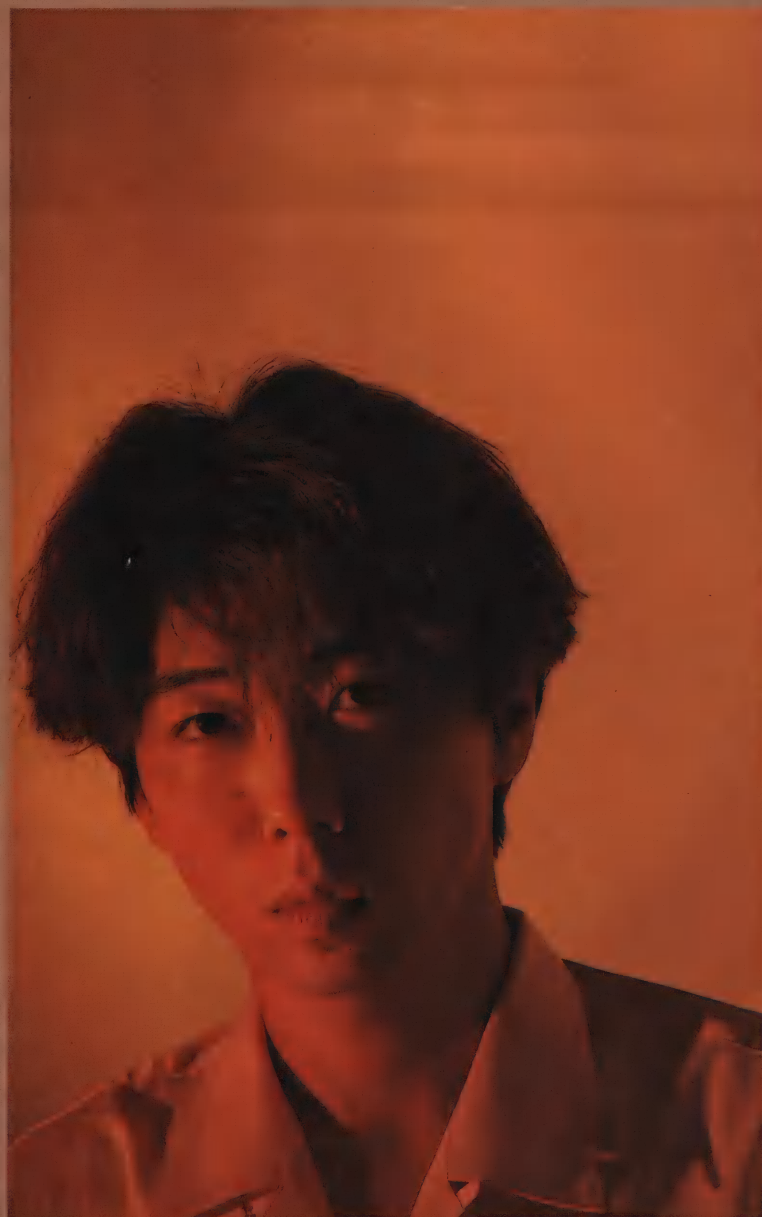
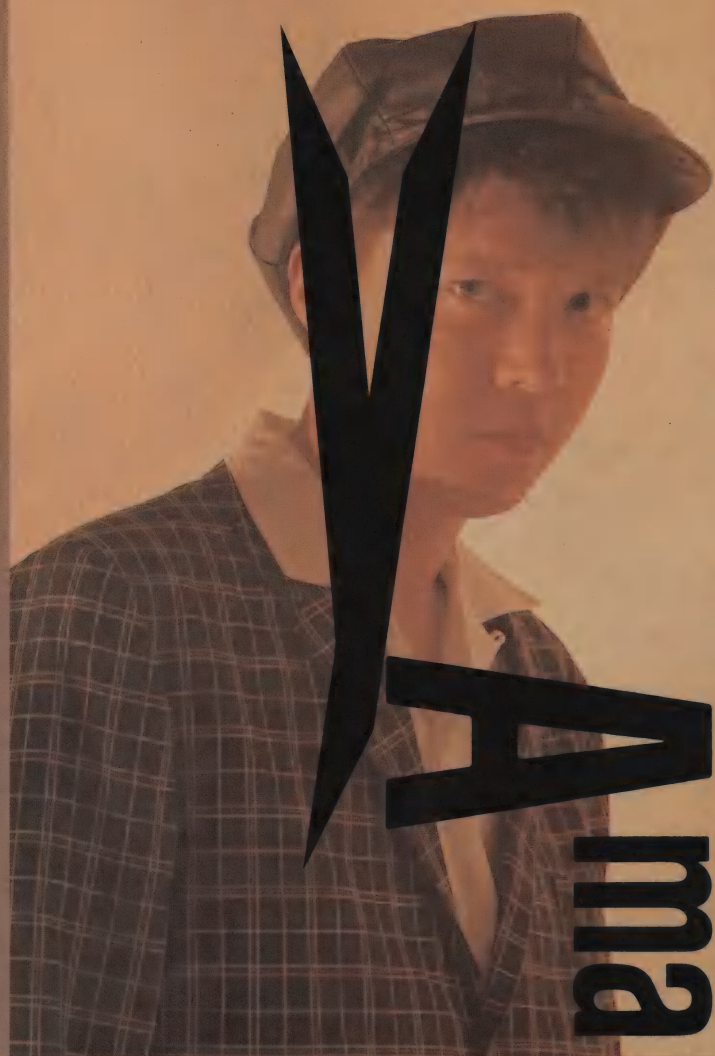
TAKASHIくんは煙草をふかしながらギターを弾いていた。やっぱりスーッと自然に耳に入ってくるギターだった。

「レコーディングやればLIVEやりたくなるし、LIVEやればレコーディングがやりたくなるんですよ。オレ」

TAKASHIくんは飽きやすいそうだが、ずっと続いてるものがある。

ギターとTHE BOOMだ。

文●伊藤亜季

YAma

総括

正直、THE BOOMのベーシストがこんなヒットだと思いませんでした。STYLE初登場にして、すでに、変です。（笑）

「署名ライブで全国を廻れたコトですね」

今年、楽しかったコトは？ という質問に対する答えがコレ。うーん、STYLEにふさわしく、美しいッとか思っていたら、

「飛行機にも乗れましたから。往復で2回くらい。好きなんですよ、離陸の瞬間と、あと雲ん中で揺れる時、エアーポケットに落ちる時とか。…あ、乗ったコトないんですか⁉ ヘッヘッヘッ。俺は乗った！ 船？ 船もねー、うん。広島に行くのに」

と、なぜか自慢されてる気分なんですけど。…それは気のせいですか？

——今後、自分はどう変わっていきたい？

「あんま、変わりたくない。進歩しないのも嫌だし」

——変わらずに進歩していこうってコト？

「まとめようと思うと嘘になるんですよ」

——!? わかった。〝まとめようとすると、ウソになる〟コレですね。

「それも嘘だ。書いた時点で違いますからね」

——（笑）いまのYAMAさんにとって、ホントって何ですか？ 文に書いても嘘にならないホントを言ってください。

「無理です。…で、なんの話でしたっけ」

——（苦笑）…じゃ90年の抱負を。

「抱負ねぇ…まだまだですね、BOOM。もっともっと…」

〝もっと〟のあとに続けて言っても嘘になるんでしょ♬ 言葉にしちゃ…

「読みますね。嘘とか真実（ホント）とかの話をしてるんじゃないでしょ（笑）」

確かに。YAMAサンが言ってるコトはホントで正しいス。書いた時点で、もうYAMAサンの発言（モノ）は、ライターの原稿（モノ）になるわけで。嘘になるのかもしれません。

本当の真実を知ってるかどうかというのは、ソレを信じるかどうかの問題かと。

——ところで、THE BOOMの生い立ちを知らないんですよね。スミマセン。

「誰も知らないでしょ（笑）」

——そうなんですか？ じゃあ『生い立ちを振り返りつつ、この1年を振り返る』ってコトで。よしッ、タイトルはコレだッ。

「何スか、嫌だな、そのタイトル。（笑）…中学3年の時に、フォークギターを買ったんだけど、高校1年の時に、バンドやろうって高校の友達と決まって、そん時がバンドは初めて。1回だけ、ドラムを演った。で、それからバンドもっとやりたいなと思って、中学の友達と一緒にやったんだけど、そん時は（エレキ）ギターで、高2。ベースを初めてライブで演ったのは、高3の時。学園祭で何かやろうって時に、同じクラスだったタカシがギターだったから、俺がベースで組んだバンドが〝非常事態宣言バンド〟。専門学校に通ってた時も、続いてた。たまの夏休みとか半年に1回くらいで。解散したあと、タカシはMIYAのバンドに、俺は、バイト先の知り合いのバンドで栃木サンのバンドに入った。〝スクラップ〟っていうんだけど、ちゃんとオリジナル演ってライブステーションとかに出てて…。このバンドからベースをちゃんと弾き始めた…」

「で、俺とタカシが知り合いだったから、BOOMが…。（笑）だからタカシ達のバンドとスクラップ、両方が解散したの。…まぁ、みんなプロ志向だったけど、俺は、もっと純粋なんですよ。ただ単に弾きたかった…ただ演りたかっただけなんですけど」

——今の状況はヨイですか？

「このまま、もっと続けば1番」

——ずっと続くためには…、うん、来年あたりの抱負は何ですか（笑）？

「とびますね。話が。ちょっと無理があるから答えられない。（笑）…アルバムを作って、ツアーを廻ると。バンドは1・2枚じゃ語れませんから。長い目でっていうかで…」

文●霜田桂

Tochigi

THE BOOM

「点数にしたら80点ぐらい。ドラムも切り離したホントに個人的な部分、栃木孝夫一個人の人生の中で考えたら98点はいってますね」

という'89年を、栃木さんは穏やかに話す。

——今年最大の出来事はどんなこと？

「やっぱり、5・21デビューでしょうね。次にこれだけのことがおこるとしたら結婚か死ぬ時か、ぐらいしかないんじゃないかなぁ（笑）」

——今年の始めは何をしてたんですか？

「ずーっとリハーサルばっかりでした。自分たちの曲をあれだけ長時間かけて煮つめたのって初めてだったんで、他のことはほとんど何もしてませんね」

——ヘビーじゃなかったですか？

「んー、基本的に練習は好きなんで…」

——ライブと比べたらどうですか？

「いや、ライブはライブで好きですよ。オレは変なんですけど、ライブでブームを後ろから見てるの好きなんです。3人3様で。3人の動きまで視野が広がっている時はいいライブなんです。楽しくて。練習はね、もっと個人的な小さいレベルのねちねちしたところが好きなんですよ」

——ずっと一緒に生活して、メンバーの中に新しく発見したことはありましたか？

「この4人の人間関係…一緒にガッといく時と、1人ずつになる時のバランスが前から気に入ってたんです。少し距離はあるけどくっついてるっていう。改めてこの関係、気に入りましたね。オレの性に合ってるなぁと（笑）」

——デビューして、何か変わったことはありますか？

「人と会う機会が増えたことですね。この10年間に会った人の数より、今年1年間で会った人の数の方が多いぐらいです」

——その中で特に印象に残った人というと。

「有名ライブで行った各地のイベンターの人とかレコード会社の人たちですね。自分たちの世界とか作っているものを気に入って、理解してくれる人がいると知ってすごく嬉しかったんです。自信にもなったし」

——じゃ、逆に変わらないことは？

「この性格ですね（笑）」

——（笑）どういう性格なんですか？

「えっ!? 困ったなぁ（笑）…大人のふりして実は何もわかってないという。あとは、ドラムが好きだなってことは変わってない。もっと好きになったかもしれない。前よりはいうこと聞いてくれるようになったから。〝いい子だね〟ってドラムに話しかけています。前は〝どうしてお前はいうこと聞いてくれないんだ〟っていってたのに（笑）」

——ライブ会場が大きくなっていくことについてはどう思いますか？

「んー…結局会場の大きさに関係なく、ライブを楽しみたいと思ってきている人たちと、楽しいライブをやろうと思っているオレたちがいればいいライブってできるなぁって感じてきましたからね。小さいところでもやっていけたらいいね」

——ホコ天は？

「オレ個人的にはやり続けたい。あそこはちょっと違う解放感があって…ホコ天で演奏することの気持ちよさを知ってますからね。今は、見てくれる子とオレたちとの信頼関係っていうものがホコ天には確かにあるんです。でも、もし今後それが崩れてしまったら…っていうのが1番怖いんですよ。今のところは信じてますけどね。そんなことには絶対にならないって」

〝近くで見たいっていうのはすごくよくわかるんですが…〟と、11月26日のホコ天で申し訳なさそうに、でも訴えるように、栃木さんは演説を始めた。中止になって悔しいのは、ファンだけじゃない。むしろ、メンバーだ。

この日のライブに対する栃木さんの想いを、数日前の取材ですごく感じていただけに、なんだかちょっと胸が痛んでしまっていた。

でも、信じる者は救われる。ライブは2時半をすぎた頃、ちゃんと始まった。

世の中、まだまだ捨てたもんじゃない。

クライだの内向的だの。とかくマイナーなイメージが先行していたMIYA。でも、実際会ってみると…そんなことは多少あった。(笑)いや、だけど、それ以上に音楽に対するマジーメな姿勢の方が印象的だったりしたんである。うんうん。

――今年の春、大学を卒業したんですよね。

「ハイ、そうです」

――律儀そうな人だから、ちゃんとけじめをつけてから音楽に専念!っていうのがあるのかなって思ってたんだ。

「いや、大学と音楽は関係ありません。留年してもいいかな、とも思ってたんだけど、ゼミの先生が卒論を書けば出れるようにしてやるっていってくれたんで」

――で、デビューして生活は変わった?

「あんまり変わんないけど…結構学生の頃って無駄な時間が多いでしょ。それがなくなったっていうか。そんぐらい」

――なんにも変わんないの。

「うん」

――でも、生活が音楽一色になっちゃったわけでしょ。

「自然の成りゆきだと思うんですけど。それまでの無駄な時間で音楽をやってるっていうだけで」

――じゃあバンドを離れて、プライベートな面での変化というのは。

「何もなかったです。ホント、悲しすぎるくらいになかった(笑)」

――マジ?

「音楽のことしか考えてなかった」

――そんなもんかなあ(―しつこい私)。

「語るほどのもんじゃないですよ」

――世の中に憤りを感じたりとかします?

「うーん…憤りとはちょっと違うんだけど、なんか子供の頃ってテレビとか見てて、例えば悪代官が出てきたら本気で怒るでしょ。『あのヤロー ッ!』とか。で、大学行く頃になると、そこらへんの仕組みがわかってくるから『勝手にやれば…』って感じになって。それが今年は、子供に返ったような気持ちになりましたね。テレビ見てて本気で怒っちゃったり」

――時代に危機感を感じるっつーか、なんか世紀末っぽくなってくると、開き直って楽しく生きようっていう人と、何とかしなくちゃって思う人に分かれると思うんだけど。

総括

「そういう危機感に気付いてない人に、気付かせたいっていうか。…で、ああいう歌ができちゃうんです。性格的に、結論を出してスローガンをかかえて、こうやって生きていこうとか言えませんからね。だから常に自分の思ってることを歌って、それを聞いてくれた人が何かを感じてくれたらいいなっていう。…なんつってわかりませんけどね。来年はメッセージ野郎になってるかもしれない(笑)」

――いや、それはナイ。だって、そこまで押しつけがましい人じゃないもん。(笑)

「そうですか(笑)」

――今年もバンド・ブームと呼ばれる年だったけど、ブームにのっかったと思う?

「うーん、だから、のっかって得した部分と損した部分がありますよね」

――損した部分というのは。

「バンドの名前が名前なもんで、音聞く前にも毛嫌いされたりとか、色メガネをかけられた上で聞かれたりとか」

――じゃあ得した部分は。

「得したっていうか、まあ、信じていい音楽をやっていても相手にされない時ってありますよね。実際今やってる曲にしても、ちょっと前までは誰も相手にしてくれませんでしたから。それがこう、聞いてもらえる状況になったっていうか。それで僕らも出てきたんだろうし。バンド・ブームで、今はとりあえずどのバンドも見てもらえますからね、そこから先は自分の責任だけど。そういう意味じゃ、すごいラッキーだった」

――有意義な一年って感じかな。

「音楽的には。この一年を迎えるために、これまで何年間も過ごしてきたわけだし。でも、なんか、アッという間に過ぎたなぁ」

miya

 文●根田美聡

会えてよかったな。

THE BOOM

きみの胸に書いた12の詩。

■NEW ALBUM「サイレンのおひさま」NOW ON SALE
NEW PRICE ¥2,800 (税込定価)
アルバム予約特典：ポスタープレゼント
NEW PRICE各税込定価¥2,800（各税抜価格¥2,718）
◎CD CSCL-1054 ◎CA CSTL-1054
■NEW SINGLE「気球に乗って/町の郵便屋」同時発売
NEW PRICE各税込定価¥800（各税抜価格¥777）◎CD CSDL-3033 ◎CA CSSL-3033

THE BOOM「サイレン・ツアー」1989〜1990

2/11(日)・12(祭)渋谷公会堂［2/11 OPEN18:00 START18:30］［2/12 OPEN16:30 START17:00］
PRICE￥3,090（税込）12月24日(日)チケット一斉発売〈チケットぴあ、チケットセゾン、丸井チケットガイド、CNプレイガイド〉

1989
12/24(日) 大阪バナナホール③
12/25(月) 大阪サンケイホール③
12/27(水)・28(木)・29(金) 名古屋ハートランド④
1990
1/30(火) 名古屋愛知勤労会館④
1/31(水) 京都会館第2ホール③
2/1(木) 大阪厚生年金会館(大)③
2/11(日)・12(祭) 渋谷公会堂①
2/16(金) 広島郵便貯金会館⑤
2/17(土) 岡山市民文化ホール⑤
2/18(日) 姫路文化センター(小)⑤
2/26(月) 札幌道新ホール⑥
3/12(月) 鹿児島市文化会館第2ホール⑦
3/13(火) 宮崎県民文化ホール⑦
3/14(水) 熊本郵便貯金会館⑦
3/16(金) 長崎平和会館⑦
3/20(火) 神戸国際会館⑧
3/22(木) 鳥取市民会館⑤
3/24(土) 栃木会館⑨
3/27(火) 川崎クラブチッタ①
3/31(土) 郡山市民文化センター(中)⑩
4/1(日) 福島県文化センター（予定）⑩
4/3(火) 仙台市民会館⑩
4/4(水) 岩手教育会館⑩
4/6(金) 青森市民文化ホール⑩
4/7(土) 秋田児童会館⑩
4/10(火) 高松オリーブホール⑪
4/11(水) 高知県民文化ホールグリーンホール⑪
4/12(木) 松山市民会館(中)⑪
4/14(土) 福岡市民会館⑦
4/16(月) 山梨県民文化ホール①
4/17(火) 千葉市民会館(大)①
4/18(水) 水戸市民会館⑨
4/20(金) 新潟県民会館②
4/21(土) 長野県民文化会館⑫
4/23(月) 大宮市民会館①
4/25(水) 浜松福祉文化会館⑬
4/26(木) 静岡市民文化会館(中)⑬
※追加公演の可能性もありますので、どうぞお楽しみに

〈問い合わせ〉
①ディスクガレージ 03-5485-3200
②F.O.B.新潟 025-229-5000
③キョードーチケットセンター 06-345-2500
④サンデーフォーク名古屋 052-320-9100
⑤夢番地 082-249-3571
⑥WESS 011-512-4377
⑦BEA 092-712-4221
⑧スターライト 06-533-6561
⑨アクト 0286-21-2241
⑩G.I.P. 022-222-9000
⑪デューク 0888-31-2020
⑫F.O.B.長野 0262-27-5599
⑬サンデーフォーク静岡 0542-84-9999

只今、THE BOOMの"おひさまのはがき"発行中！

下記の番組を聴いていて下さい。そしてTHE BOOMの曲がON-AIRされたら、即、その番組あてに、「○月○日の放送で、THE BOOMの……（曲名）を聴いた！」と書いてハガキを送って下さい。自分の住所、氏名を書くのを忘れなかった人にはもれなく、THE BOOMの"おひさまのはがき"（それぞれの番組名入り）が送り返されてきます。期間は平成2年1月31日まで。

この企画にのってくれる番組は、今後も増える予定です。あなたもよく聴いている番組あてに、この企画にのってくれるよう投書して下さい。

問い合わせ：CBS・ソニー 販売促進部2課「おひさまのはがき係」TEL.03-266-5920

- FM群馬「PRE² HOT-HITS」(金)20:00〜20:55
- OBC「MUSIC…ing」(日)22:00〜23:00
- FM山口「エフエムミュージックギャオス」(木)19:30〜20:00
- FM山口「ラングレーハウス パチコン・タイム」(土)24:00〜25:00
- FM山陰「ストリート・ロッカーズ」(土)22:00〜22:55
- RKB毎日放送「Hi Hi Hi」(月〜金)21:00〜24:00
- FM中九州「サウンドパラダイス」(月〜金)17:15〜19:00
- FM宮崎「トワイライトステーション」(月〜金)18:00〜18:55
- FM宮崎「サウンドGIG 55」(土)20:00〜20:55
- MBC「ラジオ天国ちゃんときいてNIGHT！」(月〜金)23:30〜24:40
- FM沖縄「ポップンロールステーション」(月〜金)19:00〜20:55
- 青森放送「ナイトブリッジフォーユー ごきげんさかさまラジオ」(火)24:10〜25:00
- FM秋田「ポップカンパニー」(日)18:00〜18:55
- ラジオ福島「それいけAMAMこちら下荒子8番地」(月〜金)24:15〜25:00
- NHK仙台「夕べのひととき」(月〜金)18:00〜18:45
- FM三重「サウンドサークル」(土)19:00〜19:55
- FM静岡「クラブ・レッズ」(土)26:00〜27:00
- FM福井「サンセットステーション」(月〜金)17:15〜18:30
- FM富山「夜はいただき土曜はDO」(土)22:00〜22:55

CBS/SONY RECORDS
CBS SONY

THE MEMORY RED WARRIORS

●1989年の重大事件!! 海の向こうの政治や社会の出来事は、身体が忘れてしまうだろうが、RED'Sというバンドが解散した事実は身体が覚えていてくれるだろう。RED'Sの解散までの足跡を追って、1989年に、幕がおりる。

IOGRAFY

さて、これから始まるは、惜しまれつつ砕け散ったレッド・ウォーリアアーズをめぐる3バカ座談会（失礼！）である。レッズのアルバムを年代順に並べ（この3年間に6枚のアルバム!?）、彼等の足跡をたどりつつ、レッズの3年間に渡る活動を総括しようというものだ。

出席者は、レッズのプロデューサーであった宗清氏。シャケを古くから知る友人、RS氏。そして『ナチュラル・マン』の共著者、朱雀氏である。では、始めていただきましょう。

宗清裕之

日本コロムビア・レコード・ディレクター。シャケともにサウンド・プロデューサーをつとめ、彼等の音楽的信頼を一身に集めた。彼等の曲「アイ・ミス・ユー」や「フーリッシュ・ギャンブラー」などでは、ピアノも演奏している。

ミスターRS

古くからシャケを知る友人。レッズ結成以前のレベッカ♂の頃から、ず～っと彼等のファンである。現在、ローゼン・クレンチェというバンドのギタリスト。レッズの曲なら、どの曲でもコピーできるというフリークス代表。

朱雀正道

ライターとして、また編集者として、さまざまなジャンルに進出、話題作多し。後期レッド・ウォーリアーズとは深く関わり、コンサート会場でも、頭をからっぽにした踊りで異彩を放つ。田所豊との共著『ナチュラル・マン』は有名。

朱雀 今日は彼らの歴史をアルバム単位でたどり、彼らの活動を総括してみる、ということですが。では。まずスペシャル・ゲストのミスターRSから、どうぞ。

RS あ、いきなり振られちゃうわけ。（笑）なつかしくって、どこからしゃべったらいいか、わかんないね。……レッド・ウォーリアーズの前身のレベッカ●（オス）の頃って、今みたいなバンド・ブームではもちろんなくて。東京ロッカーズ以降脈々と続くインディーズ時代の最後の盛り上がりの頃なんだよね。エッグ・マンで「ゲリラ」を聴いて、俺、泣いたの覚えてるよ。

宗清 レベッカ●からレッド・ウォーリアーズとしてデビューするまで1年半の開きがあってね。ちょっとした状況説明をしますと、あの1年半の間にレベッカはすっかりメジャーでBOØWYも火がつきはじめてた。あの頃、日本のシーンがかなり変わったんですよ。さて、デビュー・アルバム『LESSON 1』の時は、一発録りにシャケはこだわってね。どうしてもショボくてもあえて昔の60年代のロックンロール・バンドがやってたような音を作りたいっていってね。ほとんどオーバ・ダビングもしてないんだよ。「頼むから、ここだけは」なんていってオーバー・ダビングをしたところもあることはあるんだけどね。

朱雀 シャケのなかには、あらかじめ3枚くらいの計画があって。「バンドなんて、そんな急にうまくなったりするワケないじゃん。最初は荒くてもイキオイのあるやつをやっとこうと思ってね」なんていってたのを、よく覚えてる。

宗清 うんうん。俺ね、最初はエコー&バニーメンみたいなかんじのバンドかな、なんて思ってたんだよ。ほら「アウトサイダー」なんか聴くと、そんなかんじもあるでしょ。でも、そのつもりで話しても、話が全然噛み合わないんだよね。で、だんだん話していくうちにシャケに教育されて「ショック・ミー」とか「バッド・ラック・ブギー」みたいな世界に、理解を示すようになったんだ。……俺の想像なんだけど、シャケはレベッカをやめて、レッド・ウォーリアーズを作る時に、その時点で構想を立ててたんじゃないかな。過去に対する訣別も含めてね。ブリティッシュな音楽性もある程度捨てて、別の音楽を自分たちでさぐりながら作っていこうって考えていたみたい。彼らは1年かけてそれらを固めていったんだよ。

RS 『LESSON1』の頃って、シャケはエアロスミス型のロック・バンドをやってゆくんだって力説してましたね。

朱雀 シのゴのいわずに頭をバカにして踊れる、あの頃は、それだけで新鮮だった。デビュー・アルバム（86年10月リリース）を聴くと、すでに「バースデイ・ソング」とか「ゲリラ」みたいな曲まで入ってて、こりゃ、本当にすごいなって思ったな。あとでシャケが楽譜を読めないってこと聞いて、ショックだった。

RS 木暮さんって日本で数少ない、日本っぽくないメロディーとコード進行を作れる人だよね。

朱雀 〈ロックンロール・ショー〉っていうのが、本当にゴージャスに、よくわかってる人ですね。

RS 一枚目って、あの未完成さがいいんですよね。『KINGS』以降の方向性バッチリ路線も、もちろん好きなんだけど。

朱雀 さて、ファースト・アルバムの後は年が変わって87年。この年の1月30日にはスライダーズの武道館の前座で、告知なしのイキナリ・ライブで3曲「ショック・ミー」と「アウトサイダー」「ワイルド・チェリー」を演奏してます。

宗清 あの日はスライダースって恐そうだから、事前に楽座に挨拶に行ったりね。（笑）「ウケなくても、ファンをののしったりしないように、ね」なんてこといったりしてたの。（笑）そしたらウケてね。（笑）

朱雀 総立ちだった。

宗清 会場が盛り上がりまくって、スライダースの開演が遅れちゃってね。

朱雀 翌日の渋谷公会堂も成功。時まさに、ブルーハーツが台頭、青か赤か、なんていわれたのも、あの当時ならではってかんじでしたねぇ。で「バラとワイン」もリリースされ、渋谷公会堂を卒業する頃です。そしてセカンド・アルバム『カジノ・ドライブ』が6月にリリースされる。

RS このアルバムで、はっきりブリティッシュな路線が捨てられて、アメリカン・ポップのサウンドになってますね。

朱雀 今思えばデビューから解散に至るまで、レッズのライブを支えた曲が、このアルバムに随分入ってますね。

宗清 このアルバムのなかの半分の曲は、1枚目をリリースする以前からやってた曲なんですよ。それプラス新しく作った曲で構成されてます。

朱雀 曲調も広がりがあって「カジノ・ドライブ」や「モンキー・ダンシング」もあれば「バラとワイン」や「モーニング・アフター」もあるっていう具合で、スゴイ。

宗清 「レコード芸術的なものは作りたくねぇ」とか、それからシャケは自分が60年代～70年代初期のロックに感動した体験があるから、音自体をそういうものにしたいっていう欲求が強くあった。でも、そのへんもちょっと妥協してもらって、オーバー・ダビングをはじめ、レコードならではの完成度を目指して、いろいろやりました。

朱雀 ちょうどこの夏のイベントも、ノッてましたね。ヒロシマで見た時も、なんかライブ暮らしが板についてるっていうか、ユカイが歌いながら軽々とマイク・スタンド振り回す姿とか見てると、ちょっと新人バンドには見えなかったもん。

RS そういえば、あの頃レッド・ウォーリアーズがフリンジを流行らせましたね。

宗清 ロジャー・ダルトリー路線ね。（笑）

朱雀 ファンのファッションが、また楽しいんだよね。ユカイくんがラジオで、ちょっといったら、だんだんファッション的に定着しちゃったもんね。あの赤い帽子に皮のミニ・スカート、網タイツはいてさ。派手で、ちょっとセクシーで。みんながんばって着てたよね。今、あの子たちの服って、みんなクロゼットのなかの暗闇で眠ってるのかな。

RS ユカイさんが骨折したのって『KINGS』出る前ですよね。

宗清 あ、そうそう。ついてたね、松葉杖。

朱雀 大分なんかの時に、ステージから飛び下りて、足の指を折っちゃったんだよね。点滴を打ちながら、ライブやったって聞いてますけどね。

朱雀 年が明けて、千円で武道館。この日の前座は、JOY POPSです。

宗清 前回、前座に出してもらったお礼の意味でね。

●記念すべき彼等のデビュー・アルバム。初期の彼等の決意表明、音楽的野心にあふれるアルバム。
●1986年10月10日発売

●レッズのロックンロールが確立された代表作。ライブでもこのアルバムからの曲が、多く演奏される。
●1987年6月21日発売

THE DISC

朱雀　さて、ラスト・アルバムとなったロンドン郊外レコーディングによる『SWINGIN' DAZE』が89年7月に発売されます。リズム録りがソースピーのチャペル・スタジオで、オーバー・ダビングがミルトンキーンズのグレートリンフォード・スタジオで行われています。音楽的にも、これまでの彼らとは違った世界が描き出されています。

RS　こんなアルバムが出来上がってくるなんて、誰も予想しなかったですよね。……ぼくはこのアルバムを聴いて、まずビートルズの後期を思い出しましたね。サイケデリックで……。

宗清　たしかに変化した変化したっていわれるけど、実際は「LADY BLUE」の延長線上っていう気がしますけどね。それに解散するにしてもしないにしても、いずれにしても、こういったアルバムになってたと思いますよ。ま、ぼくとしてはロンドン郊外の家庭的な環境でのレコーディングということもあって、非常にのんびりレコーディングに専念できましたね。それはすごくしあわせだった。ほら、別のこと出来ないでしょ。……サウンド的には、シャケの好きな60年代から70年代初頭のロックンロール・サウンドが意識されてます。シャケ好みの、古っぽい音に一番仕上がってるんじゃないかな。

朱雀　曲のスタイルも日本のロックンロールが、これまで一番表現しなかった部分ですよね。でもシャケにとっては、この部分なしに、バンドを解散するわけにはいかなかったんじゃないかな。光というよりは、闇。そして〈バンドの死の匂い〉までする非常にクリエイティブなアルバムだと思います。

RS　もし、彼らが5枚目を作ったとすると……どんなものができたと思います？

宗清　これが……楽しみなんだけどねぇ。

RS　この後に、彼らがなにを作るか。それはビートルズもやってなかったことだと思うんですよね。もしかしたらレコーディングに専念してたかもしれないし。

宗清　そうかもしれないし、あるいは、このアルバムの反応によって、もっとライブでアグレッシブになれる方向に進んだかもしれないし……。ホントは、このアルバムって、次の展開の第1ページなんだよね。すごく楽しみだったんだけどな。

朱雀　映画かなんかに例えれば、いきなりアンチクライマックス、みたいな。突然、主人公が死んじゃう、みたいな。そんなかんじですもんね。

RS　ファンの反応ってすごかったね。

朱雀　ツアーにしても、初日の大宮のファンは、心底、とまどってたね。紗の幕の向こうに、仮装舞踏会のようなお面をつけたユカイくんがいる「欲望のドア」のオープニング。最初っから、し〜んとしてた。でも、ツアーを続けるにつれて、リアクションがよくなったんだよね。

RS　ファンの子は、振りとかも一生懸命考えてたもん。……武道館のライブなんてもっとこのアルバム中心の選曲なんじゃないかって、みんな思ってたんじゃないかな。ま、それはともかく……このアルバムがどれだけ素晴らしいかを広く認識させるためにも本当は、これからの活動が必要だったんだけどね。

宗清　本当に、これは次の展開の、はじまりだからね。

朱雀　さて、そんなこんなで、解散後に2枚組のベスト・アルバム『RED SONGS』が発表さるわけですけど。まぁ、レッド・ウォーリアーズからの遺言のようなものですね。選曲については、いかがですか、宗清さん？

宗清　だいたんすんなり決まりましたね。ロックンロール・サイドとポップ〜バラード・サイドに分けようかっていうことで。まぁ、これも入れたい、あれも入れたいなんて話もあったにはあったんだけどね。「ワイルド&ペイン」とか「ミスター・ウーマン」とかね。まぁ、それいいだしちゃ、キリがないからね。

朱雀　ホントは、もっとテイク違いとかがいっぱい聴きたかったんですけどね。「ファースト・アルバムの頃に収録され未発表になっていた「OH, MY GOD」と、「LADY BLUE」は、フェイド・アウトしてないヴァージョンが収録されています)。……でも、「ワイルド・チェリー」から始まって「LADY BLUE」で終わる、レッド・ウォーリアーズの物語が再構成されてます。……泣ける。

RS　聴いてると、うれしくなっちゃいますね。ライブに近い並びですね。

朱雀　というわけで1989年は幕を閉じ、レッド・ウォーリアーズは砕け散ってしまったんですが。

RS　なにかが終わったよね。

朱雀　うん。80年代後半に、もう一度、ロックンロールの魅力に夢中になれて、しあわせだった。ぼくはそんな気持ちでいっぱいですけどね。

RS　火をつけといて、逃げちゃったな、ってかんじもあるよね。

宗清　この、無責任野郎！

RS　でも、憎めないんだよね。

宗清　あ〜あ。俺にとっては、ホント、生きる教科書みたいだったよ。こういう仕事やって、ディレクターやってる上でのアイデンティティとか生き甲斐とか全部含めて……いやぁ、教えられたところが多かったもん。いなくなって、はじめて、そんなふうに思うけどね。

RS　今、洋楽を聴かないで、邦楽だけでバンドやり始めるって連中多いでしょ。そういう奴らにとってもロックンロール教科書になってるんじゃないかな。

朱雀　最近はドルも安いし、アメリカに対するアコガレとか尊敬の気持ちも社会全体的に薄れてるもんね。ちょっと話がズレちゃうけど今のバンド状況って、状況はいいけど、やってる音楽はゲロ吐きそうなの多いでしょ。身ビイキもあるけど「愛するロックのお葬式」っていう広告コピーはいえてるって思ったもん。……いや、ホント、レッズのロックンロールの隔世遺伝は、きっと数年後、あるんじゃないかな。これは期待してることのひとつです。

RS　もう少し、やって欲しかったなぁ。レッズの再結成なんて、ありえますかね、何年後にか？

宗清　ゼロじゃないんじゃないの？

朱雀　西部球場では「10年たったら……」なんて、ちょっと期待を持たせるようなこといってましたけどね。

宗清　あぁ、あれね。で〜もさぁ、この座談会も、レッド・ウォーリアーズだけが、なんかものすごい天才だったみたいな、シメになっちゃうとマズイよね。(笑)だってこんだけいっぱいバンドいるんだもんね。

●レッズのロックンロール3部作の完成形。チャートは初登場2位に。まさにレッズらしいアルバム。
●1988年4月1日発売

●1988年7月23日の小雨ふる西武球場で行なわれたライブを収録したアルバム。
●1988年9月10日発売

THE DISCOGRAFY

RS　『KINGS』の頃は、彼らはツアーをめいっぱいやってましたね。なにしろレッド・ウォーリアーズって、ツアー・バンドだなって印象がありますよ。見て楽しいだけじゃなくて、もう、あのメロディーに包まれてるだけで、しあわせなんだよね。俺、あの頃、こんなバンドはいないって思ったもん。

朱雀　そうなんだよね。このアルバムは89年4月1日発売で、初登場2位。アルバムではアメリカがイメージされ、また、自由の女神をペイントしたパネル・トラックで全国を徹底的にツアーしてます。

宗清　これまでもそういった志向はあったんだけど、ツアーとアルバムの、イメージ的なリンクが一番うまく出来て、トータルな表現が行えたのは、このアルバムからですね。充実度が違う。

RS　俺、最初聴いた時、びっくりした。3枚目って、グラムみたいになるのかな。ハノイ・ロックスみたいな音になるのかなって思ってたから。想像とは違ったな、と。あの頃ね、会えばエアロ・エアロっていってた木暮さんだったしね。結局『カジノ・ドライブ』のあたりまでは、ファンのなかでは、つかみどころのないバンドっていうイメージだったんだと思うの。本人たちは「ロックンロール・バンドに決まってるよ」っていうだろうけど、でも、このアルバムが出来たことによって『カジノ……』の世界を、より確かなものにした、っていうか〈レッド・ウォーリアーズのロックンロールの世界〉を確立したんだと思う。そうそう彼らのPAの野島さんも「こんな、いいアルバムない」っていってたんだよね。

宗清　ロックンロールっていったて、どういうスタイルのロックンロールなのかっていうところが、ハッキリしてきた。いわゆる彼らにとってのロックンロール3部作が終了したわけです。ユカイくんはちょうど『TOKYO POP』の録りの直後で〈表現することにたいする意欲や興味〉が沸き上がってます。

朱雀　「スリー・コードで、ロケンロール！」っていうオールド・タイプじゃなくて、ふくらみのあるロックンロールが、執念深く作り上げられてますね。

宗清　それもあるし、レッド・ウォーリアーズのなかのPOP性がうまく形になってるよね。

朱雀　それと同時に、たとえば音楽雑誌のグラビア・ページやインタビュー・ページで見ても、4人の個性が、すごくハッキリ見えてきていた。ワイルドでスナオというかワガママ・ロックンローラーのユカイ。痩せてロック・ファッションに身を固めた、夢みがちなギタリスト、シャケ。『風に開け』というか放浪しながら人生を考えるベーシスト、キヨシ。女好きでコンマ数の伝説を持ち、シャッフルのリズムを気持ちよく叩きだすコンマ……みたいな。(笑)いやぁ、小説にでも、映画にでもできるくらい、あの4人の組み合わせは魅力的だった。

宗清　レコーディングは大変だったけどね。1か月、スタジオにこもりっきりで。あのシャケの口から、グチが出たほど。

朱雀　シャケが「イッツ・オーライト」の歌詞を書いてきて、そこに「まだまだ先は長そうだぜ」って歌詞を見て、あ、もしかしたら……もう、俺たち、あんまり先は長くないかもってユカイは思った、なんてことをいってましたけどね。

朱雀　さて、続いて7月23日、西武球場ライブです。小雨が降ったり、シャケのギターの音が出なくなったりしたけど、でも素晴らしいライブだったですね。

RS　カジノでドライブしてキングスで王様になっちゃって。これからどうするんだろう、って思っちゃってね。そんなこと木暮さんに聞くと「どうしようか」なんて笑っててね。……ほかのバンドだったら10年かかってやるようなことを、彼らはたったアルバム3枚でやっちゃった、みたいな。

朱雀　あの頃、エアロが来日するんだよね。シャケはすごく感動してた。あの歳になって、まだまだよくなってる、今まで見たどんな彼らのビデオよりもよかった……なんていってね。あの頃のシャケって、もう体中が「向上心」ってかんじになってた。キングス・ツアーの合間に、武道館と横浜球場と、それぞれ見てるんだよね。

RS　俺、観に行く前の日に、7時頃までいっしょに野球やったの覚えてるな。そういえば……木暮さんってひなたぼっこ好きなんだよね。ツアー中にキヨシさんと木暮さんと俺とで公園行ってギター1本で昔の曲とか弾いて、いっしょに歌ったりしたこともあったな。あの頃、なんでだかいつも天気がよくってね。……。たしかに次のアルバムのことで悩んでたのかもしれないけど、でも、みんな楽しそうだったんだよね。

朱雀　『KINGS』から『SWINGIN' DAYS』までは1年3カ月くらいあいてるんですよね。その間、このライブ・アルバムがリリースされ、その後ずっと「スティル・オブ・ザ・ナイト」「レディ・ブルー」「欲望のドア」「サンデイ・サンシャイン」とシングルが続きます。

宗清　ほんとは、このライブ盤を出した後でいろいろアルバムを作ってほしかったんだけど、いや、アルバム作りたくてたまらなかったんだけど、もう、死ぬほどたくさんライブやってるでしょ。ムリなんだよね、曲を考えたり、リハーサルをやったりする時間が、そもそもないんだよね。……要するにロックンロール3部作は作ってオトシマエはつけてる。次の展開には時間がほしい。なおかつツアーはある。でも周囲の期待は高まりまくっている。そこで出てきたのが、デビュー・アルバムの頃からあった曲に、手を加えた「スティル・オブ・ザ・ナイト」なんだよ。いや、精一杯だったと思うよ。

RS　この頃、木暮さんはギター抱いて寝てるんじゃないかってほど、よく練習してるんだよね。昔は、練習なんか、しねえよっていって自慢してたのに。それにソロは嫌いだ、カッテングが命だっていってたのに、あの頃からソロがどんどん増えてくるんですよ。……「スティル・オブ・ザ・ナイト」って、ビデオがまた、かっこよかったね。カメラ・チェンジがシンコペーションしていて、ノリがすごくいいですね。

朱雀　あれはロンドンのはずれのテームズ川のほとりにある廃家を舞台に撮影されました。監督はナイジェル・ディック。ガンズ&ローゼスのビデオ・クリップも作った人ですね。夕方から撮影が始まったんだけど、夜中撮影が行われて、夜明け頃までずっと。……彼らが警官をマいて走り去ったり、ビルの外階段を駆け登ったり、戸外で演奏したりするシーンが、カラーとモノクロを交えてまとめられてましたね。あの撮影の日は、ぼくもいたけど、寒かったな。

SWINGIN' DAZE

●ロンドン郊外でレコーディングされた、３部作とはは違った色を持つ実質的なラスト・アルバム。

●1989年７月21日発売

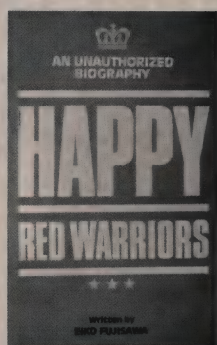
RED SONGS

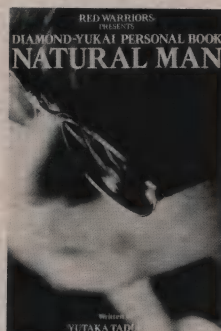
●彼等の代表曲24曲を収めた２枚組ベスト・アルバム。ビギナーからマニアまで楽しめる内容。

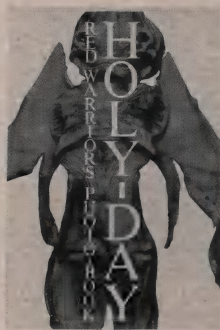
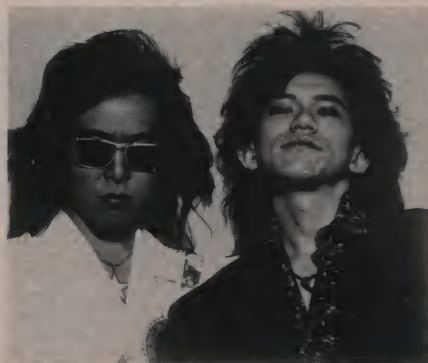
●1989年11月21日発売

BOOKS

DISCOGRAFY

AN UNAUTHORIZED BIOGRAPHY
HAPPY
RED WARRIORS

HAPPY
▶藤沢映子　著
●ＲＥＤ'Ｓ初の単行本。４人の生い立ちから出会いまでのストーリー。

RED WARRIORS PRESENTS
DIAMOND-YUKAI PERSONAL BOOK
NATURAL MAN

NATURAL MAN
▶田所豊、朱雀正道、共著
●自然に生きる事に目ざめたナチュラル・マンの世界。

HOLY-DAY
RED WARRIORS PHOTOBOOK

HOLY-DAY
▶写真　高橋恭司
●ＲＥＤ'Ｓ最初で最後の写真集。1989年のＲＥＤ'Ｓがこの中にいます。

HOLY-DAY

ヤツラの最初で最後の写真集。もう、解散することが、撮影に入る前から、わかってたので、タイトルも『HOLY-DAY』に即決した。〝長いお休み〟という意味と、〝聖なる日〟という２つの意味を込めた、タイルなんだ。

しかし、あの４人には振りまわされた。天気にまで振りまわされたんだから……。

忘れもしない、89年６月23日、この写真集の取材の為、メンバー４人は７時に羽田に集合した。驚くべきことに１人も遅れずに！　しかし、予定していた大島行きの便は雨の為、欠航。日本全国、北海道地区を除いて記録的な大雨の日だったのだ。

「しょうがないよね」メンバーは気楽だ。しかし、スタッフはたいへんだ。このスケジュールで撮影するしかないんだから。

急拠、ロケ地を函館に変更。空港で待つこと６時間程、この日の16時には、我々一同は、函館の人となって、撮影に突入していた。函館は、東京の雨がウソの様な快晴。

「全然、こっちのほうがイイジャン」

「せっかくだから、いろんな所、行こうよ」

メンバーは気楽だ。函館は撮影中、快晴。〝聖なる日〟の夜空は満天の星だった。

NATURAL MAN

ユカイがホテル・オークラのとある部屋に入って来た。この部屋は、この本の取材の為、借り切ったスウィート・ルームだ。

「いいねえ、ゴージャスでさ」

無邪気にはしゃぐ、ロック・ボーカリスト、ダイアモンド・ユカイこと田所豊。

この部屋は、数時間後には、テーブルは無雑作にはじに追いやられ、コーヒーカップやグラスやディッシュ、軽い食べ物と、バサッと切られた髪の毛が散乱する、さながらジプシーの部屋に変貌していた。

悪魔の断髪式と晩餐のせいだ。

「いやー、いいよね。みんな似合ってるよ」

共著者の朱雀氏をはじめ、この本に関わったスタッフの髪の毛が床に落ちている。

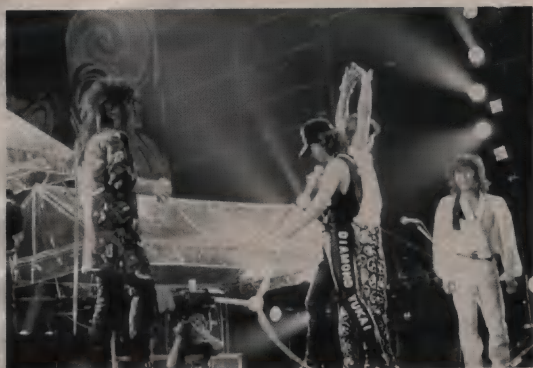
こんな部屋の中で、この本の大部分は、生み出されたのだ。

まるで、おかあさんが手作りでクッキーを焼くように。ユカイと朱雀氏は、この本に取り組み、楽しんだ。

「そうだ。ね、タイトルも自然な感じで、いこうよ。ナチュラル・マンでどう？」

この本のタイトルも、この部屋の中で、クッキーを焼くようにして生み出されたのだ。ユカイがカプチーノを飲みながらね。

LIVE

RED'S 1989'S LIVE

PHOTO●MARIKO MIURA

SWINGIN' DAYS TOUR

バチ▶バチでは、"SWINGIN' DAYS TOUR" の模様は2回取材している。

1回目は、6月27日の八王子市民会館でのライブ。そう、まだ、解散が発表されてなかった時のものだ。

2回目は、西武球場と大阪2DAYSの、それこそ "SWINGIN' DAYS TOUR" のファイナルを取材している。

"SWINGIN' DAYS TOUR" の初日、大宮ソニックシティでのライブは、取材こそしていないものの、見ている。

この、TOURは、アルバム『SWINGIN' DAZE』からの選曲が、前半に意図的に並べられていた為、初日の大宮でのライブ等では、ファンにとっては、意表をつくものだった。後半のRED'Sのなじみの曲までは、ファンの動きも、ぎこちなく、しーんとしていた感がある。

しかし、八王子で見た印象は、大宮のとは、だいぶ違い、ファンのリアクションも非常によいものとなっていた。この頃のライブは、まだ解散が発表されていなかったのだが、ファンのリアクションに "もう、これで終わりなのかも" といった切迫感があったように感じられた。ステージと客席とのテンションの高さという意味では、この頃がピークだったのかも知れない。

解散が発表されてからは、ユカイがステージでコメントすることもなく、最後まで、解散という言葉を聞いた記憶はない。

西武球場、大阪2DAYSと、"SWINGIN' DAYS TOUR" のラストは、全て見たのだが、大阪での終演後も帰ろうとしない、ファンの姿が、やたらに印象的だった。

PHOTO●TAKEO OGISO

FINAL SESSION

"SWINGIN' DAYS TOUR" を最後に姿を消したと思われていたRED'Sのホントに最後の大ブロシキ。

"俺たちの解散はめでたい" から "だまされた" という流れになる。

この10月30、31日の2日間、日本武道館で行なわれた彼等のライブは "今世紀最後のRED'SのROCK SHOW" という。非常に彼等らしていものだった。最後まで、いい意味で、俺達を、裏切ってくれるものだった。そもそも、この武道館ファイナル自体がそうなんだから。

しかし "だって、だまされた方が幸せだもん" という広告コピーは、的を射てるよね。

大阪2DAYS後、2ヵ月ぶりの彼等のステージは、やっぱりRED'Sならではのモノだった。

少々ブランクがあったせいで、ベストとは、言いがたいが、痛快で豪快でスリリングな、ロックンロールを演ってくれた。主に『SWINGIN' DAZE』からの曲が中心になるかと思っていたのを、あっされ裏切ってくれたところも、気持ちいい。特に31日のステージは、"ホントにこれが最後の最後" という。気迫にメンバーも客席も満ちた、超ハイ・テンションなステージだった。

掛け値なしの良い出来だったと思う。

後半でのカラフルな風船が客席一杯に落ちてきたのもRED'Sらしくてよかった。

この1989年の重大事件＝RED'Sのファイナルは、身体で覚えている分、今年のどんな耳より入って来たニュースよりも大きいものだったと僕は確信する。なお、西武球場、大阪厚年、そして武道館のライブ・ビデオ「RED'S FINAL」が90年2月にリリースされるらしい。必見!!

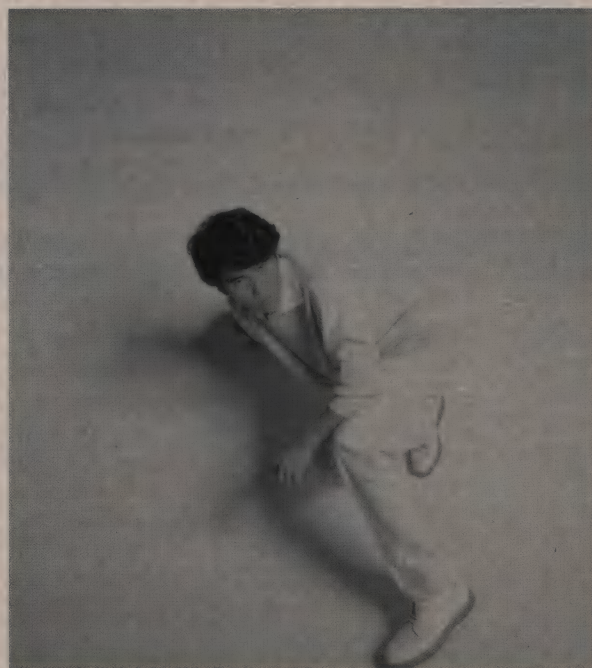
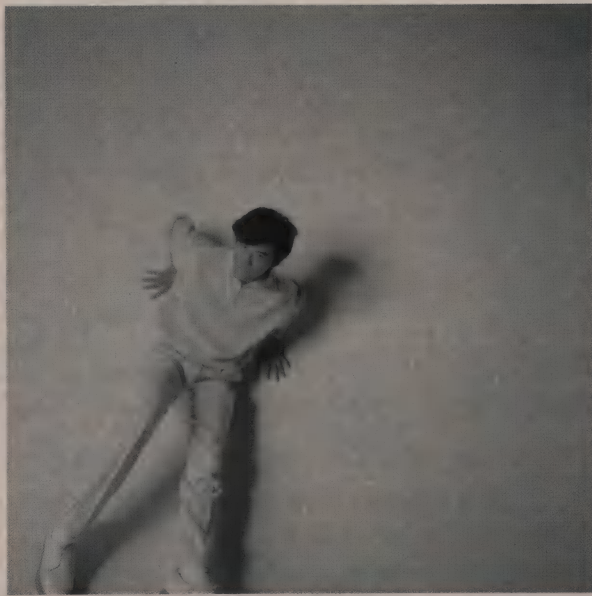
NOT THE
H
C-C-B
T
E
C-C-B

●みんながこの本を手にするころ、C-C-Bというバンドをやっていた４人のミュージシャンは、次の夢へ向かって動き始めています。

PHOTO by YORIHITO YAMAUCHI. COPY by KYOKO MORITA.

NOT THE C-C-B

HIDEYUKI

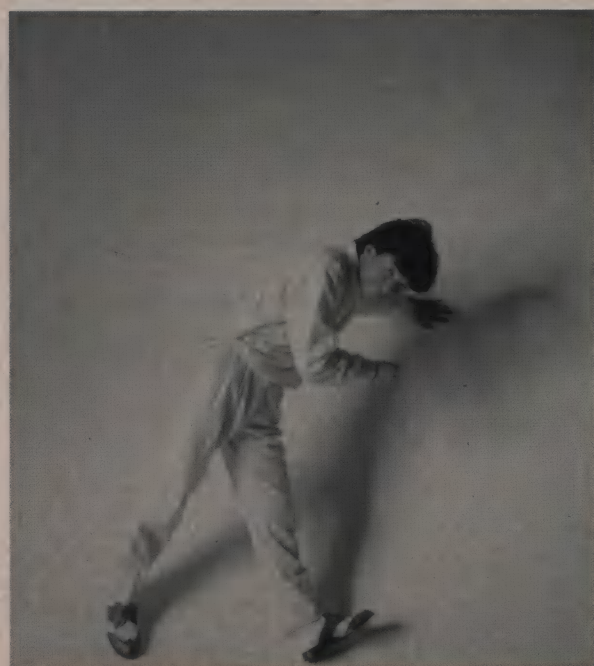
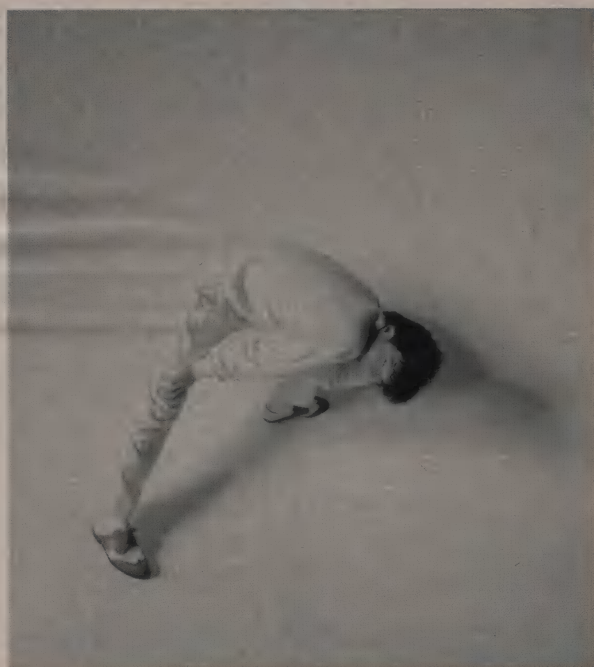
y

▶目下、ソロ・デビューに備え、オリジナル・デモ・テープを制作中。詳細は明らかになっていないが、実際にメジャー・シーンで活動するのは90年4月頃になりそう。

NOT THE C-C-B

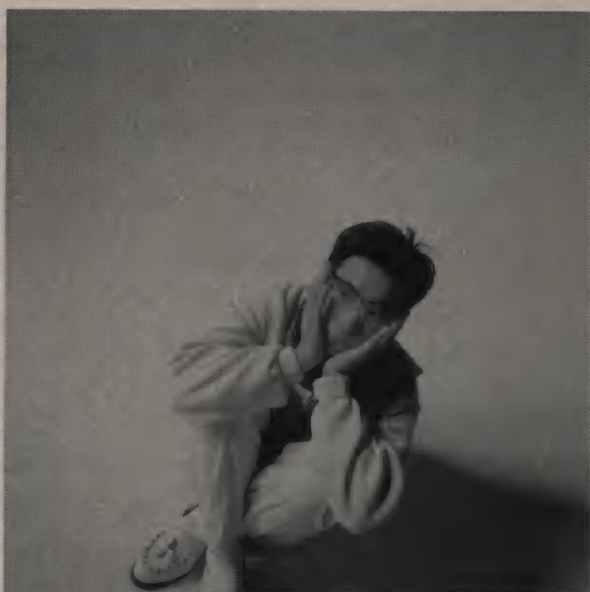
K O J I r

▶『30センチでつかまえて／クリスマス・ソングス』はもう聞きましたか？
全編に笠君のカラーが溢れています。
（詳しくは272ページを）

NOT THE C-C-B

TOMOHARU

▶関口誠人のライブに飛び入りしたり、
渡辺英樹のイベントでドラムを叩いたり、
FM802 〝MUSIC GUMBO FRIDAY〟
では鈴木トオルとジョイントしたり、神出鬼没の田口君。
しかしその水面下では
密かにデモ・テープ作りが進行している。
90年の彼はみんなをアッと驚かせる目論みを計画中。
ねぇ、ロンドンに行くって本当?

NOT THE C-C-B

HIDEKI W

▶12月いっぱいは新生バンドの曲作りに大忙し。
〝元〟ビー・パブリックのギタリスト丸山氏、
〝現〟安全地帯のドラマー、田中氏と
3人で〝バンドの音〟を確かなグルーヴで作り出そうと張り切っている。
90年1月にレコーディング・リハーサル
3月にレコーディング、
そしてリリースは6月を予定。
でも、その間にライブがあるかも!? 乞うご期待。

CLOSE

C▶C▶B 最後の本

読者アンケートではいつも、大好きと大嫌いのふたつにはっきりと分かれてしまうインパクト。

派手なコスチュームと、甘い声と、ポピュラリィーに満ちた音楽性は、明らかに、いつもパチ▶パチで浮き上がってはいました。でも、そんなバンドは、ほかにはまったく見当らなかったことも事実です。

そんな日々の断片をつなぎ合わせて作った『CLOSE』は、せっかく出かけていったのに定休日だった大好きなお店のドアにかけてある悲しい看板の意味ではありません。

夜、眠る前に読む、何よりも心休まる本を閉じるような、そんな気持ちでつけたタイトルです。

しょんぼりとため息をついていたとき、いつも背中を叩いてくれたC-C-Bを、いつまでも、ベッドサイドに置いておいて下さい。そして、ときどきはライト・スタンドのあかりを消して、彼らが集まって素敵な音楽を奏でていたことを思い出したりして下さい。

発売遅れてゴメン！

SORRY

- ▶PATi▶PATi サイズ
- ▶上製・ポスター付き
- ▶全160ページ
- ▶定価2000円
- ▶'89年10月９日・日本武道館におけるラスト・ライブを、前日より密着ドキュメント。

C·C·B

CLOSE

●書店（番線）印	●注文伝票（注文は書店で）		
	C-C-B『CLOSE』	12月16日	定価2,000円
	●住所		●TEL
	●お名前	●年齢	●職業
書籍扱い	〒102 東京都千代田区五番町6-2 TEL03-234-5811 CBS・ソニー出版		

※書店様へ：このカードがまいりましたら、台帳にお控えの上、お取引の販売会社へお早めにご注文ください。

▶この注文書は切り取らないで、コピーして使ってくれてもOKさっ。お友達にもあげちゃおう。

30cm

笠浩二

●10月9日以来、久しぶりに笠くんに会った。真っ先に、ひとりで歩きはじめて、なんだか、違う人になってやしないかしら——なんて心配してたけど、彼は、不思議な笠くんのままでした。油断すると、宙に浮いちゃうんじゃないかと思うくらいに。事実上は1stソロシングルだけど、気持ちはXmasプレゼント！

Kohji Ryu▶30cm

C-C-B解散後、いちばん早く、元気に飛び出してきた笠君。以前からUCCのCFで流れていた「30センチでつかまえて」を引っ提げて、そしてみんなが知っているクリスマス・ソングにリボンをかけて、真っ先にお目見え、なのである。

「それまでは全然何も考えられなかったんだけど、解散を発表した頃から、どうしても今年中には何か形のあるものを出したいっていう気持ちが強くなって。ソロでね。だから、そう思い始めてからは、けっこうまめにノートにメモを書いたりしてた。日記みたいなものなんだけど。例えば、コンピューターで絵を描くソフトを買って、暇なときにやってたら、自分の名前を書いてそれを動かして絵を描くとかっていうのもできるんだけど、これをプロモーション・ビデオにできたらおもしろいなぁ、って思って、そういうことをノートに書いておくわけ。いろんなアイデアを思いついたときにメモする感じだね」

何年間もバンドを続けてきて、彼は今、初めて独り歩きを始めたのである。期待感と不安にもみくちゃになりながら、新しい靴を履いて一歩を踏み出そうとする笠君の足音は力強い。ファースト・ソロ・シングルになった「30センチでつかまえて」は、機械的な無機質な音とポップなメロディーがシンクロする世界。〝力強い〟なんていう言葉とはちょっと無縁な気もするけれど、笠君の闘志はめらめらと燃えている。

「〝30センチ――〟はけっこう前からオン・エアしてたでしょ。あれはC-C-Bにいたとき、ちょっとアルバイトって感じで歌っただけだったの。(笑)レコードにするつもりは、だから全然なかったんだよね。でも、最初はラジオ曲にハガキがいっぱい送られてきて、〝あれ歌ってるの、笠君でしょ〟みたいなのが。で、ファンの人達が声聞いただけでわかってくれて嬉しいなって思ってたら、今度は〝レコード化してください〟って、ハガキとか、署名が送られてきたんだ。レコード会社に。だから、そういう意味では、この時期に、クリスマス・ソングと一緒にしてレコードが出せるっていうことは、みんなにいいプレゼントができるかな、とも思うしね。自分にとっても、逆に、これから来年に向けて動きを組み立てるのに、すごくいいきっかけになってるんだよね」

この曲、このアレンジが、今後の笠君の方向性を決定づけるものではもちろんない。でも、何もないところからまずひとつ生みだしたこの曲はとても大事なものだ。

そして、カップリングされているクリスマス・ソング・メドレーも、笠君の声にぴったり合ったやさしい雰囲気に仕上がっている。

「〝クリスマス・ソングス〟のアレンジャーは山川恵津子さんっていう女性。初めてなのね、女の人のアレンジャーと一緒に組むのって。それにオムニバスだからけっこう遊んでもらえるんじゃないかなーって思ったし。ウン、すごくおもしろかった。パターンとしては、R&Rっぽいのと、賛美歌みたいな感じと、ちょっと子供っぽいのと、それからものすごいポップなのとね、4つに分かれてる。だから歌の勉強にもなったよ」

C-C-Bの後半にはボーカルに興味を見せて〈前半はそうでもなかったらしい〉、積極的に取り組んでいた笠君のこと、C-C-Bとは少しタイプの違う曲調に真剣に挑戦をし続けている。この〝クリスマス・ソングス〟にはC-C-B時代の名曲〝スワンの城〟も入っているけれど、また違った解釈でアレンジされて復活。とにかく、今回の笠君からのクリスマス・プレゼントには〝SURPRISE〟が満載されているのだ。

「〝30センチ――〟の方のアレンジは船山基紀さん。〝ロマンティックが止まらない〟のアレンジャー。だからこれは逆に、僕の歌の世界の原点を作ってくれた人ともう一度やってみたいっていうのがあったわけ。土台の台を見るっていうかね。で、やっぱり思ったとおり笠っぽいアレンジにしてくれたんだ。それでコーラスはゴムくん(=関口誠人)。コーラス・アレンジもゴムくんなんだ。レコーディングが全部終わった段階で、やっぱりコーラスがないと淋しいね、ってことになって、ゴムくんに来てもらって、ベロベロベロって歌ってもらったの(笑)」

笠君のファースト・プレゼンテーションは、遊び心に満ちて楽しく、実に笠君らしい。ひとりになって初めての作品だからといって、肩肘張った感じもしなければ、ギクシャクしたところもない。これはきっと、7年間もメジャー・シーンで音楽を続けてきた彼のキャリアと余裕が知らず知らずのうちに表面に出てきているのかもしれない。

「これはもうファンの人へのプレゼントみたいな意味合いがけっこう強いんだけど、逆に言えば、僕にプレゼントしてくれたっていう部分もあると思うのね。〝30センチ――〟は初めレコード化する予定はなかったんだけど、ファンの人が手紙とかをくれて実現したわけじゃない？　だから僕にきっかけを作ってくれたんだよね。これからひとりでやっていくための」

初めてたったひとりで全国キャンペーンにも乗り込む。笠君は何日も緊張していろんなメディアの人達に会い、行ったことのないところへも行き、久々に自宅に戻ったときは、その瞬間からほとんど丸1日眠り続けてしまったという。

それでも笠君の毎日は今、とても充実している。ノートにぎっしりと書き込まれたメモも増え続けている。たまたま地方のホテルで見ていたテレビで歌っていた歌手に大感動してしまったり、笠君の感性は柔らかい感触で、今、あらゆるものを吸収しているところだ。

正式な第1歩は'90年になるけれど、彼からの、ちょっと気の早いプレゼントを、どうか受け取ってあげてください。

PHOTO by KENZI TSUKAKOSHI, COPY by KYOKO MORITA.

届きました合格通知!!

私の秘密兵器

イングリッシュ・アドベンチャー

英語、面白くして大当たり

「新聞、雑誌の広告、〃もうやめて〃と私はいいたい。だって、せっかく、みんなをだしぬいてやろうとしているのに。友だちには『イングリッシュ・アドベンチャー』を知らせたくないのです。誰もが夢中になって、英語が上達しちゃいそうだから。」こんなにまで称賛される英語の教材がかつてあっただろうか。一度でも耳にすればもうやみつき。悪魔みたいな魅力にとりつかれてしまうのである。

追跡

Henry Tomura

日本中、老若男女100万人がハラハラ

その秘密は簡単である。つらいはずの英語の学習が、楽しくて仕方がなくなるからだ。つまり、ぐんぐんと英語が身につくので、幸福な気分を味わえるのである。

「まだ始めたばっかりですが、学校の授業で英語の先生の発音が、とてもブロークンに聞こえて気になりだしました。おかげで自信がわき、英語の時間が楽しみです」。

『イングリッシュ・アドベンチャー』で学びだした高校生からの便りであるが、おそるべき効果と自信ではないか。このほかにも「英語の成績が飛躍的に上がった」というのはザラで「英検に初トライで合格した」とか「大学入試のヒアリングテストが日本語を聞いてるみたいに理解できた」といった具合に、続々と成果が寄せられている。

まさに魔法の教材ではないか。しかし、それはむしろ当然なのである。

飛行機事故で死亡した両親の遺骨を引き取るためにアメリカに渡った青年が、巧妙に仕組まれた悪の罠をかいくぐりながら西へ東へ大陸を逃げまわり、やがてはその黒幕と対決する、約4万語からなる12章のサスペンス・ストーリー。これが大評判の『追跡』である。各章をくり返し耳にし、口にだしながら1ヵ月ごとにマスターしていくと、1年後の完結と同時に、莫大な量の単語を相当暗記していることになる。英語の力が飛躍的に身につくのはあたりまえなのである。

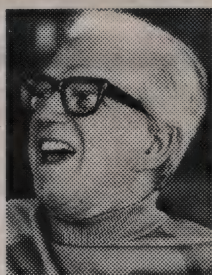
途中で投げ出せない

また、英語の勉強といえば途中で投げ出したくなるのが相場。が、そんな心配も全く不要である。今をときめくアメリカの大ベストセラー作家のシドニィ・シェルダン氏が〃途中で投げ出させない〃を約束して、特別に書き下ろしてくれたのだから。

勉強嫌い、英語嫌いであっても、トライする価値は十分、間違いなくトリコになってしまうだろう。

そのもうひとつの理由はテキストを朗読してくれているのがオーソン・ウェルス

「途中でやめさせないぞ!」

シドニィ・シェルダン

シェルダン氏は、若い頃華やかなりし映画の都ハリウッドで脚本家、プロデューサーとして大活躍した人。「イースター・パレード」「アニーよ銃をとれ」など数々の大ヒット作を手がけ、作家に転身してからも発表する作品がことごとく超ベストセラーになるという、名うてのストーリーテラーだ。

氏の作品はいかにもハリウッド出身の作家らしくテンポが速く、息もつかせぬ展開が読者をぐいぐい引っ張っていく。そしてこんな現代の語り部が手がけた『イングリッシュ・アドベンチャー』だから、「ちっとも英語を勉強している気がしない」、「物語の面白さに引きずり込まれてウソみたいに英単語を覚えてしまう」と、みんなが素直に喜んでいるのだ。

氏だからである。この俳優の天才ぶりはもうご存知だろう。『市民ケーン』『第三の男』での名演ぶりはあまりにも有名で、とくに語りは絶品だ。

ややダミ声ではあるが、全身から発するヴォイスなので、ストーリーの面白さと同時に何度聞いても決して飽きることがない。師は達人につけ、の諺どおりなのである。

ビジネスマン、技術者、高校・大学生、OL、主婦、人気タレント、作家、スポーツマン、英語の先生、塾の講師、お医者さん、等々、実に様々な職業の人々がこの講座で英語の勉強を始めている。

「ヨーロッパのスーパー、デパートを視察、ついでに大英博物館にも行ってきたが英語が通じて楽しかった。EAのおかげです」(48歳の受講者)

「語学上達には最高の教材であることを保証します。このスタイルで、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語などの講座もぜひ始めて下さい。大いに希望します」(某国立大助教授)

EAにはすぐ入会できる

自分もちょっとやってみたい人に『イングリッシュ・アドベンチャー』の規約を紹介すると、まず、この組織は会員制になっていて、教育の内容を試してみてから入会するかどうか決めることができる試聴制度をとっているから、半信半疑の人も安心して申し込める。

第1章を試聴してみて、これを続けようと思う場合はそのまま使っていると会員として登録され、翌月には第2章が送られてくる。入会したくない場合は第1章を受け取ってから10日以内に返品すればよい。また途中で退会することも自由。

試聴の申し込みは電話をするか、ハガキを送ればよい（試聴申し込み用ハガキがこのページにアカデミー出版から提供されているから、それを利用して下さい）。入会した場合の費用は毎月、カセットが4、000円、CDは4、500円。『コインの冒険』も『追跡』も12ヵ月、全12章で完結する。入会金、郵送費等は不要。

なお、『コインの冒険』を終えると2年目コースとして自動的に『追跡』に、『追跡』から入会した人は上級コースの『ゲームの達人』に進むシステムになっているが、1年だけで終えるのも、途中の章で退会するのも常に自由。その場合はEA事務局に連絡すればよい。

◇　◇　◇

早く教材の欲しい人は事務局に電話して下さい。

日本全国フリーダイヤル
0120―077077
東　京　03(496)6666
札　幌011(631)7777
仙　台022(265)5555
名古屋052(971)2222
京　都075(701)6666
大　阪　06(452)2222
福　岡092(831)3333
電話は休日も受け付けています。

〒150東京都渋谷区鉢山町15―5
アカデミー出版

初級の人には家出のドリッピー

「わからない」「眠くなる」の悪循環を繰り返して、やがて英語を聞いただけでゲンナリする……。こんな症状がでたら社会人も学生も人生赤信号。

ある中堅機械メーカーの社長さんは「10年前、20年前と違いますね。技術でも営業部門でも英語のできる者が責任ある地位についています」と国際化時代の英語の必要性を説いている。

思い立った今、学生は成績アップのために、ビジネスマンやOLは学生時代に仕込んだ英語を今度こそ「使える英語」にするために、チャレンジしよう。

そんな方々のために開発された『イングリッシュ・アドベンチャー』の初級コース『家出のドリッピー』は、中級用『追跡』同様ベストセラー作家と名優のゴールデン・コンビで作られたもの。楽しい学習・バッチリ効果のほどが口コミで伝わり人気はうなぎのぼり。しかも『ドリッピー』は、O・ウエルスが全体の朗読を担当。他の配役は人気DJのケーシー・ケーサム、喜劇俳優のジェリー・ルイスなど豪華メンバーが競演しているので、まるで映画を見ているみたいに楽しく分かりやすいと評判が高い。

高橋クン（高一）は、先生の推薦で『ドリッピー』に入会した。当時の彼は意欲はあるのに、単語を覚えたり、文法が苦手で、成績はパッとしない。こんなとき、補習教材としてすすめられたのがコレ。高橋クンにいわせると「まさに奇跡がおこった」のだそうだ。大好きな音楽を聴くようなイージー・リスニング。あきない学習は「やる気」を取り戻させた。めんどうだった辞書引きも気軽にできはじめるころ、『ドリッピー』の本文も丸ごと暗記。こうなると苦手の文法も解けはじめ効果バッチリ。期末試験の結果はユーユーと中から上位へ。

こんなふうに『ドリッピー』は、英語ゼロの人や、勉強したけれどものにならなかった人にも格好の教材。一家に一台備えて、ビジネスマンのお父さんも、海外旅行を計画中のお母さん、そして中・高校生の子供達全員で、利用されている例の多いのも、うなずける。

諺に「百聞は一見にしかず」というのがあるが、EAはその反対。「百見は一聞にしかず」。あなたもぜひ、O・ウ

らくらく学習で実力はすぐアップ

エルスやジェリー・ルイスの絶妙なナレーションを聴くことを、おすすめする。『ドリッピー』は12章、一年で完結する。二年目は初中級コースの『コインの冒険』、又は中級コースの『追跡』に進級するが、途中退会は常に自由。会費は、カセットが月四、〇〇〇円、CDは月四、五〇〇円。第一回目を聴いてみて、不要なら返品できる試聴制度があるから安心して申し込める。

試聴の申し込みは、このページについているアカデミー出版行きのハガキに『ドリッピー希望』を印せばよい。

◇　◇　◇

電話での申し込み番号は、

日本全国フリーダイヤル
0120―077077
東　京　03(464)1010
東　京　03(496)6666
札　幌011(631)7777
仙　台022(265)5555
名古屋052(971)2222
京　都075(701)6666
大　阪　06(452)2222
福　岡092(831)3333
電話は休日も受け付けています。

うれしい便りがたくさん届きます

★今年1回目の英検がありましたが、今日、合格通知が届きカンゲキ!!です。本当にどうもありがとうございました。

★シドニィ・シェルダン先生、並びにオーソン・ウエルス氏は本当にすばらしいです。深く感銘いたしました。E・Aに出会えて本当に良かったと思います。

★それから『ドリッピー』すごくいいです。たった1ケ月の勉強で、偏差値が15もあがりました。あの広告がウソじゃないってことを、みんなに教えています。

★一年間とても素晴らしい教材をきくことができて、非常に楽しかったです。ありがとうございました。

★〝コインの冒険〟最高でした。本当に一年間ありがとうございました。とても勉強になったです。

★『コインの冒険』は、ストーリーもとても面白く、そして音楽もステキでした。このテープとテキストは、私の宝物にします!! どうもありがとうございました。

★「だまされたと思って…」という新聞広告を信じ、入会しましたが、確かに他の英語教材にはない、迫力がありました。オーソン・ウェルス氏の朗読は素晴らしかったと思います。ありがとうございました。

★あ、〝ドリッピー〟とっても好きです。毎回ドキドキしてます。次がどうなるか考えて何回も聞き返してます。信じられません。私英語苦手だったのにおかげさまでA検うかりました。なんとなく英語が自分にちかい存在になったみたいで嬉しいです。ありがとーございます。

★E・Aは本当に素晴らしいと思います。E・Aのお陰で模試の判定は必ずAを叩き出せるようになりましたし、二ケ国語放送も英語版で70%以上聴きとれるようになりました。

MAKIHIKO ARAKI

悲しいほど、やさしい。

荒木真樹彦"Solitudeが終わるとき"

Makihiko Araki

New Single "Solitude ga owaru toki"
Now On Sale

Lyrics by Goro Matsui/Music & Arranged by Makihiko

'90.2.25 SINGLE,
3.25 NEW ALBUM
RELEASE!!

CD:09L3-4121 税込定価¥937(税抜価格¥910)
CT:06L5-4121 税込定価¥659(税抜価格¥640)

荒木真樹彦DISCOGRAPHY

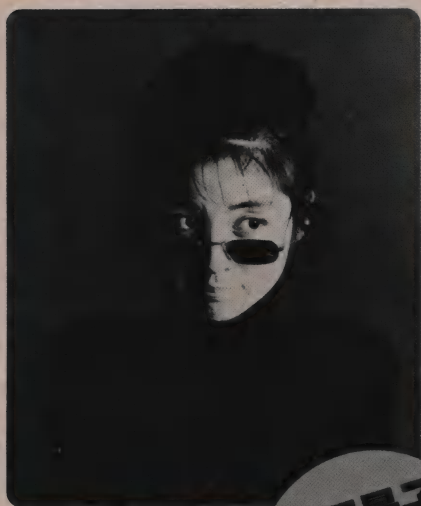
シングル:1999
CD:10L3-4001/シングルCT:07L5-4001
アルバム:SYBER-BEAT
CD:32L2-0028/CT:28L4-0028/LP:28L1-0028

荒木真樹彦ファンクラブ:MAC STATION

荒木真樹彦のオフィシャルファンクラブでは、ただいま会員を募集しています。入会希望の方は、62円切手を同封の上、下記の住所までご連絡下さい。
〒153 東京都目黒区大橋1-7-4 久保ビル3F キティサー[illegible]
MAC STATION 入会希望係 Phone.03-770-8261

荒木真樹彦
コンサートスケジュール

東京公演 T.Y.O. MONTHLY
2月9日(金)・3月8日(木) 渋谷クラブクアトロ
問い合わせ先:03-5237-9000 キョードー東京
大阪公演
3月3日(土) AMホール
問い合わせ先:06-345-2500 キョードー大阪
名古屋公演
3月4日(日) 名古屋クアトロ
問い合わせ先:052-261-0641 ジェイルハウス

WARNER-PIONEER CORPORATION

佐野量子
フォト&エッセイ集

21番目のまさか

Do wonders at 21

みんな気づいているのによく見ていなかった……。そんな何気ない彼女の「本当」が見える。彼女のことをわかっているつもりであればあるほど、「まさか!」と思える一冊です。

好評発売中●定価1,000円(税込)●84頁●A4変型版●オール2色

●ニューシングル『しあわせをいつまでも』(B10D-141、B10T-62) 937円(税込) 12月6日発売
●ニュービデオ『まさか』(B58V-90005) 5800円(税込) 12月6日発売
●ニューアルバム『まさか』(R32H-1087、RHT-8608) CD=3008円(税込) カセット=2637円(税込) 12月21日発売
※フォト&エッセイ、ビデオ、アルバム、シングルにそれぞれついている応募券4種類を集めてください。抽選で500名様に「まさかNG集」(ビデオ)をプレゼントします。詳しくは商品をご覧ください。
お問い合せ・BMGビクター 03-797-9053

CBS・ソニー出版
〒102 東京都千代田区五番町6-2 TEL 03(234)5801

ROCK AROUND NEW YORK

ロック・ファン専用のニューヨーク・ガイドブックができました!!

ロック・アラウンド・ニューヨーク

世にニューヨークのガイド・ブックは数々あれど、なぜかロック・ファンのためのガイド・ブックは洋の東西を問わず存在していなかった。ドゥワップ、ティン・パン・アレー、フォーク、アート・ロック、パンクそしてラップと、常に音楽の中心であり続けるこの街のロック・ガイドがなくてどうする! というわけで取材敢行[illegible]完成!! レコード・ショップ、コンサート・ホールほかロック・ファンの知りたいN.Y.を完璧にカバーしました。

定価1,200円(税込)で絶賛発売中!! ●A5変型判 ●208ページ

CBS・ソニー出版
〒102 東京都千代田区五番町6-2 TEL 03(234)5801

音楽からひろがるティーンズ・ライフ・マガジン

GIRLS BRAVO!

PeeWee ピーウィー

Vol.12
'90年1月6日発売!!
定価390円(税込)

【特集】 Pee Wee Meets Boyfriend.

夢中にさせて! 憧れのボーイフレンド

〔クローズアップ〕
本木雅弘▶松田ケイジ▶奥田民生▶永瀬正敏▶MAGUMI▶原田喧太▶真心ブラザーズ…。

〔女の子が語る"素敵な男の子"の条件〕
プリンセス・プリンセス×森口博子

〔私の"気になる男のコ"〕
工藤夕貴、渡辺満里奈、つみきみほ、森若香織、高岡早紀。

〔男の子から見た"いい男"〕
岡村靖幸、EBI、高野 寛、フラッシュ金子、狂市…。

〔男のこだわり物〕
カールスモーキー石井、木根尚登、織田裕二、松岡英明…。

●魅力的な男の子とダサイ男の子の分かれ目
●男の子なんでもBEST10
●エッセイ「素敵な男の子」富田京子、高見恭子。
●素敵な男の子を探るYES・NOチャート式

〔スペシャル・インタビュー〕
本木雅弘

●ピーウィー・トーク
「アルバイト」について、話してみよう。

●ピーウィー・ファッション
笹野みちる(東京少年)

●ピーウィー・クラブ
アクセサリー大百科

【魅力的だから、ファン!】
狂市/大江千里/木根尚登/小室みつ子/久保田利伸/岡崎京子/小嶋さちほ etc.

※尚、内容に関しては一部変更の場合もあります。

CBS・ソニー出版
〒102 東京都千代田区五番町6-2 TEL 03(234)5801

▼ここに掲載されている本で(税込)表示のないものはすべて消費税ぬきの本体価格です。店頭でお求めになる時、本体価格の3%の消費税が加算されます。

BUCK-TICK HYPER BOOK

3月7日…カリスマ桜井敦司が、この世に生を受けた日。1989年のこの日、本書『HYPER』が発売された。想像を絶する写真点数と、インディビジュアルなデータで構成された空前絶後のアーティスト・ブック…それが『HYPER』である。現代のサクセス・ストーリーを体現してみせる5人の戦士を、パチ▼パチ&パチロクが総力を結集して凝縮した空極の書である。

大増刷出来!!

▶スペシャルポスター付
▶A4ワイド▶160ページ
▶1500円

ザ・ストリートスライダーズ OFFICIAL BOOK 1988→'89

2BOOKS=1CASE

パチ▼パチ&パチ▼パチ・ロックンロール共同編集でお届けする、スライダーズの1988年のすべて、そして1989年の予感。この本のための1年がかりの撮影スケジュールを敢行。極寒の北海道から~N.Y.~インド。ビジュアルと文字と立体的に、スライダーズを大解剖した、2冊1セット。究極の立派本です。

▶A4ハードカバー2冊セット
▶288ページ ▶5000円(税込)

絶賛発売中!!

BOØWY『大きなビートの木の下で』

●感動のBOØWYストーリー

▼四六判▼280ページ▼1300円

早くも伝説となりつつある、スーパー・ロック・バンドBOØWYが、出来あがるまでの唯一のオリジナル・ストーリー・ブックが、この『大きなビートの木の下で』です。4人のメンバーの過去、そしてBOØWYとしての出会い。これは、すべてのロック・バンドにとってバイブルともいえる、ロック・ストーリーです。

大増刷出来!!

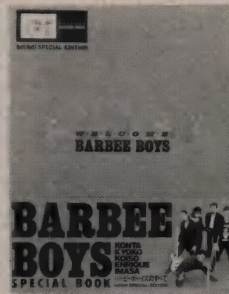
吉川晃司『ZERO』1988/K2

▼A5ハードカバー▼240ページ▼1500円

デビュー以来の吉川晃司のすべてが、この『ZERO』に凝縮されています。自らがペンをとり連載したエッセイ『K2』も全編再録。他スペシャル・フォトセッション、書きおろし原稿etc、あらゆる角度からの吉川晃司がこの『ZERO』にいます。

NOW ON SALE

絶賛発売中!!

バービーボーイズ 初のスペシャル・ブック『WELCOME』

▼A4ワイド▼160ページ▼1300円

バービーボーイズ初のスペシャル・ブックは、彼らのデビュー後3年間を、パチ▼パチで一冊の本にまとめたものです。ロング・パーソナル・インタビュー、メンバーのオリジナル企画、ライブ&ツアー・レポートあり、完全データ集、こぼれ話エピソードなどなど、まさに、この一冊でバービーボーイズのすべてが知れるという、超お得なスグレ本です。まっ赤な表紙が目印。

大増刷出来!!

米米クラブ

●第1回配本
暴かれた米米クラブの過去

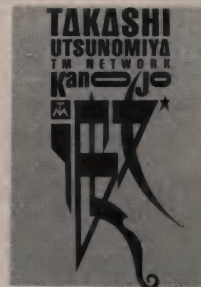
罪と罪
▶A5変型
▶212ページ
▶1200円

●第2回配本
徹底追求米米クラブの現在

車輪の上
▶A5変型
▶248ページ
▶1200円

大増刷出来!!

宇都宮 隆『彼女』

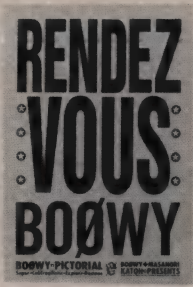
最新、撮りおろしフォト。そして、あの長編小説『彼女』をふたたび……

▶四六判
▶256ページ
▶サービス価格880円(税込)

尾崎 豊『WORKS』

『WORKS』プラス、パチ▼パチ5年間のインタビュー集大成100ページ

▶四六判
▶304ページ
▶サービス価格1200円(税込)

BOØWY『RENDEZ VOUS』

新装『ランデブー』は、未発表フォトに加え、BOØWYオール・データ集付

▶四六判
▶224ページ
▶サービス価格1200円(税込)

3大ベスト・セラーをサービス価格軽装版で発売中!!

関口誠人

『ホテル』

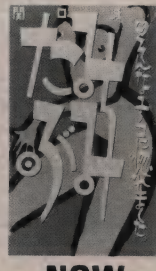
●関口誠人短編小説集第1弾!!

▼B6変型▼232ページ▼800円

NOW ON SALE

『青春ちゃん』

●関口誠人短編小説集第2弾!!

▼B6変型▼220ページ▼800円

NOW ON SALE

『みみたぶ』

●関口誠人短編小説集第3弾!!

▼B6変型▼240ページ▼880円(税込)

NOW ON SALE

ロック界の夏目漱石とは、関口誠人のことなのです。パチ▼パチ誌上でもおなじみの連載エッセイが、『ホテル』『青春ちゃん』につづいて、いよいよ単行本化が決定。5月2日、彼の誕生日にあわせてついに発売。第3弾短編小説集『みみたぶ(そんな夕子にホレました)』は、女性の様々な恋物語が、ギッシリとパックされた一冊です。そうです。アナタ自身が、この『みみたぶ』の主人公というわけです。『ホテル』『青春ちゃん』も好評発売中。こちらもヨロシク!!

絶賛発売中!!

C▸C▸B最後の本「CLOSE」

発売が遅れて申しわけありませんでした。

ただいま発売中!

▶PATi▸PATiサイズ/ハードカバー/160ページ/定価2000円(税込価格) ▶スペシャル撮りおろしPHOTO ▶PERSONAL CHAPTER ▶関口誠人+C-C-Bによる"C-C-B SYMPOSIUM" ▶89年10月9日・武道館ラストライブ完全密着ドキュメント ▶思い出のアルバム――――etc.

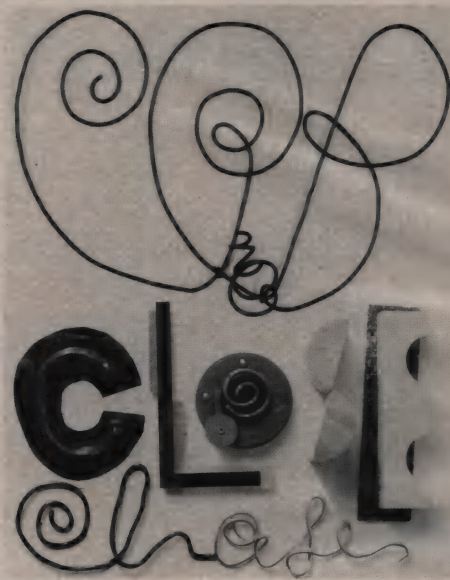
●考えてみると、C-C-Bこそが、パチ▸パチの長男でした。5年前、GB増刊として出たパチ▸パチ創刊号で特集した13アーティストは、一般的にも既に注目をあつめはじめていました。更に、パチ▸パチが、パチ▸パチとして強気で新人アーティストにぶつかって行った結果、まず出会ったのがC-C-Bだったのです。それから、ず~っといっしょでした。誰かにたのまれたわけじゃありません。絶対に出さなければいけないと思ったから作った本なのです。私たちのC-C-Bへの感謝の気持ちを込めて――。

HOUND DOG SPECIAL BOOK『GOLD』

ロックンロールの代表選手といえば、いわずと知れた、このバンド"ハウンド・ドッグ"。彼らのニュー・アルバム『GOLD』にあわせて、スペシャル・ブックがいよいよ登場。アルバムをじっくり聞きこんでから、この本を読むことを、おすすめします。さて、なにが飛び出すか!?

▶A4ワイド
▶160ページ
▶1500円

絶賛発売中!!

WANTED パチ▸パチ・ウォンテッド

●THE OWARAI

▼パチ▼パチサイズ▼150ページ▼980円

パチ▼パチ"お笑い"に挑戦。お笑いニュー・パワー特集を一冊にまとめたのが、この『WANTED』。ウッチャンナッチャン/B21スペシャル/野沢直子/Cha-Cha他―現在、一番目が離せないのが彼ら。日本初のOWARAIビジュアル・ブック。パチ パチでおなじみのアーティストも、JSW、爆風スランプ、C-C-Bをはじめ総キャストで、参加してるよ。

好評発売中!!

RED WARRIORS STORY BOOK『HAPPY』

●レッド・ウォーリアーズ初の単行本/藤沢映子・著

▶B6変型
▶240ページ
▶780円

NATURAL MAN

YUKAI PERSONAL BOOK

▶四六上製
▶256ページ
▶1200円(税込)

大増刷出来!!

HOLY-DAY

PHOTO BOOK

レッズ最初で最後の写真集。解散決定後、彼らを追って全国各地で特写。究極のロック・ビジュアルが一冊の写真集として、ついに完成。レッズを永遠に忘れないためにも、ぜひキミの手許にこのHOLYDAYを。

▶B4判
▶112ページ
▶2000円(税込)

NOW ON SALE

松岡英明『NOT FOR SALE』

松岡英明がパチ▼パチに連載した『NOT FOR SALE』。すべてを集めてみると松岡'S WORLDが見えてくる。ロンドンでの特写。10月バンコク、香港ライブでの特写も加え、ビジュアルも充実。松岡の様々な世界を全解剖のスグレ本。発売は彼のバースデイ・イブ、12月22日!!

▶A4変型上製
▶176ページ
▶1650円(税込)

出たばっかし。絶賛発売中!!

パチ▸パチ・読本。

1月19日発売!!

まったく新しい、"音楽文芸誌"お待たせしました。

詳しくは348ページを

2

●表紙・巻頭30ページ特集＆ジャンボポスター

LÄ-PPISCH 大特集!!

●特集
BUCK-TICK
UNICORN
J(S)W
THE STREETSLIDERS
BLUE HEARTS
筋肉少女帯
ZIGGY/カステラ

●掲載予定アーティスト
THE MINKS/JUSTY NASTY/KUSU KUSU/SHADY DOLLS/GEN/THE TIMERS/KENZI/ザ・ピーズ/THE BOOM/MAD GANG/MUTE BEAT/MAGNETS/BO GUMBOS/グレイトリッチーズ/ザ・真心ブラザーズ/UP-BEAT/ANGIE/De-LAX/THE Wells/THE STREET BEATS/G.D FLIKERS/ニュー・エスト・モデル/ザ・プライベイツ etc.

ロックンロール 2月号
12月27日(水)発売

●192ページ
●B4 WIDE
●600円(税込)

MUSIC MAGAZINE for BAD BOYS & GIRLS ハチ パチ・ロックンロール

ROCK 'N' ROLL

ロックンロール 3月号
1月27日(土)発売

●B4WIDE 平とじ
●212ページ
●特別定価
680円(税込)

●特集
LA-PPISCH
J(S)W
BUCK-TICK
RC SUCCESSION
筋 筋肉少女帯
ZIGGY/氷室京介
ザ・真心ブラザーズ

●掲載予定アーティスト
THE STREET SLIDERS/カステラ/JUSTY NASTY/GEN/THE TIMERS/ザ・ピーズ/ANGIE/ザ・プライベイツ/DEEP & BITES/コレクターズ/矢沢永吉/BO GUMBOS/FUSE/THE BOOM/X/BY-SEXUAL etc.

1990 ALL ROCK BAND CATALOGUE
メジャーからインディーズまで
200バンドを完全網羅。
スペシャル仕様増ページ特大号!!
ジャンボポスター2枚付!!

3

●表紙・巻頭20ページ特集＆PIN-UP

UNICORN 大特集!!

♪まったく新しい音楽文芸誌。

パチパチ読本。

お待たせしました。発売決定!!

90年1月19日(金)発売!!

今度こそ!!

◎ロングインタビュー◎小説◎コミック◎エッセイ◎イラストレーション等

◎なんでもあり。

詳しい内容は348ページを見て下さい。

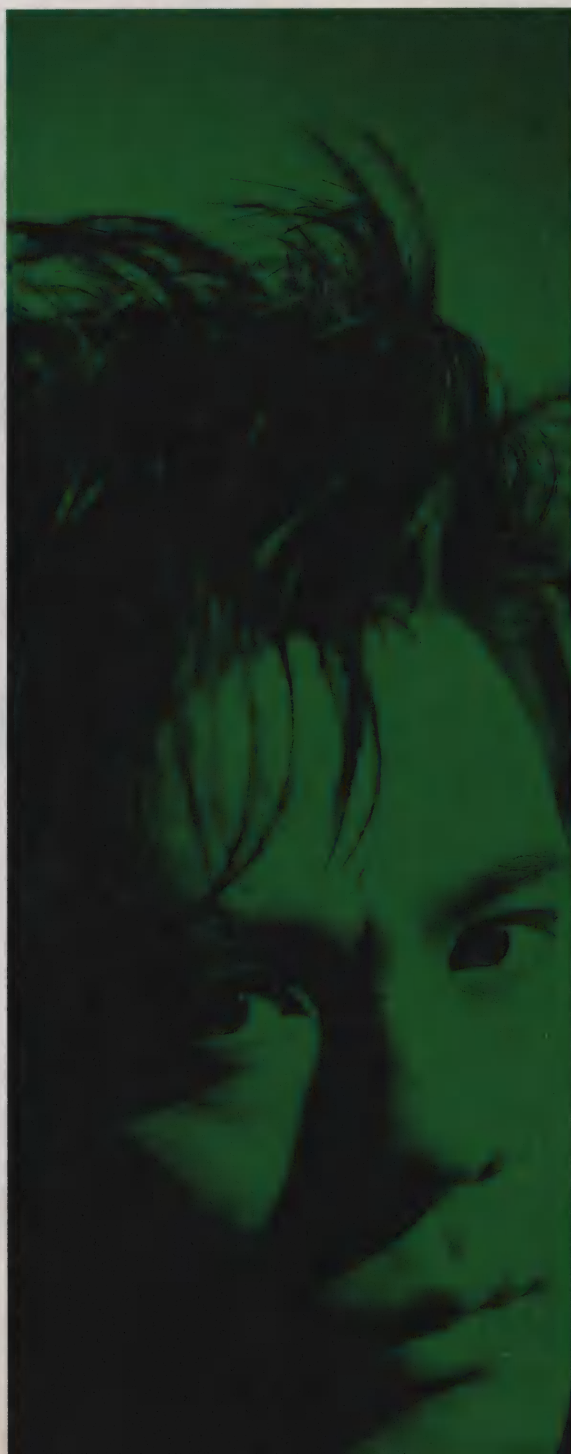
KYOSUKE HIMURO

◉氷室京介の1989年を語る上で、避けて通れないのが『NEO FASCIO』である。彼のCoolでいて、なおかつMAGESTIC、そしてHumanな目は、一体、何を見すえているのだろうか……？

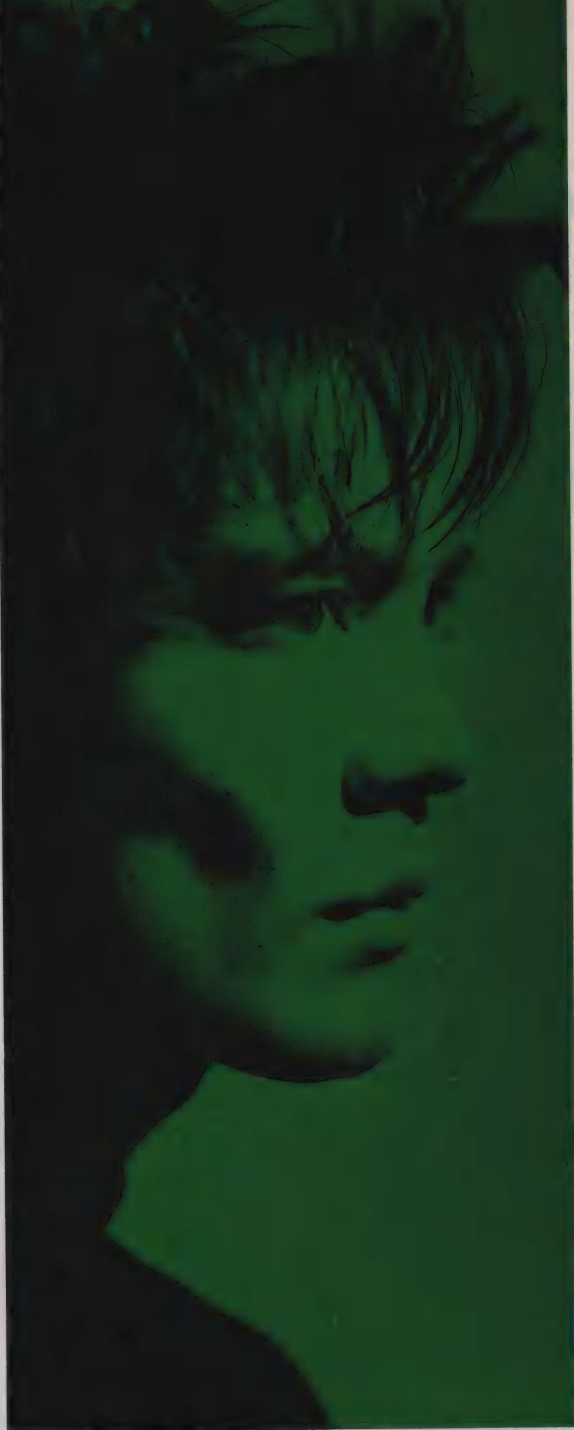
PHOTO●TAKEO OGISO　COPY●HIDEKI TAKE　HAIR & MAKE●YOSHIO YOKOHARA

SILHOUETTE
& SHADOW
KYOSUKE HIMURO

I am barred from the event.
I really understand the situation.

KH

SILHOUETTE
& SHADOW

KYOSUKE HIMURO

So where's the moral.
People have their fingers broken.

SILHOUETTE & SHADOW

KYOSUKE HIMURO

Throw the Rock upon the road and
It breaks into pieces.

KH

SILHOUETTE
& SHADOW
KYOSUKE HIMURO

Draw the blinds on yesterday and
It's so much scarier

時代は変わる。
誰もがそう言う。
そして、そんな言い方が、あまりにも軽々と使われてしまっていることも事実だ。何がどう変わっていこうとしているのかではなく、ただのキャッチ・コピーとしてもてあそばれてしまうことが、この言葉の持つリアリティを薄めてしまっている。
でも、やはり、こうなのだ。
時代は変わる。
いつどこで、どう変わるのかは、誰も教えてくれはしない。教科書や辞書にもその答は書かれていない。それでも、やはり確実に変わっていくのだということだけがわかっている。ある日、突然、僕らの目の前にそんな現実がつきつけられていく。
氷室京介の1989年。
きっと、彼自身も、こんなふうに自分の音楽と時代とが重なりあってしまうとは思っていなかったかもしれない。
ロック・アーチストは、預言者でも学者でも、ましてや政治家でもない。ジャーナリストでもない。
とはいうものの、ロック・アーチストの直観や感性は、時として、どんなに科学的なシステムや、情報産業のノウハウも及ばぬ何かを感じとってしまうことがある。見抜いてしまうといってもいいのかもしれない。予感ともいえる。
1月3日4日、東京ドームのステージで彼の1989年は始まった。〝KING OF ROCK SHOW〟は、いうまでもなく彼の最初のソロ・ツアーであり、ドームはそのしめくくりだった。
〝LAST GIG〟から、〝KING OF ROCK SHOW〟へ。そんな変化は、BOØWY時代のステージングと、ソロのパフォーマンスとを区切るものとなった。壮大でスケール感のあるドラマチックなロックン・ロール・ショー。
その時、まだ、時代は〝昭和〟だった。東京ドームの4日後に昭和は終わり、突然、〝平成〟になった。
去年から、今年にかけて、88年から89年にかけて、ずっと嫌な感じがつきまとっていた。それは、たとえば、RCサクセション的アルバムが発売中止になったり、天皇の病気を理由に、コンサートが中止になったり、会場が使えなくなったり、学校に、日の丸と君が代が強制されたりと、どうみたって、個人の自由とは無縁な何かが、国じゅうをおおっていくように思えたことだった。全体のため、社会のため、組織のため、国のため、会社のため、天皇のため……いつだって個人より集団の方を優先してきた日本という国の資質と日本人の国民性がむきだしになっていくような気がしていった。
氷室京介の東京ドームのライブビデオは、『アルジャーノンに花束を』の中の「独りファシズム」で終わっていた。BOØWYという集団を離れ、個人に還っていった氷室京介がそんな昭和から平成にかけて、目の前でくり広げられていることに対して、どんな想いでいるのかが伝わるような気がした。
アルバム「アルジャーノンに花束を」は、個人のヒューマニズムを歌ったアルバムだった。ダニエル・キースの同名の小説は、〝科学技術の進歩のため〟に、実験材料になった一人の知恵遅れの青年チャーリィの物語だった。科学技術の助けで、〝天才〟という呼び名を与えられた代わりに、彼は友人を失い、人を信じることを失い、そして、最後に、そんな〝栄光〟よりも、同じようにモルモットにされた一匹のネズミ、アルジャーノンへの友情に目ざめていった。
チャーリィ・ゴードンの知恵遅れから天才へと変身していく過程と、ライブハウスで叫んでいただけの存在から80年代後半のバンド・ブームの実験的なヒーローになっていく爆発的なBOØWYのブームを重ね合わせることもできるだろう。そして、アルバム「アルジャーノンに花束を」は、再び一人の人間に還ったチャーリィが、自分にとって最もかけがえのない何かに気付いていくのに似ていたはずだ。
個人の愛。
この世に一人しかいない人間として、何が大切なのか。
そんな問いかけが、二枚目のアルバムで、より鮮明に形になった、と、僕は思っている。
新らしいアルバムテーマが、ファシズムになりそうだ、と聞いた時には、さすがに、一抹の不安がよぎっていった。今、日本で最も多くアルバムをセールスするメジャーなアーチストがとりあげるテーマとしては、あまりに重く、シリアスなように思えたからだ。メジャーになるということは、日本の場合、トゲや毒や理屈っぽさを捨てていくことでもあるからだ。シリアスなことをとりあげることを、いつのまにか〝売れない〟と、誰もが思い込んでしまっている。
それは、もしかすると、〝逆らわない方がいい〟〝つまらないことはいわない方がいい〟という、日本の国のことなかれ主義に、音楽の世界も染まっていることの現われでもあるのかもしれないが。
次のアルバムは『MORAL』のようなものになるだろう、と、僕の中の直観はあった。それは「独りファシズム」の中での、氷室京介の決意が、〝俺はヒトリでやるぜ〟と言ってるように思えたからであり、それは「MORAL」の中に共通している心情でもあると思えたからだった。
ライブハウスで、目の前に立ちはだかる〝社会の常識〟というやつにすさまじいエネルギーで挑みかかっていたのが『MORAL』だとしたら「独りファシズム」には、静かな思惑のようなものがあった。それは、今、全く違う形で、かつてやったことと取り組んでいこうとする意志が見えたような気がしたからだ。でも、〝ファシズム〟という直接的な言葉が出てくるとは、そこまでは思っていなかったことも確かだった。彼がコンピューターを使って一人で作りあげたというデモ・テープにはナチス・ドイツの演説や、群衆の歓声がSEとしてコラージュされていた。
テレビでは、ニュースが、中国の天安門前広場での惨劇を伝えていた。自由を叫ぶ学生たちが、素手のまま戦車にひき殺され、機関銃の弾が打ち込まれていった。
二枚目のアルバム作りに入ったのは、東京ドームの直後ということだったのだから、アルバムの制作を開始した時には、そんな出来事が起こるとは思っていなかったのに違いない。〝個人の危機〟。東京で彼はそう感じとっていたのだろう。そして、中国でも、あの出来事が起きた。
7月、ロンドンに飛んだ。
ビデオの撮影だった。
イギリスのトップ・クリエイティブ・チーム、ヒプノシスのメンバーとの作業は、彼に役者として演技することの手応えを感じさせていたようだった。でも、その時の彼の様子もさることながら僕には、彼が、イギリスのファッション関係者と対談した時の話が印象に残っている。その相手が、〝ファッションの仕事は最後はマネー・メイクだ〟という性質のことを言ったのに対して、彼は、〝それはアートじゃない〟と思ったというのだ。
氷室京介にとってのアート。それは二枚目のアルバムに託したものだったのだろうと思う。
『NEO FASCIO』
アルバムは、そう題されていた。作詞は松井五郎との共作で、サウンド・メイクは、佐久間正英と、ソウル透とほとんど二人で完成させていた。
重くなるのではないか。そんな気使いは必要なかった。ボーカリストとしての彼の最大の魅力であるスピード感は全篇にピンと張りつめた緊張感を与え、ファンクからニュー・ウェイブまで網羅した曲のバラエティの豊かさは、彼の音楽の範囲の広さを物語っていた。〝アルバムへの招待状〟と自らが表現していた三枚のシングル「SUMMER GAME」「MISTY」は、その言葉どおり、ヒット・チャートを鮮やかに飾っていた。
シリアスなテーマと、ポピュラリティのあるエンターテインメント。『NEO FASCIO』には、そんな二面性がある。
8月6日、彼は、広島のピース・コンサートのステージに立った。東京ドーム以来、初めて人前に立ち、客席に向けて、一言、こう言った。
「騒ごうぜ！」
こうして書いてきて、何だか妙に因縁めいた話が多いようで、気になっている。つじつまを合わせようとしたり、こじつけをしているわけではないのだけれど、話が、奇妙に会ってしまっているのに気付く。
ビデオの撮影に関してのことだ。ピンク・フロイドの『壁（ウォール）』のような作品を作りたい、という発言があったことを思いだす。
『壁（ウォール）』は、『NEO FASCIO』の中にあるテーマと共通している。個人の自由や記録を抹殺していく集団。そして、個人と個人を遠ざけ、疎遠にしていく〝壁〟の存在。現代に生きる人たちが、お互いの関係を、見えないさまざまな壁でへだてられ管理されている、と『壁（ウォール）』は、訴えていた。それがファシズムということでもある。
10月6日からツアーがスタートした、二回目のソロー・ツアーは、度胆を抜くようなオープニングで始まっていた。
まさしく〝壁〟だった。
ステージに作られた巨大な〝壁〟が、打ち破られて崩壊するところから、コンサートはスタートする。
氷室京介は、独裁者に扮していた。独裁者を演じる。そのことには二重の意味があるように見えた。
ロック・コンサートって、ファシズムみたいに思う時、ない？
ツアー前のインタビューで、彼はそう言っていた。
ステージに立つ彼は、何万人もの歓声を浴びる。その中に、人々が独裁者に浴びせる熱狂的な何かと共通するものがあることを、彼は感じとっているに違いない。そして、そのことを感じつつ、それを演じてみせる。歌の内容は、そんなふうにファシズムに身を任せることに対して、個人のヒューマニティを歌っている。そのことが、聞き手にどう受けとめられるかを、ステージの上で、彼は感じとろうとしているのかもしれない。ステージは、ダイナミックで、見る者を完全に圧倒する。
因縁めいてしまう、と書いたのは、ツアーが始まってからのことだ。
ヨーロッパからのニュースが、歴史的な出来事を伝えてきた。
それは、中国の天安門広場で起きたことと、正反対の質を持っていた。
〝壁〟の消滅。
ベルリンの街を、東ベルリンと西ベルリンに隔てていた〝壁〟が、撤去されるというニュースだった。東ベルリンと西ベルリンの両方の人々が、ハンマーで〝壁〟を叩き壊していた。
思い出してみてほしい。BOØWYが、東芸EMIから出した一枚目のアルバムのジャケットを。あのアルバムは、ベルリン録音であり、中ジャケットに映っていた、メンバーが背にしていた〝壁〟は、まさにベルリンの壁だった。
1989年。
日本は、昭和から平成に変り、中国では学生の血が流され、ベルリンでは壁が打ち壊され、東ヨーロッパでは、全体主義といわれた社会主義の〝壁〟に、自由の旗がひるがえっている。
ロック・アーチストは、預言者ではない。でも、氷室京介がBOØWY時代からずっと持っていた直観はそんな世界の変化の中におきかえてみると、鮮烈なリアリティを持ってくるといえないだろうか。
メジャーであること。エンターテインメントとして人を楽しませること。それだけではない。アートとしてのロック・ミュージック。そんな試みをしてみせたのが氷室京介の89年だったのではないだろうか。
90年代へ。時代は、変わっていく。

WATCH
THE
90'S

»Hideaki Matsuoka«

今年を振り返るパチ▼パチSTYLEにおける松岡のテーマは、1990年代、である。振り返ることとは、次を語ることにつながるのだ。

PHOTO by KAZUHIRO KITAOKA, YASUHIDE KUGE COPY by MITHINARI YAMADA, ERIKO YAMAZAKI
STYLING by TSUYAKO HARADA HAIR&MAKE by SHOJI KOSHINUMA

NOT FOR SALE
ON SALE

1986年11月1日。松岡英明、デビューの日である。翌年、パチ▶パチ主催のイベント「MAGICAL AREA」で、入場者にプレゼントしたゲームブックには初めて彼からのメッセージが掲載される。翌年2月。「トライアングル・ツアー」の記事と共に、再び松岡の「トライアングル」に関するメッセージが発表され、読者の反響を呼ぶ。

そして1988年初夏、初めての渡英。ロンドンで受けた小さなショックを機に、松岡英明のメッセージ・エッセイ「NOT FOR SALE」の連載が始まった。月に1度の締切りと、たくさんの応援のハガキに励まされて、以来1年間、連載は続く。

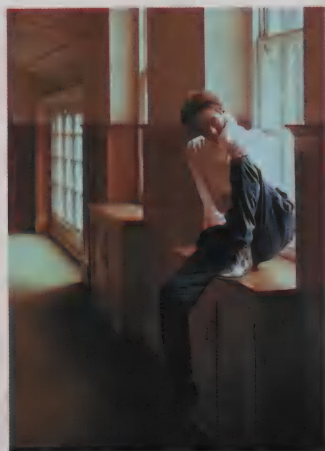
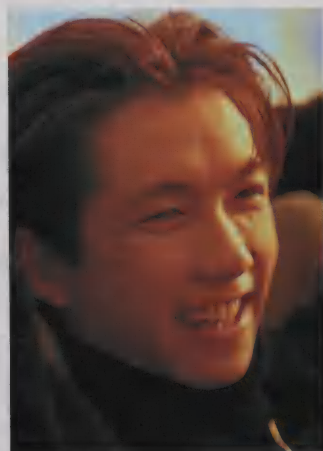
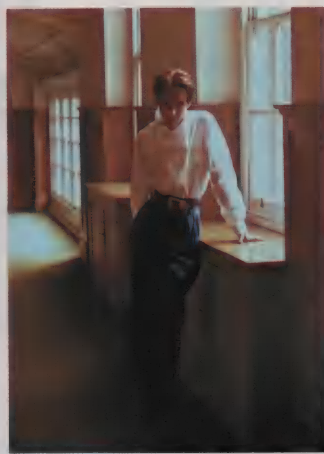
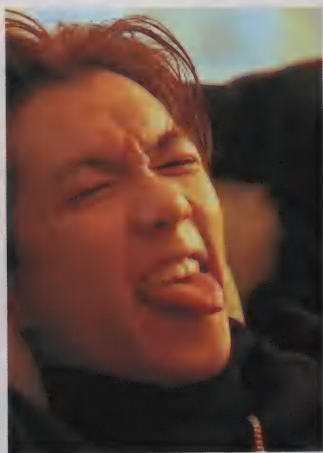
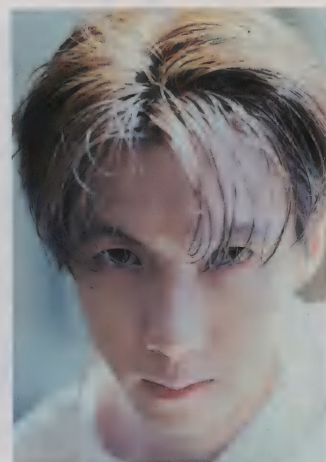
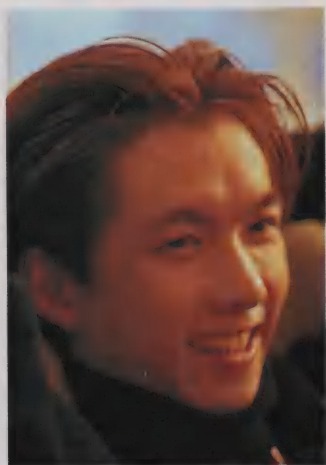
1989年6月。2度めのロンドン。1年前と何も変わぬはずの大都市だった。

約1カ月に及ぶレコーディング生活。その最後に、彼は1年に渡る「NOT FOR SALE」を閉じる原稿を書きあげる。当初1回分800字程で始まったこのメッセージも、この頃は1600字程にもふくれあがり、「読み物」としての完成度もより高くなっていた。

そんな中で、この連載を1冊の本にしようという話がもちあがったのは、自然な流れだ。初めての本、である。

LIVEとビジュアル（ビデオ）、そしてレコードの中で自分の世界を築きあげていくと、デビュー当時からはっきりとビジョンを打ちだしていた松岡英明。その中で、彼の"言葉"に対するこだわりはふくらんでいった。"ウソ"を大事にする松岡としては、当然だろう。連載エッセイはもちろん、アルバムにおける彼の「歌詞」、毎月のインタビューでの発言、あちらこちらに、彼の"仕掛け"が見え隠れした。

――そんな「言葉」の数々を、ここに1冊の本としてまとめました。その時には気がつかなかった大事なメッセージ、きっとあなたにもあるはずです。時間がたってもその生命力を失わない「言葉」たち。そんな、松岡英明の中から生まれたメッセージを、受け止めてほしいと思います。

この本のために、ロンドン→スコットランド→香港→タイ→東京、数多くの土地でのPHOTOセッションもおこなわれ、1989年12月22日、バースディイブに、誕生します。

from NOT FOR SALE

HIDEAKI MATSUOKA

香港のTV撮影中。オン・エアーは残念ながらバンコックへ発つ日でした。

バンコックでのライブが終わり、片づけているステージで全スタッフと記念撮影

ここはネス湖のあるインバネスの教会前

●NOT FOR SALE 編集後記●

結局、編集にも半年もかかってしまった。正確に言うと、NOT FOR SALEの連載を始めたのが昨年の7月だから、1年と6ヵ月……ゲゲッ!! こりゃあすごいや。アーティスト本としては、かなりめずらしいでしょうね……。関係者の皆様、お疲れさまでした。

思いおこすこと、結局1年半前。読者の反応が良ければ単行本につなげたいゾッという気持ちを秘めて、私は（当時）ノンストップ・ミュージックの（当時）マネージャー野村氏に、原稿を依頼し、そして今日まで、葛藤の日々が続いたのでした。

最初はねー、日記っぽいものになるかなと思ってたんですよね。もちろん彼のことだから、普通の「今日、ボクは犬を拾ったんだよねー」みたいなものになるとは思っていなかったけども。そうしたら、後から聞くところによると、原稿の書き日3日位費して、ストーリーものにしちゃった。こりゃー長く続くかどうか心配だなと思ってたんだけれど、3回、4回と、メキメキと文体も固まって、あぁこれはやっぱり本になるなぁと、改めて思ったんですよ。

そうなると写真が欲しいわけで、聞くところによると、次のアルバムをロンドンでレコーディングするっていうじゃありませんかっ!! '89年末のロンドン・ブームは見えていたし、こりゃ行くべえということになりました。

カメラマンとエピックレコードの担当・オオハラ氏と私の3人は、重量オーバーとわかっている機材をムリヤリ成田に運び、超過料金を払わそうとするブリティッシュエアーの人に「もう会社に帰れない」と、家出娘のようなウソをついて泣きおとし、トットと通関してしまいましたのさ。（お金がない、と言ったにもかかわらず、最後に全ての精算をする時になって、アメリカンエキスプレスカードを出してしまったあたり、このメンバーのツメの甘さが伺えるが）

無事、ロンドン・ヒースロー空港へ到着し、まつぼーたちがレコーディングしているPower Plantスタジオへ。今思うと、その時録っていたのは、「Rainy Thesday」のコーラス。

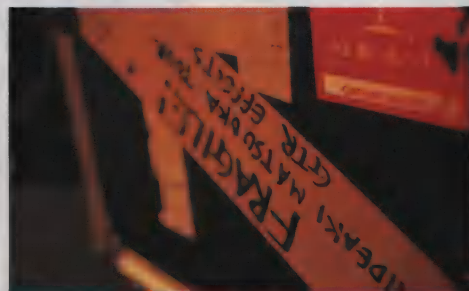
翌々日、我々はスコットランドはネス湖の村、〝インバネス〟にてまつぼーと再会

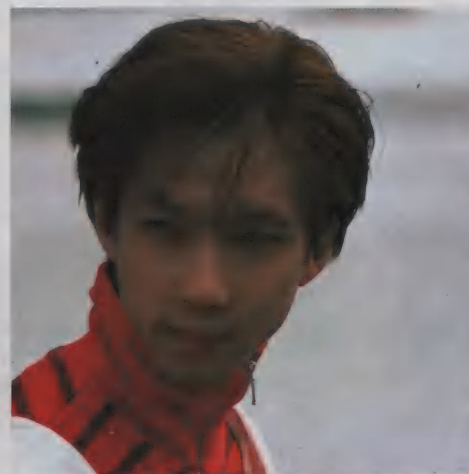
NOT FOR SALE ON SALE

寝てない寝てない。ハイドパークにて。

ロンドンの金融会社が集まる街、BANK CITYにて。

ロンドンのまつぽーの部屋にて。取材スタッフはたった3人なのよ。

香港にてラジオ出演

香港ライブの記者会見模様

ロンドンの高校の寄宿舎。日本人も3人いるそうです。

し、今回の本のフォトセッションが開始されたのでした。折から天候も崩れ(…)非常に寒い。風邪ぎみのまつぽー。ネッシーも出てこない、と悪条件が重なりまくり、まったくついていない……。あまりの強風に疲れきってホテルへ帰ってきてひと休。みした私たちに、容赦なく悪条件は重なって、外は雨――まぁ1日位はこういうことがあるよね、とその時は思ったのですが。その半年後に行われた最終ロケ〝バンコク・ローズガーデン〟まで、本当にずーっと雨が降ってしまったのでした。最初のうちは「雨男は誰だ?」とか言ってたんだけど、最後にはもう冗談言えなくなっちゃって、カメラの北岡さんなんて「悪いのは俺だよ」なんてナーバスになってしまった程。

話はロンドンに戻りますが、撮影2日めは、まつぽーのフラットにお邪魔。ちゃーんと私達3人分のティカップを揃えておいてくれるあたりが、まつぽーらしかったですね。セッティングしている間に、まつぽーが、「ちょっとちょっと」と言うので後からついていくと、彼のベッドルームへ。なんと、サイド・ボードには、満里奈さま(さ・ま と呼ぶように申し渡された)のCDと写真集が……。「ねぇ、ここでも撮影する?」だって、しねーよ!! 本の中にまで満里奈さま(こう言わないと怒る)を登場させようって魂胆だな、私物化するな、読者はお金を払って買ってくださるんだゾ。その時はそういう判断を下したのですが、その後ことあるごとに、「本当の僕を正直に出すことが、ファンの皆さんに対する誠意です」と発言しているのを聞いて、実はいまだに「うーむ」と思っているのでありました。

その後、市内ロケでも雨が降り、英国取材は終了。ちなみに香港・バンコク共に同じような天気だったのでありました。(皆さん、「本当の僕」だと思って納得してください)まぁ、それは冗談だとして、天気は悪かったけれど、そこは本人のパフォーマンスや、カメラマンのセンスで、そんな事これを読むまでぜーんぜーん気になりまっせーん、というものが仕上っているでしょ?

あんまり細かい苦労話は、まつぽーに似合わないのでこんな編集後記になってしまいました。実は、これに関わったスタッフのひとりひとりも、とても思い入れを強くして取りくんだ仕事だったんです。そしてそれは、「みなさまのおかげ」なのです。㊛

HIDEAKI MATSUOKA FIRST WORDS BOOK

NOT FOR SALE ON SALE

撮影 TOKYO▶LONDON▶BANGKOK▶HONG KONG

本日発売。明日は松岡の誕生日だよっ。そう、バースディ・イブに初めての本が出るんだ。(雨にたたられた単行本用フォトセッションだったけど）この写真は、ロンドンのCAFEで雨やどりをしていた時のショット。さあ、実物を手に入れよう!!

90'S RUNNER
BAKUFU ★ SLUMP

●'89年は爆風スランプにとって、激動の年となった。そして、彼らは激動をモノともせず走り続けたのであった。'90年に向けても走り続けるであろう爆風スランプ。そんな彼等の抱負を。

PHOTO● YOSHIHISA MIYAZAWA(P305～P309) COPY● KYOKO SANO (P308)

サンプラザ中野

10年て長いから、10年区切れば、なんか、できるでしょう。

僕は、'60年に生まれて、'80年に大学に入って、音楽やり始めたのが'80年なんでね、'90年という年には節目を感じますね。

この10年は、音楽をやろうと思って、やった10年なんで、今度その10年が終わったから、何か新らしい事でもやろうかなと……。

うーん、松田優作の意志を継いで……国際派映画女優に。（笑）いや、とりあえず世界に出たいなと。10年長いから、区切れば、なんかできるでしょう。ハハハハ。

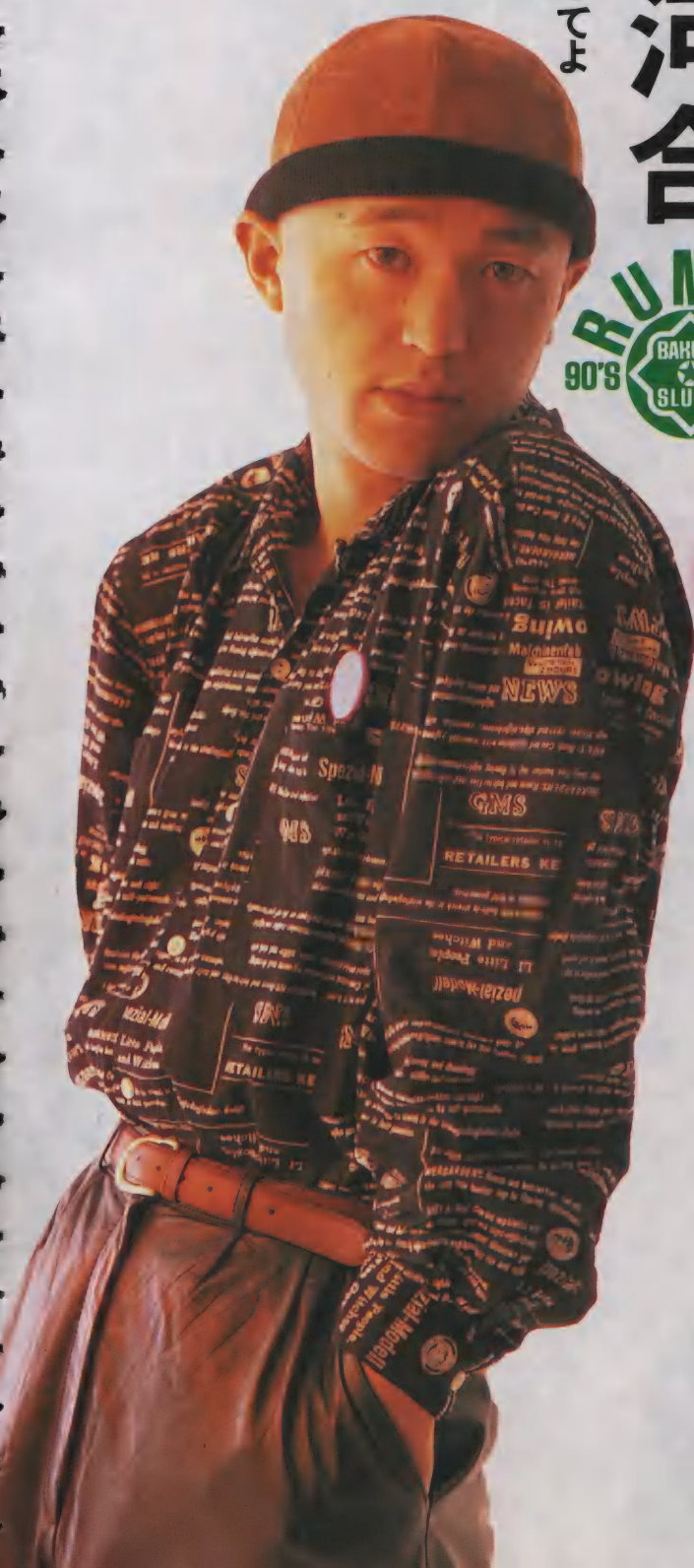
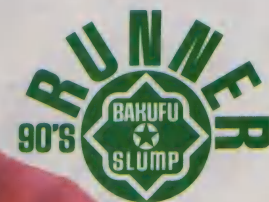
パッパラー河合

いやー、89年は激動の1年と言ってよいでしょう。よくなりますよ。

来年のことは、あんまり考えてないけど、89年は激動の1年と言ってよいでしょう。'90年代は、よくなると思いますよ。

ま、長いタームで言うと、今はすごいわかりやすいことをしてるんで、アンダーグラウンド的なものになっていくのかな。「わかる奴にはわかる」と言われるような方向性を加味していこうかなと。やっぱり「あいつら、バカだ」なんて言われたほうが、クリエイトする人としては、うれしかったりするからね。

90'S RUNNER BAKUFU SLUMP

90'S RUNNER BAKUFU SLUMP

バーベQ和佐田

89年は波乱万丈。今がいい時なので、'90年は、勝って兜の緒をしめよ。

89年は、人生の全てを味わったような、感じのする、波乱万丈の1年だったと思います。僕は、雰囲気的に今が非常にいい時期だと思ってるんで、'90年は、"勝って兜の緒をしめよ"という気持ちで、ひきしめな、あかんと思てます。
'90年は、ある意味で、新しいスタートラインなんで、そのスタートラインにちゃんと立てるように、気のゆるみがないか、真剣に、全てを総点検したいと思ってます。

NEWファンキー末吉

'90年は、ちょっと、のんびりして、好き勝手なことをやりたいなぁ。

'89年はきつかったですね。体力的にも、精神的にもね。よく、がんばったなっていうか、乗り越えたなと思いますよ。
まあ、'89年は、ほーじんがぬけて、一番たいへんな年やったから……。これからも、きついことが、たくさんあるだろうけど、もう4人で乗り越えていけるなという自信ができた年ですね。だから、'90年は、ちょっと、のんびりして、足元を見ながら、好き勝手なことをやりたいな、と思ってます。

RUNNER 90'S BAKUFU SLUMP

RUNNER 90'S BAKUFU SLUMP

90'S BAKUFU SLUMP RUNNER

●音楽シーンの中で独自の確固たるポジションを確立した爆風スランプ。その爆風スランプのデビュー当初からの良き理解者、ライター・佐野郷子に89年から90年にかけての、〝激動の時代〟と、〝展望〟を俯瞰してもらった。89年の爆風、総決算。

●昭和から平成

昭和最後の日、バクフーは日本武道館にいた。楽屋には全国各地から晴れの武道館の舞台目指して〝GO GO A-HO DANCER〟が集まっていたのだが……前年行われた〝BAKU・PAT-I大運動会〟参加者の中から選ばれ彼らはここで「ほらアホになる」を踊ることになっていたのだ。ひっそりと静まりかえった〝大きな玉ねぎの下で〟こんなカタチで記念撮影するとは誰も思っていなかっただろう。バクフーにとっては3年ぶりの武道館だった。そして、時代は昭和から平成へ。平成初の武道館は大きく揺れた。ラストの「BIGBUS BLUE」で感極まった中野がノドを詰まらせた真相が後になって判明した。バクフー・スランプのオリジナル・メンバー4人の勇姿がこの日で見収めになるとは。

江川ほーじんの旅立ちを知ったのは1月末のことだった。

●ほーじんの旅立ち

ほーじんの旅立ちを聞いたとき、驚きと同時にほーじんらしいなと思わずにはいられなかったのも事実。パワステでの〝旅立ち〟GIGはおナミダナシで男らしく有終の美を飾ってくれた。同じ頃、昨年発表したシングル「Runner」が〝命くれない現象〟でヒット・チャートをジワジワ上昇。テレビのベスト・テン番組に出演する際は助け人ベーシストを駆り出し、なんとか乗り切る。それまでシングル・ヒットに恵まれなかったバクフーだが「良い音楽はきっと認められる！」という努力の甲斐あって幅広い支持を得ることに成功。とかく色メガネで見られがちだったバクフーだが楽曲の良さでまっとうに評価されるバンドにステップ・アップ。前年のアルバム、「ハイランダー」も再浮上し、ロング・セラーを記録する。また、「Runner」は今年の高校野球のテーマ・ソングにもなり、巷ではカラオケで熱唱する輩が急増した。

●新ベーシスト・和佐田加入

「Runner」でテレビ出演した際、助け人として駆けり出されたベーシストの一人がTOPSの和佐田だった。同じ頃、TOPSもまた人事異動があり、和佐田はスタジオ・ミュージシャンとして活動していくつもりだったらしい。そんな折、バクフーの新メンバーとして声を掛けられた彼は大いに悩んだあげく加入を決意。〝ルックス良し、テク良し、人格良し〟という厳しい条件をクリアした期待の新メンバーだったが、プレッシャーも相当あったようだ。

そういえば、スポーツ新聞に〝バクフー、新メンバー決定〟のニュースとサンプラザ中野の入籍のニュースが華々しく伝えられたっけなあ。その陰で、〝パッパラー河合映画初出演〟ネタがかすんでしまったということもありました。

●バトル・ヒーター、超多忙期

とにかく、この時期のバクフーは多忙を極めた。「Runner」のロング・セラーによるテレビ出演、和佐田を加えた新生バクフー・スランプのツアー・リハーサル、そして、その合い間を縫ってパッパラー河合の主演映画がクランク・イン、コタツがモンスターに変身する奇っ怪な爆笑ホラー、「バトル・ヒーター」のために、24時間戦ってしまったP河合であった。「日本アカデミー賞を狙う！」発言も冗談半分とは思えないほどの熱の入れようだった。映画は今秋公開され、一部のスキモノに熱狂的に支持されカルト映画の名を欲しいままにしている……らしい。

●リゾ・ラバ

新生バクフー・スランプのニュー・シングルは「リゾ・ラバ」。ユーミンの〝サーフ&スノウ〟の向うを張って、リゾート地の刹那的な恋愛模様を描いたこの歌はバクフーの王道を行くポップ路線に拍車をかけた出来映えで、「Runner」に続くヒット作となる。CM、テレビの露出が増え、お茶の間に進出した感もあるが、バンドとしての切れ味は詞・曲・アレンジ共に一向に劣えないところがバクフーのスゴイところだ。バーベキュー和佐田というステージ・ネームを命名され、プレッシャーを吹き飛ばすプレイで新生バクフーに慣じんでいった和佐田のキャラクターも定着。

●I・B・W

通算6枚目のアルバム『I.B.W.～It's A Beautiful World』はバクフーのバランス感覚の良さが存分に生かされたアルバムだった。器量と度胸が一致したアルバムといってもいい。ヒット曲が生まれてもそれに迎合しなかったしたたかさもある。あらゆる音楽をミクスチャーさせて、なおかつちゃんとバクフーだと存在証明できるのは彼らが歌にこだわっているせいかもしれない。タイトル曲「I.B.W.」の重さと「KASHIWAマイラブ」のヘタすりゃ歌謡曲のギャップがバクフーの柔軟性を図らずも示している。しかもエネルギーはステージに小麦粉まいてたデビュー前と変わらない。違うのはやはり完成度だろう。新生バクフー・スランプの「I.B.W.」は、初めてアルバム・チャートの首位に輝いた。

●大きな玉ねぎの下で

「大きな玉ねぎの下で」が有線から流れてきた。何度聴いても良い曲だと思う。バクフーがこの曲を今になってシングルにしたのは「良い曲をより多くの人の聴いてもらう状況になってきたから」だという。古くからのファンの間では既にお馴じみの名曲だが、例えば「Runner」以降のファンには新鮮に響くはずだ。そんな〝とっておきの旧曲〟がバクフーの未知のリスナーを掴むことは間違いない。

●90年代のバクフー

'89年はバクフーにとって〝激動の一年〟だったということができるだろう。

バクフー・スランプは面白いバンドだった。そして、今だに面白いバンドである、ということを改めて知った1年でもあった。ただの興味本位、一時の情熱、勢いだけの人気でバンドが長持ちするのは難しい。幸か不幸か、バンド・ブームともアイドル人気ともイマイチ縁がなかったバクフーが、デビュー5年目にして現在の位置を築き上げたことは音楽そのもの、バンドの魅力そのもの以外の何モノでもない。

「オレら、ルックスがこれだからさ。オレ達のこと好きになってくれる人はオレ達の音楽が好きなんだと思う」

この逆転の発想がワン&オンリーのバンドの強味なんだと思う。

さて、90年代のバクフーは？　これはあくまでもサノの予感だが、さらに激昂しそうな気がするのだ。ここで落ち着いたりしてほしくないという想いもある。こんなもんじゃねェーだろ、まだまだとも思う。

乱世にふさわしい毒気をワタシはもっと要求したい。バクフーならばこそ。

RUNNER

BAKUFU ★ SLUMP

90'S

BACK TO THE 89'S

記事で見る爆風ニュース

◎ランナー大ヒット
◎江川ほーじん脱退
◎バーベQ和佐田加入
◎結成5周年
◎リゾラバ大ヒット
◎バトルヒーター出演
◎I・B・Wリリース、オリコン1位!!

ランナー大ヒット

パ^{2}チ5月号／RUNNER／撮影●植田敦

やはり、'89年を振り返ってみて、最初のニュースといえるのは、「ランナー」の大ヒットであろう。
「ランナー」が発売されたのが、'88年の10月21日だったのだが、ジワジワ、火がついていき、'88年12月31日の紅白歌合戦出場を機に、一気にブレイクしたのだった。
この「ランナー」の大ヒットが爆風スランプの'89年に与えた影響は、すごぶる大きなものだったに違いない。
このパ^{2}チ5月号の取材が3月上旬だったのだが、その頃は、「ランナー」のチャート・インの為、TV出演があいつぎ、メンバーは超多忙な時期だったのだ。その為、この取材は、午前0時からスタートしたというもので、副題には、「午前0時の肖像」とつけられている。

1月から3月までの爆風スランプを簡単に振り返ってみると、1月7、8、9の武道館3DAYS。これの1月7日が天皇崩御の為、延期。この為、パ^{2}チが企画した「GO-GO AHOダンサーズ」が流れてしまった。その後、ニューヨークでオフと思いきや、「ランナー」のヒットのおかげで、オフもままならず。
そして、江川ほーじんの脱退が、2月のパワステで行なわれたザ・謝恩会で発表される。
そういう流れで、「ランナー、午前0時の肖像」では、新メンバーの決まる前の爆風スランプが登場しているのだ。この頃のTV出演時は、ベーシストを毎回募集しての、片肺飛行。こうしてタイヘンな時期をのりこえた爆風だったのだ。

江川ほーじん脱退

結成以来のオリジナル・メンバーであったベーシストの江川ほーじんが、1月8、9日の武道館のステージを最後に爆風スランプのステージから離れることとなった。
〝方向性の違い〟がその理由だが、2月15日に行なわれた、ザ・謝恩会での江川ほーじんの姿は晴れ晴れしていた。彼等の深い友情と、ほーじんのガッツが、よ〜くわかった、感動的なイベントだった。ほーじんの活躍に期待!!

バーベQ和佐田加入

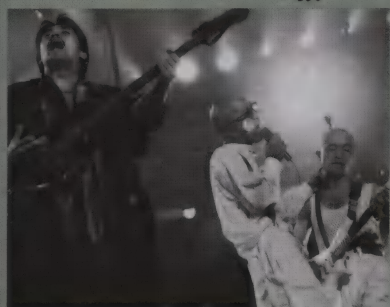
パ^{2}チ6月号／NEW COMER／撮影・ハービー山口

爆風スランプに、ニュー・カマー出現!! その名は、和佐田達彦。この頃はまだ〝バーベQ〟というステージネームはない。5月7日の柏市民会館のツアーから、僕達の前に姿を現わしたのだ。

バーベQ和佐田は、元トップスのベーシスト。この2月頃にトップスを離れ、爆風の片肺飛行時には、爆風のゲスト・プレーヤーともなっていたのだが、5月7日から正式メンバーとなった。
この取材では、和佐田達彦をメインにした撮影と新生・爆風スランプの抱負を語ってもらっている。トレンディなラテン系のマスクに、とつとつとした関西弁の和佐田達彦であったが、言葉少なにではあったが、ひしひしと彼のやる気が感じられた取材であった。

結成5周年

パ^{2}チ7月号／5thth ANIV。撮影・加藤昌人、植田敦

このパ^{2}チは創刊6周年記念号。そして、爆風もデビュー5周年。と、いうことでタイトルも「5th ANIV。」、ゲストも話題も盛りだくさんなものだった。
まずは、サンプラザ中野とサザンの桑田さんとの対談。最初は緊張気味のサンちゃんと桑田さんも、すぐにアット・ホームな感じに。
そして、パッパラー河合出演の映画「バトルヒーター」のスチール写真とインタビュー。さらに、末吉と和佐田のリズム講座と、5周年を飾ってくれて、どうもありがとう。

パ^{2}チ8月号／IT'S OUR OWN WAY／撮影・ハービー山口

「IT'S OUR OWN WAY」というタイトルは、〝俺たちのやり方〟というツアータイトルを訳したもの。この取材は、6月12、13、14日の武道館3DAYSのライブを取材したものだ。ほーじん最後のステージから約半年。新生・爆風スランプとしての最初の武道館のステージの取材だったのだ。

リゾラバ大ヒット

パ^{2}チ9月号／RESORT LOVERS／撮影・三浦麻旅子

タイトルは「RESORT LOVERS」。爆風のシングル「リゾラバ」の種あかしタイトルだ。

この頃の爆風は、ツアーの連続で各地へ飛びまくり、その合間をぬってのNEWアルバムのレコーディングと超多忙な時期だったのだよ。

そこで、この取材は、爆風の仙台でのフレコンのゲスト出演に同行して、"リゾート"を感じさせるページを作ろうとしたのであった。が、しかし、この日、編集者、ライター共々、上野から遅刻して、メンバーを待たせること2時間以上。ほんとに皆さんには、申し訳ない取材となったのでした。しかし「リゾラバ」はそれとは関係なく大ヒットして、ヨカッタ、ヨカッタ。

バトルヒーター出演

パ^{2}チ10月号／KAWAI THE STAR／撮影・宮澤佳久

さーて、映画「バトルヒーター」が今秋封切られたけれど、読者の皆さんは、ちゃんと見たかい？

さて、この号では、「バトルヒーター」の主演男優・パッパラー河合にスポットをあてたのです。タイトルも「KAWAI THE STAR」で、パッパラー河合をスターにしようという運動の一貫なのでした。

そこで、この号では前半は、パッパラー河合の写真館、後半では、バトルヒーター出演時の衣装でメンバー全員に登場してもらっています。映画で使用した、タイトル・バックや、こたつのモンスター、小椋さん人形までもが登場しています。うーん、グレートだぜ。

そこで撮影中のエピソードをひとつ。お坊さん役のサンちゃんは、この取材の時、わらじの結び方がわからず、左右の紐の結び方がちがいます。またアパートの住人役の和佐田サンは、どてらを着ての撮影で、もう汗びっしょり。だってネー、8月の暑いまっさかりの時だったんだよ。

I・B・Wリリース、オリコン1位!!

パ^{2}チ11月号／I・B・W／撮影・宮澤佳久

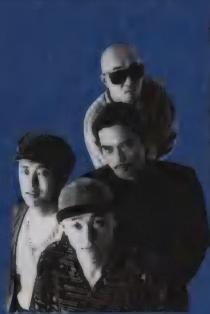
この時の取材は、もうそろそろ秋かなっていう、9月なかばに横浜に行った時のものです。

『I・B・W』をテーマに、氷川丸（伝統ある豪華客船）で、IT'S A BEAUTIFUL WORLDを表現してみようとしたんだぜ!!

カットは全て、ブルーぽいモノクロで、味があり、なおかつ渋いモノになったのではと思っています。

久し振りに大人のロック・アーチスト、爆風スランプが登場しております。インタビューの内容はアルバムについてでした。

●

パ^{2}チ12月号／I・B・W IREVIEWI／撮影・宮澤佳久

さて、この号では、前回に引き続き、テーマは『I・B・W』だった。

より歌（ウタ）を大事にする爆風スランプを、プレイヤーチームとボーカル・サイドに分けてのアルバムに対する取り組み方、曲・詩に対する取り組み方を聞いてみました。

そして、11月1日には、アルバム『I・B・W』がリリースされ、オリコン初登場1位を飾ったのでした。アルバムも特製の仕様で爆風らしい楽しいパッケージだったよね。

●

発売して間もないこの取材は、撮影でアソんでしまいました。ストロボを時間差で使って、『I・B・W』のパッケージの様な変り絵を作れないかなというアイデアだったのです

パ^{2}チ1月号／FOUR PEACES／撮影・小木曽成夫

LÄ-PPISCH

WHAT A FOOL WE ARE!!

TEXT●MISATO KONDA

1989

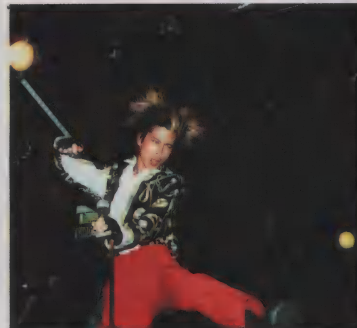
LÄ-PPISCH

WHAT A FOOL WE ARE!!

1989

WHAT A FOOL WE ARE!!

1989

LÄ-PPISCH 1989

いろんなことがあった。アレもコレもとにかく盛りだくさんで、去年だか今年だかよくわからん一年だったな、レピッシュにとっての'89年というのは。

例えば。

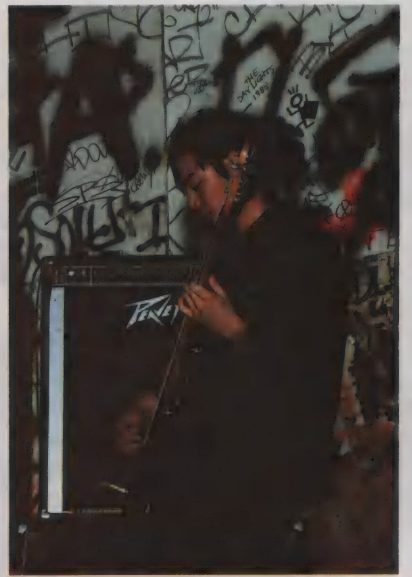
「思えば今年は、天皇が死んじゃって渋谷公会堂のライブがとんじゃったことから始まったよね」

「あっ、そうか。それって今年だったっけ。そうかそうか。うんうん。そういえば、あったなあ、そんなこと」

てな具合に。

「最近はツアーが続いてるから、そっちの方にアタマがいってる」

と言ったのはタツだが、そこをなんとかっつー感じで今年を振り返ってもらった。

と、書いたらタイムリーなことに有線で「ショーワウマレ」改め「タイムスリップボーイ」が流れてきたではないか。ナイスタイミング。こいつはいいぞ。あっ、でもニューシングル、「RINJIN」もヨロシク。あっ、「パヤパヤ」も車のCMに使われるらしい（あくまでもらしい）から、みんなで有線大賞でも狙ってみるか、うん。

〈マグミの場合〉

やっぱりニューヨーク・レコーディングが思い出に残ってる。トッドと一緒に生活した一か月間はね、特に印象深い。トッドも俺たちのこと可愛がってくれたし。充実した一年っつーか、なんかいろいろ忙しかった一年っつーか。まっ、とりあえずはいい年だったと。でまあ、来年はですね、NHKホール2daysとかありますが、ツアーが一段落したらゆっくり休みたいなと。で、沖縄に行きたい。今年たくさん働いたじゃないか、北島さん。だから、沖縄ぐらい行かせてほしい。（半分マジ）

〈狂市の場合〉

外国に3回いったっていっても、香港とタイはビデオ録りでチョコチョコって行っただけだからなあ。それに比べたら2か月間ニューヨークに住んだっちゅうのは大きいよ。ホント、あの2か月間は楽しかった。トッドと一緒に生活したのは、いい思い出だよ。『からくりハウス』のできも気に入ってるし。ヒマになったら、ウッドストックに行きてえなあ。あとは…一月の渋公か。でも、あれはごく最近のような気がする。中止になった時は、すっげえくやしかった。ホテルの目の前まできて、女に「今日は帰りましょう」って言われた時以上にくやしかった。（笑）で、来年は、少しゆっくりしたい。やりたいことがあっても、今年はそんなヒマがなかったから。個人的にも、ギターで試したいこととかあるし。作曲期間もたっぷりもらって、新曲を作りたいし。とにかく来年は、時間的余裕が欲しい。絶対もらう。くれなきゃアルバムは作らん。（笑）

〈上田現の場合〉

やっぱ、オグリキャップやね。こいつがいたから今年の競馬は盛り上がった。武豊よりもオグリキャップのおかげで、ここまで盛り上がったんだよ。うん。いい馬だよね、オグリキャップは。来年は引退っていう話があるけど、もったいない。今度の試合が最後っていう話なんだけど、俺はいくよ。小林薫も「木の下でお会いしましょう」っていってるし。（後日談・彼は天皇賞にいってオグリキャップにかけたらしい。しかし、オグリキャップは2位だった）

〈タツの場合〉

今年の思い出は、ウッドストックでしょう。トッド・ラングレン・プロデュース、ウッドストック録音。そこにつきますね。納得のいくアルバムも作れたし。ニューヨークでの2か月間はホントに有意義だった。帰ってからは地獄だったですけど。あの夏の日は一体何だったんだろうっていうか。過ぎてしまえばいい思い出、なんでしょうけど、どーもあればっかりは。なんだか今年は、オーバーワーク気味だったんで、来年はゆっくりやりたいですね。

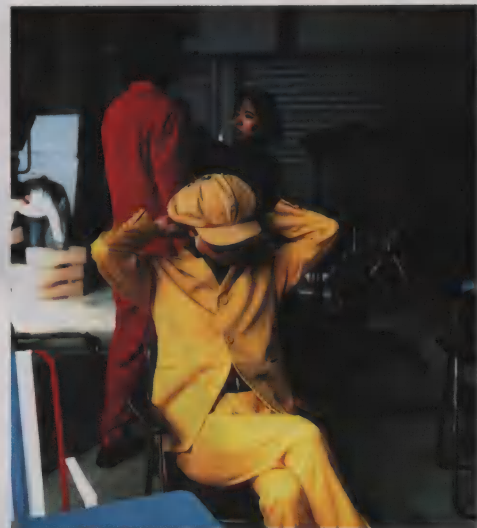
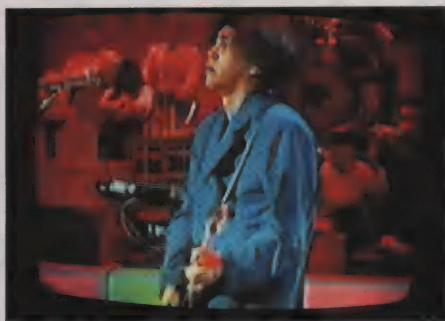
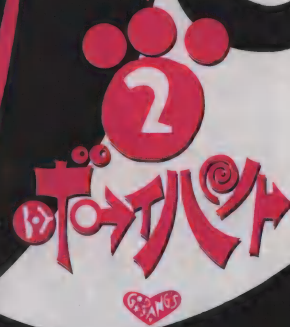
〈雪好の場合〉

いろいろありましたけど、今年一番はやったのはゲームボーイ、ですね。テトリスにマリオ、倉庫番…。テトリスなくしては今年のレピッシュが語れるだろうか、いや、語れまいっていうぐらい、よくやりました。

もちろん、ニューヨーク録音が一番重要な出来事だったわけですけどね。トッドはスゴイ人ですよ。日を追うごとに〝ああスゴイ人だなあ〟っていうのがヒシヒシときますね。実にいい経験でした。でも、それ以降がちょっとツラかったというか。ツアーはいいんだけど、取材とか受けるのがね。来年は、今年の分も含めて、ゆっくりできる時間が欲しいですね。忙しいせいか、ここ最近、音楽を聴く気も起こらないんで。ボーッと音楽を聴くゆとりが欲しいですね、まずは。

LÄ-PPISCH

LÄ-PPISCH

'89年は、レピッシュにとってどんな1年だったのだろうか? 年頭でイキナリ、渋谷公会堂ライブがスッ飛び、彼らの波乱万丈な1年を予感させたが、その後は順風満帆な躍進ぶり。(笑) アマチュア時代のアルバムをリメイクしたり、NY録音の問題作『KARAKURI HOUSE』をリリースしたり。TVを通してお茶の間にも進出したっけ…。ハテサテ、来年のレッシュは、どんな変化を見せてくれるのだろう…。

WHAT A FOOL WE ARE!!

1989

全米ヒットのロック10曲を楽しむ英語ヒアリング作戦

THE TAPE USA

いま話題の英語教材!!

アメリカから上陸!!

アメリカの情報をあなたに毎月!!

月刊スタイルで毎月あなたにお届けする、ヒアリングテープ(90分)+マガジン(140頁)の内容をご紹介します。ぜひ聞いてくださいネ。

TOP TEN USA
アメリカ放送界の人気DJジェイ・スティーブンスが担当するアメリカロックの話題。ヒットチャート10曲が毎月ステレオでオン・エア。

INTERVIEW USA
大人気のアーティストインタビューコーナー。ティファニー、ボン・ジョビ、A-ha、マドンナの生の声が収録されていて聞きのがせない。

MOVIES USA
カリフォルニアをはじめ全米でヒット中の映画情報をデーブ・ベーカーの軽いタッチでトーク。Batman, Turner and Hootch 情報到着。

TOPICS USA
ティーンエージャーたちのファッション、おしゃれ、習慣を UCLA の学生や高校生から直接インタビューでさぐる人気コーナー。

NEWS USA
ナチュラルスピードで刻々動くアメリカのビジネス、政治、社会の話題をDJジョージ・マクエイドがレポート。テンポが快適だよ。

COMMERCIAL USA
現地アメリカで流されるCMや天気予報、交通情報、これがわかるようになったら、もうすっかりアメリカンしてるってことです。

CHATTER USA
アメリカ的な表現を使って英会話を修得しちゃおうという欲ばったコーナー。聞くだけじゃない、話せて書けて読める、これが目標。

毎月20日、新鮮でステキなマガジン&テープ&会員紙が届きます!!

●テープ(90分)ドルビー、ステレオ収録。高品質のマクセル社製。
●マガジン(新書版140頁) 英文(対訳)10曲分の英語などテープ対応マガジン。

ええっ、すごい!! 感激・感謝・感動のおたよりを公開。

いてもたってもいられない、うれしい!! はじめ"?"が"!"になった!! 英語の感動。あのボン・ジョヴィが、マドンナが、A・haが登場

感動!思わず踊っちゃった、すごい

♡こんな教材があるなんて夢のよう。毎月アメリカの最新情報が届くんだよ。お母さんをおがみたおしてやっと手に入れたテープ。もう死んでもいいほどうれしかった。友達がにじりよってきた!（山形・吉岡里美）

成績が3から5に!自信でてきた

♡先日友達がうちに遊びに来て何げなくTHE TAPE USAを聞かせたら、コイツが気に入ってしまい、持ち去ってしまった。こんな教材があるなんてハッキリいって驚き。ヒアリングテストなんてへっちゃら、3から5になったんだから。とにかく、楽しい。これが最高の理由だね。（大阪・北山英二）

アーチストのインタビューが魅力

♡10月号のリバー・フェニックスの特集ありがとう。（三重・服部美子）
♡インタビューに、A-haのMORTONが出てきてビックリ。MORTONの話をすっかり暗記した。次の号はだれかな。楽しみ。（静岡・大石哲子）
♡ティファニーのインタビューが良かった。曲も最高!（埼玉・小林由美）

Jonお幸わせに!クスン!

♡私はボン・ジョヴィが結婚しようとしまいと変わることなく好き。ドロセアさんと仲良く暮らしていてもいい。きっといい曲を作ってくれると思います。幸せにネ。THE TAPE USAのJonのインタビューはとってもステキでしたよ。（神奈川・柿田優子）

どこでも楽しめる、私の聞き方!

♡THE TAPE USAとはもう8か月のおつきあい。最初はまるで何を言っているのか"?"でした。だんだんSPEEDにも慣れて、英検のヒアリングもバッチシ。電車での通学時間ー時間が私のウォークマン学習法。（福岡・名取静代）
♡午前0時を回った頃。辺りはシーン。小さなボリュームで外国人とヒソヒソ話しや小声のスウィングを聞くと神秘的なんよ、ウ、フ、フ。（東京・ビートっ子）

これは私の家庭教師なのだッ

♡今までいろんな英語の教材を買いました。1か月もするとゴミになってしまった。それなのに、THE TAPE USAはすごい。もう二年目に突入したの。宣伝通りじゃなかったら文句いおうと思ってたのに。英検2級の一次でヒアリングがベストだった。ありがとう、ワールド☆マインド様。（長野・宮崎 文）

英語の先生もビックリ、うなった

♡英語塾の教師をしています。生徒の中にTHE TAPE USAを聞いているものがいて、一度試してみました。するとこれがナカナカ。DJが放送局のアナウンサー(5人も出演している)の発音がきれいだし、生のインタビューも、ナマリやクセがあって面白い。とにかく変化に富む、あきない教材にびっくり。音楽にもテキストで英文の歌詞がついていて楽しさに工夫があるね。（山田明男）

これは本当に経済的だと思う!

♡初めは高いと思った。でも毎月90分のテープと140頁のマガジン。それに10曲もヒット曲が入っていて、歌詞もあり英文和文つき、あんなテープ作ってレコード会社、少し困るかもしれないほど新鮮。ラジオでしか聞けない曲もあるからね。（福島・㊫青年）

私の誕生日にプレゼントが届いた

♡なんと、私のバースデーにカードとプレゼントが届いたの。さっそく、ワールド☆マインドにお礼と、アメリカの放送局にファンレター。そしたら、それがテープで紹介されて……。（感動っコ）

私の宝物、英語がますます好き!

♡Hello! I have heard THE TAPE USA for ten months. I want to study English more. My Dream is to be a stewardess. My favorite stars are Morilyn Monroe and Madonna. I think that both Morilyn and Modonna are cute. Please tell me about them in detail My birthday is January 18 th. I'm 14 years old.

Thank you.
Gifu-ken Michiru Nagaya.

THE TAPE USA物語 作・杉山るんな

今までの英語教材って多くて長つづきしなかったよね
さあーてどっから かたそーか
ン万円も払ったのにー
でも THE TAPE USAなら テープと教材が毎月1本ずつ!
わっ
オモシロそー!!
内容はアメリカの映画や音楽などヤング情報が満載だよ!
もちろんテープは楽しさいっぱいの音楽中心!ヘッドフォンステレオでいつでもどこでも聴いちゃおー!
CD
TAPE
最近洋楽にも
くわしいんだ!
THE TAPE USAってサイコー!これからもつづけたいけ
THE TAPE USAは1年契約で更新料ナシ!そのまま2年でも3年でも続けられるんだ!
Be Happy! Don't Worry!

●録音・製作はアメリカ放送局

アメリカ・カリフォルニア州ロサンゼルスの放送局がオリジナルに毎月製作するヒアリングマガジンです。"いま"のアメリカをまるかじりできる魅力!!

MAGIC 94.3 FM IN THE VALLEY

いまなら無料で試聴OK!!

●ハガキ ハガキに必要事項を書いてポストへ。ハガキ到着後、3日で教材急送。入会はまず聞いてからお決めください。気に入らない場合は10日以内で返品OK(送料自己負担)。

●電話 03(983)0299

郵便はがき
〒170-91
サンシャイン60内
郵便局私書箱
2199号
ワールド・マインド
パチスタ12 係

●THE TAPE USAの無料試聴を申込みます。
●郵便番号 ●ご住所
●お名前
●生年月日
●電話番号

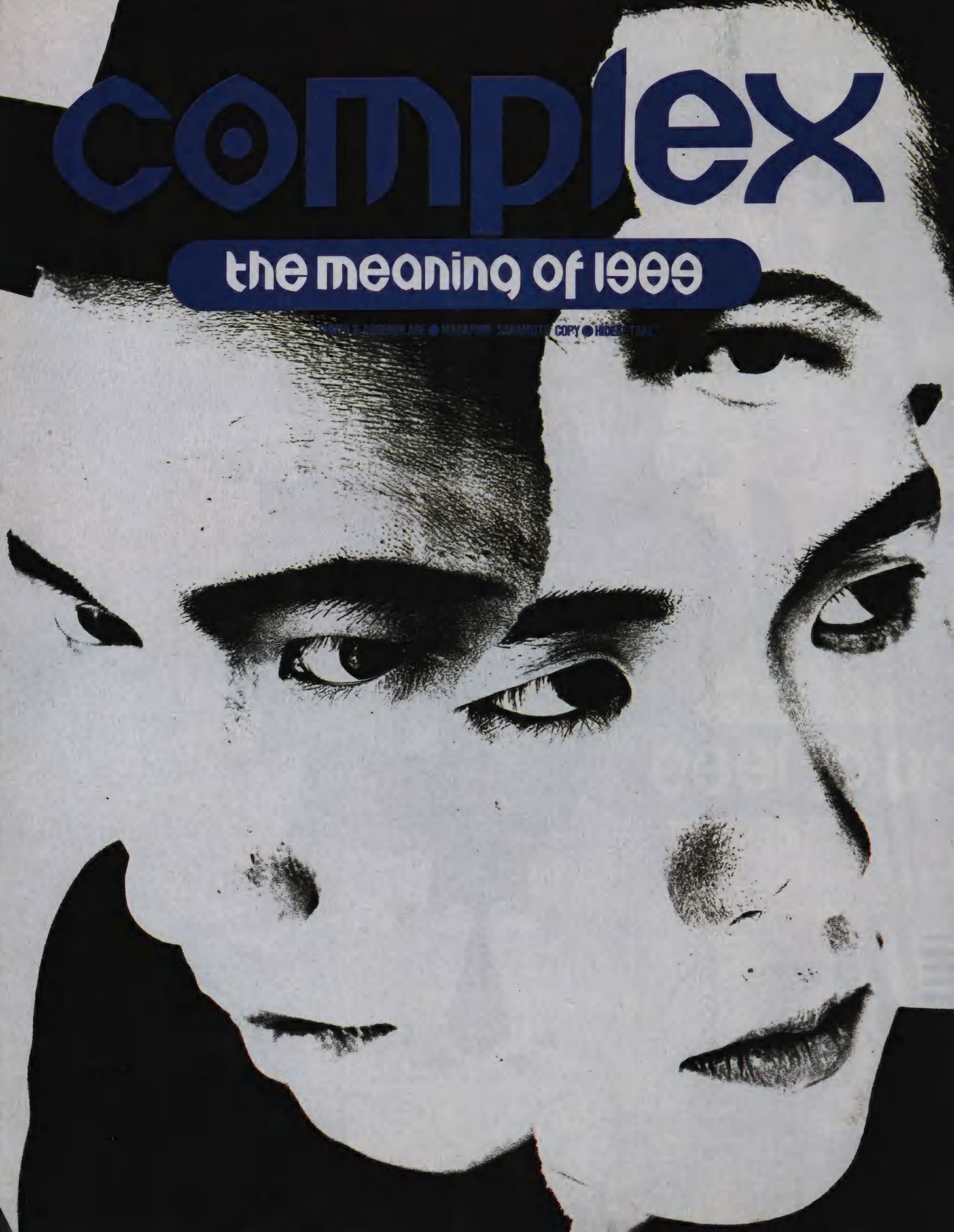
ワールド★マインド
〒170 東京都豊島区東池袋3-1-3(ワールドインポートマート5F)

●分納価格1ヵ月3,900円
▶1年経過後はお申出がないかぎり自動的に継続となります。なお、入会後の退会についてはご相談ください。

プレゼント いま入会のあなたにMAGIC94.3で放送中のエアチェック・テープ(C 60分)を贈呈!!

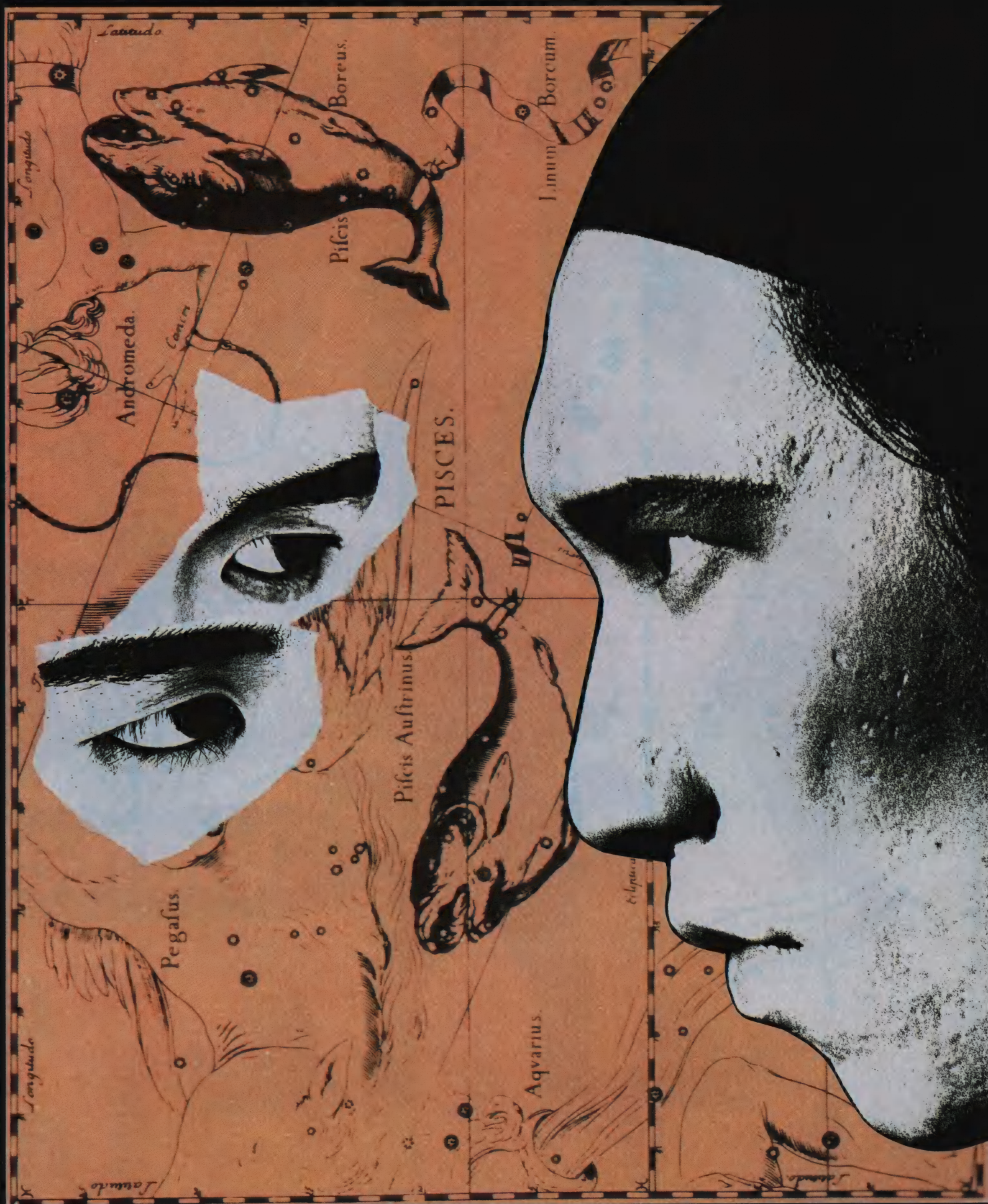
complex

the meaning of 1989

PHOTO & ASSEMBLAGE ● MASAFUMI SAKAMOTO COPY ● HIDEKI TAKE

plex

ng of 1999

com

the meani

complex

the meaning of 1969

スーパー・グループという言葉が使われだしたのは、一体、いつ頃からなのだろうかと思う。

日本ではそんなに古いことではない、とはいうものの、読者の人たちにとっては、とんでもなく古い時代のことなのかもしれないが、70年代の初めに、日本で、そう呼ばれるグループがあった。そのグループの名前はPYG。ザ・タイガースを解散した沢田研二と、ザ・テンプターズを解散した萩原健一が、ツイン・ボーカルというグループが誕生した。その時には、かなり大々的に〝スーパー・グループ〟という呼び方がされたはずだ。

海のむこうに目を転じてみると、60年代の最後、69年に、イギリスでブラインド・フェイスというグループがあったのを思いだす人も、いたりするかもしれない。

メンバーは、エリック・クラプトン、ジンジャー・ベイカー、スティーブ・ウィンラッド、リック・グレッチというメンバーで、クラプトンは、伝説のクリームを解散したばかりで、一方、スティーブ・ウィンラッドは、これもロック史に残るトラフィックを解散したばかりでこの二人を擁したことで〝奇跡のスーパー・グループ〟と呼ばれていた。日本でPYGが作られたのも、ブラインド・フェイスが下地になっていたことはいうまでもないのだが。

話を先に進めよう。ここはロック史の時間ではない。

何を言いたいかというと、スーパー・グループという掛け声は多い。でも、それに値いするだけの質を持ち、それだけのインパクトとバリューを持っているだけのグループは、日本はもとより、世界でも決して多くないということを言いたかったのかも。そうして生まれたスーパー・グループで、成功したグループは、もっと少なくなる。先にあげたPYGは、GS時代のファンからも見放され、ロック・コンサートのファンからは〝商業主義〟と拒絶反応にあい、コンサートではアキカンが飛び、沢田研二は口惜し涙で立ち往生する、という悲惨な結末を迎えざるをえなかった。萩原健一は、その後、しばらく音楽から足を洗い、役者の道に進んでしまう。

ブラインド・フェイスにしても、デビュー・コンサートは、ロンドンのハイド・パークに10万人を集めたものの、天才につきものの強すぎる個性が災いして、アルバムを一枚残しただけで解散してしまう。わずか一年しか持たなかった。

〝スーパー・グループ〟という呼び方には何ともたまらない魅力がある。

単なる人気グループでもない、傑出した存在として君臨することができるだけの質を持っていなければいけない。そして、そうであるからこそ、マスコミや、送り手側は、スーパー・グループという呼び方をセールス・トークで使いたがるのもまた当然のことだったりするのだろう。そして、そんなセールス・トークだけのスーパー・グループは、すぐに化けの皮がはがれ、聞き手に見放されてしまったりする。

布袋寅泰と吉川晃司。

そんな二人が、グループを作ると聞いた時に思い浮かんだのは、長々と書いてしまったけれど〝スーパー・グループ〟をめぐる、さまざまなことだった。

BOØWYを解散した布袋寅泰とソロ・アーティストとして転機を迎えていた吉川晃司。そんな二人が、同じグループにして行動するということは、確かに魅力的だった。少なくともこの10年以上、それだけの存在感を持った二人が合体したグループというのは、なかったからだ。

空前のバンド・ブーム。

そう言われだしてから2年になる。

一方で、中学生にまで年令が下がっていくまでに盛んになったアマチュア・バンド熱があり、もう一方で、〝青田刈り〟と批判される新人バンドのプロ・デビューがある。

そんなバンド・ブームを作ったきっかけになったのがBOØWYだったことはいうまでもなく、そのBOØWYは布袋寅泰と氷室京介の二人の才能とキャラクターがあって存在したグループだった。

そして、80年代の後半には、もうひとつの流れがあった。

それは、ロック・シーンとは、つかず離れず微妙に重なりあう形で、それでいてどこかに一線があるように見えた流れだった。テレビには出る、芸能誌にも出る。世間の目に触れているのは〝芸能〟っぽい形だが、やろうとしている音楽は、アップ・トゥ・デイトなコンセプトを持ち、サウンド・イメージも、アートを志向している。吉川晃司は、そんな流れを代表している存在だっただろう。

実験性とポピュラリティ。

僕はCOMPLEXがテーマにしていたのは、これだろうと思っている。

COMPLEX。

複合。

〝劣等感〟ではない。

布袋寅泰という要素と、吉川晃司という要素が、複合する。そこには、単に、トップ・ギタリストと、アイドル・スターというだけではなく、それぞれが象徴していたテーマがその〝実験性とポピュラリティ〟だという気がしていた。

ギターというひとつの楽器の持つあらゆる可能性を試してみること。布袋寅泰が「ギタリズム」の中でやろうとしたことは、それだったのだろう。ソロ・ギタリストとしてではなく、バンド・ユニットとして、ポピュラリティを持ちつつ、試みること。空前のバンド・ブームは、おびただしい数のアマチュア・バンドを生んでいった。

その様子は、見かたによっては、プロのバンドを侵食していくようにも見えたかもしれない。音楽関係者の中には、プロのバンドを見ることより、アマチュアのバンドを追いかけることに血まなこになったりする人もいた。

布袋寅泰は、BOØWYが作りだしていったバンド・ブームが、そんなふうに、まるで峡谷の谷間から流れだした激しい水の流れが、河口で川とも海ともつかぬ茫洋とした広がりになるように大衆化していく様子をどういう目で見ていたのだろう思う。そんな、上手いも下手も関係ないところで作られていくバンド・ブーム、アマチュア人気に、プロフェッショナルの実験性を、最も大衆的な形でやってみることに快感を覚えていたのではないだろうか。はんらんする有象無象のバンドの中で、その実力を見せつけること。89年のCOMPLEXの持っていた意味のひとつには、そのプロフェッショナルであることの確認もあったのではないだろうか。

吉川晃司にとっても、根底的な変化を意味していたはずだ。

〝芸能〟のジャンルの中で〝アート〟していくことのジレンマと限界。それをどう乗り越えていくかが、ここ数年の彼のテーマだったのだろう。

COMPLEXのメディア展開は、きっと吉川晃司がこれまで経験してきたものとは、180度違っていたはずだ。テレビの歌番組の中で新曲プロモーションをするわけでも、雑誌のグラビアを飾るわけでもない。限られたメディアを有効に組み立てて、コンサートを展開していく。ソロ・アーティストとして、自分が全面的に露出していくわけではなく〝バンド〟というユニットの中の一員として、より具体的に言えば、布袋寅泰との関係の中でのスタンスとなっていく。戸惑いがなかったわけがないようにも思うのだ。

でも、そうしたいくつかの懸念や不安要素が消えていくことが、スーパー・グループのダイナミズムであり、それを乗越えた時に、スーパー・グループの価値が伝わってくるのだろうと思う。

ただ、彼らのステージをみるまでは、そんな面白がり方をするようにはならなかった気もする。たしかにレコードでも、二人の持ち味がぶつかりあう形にはなっていたが、バンドとしての魅力は、ステージを見なければ測れない。

ぼくが見ることができたのは、ツアーの最終日の横浜アリーナになってしまった。

でも、それが良かったのかもしれない。それまで、ツアーの各地各所で見た人たちの批判や疑問までも自分の目で確かめる格好になったからだった。

荘重なオーバー・チュアから始まるオープニング。そして、そんな様式の世界から一転してアルバム「COMPLEX」の一曲目「PRETTY DOLL」に変わる。「PRETTY DOLL」「CRASH COMPLEXION」「IMAGE HEROES」そして「路地裏のVENUS」「CLOCKWORK RUNNERS」「2人のANOTHER Twilight」「Can't Stop Silence」「CRY FOR LOVE」と、アルバムの中の曲が続き、吉川晃司のヒット曲に続くという構成だった。「LA VIEN ROSE」に次いで布袋寅泰の「COMON EVERYBODY」それから「GLORIOUS DAYS」「PSYCHEDELICHIP」「DANCING WITH THE MOONLIGHT」「AILAIBAILAIMIBA」「NONO CIRCULATION」と吉川ナンバーが歌われ、「そんな君はほしくない」「RAMBLING MAN」「恋はとめないで」と、バンドのナンバーに戻り、アンコールで「BE MY BABY」が入る。全19曲。

圧巻は、吉川の曲がまるで別の曲のように変わっていることだった。バンドの曲のテンションはもとより、聞き慣れていた彼の曲が、神経をかきむしっていくようなすさまじいノイジィなギターと、間断なく砲弾がさく裂していくようなリズムの渦の中で生まれ変わっていた。

布袋寅泰は吉川晃司の動きを見計らいつつ、自分のポジションを的確に決め、そのことがステージの二人の動きを有機的なものにしていき、布袋寅泰への対抗心のようなエネルギーが、吉川自身のテンションを極限に押しあげていく作用をしているようでもあった。

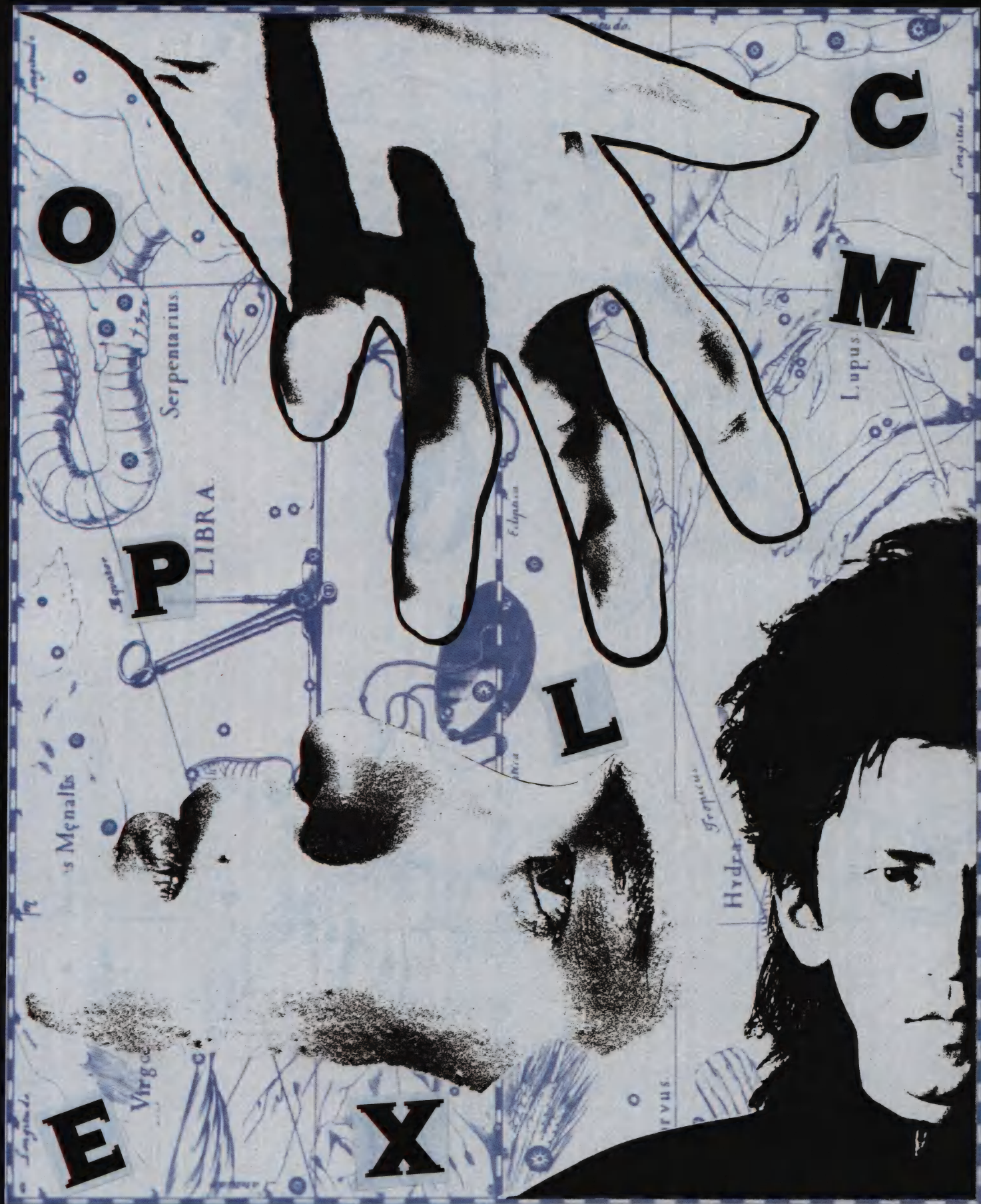
布袋が下手に去り、PAの上のゴンドラに乗って演奏し、吉川が上手のゴンドラの上でエルビスのように全身をくねらせた客席を挑発する。エンディングで、吉川がバク転を決めた瞬間に花火が鳴ったりするというシーンは、鳥肌モノだったりした。シャツを客席に放り投げ上半身裸になったりする姿がサマになっている。

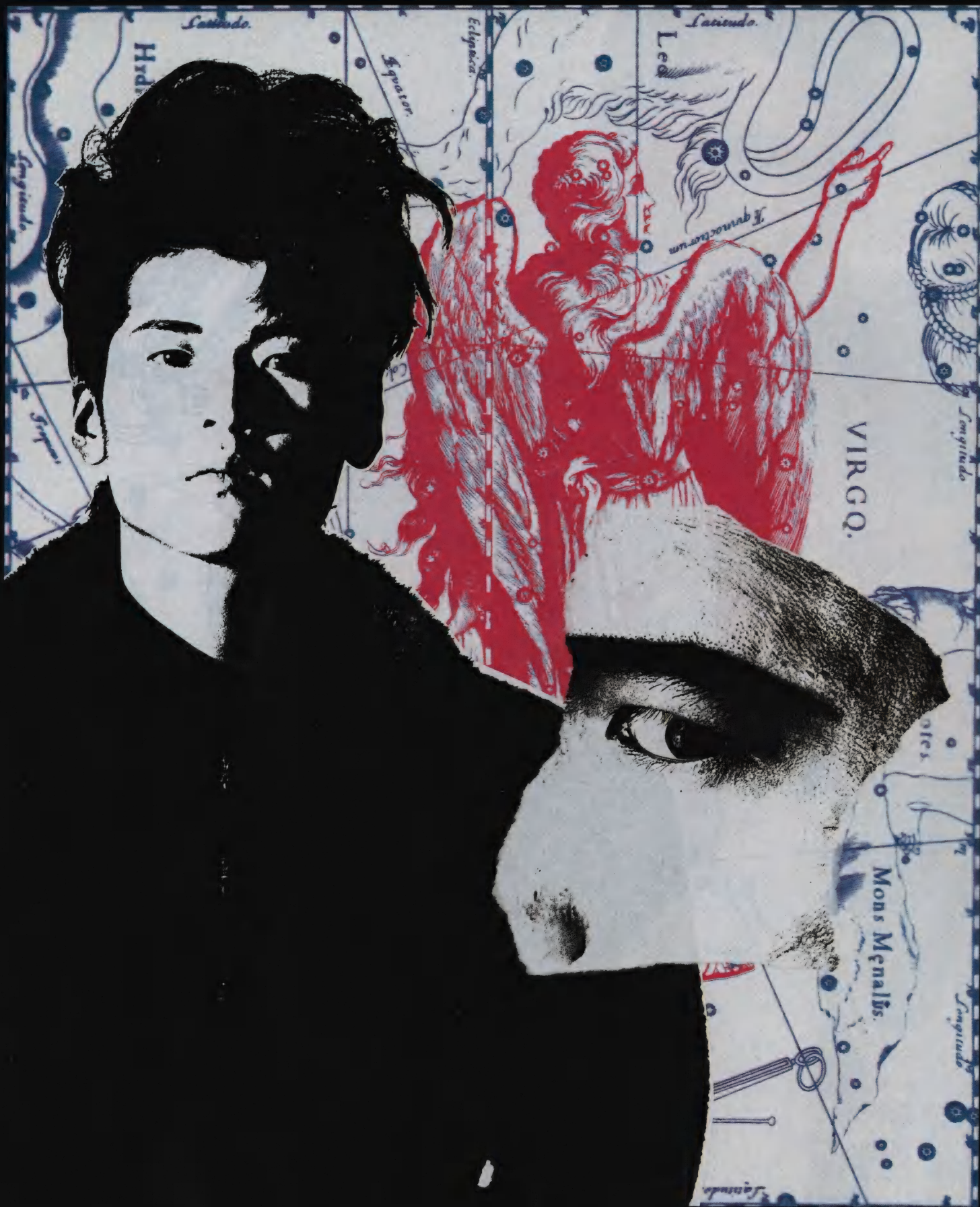
ぼくが、ソロ時代の吉川晃司に多少距離を置いていたのは、ステージ上での自意識がやや鼻についていたからだった。(ま、早い話が同性のひがみではあるのだが)〝どう？ぼくってカッコイイでしょ〟とこれみよがしに言ってるようで〝ああ、お前はカッコいいよ〟と舌うちたくなるような気分があったのだ。でも、COMPLEXのステージでの彼には、それがなかった。必死になって、演奏のグレードや、ビートの乱舞に負けまいと、肉体を駆使していくという緊張感があった。悲鳴をあげるように歌い続ける布袋のギターと、ボーカルで張りあおうとする、そんなやりとりが、二人の関係をドラマチックにしていた。

COMPLEXは、来年もやる、と吉川晃司がステージで言明していた。二人の関係がより内在的に緊密になることで、何を生んでいくのだろうと思う。

〝両雄並びたたず〟。

よく、そんな言い方をする。でも、二人が並び立った時、日本のバンド・シーンになかったスーパー・グループになる。

なにしろ二人ともデカイ。そして、二人がデカイと思えないくらいにスーパー・サイズのステージが見られたのだから。

complex

the meaning of 1989

complex

the meaning of 1989

KATZE

●KATZEに1989年を振り返ってもらうと、そのまま彼等のデビューからの1年を振り返ってもらうことにもなる。
　色んなことがあったワケですよこれが。パチ▶パチもデビュー前からの彼らをずっと追い続けてきたんだけど、いやはや成長したした、んもうスゴク。
　なんたってまず貫禄がついたわ。え？初めから貫禄あった人がいるって？　んなことは分かってるっつーの。
　とにかく、今日からのもう1年も彼らを見ててみなさい。来年の今月今夜のこの月を、KATZEのロックンロールで見事輝かせてやろうじゃん!!（文責・芳賀）
撮影/福里幸夫　文/イトウアキ（一語）

DON'T LOOK BACK

ATSUSHI NAKAMURA

そうだなぁ……事件的に言うのは難しいんだけど、みんなでリハーサルスタジオでジャムってる時の雰囲気が１番最初に頭にうかぶかな。なんでかって言ったら、デビューしてここ１年間で欲しかったのがバンドのグループ感だったからなのね。ＫＡＴＺＥって話し合わんバンドやけんさ…そういう時どうやるかって言ったら、スタジオでジャムってくんだよ。そん時すんごい気持ち良くてさ“音楽ってこういうことなんだろうな”と思った。

デビュー当時はすべてに対して焦ってた。オレって社会的現象…例えば、自分が社長になろうが平社員だろうが、そういうことってあんまり関係ないの。ただそのシチュエーションに身をおいてるだけだっていう考えしかないから。でも、そういうこと考える前にプロとしてここまでやんなきゃみたいなところあるじゃん。そういうところですごい焦ってたのね。“本当にオレが思いっ切りやっていいのか”とか、“オレが思ってることって、日本で今、どれ位認められるんか”とか。きっと自分の中じゃなくて外に目が向いてて焦ってたんだろうね。

んで…１年たって、昔よりは真面目に考えるようになったと思うよ。昔すんげぇいい加減だったもん。歌を歌ってくのはプロじゃなくてもいいと思ってた。今でもそう思ってるけど、１年前に比べると今の方が“歌”っていう行為だけに一生根をおろそうと思うようになってきた。歌を作って、歌うっていうことがやっとＬＩＦＥ　ＳＴＹＬＥのひとつになりかけてるからね。まだ威張れるほどじゃねぇけど。(笑) デビュー当時の自分は、“そうありたい”と願ってたからね。今は、現状を直視している状況だからそれどころじゃないけど。

オレすんげぇ弱い人間だからさ。人には見せないんだけど。オレってブランクとか失敗とかがないと生きていけないからね。んで、そういうつらい時が１番夢見る時だと思ってる人だから、そん時に一生懸命曲書くの。なんだかんだ言って、結構毎日違う生活送れてるからさ、21年間。だからもう、“これからも問題ねぇや”と思うし。オレの場合は多分、楽観的なんだろうね。

この頃よく人と話するのは、“日本って天才が生まれる国じゃねぇな”ってことなんだ。10代の頃ってみんな天才じゃん。なんでも分かってるっていう、そういう年ってみんなあるわけじゃん。オレもそうだったと思うんだ。んで、やっぱりどっか薄れてったり、どっか濃くなってったりしてさ。あの頃とはバランスが違ってると思うんだけど、オレって結構あの頃をひきずって生きてる方なんだよ。だから、“認めてくれないんならイイヤ”ってわり切れないんだ。日本人の感覚が外国人に劣ってるなんてひとつも思ってないけど、ここ１年間歌ってきて“天才の生まれない国で歌ってるんだな”っていうふうに思うようになってきたよ。

でもさ、いつも１番にあることはプライベートなんだよ。プライベートがあるからバンドが成立してるから。当然だよ。だって、オレは人形じゃねぇもん。(笑) 自分の生活を歌っているだけだからさ。

YASUNORI TAKAYAMA

やっぱりデビューした日かなぁ。なんにもなかったから。周りの人から"オメデトウ"とか、そういうのがあるのかなと思ってたら前の日と全然変わんなかったわけ。中野で練習してたし、レコード屋行ってもレコードなかったしね。"ま、こんなもんかな"と思った。なんかやって欲しかったっていうわけじゃないけど、予想してたものとは違ってた。デビューしたら、"地獄のようなツアーをするんだろうな"っていうのは予想してたけど、そうでもなかったしね。

デビューして雑誌に載るようになったでしょ。それで周りの人が騒ぐようになってきた。なんかそれって不思議って言えば不思議だよ。オレたちは別に変わったつもりはないわけでしょ。でも急に"キャーキャー"言われ出すと"なんでなんだろうな"と思う。ファンが増える、KATZEの音楽を聴いてくれる人が増えるっていうのは単純に嬉しいけど、"キャーキャー"言われるのは苦手だからね。全然言われなかったら、淋しいんだろうけど。人からは"雰囲気が変わった"とか言われることがあるけど、そういう部分って自分じゃ分かんないもんだから。だから、きっと半々なんじゃないかなぁ…と思うよ。周りも変わったし、オレらも変わったのかもしれないっていうところでね。

でも、"自分を変えよう"としたのはあったよ。デビューしてからって言うよりは、東京に出て来た時に、やり方とか表現の仕方とか変えようとした。田舎に居た時は、近くに親もおるし変なことしたら親の恥になるんじゃないかとか遠慮してたわけでしょ。それに、LIVEも自分たちでやってたから音楽以外のことも考えなきゃいかんわけ。でも、東京に来たら音楽だけでいいわけだからさ。ちょっと派手な人間になろうかな、と。派手っていうか…もっと感情を露(あらわ)にしてもいいかなって思ってさ。

それが実行できたかどうかは分かんないなぁ。どうなのかなぁ……。"悪く言えばナマイキになった"って言われるけどね。やっぱり自己主張するようになったし、自分というものが外に向き初めてきたんだろうね。うん。だから"ナマイキ"って言われて嬉しいっていうのも多少はある。自分が変えようと思ってたことだから。こういう世界ってさ、ある種ナマイキにならなきゃやっていけないとも思うし、自分が思う範囲は守らないとっていうのもあるしね。その思う範囲っていうのは、自分がやりたいって思ってる事でさ。例えば自分の欲しいドラムセットで演りたいとか、多くの人にKATZEの音楽聴いてもらいたいとかね。ま、売れるだけがすべてじゃないけど…なんか…人を感動させられるような人間にはなりたいと思うよ。

ステージでさ、照明が目つぶしになって客席照らすでしょ。そうすると客席が見えるじゃない？　そしたら、気が狂ったように男が喜んどったよ。ま、男に限らずお客さんが気が狂ったように楽しんでるのが見えた時に"あ、感動させられたかな"っていうのと同時に、自分でもちょっと感動したっていうのはあるよ。そういうことが刺激になって新しいものがでてきたりもするからね。

SATOSHI ONOUE

デビューして、自分も変わろうとしたよ。ギター上手くなろうとか、そういう具体的なとこだけど。んで、上手くなったかって言うと…あんまりそうとは言えない。今、何を弾けばいいのかなっていうのは、少しずつだけどなんとなく分かるようになったかなと思う。

デビュー当時っていうのは……結構手さぐりだったり、安易に考えてやったりしてたから。アマチュアの頃ってやっぱりなにも考えてないことの方が多かったけど、それがいきなりプロになって、自分たちがレコードを作って出す側の方になっちゃったから、今まで考えもしなかったことを1から考えたりするわけ。"レコードってなんなんだろう"とか。"ギターってなんなんだろう、LIVEってなんなんだろう"とか。

その根底がデビューしてくつがえされたわけだから、自分がすごい不安定な状態だった。だから、それからぬけようとして一杯ギター弾いたり、レコード聴いたりとかしてたけど今だに答えが出ない……。(笑) そういう意味では、デビューしてから周りの状況とかいろんなことにすっごく貪欲になったっていうか、だんだん貪欲にならずにいられなくなってきたんだと思う。

今まで"アァ楽しいや。アァいいな、アァかっこいいね"ってとこだけでやってきたのが、音楽そのもの……バンドとかロックそのものについて深く考え出したんだろうな。

どっちが正しいかどうかっていうのは分かんないけど。

1989年と言えば…………。やっぱり…2枚目の『STAY FREE』作ったことかな。自分の中での位置ずけみたいなのはまだできないし、まだまだ全然消化しきれてないんだけど、その時に自分のできることはホボできたと思う。あの頃の自分にできることは、あれがベストに近かった。だから、もし今、同じ楽曲で同じアルバム作ったら全然違うものになると思うよ。でも、今の方が良い、悪いっていう問題でもないからね。

だから結局、曲作る時でもひらめきとか直感とかが一番いいのかなって最近たまに思ったりする。なんかさ……賭事じゃないけど、最初の瞬間にパッて直感で思う時あるでしょ。んで、結局それが1番良かったりするじゃん。だから、そういうもんなのかなと思ったりするよ。…あと、気持ちをこじつけたり、無理矢理自分を信じてたりすることもあるけどね。でも、わき出てくるものに1番忠実なのがいいのかなって今はそう考えてる。

いろんな音楽聴いたりしても、その聴いたりした音楽に影響されて自分が変わるんじゃなくて、なんかそれで……自分を探すっていうか……結局自分って根っこのとこは変わんないものだと思うから。いろんなものを吸収して自分が変わってくんじゃなくて、いろんなものを吸収して今まで見えなかったり出せなかったりした自分を発見する…埋もれてるはずのものを出していくっていう感じ……。

変わんない根っこの部分っていうのはまだ出てないもんだし。一生かかって、死んで何十年もたって誰かが研究してくれて… 。(笑) "ア、こうだったのか" みたいな。そんなもんじゃないかなぁ、と今は思ってる。

KATSUNORI TAKAYAMA

デビューして1番心に残っていることねぇ…。オレは、どのLIVEとかこのレコードとかそういうものじゃないんだよ。そういう具体的なものじゃなくて、いい人に一杯出逢えたことがすごく嬉しい。いろんな人と知り合う機会がでてきて、オレが"あ、この人好きやな"ってタイプの人が増えるわけでしょ。自分のポリシーを持ってる人とか、オレたちと同じように義理と人情をちゃんと大切にしている人とかさ。そういう人たちの良さが改めて分かったっていうのはあるよ。もし、オレたちがデビューしてなくてプロじゃなかったら、そういう人たちには逢えてないかもしれないじゃん。だから、同じ状況の中にいてちゃんとポリシーをもっている人に出逢うと"すごい素敵やな"と思う。んで、その人たちと対等に話ができる立場なわけでしょ。そういうことを客観視した時に、オレって幸せだと思う。でも、オレってB型だからね。その辺は自分のペースで物事をすすめてって後で考えるけん。(笑)"あいつオレのこと好きやったんかな、嫌いやったんかな"とかね。

この1年間の間にさ、相手に誤解をうけたかなと思った時もあったのね。そういう時は人に逢うのが怖かったし、人と逢ってもしゃべれなかった。なんか…何を信じていいか分からなくなっちゃったっていうかね…。今年の8月の初めなんて、そういった時期のピークでさ。いろんな夏のイベントとか出るのが怖かった。でも、8月中旬の東北ロックサーキットの時はふっ切れてた。オレふっ切れるの早いもん。すぐメンバーに相談するから。"こうやったんやけど、どうなんかなぁ"とか言ってさ。そうすると"イヤ、心配することないっちゃ"とか言われる。それも年下の人に。でも、そう言われると"そっか。ラッキー"とか思って、また上昇指向になっていくんだよ。

んでさ…ある事務所の社長に"お前はいつも明るくないとダメなんだよ"って言われてさ。"そうすかぁ。元気になっちゃお"とか言って。(笑)"お前はそれが魅力なんだよ"って言われると"そうすかぁ、大丈夫すかねぇ"とか言ってパッとふり切れる。そんで、それまで相談した奴に"悪かったな。心配かけたな"なんて謝ってまわる。(笑)

このパワーは、今ここにいる自分を考えるから出てくることだと思うんだ。だってさ、バンド初めた頃から、何年もそういう状況になってみたいと夢みてたわけでしょ。

例えばレコーディングスタジオにいてさ、いろいろ悩んだりするじゃん。でも"まてよ…このスタジオにおれるってことは幸せなことやぞ"って思うと"よっしゃ。なんも考えないでいっちゃお"って思うもん。"お前プロじゃん。お前こんなスタジオなんかにおれるんよ"とか思うと"そうだよなぁ…"って改めて思ったりするもんね。

きっと、プロとしての意識がいい解釈でできたんだろうと思うよ。

オレさ、昔から自分が歩いてきた人生を振り返って"あぁ…あの頃は良かったよな"っていう考え方をするの嫌いなんだよ。思い出すこととかはあるけど、そういう考え方は絶対しないようにしてるから。

HOUND DOG TO THE 90'S

PHOTO●TAKEO OGISO　HAIR & MAKE●YOSHIYUKI WADA　STYLING●P.O.M.CO LTD.

●1990年もHOUND　DOGで幕が開こうとしている。1月1日には『VOISE』が発売されるし、'90年は、結成10周年の年でもある。'90年代に向けて、なお走り続ける彼等の'89年を振り返ると共に、'90年に向けてのVOICEを聞いてみた。

衣装協力●Pazzo.N.MASAKI(770-4088)●ブロムボーイ(497-5193)●CECILE BEATON(408-2611)

TO THE 90'S

大友康平

『VOICE』って、アルバムは、ほんと、メンバー6人が、一つの集合体となって、作ったアルバムという感じがする。このアルバムは、'80年代最後の年に作ったんだけど、二つの意味があると思う。

一つは、'80年代の総決算と、一つは、'90年代に向けての僕らなりのベクトルってやつのね。

まあ、'80年代前半は、さまよった部分があって、'80年代後半から、ぐっと昇り調子になってきたので、'90年代は、圧倒的にいきたいですね。あいも変わらず、愛と勇気とチーフなロックン・ロールを求めて……、パワーに裏づけられる優しさとか人間臭さとかね。とにかく唯一無比を目指していきたいですね。

今は、良質なモノも悪質なモノも氾濫する時代だから、みんながいろんなモノを体験して、その中から、自分の肌に合うものってのを見つけていければ素敵な事だと思う。

蓑輪単志

'80年代振り返って、ただガムシャラに走って来たんで、'90年からは、じっくりと、と、言いたいんですが、僕は逆にもっと加速度をあげたいですね。仕事の充実度というか、内容の濃さというか、そのあたりをもっと濃くしたいですね。

僕は'90年代はこう……とかは、あまりないです。とにかく、今しかできない事を一生懸命やるしかない。後で後悔したくないからね。そういう意味で、加速度をあげたいんですよ。

『VOICE』で、やっと本来の自分がわかりかけてきた感じがしますね。マインド的に原点に戻ってきてるというか。自分から、素直に出てきたものを素直に出せるようになってきたんじゃないかなと。

もっと、もっと、ハウンド・ドッグを聞いてほしいな。僕らにしかできないものを見つけてもらって、聞いてもらえれば最高だなと思います。

HOUND DOG

西山　毅

'80年代は、一口で言うと、半分をハウンド・ドッグに入って過ごしましたからね。

まあ、今度のアルバムで、今まで自分で持ってたものを、とりあえず全部、出したといえば出したんだけど、これまでの期間を、僕は充電期間と思ってる部分もあるんですね。

'90年代てのは、切れ目もいいし、新人バンドになった気持ちでもう一回やろうかな、と思ってますね。

これまではね、ギタリストとしての自分の存在をもっと出していきたいというエゴが強かったんだけど、これからはね、もっとバンド中心で、かつ、その中でも光ってるみたいな、ね、そうなりたいですね。オール・ラウンド的な意味で自分をもっと、もっと、ひろげていきたいね。

'90年もからわず、やっていくんでよろしく。いろんな音楽がある中で、僕たちを絶対聞け！　とは言わないけど、もう一回聞いてほしいな。

八島順一

'90年は、男のベーシックってやつですかね。

具体的には、バンドをもう1回原点に戻して、ベーシックな部分に戻れたらなっていうことです。

今まで、10年間、まぁガムシャラにやってきて、この『VOICE』ってアルバムも皆なで、作ったんだけど、音楽って、こんなに楽しいものなんだって、やっと目覚めたっていうか、メンバー各々の良さをひき出しつつ、やりたいことも見えてきたなっていうことですね。

だから、これからが楽しいってことですよ。'90年は、新たな、バンドの出発点というか……。

'90年代は、ハウンド・ドッグもより内面的なものにしたいな。何ていうか。〝ライブだけ見に行く〟みたいなものを変えたいですね。

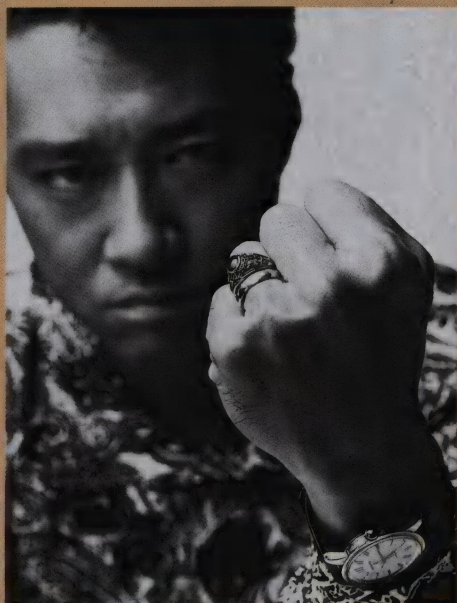
ハウンド・ドッグのおもしろい、楽しい部分をより出していけると思うので楽しみにしといて下さい。

の今まで出してなかった人間性を、うまく引き出した、楽しめるアルバムになったと思う。
　このアルバムで、ドッグの新らしいスタートっていうか、もうひとつ原点に帰ったっというか、聞いてもらえれば、変わってきてるのが、分かると思うけど、新たな出発という感じで自分自身、バンドに対して、大きく期待してます。
　'90年はバンド結成10年ていうのもあるけど、2001年に向けての21世紀への10年間の始まりという意味で、大事な出発点やと思ってるから、〝がんばらなあかん年〟やと思ってます。今の時点でどれだけやってるかによって、未来が開けていくと思うし。
　これからも僕らを愛して、一緒にロックン・ロールしましょう。止まらず転がることがロックン・ロールやから、期待して、見ててくれ。

橋本章司

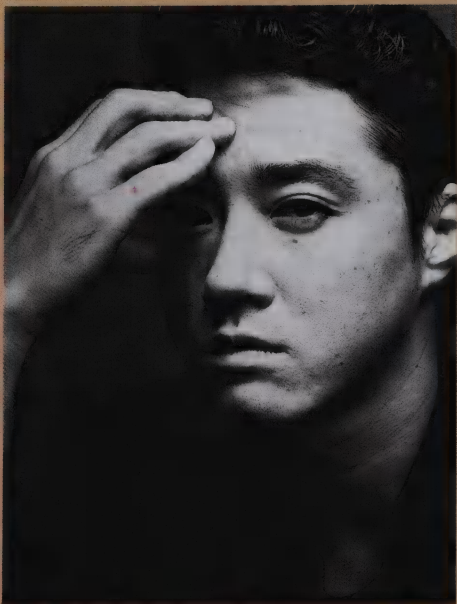
HOUND DOG TO THE 90'S

鮫島秀樹

　うーん、'89年振り返って、'90年という事やけど、ぼちぼちかな。
　いや、'89年は、「オーバーランドツアー」が終わって、〝やっと終わったな〟と思う間もなく、休む間もなく、「VOICE」のレコーディングに入ったからね。
　まあ、きつかったね。収録曲が多いとかもあったけど、今回はレコーディング以外の、ジャケットとかのこまごました事なんかも、ある程度自分達で見ていきたいってことがあったからね。
　それと、ここで1回、全部、はきたしといたっていうか……。俺達のやりたい事があって、そういうモノを全部、出しつくしたかなっていう感じやったからね。
　ここで一度、全部出しつくしといたから、ここからが、また新たなスタート地点なんやろと思ってます。
　まあ、'90年代も新たな気持ちで、ぼちぼち行こかってことかな。

パチ^{2}9月号　He is speaking.!（撮影●宮澤佳久）

パチ^{2}7月号　GOLD PARADISE（撮影●高橋純一）

パチ^{2}5月号　DEAR MY FRIENDS

HOUND DOG TO THE 90'S

'89年を走り続け、'90年に向けて走るDOG。DOGの走り抜けた'89年をパチ▶パチの記事で振り返ろう。①『GOLD』がベストセラー中!!　パチ^{2}では写真を用いず、大友康平のインタビューだけを載せた、初の試みだった。大友康平のフレンドシップ・ヒストリー。②「OVER LAND」ツアーのオフ日に取材。パチ^{2}創刊5周年号なので彼等のここ5年間の歩みを…。彼等の極楽（パラダイス）とは？　普段は見れない彼等の姿を……。③渋公3DAYSを終えた頃の取材。人間・大友康平の肉声で構成。さらに走り続けようという彼の意志が感じられる。「OVER LAND」ツアーも終盤戦の頃だ。④大阪球場5DAYSのあき日に、大阪で取材。パチ^{2}5周年企画の読者参加取材だ。5人のボーイズに普段着で話す大友康平。彼の人間味がにじみでている。⑤シングル「Tell Me Why」がテーマ。久々のメンバー全員のショットは、全身、黒に統一してキメたもの。『VOICE』のレコーディングの合間の取材だった。

パチ^{2}12月号　Tell Me Why（撮影●小木曽威夫）

パチ^{2}11月号　Talkin' the DOG（撮影●三浦麻旅子）

1989'S MEMORY TO THE 90'S

UP-BEAT
偽造盤

THE BEST

●3年前、STYLEの第1号に登場して、今でも毎月レギュラーを果たしているのは、㋠・大江千里・BAKUFU・米米、そしてUP-BEAT。今年リリースした4 thアルバム『UNDER THE SUN』で明確に自分たちのSTYLEを示してくれた彼ら、そろそろベスト盤くらい出てもいいハズ。だから、勝手にバチ▶バチ・オリジナル『THE BEST』やらせてもらいます。

1▶Kiss in the moonlight
2▶Blind Age
3▶陽炎を越えて
4▶NO SIDE ACTION
5▶Time Bomb
6▶Once Again
7▶TWO ALONE
8▶UNDER THE SUN
9▶Tears of Rainbow
10▶DEAR VENUS

11▶NEW DREAM~BAD MOON RISING~
12▶Dried Flower
13▶WITHIN YOURSELF
14▶Kiss…いきなり天国
15▶道化の涙
16▶Imitation Lovers
17▶Lady Party doll
18▶Brother Hopeの為に
19▶HAPPY TV
20▶HERMIT COMPLEX

PHOTO by HISAKO OHKUBO
STYLING by YUKA EGUCHI
HAIR&MAKE-UP by YOSHIO YOKOHARA
COSTUME・CRAZY CAT, TOKYO LOOK, Fancy Ball.

SHINJI HIGASHIKAWA

from根田美聡

▼ステキなサタディナイト
▼スキャンダラスな君の夜
▼Love you so wart you

ちなみに次点は「Kiss…いきなり天国」「Lost Afection」で、悩んだ末にこの3曲。私、1stが好きなんですよ、実は。フリフリブラウスの王子様ルックも嫌いじゃなかったし。見え見えのチープなラブ・ソングがね、いいんですよ、うん。今じゃ絶対作れない（作らない）と思うから、余計愛着を感じるっつーか。なんか、その単純明快ぶりが気持ちいいっつーか。やっぱ、まわりくどい恋愛は説得力ないですよ、なんつって。思いつめたカオして、こむずかしー理論をかますより、「好きだ」「やりたい」なんてことを歌ってサマになる方がカッコイイと思う今日この頃、広石君、「キス天」に引き続き、「ステキな～」をライブでやって下さい。お願いします。

from水村達也

▼SAYONARA SEKAI
▼HERMIT COMPLEX
▼SLUM QUATER

『UNDER THE SUN』リリース直後の取材の時に「SLUM QUATER」が一番気に入ったと言ったら、決してネアカとは思えないあの広石くんに「うわー、そりゃクラいよー」と思いっ切り笑われてしまいました。まったく、よく言うよなー。それでも、やっぱり僕は、人間が裏側に抱えている不安・狂気・破壊願望といった感情を、ザラリとした感触の、醒めたロックンロールに仕上げたもの"がUP-BEATの大きな魅力だと思っています。

というわけで、セカンド、サード、最新作の『UNDER――』から、それぞれ以下の3曲を選ばせてもらいました。特に順位はナシ、ということで。

from小島智

▼ONCE AGAIN
▼Kiss in the moonlight
▼Blind Age

わりとUP-BEATってコンセプチュアルなものとかトータルなもので勝負するバンドって認識があるので、楽曲で選ぶの

HIROSHI IWANAGA

は結構難しい。それに、デビュー時と今とでは曲のタイプも全然違うしね。そんなこと、シングルになる曲の方が圧倒的にメロディがいいってことで、この3曲になりました。ヴァージョンは別にアルバムの方でも可。16やブギ、モータウン・ビートなんかでも"気持ちわかるナ～"って感じる曲は多いけど、この辺はやっぱり彼ら特有の、王道の8ビートもんとの対比でこそ光るものばかりなので選外。こんなバンドの性格がどう変化するか、ちょっと楽しみです。

from森内淳

▼Time Bomb
▼UNDER THE SUN
▼陽炎を越えて

まず、なんで、「Time Bomb」をあげたかというと、これは実は僕がUP-BEATに興味を持ったきっかけとなった曲だからであります。忘れもせぬ、あの史上最悪の地獄の耐久イベント"ビートチャイルド"で、この曲を聴いた時に、このバンドはきっといいバンドだ！」と僕は確信したものでした、はい。次の「UNDER THE SUN」はギターがとにかくカッチョいいということで選びました。そもそもUP-BEATというのは70年代のロックを熟知している集団で、その辺のエッセンスがひじょうに光っているんじゃないでしょーか。陽炎を越えては、もうUP-BEATの新展開というか、いよいよナチュラルな曲がナチュラルに表現できるようになったということで、これを選ばせてもらいました。以上であります。

from READERS

●Kiss in the moonlight

・イントロが鳴ると、どうしても、ビデオの一歩一歩、あるいてゆくシーンが浮んでしまう。ライブバージョンが、やっぱし最高でしょう。(長崎県　坂下亜寿佳)

・昔、バチ▼バチで、詞の説明を読んだとき、なにげない一行の歌詞にも、こんな意味があるのかと思うと、もっともっと、UP-BEATを理解できる人間になりたいと思った。(岡山県　浜田ひとみ)

●Blind Age

・この曲、むちゃくちゃ引力が強い。(愛知県　鈴木田鶴子)

YUICHIRO SHIMADA

・すごくいい曲なので、この曲でオルゴールをつくって卒業記念にしました。（新潟県　長谷川節子）
・文通してる子にすすめられた。感動した。（北海道　山内智恵子）
・100回以上聴いてるけどあきない、やっぱり、いい曲なんだ。（京都府　横原裕美子）
・この曲を歌う時の広石の表情というか、真剣なまなざしを見てると、なんでも従ってしまえると思う。（長野県　翔子）

●陽炎を越えて
・最初に聴いた瞬間からよかったもん。（埼玉県　島崎文）
・これを選ばずして、何があるっ！　コンサートでのMCをきいて、ますます好きになった。（杉並区　秦由紀子）

●NO SIDE ACTION
・なんか堂々としてる。すごくポップ。"世界、背にしても逆らえることさ"の所は、UP-BEAT独特の味がある。（大阪府　黒瀬まゆみ）
・ライブで、"パン、パパンッ"が楽しい。（神奈川県　田口香織）
・うちにはレコードプレーヤーがないのでこの名曲もカセットでしか聴けん。CDで出して欲しい。（福井県　北川佳美）
・"JUST POP UP"ではじめて聴いた時の、ガチャガチャしてるんだけど、スッキリした感じが忘れられないよ。（茨城県　安藤ひろみ）

●Time Bomb
・いちばんLIVEに参加してるんだって思えるから。（荒川区　吉田範子）
・ひそかに、ライブで♪Time Bomb、岩永凡（ぼん）～と広石さんが言ってるのを知ってるから。（千葉県　渡辺久美子）
・目覚めの一発。（熊本県　桜井陽子）
・やっぱ、ステージでメンバーが輝く曲だよね。（新潟県　小路佳子）

●Once Again
・九州男児の恋唱だ。（新潟県　田中政子）

●TWO ALONE
・会社の文化祭で演りました。もちろん、ストリングス抜き。間奏のリコーダーソロは、いつでも広石のかわりに演れます。（静岡県　鈴木春代）
・泣かされる。演歌どころじゃない。（神奈川県　山瀬ゆうこ）
・雲を見ると思い出す。（？）

●UNDER THE SUN

SHINICHIRO MIZUE

・アルバムの中で、いちばん今までのUP-BEATから遠のいた曲だと思う。でも、UP-BEATだから出てきた曲。（豊島区 徳沢伊津子）
・水江さんの“ウ・ハ・ウ・ハ”のせいです。（神奈川県 矢部さおり）
・“夜ヒットR&N”で古舘さんやGWINKOがノリまくってて、自分もおどりたくなったから。（北海道 田嶋香里）

●TEARS OF RAINBOW
・やっぱし新種は新鮮です。（世田谷区 松延智子）

●DEAR VENUS
・勢いのイイイントロを聴くとスカッとする。（江東区 小山あい子）

●NEW DREAM
・私の命を救ってくれた曲なので。（愛知県 浅井恵子）

●Dried Flower
・初めて聴いた時は、嫌いだった。でも、最近なんか、ライブでくり返し聴いてくうちにギターがカッコイイと思った。（埼玉県 原田二三子）

●WITHIN YOURSELF
・ゴスペル隊のコーラスが、日本には珍しい。ギターも60年代で大好き。この曲を聴くと、必ず明るくなれます。B面の王者！（町田市 小倉麻実）

●Kiss…いきなり天国
・ギターが、カツカツ言ってて脳に残る。この前久しぶりにライブで聴けて、涙目でした。（滋賀県 田中博美）

●道化の涙
・曲が短かすぎて、あとを引く。（岐阜県 西村知江子）

●Imitation Lovers
・跳ぶのが好きです。上へ跳ぶ曲です。（兵庫県 高橋京子）
・たとえTVのミニ・コンサートでも、対バンのあるイベントライブでも、この曲を聴かないと、UP-BEATのライブを見たって気がしない。（宮城県 鈴木さえ子）

●Lady Party doll
・おしゃれだ。沢田研二が唄いそうだ。間奏のギターソロを、つい口笛でふいてしまう。（青梅市 大島直美）

●Brother Hopeの為に
・あの“がったるさ”がおみごとだと思う。（新潟県 小野寺秀一）

TAKEHIKO HIROISHI

●VANITY

・ウォークマンで座って聴きましょう。（新潟県　松田妙子）

●AMEN

・嶋田さんが目立つから。（愛知県　日下部征子）

・ぜんぜん、UP-BEATらしくない曲だから。どーゆー理由じゃ。（愛知県　武井尚久）

●DOCTOR

・この曲、詞ではかなりスケベッぽい所があるかもしれないけど、広石さんの声とノリで、いやらしさを感じさせない。（目黒区　村上良恵）

アルバム4枚全40曲の中からたったの3曲を選ぶなんて、これはハッキリ言ってつらい作業である。1枚のアルバムに、それぞれの曲にいろいろなイマジネーションが浮び、いろんな思いが生まれているのだからそれをポッと特別に抜き出すなんて、この3曲じゃない曲がとてもかわいそうで仕様がない。とは言ってもここにあげた3曲は、UP-BEATの〝やわらかな〟部分が感じられる曲として、私の大スキナラヴ・ソングである。初めて「kiss～」を聴いた時は涙が出そうになったくらいだったし、「TWO ALONE」のビデオで見たメンバーの笑顔も忘れられない。彼らのヒューマンな部分をしってしまったようだった。

3曲といわれると、全部『UNDER THE SUN』の中の曲になってしまう。彼らのアルバムの中でも、このアルバムが一番充実していると、ぼくは思っているからだ。その中では「SLUM QUATER」の、あのどこか不安定なメロディー展開が印象に残るし、「WITHIN～」は、リズムが心地良い。そして、やはり「陽炎を越えて」が好きだ。妙にリキンでいないサウンドが落ち着いて聴いていられるし、それでいて解放感に溢れている。アルバム『UNDER THE SUN』の中にある表情の豊かさを印象づけているのがこの3曲のような気もする。「AMEN！」のダブル・ミーニングの世界も捨て難いが、アルバム全体が、マルです。

♪まったく新しい音楽文芸誌。

B5判　340ページ　定価680円（税込）

パパエ読本。

♪お待たせしました。♫

発売決定!!

いろんな音楽が開花して、'80年代はいい時代だったよね。とりあえず'90年代もいようと思う。いることが王道なんだよ。

'90年1月19日(金)発売!!

今度こそ!!

おもな内容①

●ドキュメント&インタビュー●特集16ページ

「単独会見・1989年9月23日」

▼「ええ……悪夢でした」

今井 寿(BUCK-TICK)

●スーパー・ロング・インタビュー●特集16ページ

「格式無用」

▼最初にいいと思ったのは、由紀さおりの「夜明けのスキャット」かな。

森 純太(ジュン・スカイ・ウォーカーズ)

●速報①復起ファースト・ライブ(12月20日群馬音楽センター)・レポート&ニュー・アルバム『悪の華』、『HURRY UP MODE』解説●特集12ページ

BUCK-TICK

なんでもあり。

●速報②あの噂のディナー・ショーに、初めてカメラが入った。詳報完全中継●特集12ページ

米米クラブ

●作文挑戦シリーズ、第1弾!!●特集8ページ

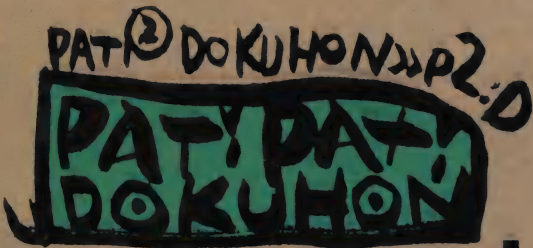
「題・海外旅行」…奥田民生、手島いさむ・

▼川西幸一、堀内一史、阿部義晴。

UNICORN

PAT② DOKUHON >> P2.D

PATi PATi DOKUHON

パチパチがこだわると
パチパチ読本になる。
クリエーターの遊び場が
パチパチ読本だ。

ぜ〜んぶ読切。

おもな内容②

●テーマ・インタビュー●大特集！80ページ
「90年代へ…」　構成・文・田家秀樹

▼シーンの中心になりたくないですね。時代を築く人がいて、比べてコイツらは、みたいな言われ方が好ましい。（笑）
①奥田民生（UNICORN）●16ページ特集

▼ファンの方は、1991年4月21日という日付は、念頭においといてもらった方がいいかな。
②小室哲哉（TM NETWORK）●16ページ特集

▼根底に自分自身の人間性の復興という切実な願いをこめた新しいアミューズメントを表現できたらどんなに素敵だろう。
③佐野元春●16ページ特集

▼世代の価値観を代表する音楽が現役でなければいけない。現役とは何かっていったら、僕にとっては売りあげなんです。
④山下達郎●16ページ特集

▼
⑤吉田拓郎●16ページ特集

パチパチ読本。

●オープニング・コミック
「ビーバップ・ロックンロール」
▼書きおろしオープニング・カラー・コミック8ページ
パッパラー河合（爆風スランプ）

●つりあげた魚は大きかったか？
「魚拓（ぎょたく）」
▼初公開！　説明なし魚拓だ！
THE　BOOM

●読切短編小説①●11ページ
「静荘の風達」
▼書きおろし30枚。イラスト＝今井里砂
木根尚登（TM　NETWORK）

●読切短編小説②●13ページ
「つなぎあわされたチケット」
▼初挑戦。小説処女作書きおろし40枚。
藤沢映子

●読切短編小説③●8ページ
「1988年12月31日」
▼読者応募作品優秀作です。
森山留衣

●ザ・真心ブラザース、ØKI(ストリートビーツ)、憂歌団、中村敦(KATZE)●20ページ特集
「内なるロックンロール」
アコースティックの逆襲。

●カラー・イラストレーション①
「MIWABOW'S CELEBRATION」
MIWABOW

●カラー・イラストレーション②
「二都物語」
笹野みちる(東京少年)

●~●11ページ特集
「年中行事」
ザ・チェッカーズ

●書きおろしイラスト
大槻ケンジ、内田ゆーいちろう(筋肉少女帯)
杉本恭一(レピッシュ)

●紀行インタビュー・シリーズ第1弾!
「どんとと占い」
▼ボ・ガンボスのどんとをゲストに、今話題の占いにチャレンジ
佐野郷子

●イラスト&エッセイ①
「キャメルライトの恩返し」
▼おなじみ森田恭子の手書きダイアリー。
森田恭子

●イラスト&エッセイ②
「トラベリング」
▼これまた全編手書き紀行文&イラスト
宇都宮美穂・文章
原"チャーリー"美恵子・イラスト

●ショート・エッセイ①
「テっちゃんと、ウツと、キネちゃんのこと」
▼初めてTM NETWORKについて、書いてみました。
小室みつ子

●ショート・エッセイ②
「ザ・松高トライアングル」
▼美里と佐橋とのぶさんの音楽交遊記
佐橋佳幸

●書きおろしショート創作文
「ザ・ライブ」
▼おなじみ関口誠人の新境地。チャレンジ作。
関口誠人

●読者応募優秀作=コミック
「過去・未来…そして…現在(いま)」
▼BUCK・TICKをテーマにしたコミックです。
桜井好輝

etc……。

パチパチ読本。90年1月19日(金)発売!!

今度こそ!!

CEROS

ライナセロス

江川ほーじん(B)　梅原達也(V)

山根基嗣(G)　堀尾哲二(D)

LIVE

ライブで遭遇する。

'90 1/23(火) 中野サンプラザ

6:30START 全席指定 ¥3,500(税込) 電話予約受付中

お問合せ・電話予約 キョードー東京[03-5237-9000]、チケットぴあ[03-5237-9999]、チケットセゾン[03-5990-9999]、丸井チケットガイド[03-363-9999]、F. TIC[03-359-1110]、CN21[03-257-9999]、ニッポン放送[03-213-4444]

'90 2/2(金) 大阪厚生年金中ホール

6:30START 全席指定 ¥3,605(税込) 12月17日電話予約開始

お問合せ キョードーチケットセンター[06-345-2500]

発売所 チケットセゾン[06-308-9999]、チケットぴあ[06-363-9999]、プレイガイド21[06-251-9999]、関西プレイガイド協会[06-346-0571]、厚生年金PG[06-532-6301]

×

SINGLE VIDEO

ビデオで遭遇する。

"SAVE THE RHINO" '90 2/7 ON SALE!

1990年2月7日。ライナセロスの2曲入りシングル・ビデオ"SAVE THE RHINO"、全国のレコード店にて一斉発売決定。定価¥820(税込/税抜価格¥796)。収録曲/"YOU GATTA BE CAREFUL""SHAKE IT"

'90 1/4(木) 特別限定販売"お年玉VIDEO"!

全国発売に先立ち特別限定発売決行。1月4日午前10時より伊勢丹新宿店本館2Fシンデレラシティにて。限定1000本、初荷スペシャル・パッケージ入り。会場では噂のスペースシャワーTVにゲスト出演した必見のVTR、ライブVTRなども1日限りの特別公開。'90年は"ライナ詣"で幕が開く。

×

DEBUT ALBUM

アルバムで遭遇する。

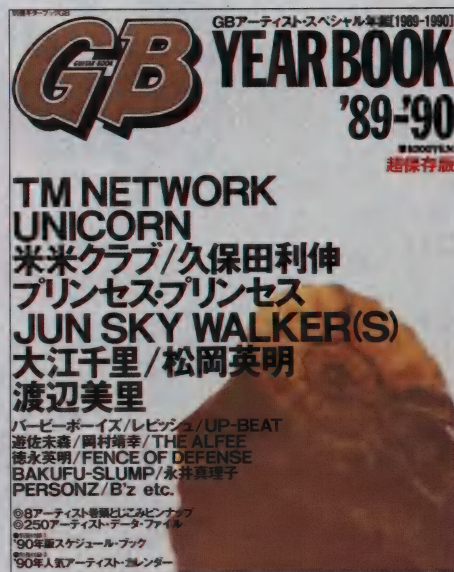
'90 3/21 ON SALE!

(予定)

ライナセロスに関するお問合せ B.U.S. 03(444)4831、BRAVE WORKS 03(715)0707

BUHi BUHi STYLE

YEAR BOOK 1989→1990

BUHi BUHi

●今年も１年間、どっぷりみんなと遊ぶことができて、ソメッチ＆BUHi♡BUHi編集部は、とっても"OK・ナイス"でした。ありがとっ！　感謝を込めて、好き勝手やるから、みんな、ついて来いよぉっ！

ゴトちゃんの何言ってんすかフジモトさん PRESENTS STAFF ZA-DA-N-KAI

●オープニングをかざる、いわば、パチ▶パチ編集部の1年のまとめとも言うべき、このコーナー。はじめの年こそ、アゴリノフ&ソメッチというドン対談が成立したものの、だんだん、いそがしさのグチ&言い訳合戦になり、遂に今年は…。

フジモト　本日はみなさま御多忙のトコロ、お集まりいただきましてありがとうございます。
ゴトちゃん　フジモトさーん、それじゃ去年のSTYLEと同じ出方じゃないですか。考えることがハガさんと同じ㊦(STYLE88参照)
ハガ　ホーラきた。こんなこったろうと思った。オレは忙しいんだから、フッチーとゴトちゃんのイジメに付き合ってるヒマはないのだ。ことあるごとにオレのことを極悪非道な仕事振りのように言っといて、こんな時ばっかり頼ってきたって知らないもんね。…とか言いながらズイブンしゃべっちゃった♪
フジモト　忙しい忙しいって言いながらカラオケに行く時間はあるんですよね。みんな徹夜してるのに…。
ハガ　なんだとぉ!?
フジモト　カズヤ(ジュンスカ)に歌唱指導してもらって上達したとか…。
アゴリノフ　……。
ハガ　違うんですョアゴウさん、僕は原稿のチェックをやりつつ歌ってたんですよ。
クロキ　あー、それってスゴイ言い訳(笑)!!
キタガワ　まーまあ、そんなことより早く本題に入りましょう。
フジモト　アッ、北川さんだ。
キタガワ　そう、私が新しくパチロクにやってきたキタガワです。実は私もカラオケ好きなんですよ。この間も都内某所で〝ホテル・カリフォルニア〟を歌ったら、店にいたアメリカのおのぼりサンと大合唱になってしまったんです。でもあの人たち下手くそだったなアーー。今度みんなでいきましょうよ、ね、藤本クン。
フジモト　いいですけど、自分で本題に戻ろうなんていっておきながら話しをカラオケに戻さないで欲しかったな…。
ヒロタ　そうやそうや、忙しいんやから話を先に進めてくれよ。
フジモト　ハイ、では本当に本題に入ります。えー、僕はですね…あ、電話だ。ハイ、パチパチです。
ヨシダヨシミ　そんな、話してる途中で電話とらなくてもいいのに…。
ゴトちゃん　あ、また話が進まない…。どうしよう。
オオバリババ　ほら、そんなことしてるから何時間もかかるのよ。早く進めて!
イトウアキ　またゴトちゃんをいじめてるー。
ゴトちゃん　そうよ、私はリバちゃんより一つもお姉さんなんだからね。
シモダ　ゴトちゃんがエバってる!またイトウさんがいるとすぐ強気に出るんだからっ、早くやんなさいよアンタは。
フジモト　いったい何やってんだ!?じゃ、アゴウさんお願いしますよ。
アゴリノフ　ん? そうだなぁ、ハガはいつもいつも酒ばかり飲んでたなぁ。
ハガ　だからアゴウさん、なんでそこでそんな話になるんですかぁ。
アゴリノフ　この間だってハガが飲んでる頃、徹夜で入稿してたんだぞ。しかもハガの分まで。
ハガ　かんべんして下さいよ、アゴウさん。
ゴトちゃん　じゃあ、今年もハガさんはお酒の一年だったということですね。
ハガ　だからぁ。
フジモト　それでは次に広田さん。
ヒロタ　ワルイ、今急いでるんや。オーイ、コバヤシ、ちょっとバイク貸してくれへんかぁ。(と言いつつフェイドアウト)
フジモト　あ…(困るフジモト)じゃ吉田さんは?
ヨシダ　えっ? 私。そうやね、今年の一番の思い出と言えばやっぱ、〝世の中ユニコーン〟のイベントで佐渡ヶ島に行ったことやね。会員証の発送は大変やったわぁ。日曜日だというのにアゴウさんにまで手伝ってもらって。
ゴトちゃん　そう言えばそんなこともありましたよねェ、会議室の冷房もきいてなくてすごく暑い日だった気がする。
フジモト　そうそう。みんなでやればすぐ終わると思っていたのに結局夜中までかかったんだよね。
ヨシダ　でもアゴウさんがお寿司をごちそうしてくれたやない。
フジモト　そう言えばあの時、オレが並を注文した後で、みんな上を注文したんですよね。
ヨシダ　そうだった? それよりあの時の話はおかしかったわぁ。フジモトくんの高校時代は男女交際がなかったって話。
フジモト　いや、あれは本当になんですよ、ねェゴトウさん。
ゴトちゃん　え!? なんでそこで私に振るんですか!?
フジモト　同じ熊本県人だからさぁ、ゴトウさんもそうだったでしょ?
ゴトちゃん　そんなことはないですよ。
フジモト　だってゴトウさん、BFいなかったって言ったじゃない。
ゴトちゃん　いましたよBFくらい。
フジモト　ウソついてるゴトウさん。オレにいなかったのにいるわけないじゃん。
ゴトちゃん　どういうイミですか、それは。
田中　何かカン違いしてませんか? フジモトさん。(と突然田中ちゃん登場)
ゴトちゃん・田中ちゃん　ウケまくり♡
田中　シモダは佐渡ヶ島まで行ったんだよね。シモダ? あれシモダがいない…会議室にいるとか言いながら、また倉庫でねてんのかな。
フジモト　じゃ、さっきからオレの立場がない、オレにもしゃべらせろとさわいでるハガサンに今年一年を振り返ってもらいましょう。
ハガ　オレは今年、編集部の中で一番出張回数が多かったと自負している。別に遊んで過ごしたワケじゃない。
フジモト　そうですよね、一か月まとめて立て替え分を精算したら30万円になるくらいですからね。月給二回もらうようなモンスよね。
ゴトちゃん　何の立て替え分だろ?
ハガ　あれはなあ…。行く先々での有効な打ち合せ費用なんだよ。
ゴトちゃん　へぇー、飲みつつ打ち合わせですか? ドクターストップの体で?
ハガ　……。
フジモト　そういえば笹塚にあるディマンシェの領収書を一週間連続でキッてるのを見たことがある。
キタガワ　そうそう。毎晩、ヒゲの人と2人で来るって、お店の人が言ってた。
フジモト　最後までいるから、お店の人が閉店できなくてかわいそう。
ハガ　でも翌日はちゃんと来るじゃないか。
ゴトちゃん　ウソばっかり!! 出勤簿に月2回しかサインできていないのに?
ハガ　だから…オレは誰れよりも忙しいの。毎日、取材だ出張だ打ち合せだ、って。オレほどタイム・コントロールをしっかりやってる人間はいないよっ!?
ゴトちゃん　夜、酔っぱらって編集

藤本くん物語
ボク、フッチー!!
パチ▼パチの新入社員だよ。

部に戻ってきてみんなにからむのも、打ち合わせで出かける時、夜中3時戻りって言っといて行方不明になるのもみんなそのせい?

ハガ　オレは多少アルコールが入ってる方が仕事がはかどるんだよ。

ゴトちゃん　またハガさんの言い訳が始まった。

フジモト　まぁ、名物編集者には、数々の逸話があるということで!

ハガ　そうだ。オレはアゴウさんに顔向けできないようなことはほとんどやってない。

アゴリノフ　ほとんど……。

フジモト　ハガ話は、つきないからここらで、黒木さん、どうぞ。

クロキ　あたしっ!? あたしはもう、ブーム…BOOM。BOOM一色っ!! バチバチで署名ライブやったりしてけっこう楽しかったなっ、ライブにきてくれたみんなどうもありがとうね♡

ゴトちゃん　私も何度か行かせていただきました。BOOMはいいですよね。渋公でやった時、ミヤが客席に降りて歌ったのには感激しました。

イトウアキ　私にも一言言わせて。私は、やっぱり自分の原稿がパチパチに載るようになったのが嬉しい。それに出張にも行けたし。ハガさんの酒地肉林状態も見れたし。(笑)

フジモト　出た!! ここでハガさんに振ると話が戻ってしまうからハガさんのいない間に先に進めよう。

ゴトちゃん　私、一言いいですか? 私も春まで学生で卒業したら熊本に帰るって約束してたのに(お父さんお母さんゴメンナサイ)帰らず、ここにいるのが去年との大きな違いデス。

シモダ　…違いと言えば、愛しのジントフスキーさんを初め、ナベリノフさん、山崎さんがフリーになっちゃった♪ みなさん頑張って下さい。

フジモト　たて続けに3人も編集部を去ったのはさみしかった。そしてナベリノフのあとにきたのが入社5日目にして「あの人誰?」とハガさんに言われた北川さんです。

ハガ　そうやって最後までオレを悪者扱いにすりゃいいよ……。

シモダ　悪者と言えばシモダは悪い子なの♪ 勝手にしなさいと言えば楽なのに言えない両親に感謝してます。佐渡に行けたのも父のお陰だし。'89年は、民生さんに逢えて幸せ♡来年も…、そうだ、大殺界なんだ♪

フジモト　あっ!! オレ、思い出話してないっ!!(全員爆笑)

アゴリノフ　フジモト…ディマンシェで個人的に聞いてやる。

小嶋人志(バクチクのロ〜ディ〜)ロ〜ディ〜一直線っ スペシャル

1989年も残りあと1週間程となってまいりましたが、皆さんお元気でしょうか。この本が出る頃はメリーメリークリスマスなのでしょうが、私はその頃何をする人ぞ、という感じです。だって今まだ11月だから先のコトは分かんないよ。コンニチワ、三東ルシアです。

何と今回このコーナーがスペシャルになるというコトで、何だかシシャモを頭から喰らったような気持ちです。一体何をしたら良いのでしょーかと、桂三枝の愛ラブクリニックのようにクロキさんに聞いてみたら、「他のバンドのローディを呼んでこいっ! さもなければオリックスのブーマー一気飲み」と言われました。LIVEスケジュールを見て知り合いのローディーさん達を捜した結果、あるバンドのローディーさんを掴えるコトが出来ました。そのお方は今年の夏の武道館も大盛況だったあの〝ROGUE〟のローディーをしているカワジリコウジ君。11月の末日。お互いの仕事の都合で、夜中の12時過ぎに市ヶ谷の駅前で待ち合わせをしました。午前1時30分過ぎにやっと現われたコージ君。寒くて凍死するかと思いました、私は。

—では2人が出会ったいきさつを。

オジマ(以下㋔) あれは確か去年の春頃あった東北ロックサーキットだったネ。

コージ(以下㋙) うん、でもオレその前に会ってるんだョ。BUCK-TICKがまだ高崎のBIBIでやってた頃オレ観に行ったんだョ。アサミさんはちゃんと覚えててくれたけどオジマさん覚えてないでしょ?

㋔ うん(笑)

—その東北ロックサーキットって、他にどんなバンドが出たんですか?

㋙ えーと、BUCK-TICK、ROGUE、L・A-PPISCH、PERSONZ、LAUGHIN' NOSE、ライダーズ、アンジーかな。

㋔ あの頃あんまりお客さん入ってなかったけど、今そのメンツでやったらすげーんじゃないの。

㋙ ロックサーキットの初日の前日、夜皆なで飲んだの覚えてます?

㋔ うん、なんとなく。それで皆な一人ずつ自己紹介したんだっけ。

㋙ そうそう。んでどこのバンドのファンが一番可愛いかっていう話になって…。

㋔ あの時マユズミが(パーソンズのローディー)「パーソンズのファンは可愛いですョ」って言ってたの覚えてるけど。

㋙ でその日は「じゃ明日から皆な頑張りましょー」ってすぐ打ち解けたんだよね。

㋔ で初日が平(たいら)であったんだけど、東北の春はまだ寒くて大変でしたよ。

㋙ でね、オレ覚えてんのが宮城かどっかの時BUCK-TICKのローディー、2人揃って大遅刻してんの。皆なで機材とかこう降ろしてたりしてて、「何か足んねーなぁ」って言ってて。「おいBUCK-TICKどーした」って(笑)。でしばらくして…どのくらいだっけ?

㋔ 1時間くらいかなぁ…。

㋙ そう、そのくらいしたらやっと2人がヒョコヒョコやってきて。「いやーまいった」とか言って。まったくホントにしょうがねーなぁとか言ってたら、今度はオレが移動のバスに乗り遅れてやんの(笑)

㋔ たしかその遅刻事件の2〜3日後だったと思うけど。LIVE終わって搬出も終わって、次の場所行くんでバスに乗ったわけですョ。で皆な揃ったか確認とって、で誰かが「全員いまーす」とか言ったからバスが出たワケ。そしたら「アレ? コージがいない」って(笑)で外見たら1人で焦りながら目を点にして走ってるコージが見えて(笑)。

㋙ ひどいよね、誰も初め気が付かないんだもん。でも早めに気付いてくれたから良かったけど。

—それがキッカケというか出会いというワケなんだ。

㋙ そう。ロックサーキットが終わってからも連絡取りあったりライブの情報交換したりしてます。前も群馬県民の時ユータさんときてくれたんですよね。

㋔ うん、行かせて頂きました。

㋙ 知り合いのLIVEの時とかって、ローディーの仕事の内容とかだいたい同じ様なコトするから分かるでしょ? 手伝いとかするんですよ。でその群馬の時オジマさん達が楽屋の方まできてくれて「コージおつかれさま」とか言ってくれて、「あっオジマさんわざわざ来てくれたんだ」って思ってたら「じゃ、頑張って」ってすぐ行っちゃうんだもん。

㋔ あの時はユータも一緒にいたし帰る間際だったからさぁ…。

㋙ そういう人です、オジマさんは。武道館だって来てくれなかったじゃん。アサミさんとかユータさんは来てくれたのに。

㋔ あの時も何か仕事か何かあっていけなかったんだョ。今度の厚生年金は必ず行かせて頂きます。

㋙ いいよ、こなくて…。

—じゃあここでLIVEの宣伝を…。

㋙ ハイ。12月の26日、新宿の厚生年金会館。あと28日と29日は後楽園ホールでやりますんで。

㋔ 29日はBUCK-TICKとROGUE、LIVEが重なっちゃうけど、20日の群馬もだよネ。

㋙ そう、ROGUEが県民会館でBUCK-TICKが音楽センター。

㋔ ホントにもー、合同打ち合げ(笑)

「2人で話を始めたのが午前2時前で終わったのが午前4時。もーしゃべるしゃべるで、けっこう久し振りに会ったから盛り上がってました。

ここでお知らせがあります。頼まれて頼まれて頼まれぬかれちゃったんで書くんだけど(笑)。

今回出てくれたコージ君が彼女を募集してるそうです。顔は写真が載ってるから分かると思うけど(右側の野球帽の人です)。コージは今現在20歳で一人暮らしです。趣味は牛乳プロに入るコトで(ウソ)特技は30kgのバーベルを持ち上げられないコトです。今これを読んでる20歳から23歳までの彼氏のいない女性の方、写真同封の上、年齢、職業を書いて〝コージは私のものになるために生まれてきたのよ〟係(笑)まで御応募下さい。彼はけっこう本気です。

というコトでスペシャル版も終わりであります。今回出てくれたコージ君、どーもありがとう。大沼さんと一緒に頑張って下さい。香川さんにヨロシク言っといてね。

それでは皆様、残り少ない1989年を、六本木の交差点で朝、小学生にアーモンドでも配りながら精いっぱい精進して下さい。

ではまた来年。よいお年を〜〜。

ブッホホッブッホッホ、ブッホッホォーか。みなさんごんぬすば。わてがジントフスキーだす。ほんま、みなさんも元気しとりはりまっしゃろか。ブホ、鼻息荒いだすか。若いっちゅうことはエエことですわ。勢いで行けまっさかいにな。せやけど、基本的なことは知っとかなあきまへんよォーブボモモンボ。

業界の鉄則

Q ジントフスキーさん、私は今あることがわからなくて、夜も眠れません。ちょっとカッコつけて知ったかぶりしたものですから。先生、「ゲネプロ」って何ですか。ブヒバンバ。（宮城県　佐藤K子　16歳）

J あんたは、若いのに、雄叫びをやるとは、心がけがエエ子やな。わてが好きなタイプや♡

ま、それはそうとして、ほな説明いきまひょか。ごっつう簡単に言うと「ゲネプロ」ちゅうのんは、「リハーサルの最終段階」と覚えとったらエエンとちゃうかな。例をあげてみよか。あるバンドが今度ツアーしたろかと思うたとするやんか。そしたら、最初は『安いスタジオでリハーサル』や。ここで何やるかいうたら、レコードに入ってる曲をどないしたらステージでやれるんか、アレンジ面のディスカッション&トライをするわけやな。レコードではシンセサイザーがやっとったパートを、ステージではギタリストがいろんなアタッチメントを使うと何とかやらなあかん、とかそんなことを何曲も何曲もやるわけや。せやさかいに、ごっつう時間かかんのやな。よって「御苑スタジオ」とか、『ほんまに、こんなとこであのバンドがリハやんのけ～』と驚いてまうような古い、そして安いとこでやるのが通例。この期間が終わったら次は『高いスタジオでリハーサル』や。1曲1曲はもう演奏は大丈夫ときた。そなら、次は曲と曲をどうつなぐか。どんな仕掛けをしようか。どんな動きにしようか。これは参加人数、多いですよ。ディレクターやマネージャー、舞台監督（ブタカンちゅうんやで）とかミキサーとか、ごっつう大勢の人が来とりますよ。ここで大体、曲順とか演出がすべて決まりよるんですわ。「マックススタジオ」「つづきスタジオ」あたりが、これに相当しまんな。10年前くらいまでは、これで終わりやったんや。あとは当日の会館で最後のリハやるだけで。ところがや、最近は「ゲネプロ」が流行っとります。ほな、「ゲネプロ」は何やるかっちゅうたら、もう本番と同じように、演奏し演出し、ライトも当て、PAも準備しっちゅう感じで、ごっつい緊張感でまるまるライブやるわけや。あと、その場にないのんはお客さんだけっちゅうわけや。わかってもろたやろか。せやせや、もうひとつ話あるわ。最近、よう見かけるんやけど、ツアーの初日が、大宮と浦和とか川崎とか浦安とか千葉とか、東京近郊の場合あるやんか。あれ、ゼッタイにゲネプロですよぉ。あれは有料でリハーサルやってるんですよぉ。それがエエことか悪いことかは、わて知らんけどもな。ブヒモング、ボッホ。

Q 突然の質問で恐縮です。文章を読むとジントフスキー先生は、とても偉い人のようなのですが、本当は一体どんな人なんですか。（埼玉県　所沢デジタリアン　17歳）

J ほっとけ！　デジタリアン君、人にはな、言うてはならん過去のひとつやふたつはあるやろが。ただのギョーカイ人とでも思うとってくれ。ま、せやけど、ちょっとヒント♡。①以前、パチ▼パチ編集部にいた。②パチ▼パチ創刊当時『そしてボボンガは途方に暮れる』という連載小説を執筆していた…ぐらいでカンベンしておくれでないか。こんな質問がくるんやから、パチ▼パチって新しい読者がごっつう増えとるんやねんのねんのねん、ブバサ。

Q ぼくのネーちゃんは、レコード会社につとめてるんです。そのコネで某バンドのレコーディングをのぞきに行ったら…。「生かしておこう」とか「殺そうよ」とか恐しい言葉が行き交っているのです。見てはいけないシーンだったんでしょうか。ぼくは殺されませんか。（東京都　美里・命っ子　15歳）

J あんたは、けったいな子やな。大丈夫やて。安心しとき。それはレコーディング用語や。生かしたり殺したりするんは、人間や生き物のことやない。音のことや。録音する時は、それこそ、なんぼもなんぼもいろんなパートを録音するんや。32トラックの場合やったら、32も音を入れられるんや。せやさかい、最初はいろんな音をとりあえず入れるわけや。例えばボーカルの後ろに、シンセサイザーを入れといたとしよ。せやけどミックスダウンの時、こら何かウルサイなと思うたら、「ねぇ、この音、殺しましょうか」とか言うて、最終録音状況からバズしてしまうわけや。「生かす」ちゅうのは、これの逆やな。その他、ミックスダウンは、いろんな音のバランスを最後に決める、ごっつう大事な作業なんやわ。ほな、また来年や。ブッホホ。

みんなの入稿、手伝って毎日、徹夜さ。
自分の仕事だっていっぱいあるのに…。
イライラ
イライラ

コンナンデマシタケド NO.3

SPECIAL THANKS TO ALL READERS

FC住所録

★UP-BEAT▶BEAT SCREEN L.T.D FOR UNDERGROUND
〒150-91 東京都渋谷郵便局区内私書箱76号 OFF STATION内 ☎03(402)8395

★UNICORN▶OFFICIAL FAN CLUB
〒106 東京都港区六本木3-17-7 四明ビル 6F CSアーティスツ内 ☎03(582)7719

Merry X'mas

★LÄ-PPISCH▶Do⁺毒入りクラブ ☎03(770)9355
〒153 東京都目黒区大橋1-7-4 久保ビル4F キティサークル内

★TM NETWORK▶タイムマシン・カフェ ☎03(462)5784
〒153 東京都目黒区大橋1-9-20 みつばさ103号

★BAKUFU-SLUMP▶骨まで愛して ☎03(5485)6889 〒150 東京都渋谷区東3-25-10 7階 チアリングハウス内

★BUCK-TICK▶BUCK-TICK CLUB ☎03(498)5014
〒150 東京都渋谷区渋谷1-10-7-403 (BAD・MUSIC内)

★JUN SKY WALKER(S)▶J(S)W クラブ ☎03(352)3779
〒160 東京都新宿区新宿1-29-5 グランドメゾン新宿東503

★PRINCESS²▶PRINCESS² PUBLIC ☎03(291)2015
〒101 東京都千代田区神田小川町2-1 (株)シンコーMレコード事業部内

★BARBEEBOYS▶負けるもん会 ☎03(770)5033
〒153 東京都目黒区大橋1-7-4 久保ビル4F キティサークル内

★大江千里▶Senri Station Kids ☎03(224)9575
〒106 東京都港区六本木3-2-24 六本木庄山ビル 2F

★松岡英明▶EVE EVE ☎03(477)1389 〒150 東京都渋谷区桜丘町9-15-103 HIPLAND SC PRODUCTS内

★チェッカーズ▶キュート・ビート・クラブ ☎03(668)4000
〒103 東京都中央区日本橋浜町2-15-5 ビラ浜町 8F

★氷室京介▶KING SWING ☎03(814)2196 〒112 東京都文京区小石川2-5-7 佐々木ビル5F (株)八曜社内

★KATZE▶JERRY'S ☎03(5486)1640
〒154 東京都世田谷区三軒茶屋2-20-13 モナーク三軒茶屋706

感想きかせてねぇ。

スペースがもうなぁいよぉ

来月まで待って。

TO be continued…

●メリィ　メリィ　メリィ……♪（って、昔「TO-Y」ってマンガでサンタさんが歌ってたなぁ…笑）。みなさんクリスマス→年末→お正月…の予定はたってますか。私はまだ全然たってません……といってもあくまで現時点のことだけど（強気）。

そんなことはさておき、7月特大号でやった「コンナンデマシタケド」もおかげさまで大好評。つうわけでスタイル再登場、となりました。謝々。考えてみればすごいことよねぇ…。このコーナーもスペシャルでいつもの倍よ、倍。――なので飽きずに最後まで読んで下さいねぇ〜。

アァ、まだ9行もある。う〜んと、う〜んと。今年もいろいろあったけど、私の5大ニュースは⑤このコーナーが始まったこと。④杏子と少しだけお話できたこと。③たくさんのアーティストに逢えたこと。②いろんな所に行けたこと。特に北海道は最高だった。①狂市さんにインタビューして記事を書けたこと。――来年はどういう年になるんでせうか。変わらず試行錯誤し続けます。（笑）アァ。又夜明けだ。シューン♪

イトウアキ走る!! スペシャル

AKI ITOH

こんなんでましたけど　3度目の正直編

Q (チェ)で出てたダイアモンズと、ジ・アブラーズという人たちはどういう人たちなのでしょう。いやぁ…若くて困っちゃうなぁ…14才。（栃木県　広田祐子）

A ダイアモンズ…っちゅうのはボーカル3人組、つまり、フミヤ、マサハル、モクのこと。んでジ・アブラーズ…っていうのは、楽器組、トオル、ユージ、ナオユキ、クロベエの4人のことよ。他に飲んでる時にできた五人組っつうのがある。メンバーはナオユキ、トオル、マサハル、ユージ、クロベエの5人。リーダーはなんとナオユキ…だって。(チェ)ファンの宮野シコが教えてくれたよん。

Q BO GUMBOSのどんとさんと、永井くんは、昔、ローザルクセンブルグというバンドでデビューしたことがあるときいたんですが。（栃木県　P.N.ルミ子）

A その通り。'87年に解散したローザールクセンブルグのことでしょ。『ぷりぷり』『ROSARUX CEMBURG Ⅱ』『STAY BUT ET』という3枚のアルバムと『LIVE AUGUST』というライブアルバムをリリースしてます。解散してから評価が高まったっつうバンドなだけに、今でも解散を惜しむファンはすごい大勢います。メンバーはどんと、五城宏志(G)、永井利光(B)、三原重夫(Dr)10月21日には、『ROSA LUXEMBURG BEST』と題した16曲入りCDを発売しました。BO GUMBOSとは一味違ったサウンドを聴いてみるのもいいかもね。

Q なんで、いっつも（ってゆ〜ほど）、J(S)Wってインタビュー記事とかが純太&小林くん、和弥&呼人というコンビなの?（埼玉県　矢内美穂）

A う〜ん。これは私が昔取材に立ちあった時の話だから、今はどうか分かんないけど、自然にそうなるって言ってたよ。特に純太くんと小林くんは高校時代も寮で同じ部屋になったことがあった位だから。（笑）ま、深い意味はないはずだから、深読みなどせんように。OK?

Q コンサートに行くにはどうしたらいいでしょう。親に反対されているんですけれども。（新宿区　CCB命）

A う〜む。コンサートに行くには…。私の場合はとにかく親を説得したね。いい成績とって〝これで大丈夫でしょ〟って言って。あ、この質問者は男の子じゃないか。う〜ん。男だったら〝反対されても行くぜ〟ぐらいの心意気みせてみいっ。なんて…あとはねぇ…私は一生懸命パチ▼パチをみせたわ。（↑マジ）そしたら最後には毎月パチ▼パチを買ってくれるようになったわ。（↑マジ）

Q 高野寛さんの歌を聴いて、ファンになりました。パチ▼パチにはあまり載らないけど、彼のことを教えて下さい。（大阪府　君もTVっ子）

A オーケーオーケー。私は、はっきり言って少数派の味方だよォ〜ン。（でも、多数派にも弱いけど）高野寛、1964年12月14日、静岡生まれ。B型。デビューは'88年10月6日。「SEE YOU AGAIN」というシングルでデビュー。今までに『HULLO HULLO A』というアルバムをリリースしてます。'86年5月には高橋幸宏、鈴木慶一のスペシャル・ユニットTHE BEATNIKSのツアーにギタリスト、バッグ・ボーカルとして参加してます。来年3月7日には2ndアルバム『CUE』を発売予定。

Q 書く時によって、サインが違うアーティストって結構いますよね。わざと変えてるんですか（高知県　白本陽子）

A あぁ、あるある。KATZEの尾上くんは平仮名バージョンと、カタカナバージョンがあるし。松BOWは変えるのが好きみたいでコロコロ変えてるしね。私の知ってるところではTHE MINKSのまっちゃんなどは、漢字バージョン、平仮名簡単バージョン、ウルトラマンバージョンと書く度違うよ。まっちゃん曰く「ん?　気分よ、気分。」だそうで。確かに数も多いし、毎回同じだと飽きるかもね。全部集めてみるっつうのもおもしろいかもよ。

さて。今年は私のつたないコーナーにつきあってくれてアリガトサン。来年もハガキ待ってるよ。ほんじゃ。

START

PATi²は スミからスミまで 読む。

恋人にするなら MUSICIANがイイワ

思い込みが激しい方だ。

電話に出るのがすごく好き

BUHi²は毎月読んでいる。

自分の好きなことにはまっしぐら。

人づきあいが苦手。

CDを100枚以上持っている。

アルバイトをしたことがない。

月に最低2回はLIVEに行く。

自分を人と変わってると思うことがある。

実はアイドルが結構好き。

有線でイントロ当てクイズをしてしまう。

ウォークマンは必需品だ。

パチ▶ロクの発売日を知っている。

ボランティア精神は旺盛だ。

とりあえず音楽はなんでも聴いてみる。

チケット代のためなら食費を削っても平気

時間戦えますか。

STAFFへのけわしい道

←YES ←NO

んなもん戦えなくていいわ。

ちくっちゃえ▶89

オ…王様の耳はロバの耳〜!! 言いたくても言えない人の秘密を知っているあなた。今、ここで大いにくっちゃべって下さい。地方でのアーティストの奇行の数々…私たちにコッソリちくっていただきましょうか!

吾郷さんと芳賀さんは酒のみ行こうってウルサイ…
だから時々言ってやるんだ
なんでかんでん
ディマンシェ

くるわくるわ。チョコッと募集しただけなのに。いやぁ、アーティストのみなさんってば地方で都心でいろいろやってらっしゃるのね。うぷぷ。オタッキー心がうずくぜい。

●渋谷の丸井でHOUND DOGの大友康平がゴールドカードで買い物をしていた。しかも領収書を切っていた。(杉並区 占いを信じて悪いか 21歳)

●10月18日、松BOWのLIVEで福岡に来てたPAPAと屋台で一緒に飲んだ。メンバーはいい人だった。(福岡県 恭一くんFANのKeiko 22歳)

●TMがCAROLツアーで仙台に来てた時、私はMIKIHOUSE

思いこみでどうにでもなる型

属に言う有言実行タイプ。自分をこうと思いこませて、実行していくので、思いこみの強さがカギ。そのため好きなアーティストにインタビューできることがあるが、どうも上手く使イ。

ドーンと来てくんだ型

会議室の主と言われるほど、会社にはいつでもいる。仕事が速いうえ、無座の◯型・長女なので、いつになっても暇になんない。存在自体がHらしい。ボディ・コンを着ればもしかしたら、好きなアーティストに逢えるかもしれない(笑)。

ねこまん娘

明日は明日の風がふくわ型

どうもボーッとしてしょうがない。けど、字を書くのは速い。倉庫にこもって物をさがすのも得意(かもしれない)。長時間電車に乗っていられる忍耐力が必要。

細かい仕事で、コンサート情報は誰よりも早くわかる。

鉄は熱いうちに打て型

一見クールに見えるが、内面は燃えている(笑)。好きなアーティストの雑用ができる。体力と食欲が要求される。いったん好きになると想いつづける。

読者スタッフではなりけれど型

いわゆるデスク。ワープロにおわれ、ハガキにまみれているが、たまにアーティストからの電話をとりトキメク時がある。イジメに耐える精神力が必要

民生が命よりも大事。

ラバーソールを持っている

細かい作業が苦手。

イカ…

毎週見てる…

ギタリストにめっぽう弱い。

字を書くのは早い方だ。

テープおこし

もう200枚も書いてる

ドタンバに強い。

Hurry UP!!

人と話をするのが好き

COMMUNICATION

属に言う色物BAND好きの傾向がある。

右だったら右なの。

自分はガンコ者だと思う。

一生一人の人を思い続ける自信がある。

徹夜なんてへっちゃら

…はブリブリの曲

コンサートに行くと我を忘れる。

24

読者…

郷土愛がとても強い。

いじめられやすいタイプ人間だ。

しかし…ユーナノ喜んでくれる

読者は仙カナヤ。

©aki

の袋を片手に仙台市内を闊歩している木根さんを見た。(間違いないと思う)(宮城県 宇都宮かおり 16歳)

●12月号のBUHi♡BUHiの上のマンガが途中で終わってる。(大田区 土屋京子 ?歳)

●編集の黒木ミドリさんは昔、「マンモス」という名言をBUHi♡BUHiに残している。(神奈川県 富澤良子 15歳)

●カステラのトモくんが私の家の近くで自転車に乗ってフラフラしてた。(東京都 うまもー 20歳)

●UNICORNの西川くんは広島のコンサートの時にスティックを飛ばしすぎてスティックがなくなってしまって困っていた。(広島県 とうよう 15歳)

●Xのヨシキがノーメイクで買い物をしていた。鞄を買っていった。アゴで彼だと分かった。(板橋区 待ちあわせはいつもモアイ 20歳)

●UNICORNの民生はTHE BOOMのMIYAにスーツをとられたことを実は根にもっているかもしれない。(文京区 ダンシングセールの真実 19歳)

●10月某日。渋谷の某ライブハウスにチェッカーズの武内享氏が来ていた。しかも大笑いしていた。(神奈川県 TOMOE ?歳)

●THE BLUE HEARTSのヒロトが弟とミスタードーナツでドーナツを食べていた。(東京都 スリッパが宝物 21歳)

●THE MINKSのシンちゃんはラジオでXの「紅」のことを"バッテンのベニ"と紹介していた。(北海道 コロボックル 18歳)

●TMの小室哲哉さんが、宮沢りえちゃんの「DREAM RUSH」を"GOLD RUSH"と言っていた。(青森県 超人を追う少女 ?歳)

●銀行でレピッシュの上田現を発見。現ちゃんは順番を待つ間、帽子をとって金髪をかきあげたりサングラスをずらして後ろを振り向いたりして『俺は上田現だぞ!』と分からせたい様な動作をくり返していました。(東京都 メガネの三つ編みギャル ?歳)

(編) この時の現ちゃんの格好をハガキに書いてくれたんだけど、読者のみんなにお見せできないのが残念。現ちゃんは胸に"L・A-PPISCH GEN"とロゴの入ったTシャツを着てたらしいぞ。(笑)

●去年の12月4日。札幌でのチェッカーズのライブのアンコールの時、藤井郁弥氏のズボンが大きなジャンプと、"ビリッ"という音とともにやぶけた。当の本人が一番驚いていたようだったが、おかげでとってもいい目の保養になった。(北海道 たしか色は白だった ?歳)

●真駒内オープンスタジアムでJ(S)Wの和弥がおしりを出してしまいました。(北海道 それでも好きなのはどうして 17歳)

●THE MINKSのヨシアキ(Vo)と、しんちゃん(Vr)は趣味があうのか、同じ洋服などを買ってくることがよくある。(編集部 ONE WORD 21歳)

●THE BOOMのMIYAがLIVEで上半身裸になった時、背中にひっかき傷があった。しかも猫じゃないみたいだった。とっても赤かった。疑問だった。(板橋区 骨までHかも 18歳)

●懐かしい話だが、チェッカーズの尚之は"Lonely Soldier"を"ロンリーソージャー"と歌っていた。アルバムはソージャーのまま残っている。本当は、ソルジャーなのに。ウフフ(新潟県 わたし 20歳)

イヤァ、やってておもしろかったよ。黒木さんレギュラーにしましょ。

(黒)アゴーさん平気ですか。(吾)まぁね。

QUiZ DE 100 MON 攻撃!!! プレゼント付

●さあ、地獄の100問クイズのスタートだ。若者よ、ペンをとれ。頭を使え。

Q1 パチ▼パチ創刊号から89年12月号までの表紙に写っている人を全部足すと何人でしょう?
①150人 ②163人 ③169人

Q2 UNICORNの奥田民生が今年の七夕に、短ざくに書いた願い事は?
①お金が欲しい ②休みが欲しい ③女が欲しい

Q3 平成2年1月9日売りの、パチ▼パチ2月号の表紙&巻頭特集は誰だ?
①氷室京介 ②渡辺美里 ③バービーボーイズ

Q4 氷室京介さんが巻頭特集だったパチ▼パチ3月号。この取材中注文した食事は?
①インド料理 ②中華料理 ③メキシコ料理

Q5 お休みになると、必ず高熱を出し寝こんでしまうMINKSのメンバーは誰だ?
①リュウ ②真ちゃん ③まっちゃん

Q6 酔っ払うと人間って変わるのね。KATZEのメンバーで、芳賀さんの耳をなめたのは誰?
①カッちゃん ②やっちゃん ③中村敦

Q7 今年はTVにまで出演してしまった飽子大王。Voの森かずおは数学の先生。ではDrのしまシゲオは何の先生?
①美術 ②英語 ③社会

Q8 チェッカーズは"ROOM"のキャンペーンで何本の仕事をしたでしょうか?
①71本 ②78本 ③82本

Q9 BUCK-TICKも床屋へ行く。さて床屋で領収書をもらおうとしたが断わられたメンバーは誰?
①ヤガミトール ②ユータ ③アツシ

Q10 元米米の博多めぐみちゃん。彼女が結成した、新しいバンドの名前は?
①ニコチャン大王 ②飽子大王 ③バチカン大王

Q11 次の中で、本当にあるバンドは?
①X ②Y ③Z

Q12 米米クラブの"FANK FUJIYAM"CMバージョンの歌詞は「えーびばでぃサムライ寿司○○」
①芸者 ②電車 ③忍者

Q13 明大の学祭で、熱があるのに最後までステージを演りとげた人は?
①現ちゃん ②中谷のブースカ ③吉田美和

Q14 福岡・海の中道公園でのイベントで、バービーボーイズの演奏が始まった時間は?
①2時 ②5時 ③8時

Q15 今年も毎日毎日どこかでライブをしていたJ(S)W。ライブ前楽屋で、体中に千年灸をつけているのは?
①カズヤ ②マサユキ ③ヨヒト

Q16 パチロクの取材の時、道に迷って2時間も遅刻したKUSU KUSUのメンバーは?
①ジロウ ②マコト ③ムー

Q17 バービーボーイズのメンバーで、取材中にテトリスを1番熱心にやっているのは誰?
①コイソ ②コンタ ③杏子

Q18 大阪でMINKSのまっちゃん(G)とTシャツを交換し、儲けたと言っていたKATZEのメンバーは?
①カッちゃん ②尾上くん ③やっちゃん

Q19 個人活動が活発になってきたTMネットワーク。ウツが初のドラマ出演で役名は?
①速水真澄 ②沖正 ③速水浩司

Q20 3月1日には、武道館も決定しているジッタリン・ジン。取材の時に残ったお菓子を持ち帰ったのは誰?
①入江ちゃん ②松蔵 ③春川

Q21 チェッカーズのマサハルがライターの人とインタビュー前にした話は?
①野球について ②プアール茶について ③コステロについて

Q22 4月21日の武道館で、TMのウツが最初に口にした言葉は、"○○○……ゴメン"でした。○の中に入る言葉は?
①悲しませて ②心配かけて ③迷惑かけて

▶応募方法●364Pの解答用紙のみ使用のこと(コピー可)。お一人様一通のみご応募を受けつけます。ご不明な点がありましたら、パチ▶パチバックナンバーを見て下さい。高得点者上位10名様(多数の場合は抽選)に、368P〜369Pからお好きなCDをプレゼントいたします。なお、編集部へのご質問はやめて下さい。また、レコード会社、事務所に問い合わせるような行為も厳禁します。自分でバックナンバーを調べて、答を出して下さい。お願いします。▶応募〆切は1月末日必着です。以上のことを守って、トライしてみて下さい。さて、こたつの上で準備ができたら、100問まで行け行けゴーゴー!

●毎年年末の恒例となった、恐怖の100問クイズ。この時のために、毎月買っていた人、すみからすみまで読んでいた人、このページを初めて知った人。全ての人にチャンスはある。さあ、解答用紙を黒く塗れ。

Q23 C-C-Bとして最後に演奏した曲は、何でしょう?
①原色したいね ②流星のラストデート ③レッツゴークライマックス

Q24 "関口誠人さんと赤い糸で結ばれている"と言っている、女性タレントは?
①野沢直子 ②山田邦子 ③ダンプ松本

Q25 ヒネモグラの異名をとる、レピッシュのメンバーは?
①達 ②上田現 ③雪好

Q26 ゴーカな米米特集の12月号。金子さんはジェットコースターに乗るために、何分くらい並んでたでしょう?
①30分 ②20分 ③10分

Q27 CDを12回ローンで買ったJ(S)Wのメンバーは?
①純太 ②呼人 ③和弥

Q28 大江千里が、レギュラー出演しているテレビ番組は?
①もぎたてバナナ大使 ②愛しあってるかい! ③邦ちゃんのやまだかつてないテレビ

Q29 ユニコーンのアベBが、アーガイルの靴下をはいている写真は何月号に載ってる?
①3月号 ②6月号 ③7月号

Q30 パチ▼パチで4人のC-C-Bが、5人に今年1回だけ戻ったのは、何月号だったかな?
①9月号 ②5月号 ③11月号

Q31 来年は武道館でライブを行う筋肉少女帯。彼等の曲が使われている、CMの商品は?
①ビデオテープ ②レトルトカレー ③オーディオテープ

Q32 レッドウォーリアーズの8月29日、大阪厚生年金会館。ユカイが投げたものは?
①ワインの入ったグラス ②マラカス ③バラ

Q33 レピッシュの作品で、初めてCMソングに使われた曲は?
①リックサック ②RINJIN ③OUR LIFE

Q34 米米のJ・小野田さんの家の横には何が通っている?
①常磐線 ②新幹線 ③小田急線

Q35 署名ライブで全国をまわったTHE BOOM。お疲れ様。彼等が初めてホコ天でライブをやったのは何年のこと?
①86年 ②87年 ③88年

Q36 TMがデビューした時、小室さんのしてたつけ毛は、何のご利益があると言われていた?
①交通安全 ②恋愛成就 ③合格祈願

Q37 カステラのトモ君が、パチ▼パチ初の取材の時に飲んだ飲み物は?
①オレンジジュース ②カフェオレ ③トマトジュース

Q38 5月号のレピッシュのページに出ている、女の人は何と呼ばれているでしょう。
①ダブ ②サブ ③ドブ

Q39 動物に気に入られてしまう大江千里。11月号で一緒に写真を撮ったサルの名前は?
①ジロウ ②ミィちゃん ③アイちゃん

Q40 カステラのトモくんが軽音に入るきっかけになった誘い文句は「お前○○に似てるな」
①パッパラー河合 ②ヒロト ③ハル(THE ピーズ)

Q41 "Flowerbed"をリリースした渡辺美里。誰かに贈る時はこれ、と決めてる花は?
①ひまわり ②ガーベラ ③バラ

Q42 新幹線が目的地に着く前に、降りる準備をして扉の前で待ってしまうプリンセス・プリンセスのメンバーは?
①アッコ ②カナコ ③キョン

Q43 連日ライブのあるBIG EGG。ここでライブをしたことのないバンドは?
①プリンセス・プリンセス ②チェッカーズ ③TMネットワーク

Q44 編集部の芳賀さんが、B-Tの取材に行って持って帰ってきたものは?
①今井寿の髪の毛 ②ユータの使

ったハシ ③あっちゃんのブラシ

Q45 松岡英明がリリースした"KISS KISS"このLPを聞いて、「松岡さんの声って色っぽいんだ」と言ったのは誰? ①YOU(フェアチャイルド) ②笹野みちる ③NOKKO

Q46 パチロクの取材で、撮影中海に行った時に、波がヒザ上までつかってしまったユニコーンのメンバーは? ①EBI ②西川 ③テッシー

Q47 今年10月1日の大阪厚生年金会館でのUP-BEATのライブに投げ込まれた物は? ①ゴマちゃん ②浮輪 ③帽子

Q48 米米の横浜アリーナでの"KICK KNOCK編"のアンコールに乱入したバービーボーイズのメンバーは誰だ? ①杏子 ②イマサ ③コンタ

Q49 2月15日の、「江川ほーじん出発イベントTHE謝恩会」入場者に配られたものは何? ①サイン色紙 ②紙ふぶき ③紅白まんじゅう

Q50 モッズを聴いていたマサハルの振り上げたコブシで、殴られちゃった㋠のメンバーは? ①トオル ②クロベエ ③フミヤ

Q51 B-Tの今井寿は 武道館の楽屋でどんなキャラクターの手かがみを使っていたでしょう。①ドナルドダッグ ②ミッキーマウス ③ダンボ

Q52 ラブソングばかりになったという、プリプリの"LOVERS"。A面5曲目の曲は? ①レイン ②恋に落ちたら ③パパ

Q53 BAKUFU-SLUMPのLP"I・B・W"の中の曲、にあるのは? ①それから ②ふたたび ③うそ

Q54 ライブにCMに忙しいレベッカ。そのCMでノッコは"レベッカは〇〇の中にいる"と言っている。さて〇〇の中は? ①ガバティ ②リバティ ③ハバティ

Q55 今年デビューしたJUSTY NASTY。彼らが共通してごひいきなバンドは? ①エアロスミス ②CRASH ③JAPAN

Q56 大サービス。3月7日はB-Tの誰の誕生日? ①アッシ ②イマイ ③ユータ

Q57 さぁ、このSTYLE用のインタビューの時、ユージさんは何を食べていたでしょう。①カツ丼 ②サンドイッチ ③なべやきうどん

Q58 氷室さんが昔いたバンドの名前は? ①レッドウォーリアーズ ②ローザルクセンブルグ ③BOØWY

Q59 いつ見てもいい女♡バービーボーイズの杏子。彼女が植えている鉢植えの名前は? ①富山 ②岡山 ③松山

Q60 ソフトバレエの中で"B-Tのテーマ"の作者は? ①森岡賢 ②遠藤遼一 ③藤井麻輝

Q61 パチ▼パチの編集長吾郷さんが、12月号入稿中、夜中に熱中していたゲームとは? ①人生ゲーム ②テトリス ③碁

Q62 レッドウォーリアーズの中で握力が異常にないのは? ①キヨシ ②シャケ ③コンマ

Q63 TMの木根さんがFM埼玉でDJをやっているのは「〇〇を削って」〇の中の言葉は? ①かつおぶし ②身 ③えんぴつ

Q64 今年レベッカがリリースした、アルバムのタイトルは次のうちどれ? ①ブロンドサウルス ②ブレンドサウルス ③ブランドサウルス

Q65 梅の香巻きが好き♡という、ギタリストは次のうち誰? ①松尾宗仁(ZIGGY) ②狂市 ③パッパラー河合

Q66 発売されたばかりのプリプリのアルバム「LOVERS」の中で、海賊が出てくる詞を書いたのは誰? ①トモコ ②カオリ ③アッコ

Q67 TV出演したユニコーン。歌詞をとばして、早目に演奏が終わってしまった番組は? ①JUST POP UP ②夜のヒットスタジオ ③ミュージックステーション

Q68 プリプリは過去2回、バンド名を変えています。次のうち使われていないのは? ①赤坂小町 ②エモーション ③ジュリアンママ

Q69 美里ちゃんが高校生の頃、背負っていたリュックについていたお人形は? ①スヌーピー ②キューピー ③ドナルドダック

Q70 4thアルバム「UNDER THE SUN」も好調なUP-BEAT。11月号のピンナップで、イスを触ってるのは何人? ①1人 ②2人 ③3人

Q71 松BOWの「STUDY AFTER SCHOOL」で、コーラスをしているのは? ①高校生 ②スタッフ ③大学生

Q72 12月号の取材中、サンプラザ中野さんが飲んだ紅茶の銘柄はなんでしょう。①テス ②午後の紅茶 ③ジャワティストレート

Q73 松BOWが「笑っていいとも」に出た時に、パチ▼パチから贈られたものは? ①おっきな花輪 ②電報 ③果物

Q74 ユカイ君が20歳の時につき合ってた、高校生の女の子の名前は? ①かおり ②さゆり ③しおり

Q75 米米のツアー"CO-CONga編"で、恐竜のP子ちゃんの泣き声を担当していたのは? ①ジョプリン得能 ②ボン ③リョージ

Q76 8月1日に行われたSUPER JAM。そこに出演した東京少年の笹野みちるちゃんがしていた手袋の色は? ①黒 ②オレンジ ③紺

Q77 J(S)Wの、ひとつ抱きしめてツアー。88年12月16日の大阪御堂会館のリハの時、ファンに聞かれてしまった曲は? ①いとしのエリー ②電撃バップ ③MY GENERATION

Q78 武道館も大成功に終わった永井真理子。彼女がテレビ番組で披露したスポーツは? ①ソフトボール ②バトミントン ③卓球

Q79 8月号の美里ちゃんのミニブックは大好評でした。さて、このミニブックの写真に出てくる花は全部で何種類? ①5種類 ②4種類 ③3種類

Q80 カブトムシを食べたボーカリストがいるバンドは? ①THE POGO ②THE MINKS ③THE FUSE

Q81 「Runner」がザ・ベストテンに初登場した時の順位は。①8位 ②6位 ③10位

Q82 千里君のLP「Red Monkey YELLOW Fish」で、大貫妙子さんとデュエットした曲は? ①いつかきっと ②文化祭 ③向こうみずな瞳

Q83 10月号の表紙を飾った氷室さん。撮影スタジオに現れた時の服装は? ①ヘインズのTシャツ ②ボーダーのTシャツ ③タンクトップ

Q84 11月1日、大阪城ホールでのイベントで、ヨヒトとアベBがデュエットした演歌は? ①氷雨 ②浪花恋しぐれ ③男と女のラブゲーム

Q85 映画「バトルヒーター」にも出演したBAKUFU-SLUMP。撮影時、パッパラー河合が撮影所に泊まった日数は? ①4日間 ②3日間 ③5日間

Q86 THE PRIVATESが、5月15日にライブをやりました。その場所は? ①代々木チョコレートシティ ②渋谷ラ・ママ ③新宿ロフト

Q87 サービス。8月8日の「世の中ユニコーン」解散イベントが行われた場所はどこ? ①八丈島 ②江の島 ③佐渡ヶ島

Q88 BOOMのMIYAが大尊敬していて、デュエット出来たらミュージシャンやめてもいいと思っているアーティストは? ①松田聖子 ②矢野顕子 ③EPO

Q89 突如現れたフォークデュオ、ザ・真心ブラザーズ。彼らの歌であるものはどの曲? ①いけ ②うみ ③かわ

Q90 ㋠の中で、"体ジャニーズ"と呼ばれているのは誰? ①ナオユキ ②トオル ③ユージ

Q91 いつもコンサートで全国をまわっているHOUND DOG。来年1月29日からの武道館公演は全部で何日間? ①10日間 ②13日間 ③15日間

Q92 今年ロンドンでレコーディングを行わなかったアーティストは、次のうち誰? ①レピッシュ ②ドリームズ カム トゥルー ③松岡英明

Q93 9月号のチッカーズのページ、時計をしているのは一体何人? ①4人 ②2人 ③5人

Q94 UP-BEATのシングル「ONCE AGAIN」のプロモーションビデオの撮影にかかった時間は何時間? ①約8時間 ②約14時間 ③約18時間

Q95 5周年を迎えたパチ▼パチ。駅ばりポスターがあった。そのポスターに出ていたのは? ①TM ②美里 ③チェッカーズ

Q96 THE BOOMのMIYAが、自分の詞を「私小説的だと思う」と言ったのは何月号? ①11月号 ②9月号 ③7月号

Q97 いろんな才能ってあるんだ。ソフトバレエのメンバーの中で、医者の卵は誰でしょう? ①遠藤遼一 ②藤井麻輝 ③森岡賢

Q98 9月号のハウンドドックのページ。大友さんのしている腕時計は何時をさしている? ①5時5分 ②11時35分 ③7時

Q99 TMのツアーで踊っている女の子、キャロルはどこの国の生まれでしょう? ①スイス ②フランス ③スウェーデン

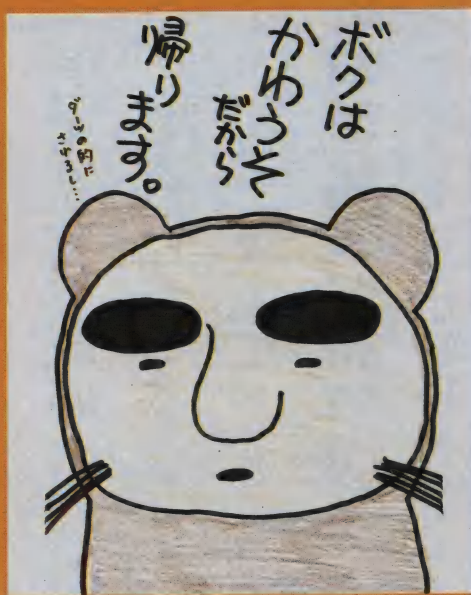
Q100 メンバー足し算。カステラ、THEピーズ、KUSU KUSU、MINKS、フェビアン、ライナセロス。全部で何人? ①21人 ②22人 ③23人

●というわけで、100問終わり。みんなの高得点を期待しつつ、私は寝る。

ボクはかわうそだから帰ります。

QUIZ DE 100 MON NO 攻撃!!!

プレゼント付

!

ANSWER SEAT

●各解答欄の①〜③のうち、正しいと思う番号を黒くぬりつぶして下さい。(解答用紙はこのページのみに限ります。コピーも可ですが、応募は1人1通のみ。チェックします) 高得点者上位10名（満点が多数出た場合は抽選）には希望のCDを、次点20名にはパチ▶パチのTシャツをプレゼント。——なので、下欄の住所etc.もシッカリ記入して下さい。応募は封書で、〒156-91　世田谷区千歳郵便局私書箱25号　CBS・ソニー出版パチ▶パチ編集部「クイズで100問」係まで。1月末日必着。高得点者発表と模範解答の発表は今んトコ未定です。

1	①	②	③
2	①	②	③
3	①	②	③
4	①	②	③
5	①	②	③
6	①	②	③
7	①	②	③
8	①	②	③
9	①	②	③
10	①	②	③
11	①	②	③
12	①	②	③
13	①	②	③
14	①	②	③
15	①	②	③
16	①	②	③
17	①	②	③
18	①	②	③
19	①	②	③
20	①	②	③
21	①	②	③
22	①	②	③
23	①	②	③
24	①	②	③
25	①	②	③
26	①	②	③
27	①	②	③
28	①	②	③
29	①	②	③
30	①	②	③
31	①	②	③
32	①	②	③
33	①	②	③
34	①	②	③
35	①	②	③
36	①	②	③
37	①	②	③
38	①	②	③
39	①	②	③
40	①	②	③
41	①	②	③
42	①	②	③
43	①	②	③
44	①	②	③
45	①	②	③
46	①	②	③
47	①	②	③
48	①	②	③
49	①	②	③
50	①	②	③
51	①	②	③
52	①	②	③
53	①	②	③
54	①	②	③
55	①	②	③
56	①	②	③
57	①	②	③
58	①	②	③
59	①	②	③
60	①	②	③
61	①	②	③
62	①	②	③
63	①	②	③
64	①	②	③
65	①	②	③
66	①	②	③
67	①	②	③
68	①	②	③
69	①	②	③
70	①	②	③
71	①	②	③
72	①	②	③
73	①	②	③
74	①	②	③
75	①	②	③
76	①	②	③
77	①	②	③
78	①	②	③
79	①	②	③
80	①	②	③
81	①	②	③
82	①	②	③
83	①	②	③
84	①	②	③
85	①	②	③
86	①	②	③
87	①	②	③
88	①	②	③
89	①	②	③
90	①	②	③
91	①	②	③
92	①	②	③
93	①	②	③
94	①	②	③
95	①	②	③
96	①	②	③
97	①	②	③
98	①	②	③
99	①	②	③
100	①	②	③

名前	年齢	住所	欲しいCD！
男 女		〒 Tel.	

PATi▶PATi STYLE

ENCORE PRESENT

●や、やった！　やりました！　今年もまたやってしまいました！（長い前つり）　あの興奮と感動の渦があなたを至極の世界へと導いてくれるに違いありません！——そうです、STYLEがあなたにおくるプレゼント。今年も去年より一段とパワー・アップして、な、なんと、42アーチスト、250個のプレゼントを大量放出するゾ！　去年おしくもはずれちゃった君も、ジャンボ宝くじを買いそびれてしまったあなたも、大丈夫、STYLEは決して悪いようにはいたしません。きっと喜こんでいただけると信じております、ハイ。

プリンセス・プリンセス

5名

⑦"LOVERS"ポストカード（CBS・ソニー提供）

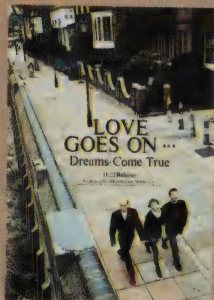
パチ▶パチ

50名

①TM NETWORKテレカ（5名）②渡辺美里テレカ（5名）③ザ・ストリート・スライダーズ・ステッカーシール（10名）　④UNICORNステッカーシール（10名）⑤hyper⑥WORKSポストカード（各10名）

ドリームズ・カム・トゥルー

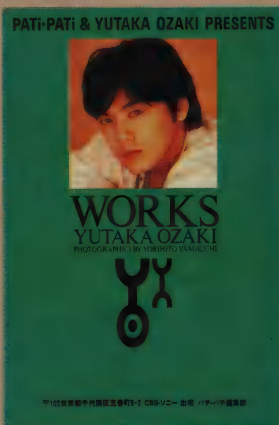
5名

⑨アルバム・ポスター（エピック・ソニー提供）

大江千里

5名

⑧アルバムポスター（エピックソニー提供）

THE BOOM

10名

⑭星のラブレター・鉛筆（5名）　⑮デビューアルバム・ポスター（5名）　共に、CBS・ソニー提供）大躍動の89年・90年もガンバッテ！

J(S)W

1名

⑫トレーナー（VAP提供）本誌でおなじみのイラストを、赤いコットン地に載せてみました。

ジッタリン・ジン

5名

⑬特製カップ（日本コロムビア提供）エ〜ブリデェ・〜ブリデェ、これでお茶飲んでね♡

バービー・ボーイズ

5名

⑪90年版・カレンダー（ハゴロモ提供）

このカレンダーについてのお問合わせは03（258）8101まで

渡辺美里

5名

⑩シングル・ポスター（エピック・ソニー提供）

KUSU KUSU
5名
㉕ティシュ・ペーパー（ゴリランドレコード）

ザ・真心ブラザーズ
5名
㉒ポスター（エピック・ソニー提供）

米米クラブ
1名
⑯富士山（編集部提供）わかっているとは思うが、これは本物の富士山ではない。従って本物の富士山をプレゼントするワケじゃない。ここでガッカリしてはいけない。（本物の富士山があたると期待した人はいないと思うのだが……）この富士山は、あの「FUNK FUJIYAMA」で使った、ビューティホーなフジヤマ。しかも、元はと言えば、パチ▶パチの撮影で使用した物。でも、石井さんが気に入って、家に持って帰り飾っておいたものを、再びビデオで使い、その後なぜか「GB」の編集部にあった、流転の富士山だそうだ。でっかいので取りに来れる人へ。

カステラ
5名
㉖デビューアルバム・ポスター（CBS・ソニー提供）

東京少年
10名
㉓特製アーティストノート（インビテーション提供）

フリッパーズ・ギター
5名
㉗ポストカード（ポリスター提供）

B'z
5名
㉔Tシャツ（BMGビクター提供）

THE MINKS
5名
㉘タオル（インビテーション提供）

笠浩二
5名
㉑ポスター（ポリドール提供）時代と共に気分一新！

C-C-B
5名
⑳カレンダー（ハゴロモ提供）バービーと一緒で、どーしても欲しい人は、P367の欄外を読んで下さい。

ジャスティ ナスティ
5名
⑰デビューアルバムポスター（ポリスター提供）90年は大躍進して、貴重品になってしまう可能性が大きい！

ゴーバンズ
10名
㉙ステッカー（ポニーキャニオン提供）90年も、キュートでグラマラスで、カッコイイ・スペシャルでいてね♡

UP-BEAT
5名
⑱バッチ（インビテーション提供）

レピッシュ
5名
㉜アルバム・ポスター（インビテーション提供）

レッド・ウォリアーズ
1名
㉚CDシングル・ボックス（コロムビア提供）大好評だったこれを、倉庫の片隅でもう一個発見してしまったので。

BUCK-TICK
5名
⑲撮影時のポラロイド（編集部提供）90年はフルスロットで時代を駆け抜けていきそうなバクチク。編集部ハガPも（先輩なのにこんな呼び方していいのかな？　アッ、オレ、オレフッチー）皆様のために、ポラを持って帰ってくれました。

氷室京介
5名
㉛筆箱（東芝EMI提供）

PATi▶PATi ENCORE PRESENT

TM NETWORK

5名

㊼90年版・カレンダー（CSC提供）パチ▶パチ提供のテレカのみならず、ここにも豪華プレゼントの登場！

松岡英明

2名

㊳㊴松BOWの靴（松岡英明氏提供）単行本の中でもはいていた貴重品！

チェッカーズ

5名

㉝シングル・ポスター（ポニー・キャニオン提供）80年代を通じ、常にトップだった彼ら。80年代と言えば、チェッカーズの歌を思い出す人が多くなるのだろう、きっと将来は。で、90年代もガンバッテ欲しい。

COMPLEX

2名

㊵アーティスト・ブック（東芝EMI提供）にぎやかで、豪華！

GEN

5名

㊷ステッカー（JAFF PROJECT提供）

FUSF

10名

㊶ステッカー（東芝EMI提供）

ソフトバレー

5名

㊾アルバム・ポスター（アルファ・レコード提供）

BAKUFU—SLUMP

1名

㊽リゾ・ラバTシャツ（CBS・ソニー提供）

HOUND DOG

5名

㊸バッチ・セット（マザー・エンタープライズ提供）

大沢誉志幸

10名

㉟ツアーパンフ（エピック・ソニー提供）

サディスティック・ミカバンド

3名

㉞単行本「天晴（あっぱれ）」東芝EMI提供

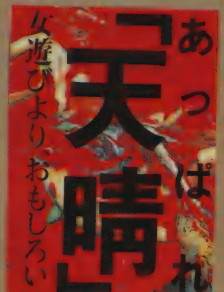
横道坊主

2名

㊺Tシャツ（東芝EMI提供）

TIMERS

10名

㊹カップ（東芝EMI提供）

●応募方法●

●いやー、これだけあると壮観ですねェ、ボクなんかこれ書いてて欲しくなっちゃいますもんねェ(コラコラ！)全部1人占めにしてしまいたい（オイオイ！）そうだ！"発表は商品の発送をもって代えさせていただきます"とかいっていてみんな貰ってしまおう！（……絶句）。と、まあそんなわけにもいかないので、涙をのんでみんなプレゼントすることにしよう（最初のコメントと違って全然エラそうだゾ）。応募方法は354〜355ページについているハガキを切り取って、アンケートに答えてもらいます(ちゃんと書いてね！)。そしてあなたの住所、氏名を明記して、ちょっと面倒くさいけど42円切手を貼って送って下さい。あ、プレゼントは第3希望まで書けるんで、色々と狙ってみてちょーだい。あ、それと〆切は1月末日に必着ですんで気をつけて、当日消印有効じゃないよ。

KATZE

5名

㊻アルバム・ポスター（テイチク提供）

UICORN

8名

㊱トラベルセット（3名）㊲布製ステッカー（5名・共にCBS・ソニー提供）89年は大躍進で、表紙、スタイルのカレンダーになるまでの大出世のユニコーン。エライッ、ヨクヤッタ。トレビアーン。

御紹介したバービーボーイズ、C—C—Bのカレンダーをど〜しても欲しい方は、商品代金＋送料500円を合せて、下記へ、〒101東京都千代田区神田司町2—16 第2小林ビル5F ㈱ハゴロモ アーティストカレンダー係

撮影●塚越健治

雑誌公規約の定めにより、この懸賞に当選された方は、この号のほかの懸賞に当選できない場合があります。

恒例250名レコード・プレゼント

またまたやってまいりました。スタイル恒例のレコード・プレゼント。ずらりと並んだレコード＆ビデオのジャケット。見てるだけで楽しいね。'89年の音楽シーンが、このページだけで一瞬にしてわかる、ハズッ。

▶ここに掲載したものは、1989年パチ▶パチ・レギュラー・アーティストが発売したレコード、ビデオたちです。さて、お気に入りのものは見つかったかな？　つい、買い逃してしまったアルバムも、このチャンスにぜひ。応募方法は、355ページのアンケートハガキに欲しいレコード、ビデオの番号をこのページから選んで、シングル、アルバムを各1枚づつ記入して下さい。(ビデオを希望の人は、アルバムのコーナーに記入）アルバムorビデオを50名、シングルを200名にプレゼント。しめ切りは1月末日消印有効。プレゼントの当選者は3月9日発売のパチ▶パチ4月号で行います。ぜひ、このラッキー・チャンスに、どしどしと、たくさんの応募を待ってます。

■MASAHARU

<ALBUM—CD> LOVIN'SPOONFUL/2月8日

Sabbat Ⅱ／4月21日

<SINGLE—CD> おねがい天国/7月14日

<VIDEO> MOVIE／2月1日

<SINGLE—CD> 貴女次第/2月8日

暴れる女神〜HURRICANE GIRL〜6月7日

Angel Eyes／10月4日

Sabbat Ⅰ／4月21日

■プリンセス²

<ALBUM—CD> LOVERS／11月17日

<SINGLE—CD> ムーンライト・ダンス／6月1日

CHRISTMAS CHORUS／12月1日

■TM NETWORK

<ALBUM—CD> DRESS／5月12日

■ザ・チェッカーズ

<ALBUM—CD> Seven Heaven／7月19日

ラジオが呼んでいる/9月21日

UNCORN WORLD TOUR 1989服部／11月1日

<SINGLE—CD> DIAMONDS／4月21日

すき(Apricot Mix)／9月1日

<ALBUM—CD> Digitalian is eating Breakfast／12月9日

<SINGLE—CD> JUST ONE VICTORY／3月21日

■バービーボーイズ

<ALBUM—CD> ●/2月1日

世界でいちばん熱い夏／7月1日

虹をみたいか／10月21日

■米米クラブ

<ALBUM—CD> 5½/11月11日

DIVE INTO YOUR BODY／7月21日

<SINGLE—CD> 目を閉じておいでよ/1月1日

<VIDEO> VIDEO CLIPS／7月21日

<VIDEO> in ez the movie on the Flower bed／10月8日

<SINGLE—CD> FUNK FUJIYAMA／10月21日

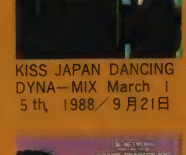
<VIDEO> FANKS CRY-MAX June 24th 1987／8月21日

Chibi／4月30日

LET'GET CRAZY Live at 武道館／12月24日

■J(S)W

<ALBUM—CD> 歩いていこう/6月21日

<VIDEO> KICK KNOCK／7月21日

KISS JAPAN DANCING DYNA-MIX March 15th, 1988／9月21日

<SINGLE—CD> Room／3月21日

WE ARE TRAVELLIN' BAND／10月25日

三日月の憂鬱／11月1日

■UNICORN

<ALBUM—CD> 服部/6月1日

<SINGLE—CD> 歩いていこう/6月21日

2 MUCH 2 1 ST／8月10日

CAMP FANKS!! '89AUG 29th1989／10月21日

Cherie／7月5日

■BUCK—TICK

<ALBUM—CD> TABOO／1月18日

■大江千里

<ALBUM—CD> Sloppy Joe／3月25日

<SINGLE—CD> 大迷惑/4月29日

白いクリスマス/11月21日

Co—Conga／8月21日

■小室哲哉

<SINGLE—CD> RUNNING TO HORIZON／10月28日

■MOKU

<ALBUM—CD> 弱虫(ろくでなし)/10月21日

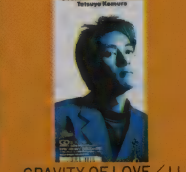
Friends and Dream／12月6日

red monky yellow fish／10月21日

デーゲーム/9月1日

<VIDEO> JUN SKY WALKER(S) LIVE／11月21日

■渡辺美里

<ALBUM—CD> Flowre bed／7月1日

GRAVITY OF LOVE／11月17日

▶スペースの都合上、発売されたものすべてが掲載されてはいません。

SPECIAL PRESENT
250 RECORDS
ALL 1989 DISCOGRAPHY

うまくは言えないけど/12月1日

<VIDEO>
GIANT STEPS Vol.1 & 2／11月21日

<SINGLE−CD>
BE MY BABY／4月8日

<SINGLE−CD>
リゾ・ラバ/7月19日

<SINGLE−CD>
SUMMER GAME／7月26日

The Best of C−C−B Vol.2／9月1日

RED SONGS (BEST)／11月21日

<SINGLE−CD>
酒なんかいらねえ/9月21日

■東京少年

<ALBUM−CD>
原っぱの真ん中で/6月7日

■UP−BEAT

<ALBUM−CD>
UNDER THE SUN／10月21日

<VIDEO>
BE MY BABY／5月3日

大きな玉ねぎの下で〜はるかな想い/10月21日

MISTY〜微妙に〜／9月6日

<SINGLE−CD>
Love is Magic／4月25日

<SINGLE−CD>
欲望のドア/5月21日

■NAOYUKI

<VIDEO>
The Session／5月21日

■THE MINKS

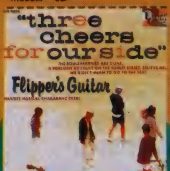
<ALBUM−CD>
THE MINKS/8月21日

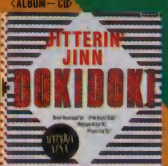
<SINGLE−CD>
TEARS OF RAINBOW

COMPLEX TOUR'89／11月1日

<VIDEO>
THE BLUE BUS BLUES／9月21日

<VIDEO>
KING OF ROCK SHOW

■フリッパーズ・ギター

<ALBUM−CD>
Three Cheers for our side／8月25日

■ドリームズ・カム・トゥルー

<ALBUM−CD>
Dreams Came True／3月21日

■KATZE

<ALBUM−CD>
STAY FREE／6月1日

■LÄ−PPISCH

<ALBUM−CD>
ANIMAL II／3月8日

■松岡英明

<ALBUM−CD>
KISS KISS／9月8日

■JUSTY NASTY

<ALBUM−CD>
LOVE／11月29日

<SINGLE−CD>
うれしはずかし朝帰り/9月1日

<SINGLE−CD>
LOVE GENERATION／5月2日

KARAKURI HOUSE／9月13日

<SINGLE−CD>
STUDY AFTER SCHOOL／3月25日

■B'Z

<ALBUM−CD>
OFF THE LOCK／5月21日

■ジッタリン・ジン

<ALBUM−CD>
DOKI DOKI／11月1日

<VIDEO>
KATZE きのうの事…／3月21日

<SINGLE−CD>
RINJIN／12月6日

KISS KISS／7月14日

<VIDEO>
ビデオ・クリップ・コレクション/9月1日

Sunday Sunshine／7月21日

■THE BOOM

<ALBUM−CD>
A PEACETIME BOOM／5月21日

■SOFT BALLET

<ALBUM−CD>
EARTH BORN／9月25日

<SINGLE−CD>
エヴリディ／10月10日

■HOUND DOG

<ALBUM−CD>
GOLD／1月11日

<VIDEO>
ANIMAL VISION／4月12日

<VIDEO>
LADY STUDY GO／4月21日

■笠浩二

<SINGLE−CD>
30センチでつかまえて/12月5日

<VIDEO>
BEST VIDEO CLIPS／11月21日

サイレンのおひさま／12月1日

■GO−BANG'S

<SINGLE−CD>
スペシャル・ボーイフレンド/4月21日

■ザ・真心ブラザーズ

<SINGLE−CD>
うみ/9月1日

<SINGLE−CD>
Tell Me Why／10月25日

■COMPLEX

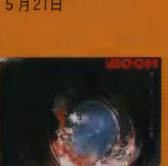
<ALBUM−CD>
COMPLEX／4月26日

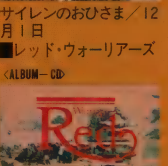
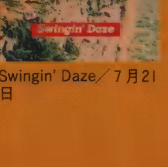
■爆風スランプ

<ALBUM−CD>
I・B・W−IT'S A BEAUTIFUL WORLD／11月1日

■氷室京介

<ALBUM−CD>
NEO FASCIO／9月27日

■C−C−B

<ALBUM−CD>
The Best of C−C−B Vol.1／6月1日

■レッド・ウォーリアーズ

<ALBUM−CD>
Swingin' Daze／7月21日

SPECIAL ISSUE　おもしろ大好きヤング・ミュージック・マガジン パチ▶パチ

PATI▶PATI PRESENTS STYLE

YEAR BOOK 1989→1990

PRICE=980YEN

今年で４回目と、おなじみ『パチ▶パチ・スタイル』も、すっかり年の終りの恒例となりました。記事ページも増えて、トータル376ページの迫力を、感じていただけたでしょうか？　みんなへの１年間の感謝をこめてお届けするのが、この『パチ▶パチ・スタイル』。年々豪華になっても、いつまでも定価そのまま（消費税なんかぶっとばせ）で、頑張ってます。というわけで、１年もアッという間のこと。1989年は80年代最後の年。そして来たるべき90年代の幕開けを迎える年。さて90年代は？　年代はかわっても"いつだって一生懸命"のパチ▶パチをヨロシク!!

STAFF

ART DIRECTION : JUN'ICHI SOMEYA =HEADBUTT
DESIGNER : JUN'ICHI SOMEYA, JIN OGAWA, MICHIKO SUZUKI, MIKA MURAI, KOICHIRO TANI, 0024, IWAO MIURA, SHINGO NAKAMURA =HEADBUTT
EDITORIAL DIRECTION : TERUKI AGO
EDITOR : TERUKI AGO, KIKUJI HIROTA, YOSHIMI YOSHIDA, TAKASHI HAGA, MIDORI KUROKI, MASATOSHI FUJIMOTO, TAKAKI KITAGAWA, ERIKO YAMAZAKI
ALL WRITERS : KYOKO MORITA, MIHO UTSUNOMIYA, KYOKO SANO, HIDEKI TAKE, MISATO KONDA, DAI ONOJIMA, MAYUMI TAKAYAMA, YASUE MATSUURA, MASAKO MIURA, TOMOSO NONAKA, SEIDO SUJYAKU
POTOGRAPHERS : YORIHITO YAMAUCHI, MASANORI KATO, TAKEO OGISO, KAZUHIRO KITAOKA, YUKIO FUKUZATO, HISAKO OHKUBO, MASAFUMI SAKAMOTO, KENJI TAGUCHI, YOSHIAKI SUGIYAMA, MASATO KATO, YOSUKE KOMATSU, MIHOKO ISHIGURO, KENJI TSUKAGOSHI
OPENING COMIX : MIEKO HARA
ASSISTANT : AKI ITO, KATSURA SHIMODA, YUKIKO MIYANO, YUKO EGASHIRA

パチ▶パチ増刊『パチ▶パチ・スタイル』
第６巻第２号　1990年１月25日発行
編集人＝吾郷輝樹　発行人＝吾郷輝樹
発行所＝株式会社CBS・ソニー出版
〒102東京都千代田区五番町６－２
TEL03-234-7906（編集）

定価980円（本体951円）
Printed in Japan

SENRI OE

MISATO

PRINCESS PRINCESS

TM NETWORK

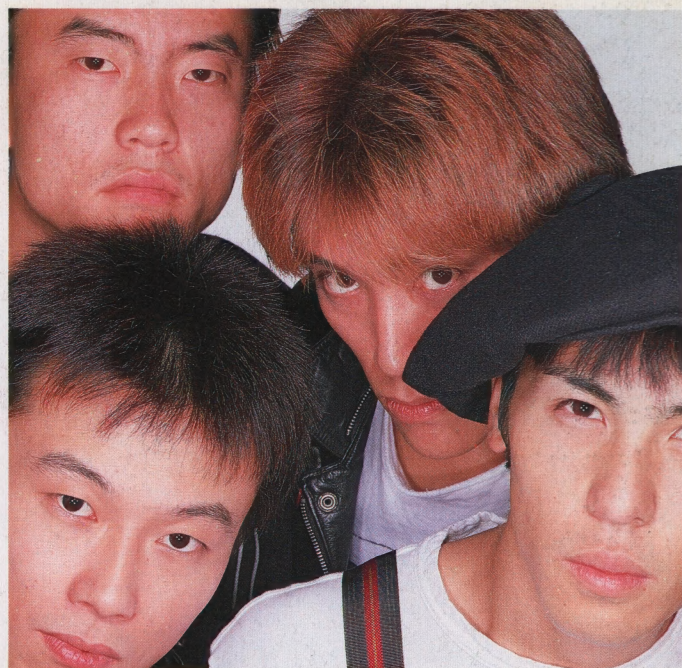
1990 POST CARD PATi-PATi PRESENTS

BUCK-TICK

JUN SKY WALKER(S)

UNICORN

KOME KOME CLUB

1990 POST CARD PATi-PATi PRESENTS

COSMO OIL EXCITING STAGE
CONCERT TOUR
It's a Beautiful World

BS
BAKUFU SLUMP

The great show has come! You'll be satisfied with our groovy sound and exciting atmosphere. Are you ready to party? Well, come on!

'89 11/24～'90 4/13

BAKUFU-SLUMP

満タンの感動をあなたへ。コスモ石油から。

その男たちの音に、その男たちの情熱に、
めぐり会った人はみな、大きな力を与えられた。
そして、鳴りやまぬ拍手が男たちをつつみ、ひとつの旅が、終わりを見せた。
その感動もさめないうちに、
また、男たちの新たなる旅が始まろうとしている。
彼らの名は、BAKUFU-SLUMP。
胸を打つ音で、人の心をゆり動かす4人の男たち。
そのサウンドに、その情熱に、
私たちコスモ石油は深く共鳴しています。
ヒューマン・エネルギー・カンパニーをめざす私たちの領域は、
人を動かすあらゆる力。
感動こそ人に大切なエネルギーの原点にほかならないと考えます。
一人でも多くの人に、この素晴らしい力を捧げたい。
そこで、今回もコスモ石油は、彼らの新たなる旅、
BAKUFU-SLUMP全国縦断コンサートツアー、
"It's a Beautiful World"を
応援することに決定しました。
大いなる力が、美しい力が、人々をふたたび抱きしめようとしている。
さらに新たなるステージへ。
ヒューマン・エネルギー・カンパニー コスモ石油がお届けします。

ヒューマン・エネルギー・カンパニー
コスモ石油